

序

東日本大震災から7年が経過した平成30年度は、未だ多くの子どもたちが避難先の学校で学習活動を続けるなど、震災に起因する課題が山積している一方で、着実に復興への歩みを進めた年でもありました。

まず、避難指示解除等に伴い、一昨年の南相馬市小高区、楢葉町に続き、飯館村、川俣町山木屋地区、富岡町、浪江町、葛尾村の5つの町村において、地元での小中学校再開を果たしました。

また、県立高等学校全体の教育の質的向上と、魅力と活力ある学校づくりを進めるため、5月に「県立高等学校改革基本計画（2019年度～2028年度）」、平成31年2月に「県立高等学校改革前期実施計画（2019年度～2023年度）」を策定しました。

さらに、地域と学校が強固なパートナーシップを構築し、新学習指導要領のポイントとなる社会に開かれた教育課程を実施しながら、地域づくりと一体となった社会総がかりによる教育の実現を目指すため、平成31年2月に「地域学校活性化構想」を策定した年でした。

このような中、県教育委員会では、「第6次福島県総合教育計画（改定版）」の後半4年間に当たる平成29年度～令和2年度の取組を加速させるため、平成29年3月に策定した「頑張る学校応援プラン」に掲げた5つの主要施策を推進しました。

さて、本教育年報は、平成30年度における教育に関する施策概要や事業実績等を収録しており、本県教育行政を一望できる資料として、また、本県の過去の教育行政を現在まで伝える貴重な資料として、教育関係者のみならず、多方面の方々に広く御利用いただいているところです。

今後も本書が、教育施策を推進する上での参考資料として広く活用され、本県教育振興の一助となりますことを願っています。

令和元年10月

福島県教育委員会

※ 本書は、旧字体等（機種依存文字）が用いられている場合、常用漢字で表記しています。
また、敬称は省略しています。

教育年報目次

第1章 教育行政の概観

1 平成30年度の本県教育の概要	1
2 第6次福島県総合教育計画及び「頑張る学校応援プラン」に関連する主な事業・取組	1
3 新しい県立高校改革計画の概要	5
4 福島県地域学校活性化推進構想の概要	6

第2章 教育行政

第1節	教育委員会	9
	1 教育委員会	9
	2 審議事項	9
第2節	教育庁組織	12
第3節	企画調整	13
	1 教職員現職教育計画の策定	13
	2 調整事務	13
第4節	広報・広聴	14
	1 教育委員会だより	14
	2 教育年報	14
	3 福島県の教育	14
	4 ふくしま教育ニュース	14
	5 教育庁各課・所・館の広報誌・紙	15
	6 記者発表及び資料提供（投げ込み）件数	16
	7 教育フォーラム	17
	8 「ふくしま教育の日」啓発推進事業	17
	9 「県庁に みんなの声を 届けよう！」プロジェクト	17
第5節	調査統計	18
	1 学校統計要覧	18
	2 社会教育調査（基幹統計）	18
	3 地方教育費調査（一般統計）	18
	4 子供の学習費調査（一般統計）	18
	5 進路状況等に関する調査	18
第6節	教職員の給与	18
	1 給料関係	18
	2 諸手当関係	18
第7節	附属機関等	19
	1 福島県社会教育委員の会議	19
	2 福島県文化財保護審議会	20
第8節	市町村教育委員会	21
	1 概要	21
	2 組織	21
	3 平成30年度市町村教育委員会援助指導の概要	22
第9節	職員団体との話し合い	22
	1 福島県教職員組合	22
	2 福島県高等学校教職員組合	23
	3 福島県立高等学校教職員組合	23
	4 福島県学校事務労働組合	23
第10節	不利益処分審査請求事件及び損害賠償等請求事件	24
	1 不利益処分審査請求事件	24

	2 損害賠償等請求事件	24
第11節	公益法人等の指導等並びに公益信託の状況	24
	1 公益法人等	24
	2 公益信託	24
第12節	表彰及び叙勲	25
	1 教育・文化関係表彰	25
	2 文部科学大臣表彰	26
	3 春・秋・高齢者叙勲、死亡叙位・叙勲	26
第13節	奨学育英	27
	1 福島県奨学資金	27
	2 福島県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与制度	28

第3章 教育財政

第1節	平成30年度決算	29
	1 歳入	29
	2 歳出	30
第2節	学校教育施設	32
	1 県立学校	32
	2 幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校（市町村立分）	33
第3節	産業教育設備整備事業	34
	1 産業教育施設・設備の整備	34
第4節	理科教育振興法補助事業	34
	1 理科設備	34
	2 算数・数学特別設備	34
第5節	情報処理設備整備事業	34
	1 県単独事業	34
第6節	体育施設	35
	1 公立学校施設整備費補助（学校体育諸施設補助）	35
	2 社会体育施設整備費補助	35

第4章 教育の情報化

第1節	基盤整備	37
第2節	人材の育成・活用	37

第5章 義務教育

第1節	概要	39
第2節	学校管理	39
	1 児童生徒数・学級数と教職員定数	39
	2 教職員人事・任用	42
	3 教育職員免許状の授与状況	42
	4 学校の設置及び統廃合	43
	5 学校防火	43
	6 へき地対策	44
第3節	学校教育	45
	1 概要	45
	2 現職教育	48
	3 教育課程	50
	4 学力向上等	50

5	放射線教育（地域と共に創る放射線・防災教育推進事業）	51
6	防災教育（地域と共に創る放射線・防災教育推進事業）	51
7	道徳教育	51
8	特別活動	52
9	生徒指導・進路指導	53
10	幼稚園教育	53
11	へき地教育	54
12	環境教育	54
13	教科用図書	54
14	教育研究団体	56
第4節	国際化・科学技術の進展等への対応	59
1	中学生・高校生の科学・技術研究論文	59
2	中学生・高校生の国際理解・国際交流論文	60

第6章 高等学校教育

第1節	概要	61
第2節	学校管理	62
	1 生徒数と教職員数	62
	2 教職員人事・任用	67
	3 学校の設置及び統廃合 - 公立高等学校の設置・廃止等(平成31年度) -	70
第3節	学校教育	71
	1 概要	71
	2 現職教育	77
	3 教育課程	78
	4 学力向上対策等	80
	5 生徒指導・進路指導	80
	6 学校行事	80
	7 産業教育	81
	8 学校訪問	82
	9 県立学校学校教育指導委員	82
	10 教科用図書	83
	11 教育研究団体	83
第4節	文化活動の振興	85
	1 文化活動の振興	85

第7章 特別支援教育

第1節	概要	89
第2節	学校管理	89
	1 児童生徒数と教職員定数	89
	2 特別支援学校及び特別支援学級の実態	92
	3 教職員人事・任用	94
第3節	学校教育	95
	1 概要	95
	2 現職教育	98
	3 教育課程（特別支援学校教育課程運営改善講座）	98
	4 訪問教育	99
	5 生徒指導・進路指導	99
	6 特別活動	100
	7 学校訪問	100
	8 県立学校学校教育指導委員	100

9 就学指導	100
10 教科用図書	101
11 教育研究団体	101

第8章 体育・健康

第1節	概要	103
	1 学校体育の充実	103
	2 学校保健・学校安全の充実	103
	3 食育の推進	103
	4 学校給食の充実	104
	5 全国高等学校総合体育大会	104
第2節	表彰	104
	1 体育関係	104
	2 学校保健・学校安全関係	104
	3 学校給食関係	108
第3節	学校体育	108
	1 学校体育関係各種研修	108
	2 福島県高等学校体育連盟	109
	3 福島県中学校体育連盟	111
第4節	学校保健・学校安全	112
	1 学校保健・学校安全研修会等	112
	2 児童・生徒の健康管理費補助	112
	3 福島県学校保健会	112
	4 独立行政法人日本スポーツ振興センター	112
第5節	学校給食	113
	1 学校給食に関する研修会	113
	2 学校給食用パン品質調査	113
	3 食育等に関する研修会等	113
	4 学校給食関係の国庫助成実績	114
第6節	体育施設	114
	1 公立学校施設整備費補助（学校体育諸施設補助）	114
	2 社会体育施設整備費補助	114
第7節	全国高等学校総合体育大会 （第68回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会）	115
	1 入賞状況	115
	2 経過概要	115

第9章 社会教育

第1節	概要	119
	1 社会教育一般	119
	2 地域コミュニティの再生	119
	3 家庭教育	119
	4 青少年教育	119
	5 成人教育	119
	6 子どもの読書活動推進	119
	7 ユネスコ活動	119
	8 ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業	119
	9 子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業	119
第2節	社会教育一般	119
	1 社会教育推進体制の充実	119

	2 社会教育施設の整備充実	120
	3 社会教育関係職員の研修	120
	4 社会教育研究集会	120
	5 社会教育指導員の設置	121
	6 社会教育主事の市町村派遣	121
	7 社会教育研修会	121
	8 福島県公民館研究集会	121
	9 社会教育職員研修派遣	121
	10 出版資料	122
第3節	地域コミュニティの再生	122
	1 地域学校協働活動事業	122
	2 放課後子ども教室事業	122
	3 学校支援活動事業	122
	4 学校・家庭・地域連携サポート事業	123
	5 東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業	124
第4節	家庭教育	124
	1 地域でつながる家庭教育応援事業	124
第5節	青少年教育	126
	1 体験活動・ボランティア推進センター事業	126
	2 ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業	126
第6節	成人教育	127
第7節	子どもの読書活動推進	127
	1 ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト	127
第8節	ユネスコ活動	128
	1 ユネスコ協会事務局一覧	128
	2 福島県ユネスコ活動研修会	128
第9節	ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業	129
	1 内容	129
	2 実績	129
第10節	子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業	129
	1 内容	129
	2 採択状況	129
第11節	公民館等社会教育施設	130
	1 公民館を除く主な社会教育施設	130
	2 文化施設の整備充実	135
第12節	福島県立図書館	136
	1 概要	136
	2 資料の収集・整理	136
	3 館内奉仕	138
	4 館外奉仕	143
	5 図書館協力	144
第13節	福島県立美術館	146
	1 概要	146
	2 美術品の収集・保存	146
	3 展示事業	147
	4 調査研究事業	152
	5 普及事業	152
第14節	福島県立博物館	155
	1 概要	155
	2 資料収集事業	155
	3 保存管理事業	157
	4 展示事業	161
	5 調査研究事業	170
	6 教育普及事業	174

	7 東日本大震災からの復興支援	191
	8 次世代ミュージアム機能	194
第15節	福島県自然の家	195
	1 概要	195
	2 教育目標及び基本的視点	195
第16節	福島県郡山自然の家	196
	1 概要	196
	2 施設・設備の概要	197
	3 企画事業	197
第17節	福島県会津自然の家	200
	1 概要	200
	2 施設・設備の概要	201
	3 利用状況	202
	4 企画事業	202
第18節	福島県いわき海浜自然の家	205
	1 概要	205
	2 施設・設備の概要	207
	3 利用状況	207
	4 企画事業	207

第10章 文化財

第1節	文化財保護体制の充実	211
	1 指定文化財保護体制の充実（文化財パトロール）	211
	2 文化財保護指導者研修会	211
	3 市町村文化財保護担当者会議	211
第2節	埋蔵文化財の保護の充実	211
	1 埋蔵文化財保護体制	211
	2 開発事業地内の保護対策	211
	3 平成30年度の復興事業に係る埋蔵文化財調査状況	212
	4 埋蔵文化財保護体制充実のための研修	212
	5 埋蔵文化財保護普及活動	212
	6 市町村埋蔵文化財調査技術協力事業	212
	7 文化財センター整備事業	213
	8 開発事業に伴う試掘確認・発掘調査件数	213
	9 平成30年度試掘調査	214
	10 平成30年度発掘調査	224
第3節	文化財保存助成の充実	227
	1 文化財保存助成事業	227
	2 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業を除く）	227
	3 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業）	228
	4 地域の「きずな」を結ぶ民俗芸能支援事業	229
第4節	文化財の保護と公開の推進	229
	1 第60回北海道・東北ブロック民俗芸能大会	229
	2 文化財保護強調週間の実施	229
	3 文化財防火デーの実施	229
第5節	銃砲刀剣類の登録状況	229
	1 登録審査委員	229
	2 登録審査会の実施状況	230
	3 銃砲刀剣類の譲受け・相続等の届出状況	230
第6節	文化財センター白河館の運営状況	230
	1 入館者数	230
	2 入館者の内訳と傾向	230

3 団体利用者の内訳と傾向	231
4 情報発信事業の利用者	232
5 資料管理業務	232
6 研修事業の状況	232
7 体験学習事業の状況	232
8 常設展事業	234
9 企画展事業	234
10 ボランティア運営事業	234

第11章 福利厚生

[教職員の健康管理・福利厚生事業]

第1節 概要	235
第2節 事業実績	235
1 教職員の健康管理	235
2 保健事業	236
3 厚生事業	238
第3節 貸付事業	241
1 共済組合	241
第4節 宿泊・保養施設	241
第5節 児童手当（特例給付を含む）	241
第6節 財産形成貯蓄制度	241

[福利給付事業]

第7節 概要	241
第8節 短期給付	242
1 共済組合	242
2 互助会	242
第9節 長期給付	243
1 恩給	243
2 退職手当	243
3 年金	244

第12章 福島県教育センター

第1節 概要	247
1 調査・研究事業	247
2 研修事業	247
3 情報教育事業	247
4 教育相談事業	247
5 教育図書・資料事業	248
第2節 調査・研究事業	248
1 調査・研究	248
2 長期研究員制度による研究	249
第3節 研修事業	249
1 研修講座の概要	249
2 研修講座	251
3 指導主事派遣等	255
第4節 情報教育事業	255
1 研修講座の概要	255
2 施設利用概況	255
第5節 教育相談	255

	1 対象別	255
	2 区分別	255
	3 地区別来所相談件数	255
	4 月別相談件数・回数	255
第6節	教育図書・資料事業	256
	1 教育図書・教育資料の収集	256
	2 教育資料の刊行	256

第13章 福島県特別支援教育センター

第1節	概要	257
	1 教育相談事業	257
	2 教職員研修事業	257
	3 調査研究・教育研究事業	257
	4 教育図書・資料の収集・提供事業	258
	5 広報・啓発事業	258
	6 情報教育事業	258
第2節	教育相談事業	258
	1 相談対象	258
	2 形態	258
	3 現状と課題	258
第3節	教職員研修事業	259
	1 教職員の研修講座	259
第4節	調査研究・教育研究事業	260
	1 調査研究	260
	2 教育研究	262
	3 長期研究員制度による研究	263
第5節	教育図書・資料の収集・提供事業	263
	1 教育図書・資料の収集・整理	263
第6節	広報・啓発事業	263
	1 所報「特別支援教育」(71号)	263
	2 研究紀要「第32号」	263
第7節	情報教育事業	264
	1 ICT活用支援	264
	2 情報機器活用	264
	3 情報教育ネットワークとWebサイトの充実	264

第1章 教育行政の概観

1 平成30年度の本県教育の概要

東日本大震災、原子力発電所事故から7年が経過してもなお、多くの子どもたちが県内外への避難生活を続けているなど厳しい状況が続いているが、避難指示の解除等に伴う小中学校の学校再開の動きが加速化するなど、本県教育の復興が着実に進んだ。また、本県の教育をめぐる課題に対応するため、県立高等学校改革基本計画前期実施計画や第二次福島県特別支援学校全体整備計画により、具体的な改革や整備の方向性を定めた。

このような中、県教育委員会においては、平成29年3月に策定し、平成30年3月に一部改定した教育政策の骨太の方針「頑張る学校応援プラン」で掲げた主要施策を戦略的に推進し、本県教育の充実を図った。また、年度末には新たに始める「ふくしま学力調査」や「福島県地域学校活性化推進構想」など、プラン策定後の状況の変化を踏まえてプランの一部を改定した。

本年度の大きな取組の1つが「福島県地域学校活性化推進構想」の策定であり、地域が学校や子どもたちを支援するという一方向の関係から、学校も地域に貢献することで、地域と学校が強固なパートナーシップを構築、地域づくりと一体となった社会総がかりによる教育の実現が目標である。そのために、平成31年度には県立学校へのコミュニティ・スクールの導入促進、すべての公立学校に地域との窓口になる「地域連携担当教職員」の任命、地域コーディネーターの配置促進を進める予定である。また、県立特別支援学校においては地域支援センターを設置し、保護者・関係機関、市町村との連携などを支援した。

また、教職員の多忙化解消に向け「教職員多忙化解消アクションプラン」に基づく業務改善に向けた動きが本格化した。前年度公表された文部科学省の「教員勤務実態調査」及び本県実施の「教員勤務実態調査」の結果から、本県の全国の状態を上回る長時間勤務の実態が明らかとなり、学校のチーム力や教員の指導力を最大化し、豊かな教育環境の形成を目指す上でその対応が急務であった。「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」も踏まえ、スクール・サポート・スタッフや部活動指導員の配置、部活動休養日の設定、部活動の練習時間の上限の制限、児童生徒一斉下校日の設定、学校閉庁日の設定等を実施し、その結果全校種において超過勤務の割合の減少に繋がった。

2 第6次福島県総合教育計画及び「頑張る学校応援プラン」に関連する主な事業・取組

(1) 第6次福島県総合教育計画

ア 基本理念

“ふくしまの和”で奏でる、
こころ豊かなたくましい人づくり

イ 基本目標

- 基本目標1 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成
- 基本目標2 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
- 基本目標3 豊かな教育環境の形成

本計画の運用に当たっては、毎年度重視する観点を定め、これに基づく事業を明らかにするとともに、計画の進捗状況を点検・評価することとしている。平成29年度からの4年間の重視する観点を「頑張る学校応援プラン」に掲げた5つの主要施策とし、これらに沿った事業を重点的に推進することにより、本県教育の充実を図った。

(2) 「頑張る学校応援プラン」

ア 性質



第6次福島県総合教育計画の後半4年間の取組を加速化させるべく、教育政策の骨太の方向性と必要な主要施策を厳選して打ち出したもの。

イ 特徴

本県の教育をめぐる現状について、データによる分析を行い、本県の強みや課題を「見える化」した。

課題等に応じた有効な「手立て」として5つの主要施策を掲げ、戦略的に実行することとした。

ウ 主要施策及び対応する主な取組

主要施策1 学力向上に責任を果たす

- 取組1 学びのスタンダードによる授業力の向上
- 取組2 新たな学力調査により一人一人の学力の伸びを支援
- 取組3 高校入試の見直し(ふくしまの中高接続改革)
- 取組4 苦手分野の指導の充実と小学校英語教育への対応
- 取組5 アクティブ・ラーニングなど本県ならではの教育の強化

主要施策2 教員の指導力、学校のチーム力の最大化

- 取組1 新たな職(副校長、主幹教諭)の設置
- 取組2 多忙化解消アクションプランの推進
- 取組3 同僚間で学び合うアクティブ・ラーナーとしての教員へ
- 取組4 教員研修の質的充実
- 取組5 学校における達成目標や特色の明確化

主要施策3 地域と共にある学校

- 取組1 地域と学校の協働の促進
- 取組2 コミュニティ・スクールの促進
- 取組3 地域学校活性化推進構想の策定

主要施策4 ふくしまの未来に向けた創造的復興教育

- 取組1 「変革者たれ！」ふたば未来学園における教育実践
- 取組2 小高産業技術高校における小高ならではの教育
- 取組3 福島イノベーション・コースト構想を担う人材の育成
- 取組4 12市町村の特色ある教育(学校再開支援チーム)
- 取組5 「新」双葉地区教育構想の推進
- 取組6 元気な福島の発信

主要施策5 学びのセーフティネットの構築

- 取組1 子どもたちの心のケアの充実
- 取組2 震災後に落ち込んだ体力・運動習慣を取り戻す
- 取組3 家庭の経済状況等に関わらない学びの環境整備
- 取組4 特別支援教育の環境の充実
- 取組5 スマートフォン・インターネットとのつきあい方

(3) 「頑張る学校応援プラン」に関連する主な事業・取組

主要施策1 学力向上に責任を果たす

継続 ピュアハートサポートプロジェクト(道徳教育総合支援事業・人権教育開発事業)

大震災の経験を踏まえ、「いのち」「家族愛」「郷土愛」等について系統的に学ぶため、福島独自の読み物資料の活用促進や、ゲストティーチャーの派遣を行った。

人権意識を培うため幅広い観点から実践的な研究を行い、指導方法等の改善及び充実を図った。

継続 ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト

県内各地域で活躍できる読書活動支援者を育成することにより、より良い読書環境づくりを進めた。

新規 一人一人を伸ばすふくしま学力向上推進事業

学習内容の定着度や学力の伸びの把握、学習に対する意識や生活状況調べから、教育及び教育施策の成果と課題を検証するため、平成31年度から実施する「ふくしま学力調査」の周知を図った。

新規 「ふくしま活用力育成シート」実践事業

児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成や活用力の状況判断、日々の授業改善に活用できる「ふくしま活用力育成シート」を、小学4年生から中学2年生を対象とし、8月、11月、2月の年間3回に渡りホームページより配信した。

一部新 指導力向上支援事業

県内小中学校に本庁指導主事が直接訪問し、授業改善及び家庭学習の質の向上について指導助言を行った。

継続 「学びのスタンダード」推進事業

「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」の2つを基軸に、児童生徒の学力向上を図った。また、「教科担任制」「タテ持ち」を実施する学校への指導助言、小学校教員の英語指導力向上を図った。

継続 アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業

アクティブ・ラーニングの視点を授業に取り入れ、新しい時代に求められる学力の向上を図ったほか、各学校のミッションを全面的に支援することにより生徒の進路希望実現を図った。

新規 未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業

福島の復興を担う子ども・若者を育成するため、「福島イノベーション・コースト構想」による児童生徒のキャリア教育を加味した理数教育を図った。

継続 復興を担うアクティブ・ラーナー育成事業

地域課題等の解決に取り組む「アクティブ・ラーナー」を育成することにより、地域との共生を図り、本県復興を担うたくましい人材を育成した。

継続 地域と共に創る放射線・防災教育推進事業

災害や放射線に関する課題と対応について児童生徒に考えさせ、安全・安心な社会づくりに貢献する態度を育成した。

新規 ふくしまの未来を拓く産業人材育成事業

学校と受け入れ企業が連携し、児童生徒の職業観、勤労観を醸成、高度な知識や技術を習得し、ふくしまの復興や地域に貢献できる人材の育成を図った。

一部新 ふくしまで生活基盤を築くための高校生支援事業

生徒面談や講話などを通して、社会人として自立するためのサポートを行った。また、県外に避難している高卒就職希望者の帰還を支援するため、求人情報等の提供を行った。

継続 ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業

医療に携わることで復興や社会に貢献したいと考える子どもたちの夢を実現させるため、体験学習等を行い、進路実現に向けた学習意欲の醸成を図った。

新規 GAP取得を目指す未来の農業者交流事業

本県の農業高校生が、全国のGAP等先進的な取り組みをしている農業高校生と互いに交流を図り、農業の魅力や課題の解決方法について情報交換を行った。

継続 グローバル人材を育む小中連携英語教育推進事業

双葉地区の小中学校を対象に、ライブ授業や外部施設における異文化体験交流活動等を実施した。

継続 ふくしまの未来を担う高校生海外研修・グローバル支援事業

国際社会に貢献できる人材を育成するため、ホームステイ研修の旅費の一部を支援したほか、研修で得た経験などを発信するための英語プレゼンテーションコンテストを実施した。

新規 グローバル人材を育成する英語教育強化事業

生徒の資格試験受験と結果データ分析及び各種研修を行い、4技能のバランスのとれた生徒の英語力を向上させると共に、教員の英語指導力の向上と充実を図った。

継続 語学指導等を行う外国青年招致事業

県立学校に外国語指導助手(ALT)を配置し、訪問による指導を行い、生徒の英語コミュニケーション能力の向上や、国際理解の深化を図った。

継続 先駆けの地における再生可能エネルギー教育推進事業

推進校において再生可能エネルギーに関する実用的・専門的な学習を行い、その成果について情報発信し、他校でも活用できる指導プランや学習プログラムを提供した。

継続 少人数教育推進事業

小学校、中学校において30人学級、30人程度学級編制に必要な教員を配置した。

主要施策2 教員の指導力、学校のチーム力の最大化

新規 特別支援学校教科指導充実事業

特別支援学校教員への新特別支援学校学習指導要領の周知徹底と、知的障がいのある児童生徒に対する各教科の指導の充実に向けた研修と授業公開の実施により指導力の向上を図った。

継続 県立学校IT環境整備事業

学校における情報セキュリティの確保や多忙化解消のため、教職員用パソコンの更新、配備を行った。

継続 教職員の資質向上に向けた研修の充実

今日的な教育課題や教員のライフステージに応じた研修を体系的・計画的に行い、教職員の資質向上を図った。

新規 優秀教職員による学校のチーム力向上事業

優秀教職員に表彰された教職員を対象に、研修会や先進校視察等に参加させ、個々の教員が持つ長所の更なる伸長を図り、研修成果を広く普及・啓発させた。

継続 優秀教職員表彰制度

教職員の志気を高め、教育活動全体の活性化を図るため、学習指導や生徒指導等において、日常的に努力を積み重ね顕著な成果を挙げている教職員を表彰した。

新規 教員の多忙化解消のための取組

平成29年度に策定した「多忙化解消アクションプラン」に基づき、具体的な取組を促進した。

新規 福島スクール・サポート・スタッフ事業

大規模小学校50校へスクール・サポート・スタッフを配置し、学習プリントの印刷等教員の補助業務を担い、勤務時間の削減や子どもと向き合う時間を確保した。

継続 学校の組織運営体制の改善

教員の負担軽減を図るため、校務分掌の見直しや保護者要望対応への支援等について検討・改善に取り組んだ。

新規 部活動指導員配置促進事業

適切な練習時間や休養日の設定など部活動の適正化を推進するため、部活動指導員を中学校に17名、高校に21名を配置し、担当する教員の支援及び部活動の質的向上を図った。

継続 学校評議員による学校関係者評価の実施

保護者や地域住民等の意向を把握・反映させ、学校運営を改善することにより開かれた学校づくりを進めた。

継続 校長・教頭のためのマネジメント講座

校長及び教頭の管理職としての資質を向上させ、学校経営、運営面での体制を強化した。

継続 児童生徒の体力向上推進事業（後掲）

継続 アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業（再掲）

一部新 指導力向上支援事業（再掲）

新規 一人一人を伸ばすふくしま学力向上推進事業（再掲）

新規 「ふくしま活用力育成シート」実践事業（再掲）

継続 「学びのスタンダード」推進事業（再掲）

新規 未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業（再掲）

継続 復興を担うアクティブ・ラーナー育成事業（再掲）

新規 グローバル人材を育成する英語教育強化事業（再掲）

主要施策3 地域と共にある学校

継続 児童生徒の体力向上推進事業

小・中・高等学校の教員に対し、体育授業等における指導力向上のための研修を行ったほか、武道やダンスの指導に地域人材を活用した。

継続 地域学校協働本部事業

学校と地域が相互に連携協力を進め、社会総ぐるみでの教育の実現を推進した。

継続 地域でつながる家庭教育応援事業

P T Aと連携して親自身が学ぶ機会を充実させたほか、企業と連携して地域の家庭教育推進を働きかけた。

継続 地域の「きずな」を結ぶ民俗芸能支援事業

継承の危機に瀕している民俗芸能の円滑な継承を促進するため、地域のつながりを再構築するための活動に対して補助を行った。

継続 ふくしまの未来をひらく読書の力 プロジェクト（再掲）

継続 ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト（後掲）

継続 地域と共に創る放射線・防災教育推進事業（再掲）

継続 学校評議員による学校関係者評価の実施（再掲）

主要施策4 ふくしまの未来に向けた創造的復興教育

継続 子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業

子どもたちにふくしまの今を伝える活動などを提供することにより、復興を担うたくましい子どもたちの育成を図った。

新規 オリンピック・パラリンピック教育推進事業

各学校で、オリンピック・パラリンピック教育を実施し、県全体の機運醸成を図るとともに、スポーツの価値や国際・異文化の理解等の多面的な教育を通じて児童生徒の育成を行った。

新規 福島イノベーション人材育成調査・支援事業

福島イノベーション・コースト構想推進機構に委託し、対象校と企業・大学との連絡調整や成果発表会、生徒間交流会を開催した。

継続 双葉地区教育構想（福祉健康人材育成プラン）

福祉・健康分野で活躍する人づくりを推進するため、専門的な授業を行った。

新規 福島イノベーション人材育成実践事業

構想を担う人材育成のため、新たな教育プログラムの実施に必要な環境を整備し、大学や企業、自治体と連携し、魅力あるプログラムを実践した。

新規 福島イノベーション人材育成広域連携事業

浜通り地区に限らず、県内全域において構想に関わる企業等と専門高校が連携し、産業人材の育成を組織的に展開した。

継続 スーパーグローバルハイスクール事業

ふたば未来学園高等学校において、企業・大学等と連携を図り、国際的素養の育成をはじめとした質の高いカリキュラムの開発・実践等に取り組んだ。

継続 双葉地区教育構想（国際人育成プラン）

震災からの復興に向けて国際社会に貢献できるグローバル人材の育成等を図るため、スポーツ交流事業や国際理解事業に取り組んだ。

継続 ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業

人と人との関わりの中で感じた思いや願い、震災からのさらなる復興などを綴った十七音の作品を募集し、県内外に広く発信した。

一部新 双葉郡中高一貫校設置事業

ふたば未来学園の備品、教材、教具等の整備や寮、食堂の運営の支援を行ったほか、併設中学校のパンフレット作成や学校説明会を実施し、開校に向けた準備を進めた。

継続 ふたば未来学園中学校・高等学校整備事業

ふたば未来学園中学校・高等学校の校舎・寄宿舎等の施設を整備し、生徒の学習環境や生活環境の確保をした。

継続 双葉郡中高一貫校設置事業（整備事業）

ふたば未来学園高等学校の学習及び生活環境の確保を図るため使用する施設のリースを行った。

新規 小高スーパープロフェッショナル人材育成事業

小高産業技術高等学校において、幅広い知識と高度な技術を身に付けた産業人材の育成を図るためのカリキュラムを実施した。

継続 小高統合高等学校設備整備事業

小高産業技術高等学校において、地域の復興を担う人材の育成や、通学における安全、安心を確保するために必要な教育環境を整備した。

継続 福島県教育復興推進事業

「ふるさと創造学」を始めとする双葉郡8町村の小中学校での教育活動を、双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事務局と連携し支援した。ふたば未来学園高等学校及び南相馬地域高等学校において、外部講師の招へい、講演会や研修授業、フィールドワーク等の教育活動を支援した。避難地域12市町村の学校再開や、再開後のふるさとに根ざした魅力ある学校づくりのため、市町村教育委員会と連携し支援した。

継続 双葉地区教育構想緊急対応事業

ふたば未来学園高校において、猪苗代町で緊急的に設置している学生寮や、トレーニング環境等を整備した。

一部新 学校改革推進事業

高校の統合、募集停止等に係る関係者からの意見を聴く機会とするための懇談会を開催したほか、中高一貫教育を推進するための協議会の開催、交流授業や地域理解教育等を行った。

新規 未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業（再掲）

継続 復興を担うアクティブ・ラーナー育成事業（再掲）

継続 ふくしまの未来を医療で担う夢応援事業（再掲）

継続 グローバル人材を育む小中連携英語教育推進事業（再掲）

主要施策5 学びのセーフティネットの構築

継続 （ピュアハートサポートプロジェクト）教育相談事業

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの派遣、24時間電話相談体制の整備など、子どもたちの心や生活のケアをきめ細かに実施した。

また、震災の影響で安定した生活環境等を取り戻せていない生徒に対して、心のサポートに資する学習支援を実施した。

継続 不登校・いじめ等対策総合推進事業

東日本大震災・原発事故以降、不登校等生徒指導上の諸課題やいじめ等の問題行動の原因が複合化・多様化していることから、学校と関係機関が連携・協力できる体制を整え、効果的な援助体制の充実を図った。

継続 ふくしま未来キッズワクワクプロジェクト

体を動かすことの魅力を伝え、運動不足や体力増進につなげるため、自然の家においてアスレチック等の様々な体験活動を楽しめる事業を開催した。

継続 ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト

震災後の子どもたちの体力低下や肥満傾向児出現率の増加などの健康課題を解決するため、自分手帳の活用や地域スポーツ人材の派遣など、運動能力の向上や食育等による健康増進に向けた事業を行った。

一部新 ふくしまから はじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業

元気なふくしまっ子を育むため、関係部局等と連携して、学校、家庭、地域が一体となった食育推進体制を整備した。

新規 未来へつなぐ子育て・教育充実事業

特別な支援を必要とする子どもたちの就学前から学校卒業後までの切れ目のない支援体制構築のため、全ての県立特別支援学校への「地域支援センター」の設置や本校に教育支援アドバイザー15名を配置し、関係機関との連携強化を図った。

継続 高等学校学習支援推進事業

学習の遅れや東日本大震災による環境の変化への不応等が見られる発達障がい等のある生徒が多く在籍する高等学校に学習支援員を配置し、生徒の特性に応じた手厚い学習支援を行った。

継続 夢に向かってテクノチャレンジ事業

特別支援学校高等部に在籍する生徒の自立と社会参加を促すため、「特別支援学校作業技能大会」を開催した。

新規 夜間中学調査・研究事業

義務教育未了者の就学機会、不登校等で通学できなかった既卒者への学びなおしの機会、外国籍の方への就学機会の確保のため、設置を目的とした調査研究を行った。

継続 ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業

子どもたちの豊かな人間性と生きる力を育むため、震災の経験を踏まえ、郷土の良さを伝えあい発信していくような交流活動や、充実した自然体験活動等を行う機会を提供した。

継続 大規模改造事業

老朽化した学校施設を改修し、機能の復元を行うとともに、構造体の劣化状況調査を行った。

継続 被災児童生徒等就学支援事業

東日本大震災による被災や、原子力発電所の事故により避難している児童生徒等に就学支援等を行った。

継続 高校等奨学資金貸付事業

経済的理由や東日本大震災の被災により就学困難と認められる高校生等に奨学資金の貸与を行った。

継続 高校等奨学資金給付事業

低所得世帯の高校生等の教育費負担を軽減するため、奨学資金を給付した。

継続 大学等奨学資金貸付事業

経済的理由や東日本大震災の被災により就学困難と認められる大学生等に奨学資金の貸付を行った。

継続 特別支援学校特別支援教育就学奨励費

特別支援学校に就学する幼児児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じて必要な費用を交付した。

継続 学校給食安全・安心対策推進事業

学校給食の食材に対する保護者等の不安を軽減し、学校給食の一層の安全・安心を確保するため、放射性物質検査を実施した。

一部新 特別支援学校整備事業

児童生徒の増加や通学地域の広域化に伴う長時間通学等の課題を解消するための適切な環境づくりや、複数の障がい種に対応した専門的な教育を行える学校づくりを推進した。

継続 復旧・復興の基盤づくりのための教員配置

震災により懸念される児童生徒の学習の遅れを支援するための教員を配置した。

継続 県立特別支援学校学習環境整備事業

県立特別支援学校全体整備計画等に基づき整備する特別支援学校の学校備品や、教材・教具等を整備した。

継続 地域学校協働本部事業（再掲）

3 新しい県立高校改革計画の概要

これまで県教育委員会では、1997年（平成9年）6月に「県立高等学校改革計画第一次まとめ」（以下、「一次まとめ」という。）、1999年（平成11年）3月に「県立高等学校改革計画第二次まとめ」（以下、「二次まとめ」という。）を策定し、すべての県立高等学校における男女共学化や学校規模の適正化、学校・学科の適正配置、新しいタイプの定時制単位制高等学校の配置などの取組を進めてきた。

「一次まとめ」及び「二次まとめ」が策定された後も、グローバル化や高度情報化が進展し、産業構造や就業構造の変化等が急速に進む中で、高等学校教育には、多様化する生徒の進路希望への対応、キャリア教育の充実、地域との連携の一層の推進などが求められてきた。

さらに、2011年（平成23年）3月11日に発生した東日本大震災及び原子力災害などにより、児童生徒数の減少が震災前の予測を大きく上回り、今後10年間で中学校卒業見込者は約5,300人減少することが見込まれており、教育を取り巻く様々な状況は、「二次まとめ」の策定時から大きく、急激に変化している。そこで、今後の急激な社会情勢の変化も考慮しながら長期的な改革の方向性を示し、計画的かつ着実に改革を推進する必要が生じてきた。

このような中、県教育委員会は、福島県学校教育審議会に対して、2016年（平成28年）5月、「社会の変化に対応した今後の県立高等学校の在り方について」諮問を行い、部会を含めて10回にわたる審議の後、2017年（平成29年）6月に答申を受けた。この答申を踏まえ、県教育委員会では、県立

高等学校改革を着実に推進するために、「一次まとめ」及び「二次まとめ」の取組・現状や成果・課題を土台として、今後10年間の県立高等学校改革の方向性を示す基本計画（長期計画）を2018年（平成30年）5月に策定し、併せて、再編整備の具体的な対象校名を含む前半5年間の実施計画（短期計画）を2019年（平成31年）2月に策定した。

(1) 県立高等学校改革基本計画（2019年度～2028年度）

ア 基本理念

「本県の未来を切り拓くチャレンジ精神を持った人づくり」

イ 計画の概要

上記の理念をもとに、高等学校における学びを通じて、地域に軸足を置きながら多様な主体と関わり、自己のアイデンティティと郷土への誇りを育み、生徒一人一人の志を実現させることができるよう、教育の質を向上させることとします。そのために、各高等学校の新たな在り方を検討し、再編整備と特色化を図る中で、より良い教育環境を提供することによって、生徒一人一人の資質や能力を向上させることのできる魅力ある高等学校づくりを推進することを目標に、以下の4つの基本方針と17の取組に沿って高等学校教育の充実を図ることとした。

基本方針1 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力を育む高等学校教育の推進

- (1) 生き抜く力を支える確かな学力の向上に向けた取組の推進
- (2) 豊かなこころを育成する取組の推進
- (3) 体力の向上や健康増進に向けた取組の推進
- (4) 様々な課題に果敢に取り組む主体性・協働性を育成する取組の推進
- (5) 地域と連携し、地域の特色を生かした学校づくりの推進

基本方針2 多様な学習内容の確保及び教育の質の向上

- (6) 多様な学習機会の充実
- (7) 中高一貫教育の推進
- (8) 学びのセーフティネットの推進
- (9) 一人一人の夢を実現させる教育力の向上

基本方針3 学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化

- (10) 学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模
- (11) 望ましい学校規模への再編整備の推進
- (12) 進路希望に応じた特色ある高等学校の配置
- (13) 社会の変化に対応した学科の適切な配置
- (14) きめ細かな指導が可能となる教育環境の整備
- (15) 学校の特色化と情報発信

基本方針4 過疎・中山間地域の学習機会の確保と教育環境の向上

- (16) 過疎・中山間地域の学習機会の確保
- (17) 過疎・中山間地域における教育環境の向上

(2) 県立高等学校改革前期実施計画（2019年度～2023年度）

ア 県立高等学校改革前期実施計画策定の性質

本計画は、県立高等学校改革基本計画を実効的、計画的に推進し、計画の理念を具現化するために、より具体的な高等学校改革の方向性と再編整備の具体的な対象校を含む前期5年間の方向性を示したものである。

策定に当たっては、第6次福島県総合教育計画の後半4年間における取組を重点化した「頑張る学校応援プラン」との整合性を図るとともに、基本計画の4つの基本方針に沿って、本県の高等学校全体の在り方を示した上で、各地区の中学校卒業見込者数の今後の推移、近年の各高等学校の志願動向や中学3年生の進路希望等を考慮した。また、各高等学校が所在する地域の実状や本県で求められる人材育成の観点等も考慮し、すべての県立高等学校の今後5年間の方向性を示すこととした。

イ 計画の概要

○本県の高等学校教育の質的向上に向けた取組の推進

- (1) 学力の向上を目指した取組の推進
- (2) 様々な課題に果敢に取り組み、社会に貢献する自立した人材の育成
- (3) 他者を思いやり、豊かな心を育む取組の推進
- (4) 生涯にわたる健康の保持増進につながる健康教育の推進
- (5) 地域とともにある学校づくりの推進
- (6) 安心して学ぶことのできる環境の支援
- (7) 教員の資質や学校の教育力の向上を目指した取組の推進
- (8) 高等学校における特別支援教育の推進
- (9) ICT機器を活用した教育の充実
- (10) きめ細かな指導が可能となる教職員の確保と配置

○社会の変化に対応した魅力ある教育環境づくり

- (1) 県立高等学校の再編整備案
以下の再編整備案を公表した。

【統合】25の対象校に係る12の統合案

梁川・保原、二本松工業・安達東、須賀川・長沼、白河実業・塙工業（併せて修明高校への農業科の集約）、喜多方・喜多方東、耶麻農業・会津農林、大沼・坂下、田島・南会津、湯本・遠野、小名浜・いわき海星、相馬東・新地、保原（定時制）・福島中央

【分校の募集停止】2校の募集停止案

安積高等学校御館校、修明高等学校鮫川校

- (2) 過疎・中山間地域の県立高等学校の例外的措置
川俣、湖南、猪苗代、西会津、川口、只見
(湖南、西会津、川口は平成29年度に先行実施)
- (3) 生徒の学びのニーズや進路希望に応じた県立高等学校の特色化

様々な課題に果敢に取り組む主体性・協働性を育成する教育活動の推進や、多様な学習内容の確保及び教育の質の向上の観点から、すべての県立高校を「進学

指導拠点校」「進学指導重点校」「キャリア指導推進校」「地域協働推進校」「職業教育推進校」「定時制・通信制高校」の6つの学校群に位置づけ、生徒の学びのニーズや進路希望に応じた教育活動を展開できるよう、前期計画期間中の各校の改革の方向性を示した。

4 福島県地域学校活性化推進構想の概要

少子化や過疎化、核家族化などが進行し、地域コミュニティの希薄化や分断により、地域や家庭の教育力が低下しており、東日本大震災及び原子力発電所事故の影響がこれらに拍車をかける状況となっている。このような中、地域が学校を支援するという従来の一方向の関係だけでなく、学校も地域に貢献していくことで、地域と学校が強固なパートナーシップを構築し、社会に開かれた教育課程を実施しながら、地域づくりと一体となった社会総がかりによる教育の実現を目指すために、「福島県地域学校活性化推進構想」を平成31年2月に策定した。

(1) 福島県地域学校活性化推進構想が目指すもの

- ・ 地域の大人と子どもが交流する場を意図的に設け、子どもの社会性や郷土愛などを育むとともに、大人も子どもから学び、互いに育ち合うことのできる体制を構築する。
- ・ 体験活動などで地域が学校を支援し、ボランティア活動などで学校も地域に貢献する、双方向で連携・協働する活動を通して、学校教育の充実と併せて学校を核とした地域の活性化を推進する。
- ・ 教科書だけでなく、ふるさと学習や地域を学びのフィールドとした探究活動など、地域と連携した教科横断的な学習を取り入れながら、社会に開かれた教育課程を編成する。
- ・ 障がいのあるなしに関わらず、地域で安心して子どもたちが学び、保護者が子どもを育てることができる環境の実現を図る。

(2) 構想を進めるための4本柱（12の方策）

1 地域に根ざした学校運営

1 学校評議員制度の活用

学校外の地域住民等を構成員とする学校評議員制度を活用し、保護者や地域の意向の把握し、協力を得ることで地域に根ざした教育活動を推進する。

2 コミュニティ・スクールの導入促進【新規】

学校や地域の実状に応じて地域住民等が構成員の学校運営協議会を設置し、地域と一体となった学校づくりを進める。県立学校へのコミュニティ・スクールの導入を進める。

3 学校を核とした地域との連携

副校長や主幹教諭の設置、地域住民のスクール・サポート・スタッフや部活動指導員への就任で、学校の組織体制を強化し、地域との連携の強化による地域ぐるみの教育体制を構築する。

2 地域と学校の協働活動

1 地域学校協働活動の推進

県内8つの市町村で実施している地域学校協働活動を、成果発表会の開催などで発信し、県内全域に普及する。

2 地域コーディネーターの機能充実

地域側の窓口として地域コーディネーターの配置を促進し、地域と学校の協働活動を効率的に展開する。

3 地域連携担当教職員の任命【新規】

学校側の窓口となる地域連携担当教職員を2019年度からすべての公立学校において任命し、学校の組織体制の整備、担当者の研修を実施する。

3 地域の課題解決に向けた創造的復興教育

1 地域課題探究活動の推進

アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善を図り、「総合的な探究の時間」等において、地域が抱える課題等をテーマに課題解決型学習を県立高等学校で実施する。

2 地域との連携による県立高等学校の特色化

教科横断的な教育課程の編成、生徒会活動や部活動における地域との連携等、県立高等学校改革に合わせた学校の特色化を進め、魅力ある県立高等学校づくりを地域と連携しながら進める。

3 福島県地域学校協働本部によるマッチング【新規】

学校と地域が双方向で連携・協働するためのマッチング調整を行う「福島県地域学校協働本部」の仕組みを新たに構築し、地域課題探究活動や地域学校協働活動の充実を図る。各地方振興局の協力を得ながら調整し、創造的復興教育を進める。

4 地域で共に学び、共に生きる特別支援教育

1 インクルーシブ教育システムの推進

障がいのある子ども一人一人のニーズに応じた指導の充実を図り、障がいのある子どもとない子どもが共に学ぶインクルーシブ教育システムを進める。

2 地域支援センターによる切れ目のない支援

2018年度から全ての県立特別支援学校に地域支援センターを設置して、障がいのある子どもに対する就学前から卒業後までの切れ目のない支援体制を構築し、学校種間、市町村や関係機関との連携を支援する。

3 地域との連携による自立と社会参加の促進

特別支援教育体制促進協議会の活性化や企業と連携した実習の充実、作業技能大会の開催等、障がいのある子どもたちの地域における自立と社会参加の促進を支援する。

(3) 福島県地域学校活性化推進構想の進める体制

・「福島県地域学校活性化推進構想」推進会議【新規】

構想の理念を共有し、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら構想を推進するため、教育委員会を始めとする地域の多様な関係機関の代表者が、構想の推進に向けた意見交換等を行うための組織。

・ 地域と学校の活性化推進会議

構想の進捗状況の確認や構想の推進のための意見交換等を行うための会議。

第2章 教育行政

第1節 教育委員会

1 教育委員会

職名	氏名	就任年月日	職業	備考
教育長	鈴木 淳一	平成28年 4月1日		福島市
委員 教育長職務代理者 (29.12.24～)	高橋 金一	平成27年 12月27日 (2期目)	弁護士	郡山市
委員	浅川 なおみ	平成27年 4月1日	ピアノ 教室 主宰	白河市
委員	蜂須賀 禮子	平成28年 10月19日 (2期目)	生花 販売	大熊町
委員	正木 好男	平成29年 12月24日	会社 顧問	いわき市
委員	岩本 光正	平成28年 10月19日	会社 取締役	会津若松市

2 審議事項

4月定例会(30.4.20)

- 審議事項
 - (1) 教職員の懲戒処分について
 - (2) 教職員の懲戒処分について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
 - (4) 平成31年度福島県公立学校教員採用予定者数について
- 報告事項
 - (1) 平成30年度福島県立高等学校入学者選抜の結果について
 - (2) 平成30年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜の結果について
 - (3) 訓告処分等について
 - (4) 訴訟判決について
- 協議事項
 - (1) 「県立高等学校改革基本計画(2019年度～2028年度)」(案)について

5月定例会(30.5.18)

- 審議事項
 - (1) 福島県いじめ問題対策委員会委員の委嘱について
 - (2) 県立高等学校改革基本計画(2019年度～2028年度)について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
 - (4) 教職員の懲戒処分について
 - (5) 教職員の懲戒処分について

- (6) 教職員の懲戒処分について
- (7) 教職員の懲戒処分について
- (8) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 平成31年度使用教科用図書の採択等に関する答申について
- (2) 訓告処分等について

6月定例会(30.6.15)

○ 審議事項

- (1) 平成31年度使用教科用図書調査研究資料について
- (2) 教育長臨時代理による処理の承認について
- (3) 工事請負契約の一部変更案について
- (4) 損害賠償の額の決定及び和解案について
- (5) 福島県社会教育委員の任命について

○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について

7月定例会(30.7.20)

○ 報告事項

- (1) 訓告処分等について

8月定例会(30.8.24)

○ 審議事項

- (1) 平成29年度福島県教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価結果について
- (2) 平成31年度使用県立中学校の教科用図書の採択について
- (3) 平成31年度使用県立特別支援学校小学部・中学部の教科用図書の採択について
- (4) 教職員の懲戒処分について

○ 報告事項

- (1) 平成31年度市町村公立義務教育諸学校における校長再任用の実施について
- (2) 訓告処分等について

9月定例会(30.9.13)

○ 審議事項

- (1) 平成31年度福島県立中学校入学者選抜について
- (2) 平成31年度福島県立高等学校入学者選抜について
- (3) 平成31年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜について
- (4) 教職員の懲戒処分について
- (5) 平成30年度教育・文化関係表彰について
- (6) 福島県立博物館運営協議会委員の任免について
- (7) 平成30年度福島県指定文化財の指定に係る諮問について

- (8) 平成31年度福島県公立学校実習助手採用予定者数及び平成31年度福島県公立学校寄宿舎指導員採用予定者数について
- (9) 平成30年度9月補正予算案（教育委員会関係部分）について
- (10) 工事請負契約案について
- (11) 福島県立会津学鳳中学校の入学検定料に関する条例の一部を改正する条例案について
- (12) 福島県立会津学鳳中学校条例の一部を改正する条例案について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

10月定例会(30.10.19)

- 審議事項
 - (1) 福島県立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
 - (2) 平成31年度福島県立学校生徒募集定員について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
 - (4) 教職員の懲戒処分について
 - (5) 平成30年度教育・文化関係表彰について
 - (6) 平成31年度人事異動方針及び各人事異動実施要項について
 - (7) 平成31年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

11月定例会(30.11.22)

- 審議事項
 - (1) 福島県教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則の一部を改正する規則について
 - (2) 福島県立会津学鳳中学校の入学検定料の免除に関する規則の一部を改正する規則について
 - (3) 福島県立会津学鳳中学校学則の一部を改正する規則について
 - (4) 平成30年度12月補正予算案（教育委員会関係部分）について
 - (5) 公の施設の指定管理者の指定案について
 - (6) 公の施設の指定管理者の指定案について
 - (7) 公の施設の指定管理者の指定案について
 - (8) 工事請負契約の一部変更案について
 - (9) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (10) 平成30年度中学生・高校生の科学・技術研究論文野口英世賞の受賞者について
 - (11) 平成30年度中学生・高校生の国際理解・国際交流論文朝河貫一賞の受賞者について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について
 - (2) 訴訟判決について

12月定例会(30.12.21)

- 審議事項
 - (1) 技能労務職員の給与及び勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について
 - (2) 教科用図書採択地区を設定した件の一部改正について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
 - (4) 福島県立美術館運営協議会委員の任命について
 - (5) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (6) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (7) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (8) 退職手当の支給制限について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

1月定例会(30.1.18)

- 審議事項
 - (1) 平成30年度教育・文化関係表彰について
 - (2) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (3) 平成31年度福島県公立学校実習助手採用候補者選考試験の合格者について
 - (4) 平成31年度福島県公立学校寄宿舎指導員採用候補者選考試験の合格者について
 - (5) 教職員の懲戒処分について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について
 - (2) 平成31年度人事異動（教員系）について
- 協議事項
 - (1) 県立高等学校改革前期実施計画素案について

2月定例会(31.2.8)

- 審議事項
 - (1) 福島県自然の家条例の一部を改正する条例の福島県郡山自然の家に係る施行期日を定める規則について
 - (2) 福島県いわき海浜自然の家に係る福島県自然の家条例施行規則の一部を改正する規則について
 - (3) 教育職員の免許状に関する規則の一部を改正する規則について
 - (4) 福島県立高等学校学則の一部を改正する規則について
 - (5) 福島県立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
 - (6) 福島県立高等学校の通信教育に関する規則の一部を改正する規則について
 - (7) 県立高等学校改革前期実施計画について
 - (8) 平成31年度当初予算案（教育委員会関係部分）について
 - (9) 福島県立美術館条例の一部を改正する条例案について
 - (10) 福島県立博物館条例の一部を改正する条例案について

(11) 福島県自然の家条例の一部を改正する条例案について

(12) 工事請負契約の一部変更案について

○ 報告事項

(1) 訓告処分等について

○ 協議事項

(1) 平成31年度人事異動（教員系）について

臨時会 (31. 2. 26)

○ 審議事項

(1) 福島県地域学校活性化推進構想について

(2) 教育長臨時代理による処理の承認について

(3) 平成31年度教育庁職員（課室長以上・教育事務所長）及び教育機関の長（教員系）の人事について

(4) 平成31年度市町村公立学校長の人事について

(5) 平成31年度県立学校長の人事について

○ 報告事項

(1) 平成31年度教育庁及び教育機関の主要職員（教員系）の人事について

(2) 平成31年度市町村公立学校副校長及び教頭の人事について

(3) 平成31年度県立学校副校長及び教頭の人事について

3月定例会 (31. 3. 22)

○ 審議事項

(1) 教職員の懲戒処分について

(2) 教職員の懲戒処分について

(3) 教職員の懲戒処分について

(4) 教職員の懲戒処分について

(5) 頑張る学校応援プランについて

(6) 第6次福島県総合教育計画平成31年度アクションプランについて

(7) 福島県教育委員会文書等管理規則の一部を改正する規則について

(8) 福島県自然の家組織規則の一部を改正する規則について

(9) 福島県教育庁組織規則の一部を改正する規則について

(10) 学校教育法施行細則の一部を改正する規則について

(11) 福島県指導不適切認定の手続等に関する規則の一部を改正する規則について

(12) 福島県立高等学校学則の一部を改正する規則について

(13) 福島県立中学校学則の一部を改正する規則について

(14) 福島県教育センター組織規則の一部を改正する規則について

(15) 福島県指定文化財の指定について

(16) 福島県立博物館長の委嘱について

(17) 福島県立博物館運営協議会委員の任命について

(18) 福島県文化財保護審議会委員の委嘱について

(19) 教科用図書選定審議会委員の任命について

(20) 平成31年度教育庁職員（課室長以上・教育事務所長）及び教育機関の長の人事について

(21) 平成31年度市町村公立学校長の人事について

(22) 平成31年度県立学校長の人事について

(23) 平成30年度教育・文化関係表彰について

(24) 教育長臨時代理による処理の承認について

(25) 退職手当の支給制限について

○ 報告事項

(1) 教職員多忙化解消アクションプランについて

(2) 平成31年度教育庁及び教育機関の職員の人事について

(3) 平成31年度市町村公立学校教職員の人事について

(4) 平成31年度県立学校教職員の人事について

(5) 平成32年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験について

(6) 訓告処分等について

第2節 教育庁組織

理事兼教育次長（業務）	大沼	博文
政策監	熊田	孝
県立高校改革監	岡崎	拓哉
教育庁参事（人事・企画）	永田	嗣昭

課室名	職名	課長等名
教育総務課	課長	高橋 洋平
	庁主幹兼副課長	工藤 宇裕
	庁企画主幹兼副課長	郡司 完
財務課	課長	大楯 一夫
	主幹兼副課長	佐藤 純二
施設財産室	室長	蓬田 慎一
	主幹	舟山 真吾
職員課	課長	奥寺 洋暁
	主幹兼副課長	中野 茂
	主幹	角田 禎雄
福利課	課長	長根 由里子
社会教育課	庁参事兼課長	菊池 篤志
	主幹兼副課長	遠藤 仁
	主幹	渋川 卓也
文化財課	課長	鈴木 俊明
	主幹兼副課長	鈴木 秀寿
義務教育課	庁参事兼課長	佐藤 秀美
	主幹兼副課長	浅倉 孝
	主幹	石幡 良子
	主幹	板橋 竜男
高校教育課	課長	小島 稔
	主幹兼副課長	永澤 英樹
	主幹	森下 陽一郎
	主幹	遠藤 利晴
県立高校改革室	室長	柳沼 英樹
特別支援教育課	課長	小檜山 宗浩
	主幹兼副課長	西村 則昌
	主幹	酒井 浩樹
健康教育課	課長	佐藤 浩哉
	主幹兼副課長	國分 亮子
	主幹	佐々木 理夫

教育事務所

教育事務所	所長・次長名	課長名
県北	所長 渡辺 惣吾	
	次長(総) 大竹 伸明	総務社会教育(兼) 大竹 伸明
	次長(業) 伏見 珠美	学校教育(兼) 伏見 珠美
県中	所長 福地 裕之	
	次長(総) 伊藤 利行	総務社会教育(兼) 伊藤 利行
	次長(業) 内田 恒一	学校教育(兼) 内田 恒一
県南	所長 阿部 央	
	次長(総) 馬目 常寿	総務社会教育(兼) 馬目 常寿
	次長(業) 小玉 昭男	学校教育(兼) 小玉 昭男
会津	所長 近藤 静雄	
	次長(総) 浦野 昭浩	総務社会教育(兼) 浦野 昭浩
	次長(業) 石本 浩一	学校教育(兼) 石本 浩一
南会津	所長 佐藤 則之	
	次長(総) 高橋 正敏	総務社会教育(兼) 高橋 正敏
	次長(業) 井上久仁夫	学校教育(兼) 井上久仁夫
相双	所長 佐藤 由弘	
	次長(総) 島 裕之	総務社会教育(兼) 島 裕之
	次長(業) 塙 広治	学校教育(兼) 塙 広治
いわき	所長 林 和樹	
	次長(総) 白井 一章	総務社会教育(兼) 白井 一章
	次長(業) 塚本 英樹	学校教育(兼) 塚本 英樹

所管教育機関等

教育機関名	所館長名	次長等名
福島県教育センター	加藤 知道	次長 菅野 昭人 総務管理部長(兼) 菅野 昭人 研究・研修部長 味原 正美
		主幹兼事務長 立花 敏孝 企画事業部長 西牧 辰典
福島県特別支援教育センター	鈴木 基之	
福島県立図書館	杉浦 孝幸	副館長 齋藤 圭一
福島県立美術館	早川 博明	副館長 鶴見 宏幸
福島県立博物館	赤坂 憲雄	副館長 星 貴文
福島県郡山自然の家	平久井 淳	主幹兼次長 森谷 吉博
福島県会津自然の家	渡部 光毅	次長 宍戸 佐壽

第3節 企画調整

1 教職員現職教育計画の策定

(1) 福島県公立学校教職員現職教育計画

教職員現職教育担当者会議を開催し、平成31年度の教職員研修計画及び研究学校(地区)指定計画について、策定に関する協議や関係課・所間の調整を行い、「福島県公立学校教職員現職教育計画」を策定した。

(2) 策定計画

回	開催期日	会議の場所	議事及び協議の概要
第1回	元.6.6	西庁舎12階 仮設会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○平成31年度教職員現職教育計画作成日程について ○平成31年度教職員現職教育計画策定に向けた全体及び各課・所の検討事項について ○平成31年度教職員現職教育計画作成方針を踏まえ、関係課・所において、予算化等を見通した研修の改善及び新設、変更、廃止の案の検討について
第2回	元.9.3	西庁舎12階 仮設会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回会議の確認事項について ○各課・所における予算化等を見通した具体的計画案について ○平成31年度教職員現職教育計画修正案作成の関係課・所への依頼について

(3) 構成員

教育総務課

企画主幹兼副課長、主任主査

社会教育課

主幹、主任社会教育主事、社会教育主事兼指導主事

義務教育課

課長、主幹、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

健康教育課

主幹、主任指導主事、主任栄養技師、指導主事

特別支援教育課

主幹兼副課長、主任指導主事、管理主事、指導主事

高校教育課

課長、主幹、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

教育センター

研究・研修部長、主任指導主事、指導主事

特別支援教育センター

企画事業部長、主任指導主事

2 調整事務

(1) 教育庁内企画・調整事務

- ア 総合教育計画に関する連絡調整
- イ 県教委重点施策に関する連絡調整
- ウ 県教委点検・評価に関する連絡調整
- エ 県重点事業に関する連絡調整
- オ 県重点施策評価に関する連絡調整
- カ 政府予算対策に関する連絡調整
- キ 双葉地区教育構想推進事業に関する連絡調整

(2) 知事部局との調整事務

- ア 総務部
行財政改革推進本部、総合教育会議、風評・風化プロジェクトチーム
- イ 危機管理部
安全で安心な県づくり推進庁内連絡会議
- ウ 企画調整部
県総合計画・復興計画関係、施策評価関係、県重点事業関係、政府予算対策活動関係、過疎・中山間地域経営戦略本部会議、エネルギー政策検討会、電子社会推進本部会議、政策調整会議、避難地域復興推進会議、新生ふくしま復興推進本部会議、地産地消推進会議、地域創生・人口減少対策本部会議、原子力損害対策協議会、復興対策推進プロジェクトチーム、湯水対策連絡会議、東京オリンピック・パラリンピック関連事業推進本部会議、東京2020オリンピック聖火リレーふくしま実行委員会
- エ 生活環境部
ユニバーサルデザイン推進本部会議、青少年健全育成推進本部、環境影響評価庁内連絡会議、循環型社会形成庁内推進会議、景観形成推進庁内連絡会議、特定外来生物対応庁内連絡会議、野生鳥獣被害対策庁内連絡会議、男女共同参画推進本部会議、環境・エネルギー施策推進庁内連絡会議、ふくしま地球温暖化対策推進本部会議、除染・廃棄物対策推進会議
- オ 保健福祉部
子育て支援推進本部会議、高齢社会対策推進本部会議、青少年育成推進本部幹事会議
- カ 商工労働部
企業誘致・立地企業振興対策本部会議、商業まちづくり推進調整会議
- キ 農林水産部
ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動、第69回全国植樹祭庁内連絡会議
- ク 土木部
県内建設業振興に係る庁内連絡会議
- ケ 警察本部
福島県被害者等支援連絡協議会

第4節 広報・広聴

1 教育委員会だより

(1) 編集方針

教育庁の新陣容や教育行政の諸領域の中から広報を要する事項及び教職員に周知させる必要のあるものを掲載し、教育委員会施策の徹底を図る。

(2) 内容

県教育委員会重点施策、県教育委員会所管予算、県教育委員名簿・県教育庁新陣容、県教育庁の組織及び電話番号一覧

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 4ページ

イ 部数 4,000部

(4) 配布対象

市町村教育委員会、県内公立学校、私立団体連合会、各教育関係機関、北海道・東北各県教育委員会等

(5) 発行時期

4月に発行

2 教育年報

(1) 編集方針

平成29年度の県教育行政の成果を記録し、将来に残る公的記録として保存する。

(2) 内容

平成29年度の本県教育行政の実績

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 264ページ

イ 部数 150部

(4) 配布対象

市町村教育委員会、各教育関係機関

3 福島県の教育

(1) 編集方針

本県教育の実績と教育行政の要点を図式化して掲載し、教育庁への来訪者等に配布し、本県教育に対する理解を図る。

(2) 内容

本県教育の実情及び教育行政の要点

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 8ページ カラー

イ 部数 950部

(4) 配布対象

教育機関への来訪者、市町村教育委員会、県内公立学校、各教育関係機関、各都道府県教育委員会等

4 ふくしま教育ニュース

(1) 編集方針

県教育委員会の教育行政施策、実績等を県民、特に保護者を対象として伝えることにより、本県教育に対する理解を図る。7月・11月の年2回発行した。

(2) 内容

ア 第50号(7月発行)

学びのスタンダード(ふくしまの「授業スタンダード」・「家庭学習スタンダード」)

避難指示解除等に伴う地元での学校再開

福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成

県立高等学校改革基本計画策定 4つの基本方針

ふくしまっ子ごはんコンテスト

朝河貫一博士没後70年記念シンポジウム

中学生・高校生の科学・技術研究論文「野口英世賞」募集

中学生・高校生の国際理解・国際交流論文「朝河貫一賞」募集

夜間中学

ふくしま子どもLINE相談

相談窓口の案内

イ 第51号(11月発行)

福島県立ふたば未来学園中学校開校

通学路の緊急合同安全点検

ふくしま学力調査(平成31年4月開始)

算数・数学科コアティーチャー授業研究会

福島イノベーション・コースト構想を担う人材育成

特別支援学校地域支援センターの取組

新たな県立高等学校入試制度

相談窓口の案内

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 4ページ カラー

イ 部数 第50号 245,000部

第51号 235,000部

(4) 配布対象

県内公立学校の全保護者、県外に避難している児童生徒の保護者、私立幼稚園及び小・中・高等学校、市町村教育委員会、各教育関係機関等

5 教育庁各課・所・館の広報誌・紙

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 布 対 象
教育総務課	福島県の教育	本県教育の実情及び教育行政の要点を図式化して表示	1	A 4	8	950	教育機関への来訪者、教育関係機関等
	教育委員会だより	県教育長あいさつ、教育施策及び予算、県教育委員名簿、県教育庁新陣容、組織及び電話番号	1	A 4	4	4,000	県内公立学校、私学団体連合会、教育関係機関等
	教育年報	前年度の県教育行政の実績	1	A 4	264	150	市町村教委、教育関係機関等
	ふくしま教育ニュース	県教育委員会の教育行政施策、実績、事業のお知らせ等	2	A 4	4	第50号 245,000 第51号 235,000	県内公立学校の全保護者・教職員、教育関係機関等
福利課	ふくしま福利だより	教職員の福利・厚生事業の紹介等	4	A 4	20 12	各 20,600	全教職員（6月、9月） （12月、3月）
社会教育課	社会教育	社会教育に関する情報、活動状況の取りまとめ	1	A 4	14	—	Webサイトに掲載
県立高校教育課 高校改革室	ふたば未来学園中学校パンフレット	新しく開校するふたば未来学園中学校の教育内容	1	A 4	12	6000	県内小学校及び保護者、教育関係機関
	ふたば未来学園中学校ポスター	ふたば未来学園中学校の開校案内	1	A 2	1	3000	県内小学校及びコンビニ、スーパーマーケット等
教育センター	要 覧	教育センターについての沿革、設置の趣旨、組織、予算、事業内容を掲載	1	A 4	20	160	学校、関係機関
	所報ふくしま「窓」	教育関係者の提言や県内教員の教育研究等についての紹介及び教育センターからの案内	2	A 4	8	—	Webサイトに掲載
	研究紀要	研究の成果をとりまとめて刊行し、本県学校教育の向上に資する。	1	A 4	72	1,000	学校、関係機関
	長期研究員個人研究報告書	長期研究員の個人研究の成果をとりまとめた報告書	1	A 4	146	150	関係機関
特別支援教育センター	リーフレット	事業内容・研修講座名等	1	A 5	4	100	来所者 Webサイトに掲載
	所報特別支援教育	センターの取組や国内外の教育動向等	1	A 4	26	200	関係機関
	要 覧	沿革、事業体系、事業概要、施設・設備	1	A 4	16	50	関係機関
	研究紀要	調査研究・教育研究及び長期研究員の個人研究の成果報告	1	A 4	60	120	関係機関 Webサイトに掲載

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 布 対 象
図 書 館	館 報 あ づ ま	図書館業務の広報	1	A 4	6	500	図書館・関係機関
	福島県立図書館要覧	県立図書館の概況	1	A 4	22	—	Webサイトに掲載
美 術 館	美術館ニュース ART INFORMATION	企画展・普及事業等の案内	6	A 4 三折		各 11,000	関係機関、来館者等
	ミュージアム カレンダー	年間事業紹介	1	B 5	33,000		関係機関、来館者等
博 物 館	県立博物館年報	前年度の事業実績	1	A 4	98	400	関係機関
	月行事予定表	月行事予定	6	A 4	1	各 14,000	関係機関
	博物館だより	行事予定、企画展案内、講演要旨等	4	A 4	8	各 4,000	学校、関係機関
	企画展ポスター・リーフレット	企画展3回分・次年度企画展1回分	4	ポスターB2 リーフレットA4		12,500 286,000	学校、関係機関 関係機関、来館者等
	年間催し物案内	主催行事などの紹介	1	220×400 観音折り		45,000	関係機関、来館者等
自 然 の 家	企画事業案内(郡山)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	1	—	Webサイトに掲載
	会津自然の家だより(会津)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	1	—	Webサイトに掲載
	利用案内(いわき)	施設概要、利用方法等	1	A 4	32	500	関係機関
	しおね(いわき)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	8	2,000	関係機関
	リーフレット(いわき)	施設概要、全体図等	1	A 3	2	1,000	関係機関
白 文 化 財 河 セ ン タ ー 館	年 報	沿革、事業の概要、入館者統計、予算等	1	A 4	34	500	関係機関
	まほろん通信	イベントの内容、体験学習	4	A 4	4	各 4,000	関係機関、利用者等
	研 究 紀 要	学芸員の調査、研究成果の報告	1	A 4	154	500	関係機関

6 記者発表及び資料提供(投げ込み)件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
記者発表	1	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	-	5
資料提供	24	17	17	32	14	20	36	32	35	21	31	29	308

7 教育フォーラム

(1) 目的

県民各層との対話を通して、多様化している県民の意向を積極的かつ多角的に把握し、県民と一体となった開かれた教育を推進するために実施した。

今年度は、高校生が地域課題探究活動・社会貢献活動等を行う中で発見した地域の課題に対して、高校生ならではの視点による課題解決に向けた学習体験の発表を通して、本県教育施策への理解促進を図った。

(2) テーマ

「ふくしまの高校生が、日本を元気にする。」

ー平成30年度ふくしま高校生社会貢献活動コンテストー
(共同開催)

(3) 内容

ア 開催形態

開会式、プレゼンテーション(10グループ)、
審査員から各グループへの質疑、
ミニコンサート(弦楽四重奏)、審査結果発表、
表彰、審査員講評、閉会式

イ 会場

福島大学

共生システム理工学類 後援募金記念棟会議室

ウ 開催日時

平成30年12月9日(日)10:00~15:30

エ 出席者

(ア) プレゼンテーション(順不同)

会津学鳳高校 美術部

会津農林高校 早乙女踊り保存クラブ

岩瀬農業高校 ヒューマンサービス科 農福連携実践班

湖南高校 学術研究部

桜の聖母学院高校 インターアクト部

(ボーイスカウト福島第1団ベンチャー隊)

サンキュー・カンボジア・プロジェクト(個人)

相馬農業高校 油菜ちゃんプロジェクトチーム

平工業高校 生徒会

チーム石高(学校の枠を超えたグループ)

One Teens! 実行委員会(学校の枠を超えたグループ)

(イ) 審査委員長

塩谷 弘康 (福島大学 副学長、アドミッション
センター長、行政政策学類教授)

(ウ) 審査員

小島 稔 (福島県教育庁 高校教育課長)

小田 札子 (ヤフー株式会社 社会貢献事業本部
シニアマネージャー)

小林奈保子 (なみとも 代表)

鈴木 学 (福島大学 総合教育研究センター
特任准教授)

(エ) 進行

福島県立安積高等学校 放送部 3名

(オ) ミニコンサート(弦楽四重奏)

福島県立安積高等学校 弦楽合奏部 4名

(カ) 福島県教育委員会

浅川 なおみ(県教育委員会委員)

岩本 光正(県教育委員会委員)

鈴木 淳一(県教育委員会教育長)

大沼 博文(理事兼教育次長)

熊田 孝(政策監)

岡崎 拓哉(県立高校改革監)

永田 嗣昭(教育庁参事)

高橋 洋平(教育総務課長)

菊池 篤志(庁参事兼社会教育課長)

佐藤 秀美(庁参事兼義務教育課長)

柳沼 英樹(県立高校改革室長)

(キ) 参加者 約180名

8 「ふくしま教育の日」啓発推進事業

県民の教育に対する理解、関心を高め、学校教育、社会教育及び文化の充実、発展を期するため、平成15年3月にふくしま教育の日条例を制定し、ふくしま教育の日(11月1日)及びふくしま教育週間(11月1日~7日)を設けている。当該期間を含むその前後の期間において「教育の日」の趣旨にふさわしい取組が実施されるよう、市町村や関係機関に働きかけた。さらに、福島県教育委員会ウェブサイトに掲載し、広く県民に参加を呼びかけた。

9 「県庁に みんなの声を 届けよう！」プロジェクト

子どもたちの県政に対する理解と関心を深めるとともに、将来の復興の主体としての意識を喚起することを目的として実施した。子どもたちが「ふくしまのよりよい未来をつくるために~子どもたちの提言~」をまとめ、知事や教育長等の前で発表する機会を設定することにより、県政に子どもが参画する機会とした。テーマは、『ふくしまの未来』で実施した。

(1) 日時 平成30年8月3日(金) 12:45~16:00

(2) 参加者 小学5・6年生31名、引率者29名

(3) 内容

ア 子ども未来会議(ミニ講話・グループワーク)
グループごとのテーマ(4班編制)

「ふくしまの未来の『学校』・『農業』・『商工業』
・『まちづくり』」

イ 発表・意見交換(知事及び教育委員へ)

第5節 調査統計

平成30年度において実施した調査統計事業は、次のとおりである。

1 学校統計要覧

平成30年5月1日現在で調査した「学校基本調査」(指定統計13号)の調査結果及び県独自に実施している進路状況等に関する調査結果に基づき、学校数、児童生徒数、教職員等の基本的事項や県内の中学生・高校生の進路状況等を収録した「学校統計要覧」を作成し、県教委ホームページで公開した。

2 社会教育調査(基幹統計)

この調査は、社会教育行政に必要な社会教育に関する基本的事項を明らかにすることを目的として、文部科学省が実施したものである。

3 地方教育費調査(一般統計)

この調査は、平成29会計年度において、学校教育、社会教育、生涯学習関連及び教育行政における県及び市町村(教育事務組合を含む。)から支出された経費並びに授業料等の収入の実態及び地方教育行政機関の組織等の状況を明らかにし、教育諸施策を検討・立案するための基礎資料を得ることを目的として文部科学省が実施したものである。

4 子供の学習費調査(一般統計)

この調査は、子どもを公立または私立の学校に通わせている保護者が、子どもの学校教育及び学校外活動のために支出した経費並びに世帯の年間収入の実態をとらえることを目的として文部科学省が実施したものである。

5 進路状況等に関する調査

この調査は、中学校・高等学校生徒の進路希望及び卒業後の状況を調査し、進路指導及び高等学校の適正配置計画並びに課程・学科等の整備計画の基礎資料を得ることを目的として県単独調査である。

第6節 教職員の給与

平成30年度の教職員の給与改定については、平成30年10月2日の県人事委員会給与勧告に基づき、給料月額及び諸手当について、平成30年12月県議会及び平成31年2月県議会において、給与条例等の一部改正が提案され、議決・公布された。その概要は、次のとおりである。

1 給料関係

(1) 給料月額(平成30年4月1日適用)

全ての給料表において、若年層に重点を置いて給料月額が引き上げられた。

(2) 給料の調整額

ア 調整基本額(平成30年4月1日適用)

給料月額の改定に伴い、一部の調整基本額が改められた。

イ 勤務公署等(平成31年4月1日施行)

高等学校における通級指導の実施及びふたば未来学園中学校の開校に伴い、適用となる勤務公署等が改められた。

(3) 昇格時号給対応表(平成30年4月1日適用)

給料表の改定に伴い、昇格時号給対応表の一部が改められた。

(4) 降格時号給対応表(平成30年4月1日適用)

給料表の改定に伴い、降格時号給対応表の一部が改められた。

(5) 昇格及び降格の基準(平成31年3月25日施行)

特2級に係る昇格及び降格の基準が定められた。

(6) 等級別職務表(平成31年4月1日施行)

特2級に係る等級別基準職務表に掲げる職務と同程度の職務が定められた。

(7) 年令別最低保障給基準(平成31年4月1日適用)

技能労務職給料表の適用を受ける職員の年令別最低保障給基準表等が改められた。

2 諸手当関係

(1) 扶養手当(平成31年4月1日適用)

配偶者及び父母等の手当額が次のとおり改められた。

区 分		手当額
配偶者	行政職給料表7級以下相当	6,500円
	行政職給料表8級以上相当	3,500円
子		各10,000円
特定期間にある子の加算額		各5,000円
父母等	行政職給料表7級以下相当	各6,500円
	行政職給料表8級以上相当	各3,500円

(2) 通勤手当(平成31年4月1日適用)

自動車等交通用具使用者の手当額が次のとおり改められた。

片道の 自動車等の 使用距離	手当額	
	自動車	自動車以外の原動機付きの交通用具
2km以上 4km未満	2,600円	2,000円
4km以上 6km未満	4,000円	2,000円
6km以上 8km未満	5,300円	2,700円
8km以上 10km未満	6,600円	3,300円
10km以上 12km未満	7,900円	4,000円
12km以上 14km未満	9,200円	4,600円
14km以上 16km未満	10,600円	5,300円
16km以上 18km未満	11,900円	6,000円
18km以上 20km未満	13,200円	6,600円
20km以上 22km未満	14,500円	7,300円
22km以上 24km未満	15,900円	8,000円
24km以上 26km未満	17,200円	8,600円
26km以上 28km未満	18,500円	9,300円
28km以上 30km未満	19,800円	9,900円

片道の 自動車等の 使用距離	手当額	
	自動車	自動車以外の原動 機付きの交通用具
30km 以上 32km 未満	21,100 円	10,600 円
32km 以上 34km 未満	22,500 円	11,300 円
34km 以上 36km 未満	23,800 円	11,900 円
36km 以上 38km 未満	25,100 円	12,600 円
38km 以上 40km 未満	26,400 円	13,200 円
40km 以上 45km 未満	29,300 円	14,700 円
45km 以上 50km 未満	31,900 円	16,000 円
50km 以上 55km 未満	34,700 円	17,400 円
55km 以上 60km 未満	37,100 円	18,600 円
60km 以上 65km 未満	39,000 円	19,500 円
65km 以上 70km 未満	42,000 円	21,000 円
70km 以上 75km 未満	45,000 円	22,500 円
75km 以上 80km 未満	48,000 円	24,000 円
80km 以上 85km 未満	50,900 円	25,500 円
85km 以上 90km 未満	53,900 円	27,000 円
90km 以上 95km 未満	56,900 円	28,500 円
95km 以上	59,900 円	30,000 円

(3) 特殊勤務手当

ア 支給対象（平成 31 年 4 月 1 日適用）

ふたば未来学園中学校の開校に伴い、支給対象となる職等が改められた。

イ 支給額

（平成 30 年 4 月 1 日（※1）、平成 31 年 4 月 1 日（※2）適用）

夜間特殊業務手当について、次のとおり改められた。

区 分	手当額
寄宿舎等に宿泊する児童、生徒の指導監督及び寄宿舎等の管理業務	
農作物の栽培又は家畜の飼育に関して行う実習を伴うもの	勤務 1 回 7,400 円（※1）
上記以外のもの	勤務 1 回 6,100 円（※2）

(4) へき地手当等（平成 31 年 4 月 1 日適用）

市町村立学校の統廃合等に伴い、へき地学校等の級別区分が改められた。

第 7 節 附属機関等

1 福島県社会教育委員の会議

根拠法令

社会教育法（昭和 24 年法律第 207 号）第 15 条並びに福島県社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期に関する条例（昭和 24 年福島県条例第 56 条）

(5) 宿日直手当（平成 31 年 4 月 1 日適用）

勤務の区分及び支給額が次のとおり改められた。

勤務の区分	手当額	
	宿日直勤務 （5 時間未満 の勤務除く）	5 時間未満の 宿日直勤務
本来の勤務に従事しないで行う庁舎、校舎、設備、備品、書類等の保全、外部との連絡、文書の収受、庁舎又は校舎の監視等を目的とする勤務	5,300 円	2,650 円
高等学校、中学校及び特別支援学校の寄宿舎における児童、生徒の生活指導等のための定時的巡視等を目的とする勤務	6,100 円	3,050 円

(6) 期末・勤勉手当（平成 30 年 12 月 1 日適用）

支給割合が次のとおり改められた。

◎一般職員

	区分	6 月期	12 月期	年間支給割合	
改正前	期末手当	1.225 ヶ月	1.325 ヶ月	2.55 ヶ月	計
	勤勉手当	0.90 ヶ月	0.90 ヶ月	1.80 ヶ月	4.35 ヶ月
改正後 (30 年度)	期末手当	1.225 ヶ月	1.325 ヶ月	2.55 ヶ月	計
	勤勉手当	0.90 ヶ月	0.95 ヶ月	1.85 ヶ月	4.40 ヶ月
(31 年度)	期末手当	1.275 ヶ月	1.275 ヶ月	2.55 ヶ月	計
	勤勉手当	0.925 ヶ月	0.925 ヶ月	1.85 ヶ月	4.40 ヶ月

◎特定幹部職員

	区分	6 月期	12 月期	年間支給割合	
改正前	期末手当	1.025 ヶ月	1.125 ヶ月	2.15 ヶ月	計
	勤勉手当	1.10 ヶ月	1.10 ヶ月	2.20 ヶ月	4.35 ヶ月
改正後 (30 年度)	期末手当	1.025 ヶ月	1.125 ヶ月	2.15 ヶ月	計
	勤勉手当	1.10 ヶ月	1.15 ヶ月	2.25 ヶ月	4.40 ヶ月
(31 年度)	期末手当	1.075 ヶ月	1.075 ヶ月	2.15 ヶ月	計
	勤勉手当	1.125 ヶ月	1.125 ヶ月	2.25 ヶ月	4.40 ヶ月

目的

社会教育に関する諸計画を立案するとともに教育委員会の諮問に応じ、意見を述べたり必要な研究調査を行ったりし、社会教育に関して教育長を経て教育委員会に助言する。

(1) 福島県社会教育委員

任期 平成 30 年 6 月 20 日～ 令和 2 年 6 月 19 日

区分	氏名	役職名	備考
学校教育関係者	高橋 澄子	小学校長会（新地町立新地小学校長）	
	大和田 康夫	中学校長会（本宮市立本宮第一中学校長）	
	吉津 三千彦	高等学校長会（福島県立福島南高等学校長）	
社会教育関係団体の関係者	黒田 知恵子	福島県公民館連絡協議会会長	
	中島 功	福島県市町村社会教育委員連絡協議会顧問	
	齋藤 裕子	福島県 P T A 連合会母親代表理事	
	石川 美知	福島県婦人団体連合会評議員	
	山岸 敦子	ガールスカウト福島県連盟長	
	齋藤 雄一郎	福島県商工会連合会	副議長
	清水 国明	N P O 法人明日飛子ども自立の里理事長	
家庭教育関係者	星 尚子	福島県家庭教育インストラクター連絡協議会理事	
学識関係者	木暮 照正	福島大学地域創造支援センター教授	議長
	前川 直哉	福島大学総合教育研究センター特任准教授	
	本多 環	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授	
公募	佐藤 房枝	農業	
	大友 靖子	主婦	

(2) 定例会の開催

ア 第 1 回定例会

(ア) 日時 平成 30 年 7 月 17 日（火）

(イ) 場所 杉妻会館 3 階「百合」

(ウ) 内容

a 報告事項

平成 30 年度社会教育に関する主要施策・事業の概要について

b 審議事項

福島県社会教育委員の会議のあり方について
地域と学校の連携のあり方について

イ 第 2 回定例会

(ア) 日時 平成 31 年 2 月 19 日（火）

(イ) 場所 杉妻会館 3 階「鈴蘭」

(ウ) 内容

a 報告事項

平成 30 年度社会教育関係事業報告について
平成 31 年度社会教育関係主要施策・事業（案）について

b 審議事項

地域と学校の連携・協働のあり方について

2 福島県文化財保護審議会

(1) 福島県文化財保護審議会委員

任期 平成 29 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日

氏名	所属等	担当分野	備考
阿部 俊夫	元郡山女子大学短期大学部准教授・地方史研究協議会	古文書、歴史資料	
荒木 志伸	山形大学基盤教育院准教授・東北史学会・日本考古学協会	考古資料、史跡、埋蔵文化財	
伊藤 喜良	（福島大学名誉教授）・日本経済大学非常勤講師・歴史学研究会 ・東北史学会・日本史研究会	古文書(中世)・書跡・典籍	会長
懸田 弘訓	会津大学非常勤講師・民俗芸能学会・福島県民俗学会・ 日本民俗音楽学会	有・無形民俗文化財	副会長
狩野 勝重	元日本大学教授・工学博士・日本建築学会・ 伝統建築文化推進協議会・文化財景観保全調査室（個人事務所）	建造物・伝統的建造物群	
佐藤 琴	山形大学学術研究院准教授・美術史学会・国際浮世絵学会	絵画	

氏名	所属等	担当分野	備考
永広 昌之	東北大学総合学術博物館・東北大学名誉教授・日本地質学会・日本古生物学会・地学団体研究会・日本博物科学会	天然記念物（地質鉱物、古生物）	
鈴木 俊行	（公財）福島県都市公園・緑化協会福島空港公園事務所長・樹木医学会・日本造園学会・日本桜学会	天然記念物（植物）	
高橋 あけみ	仙台市博物館主幹・美術史学会・漆工史学会・茶の湯文化学会	工芸品・染織	
竹原 明秀	岩手大学教授・日本生態学会・植生学会・日本植物学会	天然記念物（植生）	
辻 秀人	東北学院大学教授・日本考古学協会・福島県考古学会・全日本博物館学会	考古資料・史跡・埋蔵文化財	
塘 忠顕	福島大学教授・日本動物学会・日本昆虫学会・日本発生生物学会	天然記念物（動物）	
藤井 英二郎	（千葉大学名誉教授）・日本庭園学会・日本造園学会	史跡・名勝（庭園）	
守谷 早苗	福島市史編纂室（嘱託員）・東北史学会・国史談話会	歴史資料	
若林 繁	元東京家政大学教授・美術史学会	彫刻	

(2) 会議

ア 第1回審議会

- (ア) 期日 平成30年10月15日(木)
- (イ) 場所 福島県本庁舎3階 商労文教委員室
- (ウ) 内容
 - a 福島県指定文化財候補等の審議

イ 第2回審議会

- (ア) 期日 平成31年2月13日(水)
- (イ) 場所 福島県庁西庁舎9階 教育委員室
- (ウ) 内容
 - a 福島県指定文化財候補等の審議
 - b 新たな県指定文化財の候補について

第8節 市町村教育委員会

1 概要

本県の市町村教育委員会数は、平成30年5月1日現在、13市46町村1組合の計60である。

県教育委員会は、市町村教育委員会連絡協議会、都市教育長協議会、町村教育長協議会等との密接な連絡、連携のもとに、教育行政の適正な事務の執行と管理に努めている。

2 組織

平成30年5月1日現在、県内各市町村教育委員会の委員長及び教育長は次のとおりである。

教育委員会名	委員長・職務代理者	教育長
県北(8)		
福島市	佐藤 玲子	本間 稔
伊達郡川俣町	戸田 文士	佐久間裕晴
伊達市	高野 保夫	菅野 善昌
伊達郡桑折町	柴田 宣広	会田 智康
伊達郡国見町	高橋 幸子	岡崎 忠昭
二本松市	佐藤 英之	丹野 学
安達郡大玉村	伊藤 忠和	佐藤 吉郎
本宮市	谷 明子	青田 誠
県中(12)		
郡山市	阿部 亜巳	小野 義明
須賀川市	深谷 敬一	柳沼 直三
岩瀬郡鏡石町	力丸 次雄	高原孝一郎
岩瀬郡天栄村	小針 克彦	久保 直紀

石川郡石川町	有松 良治	田口 和憲
石川郡玉川村	大木 孝行	鈴木 文雄
石川郡平田村	上遠野泰基	吾妻 幹廣
石川郡浅川町	岡田 初明	内田 賢壽
石川郡古殿町	水野 悦男	矢吹 伸一
田村市	増田 英子	飯村 新市
田村郡三春町	武地 優子	高橋 正美
田村郡小野町	大千里義市	西牧 裕司
県南(9)		
白河市	金子 英昭	星 浩次
西白河郡西郷村	勝又千賀子	鈴木 且雪
西白河郡中島村	水野谷剛夫	面川 三雄
西白河郡矢吹町	水戸 勘十	栗林 正樹
西白河郡泉崎村	山田 睦子	杉田久美子
東白川郡棚倉町	松本 一夫	松本 市郎
東白川郡塙町	星 春美	秦 公男
東白川郡矢祭町	益子 敬	古張 金一
東白川郡鮫川村	青戸 義之	奥貫 洋

教育委員会名	委員長・職務代理者	教 育 長
会津(13)		
会津若松市	秋月 淳子	本田 樹
耶麻郡磐梯町	南部あゆみ	田中 靖則
耶麻郡猪苗代町	鈴木 兵市	宇南山忠明
喜多方市	武藤 修吉	大場 健哉
耶麻郡北塩原村	斎藤 弘幸	鈴木 力雄
耶麻郡西会津町	(欠 員)	江添 信城
河沼郡会津坂下町	渡辺 秀一	鈴木 茂雄
河沼郡湯川村	伊藤 幸喜	五十嵐長孝
河沼郡柳津町	鈴木 礼	目黒健一郎
大沼郡会津美里町	小関れい子	新田 銀一
大沼郡三島町	阿部 和彦	坂内 洋二
大沼郡金山町	山口 京子	滝沢 敬樹
大沼郡昭和村	本名 敬	本名 幸平
南会津(5)		
南会津郡南会津町	渡部 謙一	星 英雄
南会津郡下郷町	白石 光史	星 敏恵
南会津郡檜枝岐村	星 賢二	平野 信之
南会津郡只見町	角田 行雄	渡部 早苗
南会津地方広域市町村圏組合	(欠 員)	星 英雄
相双(12)		
相馬郡新地町	高崎 義典	佐々木孝司
相馬市	宗形 明子	堀川 利夫
南相馬市	大石 力彌	大和田博行
相馬郡飯館村	佐藤 眞弘	中井田 榮
双葉郡浪江町	今野 秀則	畠山熙一郎
双葉郡葛尾村	松本 敬一	小野田敏之
双葉郡双葉町	大久保敏己	舘下 明夫
双葉郡大熊町	嶋貫 光喜	武内 敏英
双葉郡富岡町	関本 征司	石井 賢一
双葉郡川内村	秋元 優子	秋元 正
双葉郡檜葉町	宇佐神正道	青木 洋
双葉郡広野町	根本 修行	松本 正人
いわき(1)		
いわき市	馬目 順一	吉田 尚

3 平成30年度市町村教育委員会援助指導の概要

県教育委員会は、市町村教育委員会教育長会議、新任教育委員研修会を開催して助言指導を行うとともに、教育行政関係の諸資料等を配布して県内市町村教育委員会への援助に努めた。

(1) 平成30年度福島県市町村教育委員会教育長会議

ア 主催 福島県教育委員会

イ 期日 平成30年4月10日(火)
ウ 会場 本庁舎5階 正庁
エ 出席者 市町村教育委員会教育長 59名
オ 内容

平成30年度教育庁各課(室)・所の重点施策の説明

(2) 平成30年度福島県市町村教育委員会新任教育委員研修会

ア 主催 福島県市町村教育委員会連絡協議会
福島県教育委員会

イ 期日 平成30年11月19日(月)

ウ 会場 本庁舎5階 正庁

エ 参加者

平成29年11月22日から平成30年9月30日の間に任命された委員及び、それ以前に就任し未参加の委員30名
オ 内容

○講話

・演題 「教育委員に期待するもの」

・講師 福島県教育委員会教育長 鈴木 淳一

○講話

・演題 「教育委員に求められる構えと職責」

・講師 元福島県市町村教育委員会連絡協議会副会長
藤田 克彦

○講義

・演題 「教育委員会の組織と運営について」

・講師 福島県教育庁職員課管理主事 吉田 圭輔

第9節 職員団体との話合い

平成30年度における「福島県教職員組合」「福島県高等学校教職員組合」「福島県立高等学校教職員組合」「福島県学校事務労働組合」との話合いのうち、主なものは次のとおりである。

1 福島県教職員組合

(1) 平成30年4月26日

ア 再任用職員の待遇改善等について
イ 臨時的任用職員、非常勤職員の待遇改善について
ウ 講師不足について
エ 県独自の学力調査について
オ 家庭学習スタンダードについて
カ 除染廃棄物の搬出について
ケ 休暇制度について
コ 教職員の多忙化解消について

(2) 平成30年11月8日

ア 人事委員会勧告等について
イ 学校事務の共同連携等について
ウ 再任用について
エ 会計年度任用職員制度について
オ 講師不足について
カ 人事異動について
キ 高校生のための栄養教室について
ク 休暇制度について
ケ 教職員の多忙化解消について
コ 県独自の学力調査について

(3) 平成 30 年 11 月 26 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 部活動、特設クラブに関する協議会について
- ウ 再任用について
- エ 休暇制度について
- オ 学校事務職員の研修について
- カ 県民健康調査等に係る負担について
- キ 臨時的任用職員の処遇改善について
- ク ふくしま学力調査について
- ケ 教職員の多忙化解消について

2 福島県高等学校教職員組合

(1) 平成 30 年 4 月 27 日

- ア 県立高等学校改革計画について
- イ 30人学級編制等について
- ウ 特別支援教育の環境整備について
- エ 人事評価制度について
- オ 諸手当について
- カ 実習助手単独の引率等について
- キ 教員採用について
- ク 教職員の多忙化解消について
- ケ 休暇制度について

(2) 平成 30 年 11 月 12 日

- ア 人事委員会勧告について
- イ 高齢層等の給与について
- ウ 諸手当について
- エ 人事評価制度について
- オ 高速道路利用基準について
- カ 教員採用について
- キ 休暇制度について
- ク ハラスメント対策について

(3) 平成 30 年 11 月 27 日

- ア 県立高等学校改革実施計画について
- イ 30人学級編制等について
- ウ 養護教諭、学校司書等の配置について
- オ 特別支援の教室不足解消について
- カ 旅費、需用費の確保について
- キ 通級指導について
- ク 教育環境の充実について
- ケ 教職員の多忙化解消について
- コ 休暇制度について

3 福島県立高等学校教職員組合

(1) 平成 30 年 4 月 27 日

- ア 宿日直手当について
- イ 会計年度任用職員制度の導入等について
- ウ 校舎等の維持・修繕について
- エ 新聞購入費について
- オ エアコン設置について
- カ 特別支援学校の教育の充実について
- キ 教職員の多忙化解消について

(2) 平成 30 年 11 月 12 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ モニタリングポストについて
- ウ ハラスメントへの対応等について
- エ 臨時的任用職員の待遇改善について

(3) 平成 30 年 11 月 27 日

- ア 会計年度任用職員制度の導入等について
- イ 人事評価制度について
- ウ モラルハラスメントについて
- エ 人事公募制度について
- オ 再任用について
- カ モニタリングポストについて
- キ エアコン設置について
- ク 障がい者雇用について
- ケ 臨時的任用職員の待遇等について
- コ 教職員の多忙化解消について

4 福島県学校事務労働組合

(1) 平成 30 年 4 月 26 日

- ア 主任主査の拡大について
- イ 学校事務の共同連携について
- ウ 在職者調整の救済措置について
- エ 公務貢献について
- オ 再任用について
- カ 離任式の実施日について
- キ 人事評価について

(2) 平成 30 年 11 月 8 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 主任主査の拡大について
- ウ 学校事務の共同連携について
- エ 公務貢献について
- オ 職員の配置について
- カ 再任用について
- キ 職員の採用について
- ク 臨時的任用職員の待遇改善について
- ケ 多忙化解消について

(3) 平成 30 年 11 月 26 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 主任主査の拡大について
- ウ 学校事務の共同連携について
- エ 公務貢献について
- オ 職員の配置について
- カ 臨時的任用職員の待遇改善について
- キ 再任用について
- ク 多忙化解消について

第 10 節 不利益処分審査請求事件及び損害賠償等請求事件

1 不利益処分審査請求事件

平成 31 年 3 月 31 日現在、不利益処分審査請求事件として審理中のものは 2 件、平成 30 年度中に終結したものは、1 件及び請求取下げが 1 件であり、その概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請求の内容	請求者	備考
公文書開示一部開示決定取消請求事件	平 29. 10. 31	平 29. 8. 27 付で請求のあった公文書の一部開示決定処分についてその取消及び変更を請求	当該公文書開示請求人	書面審理中
退職手当支給制限処分取消請求事件	平 29. 12. 19	平 29. 10. 20 付退職手当支給制限処分についてその取消を請求	元公立小学校 教員	書面審理中
懲戒処分取消請求事件	平 30. 1. 17	平 29. 10. 20 付退職手当支給制限処分についてその取消を請求	元公立小学校 教員	終結 平 31. 2. 26 棄却
懲戒処分取消請求事件	平 30. 2. 1	平 29. 12. 15 付懲戒処分についてその取消を請求	元公立小学校 教員	請求取下げ

2 損害賠償等請求事件

平成 31 年 3 月 31 日現在、損害賠償等請求等事件として係属中のものは 3 件であり、その概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請求の内容	請求者	備考
安全な場所で教育を受ける権利の確認等請求事件	平 26. 8. 29 平 27. 1. 14 平 28. 5. 10	安全な場所で教育を受けることができる権利の確認等	県内住民 多数	係属中
損害賠償請求事件	平 29. 6. 6	義務教育無償とする施策を策定・実施していないという不作為を違法事由として損害賠償を請求	県内住民	係属中
損害金請求事件	平 30. 9. 21	原告に指導改善研修を実施した事は、裁量権を逸脱・濫用しており、原告に精神的損害を与えたとして損害金を請求	公立中学校 教員	係属中

第 11 節 公益法人等の指導等並びに公益信託の状況

1 公益法人等

平成 31 年 3 月 31 日現在、県教育委員会の所管に属する公益法人等は 50 法人である。

各法人から事業報告書・収支決算書、事業計画書、収支予算書等の提出を求めた。

法人ごとの内訳は下表のとおり。

法人種別	所管する法人数	平成 30 年度に公益法人又は一般法人に移行した法人数
公益財団法人	26	1
公益社団法人	2	0
一般財団法人	18	0
一般社団法人	3	0
特例民法法人	1	-
計	50	1

2 公益信託

平成 31 年 3 月 31 日現在、県教育委員会の所管に属する公益信託は 3 件である。

なお、平成 30 年度新たに引き受けを許可した公益信託はない。

第12節 表彰及び叙勲

平成30年度教育・文化関係表彰式は、11月1日(木)とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)、平成31年2月6日(水)杉妻会館において、それぞれ厳粛のうちにも盛大に行われた。

また、文部科学大臣による地方教育行政功労者表彰式は10月12日(金)に文部科学省講堂において、また、教育者表彰式は11月30日(金)、文部科学省講堂において、それぞれ行われた。

1 教育・文化関係表彰

(1) 地方教育行政功労者(5名)

(前)二本松市教育委員会委員長	宮前 貢
(前)鏡石町教育委員会教育長	高原孝一郎
(前)喜多方市教育委員会教育長	芳賀 忠夫
(前)只見町教育委員会教育長	齋藤 修一
広野町教育委員会委員	猪狩 順子

(2) 学校教育功労者(16名)

福島市立福島第三小学校長	小関 明善
伊達郡桑折町立醸芳小学校長	木村 政文
福島市立福島第一中学校長	伊藤 隆幸
郡山市立郡山第三中学校長	荻野 由則
石川郡石川町立石川中学校長	小玉 陽彦
白河市立白河第一小学校長	大杉 和規
東白川郡棚倉町立棚倉中学校長	永山 美雄
南会津郡南会津町立田島中学校長	馬場 俊忠
双葉郡浪江町立浪江小学校長	遠藤 和雄
南相馬市立原町第一中学校長	梅田 善幸
いわき市立平第一小学校長	伊達多津也
福島県立安積高等学校長	渡辺 昇
福島県立会津高等学校長	山内 正之
福島県立原町高等学校長	佐川 尚史
福島県立大笹生支援学校長	片寄 一
福島県教育庁理事兼教育次長	大沼 博文

(3) 社会教育関係

ア 社会教育功労者(3名)

白河市社会教育委員	今野登志子
(前)喜多方市社会教育指導員	高橋 明子
ガールスカウト福島県連盟連盟長	山岸 敦子

イ 功績顕著な団体・施設(3団体・3施設)

〈社会教育団体〉

磐梯町立磐梯第一小学校父母と教師の会
レディースニューライフ
只見町立明和小学校PTA

〈社会教育施設〉

須賀川市岩瀬公民館
会津若松市生涯学習総合センター
猪苗代町図書歴史情報館

(4) 文化財保護関係

ア 文化財保護功労者(1名)

田村市文化財保護審議会委員	若松富士雄
---------------	-------

イ 功績顕著な団体(1団体)

石陽史学会

(5) 学校体育・学校保健関係

ア 学校保健功労者(3名)

福島県立福島高等学校学校歯科医	渡邊 一民
福島市立平野小学校長	重巢 吉美
喜多方市立塩川小学校栄養教諭	長嶺恵美子

イ 功績顕著な施設(1施設)

只見町学校給食センター

(6) へき地教育関係

ア へき地教育功労者(2名)

耶麻郡猪苗代町立翁島小学校長	星 善樹
会津若松市立大戸中学校長	馬場 勇

イ 功績顕著な団体(1団体)

相馬郡飯館村立飯館中学校

(7) 特別支援教育関係

ア 特別支援教育功労者(2名)

(前)福島県特別支援教育振興会会長	柳沼 穹壹
(前)福島県立平支援学校看護師	鈴木志保子

(8) 永年勤続関係

	小学校	中学校	県立学校	教育庁	計
校長	31	13	14		58
教頭	42	19	15		76
教員	324	226	183		733
計	397	258	212	15	882

(9) 特別功績者

ア 児童・生徒(団体)の部(7団体)

- 福島市立野田小学校マーチングバンドクラブ
- 白河市立白河第一小学校特設器楽クラブ
- 郡山市立郡山第五中学校合唱部
- 猪苗代町立猪苗代中学校男子バドミントン部
(富岡町立富岡第一中学校男子バドミントン部)
- 猪苗代町立猪苗代中学校女子バドミントン部
(富岡町立富岡第一中学校女子バドミントン部)
- 郡山高等学校合唱部
- ふたば未来学園高等学校女子バドミントン部

イ 優秀教職員の部(21名)

国見町立国見小学校	教諭	阿部 淳子
郡山市立開成小学校	教諭	齋藤 信夫
郡山市立薫小学校	教諭	高橋久美子
白河市立白河第三小学校	教諭	江花 洋介
西郷村立小田倉小学校	教諭	鈴木恵美子
喜多方市立塩川小学校	教諭	五ノ井達也

いわき市立平第五小学校 教 諭 平子 真紀
 郡山市立郡山第一中学校 教 諭 折笠健二郎
 古殿町立古殿中学校 教 諭 井谷 定雄
 三春町立岩江中学校 教 諭 海老原 篤
 喜多方市立塩川中学校 教 諭 橋谷田 亨
 会津美里町立高田中学校 教 諭 横山 永哉
 南会津町立荒海中学校 教 諭 星 美和
 只見町立只見中学校 主 査 梁取 勝伸
 新地町立尚英中学校 教 諭 田野入秀浩
 檜葉町立檜葉中学校 教 諭 松本 涼一
 いわき市立植田中学校 教 諭 吉田 裕
 福島県立安積黎明高等学校 教 諭 遠藤 喜光
 福島県立会津学鳳高等学校 教 諭 雪下 良治
 福島県立湯本高等学校 教 諭 鈴木美加子
 福島県立大笹生支援学校 教 諭 二階堂俊介

ウ 優秀教職員(団体)の部(1団体)

只見町立朝日小学校

2 文部科学大臣表彰

(1) 地方教育行政功労者表彰(5名)

(前)中島村教育委員会教育長 佐藤 正敏
 飯舘村教育委員会委員 佐藤 眞弘
 矢祭町教育委員会委員 片野 宗和
 (前)伊達市教育委員会教育長 湯田 健一
 (前)会津美里町教育委員会教育長 佐治 和則

(2) 教育者表彰(3名)

福島県立安積高等学校長 渡辺 昇
 南相馬市立原町第一中学校長 梅田 善幸
 桑折町立醸芳小学校長 木村 政文

3 春・秋・高齢者叙勲、死亡叙位・叙勲

(1) 平成30年春の叙勲

ア 瑞宝双光章

神田 紀(教育功労 元福島市立岳陽中学校長)
 遠藤 和夫(教育功労 元いわき市立小名浜第一小学校長)
 藤田 克彦(教育功労 元白河市立白河第二小学校長)
 今野 滋子(教育功労 元福島市立福島第四小学校長)
 日下 幸雄(教育功労 元会津若松市立第二中学校長)
 下山田和順(教育功労 元いわき市立平第三小学校長)
 伊藤 末吉(教育功労 元二本松市立二本松第一中学校長)
 秋山 茂(教育功労 元いわき市立平第三中学校長)

(2) 平成30年秋の叙勲

ア 瑞宝小綬章

三島 信幸(教育功労 元福島県立原町高等学校長)
 佐藤 彦一(教育功労 元福島県立安積黎明高等学校長)
 湊 耕一郎(教育功労 元福島県立橋高等学校長)
 鈴木 弘文(教育功労 元福島県立磐城高等学校長)

イ 瑞宝双光章

富岡 高春(教育功労 元石川町立石川中学校長)
 田崎 敬修(教育功労 元喜多方市立第一小学校長)

室井 君男(教育功労 元福島市立森合小学校長)
 土屋 重憲(教育功労 元猪苗代町立猪苗代中学校長)

(3) 高齢者叙勲(平成30年4月1日～平成31年3月1日発令)

ア 瑞宝小綬章(教育功労)

鈴木 輝男(元福島県立耶麻農業高等学校長)
 横山 元雄(元福島県立双葉農業高等学校長)
 釜野井真一(元福島県立平工業高等学校長)
 五十嵐庸夫(元福島県立白河女子高等学校長)

イ 瑞宝双光章(教育功労)

國分 一夫(元本宮町立本宮小学校長)
 白石 信雄(元矢祭町立内川小学校長)
 堀江富美翁(元棚倉町立高野小学校長)
 鈴木 博(元いわき市立宮小学校長)
 本田雄一郎(元福島市立飯坂小学校長)
 青山 清男(元会津若松市立行仁小学校長)
 角田 利朗(元天栄村立天栄中学校長)
 齋藤 松雄(元福島県立福島明成高等学校学校医)
 坂本 守正(元福島市立笹谷小学校長)
 三瓶 積善(元大越町立大越中学校長)
 秋葉 芳吉(元国見町立藤田小学校長)
 菊地 隆夫(元玉川村立泉中学校長)
 小松 眞(元いわき市立平第五小学校長)
 佐藤 幹夫(元河東町立河東中学校長)
 白石 光雄(元塙町立那倉小学校長)
 白土 信美(元いわき市立泉中学校長)
 夏井 宏治(元三春町立中郷小学校長)
 油坐 三治(元いわき市立湯本第一中学校長)
 蓬田 文雄(元須賀川市立第三中学校長)
 伊藤 集三(元いわき市立高坂小学校長)
 内田 宗壽(元浅川町立浅川小学校長)
 遠藤 四郎(元郡山市立郡山第五中学校長)
 浮内 彰(元小野町立小野新町小学校長)
 大平 喜好(元いわき市立夏井小学校長)
 鈴木 茂(元いわき市立好間第一小学校長)
 鈴木 實(元いわき市立豊間小学校長)
 獨鈷 元夫(元会津若松市立湊中学校長)
 眞壁 正(元会津坂下町立広瀬小学校長)
 松本 昭五(元船引町立移小学校長)
 有賀 究(元平田村立小平小学校長)
 海上 彰(元福島市立平野中学校長)
 北村 光男(元白河市立白河中央中学校長)
 君 佳明(元会津若松市立門田小学校長)
 草野 文弥(元いわき市立勿来第一小学校長)
 小針 信喜(元西郷村立西郷第一中学校長)
 齋藤 豊一(元西会津町立西会津中学校長)
 遠藤 康代(元安達町立上川崎小学校長)
 笠間 富久(元柳津町立柳津小学校長)
 川村 名(元いわき市立植田小学校長)
 田中 宗光(元会津高田町立永井野小学校長)
 村上 武(元福島市立北沢又小学校長)

佐藤 惠 (元福島市立森合小学校長)
 鈴木 宏平 (元いわき市立小名浜東小学校長)
 宮内 壽雄 (元いわき市立小名浜第一中学校長)
 遠藤 忠藏 (元福島市立岳陽中学校長)
 片山 俊雄 (元新鶴村立新鶴小学校長)
 小野 賢男 (元いわき市立湯本第三中学校長)
 佐藤 光之 (元いわき市立磐崎中学校長)
 白岩 清 (元船引町立船引小学校長)
 福本 分吾 (元いわき市立藤原小学校長)

(4) 死亡叙位・叙勲

《平成 30 年度》

ア 従五位・瑞宝小綬章

永井 祥一 (元福島県立福島北高等学校長)
 堀金 敏幸 (元福島県立郡山商業高等学校長)
 佐藤 正 (元福島県立須賀川女子高等学校長)

イ 従五位・瑞宝双光章

宗形 邦夫 (元福島市立清水小学校長)

ウ 従五位

佐藤 禎助 (元福島県立白河高等学校長)
 富永 三郎 (元福島県立小名浜水産高等学校長)
 神野 忠雄 (元郡山市立郡山第一中学校長)
 引地 尚馨 (元月舘町立月舘小学校長)
 齋藤 重保 (元福島県立小高工業高等学校長)
 佐藤 信久 (元福島県立磐城高等学校長)
 寺岡 利雄 (元小高町立小高小学校長)
 柿沼 良訓 (元福島県立磐城女子高等学校長)

エ 正六位・瑞宝双光章

渡邊 時敏 (元郡山市立永盛小学校長)
 野地 松男 (元郡山市立郡山第七中学校長)
 塚本 文雄 (元いわき市立湯本第一中学校長)
 山野邊信子 (元いわき市立玉川中学校長)
 安田 茂 (元福島市立福島第二中学校長)
 志賀 哲 (元新地町立尚英中学校長)
 阿部 武市 (元いわき市立平第五小学校長)
 青木 三郎 (元いわき市立四倉小学校長)
 柳 哲雄 (元白河市立白河第二中学校長)
 渡部 哲夫 (元いわき市立湯本第三中学校長)
 田中 隆 (元郡山市立郡山第一中学校長)
 渡邊 富子

(元国見町梁川町大枝小学校組合立大枝小学校長)

菊地 久男 (元福島市立笹谷小学校長)
 菅田 永 (元郡山市立東芳小学校長)
 渡部健次郎 (元相馬市立桜丘小学校長)
 大竹 道雄 (元須賀川市立大東小学校長)
 立谷 勇祐 (元相馬市立桜丘小学校長)
 和知 重利 (元白河市立五箇中学校長)
 小野 正夫 (元保原町立上保原小学校長)
 高橋 勉 (元郡山市立小山田小学校長)
 三島 好二 (元いわき市立草野中学校長)
 武藤 寛郎 (元二本松市立塩沢小学校長)

新家 義基 (元いわき市立平第二中学校長)
 渡邊 幸典 (元郡山市立橋小学校長)
 佐藤 捷善 (元川俣町立川俣小学校長)

オ 正六位

野村 順 (元福島市立信夫中学校長)
 井戸沼哲夫 (元中島村立滑津小学校長)
 竹内 健 (元二本松市立二本松南小学校長)
 上野 啓次 (元喜多方市立第一小学校長)
 佐藤 晃 (元会津若松市立謹教小学校長)
 若林 五郎 (元本郷町立本郷第一小学校長)
 井関 鉄雄 (元会津若松市立城北小学校長)
 白岩 勇 (元磐梯町立磐梯第一小学校長)
 小泉 勾一 (元郡山市立多田野小学校長)
 佐藤 幹夫 (元河東町立河東中学校長)

カ 従六位・瑞宝双光章

太田 勝弘 (元原町市立原町第二小学校長)
 桑名 莞爾 (元田島町立荒海小学校長)
 溝井 力男 (元西郷村立西郷第二中学校長)
 山内 源二 (元会津若松市立第五中学校長)
 三浦 光孝 (元相馬市立中村第一中学校長)
 山内 卓雄 (元只見町立只見小学校長)

キ 従六位

瀬谷 宏 (元白河市立白河第三小学校長)
 羽田 義光 (元福島市立岳陽中学校長)
 道山 昭次 (元鏡石町立第一小学校長)
 芳賀 北彦 (元いわき市立平第二中学校長)
 宗像 龍雄 (元須賀川市立大東小学校長)
 江川 誠 (元会津坂下町立若宮小学校長)
 菅野八重子 (元新地町立駒ヶ嶺小学校長)
 松本 道夫 (元浪江町立浪江中学校長)

ク 正七位・瑞宝双光章

伊藤 隆生 (元北塩原村立裏磐梯中学校長)

ケ 正七位

齋藤 益三 (元二本松市立二本松第二中学校長)

第 13 節 奨学育英

1 福島県奨学資金

(1) 貸与金額

区 分	貸 与 月 額		
高等学校	国公立	自宅	18,000 円
		自宅外	23,000 円
	私 立	自宅	30,000 円
		自宅外	35,000 円
高等専門学校	18,000 円		
大 学	国公立	35,000 円	
	私 立	40,000 円	
入学一時金 (H25～)	(一括貸与) 500,000 円		

(2) 平成 30 年度の貸与状況

ア 募集期間

(ア) 在学採用

平成 30 年 4 月入学以降～6 月 30 日

(イ) 震災特例採用

平成 30 年 5 月 1 日～7 月 31 日

イ 奨学生決定

(ア) 在学採用

平成 30 年 8 月 10 日 (高等学校)

平成 30 年 8 月 13 日 (大学・高等専門学校)

(イ) 震災特例採用

平成 30 年 9 月 13 日

ウ 貸与状況

区 分	継続貸与	新規貸与		計
		応募者	貸与者	
高等学校 (うち震災特例)	340 人 (178 人)	222 人 (127 人)	214 人 (127 人)	554 人 (305 人)
大 学 高等専門学校	292 人	118 人	91 人	383 人
大学等 入学一時金	—	62 人	48 人	48 人
計	632 人	402 人	353 人	985 人

2 福島県高等学校定時制課程及び通信制課程 修学資金貸与制度

(1) 貸与月額

定時制課程

1～4 学年 14,000 円

通信制課程

1～4 学年 14,000 円

(2) 平成 30 年度の貸与状況

学 年 別	定時制	通信制	計
1 年 生	1 人	0 人	1 人
2 年 生	1 人	0 人	1 人
3 年 生	1 人	0 人	1 人
4 年 生	0 人	0 人	0 人
計	3 人	0 人	3 人

第 3 章 教育財政

第 1 節 平成 30 年度決算

1 歳入

(1) 一般会計

(単位：千円)

款	項	決算額	%
分担金及び負担金		0	0.0
	負担金	0	0.0
使用料及び手数料		4,875,025	9.5
	使用料	4,748,339	9.2
	手数料	126,686	0.3
国庫支出金		39,369,195	76.6
	国庫負担金	28,578,664	55.6
	国庫補助金	10,671,938	20.8
	委託料	118,593	0.2
財産収入		249,249	0.5
	財産運用収入	38,162	0.1
	財産売払収入	211,087	0.4
寄付金		24,686	0.1
	寄付金	24,686	0.1
繰入金		1,715,835	3.3
	特別会計繰入金	0	0.0
	基金繰入金	1,715,835	3.3
諸収入		556,027	1.1
	預金利子	0	0.0
	貸付金元利収入	17,320	0.0
	受託事業収入	244,452	0.5
	収益事業収入	55,309	0.1
	雑入	238,945	0.5
県債		4,577,500	8.9
	県債	4,577,500	8.9
計		51,367,517	100.0

(2) 福島県奨学資金貸付金特別会計

(単位：千円)

款	項	決算額	%
国庫支出金		0	0.0
	国庫補助金	0	0.0
繰入金		143,180	27.4
	一般会計繰入金	139,220	26.6
	基金繰入金	3,960	0.8
繰越金		60,826	11.6
	繰越金	60,826	11.6
諸収入		319,052	61.0
	預金利子	7	0.0
	貸付金元利収入	317,170	60.6
	雑収入	1,875	0.4
財産収入		216	0.0
	財産運用収入	216	0.0
計		523,274	100.0

2 歳出

(1) 県予算に占める教育費

(単位：千円)

区分	当初予算額	%	最終予算額	%	決算額	%
県予算	1,447,211,786	100.0	1,503,800,929	100.0	1,321,776,172	100.0
教育費	230,939,081	16.0	234,465,084	15.6	226,741,935	17.1
教育委員会所管分	202,032,477	14.0	203,202,106	13.5	196,175,652	14.8
知事部局所管分	28,906,604	2.0	31,262,978	2.1	30,566,283	2.3
教育委員会所管分総務費	0	0.0	63	0.0	63	0.0
教育委員会所管分災害復旧費	87,101	0.0	69,776	0.0	63,278	0.0

(最終予算額及び決算額には繰越分を含む)

(2) 教育委員会所管目的別予算及び決算状況

(単位：千円)

区分 (款・項・目)	当初予算額	%	最終予算額	%	決算額	%
総務費	0	0.0	63	0.0	63	0.0
総務管理費	0	0.0	63	0.0	63	0.0
諸費	0	0.0	63	0.0	63	0.0
教育費	202,032,477	100.0	203,202,106	100.0	196,175,652	100.0
教育総務費	26,802,602	13.4	28,599,301	14.1	26,619,530	13.6
教育委員会費	10,060	0.0	9,708	0.0	9,219	0.0
事務局費	4,559,367	2.3	4,514,538	2.2	4,467,684	2.3
財務管理費	1,528,360	0.8	3,440,533	1.7	1,764,839	0.9
義務教育指導費	821,690	0.4	717,089	0.4	680,583	0.3
教職員福利厚生費	17,524,009	8.7	18,319,155	9.0	18,158,125	9.3
育英費	1,533,573	0.8	802,410	0.4	749,576	0.4

区分 (款・項・目)	当初予算額	%	最終予算額	%	決算額	%
恩給及び退職年金費	85,059	0.0	70,384	0.0	69,590	0.0
教育センター費	730,265	0.4	715,265	0.4	709,913	0.4
特別支援教育センター費	10,219	0.0	10,219	0.0	10,001	0.0
小学校費	60,562,441	30.0	60,373,276	29.7	60,321,411	30.7
教職員費	60,562,441	30.0	60,373,276	29.7	60,321,411	30.7
中学校費	39,849,036	19.7	39,220,894	19.3	39,194,012	20.0
教職員費	39,849,036	19.7	39,220,894	19.3	39,194,012	20.0
高等学校費	52,179,098	25.8	54,083,265	26.6	50,267,081	25.6
教職員費	35,766,568	17.7	35,912,474	17.7	35,872,277	18.3
高等学校指導費	1,055,919	0.5	918,020	0.5	873,889	0.4
高等学校管理費	9,420,482	4.7	9,272,185	4.6	8,654,438	4.4
施設等整備費	682,912	0.3	643,274	0.2	639,650	0.3
農業高等学校実習費	191,145	0.1	196,265	0.1	195,237	0.1
水産高等学校実習費	205,541	0.1	193,398	0.1	185,162	0.1
28～31ふたば未来学園中学・高校整備費	4,856,531	2.4	6,947,649	3.4	3,846,428	2.0
27～29実習船福島丸代船建造費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
特別支援学校費	15,739,983	7.7	17,568,890	8.6	16,548,078	8.5
特別支援学校費	1,138,914	0.6	1,385,080	0.7	1,137,102	0.6
教職員費	14,188,564	7.0	13,572,950	6.7	13,545,882	6.9
28～32聴覚支援学校福島校整備費	250,044	0.1	289,903	0.1	168,480	0.1
29～32相馬支援学校整備費	63,120	0.0	2,045,606	1.0	1,555,472	0.8
29～32聴覚支援学校寄宿舎整備費	99,341	0.0	275,351	0.1	141,142	0.1
社会教育費	5,767,013	2.9	2,752,584	1.4	2,642,594	1.3
社会教育総務費	3,467,937	1.7	559,961	0.3	498,638	0.3
図書館費	89,468	0.0	89,335	0.0	88,413	0.0
自然の家費	323,738	0.2	314,792	0.2	310,456	0.2
文化振興費	64,828	0.0	3,000	0.0	3,000	0.0
文化財保護費	518,352	0.3	589,753	0.3	582,451	0.3
美術館費	319,443	0.2	308,913	0.2	277,401	0.1
博物館費	743,352	0.4	646,935	0.3	642,378	0.3
文化財センター費	239,895	0.1	239,895	0.1	239,857	0.1
保健体育費	1,132,304	0.5	603,896	0.3	582,946	0.3
保健体育総務費	249,897	0.1	241,842	0.1	239,718	0.1
学校保健費	250,659	0.1	243,106	0.1	229,626	0.1
体育振興費	631,748	0.3	118,948	0.1	113,602	0.1
災害復旧費	87,101	0.0	69,776	0.0	63,278	0.0
文教施設災害復旧費	87,101	0.0	69,776	0.0	63,278	0.0
公立文教施設災害復旧費	87,101	0.0	69,776	0.0	63,278	0.0
計	202,119,758	100.0	203,271,945	100.0	196,238,993	100.0

(3) 福島県奨学資金貸付金特別会計

(単位：千円)

区分 (款・項・目)	当初予算額	%	最終予算額	%	決算額	%
奨学資金貸付事業費	571,030	100.0	503,734	100.0	491,950	100.0
奨学資金貸付事業費	571,030	100.0	503,734	100.0	491,950	100.0
貸付金	558,467	97.8	491,171	97.5	480,548	97.7
償還金	200	0.0	200	0.0	0	0.0
事務費	12,362	2.2	12,362	2.5	11,402	2.3
一般会計繰出金	1	0.0	1	0.0	0	2.3
計	571,030	100.0	503,734	100.0	491,950	100.0

第2節 学校教育施設

1 県立学校

(1) 学校建設の概要

平成30年5月1日現在の県立学校の現況は、別表のとおりである。全体を構造的に見ると、鉄筋コンクリート造が73.9%、鉄骨その他造が24.4%と非木造建物が98.3%を占めており、木造建物が1.7%となった。

別表 県立学校建物の現況 (H30.5.1) [確定値]

区分		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比
		m ²	%						
校舎	R	5,583	100.0	645,726	85.4	81,872	92.3	733,181	86.2
	S	0	0.0	95,647	12.6	4,454	5.0	100,101	11.8
	W	0	0.0	15,051	2.0	2,345	2.6	17,396	2.0
	計	5,583	100.0	756,424	100.0	88,671	100.0	850,678	100.0
体育館	R	1,297	100.0	24,122	13.7	4,914	44.9	30,338	16.1
	S	0	0.0	151,178	85.8	6,033	55.1	157,211	83.4
	W	0	0.0	937	0.5	0	0.0	937	0.5
	計	1,297	100.0	176,237	100.0	10,952	100.0	188,486	100.0
寄宿舍	R	0	0.0	11,304	98.6	4,664	96.7	15,968	98.0
	S	0	0.0	164	1.4	101	2.1	265	1.6
	W	0	0.0	0	0.0	57	1.2	57	0.3
	計	0	0.0	11,468	100.0	4,822	100.0	16,290	100.0
計	R	6,880	100.0	681,152	72.1	91,455	87.6	779,487	73.9
	S	0	0.0	246,989	26.2	10,588	10.1	257,577	24.4
	W	0	0.0	15,988	1.7	2,402	2.3	18,390	1.7
	計	6,880	100.0	944,129	100.0	104,445	100.0	1,055,454	100.0

R 鉄筋コンクリート造、 S 鉄骨その他造、 W 木造

※一部仮設校舎を使用している学校及び別敷地に仮設建物等を用いて学校を開設しているものについては、除外している。

双葉、浪江、浪江津島校、富岡、双葉翔陽、ふたば未来学園、相馬農業飯館校、富岡支援

※構成比率は小数点第2位以下四捨五入

※特別支援学校には視覚・聴覚支援学校面積を含む

(2) 平成 30 年度事業実績

ア 高等学校施設整備事業

事 項	校数	学 校 名	事 業 費 (決算額)	財 源 内 訳		
				国 庫	県 費	その他
大規模改造事業	9	梁川、安積、郡山北工業、清陵情報、田村、葵、喜多方東、磐城、平工業	千円 557,826	千円 0	千円 502,927	千円 54,899
ふたば未来学園 中学校・高等学校 校整備事業	2	ふたば未来学園中学校、高等学校	千円 4,099,420	千円 2,838,884	千円 1,260,536	千円 0
合 計	11		4,657,246	2,838,884	1,763,463	54,899

イ 特別支援学校施設整備事業

事 項	校数	学 校 名	事 業 費 (決算額)	財 源 内 訳		
				国 庫	県 費	その他
特別支援学校 整備事業	5	聴覚支援、聴覚支援福島校、たむら支援 相馬支援、伊達支援（仮称）	千円 1,961,766	千円 483,253	千円 1,478,513	千円 0

2 幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校（市町村立分）

(1) 構造物保有面積

平成 30 年 5 月 1 日現在 [確定値]

区 分	小学校		中学校		小・中学校計		特別支援学校		幼稚園		
	面 積	構成比	面 積	構成比	面 積	構成比	面 積	構成比	面 積	構成比	
校 舎	R	m ² 1,435,490	% 97	m ² 887,192	% 96	m ² 2,322,682	% 96	m ² 2,528	% 70	m ² 30,646	% 28
	S	30,631	2	21,204	2	51,835	2	1,090	30	45,927	42
	W	20,854	1	15,451	2	36,305	2	0	0	31,645	30
	計	1,486,975	100	923,847	100	2,410,822	100.0	3,618	100	108,218	100
屋 内 運 動 場	R	157,494	43	139,538	54	297,032	48	391	94	0	0
	S	202,310	56	114,515	45	316,825	51	26	6	0	0
	W	3,298	1	1,762	1	5,060	1	0	0	0	0
	計	363,102	100	255,815	100	618,917	100	417	100	0	0
寄 宿 舎	R	65	100	1,821	79	1,886	80	0	0	0	0
	S	0	0	312	14	312	13	0	0	0	0
	W	0	0	172	7	172	7	0	0	0	0
	計	65	100	2,305	100	2,370	100	0	0	0	0
計	R	1,593,049	86	1,028,551	87	2,621,600	87	2,919	72	30,646	28
	S	232,941	13	136,031	12	368,972	12	1,116	28	45,927	42
	W	24,152	1	17,385	1	41,537	1	0	0	31,645	30
	計	1,850,142	100	1,181,967	100	3,032,109	100	4,035	100	108,218	100

R 鉄筋コンクリート造、 S 鉄骨その他造、 W 木造

※一部仮設校舎を使用している学校及び別敷地に仮設建物等を用いて学校を開設しているものについては、除外している。

大熊町、双葉町

※構成比率は小数点以下四捨五入

※各町村立学校の面積等においては、施設台帳管理システムにて入力された内容を参照した。

※義務教育学校については、前期課程専用部分は小学校に、後期課程専用部分は中学校に、共用部分はそれぞれに按分して計上した。

(2) 公立学校施設整備事業（市町村分実績額）

平成 30 年度

区分	単年度		国庫債務負担行為	
	学校数	負担金及び 交付金(千円)	学校数	負担金及び 交付金(千円)
校舎の 新增築	—	—	1	36,632
統合	1	87,085	—	—
不適格建物の 改築	3	357,771	—	—
大規模改造	33	367,676	—	—
地震補強	20	449,601	—	—
地震改築	1	61,711	—	—
公立幼稚園 の新增築	1	40,427	—	—
防災機能強化	5	68,691	—	—
長寿命化改良	2	38,922	—	—
ブロック塀 改修	11	9,577	—	—
計	(延べ校数) 77	1,481,461	(延べ校数) 1	36,632

※対象学校種別：幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校等

第 3 節 産業教育設備整備事業

1 産業教育施設・設備の整備

高等学校産業教育施設・設備等整備

県立高等学校における産業教育のための設備促進を図った。平成 30 年度における実施状況は次のとおりである。

設備

(1) 県単独事業

老朽設備の整備 263,522 千円

第 4 節 理科教育振興法補助事業

平成 30 年度の設備現有状況は次のとおりである。

1 理科設備

学校規模別設備現有状況

平成 31 年 3 月 31 日現在

区分 規模別	学校 数	基準金額	現有金額	現有 率
高校 I	88	9,187,632,000	1,116,881,706	12.2
高校 II	0	0	0	—
小 計	88	9,187,632,000	1,116,881,706	12.2
視覚支援学校	1	170,615,000	5,389,060	3.2
聴覚支援学校	4	149,698,000	9,293,824	6.2
特別支援学校	18	1,033,071,000	36,500,535	3.5
小 計	23	1,353,384,000	51,183,419	3.7

2 算数・数学特別設備

学校規模別設備現有状況

平成 31 年 3 月 31 日現在

区分 規模別	学校 数	基準金額	現有金額	現有 率
高校 I	88	187,252,000	71,777,580	38.3
高校 II	0	0	0	—
小 計	88	187,252,000	71,777,580	38.3
視覚支援学校	1	3,180,000	42,400	1.3
聴覚支援学校	4	5,951,000	616,445	10.4
特別支援学校	18	40,217,000	4,605,870	11.5
小 計	23	49,348,000	5,264,715	10.7

※規模別の高校 I は学級数合計が 27 学級以下、

高校 II は学級数合計が 28 学級以上の学校が対象となり、現在は 28 学級以上の学校は無い。

第 5 節 情報処理設備整備事業

平成 30 年度における事業実施状況は次のとおりである。

1 県単独事業

(1) 教育用コンピュータの整備 83 校（リース・保守）

357,490 千円

(2) 校内 LAN 保守

108 校（特別支援・分校含む）

14,160 千円

第6節 体育施設

1 公立学校施設整備費補助（学校体育諸施設補助）

平成30年度における補助事業実施状況は次のとおりである。

(1) 水泳プール（屋外）

設置者名	施設名	水面積(m ²)	上屋面積(m ²)	交付金額(千円)
会津美里町	新鶴小学校	375	—	47,718
平田村	ひらた清風中学校	325	—	18,316

2 社会体育施設整備費補助

平成30年度における補助事業実施状況は次のとおりである。

(1) 地域スポーツセンター

設置者名	施設名	面積(m ²)	交付金額(千円)
福島市	福島体育館(Ⅱ・Ⅲ期)	2,800	159,643

(2) 地域武道センター

設置者名	施設名	面積(m ²)	交付金額(千円)
福島市	福島市武道館(Ⅱ・Ⅲ期)	1,949	141,961

(3) 社会体育施設耐震化

設置者名	施設名	面積(m ²)	交付金額(千円)
伊達市	保原体育館	2,380	25,399

第4章 教育の情報化

第1節 基盤整備

県立学校、図書館、美術館及び博物館等の教育関係機関が専用イントラネット及び電子メール等のインターネットサービスを利用できるよう、平成11年度から「うつくしま教育ネットワーク」、平成28年度から「ふくしま教育クラウドサービス」を運用し利便性の維持・向上を図っている。

平成30年度は、これまで県教育センターで運用してきたうつくしま教育ネットワークのシステム基盤を民間事業者のデータセンターを活用して運用する方針とし、新たに県立教育機関向けのネットワーク「FACE (Fukushima Advanced Cloud network for Education)」として再編、11月から運用を開始した。

また、Webシステムについては、情報発信の強化と作業の効率化を図るため、福島県のWebシステム及びNetCommons3を活用したCMS(コンテンツ・マネジメント・システム)により運用し、県立学校を含む教育庁機関及び希望する市町村教育機関のWebサイトによる情報公開を支援した。

うつくしま教育ネットワークの主なサービス

(市町村立学校については、平成30年10月31日まで)

- ・公立学校に対するインターネット接続環境の提供
- ・不適切情報のフィルタリング

児童・生徒に触れさせたくない情報をネットワーク拠点で一元的に管理し、教育にふさわしい情報の提供を行う。

- ・セキュリティやウィルス等への対策
- ・セキュアなファイルストレージの提供

ふくしま教育クラウドサービスの主なサービス

- ・ホームページの利用環境

学校や教育関係機関等がウェブサイトを設置できるスペースを提供し、取組や研究成果などを広く共有する場を提供する。

- ・電子メールサービス

電子メールアドレスを、教職員、学校、教育関係機関等に発行する。

- ・グループウェア環境(メーリングリスト、掲示板(グループ)機能、施設予約、ファイルストレージ等)

県立学校の教職員が校務に使用するパソコンについては、平成21年度までに、県立学校に対して教員1人1台に相当するパソコンの配備を行ったが、平成30年度はWindows7のサポート期限到来に備え、1,767台の更新・配備を行った。

過去10年間の県立学校校務用パソコンの整備状況

年度	教職員PC配備実績
H21	2,049台
H22	0台
H23	316台 ※1

年度	教職員PC配備実績
H24	1,395台 ※2
H25	814台 ※2
H26	0台
H27	0台
H28	228台 ※3
H29	2,517台 ※4
H30	1,767台 ※4

※1 東日本大震災に伴うサテライト拠点校等への緊急配備

※2 WindowsXPのサポート終了に伴う更新等

※3 Windows Vistaサポート終了に伴う更新等

※4 Windows 7サポート終了に伴う更新

学校の基盤整備状況(小・中・高・特別支援学校)

項目	福島県	全国平均
教育用PC1台当たりの児童生徒数	4.7人	5.4人
校務用PCの整備率	120.7%	120.6%
普通教室のLAN整備率	81.4%	89.6%
普通教室の大型提示装置整備率	29.2%	51.2%
超高速インターネット接続率	73.6%	69.1%
統合型校務支援システムの整備率	9.9%	57.2%

文部科学省調べ(平成30年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(H31.3現在)(速報値))

第2節 人材の育成・活用

すべての教員がコンピュータを操作でき、コンピュータを用いて指導できることを目指して、研修の充実を図っている。

人材の育成状況

項目	福島県	全国平均
教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力	81.5%	86.2%
授業にICTを活用して指導する能力	61.7%	69.7%
児童・生徒のICT活用を指導する能力	65.7%	70.2%
情報活用の基礎となる知識や態度について指導する能力	76.6%	80.5%

文部科学省調べ(平成30年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果(H31.3現在)(速報値))

第5章 義務教育

第1節 概要

今年度は、県内の小・中学校児童生徒の学力の向上を図るため、「『ふくしま活用力育成シート』実践事業」、「『学びのスタンダード』推進事業」、「一人一人を伸ばすふくしま学力向上推進事業」及び「理数教育優秀教員活用事業」を実施した。また、県内の児童生徒の数学的な考え方や科学的な思考力を高めるため、福島県算数・数学ジュニアオリンピック事業、「科学の甲子園」福島県大会事業を実施した。さらに、少人数教育充実のために、30人程度学級又は少人数指導の教員を配置するなど、各市町村教育委員会への支援を通して、各小・中学校における日々の授業の工夫改善を図り、学力向上に努めた。

生徒指導関係では、「ピュアハートサポートプロジェクト」の一環として、教育センターに学校教育相談員を配置し、電話相談等を実施した。また、小学校24校、中学校133校に文部科学省事業によるスクールカウンセラーを配置し、いじめ問題や不登校等の学校不適応問題への指導援助の強化を図った。また、大震災後、児童生徒がPTSD等にならないように文部科学省事業による緊急スクールカウンセラーを小学校113校、中学校82校に派遣し、心のケアに当たった。

さらに、教育相談研修会や各種連絡協議会を開催し、教職員の資質の向上を図った。

第2節 学校管理

1 児童生徒数・学級数と教職員定数

(1) 小学校

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
本校	511	497	489	479	472	468	458	452	444	436
分室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
分校	8	8	6	5	5	5	5	5	5	7
計	519	505	495	484	477	473	463	457	449	443
前差	△2	△14	△10	△11	△7	△4	△10	△6	△8	△6

(2) 平成30年度の学級数別学校数(小学校) ※休校が1校、臨時休業が4校(5/1時点)あり、0学級になる。

学級数別	1～5学級	6～11学級	12～18学級	19～24学級	25学級以上	合計
本校	90	179	103	44	15	431
分室	—	—	—	—	—	—
分校	5	—	—	—	—	5
計	95	179	103	44	15	436
構成比	22	41	24	10	3	100

(3) 中学校 ※平成19年度から県立中学校を含む。

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
本校	237	237	237	236	232	229	224	223	221	219
分室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
分校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
計	237	237	237	236	232	229	224	223	221	221
前差	△2	0	0	△1	△4	△3	△5	△1	△2	0

(4) 平成30年度の学級数別学校数(中学校) ※臨時休業が2校(5/1時点)あり、0学級になる。

学級数別	1～5学級	6～11学級	12～18学級	19～24学級	25学級以上	合 計
本 校	72	73	56	11	5	217
分 室	—	—	—	—	—	—
分 校	2	—	—	—	—	2
計	74	73	56	11	5	219
構成比	34	33	26	5	2	100

(5) 義務教育学校 ※平成30年度より義務教育学校が1校新設された。

年 度	30
本 校	1
計	1
前 差	—

(6) 平成30年度の学級数別学校数(義務教育学校)

学級数別	1～5学級	6～11学級	12～18学級	19～24学級	25学級以上	合 計
本 校	—	—	1	—	—	1
計	—	—	—	—	—	1
構成比	0	0	100	0	0	100

(7) 公立幼稚園の設置状況

年 度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
園 数	209	206	204	201	193	191	184	166	154	149
園児数	11,083	10,749	9,136	8,646	8,320	8,005	7,590	6,603	6,205	6,197

(8) 小学校児童数・学級数の推移

小学校の児童数は昭和34年度が最高で、その後は減少を続けてきた。昭和52年度を境に児童数、学級数とも増加傾向にあったが、昭和60年度を境に児童数が再び減少傾向にあり、学級数も学級編制基準の改善にもかかわらず少しずつ減少している。

年 度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
単 式	4,849	4,795	4,465	4,301	4,197	4,103	4,019	3,883	3,814	3,716
複 式	219	197	180	204	203	215	209	225	201	199
特別支援	333	336	332	350	377	403	440	492	537	595

年 度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
児 童	118,036	116,177	107,043	102,095	99,339	96,776	94,686	92,449	90,657	88,781
学 級	5,401	5,328	4,977	4,855	4,777	4,721	4,668	4,600	4,552	4,510

(9) 中学校生徒数・学級数の推移

中学校の生徒数は昭和 37 年度が最高となり、その後は減少を続けてきた。昭和 56 年度を境に生徒数、学級数とも増加傾向にあったが、昭和 63 年度より再び減少傾向にある。

年 度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
単 式	2,251	2,180	2,089	2,079	2,050	1,997	1,953	1,861	1,792	1,729
複 式	7	10	8	8	8	8	8	12	11	12
特別支援	177	191	187	203	218	233	248	254	267	295

年 度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
生 徒	62,642	60,746	58,212	56,922	56,262	54,929	53,608	52,194	50,306	48,473
学 級	2,435	2,381	2,284	2,290	2,276	2,238	2,209	2,127	2,070	2,036

(10) 義務教育学校児童生徒数・学級数の推移

年 度	30	年 度	30
単 式	13	児童・生徒	280
複 式	0	学 級	17
特別支援	4		

(11) 小・中・特別支援学校条例定数の推移

年 度		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
小 学 校	教 員	7,402	7,293	7,235	7,131	7,028	6,979	6,944	6,850	6,812	6,752	6,707
	事 務 職 員	505	495	487	474	466	468	467	458	455	443	433
	充 指 導 主 事	19	15	22	23	23	25	26	27	29	29	28
	補 充 教 職 員	360	353	329	312	293	332	321	309	257	260	251
	県単独負担教員	272	246	211	182	171	170	141	155	153	162	153
	学校栄養職員	145	141	138	128	124	125	123	121	121	122	118
中 学 校	教 員	4,450	4,401	4,326	4,361	4,399	4,324	4,337	4,241	4,240	4127	4,075
	事 務 職 員	231	225	229	228	227	228	229	244	241	230	219
	充 指 導 主 事	53	46	42	40	40	38	35	40	40	39	40
	補 充 教 職 員	159	178	169	160	150	143	167	167	163	132	124
	県単独負担教員	209	183	166	188	161	160	151	143	144	134	136
	学校栄養職員	64	61	66	67	65	67	69	70	74	72	67
市 立 特 別 支 援 学 校	教 員	65	64	36	40	46	41	39	32	30	30	60
	事 務 職 員	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	4
	補 充 教 職 員	10	10	12	13	13	13	7	6	6	7	7
	県単独負担教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学校栄養職員	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1

2 教職員人事・任用

平成30年度人事異動方針

教育に対する県民の期待と要望に応え、第6次福島県総合教育計画に沿った教育施策を推進するとともに、東日本大震災及び東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故からの復興に向けた取組を進め、本県教育の一層の充実と向上発展を目指すためには、適正な人事配置により各学校の教職員組織及び教育庁職員組織を活性化し、教職員の志気の高揚を図らなければならない。

本委員会は、この実現のため、下記の方針に基づき人事異動を行うものである。

I 基本方針

- 1 全県的視野に立ち、適材を適所に配置し、教育効果及び行政効果の向上を図る。
- 2 教育の機会均等の理念に立脚し、各学校の教職員組織の充実と均衡に努めるとともに、第6次福島県総合教育計画に沿った教育施策を推進するため、教育庁職員組織の充実を図る。
- 3 厳正かつ適正な人事を行い、各学校の教職員及び教育庁職員の志気の高揚を図る。
- 4 教育に対する県民の信頼と期待に応えるため、人事の公平性・公正性・透明性の確保に一層努める。
- 5 東日本大震災及び東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故に伴う様々な課題に適切に対応するための教員配置等を継続し、復興に向けた取組を進める。

II 重点

- 1 市町村立学校関係
 - (1) 教育の充実を図るため、有能適格な教職員の採用に努めるとともに有為な人材を登用する。
 - (2) 教職員組織の充実と均衡を図るため、計画的な異動を推進する。
 - (3) 特別支援教育及びへき地教育の充実を図るため、適任者を配置するとともに適正な異動を行う。
 - (4) 管理監督の立場となる職への登用に当たっては、その職責の重要性に鑑み、適任者を厳選し、適所に配置する。
- 2 平成30年度公立小・中学校人事(平成30年3月末公表)
 - (1) 異動件数
異動件数件3030件(前年度2,817件)で213件の増加となった。
 - (2) 採用について
本年度は250名(小学校教諭146名、中学校教諭57名、養護教諭27名、事務職員12名、栄養職員8名)を新規に採用した。
 - (3) 異動について
各学校の均衡を図るため、免許状、年齢構成、性別等に考慮して、努めて広域にわたるとともに、各地域の実態に応じ、都市、へき地等相互間の計画的な異動を積極的に行うようにした。

また、東日本大震災後の児童・生徒の学力向上や心のケアに配慮するとともに、警戒区域等において臨時休業中の学校の再開を視野に入れた教職員配置に努め、相対地区で臨時休業中の学校の教職員については、被災した児童生徒を受け入れている学校に兼務加配として配置した。

(4) 昇任について

ア 管理職への昇任は校長92名(小学校64名、中学校28名、前年度比19名減)、教頭120名(小学校74名、中学校46名、特別支援学校0名、前年度比17名減)、計212名で、前年度より36名減少した。

イ 平成30年度より新たに副校長及び主幹教諭の登用を開始し、副校長は小学校4名、中学校3名、義務教育学校1名の計8名を、主幹教諭は小学校9名、中学校6名(県立中1名を含む)、義務教育学校1名の計16名を登用した。

ウ 女性教員の管理職登用に意を用いた。小学校長5名、中学校長1名、小学校教頭8名、中学校教頭3名に加え、新たに小学校副校長1名、主幹教諭5名を登用した。

エ 教頭の昇任は受考者398名に対し、120名で昇任率は30.2%となっている。

(5) 退職について

ア 平成30年度末の退職者数は642名で前年度に比べ70名の増である。

イ 退職者の内訳は定年退職者500名、勸奨による退職者104名、普通退職者32名となっている。

ウ 退職者中、校長は144名(小学校102名、中学校42名)、教頭は46名となっている。

3 教育職員免許状の授与状況

平成30年度中に本県で授与した教育職員免許状は、総数で1,785件あり前年度より209件増となっている。

普通免許状は、前年度より177件増で1,663件、臨時免許状は35件増で127件、特別免許状の授与はなかった。

普通免許状のうち平成30年度大学卒業者の占める割合は、約70%で、1,283件となっている。

免許状の種類別授与件数は、次のとおりである。

小学校教諭専修免許状	18件
同 一種免許状	140件
同 二種免許状	33件
中学校教諭専修免許状	35件
同 一種免許状	287件
同 二種免許状	24件
同 特別免許状	0件
高等学校教諭専修免許状	39件
同 一種免許状	396件
同 特別免許状	0件

幼稚園教諭専修免許状	2件
同 一種免許状	66件
同 二種免許状	461件
特別支援学校教諭専修免許状	1件
同 一種免許状	29件
同 二種免許状	93件
養護教諭専修免許状	1件
同 一種免許状	3件
同 二種免許状	7件
栄養教諭専修免許状	0件
同 一種免許状	17件
同 二種免許状	6件
特別支援学校自立活動教諭一種免許状	0件
小学校助教諭免許状	86件
中学校助教諭免許状	6件
高等学校助教諭免許状	26件
幼稚園助教諭免許状	4件
特別支援学校助教諭免許	4件
特別支援学校自立教科助教諭免許状	1件
養護助教諭免許状	0件

4 学校の設置及び統廃合

地域社会における過疎・過密化の進行に伴い地域の事情に応じた教育諸条件の整備充実が図られてきた。学校規模の適正化もその一つであり、地域にあった設置、廃止が計画的に進められている。

公立小・中学校の設置・廃止

	廃止(平成31. 3. 31)	設置(平成31. 4. 1)
小学校	浅川町立里白石小学校 浅川町立山白石小学校 郡山市立湖南小学校 郡山市立上伊豆島小学校 伊達市立富成小学校 田村市立西向小学校 田村市立関本小学校 いわき市立白水小学校	
中学校	郡山市立湖南中学校	県立ふたば未来学園中学校
義務教育学校		郡山市立湖南小中学校

5 学校防火

学校火災は、公有財産を消失し、児童生徒に精神的な打撃を与え学校教育の質の低下を招くとともに、教育行政を停滞させるなど、社会に及ぼす物心両面の影響はきわめて大きい。

県教育委員会は、市町村教育委員会の協力のもと、次の観点から、各学校における防火体制を再点検し、その強化を図っているところである。

- ・ 学校防火計画及び防火診断の内容と方法の改善
- ・ 木造校舎を中心とする防火上の施設設備の充実と整備方法の改善
- ・ 児童生徒及び教育関係者の防火意識の高揚と防火訓練の強化

平成30年度の学校火災は、市町村立小・中・特別支援学校において3件発生し、前年度より3件増加した。今後とも学校火災の絶無を期するよう努める。

また、昭和50年度以降の県内の学校火災は原因別にみると、放火又は放火の疑い、火遊び、たばこの不始末など生徒指導上の問題と関連の深い火災が多く、防火の面からも生徒指導の一層の充実と強化を図る必要がある。なお、原因不明による火災が突出している。

次に、学校の警備状況を見ると、その多くが機械警備となっており、機械が探知した火災情報の確認から消火活動に至るまで、関係者の連携が一層迅速になるよう検討し、改善を図っていくことが重要である。

さらに、灯油、アルコール、シンナー等の燃えやすい物質や混合爆発、発火等の可能性の高い毒劇物・危険物等薬品の保管については、防火上のみならず、防犯上からも厳重な管理を徹底していくことが必要である。

平成30年度の学校防火診断の概要及び学校管理の状況は次のとおりである。

(1) 平成30年度公立小・中・特別支援学校防火診断項目

- ア 防火体制について
- イ 警備員、代行員の勤務状況について
- ウ 火気関係設備及び取り扱い状況について
- エ 電気設備について
- オ 消防用設備及びその管理について
- カ その他

- ・ 諸表簿の管理状況
- ・ 毒劇物・危険物等薬品の保管状況

(2) 学校防火診断の実施と活用

- ア 各学校における防火診断に係る報告を集約し、実施状況や課題を確認した。
- イ 学校事故防止対策研究協議会において、防火診断の結果や実際の学校火災事例等をもとに、防火対策上必要な措置を市町村教育委員会及び各小・中・特別支援学校に指導した。

※ 平成21年度より県教育委員会による研修を目的とした学校防火診断は実施しないこととしたが、市町村教育委員会と連携を図りながら、各学校における防火診断の適正な実施を行っていく。

6 へき地対策

(1) へき地学校の状況

ア へき地学校

教育事務所	級地	4級		3級		2級		1級		準1級		特地		教育事務所指定		計	
		本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校	本校	分校
小学校	県北							2						14		16	0
	県中					2		3	1	1	1	1	1	23	1	30	4
	県南							1						9		10	0
	会津					3		4		1				6		14	0
	南会津					7		1						6		14	0
	相双					2		2		2				4		10	0
	いわき					2		2		1				9	1	14	1
	計	0	0	0	0	16	0	15	1	5	1	1	1	71	2	108	5
中学校	県北							1						7		8	0
	県中					2		2				1		10		15	0
	県南							1						4		5	0
	会津					1		4		1				6		12	0
	南会津					4								3		7	0
	相双					2		2						1		5	0
	いわき					2		2		1				4		9	0
	計	0	0	0	0	11	0	12	0	2	0	1	0	35	0	61	0
総計	0	0	0	0	27	0	27	1	7	1	2	1	106	2	169	5	
		0	0	0	0	27	0	28	8	3	108	174					

イ 特別へき地学校数、学級数、児童生徒数、教員数(休校中も含む)

級地	小学校												中学校												合計											
	学校数			児童数			学級数			教職員数			学校数			生徒数			学級数			教職員数			学校数			児童生徒数			学級数			教職員数		
	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計			
4級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
3級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
2級	16	0	16	562	0	562	72	0	72	190	0	190	11	0	11	307	0	307	26	0	26	168	0	168	27	0	27	869	0	869	98	0	98	358	0	358
1級	15	1	16	1057	14	1071	83	2	85	211	4	215	12	0	12	530	0	530	37	0	37	198	0	198	27	1	28	1587	14	1601	120	2	122	409	4	413
準1	5	1	6	193	0	193	20	0	20	55	0	55	2	0	2	81	0	81	4	0	4	29	0	29	7	1	8	274	0	274	24	0	24	84	0	84
特地	1	1	2	56	10	66	6	2	8	12	4	16	1	0	1	29	0	29	3	0	3	18	0	18	2	1	3	85	10	95	9	2	11	30	4	34
教育事務所指定	71	2	73	4964	13	4977	409	2	411	979	3	982	35	0	35	3796	0	3796	177	0	177	695	0	695	106	2	108	8760	13	8773	586	2	588	1674	3	1677
合計	108	5	113	6832	37	6869	590	6	596	1447	11	1458	61	0	61	4743	0	4743	247	0	247	1108	0	1108	169	5	174	11875	37	11612	837	6	843	2555	11	2566

(2) へき地教育の振興策

へき地の学校は、概して小規模であり、また、複式学級も多い。したがって、教育条件の改善充実を図るとともに、へき地学校に優秀な教員を確保することが緊要である。

ア へき地教育の人事行政

「平成29年度人事異動方針」第1の2において、「教育の機会均等の理念に立脚し、各学校の教職員組織の充実と均衡に努めるとともに、第6次福島県総合教育計画に沿

った教育施策を推進するため、教育庁職員組織の充実を図る」ことを基本として掲げ、これを受けて平成29年度小・中・特別支援学校教職員人事異動実施要項第2の2の(1)において「異動のための区分を設定し、すべての教職員を在職期間中に都市、平地、へき地の勤務を公平に経験させる」とし、へき地と各地域との計画的な異動の推進を図った。

(7) へき地異動の地域区分

県内の地域区分を次のとおりとする。

- A地域 市の中心部で比較的交通の便のよい地区及び桑折町、国見町、鏡石町、石川町、浅川町、三春町、小野町、棚倉町、埜町、会津坂下町、会津美里町、浪江町、富岡町の中心部の学校
- B地域 A及びC地域以外の学校
- C地域 へき地の学校(人事委員会・教育事務所指定の学校)

(イ) 異動基準

- a へき地学校勤務については次の基準による。
- へき地学校勤務未了者については、へき地学校へ計画的に転出させる。へき地学校勤務満了者であっても、へき地学校に勤務すべき該当者が少ない場合においては、へき地学校へ計画的に転出させる。
 - へき地学校勤務については、別表1による期間勤務した場合は満了とする。ただし、会津ブロック外出身者の会津ブロックへき地学校勤務については、別表2による。
 - すでに、へき地学校勤務満了者が、再び相当期間へき地学校に勤務し、都市又は平地の学校に転出を希望する者については考慮する。相当期間とは、2年以上とする。

別表1 (教員のへき地校勤務年数)

級別	教育事務 所指定の へき地	人事委員会指定へき地			
		特 地・ 準1級地	1 級地	2 級地	3 級地 4 級地以上
勤続 年数	4年以上	3年以上		2年以上	

別表2 (教員のへき地校勤務年数)

会津ブロック外出身者の 会津ブロックへき地 勤務年数 (新採は含まない)	へき地級地別	
	教育事務所指定	特 地、準1級地、 1級地以上
	3年以上	2年以上

- b 他管内へき地等への計画的異動
- 小学校・中学校等に勤務する教員のうち、学習指導等実績のある優秀な教員を選考して、他管内へき地等の学校に計画的に異動させ、その教育実践を通して、県内全域の教育の振興・充実を図ることとした。異動先での勤務期間は3年以上である。また、異動先での勤務期間を良好な成績で勤務した者については、教頭昇任選考筆頭試験の一部(指導関係)を免除する施策もあわせて実施した。

- イ へき地学校教職員の経済的優遇策
- 人事委員会指定のへき地学校等に勤務する教職員に対し、次の手当が支給される。
- へき地手当等の支給
- 勤務するへき地学校等の級別区分に応じて、次のとおり支給される。

級地	手 当 額	支給割合
4 級 地	(給料の月額+教職調整額 +扶養手当)×支給割合	20/100
3 級 地		16/100
2 級 地		12/100
1 級 地		8/100
準1級地		4/100

(注) 給料の月額=給料月額+給料の調整額

- へき地手当に準ずる手当
- へき地学校等又は特別の地域に所在する学校等(人事委員会指定)へ、異動に伴い住居を移転した場合に支給される。
 - ・異動日から5年間
(異動等の日における給料の月額+教職調整額+扶養手当)×4%
 - ・5年を経過した後の1年間
(異動等の日における給料の月額+教職調整額+扶養手当)×2%
- ウ へき地学校教職員の配置に対する特別措置
- へき地教育振興法第4条の2項に「都道府県は、へき地学校に勤務する教員及び職員の決定について特別の考慮を払わなければならない。」とあり、本県としてもへき地学校教職員及び養護教員、事務職員等の配置について特別措置を講じている。

(3) 今後の問題点

- ア へき地学校の教職員配置の改善を図ること。
- へき地学校の教職員の年齢構成からみて、中堅教員が少ない傾向にある。今後中堅教員を計画的にへき地に配置していく必要がある。
- また、へき地に勤務する教職員の優遇策や地元の受け入れ態勢の整備充実について努力する必要がある。
- イ 都市・平地とへき地との人事異動を推進すること。
- へき地学校勤務未了者を解消するため、これまで計画的に平地、へき地の異動を推進してきた。今後一層計画的、広域的な異動を推進する必要がある。

第3節 学校教育

1 概要

(1) 指導行政の基本方針

平成22年3月に策定した本県の教育施策を総合的・計画的に推進するための指針である「第6次福島県総合教育計画」(平成25年3月改定)では、「“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり」を基本理念に、

- ① 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成
- ② 学校、家庭、地域が一体となった教育の実現
- ③ 豊かな教育環境の形成

の3つの基本目標のもと、平成27年度の成果を踏まえるとともに、引き続き、震災後の本県学校教育分野の復興に適切に対応するため、事業を展開してきた。

特に、「夢や希望の実現に向けた、たくましく生き抜く力を育む教育の推進」「学校、家庭、地域の連携・協力による、総合的な教育力の向上」「安全・安心で魅力ある教育環境の充実」を、重視する3つの観点として、学校教育の推進を図ってきた。

(2) 指導組織

各課長を中心に、主幹、主任指導主事、指導主事及び各教育事務所学校教育課長、指導主事、各市町村教育委員会指導主事等(下表)によって、幼稚園、小学校、中学校の指導に当たった。

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
指導主事数 (学校教育課長を含む)	11	12	10	13	7	11	8	72
市町村教育委員会 指導主事等数	27	46	10	12	2	14	18	129

(3) 学校教育指導の重点

学習指導要領の趣旨を踏まえ、「確かな学力」「豊かな人間性・社会性」の育成を図るため、教育課程の改善・充実、学習指導と生徒指導の充実に努めた。

ア 教育内容・方法の改善充実に努めた。

(ア) 「学校教育指導の重点」などにより、具体的な実践例を紹介したり指導の重点を示したりし、授業の改善が図られるようにした。

(イ) 本県教育行政の推進を図るため、指導担当者の資質向上のための研修に努めた。

- 指導担当者研究協議会
- 主任指導主事等会議
- 学力向上担当指導主事会議
- 生徒指導担当指導主事会議
- ふくしま指導担当者会議
- ふくしま教育創造コンソーシアム

(ウ) 小・中学校教育課程研究協議会を開催し、学習指導要領の趣旨の徹底と教員の指導力向上を図った。

- 対象者 各校長・教頭及び教務主任等のうちから各校1名参加

(エ) 福島県小・中学校教育研究会を共催し、教育課程実施上の諸問題を研究し、その改善・充実に努めた。

(オ) 各種研究学校(地区)を指定し、指導内容や指導方法の改善・充実に努めた。

- 文部科学省及び国立教育政策研究所の研究委託による研究指定校等
 - ・ 道徳教育総合支援事業 ほか
- 県教育委員会による研究指定校
 - ・ 「学びのスタンダード」推進事業 ほか

イ 教職員の資質と指導力の向上に努めた。

- (ア) 小学校、中学校初任者研修の実施
- (イ) 事務職員、教職経験者、校長研修会、新任校長、新任教頭、新任教務主任等の研修会の実施
- (ウ) 中央研修講座への派遣
- (エ) 長期研修生(内地留学)の派遣
- (オ) 教育研究団体に対する援助と指導
- (カ) 教職員研究論文の募集

ウ 免許外教科担当教員の研修の充実と指導力の向上に努めた。

- (ア) 中学校免許外教科担任教員研修会

エ 幼稚園教育担当教員の研修の充実と指導力の向上に努めた。

- (ア) 幼稚園等新規採用教員研修
- (イ) 幼稚園経験者研修Ⅱ
- (ウ) 幼稚園教育理解推進事業中央協議会
- (エ) 幼稚園教育課程研究協議会
- (オ) 幼児教育実技研修会

オ 生徒指導の充実に努めた。

- (ア) 運営協議会を開催し、生徒指導の充実に努めた。

- 不登校・いじめ等対策推進運営協議会(2回)

(イ) 各種研修会を実施し、生徒指導の充実・改善に努めた。

- 不登校・いじめ等対策域別研修会
(県内7地区開催)

(ウ) ピュアハートサポートプロジェクトを実施した。

- いじめの問題の解消とその未然防止に努めるとともに、不登校等の学校不適応問題の解決に努めた。

- 教育相談体制の充実

- ・ スクールカウンセラー等活用事業
- ・ 緊急時カウンセラー派遣事業
- ・ 学校教育相談員(教育センターに配置)
- ・ スクールカウンセラー派遣事業(震災対応)
- ・ スクールソーシャルワーカー派遣事業
- ・ ふくしま24時間子どもSOS
- ・ サポートティーチャー派遣事業
- ・ ふくしま子どもLINE相談

- 道徳教育の充実

- ・ 道徳教育総合支援事業
- ・ 道徳教育推進校による実践研究(7地区)

- 教育相談専門研修及び関係機関との連携強化

カ 社会の変化に対応した教育の充実に努めた。

(ア) 情報化社会への対応

- 学校におけるコンピュータ等の整備(市町村教委)

(イ) 国際化への対応

- 語学指導等を行う外国青年招致事業の実施
- 141名の外国JET青年の受入れ(99名を市町村教育委員会が配置)

(4) 県立中学校入学者選抜

ア 基本方針

「平成 31 年度福島県立中学校入学者選抜における基本方針」

県立中学校（以下「中学校」という。）入学者選抜は、志願者の意欲・能力・適性等を総合的にみる選抜（以下「一般選抜」という。）によって行う。ただし、ふたば未来学園高等学校に併設する中学校においては、スポーツ選抜を行うことができる。選抜に当たっては、適性検査等の結果及び小学校の校長から提出される調査書を資料として総合的に判定し、入学予定者を決定するものとする。

(ア) 一般選抜

a 一般選抜は、各中学校の特色に配慮しつつ、各中学校の教育を受けるに足る意欲・能力・適性等を総合的に判断する選抜とし、すべての中学校で実施する。一般選抜には、その募集定員の中に各校の特色に応じて地域枠を設けることができる。なお、地域枠の選抜方法の内容は、一般選抜と同じとする。

b 選抜の資料は次のとおりとする。

(a) 適性検査 1

問題発見・解決能力、思考力、判断力、表現力等、小学校における教育において身に付けた総合的な力をみる。

(b) 適性検査 2

与えられた課題について考えたことや感じたことなどを文章等で表現する力をみる。

(c) 面接

志願者の目的意識、意欲や長所等をみる。

(d) 調査書

調査書は、福島県教育委員会教育長が定める様式及び調査書作成要領に基づき、志願者の在学している小学校の校長が作成する。

調査書には、各教科の学習の記録、外国語活動の記録、総合的な学習の時間の記録、特別活動の記録、行動の記録などの記載を求め、小学校での学習や生活の状況をみる。

(e) その他

志願者の目的意識や地域への思い等について確認するため、志願理由書を用いることを可能とする。

(イ) スポーツ選抜

a スポーツ選抜は、運動能力や、中学校が行おうとする教育への意欲や態度、適性等を総合的にみて判断する選抜とし、ふたば未来学園高等学校に併設する中学校において実施する。

b 選抜の資料は次のとおりとする。

(a) 実技検査

中学校が求める生徒像に応じて内容を定めて実施し、運動能力をみる。

(b) 作文

与えられた課題について考えたことや感じたこと

などを定められた文字数でまとめ、表現する力をみる。

(c) 面接

志願者の目的意識、意欲や長所等をみる。

(d) 調査書

調査書は、福島県教育委員会教育長が定める様式及び調査書作成要領に基づき、志願者の在学している小学校の校長が作成する。

調査書には、各教科の学習の記録、外国語活動の記録、総合的な学習の時間の記録、特別活動の記録、行動の記録などの記載を求め、小学校での学習や生活の状況をみる。

(e) 志願理由書

志願者の目的意識や小学校での各種大会の成績等をみる。

(ウ) 入学予定者の決定に当たっては、次の手順で行う。

a 一般選抜は、まず、適性検査 1 及び適性検査 2 の成績の合計並びに調査書の成績のいずれもが定員内にある者で、かつ調査書の記載事項及び面接の結果に特に問題のない者を入学予定者とし、次にその他の者については、適性検査 1 及び適性検査 2 の成績、調査書の記載事項並びに面接の結果を十分に精査して、総合的に判定し、入学予定者を決定する。

ただし、学校の特色に応じて、上記によらず適性検査 1 及び適性検査 2 の成績、調査書の記載事項並びに志願理由書及び面接の結果を十分に精査して、総合的に判定し、入学予定者を決定することを可能とする。

b スポーツ選抜は、志願理由書、実技検査及び作文の成績、調査書の記載事項並びに面接の結果を十分に精査して、総合的に判定し、入学予定者を決定する。

(エ) 選抜結果については、志願者及び志願者の在学している小学校の校長に通知するものとする。

(オ) 入学辞退その他の理由により入学予定者の定員に欠員が生じた場合は、入学予定者とならなかった者の中から速やかに新たな入学予定者を決定し、入学の意思を確認の上、補充するものとする。

イ 入学者選抜関係日程

6月6日	第1回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議
7月19日	第2回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議
8月28日	県立中学校・高等学校入学者選抜方法の改善等に関する調査研究報告書提出
10月1日	入学者選抜実施要綱説明会(県北・県中・県南地区)実施
10月3日	入学者選抜実施要綱説明会(会津・南会津地区)実施
10月5日	入学者選抜実施要綱説明会(相双・いわき地区)実施
10月19日	平成31年度入学者募集定員決定
12月4日～12月10日	出願書類受付
1月12日	一般選抜及びスポーツ選抜
1月18日	選抜結果通知書の発送
1月21日～1月25日	入学確約書提出
1月28日～2月1日	欠員補充

2 現職教育

(1) 教職員等中央研修

ア 趣旨

校長、教頭、中堅教員に対し、学校の管理運営、学習指導などの諸問題について、それぞれの職務に必要な研修を行い、その識見を高め、指導力の向上を図る。

イ 主催 独立行政法人教職員支援機構

ウ 共催 文部科学省

エ 会場 独立行政法人教職員支援機構

オ 期間及び参加者

◇校長研修

6月11日(月)～6月15日(金)

田村市立都路中学校	田中 淳一
喜多方市立駒形小学校	佐藤 潤
福島市立水原小学校	阿部 貴史
郡山市立御館小学校	二瓶 浩治
郡山市立熱海中学校	佐藤 博

◇副校長・教頭研修

11月5日(月)～11月16日(金)

二本松市立二本松第三中学校	二瓶 匡弘
南相馬市立小高小学校	高野伸一郎

2月4日(月)～2月15日(金)

福島県教育センター	菅野 靖
福島県教育センター	阿部 光

◇中堅教員研修

7月23日(月)～8月3日(金)

桑折町立醸芳小学校	黒澤 和美
石川町立石川小学校	安瀬 貴幸
猪苗代町立長瀬小学校	土屋 浩行
檜葉町立檜葉北小学校	泉澤 哲幸
郡山市立薫小学校	荒井 淳

8月13日(月)～8月24日(金)

須賀川市立第二中学校	吉田 全
矢吹町立矢吹中学校	藤田 健二
郡山市立郡山第三中学校	中澤 正英

11月19日(月)～11月30日(金)

福島市立福島第三中学校	福地 誠志
-------------	-------

◇次世代リーダー育成研修

8月6日(月)～8月10日(金)

伊達市立霊山中学校	菅野 敏樹
白河市立白河第一小学校	鈴木 隆志
下郷町立檜原小学校	三星 祐輔

12月10日(月)～12月14日(金)

会津坂下町立坂下中学校	塚原 直樹
福島県教育センター	渡邊 義和

(2) 各種研修会

ア 福島県公立学校長研修会地区別研修会(公立小・中・特別支援学校長、県立学校長)

(ア) 主催 福島県教育委員会

(イ) 管内・期日・会場・参加人数【参加731名】

○ 県北	6月22日(金)	【二本松市東和文化センター】	144名
○ 県中	7月10日(火)	【郡山市労働福祉会館】	198名
○ 県南	7月30日(月)	【白河合同庁舎】	66名
○ 会津	6月27日(水)	【湯川村公民館・ユースピアゆがわ】	114名
○ 南会津	6月22日(金)	【御蔵入交流館】	22名
○ 相双	6月20日(水)〈小中学校〉	【万葉ふれあいセンター】	61名
	6月19日(火)・7月17日(火)〈県立〉	【相馬高等学校・相馬東高等学校】	9名
○ いわき	6月19日(火)	【いわき合同庁舎】	117名

イ 市町村立小・中・特別支援学校新任校長研修会

(ア) 主催 福島県教育委員会

(イ) 会場 福島県教育センター

(ウ) 期間・参加人数

4月26日(木)～4月27日(金) 小学校 58名

5月10日(木)～5月11日(金) 中学校 21名

(エ) 講師 教育庁参事兼義務教育課長 佐藤秀美 他

ウ 市町村立小・中・特別支援学校新任副校長研修会

(ア) 主催 福島県教育委員会

(イ) 会場 福島県教育センター

(ウ) 期間・参加人数

5月26日(木) 小学校 4名

5月10日(木) 中学校 4名

(エ) 講師 教育庁参事兼義務教育課長 佐藤秀美 他

エ 市町村立小・中・特別支援学校新任教頭研修会

(ア) 主催 福島県教育委員会

(イ) 会場 福島県教育センター

(ウ) 期間・参加人数

5月8日(火)～5月9日(水) 小学校 68名

5月17日(木)～5月18日(金) 中学校 42名

(エ) 講師 義務教育課主幹 石幡良子 他

オ 新任主幹教諭研修会

(ア) 主催 福島県教育委員会

(イ) 会場 福島県教育センター

(ウ) 期間・参加人数

5月21日(月) 16名

(エ) 講師 義務教育課主幹 石幡良子

カ 校長のためのマネジメント講座

(ア) 主催 福島県教育委員会

(イ) 会場 福島県教育センター

(ウ) 期間・参加人数

6月11日(月)～6月12日(火) 70名

(エ) 講師 義務教育課管理主事 鈴木正和 他

キ 教頭のためのマネジメント講座

(ア) 主催 福島県教育委員会

(イ) 会場 福島県教育センター

(ウ) 期間・参加人数

9月6日(木)～6月7日(金) 80名

(エ) 講師 義務教育課主幹 板橋竜男 他

ク 公立小・中学校経験者研修(Ⅰ、Ⅱ)

(ア) 経験者研修Ⅰ

○ 主催 福島県教育委員会

○ 期間・会場

(小) 6月20日(水)～6月22日(金)

(中) 1班:10月3日(水)～10月5日(金)

2班:10月10日(水)～10月12日(金)

○ 参加人数 小学校110名 中学校46名

○ 講師 教育センター依頼の外部講師・大学教授
教育センター指導主事等

(イ) 経験者研修Ⅱ

○ 主催 福島県教育委員会

○ 期間・会場

(小) 9月18日(火)～9月20日(木)

(中) 9月12日(水)～9月14日(金)

○ 参加人数 小学校44名 中学校33名

○ 講師 教育センター依頼の外部講師・大学教授
教育センター指導主事等

ケ 公立小・中学校初任者研修

(ア) 校内における研修 150時間以上

各学校で年間を通じて計画し、実施する。

(イ) 校外における研修 22日間

a 地区別研修A

(7日間、各教育事務所の計画による)

- ・ 一般研修 1日間
- ・ 授業研修 2日間
- ・ へき地校研修 1日間
- ・ カウンセリング研修 2日間
- ・ 特別支援学校研修 1日間

b 地区別研修B

(9日間、各市町村教育委員会の計画による)

- ・ 一般研修 1日間
- ・ 研究発表集会等研修 5日間
- ・ 社会奉仕体験活動研修 2日間
- ・ 他校種園参観研修 1日間

c 宿泊研修

- ・ 磐梯青少年交流の家 3日間
- ・ 教育センター 3日間

(ウ) 参加者数

a 小学校 101名

b 中学校 44名

コ 公立小・中・特別支援学校事務職員研修

(ア) 新規採用職員研修

- ・ 対象 平成30年度新規採用者

・ 日数 前期5日間、後期5日間

・ 参加人数 12名(小学校8名、中学校4名)

・ 会場 ふくしま自治研修センター

(イ) 基礎力アップ研修

・ 対象 採用後5年目

・ 日数 3日間

・ 参加人数 11名

(ウ) 応用力アップ研修

・ 対象 採用後9年目

・ 日数 3日間

・ 参加人数 4名

(エ) 実行力アップ研修

・ 対象 採用後13年目

・ 日数 3日間

・ 参加人数 7名

(オ) 新任係長研修会

・ 対象 新任の主任主査

・ 日数 3日間

・ 参加人数 8名

サ 事務職員研修(小・中学校)

○ 主催 独立行政法人教職員支援機構

○ 期間 小学校:6月12日(月)～6月16日(金)

中学校:10月15日(月)～10月19日(金)

○ 参加人数 3名(小学校1名、中学校2名)

○ 会場 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部

(3) 教員長期研修

(研修機関、研修期間、研修生)

ア 上越教育大学

(ア) 平成29年4月1日～平成31年3月31日

喜多方市立塩川小学校教諭 山内 清央

いわき市立川前小学校教諭 遠藤 浩美

(イ) 平成30年4月1日～平成32年3月31日

会津若松市立小金井小学校教諭 金子 瞳

会津若松市立第一中学校教諭 佐瀬 千恵

イ 福島大学

(ア) 平成29年4月1日～平成31年3月31日

本宮市立本宮第一中学校教諭 吉田 圭祐

郡山市立橋小学校教諭 芳賀 裕

棚倉町立社川小学校教諭 影山 望

鮫川村立鮫川小学校教諭 武田 妙子

いわき市立平第四小学校教諭 大杉 悠人

いわき市立白水小学校教諭 高萩志津子

いわき市立勿来第一中学校 渡邊 康尊

(イ) 平成30年4月1日～平成32年3月31日

福島市立北信中学校教諭 穴戸 仁美

福島市立福島第一小学校教諭 加倉井英紀

郡山市立熱海小学校教諭 丹治 剛俊

三春町立中妻小学校教諭 橋本 哲朗

北塩原村立第一中学校教諭 木村 真

葛尾村立葛尾中学校教諭 菅野 賢介

南相馬市立石神中学校教諭 福尾 淳
 いわき市立川部小学校教諭 武田 涼子

(4) 平成30年度産業・情報技術等指導者養成研修(中学校)

教 科	技術・家庭
氏 名	左雨 貴子
職 名	指導主事
所 属	県中教育事務所
研 修 先	国立大学法人横浜国立大学
研修期間	7月30日～8月2日

(5) 教育研究奨励

- ア 名称 福島県教職員研究論文
 イ 主催 福島県教育委員会
 ウ 応募資格 福島県公立幼稚園・小・中・高・特別支援学校の教職員
 エ 審査委員
 福島大学総合教育研究センター准教授 宗形 潤子
 こむこむ館 学習指導員 長尾順一郎
 福島市教育実践センター指導員 小山 金也
 オ 応募数 36点
 カ 入賞者
 (ア) 特選

氏 名・学校名	所 属
教諭 樽井奈緒子	川俣町立福田小学校
(代表) 教諭 石垣 太郎	福島県立聴覚支援学校
主査 酒井 香理	南相馬市立鹿島小学校

(イ) 入選

氏 名・学校名	所 属
教諭 守谷 千晶	福島市立吉井田小学校
田村市立滝根小学校	団 体
養護教諭 佐藤 ふみ	福島県立湖南高等学校
養護教諭 黒羽 葵	中島村立滑津小学校
只見町立朝日小学校	団 体
教諭 遠藤 寛之	南相馬市立原町第三小学校
教諭 小柳 竣	南相馬市立鳩原小学校
教諭 菅野 智弥	いわき市立鹿島小学校

(ウ) 奨励賞

氏 名・学校名	所 属
浅川町立里白石小学校	団 体
塙町立塙小学校	団 体
喜多方市立塩川小学校	団 体

3 教育課程

(1) 平成30年度福島県小・中学校教育課程研究協議会

〈平成30年度福島県小学校教育課程研究協議会〉
 ア 主催 福島県教育委員会

- イ 実施期間
 県北域内 9月13日(木)
 県中域内 9月11日(火) 小中合同
 県南域内 9月6日(木)
 会津域内 9月6日(木)
 南会津域内 9月13日(木) 小中合同
 相双域内 9月14日(金)
 いわき域内 9月6日(木)

ウ 実施教科等

総則、国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

エ 参加者数 465名

〈平成30年度福島県中学校教育課程研究協議会〉

ア 主催 福島県教育委員会

イ 実施期間

- 県北域内 9月6日(木)
 県中域内 9月11日(火) 小中合同
 県南域内 9月3日(月)
 会津域内 9月13日(木)
 南会津域内 9月13日(木) 小中合同
 相双域内 9月6日(木)
 いわき域内 9月11日(火)

ウ 実施教科等

総則、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、外国語、道徳、総合的な学習の時間、特別活動

エ 参加者数 267名

4 学力向上等

(1) 学力向上推進支援事業

- ア ふくしま活用力育成シート実践事業
 イ 学力調査研究事業
 ウ 学校図書館の活性化実践事業

(2) 「学びのスタンダード」推進事業

(3) 未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業

- ア 理数教育優秀教員活用事業
 イ ふくしまスーパーサイエンススクール事業
 ウ 理数コンテスト事業
 エ 先端技術体験事業

(4) 少人数教育推進事業

学力向上や人間性・社会性の育成を総合的・効果的に推進するための「個に応じた指導」の徹底を図るため、ティーム・ティーチングや習熟度別等指導、及び30人学級編制等の少人数教育を進め、教員等の目が子ども一人一人に行き届き、きめ細かな指導や評価ができる体制を作る。

○ 30人程度学級

○ 30人学級編制(小1、小2、中1)

5 放射線教育

(地域と共に創る放射線・防災教育推進事業)

身の回りで起こる災害や放射線等に関する問題、取組等に目を向けながら、未来を拓く地域社会の一員として、安全・安心な社会づくりに貢献しようとする態度を身に付けるための支援として、下記の事業等を実施した。

(1) 実践協力校

- ア 小学校
三春町立三春小学校
西郷村立熊倉小学校
南会津町立南郷小学校
- イ 中学校
広野町立広野中学校

(2) 地区別研究協議会

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期日
県北域内 8月20日(月)
県中域内 9月13日(木)
県南域内 10月19日(金)
会津域内 11月14日(水)
南会津域内 11月22日(木)
相双域内 10月23日(火)
いわき域内 8月21日(火)
- ウ 参加者数 626名

(3) 運営協議会

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期間 4月～1月(3回)
- ウ 参加対象者 本庁関係課、教育事務所、教育センターの担当指導主事等及び実践協力校担当者、放射線・防災教育推進委員
- エ 内容 各種放射線教育研究協議会の企画・立案、実践事例集の作成及び事業の総括

(4) 「ふくしま放射線教育・防災教育実践事例集」の作成と配布

- ア 発行者 福島県教育委員会
- イ 発行 平成31年3月
- ウ 部数 32,000部

6 防災教育

(地域と共に創る放射線・防災教育推進事業)

地域の自然環境、災害や防災について正しい知識を身に付け、災害発生時における危険を理解し、状況に応じて的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができたり、災害発生時及び事後に、進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことができたりする態度及び能力を見童生徒に育成するため、下記の事業等を実施した。

(1) 実践協力校

- 福島市立佐倉小学校
- 喜多方市立塩川中学校
- いわき市立江名中学校

(2) 地区別研究協議会

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期日 県北域内 8月20日(月)
県中域内 9月13日(木)
県南域内 10月19日(金)
会津域内 11月14日(水)
南会津域内 9月4日(火)
相双域内 10月23日(火)
いわき域内 10月2日(火)
- ウ 参加者数 625名

(3) 運営協議会

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期間 4月～1月(3回)
- ウ 参加対象者 本庁関係課、教育事務所、教育センターの担当指導主事等及び実践協力校担当者、放射線・防災教育推進委員
- エ 内容 各種放射線教育研究協議会の企画・立案、実践事例集の作成及び事業の総括

(4) 「ふくしま放射線教育・防災教育実践事例集」の作成と配布

- ア 発行者 福島県教育委員会
- イ 発行 平成31年3月
- ウ 部数 32,000部

(5) 「防災個人カード」の作成と配付

- ア 発行者 福島県教育委員会
- イ 発行 平成30年11月
- ウ 部数 150,000部

7 道徳教育

(1) 道徳教育

- ア 道徳教育を推進するための中核となる指導者の養成を目的とした研修
 - (ア) 主催 中央指導者研修
独立行政法人教職員支援機構
ブロック別指導者研修
独立行政法人教職員支援機構、
北海道教育委員会
 - (イ) 会場 中央：独立行政法人教職員支援機構
ブロック：ホテルポールスター札幌(札幌市)
 - (ウ) 期日
中央指導者研修 平成30年5月14日～18日
ブロック別指導者研修 平成30年8月8日～8月10日
(中央指導者研修)

氏名	勤務先	職名
星 由紀枝	相双教育事務所	指導主事
小野 聡	泉崎村立泉崎第一小学校	校長
関場 俊宏	会津美里町立本郷中学校	教頭
小出 智義	郡山市立宮城中学校	教諭
佐藤 崇史	郡山市教育委員会	指導主事
黒津 牧花	いわき市教育委員会総合教育センター	指導主事

〈ブロック別指導者研修〉

氏名	勤務先	職名
小野 信尚	いわき市立江名小学校	校長
園部 毅	南会津町立館岩中学校	教頭
熊坂 志保	福島県立相馬東高等学校	教諭
瀬戸 和子	県北教育事務所	指導主事

イ 小学校教育研究会道徳部会

(ア) 研究主題

「道徳的価値の自覚と自己の生き方についての考え方を深める指導の充実」

(イ) 主催

福島県小学校教育研究会

(ウ) 会場・期日

各地区ごとに設定

ウ 中学校教育研究会道徳部会

(ア) 研究主題

「人間としての生き方についての考えを深める道徳の学びはどうすればよいか」

～読み物教材を用いた効果的な発問構成の工夫～

(イ) 主催

福島県中学校教育研究会

(ウ) 会場・期日

各地区ごとに設定

(2) 道徳教育総合支援事業

ア 趣旨

学習指導要領の趣旨並びに児童生徒、学校等の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究を行い、その成果を普及することにより道徳教育の充実を図る。

イ 福島県道徳教育推進協議会

年2回開催（6月5日、2月14日）

ウ 道徳教育地区別推進協議会

各事務所ごとに設定、1回開催

エ 道徳教育推進校

小学校3校、中学校3校、高等学校1校

オ 「特別の教科道徳」の実施に向けた地区別研修会

各事務所ごとに設定、1回開催

カ 道徳教育リーフレット等の作成

「道徳のとびら」（保護者、地域住民及び教職員向け）、

「道徳のかけ橋」「道徳の礎」（教職員向け）

(3) 人権教育

ア 人権教育研究開発事業

○ 趣旨

人権意識を培うための学校教育の在り方について幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実を図る。

○ 推進地域

会津坂下町（会津坂下町教育委員会）幼・小・中学校（2園3校）

○ 研究テーマ

互いのよさを認め、尊重し合う子どもの育成

～自分も他の人も大切にし、安心して過ごせる園・学校をめざして

○ 研究期間

平成30・31年度

イ 人権教育指導者養成研修

○ 主催 独立行政法人教職員支援機構

○ 期日 平成30年7月17日～20日

○ 会場 独立行政法人教職員支援機構

○ 参加者 会津坂下町教育委員会 指導主事 高久 賢一

福島市教育委員会 指導主事 佐藤 倫子

会津坂下町立坂下南小学校 教諭 神田 忠恒

(4) 「モラル・エッセイ」コンテスト

ア 趣旨

モラルやマナー、いのち、家族、人との絆など、心温まるちょっといいお話、今伝えたいメッセージ等を募集し、学校と家庭・地域が一体となって、子どもたちの道徳的実践力を養うとともに、県民一丸となって「生きる力」を身に付ける機会とする。

イ 応募期間

平成30年7月2日～8月31日

ウ 応募数

中学校 941点

高等学校 163点

一般 7点

エ 受賞者

【中学校】

最優秀賞 南会津町立荒海中学校 3年 星 優妃

優秀賞 郡山市立小原田中学校 2年 郡司 百華

相馬市立中村第一中学校 3年 佐藤 凜子

【高等学校】

最優秀賞 県立白河高等学校 1年 加藤 慶大

優秀賞 県立白河高等学校 1年 奥山 凜

県立相馬東高等学校 1年 西内 遥菜

【一般】

最優秀賞 福島市在住 中山 輝雄

優秀賞 西白河郡中島村在住 櫻下 茂男

福島市在住 猪股 淳行

8 特別活動

(1) 県小学校教育研究会特別活動部会

ア 主催 県小学校教育研究会

イ 研究主題

望ましい集団活動を通して、個性の伸長を図るとともに、よりよい生活や人間関係を築き、自主的、実践的な態度を育てる特別活動の指導の充実

ウ 県研究協議会

○ 期日 平成30年10月19日（金）

○ 会場 福島市立杉妻小学校

(2) 県中学校教育研究会特別活動部会

- ア 主催 県中学校教育研究会
イ 研究主題
学校の創意工夫を生かし、深い学びを通してよりよい人間関係を築こうとする生徒を育む指導はどうすればよいか。
ウ 県研究協議会
○ 期日 平成30年10月10日(水)
○ 会場 いわき市立植田東中学校

9 生徒指導・進路指導

(1) 生徒指導

- ア 生徒指導研究推進協議会
国立教育政策研究所主催
○ 期日 平成30年6月12日
○ 会場 文部科学省講堂
○ 参加者 県教育庁義務教育課
主任指導主事 横山 修
福島市教育委員会
指導主事 佐藤 裕子
いわき市教育委員会
指導主事 丹野 英雄
田村市教育委員会
指導主事 伊藤 恒明
イ 生徒指導指導者養成研修
○ 期日 平成30年7月2日～7月6日
○ 会場 独立行政法人教職員支援機構
○ 参加者 福島市立野田中学校
教諭 天野 健史
郡山市立富田小学校
教諭 菊田 誠司
南会津町立館岩小学校
教諭 田母神 誠
ウ 教育相談指導者養成研修
○ 期日 平成30年6月11日～6月14日
○ 会場 独立行政法人教員研修センター
○ 参加者 郡山市立富田西小学校
教諭 神田 奈緒子
いわき市総合教育センター
指導主事 橋本 勉

(2) 進路指導・キャリア教育

- ア キャリア教育指導者養成研修(第1回)
(ア) 主催 独立行政法人教職員支援機構、富山県教育委員会
(イ) 会場 パレブラン高志会館
(ウ) 期間 平成30年7月2日(月)～7月6日(金)
(エ) 参加者
棚倉町立棚倉中学校 校長 永山 美雄
会津若松市立一箕小学校 主幹教諭 松井 誓子
郡山市立熱海中学校 教諭 松野 哲也
福島県立橋高等学校 教諭 井上 晃

10 幼稚園教育

平成30年度公立幼稚園数は、130園であった。学級数は401学級であったが、東日本大震災及びその後の原子力発電所事故の影響による幼児数の減少も影響し、少人数保育になっているところが多い。県全体の公立幼稚園平均学級園児数は、15.5人である。

幼稚園教育の一層の充実を図るため、市町村教育委員会、福島県国公立幼稚園・こども園教育研究会及び公益社団法人福島県私立幼稚園連合会協会等の協力を得て、次の事業を実施した。

(1) 幼稚園教育課程研究協議会

- ア 主催 福島県教育委員会
イ 期日
県北域内 10月4日(木)
県中域内 9月13日(木)
県南域内 9月28日(金)
会津・南会津域内 10月3日(水)
相双域内 10月10日(水)
いわき域内 9月7日(金)
ウ 内容
○ 幼稚園教育要領の理解
○ 幼稚園の教育活動及び運営に係る課題と対応策
○ 幼児期における運動遊びに関する講義
エ 参加者数 218名(7地区合計)

(2) 幼児教育実技研修会

- ア 主催 福島県教育委員会
イ 期日 平成30年7月31日(火)～8月2日(木)
ウ 会場 福島大学附属小学校
エ 受講者 のべ304名(3日間合計)

(3) 福島県幼稚園等新規採用教員研修

- ア 主催 文部科学省、福島県教育委員会
イ 会場 教育センターが定めた場所、勤務園、参観を希望する幼稚園、保育所、小学校
ウ 日数 園外研修(教育センター) 2泊3日
〃 (各教育事務所) 3日間
〃 (幼稚園、保育園、小学校参観) 3日間
〃 (勤務園) 10日間
エ 参加者 研修対象者 公立44名 私立83名 計127名
オ 内容 講義……幼稚園教育の現状と課題、幼児の発達と人間関係、
演習……音楽をバックに楽しむ、保育と遊び
相談面接の基礎
協議……乳幼児理解、保育と記録、障がいのある子どもたちとのかわり
実技……からだを使って遊ぶ
参観……先進的研究実践園、小学校、保育所
実習……保育実習

(4) 幼稚園経験者研修Ⅱ

- ア 主催 文部科学省、福島県教育委員会
イ 期日 年間
ウ 日数・内容・会場
- 園外研修…5日以上
 - ・ 共通研修……………1日(各教育事務所)
 - ・ 保育専門研修…1泊2日(教育センター)
 - ・ 社会体験研修…1日(社会体験を行う各施設等)
 - ・ 選択研修 ……1日以上(幼児教育実技研修会等)
 - 園内研修…7日以上
 - ・ 保育力の向上に関する研修
 - ・ 教育課題の解決に向けた実践に関する研修
 - ・ パイオニア研修

エ 参加者 研修対象者 公立14名 私立0名 計14名

(5) 幼児教育指導者養成研修

- ア 期日 平成30年10月31日(水)～11月2日(金)
イ 会場 独立行政法人教員研修センター
ウ 参加者 義務教育課 指導主事 青田伸一
子育て支援課 指導主事 中丸美穂

11 へき地教育

本県におけるへき地学校は、県全体の小・中学校別の総数に対して、小学校113校で、25.5%、中学校61校で27.6%を占め、小・中学校総数に対して26.2%の割合となっている。

このへき地、山村、過疎地域の教育の振興を図るため、下記の事業を実施した。

(1) 複式学級担当教員研修会

- ア 主催 福島県教育委員会
イ 期日 平成30年5月29日(火)～5月30日(水)
ウ 会場 福島県教育センター
エ 講師 小学校教諭他
オ 参加者数 31名

(2) 中学校免許外教科担当教員研修会

- ア 主催 福島県教育委員会
イ 期日 平成30年5月14日(月)～5月16日(水)
平成30年5月23日(水)～5月25日(金)
ウ 会場 福島県教育センター
エ 講師 中学校教諭他
オ 参加者数 39名

(3) 全国へき地教育研究大会

第67回全国へき地教育研究大会京都大会

- ア 主催 文部科学省、全国へき地教育研究連盟
京都府教育委員会 他
イ 期日 平成30年10月11日(木)～10月12日(金)
ウ 会場 全体会 ロームシアター京都
分散会 府内2会場
分科会 府内9会場

エ 研究主題

○ 大会主題

「ふるさとで心豊かに学び、新しい時代を切り拓く子どもの育成」

オ 派遣者氏名

氏名	職	勤務先
関根 哲宏	教諭	西郷村立羽太小学校
吉田 良平	教諭	いわき市立桶売中学校

(4) 福島県へき地・小規模学校教育研究会

平成22年度末に福島県へき地・小規模学校教育研究会が解散している。

12 環境教育

学校における環境教育は、学校教育全体を通して行う必要があり、自然とふれあいを深め自然を愛護することの大切さを理解させるように努めている。

(1) 「尾瀬サミット」小・中学生3県交流事業「尾瀬子どもサミット」

- ア 主催 福島県教育委員会
群馬県・群馬県教育委員会
新潟県教育委員会
イ 期日 平成30年7月31日(火)～8月3日(金)
ウ 会場 福島県南会津郡檜枝岐村「尾瀬沼ヒュッテ」
エ 参加者数 福島県 県内小・中学生17名
群馬県 県内小・中学生20名
新潟県 県内小・中学生20名
オ 活動内容 尾瀬レクチャー・フィールド活動・意見交換会
カ 知事報告会 平成30年8月3日(金) 県庁

13 教科用図書

(1) 平成31年度使用教科用図書の採択

公立小・中学校教科用図書の採択は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づき、小学校用教科用図書、中学校道徳科教科用図書、学校教育法附則第9条図書を採択した。中学校道徳科以外の中学校用教科書は継続採択であった。

ア 教科用図書選定審議会

(ア) 委員 16名

(イ) 任期 平成30年4月1日～平成30年8月31日

(ウ) 開催期日 第1回 平成30年4月17日

第2回 平成30年5月29日

(エ) 会場 第1回 杉妻会館

第2回 杉妻会館

イ 教科書展示会

平成30年6月15日から14日間、県内21の会場で開催した。会場及び来会者は下の表のとおりである。

教科書センター (展示会場)	採択地区名	展示教科書 (該当に○印)			展示会場設置場所 (該当に○印)			来会者 総数
		小・中・高	小・中	高	教科書センター	分館	その他	
福島教科書センター(福島市立図書館)	福島・伊達・安達地区	○			○			50
伊達教科書センター(伊達市立図書館)	〃		○		○			43
二本松教科書センター(二本松市文化センター)	〃		○		○			30
郡山教科書センター(郡山市中央図書館)	郡山地区	○			○			85
須賀川教科書センター(文化の森てんえい)	岩瀬地区		○			○		43
〃 (須賀川市教育研修センター)	〃		○		○			52
石川教科書センター(石川中学校)	石川地区		○		○			60
三春教科書センター(田村市図書館)	田村地区		○		○			87
〃 (三春小学校)	〃		○		○			12
〃 (小野町 文化の館)	〃		○		○			10
西白河教科書センター(白河市立図書館)	西白河・東白川地区	○			○			73
東白川教科書センター(棚倉町立図書館)	〃	○			○			59
会津若松教科書センター(会津若松市歴史資料センター)	会津地区	○			○			19
喜多方教科書センター(喜多方第一小学校)	〃	○			○			15
会津坂下教科書センター(坂下南小学校)	〃	○			○			17
南会津教科書センター(南会津町役場)	〃		○		○			31
南会津教科書センター(南会津中学校)	〃		○		○			22
相馬教科書センター(南相馬市立中央図書館)	相馬地区	○			○			122
双葉教科書センター(富岡町文化交流センター)	双葉地区		○		○			45
いわき教科書センター(いわき市総合教育センター)	いわき地区	○			○			41
県立図書館			○				○	
合 計	(展示会場21箇所) (採択地区10地区)	9	12		19	1	1	916

ウ 平成31年度使用小学校教科書採択一覧(採択1年目)

採択地区	種目	国語	書写	社会	地図	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	保健
福島・伊達・安達		東書	東書	東書	帝国	東書	東書	東書	教芸	日文	開隆堂	東書
郡山		光村	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	教芸	開隆堂	東書	学研
田村		光村	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	教芸	日文	東書	東書
岩瀬		光村	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	教出	日文	東書	東書
石川		光村	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	教出	開隆堂	開隆堂	東書
西白河・東白川		光村	光村	東書	東書	教出	東書	東書	教出	開隆堂	開隆堂	東書
会津		東書	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	教出	日文	東書	東書
相馬		光村	光村	東書	東書	東書	東書	東書	教芸	日文	東書	東書
双葉		光村	光村	東書	帝国	東書	東書	東書	教芸	日文	東書	東書
いわき		光村	東書	東書	帝国	東書	東書	東書	教出	日文	開隆堂	東書

エ 平成31年度使用中学校教科書採択一覧（採択4年目）

採択地区	種目	国語	書写	社会 (地理的 分野)	社会 (歴史的 分野)	社会 (公民的 分野)	地図	数学	理科	音楽 (一般)	音楽 (器楽 合奏)	美術	保健 体育	技術 ・家庭 (技術)	技術 ・家庭 (家庭)	英語
福島・伊達・安達	光村	東書	帝国	東書	東書	帝国	東書	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	東書	東書
郡山	光村	光村	帝国	帝国	東書	帝国	東書	東書	教芸	教芸	日文	学研	東書	東書	東書	東書
田村	光村	光村	帝国	東書	東書	帝国	東書	東書	教出	教芸	日文	東書	東書	開隆堂	東書	東書
岩瀬	光村	光村	帝国	東書	東書	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	東書	東書	東書
石川	光村	光村	東書	帝国	東書	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	開隆堂	開隆堂	東書	東書
西白河・東白川	光村	光村	東書	東書	東書	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	開隆堂	東書	東書
会津	光村	光村	東書	東書	帝国	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	東書	東書	東書
相馬	光村	光村	帝国	東書	帝国	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	東書	東書	東書
双葉	光村	光村	東書	東書	東書	帝国	東書	東書	教芸	教芸	日文	東書	東書	東書	東書	東書
いわき	光村	光村	帝国	東書	東書	帝国	東書	東書	教出	教出	日文	東書	東書	東書	東書	東書

オ 平成31年度使用小学校道徳科教科書採択一覧（採択2年目）

採択地区	福島・伊達・安達	郡山	田村	岩瀬	石川	西白河・東白川	会津	相馬	双葉	いわき
発行者	光文	学研	光文	東書	光文	学研	学研	東書	光文	東書

カ 平成31年度使用中学校道徳科教科書採択一覧（採択1年目）

採択地区	福島・伊達・安達	郡山	田村	岩瀬	石川	西白河・東白川	会津	相馬	双葉	いわき
発行者	光村	東書	東書	東書	東書	日文	日文	東書	東書	教出

(2) 教科用図書無償給与

平成30年度も義務教育諸学校的全児童生徒に教科書の無償給与が行われた。また、平成31年度使用教科用図書無償給与事務説明会を市町村教育委員会及び県立特別支援学校・私立学校等の教科書事務担当者を対象に下表のとおり開催し、適正かつ円滑な事務処理が図られるようにした。

期 日	会 場	参集範囲
平成31年2月12日	福島県教育センター	県 北
平成31年2月5日	郡山合同庁舎	県 中
平成31年2月4日	白河合同庁舎	県 南
平成31年2月7日	ユースピアゆがわ	会 津
平成31年2月8日	南会津合同庁舎	南会津
平成31年2月1日	相双保健福祉事務所	相 双
平成31年2月13日	いわき合同庁舎	いわき

1.4 教育研究団体

(1) 福島県国公立幼稚園・こども園教育研究会

ア 研究主題（平成30年度）

協議 主題1	カリキュラム・マネジメントの適切な実施について
協議 主題3	幼稚園教育と小学校教育との接続の推進について
協議 主題5	幼稚園生活が幼児にとって安全なものとなるような環境の配慮や指導の工夫について

イ 組織及び財政の状況

- 会 長 江口 隆広
- 会員数 733名
- 平成30年度予算額 1,728,920円
- 上記のうち補助金 なし

ウ 主な事業

- 福島県国公立幼稚園・こども園長会、福島県国公立幼稚園・こども園教育研究会第1回委員会
- (ア) 期日・会場
平成30年4月25日(水) 福島市吾妻学習センター
- 研究主題研修会
- (ア) 期日・会場
平成30年6月6日(水) 福島市吾妻学習センター
- (イ) 講師 福島県教育庁義務教育課指導主事

(2) 福島県小学校教育研究会

- ア 基本主題(平成28年度～平成30年度)
- (ア) 「豊かにかかわり確かな学びを通して生きる力をはぐくむ授業の充実」
- イ 各研究部研究主題

研究部	研究主題
国語	児童一人一人の表現力や理解力を育成し、伝え合う力を高める指導はどうあればよいか。
社会	子ども一人一人に、我が国の国土、産業、歴史、社会生活などに対する理解と愛情を深め、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を養う社会科の授業はどうあればよいか。
算数	算数的活動を通して、算数を学ぶ楽しさやよさを実感し、新たな課題解決に向けて主体的に学ぶ子どもの育成
理科	自ら自然にはたらきかけ、感じ、考え、実感できる理科学習の充実
生活・総合	人々・社会・自然に進んでかかわり、自らの考えを生かして学び合い、確かな学びを実感できる子どもの育成
音楽	多様な音楽活動を通して、音楽のよさや美しさを、自ら感じ、考え、音楽の喜びを分かち合う子どもの育成
図画工作	つくり出す喜びを味わう造形活動を通して、感性を働かせながら、自分の思いを豊かに表現することができる図画工作科の指導
家庭	家族とのきずなを深め、生き抜く力をはぐくむ家庭科の学習はどうあればよいか
体育	運動の楽しさや喜びに触れる学びを通して、進んで運動に取り組み、体力の向上を図るたくましい子どもをはぐくむ体育指導の充実
道徳	道徳的価値の自覚と自己の生き方についての考えを深める指導の充実
特別活動	望ましい集団活動を通して、個性の伸長を図るとともに、よりよい生活や人間関係を築き、自主的、実践的な態度を育てる特別活動の指導の充実

ウ 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 木村 隆(郡山市立富田東小学校)
- (イ) 会員数 5,597名
- (ウ) 平成30年度決算額 5,238,455円

エ 主な事業

- 研究協議会
- (ア) 主催 福島県小学校教育研究会
- (イ) 共催 福島県教育委員会・開催地区関係市町村教育委員会
- (ウ) 期日・会場
- a 地区研究協議会 各地区
各地区の計画による
- b 県研究協議会 10月5日(金)～10月25日(木)
県内11会場
- (エ) 指導助言者 指導主事等

(3) 福島県中学校教育研究会

- ア 研究主題
- (ア) 基本主題
「主体的・対話的で深い学びを通して生きる力を身に付け、ふくしまの未来を切り拓く生徒の育成」
- イ 各部研究主題

研究部	平成30年度の研究主題・研究副主題
国語	言葉による見方・考え方を働かせ、社会生活に生きて働く言葉の力を身に付けさせるための指導はどうすればよいか。 H30 「話すこと・聞くこと」の領域における指導の工夫
社会	主体的に社会の形成に参画しようとする態度を育成する社会科の指導はどうすればよいか。 H30 社会的な見方や考え方を働かせ、社会との関わりを実感させる授業の工夫
数学	数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する指導はどうすればよいか。 H30 知識及び技能の確実な定着を図る指導の工夫
理科	自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する指導はどうすればよいか。 H30 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもって探究しようとする態度を養う学習活動の工夫
音楽	感性を働かせ、様々な音楽と豊かに関わる資質・能力を育むための指導はどうすればよいか。 H30 音楽的な見方・考え方を働かせるための学習指導の工夫
美術	造形活動を通し、多様な価値観や豊かな創造力を育むことで、自己実現の喜びを味わわせる美術教育はどうすればよいか。 H30 自己と対峙し、自己肯定感を高める題材の工夫

研究部	平成30年度の研究主題・研究副主題
保健体育	生涯を通じて心身の健康を保持増進するとともに、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む指導はどうすればよいか。 H30 運動の楽しさや価値に気づき、課題解決に向けて粘り強く取り組む態度を育む指導の工夫（体育分野）
技術・家庭	技術や生活の営みに係る見方・考え方を働かせ生活や社会の中から主体的に問題を見出し、解決する力を育成するための指導はどうすればよいか。 H30 生活や社会の中に問題を見出す題材や導入の工夫
英語	目的や場面、状況等に応じて、情報や考えなどを伝え合うコミュニケーション能力を育む指導はどうすればよいか。 H30 やり取りの即興性や継続性を育む指導の工夫
道徳	人間としての生き方についての考えを深める道徳の学びはどうすればよいか。 H30 読み物教材を活用した効果的な発問構成の工夫
特別活動	学校の創意工夫を生かし、深い学びを通してよりよい人間関係を築こうとする生徒を育む指導はどうすればよいか。 H30 学級・学年の一員として、よりよい学級や集団づくりに参画するための工夫

ウ 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 遠藤 哲（福島市立信夫中学校）
(イ) 会員数 3,016名
(ウ) 平成30年度の決算額 7,678,219円

エ 主な事業

- 研究協議会
(ア) 主催 福島県中学校教育研究会
(イ) 共催 福島県教育委員会
(ウ) 期日・会場
a 支部研究協議会 各支部
b 県研究協議会 10月10日（水）
県内12会場
(エ) 指導助言者 指導主事等

(4) 福島県小学校長会

ア 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 古関 明善（福島市立福島第三小学校）
(イ) 会員数 426名
(ウ) 平成30年度の決算額 14,405,393円

イ 主な事業

- (ア) 第47回福島県小学校長会研究協議会各支会大会
(イ) 開催期日 各支会の計画による
(ウ) 会場 各支会15会場
(エ) 参加者 426名

(5) 福島県中学校長会

ア 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 伊藤 隆幸（福島市立福島第一中学校）
(イ) 会員数 220名
(ウ) 平成30年度の決算額 8,614,828円

イ 主な事業

- 平成30年度小・中合同開会式、第1回理事会
(ア) 開催期日 4月25日（水）
(イ) 会場 福島県教育会館
○ 福島県中学校教育70年記念式典
(ア) 開催期日 10月12日（金）
(イ) 会場 母畑温泉「八幡屋」

(6) 福島県公立小・中学校教頭会

ア 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 三品 勝彦（福島市立信夫中学校）
(イ) 会員数 659名
(ウ) 平成30年度の決算額 12,298,222円

イ 主な事業

- 平成30年度福島県公立小・中学校教頭会総会及び研修会
(ア) 開催期日 5月7日（月）
(イ) 会場 福島県教育会館

(7) 福島県学校図書館協議会

ア 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 中野みどり（郡山市立東芳小学校）
(イ) 加盟校 654校
平成30年度の決算額 875,525円

イ 主な事業

- (ア) 第67回福島県学校図書館研究大会西白河大会
(イ) 研究主題 「未来を拓く 学びをひろげ、豊かな心を育む学校図書館」
(ウ) 開催期日 平成30年10月31日（水）
(エ) 会場 矢吹町文化センター 他
(オ) 参加人数 169人

(8) 福島県公立小中学校事務研究会

ア 組織及び財政の状況

- (ア) 会長 野邊 久美子
(イ) 会員数 574名
(ウ) 平成30年度の予算額 4,063,571円

イ 主な事業

- 学校事務研修会
全体研修
福島県公立小中学校事務研究会会長 野邊久美子
「第五次長期研修計画について」
研修Ⅰ（講話）
福島県教育庁義務教育課 管理主事 高田 秀人
「福島県の教育施策と学校事務職員の役割」
研修Ⅱ（講演）
独立行政法人日本スポーツ振興センター
新国立競技場設置本部施設部施設企画室長 廣田 貢

「これからの学校事務職員について語ろう～一歩前へ、
そしてその先へ～」
・開催期日 平成30年5月24日(木)

・会場 ユラックス熱海
・参加人数 役員・代議員 148名、一般会員 89名

第4節 国際化・科学技術の進展等への対応

1 中学生・高校生の科学・技術研究論文

野口英世賞募集

(1) 募集の趣旨

郷土が生んだ世界的な医学者、「医聖 野口」とうたわれた野口英世博士の名を冠した賞を制定し、県内の中学校・高等学校生徒を対象に論文の募集、表彰を行い、科学及び技術の発展に対応した人材の育成に努める。

(2) 応募期間

平成30年9月3日(月)～9月11日(火)

(3) 応募数

中学校 5点(4校)

高等学校 12点(9校)

(4) 審査会

平成30年10月18日(木) 自治会館 301会議室
(審査員長)

福島大学教授	小 沢 喜 仁
(審査員)	
福島大学准教授	高 安 徹
福島大学准教授	兼 子 伸 吾
郡山女子大学准教授	影 山 志 保
県中学校長会幹事	島 貫 条 司
桜の聖母学院中学校・高等学校長	高 城 友 治
須賀川桐陽高等学校長	末 永 仁

(5) 受賞者

【中学校】

・個人研究の部

賞	氏 名	学 校 名	論 文 の 題 名
優秀賞	竹中 涼太	会津若松市立大戸中学校	ダウンバーストの研究 ～樹木は語る上空の風～
	関本 悠太郎	喜多方市立塩川中学校	氷の結晶と光の分光の関係
入 選	飯田 賢	いわき市立平第一中学校	身近なもので納豆作り
	木口 幸音	福島大学附属中学校	おにぎりは守れるか? -食中毒を防ぐ考察-

【高等学校】

・個人研究の部

賞	氏 名	学 校 名	論 文 の 題 名
最優秀賞	山田 晃石	福島県立安積黎明高等学校	ネオンテトラの青色保存標本作製法の考案
優秀賞	山口 遼	福島県立福島工業高等学校	円形コイル補助装置の開発と検証
入 選	安達 汰生	福島県立会津高等学校	ゴムの単振動の減衰とヒステリシスの起因との関係性について

・共同研究の部

賞	団 体 名	論 文 の 題 名
優秀賞	福島県立福島高等学校 スーパーサイエンス部プラズマ班	プラズマによる流体制御の研究
	福島県立会津学鳳高等学校 SSH探求部物理班	ペロブスカイト太陽電池の高性能化に向けて
入 選	福島県立須賀川桐陽高等学校 理科部	再生繊維の研究 ～野草由来パルプに対する物理的処理の効果～
	福島県立須賀川桐陽高等学校 理科部	クマムシの研究(Ⅱ) ～飼育条件とタン状態での保存について～

2 中学生・高校生の国際理解・国際交流論文

朝河貫一賞募集

(1) 募集の趣旨

国際化の進展に対応し、世界のさまざまな文化や価値観を尊重するとともに、国際社会の平和と発展を担っていくことのできる青少年の育成を図る観点から、郷土が生んだ国際的な歴史学者「朝河貫一博士」の名を冠した賞を制定し、県内の中学校（義務教育学校後期課程を含む。）・高等学校の生徒を対象に論文の募集、表彰を行い、国際化に対応した人材の育成に努める。

(2) 応募期間

平成30年9月3日（月）～9月11日（火）

(3) 応募数

中学校 51点（20校）

高等学校 40点（8校）

(5) 受賞者

【中学校の部】

賞	氏名	学校名	学年	論文の題名
最優秀賞	庄條 はる	福島県立会津学鳳中学校	1	私が奪っていたもの
優秀賞	錫谷 智	福島大学附属中学校	3	戦争の「真の終結」とは
	小熊 法恵	会津若松市立一箕中学校	1	南太平洋と日本のつながり
	渡邊 希亜	桑折町立醸芳中学校	3	理想の世界のために
	上野 雅治	福島県立会津学鳳中学校	2	困ったときはお互いさま
	土屋 裕吾	福島県立会津学鳳中学校	3	国際理解を深めるために
入選	國分 陽菜	本宮市立本宮第二中学校	2	奇跡～国際化社会についての考え～
	遠藤 颯花	福島市立福島第三中学校	3	国際化の中での私たちの国際交流

【高等学校の部】

賞	氏名	学校名	学年	論文の題名
最優秀賞	田村 向日葵	会津若松ザベリオ学園高等学校	1	差別を超えた平和をめざして
優秀賞	ババアリ・梓晴	福島県立本宮高等学校	2	Peace for you (عليكم السلام/アッサラーム アレイクム)
	渡部 めぐ	福島県立安積高等学校	1	KOKUSAIJIN NI NARITAI
	佐藤 力哉	福島県立喜多方桐桜高等学校	2	真の積極性を求めて
	梶 木の実	福島県立葵高等学校	2	固定観念の中の世界
	吾妻 凌	福島県立福島南高等学校	2	新しい自分
入選	齋藤 寛人	福島県立白河高等学校	1	難民問題と世界の未来
	梅沢 由愛	福島県立安積高等学校	2	私と故郷を見つめ直して

(4) 審査会

平成30年10月11日（木） 自治会館特別会議室

(審査員長)

郡山女子大学非常勤講師

ジョン・ティルマント

(審査員)

福島学院大学客員講師

玄 永 牧 子

福島大学准教授

真歩仁 しょうん

福島民報社論説委員会委員長

安 田 信 二

福島民友新聞社編集局次長

佐 藤 掌

福島県中学校長会幹事

古 川 豊

福島県高等学校長協会普通部会長

吉 村 淳

第6章 高等学校教育

第1節 概要

今年度は、高等学校において、アクティブ・ラーニングの視点も取り入れて生徒の学力向上を図り、将来への展望を抱かせるとともに、地域に貢献できる人材や社会においてリーダーシップを発揮できる人材を育成し、教員研修及び生徒指導等に取組んだ。

(1) 「アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業」

ア スペシャリスト育成ミッション支援事業

- 対象校 22校
- 各校の取組内容
 - ・ 生徒の基礎学力を高める取組
 - (ア) 学ぶ意欲を向上させ主体的に学習に取り組む態度を育む講演会やガイダンス
 - (イ) 指導力向上のための校内研修の活性化
 - ・ 3年間の計画的な進学指導体制の充実を図る取組
学力向上連絡協議会の開催
 - ・ 生徒・保護者・教員・地域をつなぐ取組
 - (ア) 地域人材を活用した職業研究講話
 - (イ) 地域貢献活動
 - (ウ) 進路便りや年間指導計画表の作成・配布
 - ・ 社会人としての在り方についての理解を深める取組
 - (ア) 社会人としての在り方についての講演会
 - (イ) 職場見学会（選択）
 - (ウ) デュアルシステム等の実施（選択）

イ 大学進学ミッション支援事業

- 対象校 16校
- 各校の取組内容
 - ・ 思考力・判断力・表現力等の養成講座
 - ・ 教員による、難関大学等の入学試験問題の研究と発展的内容に係る指導
 - ・ 生徒の実態に応じた各校独自作成による校内模擬試験等の実施
 - ・ 社会人としての在り方についての理解を深める講話
 - ・ 大学教授等による最先端研究や理論に関する講義や演習
 - ・ 大学等と連携した最先端研究実習体験や課題研究指導（選択）
 - ・ 卒業生（大学生等）による講話
 - ・ 保護者を交えた進学勉強会
 - ・ 進路便りや年間進路指導計画表の作成・配布
- 研究会等の開催
 - ・ 学力向上のための教科指導力向上研究会
アクティブ・ラーニングの視点から生徒の主体性を生かす授業改善を進めるための研究
 - ・ 学力向上連絡協議会
アクティブ・ラーニングの視点から生徒の主体性を生かす授業改善を進めるための協議

ウ オールふくしまリーダー育成プロジェクト

- 対象 県立高等学校1・2年生
- 実施内容
 - (ア) 1年生対象 3泊4日の学習合宿
 - ・ 教員による入試問題研究講座（国語・数学・英語）
 - ・ 予備校講師等による難関大合格に向けたハイレベル講座（国語・数学・英語）
 - ・ 生徒によるグループ協議とプレゼンテーション等
 - ・ 社会人等による講演会等
 - ・ 大学生との交流会、パネルディスカッション等

(イ) 2年生対象：2日間の地区別学習セミナー

- ・ 教員による入試問題研究講座（国語・数学・英語）
- ・ 大学教授・予備校講師等による講座
- ・ 生徒によるグループ協議等

(2) 教職員現職教育計画に基づいて、各種研修会や講習会を開催し、教職員の職責にふさわしい資質・能力の向上に努めるとともに、社会の変化や時代の進展に対応した実践的指導力を習得させるため、各種の研修等を実施した。

(3) 多様化した生徒の心の問題の解決のために、ピュアハートサポートプロジェクトとしてカウンセリング等の各種研修会を開催し、教員の資質向上に努めた。さらに、教育相談専門研修及び関係機関との連携強化のために各種連絡協議会を開催し、教員の実践的指導力の向上を図った。

第2節 学校管理

1 生徒数と教職員数

(1) 県立高等学校の推移

区分		年度										
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
全日制	本校	84	83	83	83	83	83	84	84	79	79	
	分校	5	5	5	5	5	5	5	5	3	2	
定時制	独立	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	併置	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	計	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	分校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 募集基準として学校数を算定（課程の変更、募集停止を実施した場合、2年以上の生徒が在籍しても学校数に含めない）。

(2) 中学校卒業者の進学状況

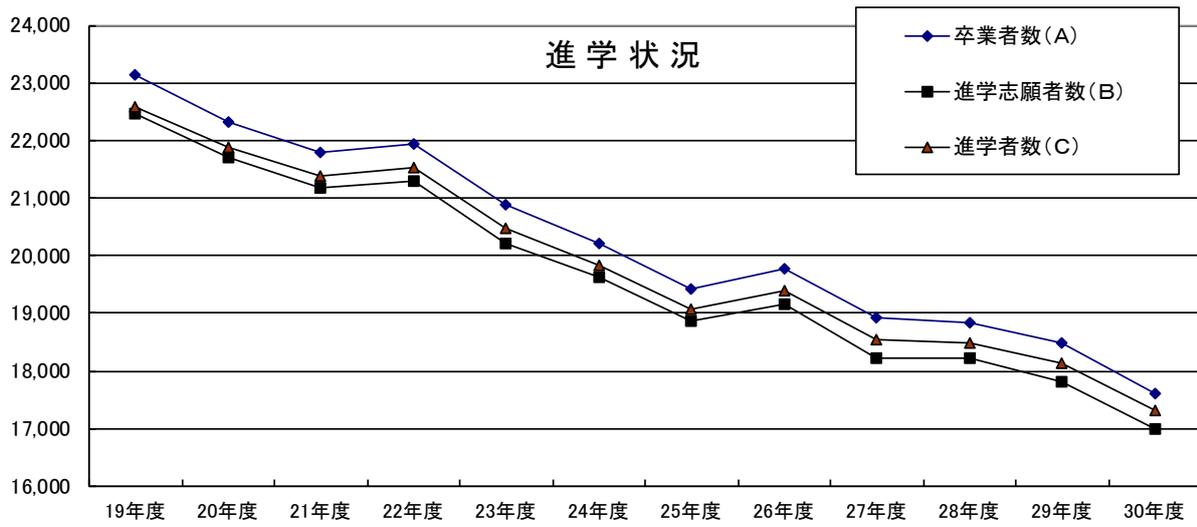
区分	年度											
	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
卒業生(A)	23,127	22,333	21,807	21,930	20,887	20,220	19,427	19,782	18,929	18,824	18,482	17,622
進学希望者数(B)	22,471	21,704	21,176	21,305	20,219	19,659	18,873	19,150	18,215	18,232	17,817	16,990
進学者数(C)	22,593	21,873	21,371	21,529	20,467	19,835	19,072	19,388	18,548	18,487	18,130	17,314
進学志願率(B/A)	97.2%	97.2%	97.1%	97.2%	96.8%	97.2%	97.1%	96.8%	96.2%	96.9%	96.4%	96.4%
進学率(C/A)	97.7%	97.9%	98.0%	98.2%	98.0%	98.1%	98.2%	98.0%	98.0%	98.2%	98.1%	98.3%
入学率(C/B)	100.5%	100.8%	100.9%	101.1%	101.2%	100.9%	101.1%	101.2%	101.8%	101.4%	101.8%	101.9%

(注) 進学とは中学校卒業者のうち県内外を問わず、高校の全日制、定時制、通信制、別科、高専及び特別支援学校高等部へ進学したことをいう（就職者を含む）。進学志願者数には高校の通信制課程志願者は含まれない。

中学校卒業者数は前年度より860名減少し、進学率は前年度より0.2ポイント上昇、入学率は0.1ポイント上昇した。平成30年度の進学者の内訳は次のとおりである。

高等学校全日制	16,200名 (93.6%)
高等学校定時制	272名 (1.6%)
高等学校通信制	448名 (2.6%)
高等学校別科	1名 (0.0%)
高等専門学校	224名 (1.3%)
特別支援学校高等部	169名 (1.0%)

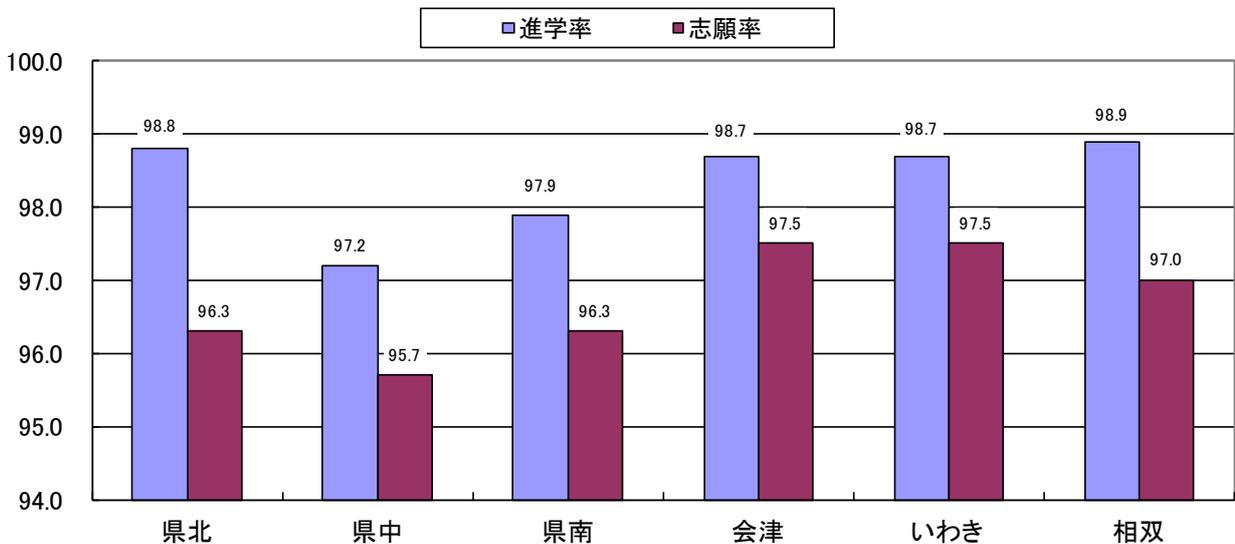
ア 中学校卒業者の進学状況の推移、進学率の推移



○高校進学率 (%)

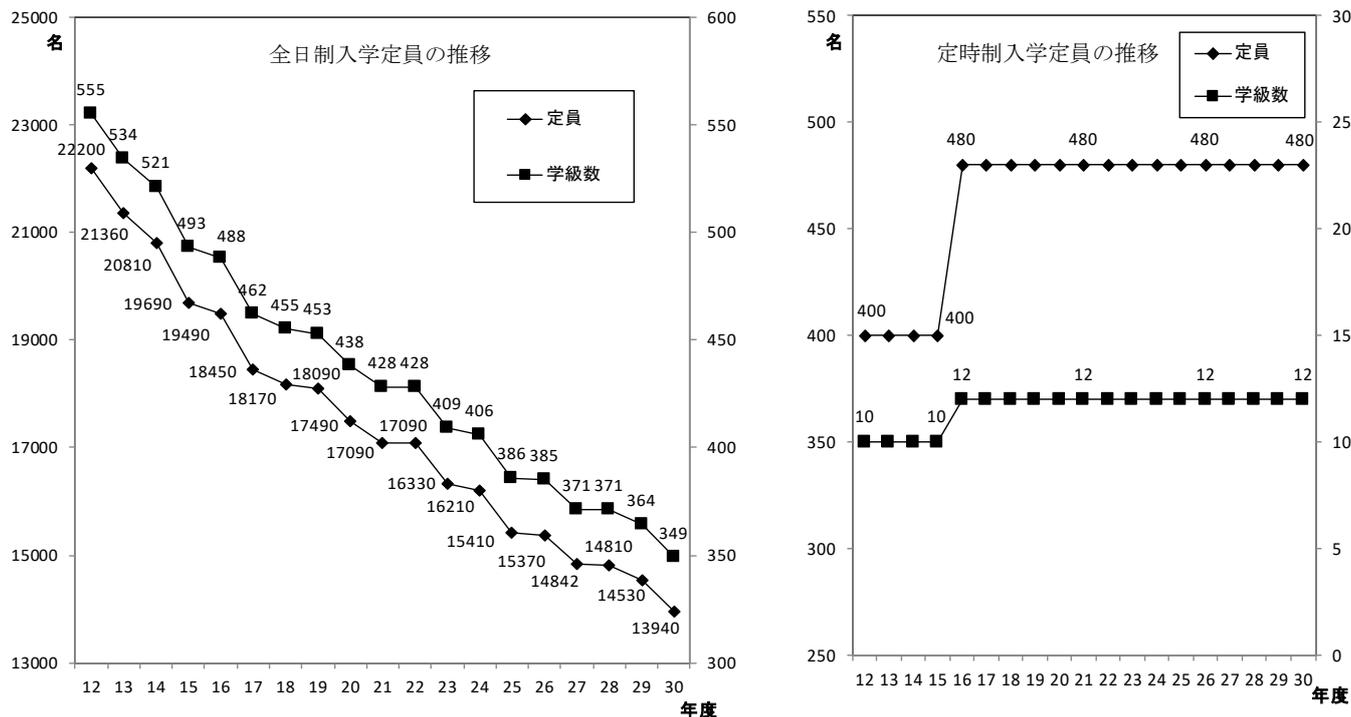
年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
全国	96.9	97.0	96.9	97.0	97.3	97.5	97.6	97.7	97.7	97.8	97.9	98.0	98.2	98.3	98.4	98.4	98.5	98.7	98.8	98.8
本県	95.6	96.3	96.0	96.6	96.9	97.5	97.4	97.8	97.7	97.9	98.0	98.2	98.0	98.1	98.2	98.0	98.0	98.2	98.1	98.3

イ 地域別高校志願率・進学率



(3) 県立高等学校入学定員の推移

ア 全日制入学定員並びに定時制入学定員の推移



イ 学級編成基準

学科の区分	全日制	定時制	学科の区分	全日制	定時制
普通科	35, 40	40	国際文化に関する学科	40	-
農業に関する学科	40	-	英語に関する学科	40	-
工業に関する学科	40	40	体育に関する学科	40	-
商業に関する学科	40	-	美術に関する学科	40	-
家庭に関する学科	40	-	国際科学に関する学科	40	-
水産に関する学科	40	-	総合学科	40	-
理数に関する学科	40	-	国際・スポーツに関する学科	40	-
文理に関する学科	40	-			

(4) 県立高等学校全日制課程入学状況の推移

年度	中学校卒業生数	入学定員		志願者数		志願倍率	入学者数	
	A	B定員	B/A (%)	C志願者数	C/A (%)	C/B (%)	D入学者数	D/C (%)
21	21,807	17,090	78.4	18,975	87.0	111	16,666	87.8
22	21,930	17,090	77.9	18,996	86.6	111	16,599	87.4
23	20,887	16,330	78.2	17,725	84.9	109	15,460	87.2
24	20,220	16,210	80.2	16,961	83.9	105	15,090	89.0
25	19,427	15,410	79.3	16,231	83.5	105	14,307	88.1
26	19,782	15,370	77.7	16,589	83.9	108	14,421	86.9
27	18,929	14,842	78.4	15,716	83.0	106	13,961	88.8
28	18,824	14,810	78.7	15,598	82.9	105	13,945	89.4
29	18,482	14,530	78.6	15,213	82.3	105	13,478	88.6
30	17,622	13,940	79.1	14,439	81.9	104	12,839	88.9

(5) 県立高等学校生徒数 (30.5.1 現在)

学科の区分		課程	全日制	定時制			専攻科	合計	通信制
				学年制	単位制	計			
普通科	男		9,337	110	294	404		9,741	655
	女		10,336	93	305	398		10,734	636
	計		19,673	203	599	802		20,475	1,291
農業に関する学科	男		1,388					1,388	
	女		1,400					1,400	
	計		2,788					2,788	
工業に関する学科	男		5,358	49		49		5,407	
	女		563	9		9		572	
	計		5,921	58		58		5,979	
商業に関する学科	男		1,586					1,586	
	女		2,933					2,933	
	計		4,519					4,519	
家庭に関する学科	男		13					13	
	女		38					38	
	計		51					51	
水産に関する学科	男		329				35	364	
	女		71				2	73	
	計		400				37	437	
理数に関する学科	男		228					228	
	女		199					199	
	計		427					427	
文理に関する学科	男		332					332	
	女		573					573	
	計		905					905	
国際文化に関する学科	男		22					22	
	女		103					103	
	計		125					125	
国際・スポーツに関する学科	男		0					0	
	女		0					0	
	計		0					0	
国際科学に関する学科	男		116					116	
	女		482					482	
	計		598					598	
英語に関する学科	男		36					36	
	女		121					121	
	計		157					157	
体育に関する学科	男		90					90	
	女		24					24	
	計		114					114	
美術に関する学科	男		16					16	
	女		102					102	
	計		118					118	
総合学科	男		1,574					1,574	
	女		2,257					2,257	
	計		3,831					3,831	
合計	男		20,425	159	294	453	35	20,913	655
	女		19,202	102	305	407	2	19,611	636
	計		39,627	261	599	860	37	40,524	1,291

(6) 県立高等学校通信制課程入学者、卒業者の推移

区分	年度 学校	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		入学者	安積第二高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
あさか開成高校	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
郡山萌世高校	239		262	278	290	216	197	152	133	124	99	87	71
計	239		262	278	290	216	197	152	133	124	99	87	71

区分	年度 学校	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
		卒業者	安積第二高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
あさか開成高校	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
郡山萌世高校	204		200	218	228	260	223	231	192	155	158	122	121
計	204		200	218	228	260	223	231	192	155	158	122	121

(7) 県立高等学校教職員定数の推移

区分	種別	高 等 学 校																			
	課程	全 日 制 ・ 定 時 制										通 信 制									
	職種 年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
教員	校長	86	85	85	85	85	85	86	86	81	81										
	教諭等	3674	3617	3523	3446	3351	3312	3223	3218	3167	3116	37	37	37	37	36	36	36	36	34	33
	養護教員	114	113	110	110	109	106	106	105	102	100										
	補充教員	155	148	148	144	157	153	153	145	137	131										
	充指導主事	26	34	24	23	23	23	23	23	23	23										
	寄宿舎指導員	5	5	5	5	3	3	5	6	7	8										
	実習助手	334	330	330	329	326	326	323	322	320	314										
	計	4394	4332	4225	4142	4054	4008	3919	3905	3837	3773	37	37	37	37	36	36	36	36	34	33
	事務職員	263	262	257	256	251	249	245	247	240	232	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
その他の職員	技能員																				
	学校司書	61	62	58	57	55	53	53	53	53	52										
	用務員	56	54	53	52	49	48	45	41	40	39										
	ボイラー技師	16	14	11	10	11	10	7	6	6	5										
	栄養士	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4										
	調理給食員	4	4	5	4	4	3	3	3	3	3										
	計	141	138	131	127	123	118	112	107	106	103										
練習船	技能職員	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9										
	その他の職員	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13										
	計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22										
	合 計	4820	4754	4635	4547	4450	4397	4298	4281	4205	4130	43	43	43	43	42	42	42	42	40	39

2 教職員人事・任用

(1) 人事異動の概要

平成 30 年度の高等学校教職員定数（補充教員は含まない）は、前年度比 70 人減の 4,038 人となった。このうち、教諭等は、前年度比 52 人減の 3,149 人である。

また、特別支援学校については、前年度比 35 人増の 1,658 人となった。このうち教諭等は前年度比 34 人増の 1,416 人となった。

ア 新採用(教諭)について

平成 30 年度は 42 名(国語 4 名・地理歴史公民 9 名・数学 1 名・理科 2 名・保健体育 3 名・音楽 2 名・美術 2 名・書道 1 名・英語 2 名・家庭 2 名・農業 5 名・工業 6 名・商業 2 名・水産 1 名)の新採用教員を県立高等学校に配置した。

平成 30 年度に実施した平成 31 年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験は、採用予定者数 40 名程度に対して、高等学校志願者は前年度比 66 名減の 597 名であった。

一次及び二次選考試験の結果、名簿登載者数は 44 名(前年度比 3 名増)となり、大学院猶予者 2 名を除く 42 名(前年度比 4 名増)が新採用教員として配置されることになる。

イ 校長への昇任

県立学校の校長への昇任は、その職責の重要性にかんがみ、資格・人物・指導力等を十分考慮のうえ、教頭から 18 名、教育庁関係から現場復帰による 2 名の登用をみた。これらの管理職は、できる限り自分の専門性をいかせるよう適材を適所に配置し、適正な学校管理運営をするよう努めた。

ウ 異動について

本年度も昨年度同様の方針にのっとり、同一校永年勤務者、採用後引き続き同一校に 3 年以上勤務する者等を含めて 474 名の教諭等の異動が実現した。

経験豊かな教員の転出が促進されたこととともに、定時制・通信制・及び特別支援学校と全日制高校との交流が進んだことは、教育組織の強化充実に資するところであり、全県的に教育水準及び教育効果の向上に役立つものと期待される。

(2) 平成 30 年度県立学校教員異動基準

I 一般基準

- (ア) 過員解消のための異動は、全県的視野から優先的に取り扱う。
- (イ) 教育課程の適正な運営を期するため、教員組織の均衡化を図り主免許教科を担当させるように努める。
- (ウ) 優秀な人材の定時制(夜間)・通信制・分校及びへき地校への転入を図るとともに、その者が相当年数(3 年以上)勤務した場合の転出については、特に考慮する。
- (エ) 同一校には、原則として、最低 3 年は勤務するものとする。

(オ) 2 親等以内の者(姻族を含む。)は、原則として、同一校勤務を避ける。

(カ) 教員人事公募選考制度については、別に定める。

II 異動基準

ア 勤続年数による基準

次に該当する者は、異動の対象とする。

(ア) 採用後引き続き同一校に 3 年以上勤務した者(以下「初任者」という。)

(イ) 異動 2 校目において 3 年以上勤務した者(以下「若年者」という。)

ただし、(ア)、(イ)いずれの場合も、原則として 3 年以上 5 年以内で異動させるものとする。

(「若年者」については平成 21 年度以降の採用者から適用する。)

(ウ) 同一校に 8 年以上勤務した者

(以下「永年者」という。)

ただし、中通り地域の 4 校(湖南・埴工業・修明・修明鮫川)、会津地域の 4 校(川口・田島・南会津・只見)及び浜通り地域の 2 校(浪江津島・相馬農業飯館)に 3 年以上勤務した場合は、永年とみなすことができる。

イ 地域、地区及び学校群による基準

教員の適材適所への配置及び教員組織の均衡化を図るため、県内を中通り、会津、浜通りの 3 地域に分け、各地域に所在する学校を学校規模及び交通の利便性等を考慮して、別表①に定める I・II 群に分類し、以下により異動を促進する。

(ア) 原則として、採用後 20 年以内に 3 地域の学校に勤務するものとする。

(イ) 農業、工業、商業、看護、福祉等を除く教科の教員については、II 群の学校に勤務している者が同一地区内で異動するときは、原則として I 群の学校に勤務するものとする。

ただし、II 群普通系から II 群専門系への異動、II 群専門系勤務者のうち直近の勤務が I 群校の者の II 群普通系への異動は可とする。

なお、相双地区においては II 群普通系内の異動も可とする。

(ウ) 農業、工業、商業、看護、福祉等の教科の教員については、全県的視野から地域間で相互に異動させるものとする。

ウ 平成 20 年度以前の採用者について

平成 30 年度までは次の基準(以下「旧基準」という。)を準用し、下記の(イ) a を満たす者は、上記イ(ア)の規定を満たすものとする。

(ア) 勤続年数による基準

次に該当する者は、異動の対象とする。

a 初任者

b 永年者

(イ) 地区及び学校群による基準

教員組織の均衡化を図るため、県内を県北・県南・会津・いわき・相双の5地区に分け、地区ごとに所在する学校の地理的特殊性等を考慮して、別表②に定めるA・B・C3群に分類し、以下により異動を促進する。

a 原則として次の条件を満たすよう勤務するものとする。

(a) 採用後15年以内に2地区以上の学校に勤務する。

(b) A・B2群の学校に勤務する。ただし、A群については、採用後15年以内とする。

b 県南地区の4校(湖南・塙工業・修明・修明鮫川)、会津地区の4校(川口・田島・南会津・只見)及び相双地区の3校(浪江津島・富岡川内・相馬農業飯館)は、それぞれ1地区とみなす。

c 本宮は平成16年度より県北地区とし、平成16年度以降の転入・在籍者から適用する。

d 群の取扱いの変更は、別表③の適用年度以降に当該校へ転入・在籍した者について適用する。

e 同一学校群内の異動については、次の諸点に留意する。

(a) A群については、原則として、へき地校間、分校間の異動は行わない。

(b) B群については、原則として、同一市内間の異動は行わない。ただし、いわき市及び南相馬市は除く。

(c) C群については同一市内間の異動は行わない。

f 職業に関する学科の教員で、永年者については、全県の視野から地区間で相互に異動することができるものとする。

また、異動後同一校に3年以上勤務した場合は、直近の勤務地区内へ異動することができる。

エ 寄宿舎指導員

原則として2に準ずるが、採用後20年以内に2地域の学校に勤務するものとする。

オ 交流

(ア) 学校種別間の交流

高等学校、特別支援学校及び中学校における教育を充実させるため、県立特別支援学校、市町村公立中学校との交流を促進する。

a 県立特別支援学校との交流は教諭、養護教諭、実習助手、寄宿舎指導員を対象とする。

その期間は、教諭及び実習助手については原則として3年とし、養護教諭及び寄宿舎指導員については原則として3年から8年とする。

b 市町村公立中学校との交流は教諭を対象とし、その期間は原則として2年とする。

(イ) 他県との交流

他県との交流については、別に定める。

別表① 地域・地区・群学校分類表

群		地域・地区	
		I	II
中 通 り	県 北	福島工業(定) 福島北 川俣 梁川 保原 保原(定) 安達 二本松工業 安達東 本宮 福島中央	普通系 福島 橘 福島西 福島東 福島南
			専門系 福島商業 福島明成 福島工業
	県 中	安積(御館) 湖南 須賀川 須賀川桐陽 清陵情報 長沼 岩瀬農業 石川 田村 船引 小野 小野(平田) 郡山萌世	普通系 安積 安積黎明 郡山東 郡山 あさか開成
	県 南	光南 塙工業 修明 修明(鮫川) 白河二	普通系 白河 白河旭
			専門系 白河実業
会 津		喜多方 喜多方東 喜多方桐桜 猪苗代 耶麻農業 西会津 大沼 川口 坂下 会津農林 田島 南会津 只見 会津二	普通系 会津 葵 会津学鳳
			専門系 若松商業 会津工業
		会津学鳳中学校	
浜 通 り	い わ き	湯本 小名浜 いわき海星 磐城農業 勿来 勿来工業 好間 遠野 四倉 いわき翠の杜	普通系 磐城 磐城桜が丘 いわき光洋
			専門系 平工業 平商業 いわき総合
	相 双	浪江 浪江(津島) 富岡 双葉翔陽 ふたば未来学園 相馬農業 相馬農業(飯館) 小高産業技術 新地	普通系 双葉 相馬 原町
専門系 相馬東			

~~~~~は、平成29年4月1日から休校になった学校。

別表② 地区・群別学校分類表

| 地区                  | 群                                  | A                                            | B                                       | C                                                           | 特別支援学校<br>(A群校扱い)                                                                    |
|---------------------|------------------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 県北                  |                                    | 福島工業(定) 川俣<br>梁川 保原(定)<br>安達東 福島中央           | 福島商業 福島明成<br>福島北 保原 安達<br>二本松工業 本宮      | 福島 橘 福島工業<br>福島西 福島東<br>福島南                                 | 視覚支援(盲)<br>聴覚支援福島(聾福島)<br>大笹生支援(大笹生養護)<br>須賀川支援医大(須賀川養護医大)                           |
|                     | 県南                                 | 安積(御館) 長沼<br>石川 船引<br>小野 小野(平田)<br>郡山萌世 白河第二 | 須賀川 須賀川桐陽<br>清陵情報 岩瀬農業<br>光南 白河実業<br>田村 | 安積 安積黎明<br>郡山東 郡山商業<br>郡山北工業 郡山<br>あさか開成<br>白河 白河旭          | 聴覚支援(聾)<br>郡山支援(郡山養護)<br>あぶくま支援(あぶくま養護)<br>須賀川支援(須賀川養護)<br>須賀川支援郡山(須賀川養護郡山)<br>たむら支援 |
| 湖南 塙工業 修明<br>修明(鮫川) |                                    | 西郷支援(西郷養護)<br>石川支援(石川養護)<br>石川支援たまかわ(石川養護分校) |                                         |                                                             |                                                                                      |
| 会津                  | 猪苗代 耶麻農業<br>西会津 会津第二               | 喜多方 喜多方東<br>喜多方桐桜<br>大沼 坂下<br>会津農林           | 会津 葵<br>会津学鳳<br>若松商業<br>会津工業            | 聴覚支援会津(聾会津)<br>会津支援(会津養護)<br>会津支援竹田(会津養護竹田)<br>猪苗代支援(猪苗代養護) |                                                                                      |
|                     | 川口 田島<br>南会津 只見                    |                                              |                                         |                                                             |                                                                                      |
|                     | 会津学鳳中学校                            |                                              |                                         |                                                             |                                                                                      |
| いわき                 | いわき海星 磐城農業<br>勿来 勿来工業 遠野<br>いわき翠の杜 | いわき総合<br>いわき光洋 湯本<br>小名浜 好間 四倉               | 磐城 磐城桜が丘<br>平工業 平商業                     | 聴覚支援平(聾平)<br>平支援(平養護)<br>いわき支援(いわき養護)<br>いわき支援くぼた(いわき養護くぼた) |                                                                                      |
| 相双                  | 双葉翔陽 新地                            | 双葉 浪江 富岡<br>相馬農業<br>小高産業技術                   | 相馬 相馬東<br>原町                            | 富岡支援(富岡養護)<br>相馬支援(相馬養護)                                    |                                                                                      |
|                     | 浪江(津島)<br>相馬農業(飯館)                 |                                              |                                         |                                                             |                                                                                      |

.....は、平成29年4月1日から休校になった学校。

別表③

| 高校名   | 群 | 適用年度 | 高校名   | 群 | 適用年度 | 高校名   | 群 | 適用年度 |
|-------|---|------|-------|---|------|-------|---|------|
| 小野    | A | 昭和52 | 白河実業  | B | 昭和61 | 棚倉    | A | 平成10 |
| 福島明成  | B | 昭和56 | 川俣    | A | 平成2  | 東白川農商 | A | 〃    |
| 福島北   | B | 〃    | 福島商業  | B | 〃    | あさか開成 | C | 平成11 |
| いわき海星 | A | 〃    | 梁川    | A | 平成8  | 光南    | B | 〃    |
| 磐城農業  | A | 〃    | 船引    | A | 〃    | 石川    | A | 〃    |
| 勿来工業  | A | 〃    | いわき光洋 | C | 〃    | いわき光洋 | B | 平成16 |
| 双葉翔陽  | A | 〃    | 勿来    | A | 〃    |       |   |      |
| 猪苗代   | A | 昭和58 | 相馬農業  | B | 〃    |       |   |      |

(3) 教頭複数制実施校(平成30年度実績)

|        |       |         |       |
|--------|-------|---------|-------|
| 福島     | 橘     | 福島工業    | 福島西   |
| 福島北    | 保原    | 安積      | 安積黎明  |
| 郡山東    | 郡山北工  | 郡山      | 須賀川   |
| 清陵情報   | 岩瀬農業  | 光南      | 白河    |
| 白河実業   | 修明    | 田村      | 会津    |
| 葵      | 会津学鳳  | 会津工業    | 喜多方桐桜 |
| 磐城     | 磐城桜が丘 | 平工業     | いわき総合 |
| 湯本     | 勿来工業  | ふたば未来学園 |       |
| 小高産業技術 | 郡山萌世  |         |       |
| 視覚支援   | 聴覚支援  | 大笹生支援   | 郡山支援  |
| あぶくま支援 | 須賀川支援 | 西郷支援    | 石川支援  |
| 会津支援   | 平支援   | いわき支援   |       |

3 学校の設置及び統廃合

- 公立高等学校の設置・廃止等(平成31年度) -

(1) 学校の設置・廃止等

- ア 統合に伴う学校廃止  
なし
- イ 統合に伴う学校新設  
なし
- ウ ふたば未来学園高等学校開校に伴い、避難区域にある高等学校の生徒募集休止による休校 全日制5校  
双葉高等学校、浪江高等学校、浪江高等学校津島校、富岡高等学校、双葉翔陽高等学校

(2) 学級増

なし

(3) 学級減

全日制7校7学級

| 課程  | 学校名   | 内 容      |
|-----|-------|----------|
| 全日制 | 福島    | 普通科1学級   |
|     | 福島南   | 情報会計1学級  |
|     | 白河旭   | 普通科1学級   |
|     | 葵     | 普通科1学級   |
|     | 大沼    | 普通科1学級   |
|     | 磐城桜が丘 | 普通科1学級   |
|     | 平工業   | 電気工学科1学級 |

(4) 募集停止

全日制1校2学級

| 課程  | 学校名   | 内 容           |
|-----|-------|---------------|
| 全日制 | 喜多方桐桜 | エリアマネジメント科1学級 |
|     | 喜多方桐桜 | 情報システム科1学級    |

(5) 35人学級編制

全日制2校4学級

| 課程  | 学校名 | 内 容    |
|-----|-----|--------|
| 全日制 | 南会津 | 普通科2学級 |
|     | 只見  | 普通科2学級 |

(6) 課程廃止

なし

(7) 学科転換・学科改編・学科新設

全日制1校1学級

学科新設

| 課程  | 学校名   | 内 容          |
|-----|-------|--------------|
| 全日制 | 喜多方桐桜 | 経営マネジメント科1学級 |

(8) 学科名変更

なし

(9) 校名変更

なし

(10) 連携型中高一貫教育校

| 課程  | 学校名     | 連携中学校                                       |
|-----|---------|---------------------------------------------|
| 全日制 | 埴工業     | 埴                                           |
|     | 田島      | 田島、荒海                                       |
|     | ふたば未来学園 | 浪江、浪江東、津島、なみえ創成、葛尾、双葉、大熊、富岡第一、富岡第二、川内、檜葉、広野 |
|     | 相馬東     | 中村第一、中村第二、向陽、磯部                             |

(11) 併設型中高一貫教育校

会津学鳳高等学校(会津学鳳中学校)

(12) 定時制・通信制

変更なし

(13) 専攻科

変更なし

## 第3節 学校教育

### 1 概要

#### (1) 指導行政の基本方針

生徒の能力・適性、進路・関心等を十分考慮し、地域や学校の実態に応じた教育指導の充実を図りながら、人間性豊かな生徒の育成を目指して、学校教育活動が活発に展開されるよう次の重点目標を設定し、その達成に努めた。

ア 生徒の実態等を踏まえ、各学校が主体性をもって、多様な教育課程を編成し、特色ある学校づくりができるよう指導・援助する。

イ 指導内容の精選と構造化に努め、言語活動の充実と生徒のよい点を積極的に評価するなどの評価の改善を進めることにより、生徒一人一人の個性を生かす指導方法の工夫・改善が図られるよう指導・援助する。

ウ 生徒指導の組織・体制を点検するとともに、教職員の共通理解を基盤として、中学校や家庭との連携を深めながら、生徒理解に基づいた指導が展開されるよう、指導・援助する。

エ 生徒の学校生活への適応を促し、中途退学者の減少及び問題行動・生徒事故の未然防止が図られるよう指導・援助する。

オ 教職員の資質と指導力の向上に努める。

カ 勤労観・職業観の育成にかかわる体験的な学習及び産業教育、情報教育の推進を図る。

#### (2) 指導組織

高校教育課長を中心に、主幹、主任指導主事及び指導主事が一体となって、それぞれの分掌に従い、企画・運営・指導助言に当たった。

また、学校教育指導委員の指名については、県立高校教諭及び養護教諭39名を指名し、各教科等の指導活動の充実・強化を図った。

#### (3) 学校教育指導の重点

前記の基本方針に基づき、指導の重点を次のように設定し、指導の充実を図った。

ア 教育課程の適切な運営と指導法の改善を図る。

(ア) 教育課程の適正な実施について、校長会、教頭会において周知徹底を図った。

(イ) 福島県高等学校教育課程講習会において、新高等学校学習指導要領について、その趣旨の徹底を図るとともに、教育課程実施に伴う諸問題について研究協議を行った。

イ 学力向上を図る。

「アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業」として、生徒の進路希望実現を目指した各学校の学力向上やキャリア教育に関する取組の支援、授業改善や進学指導力向上のための研究会などを実施した。また、将来社会においてリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指し、難関大学進学への意識、意欲の高い生徒を対象とした学習セミナーを実施した。さらに、対象校の進路指導担当者を出席者とする学力向上連絡協議会を実施した。

ウ 生徒指導の充実を図る。

(ア) 各種研修会、学校訪問等の指導を通して、校内における指導体制の確立を図るとともに、教職員の共通理解を図り、同一歩調による生徒指導の充実に努めた。

(イ) 生徒指導担当者研修会を開催し、生徒の多様化に即した生徒指導の在り方、開かれた生徒指導の在り方について研究協議を行った。

(ウ) 学校における教育相談体制の確立と教育相談活動の改善・充実を図った。

(エ) スクールカウンセラー活用事業として、生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、いじめや不登校等生徒の問題行動の解決に当たった。

エ 進路指導の充実を図る。

各種の研修会や講座を通して、下記事項の徹底に努めた。

(ア) キャリア教育の観点より低学年からの計画的・組織的な進路指導を通し進路意識の高揚に努めること。

(イ) ホームルーム活動における進路指導の充実に努めること。

(ウ) 面談や諸調査・諸検査を通して、生徒の能力・適性・進路の希望等を的確に把握すること。

(エ) 生徒の自己理解の促進に努めること。

(オ) 進路指導室の整備及び進路に関する情報や資料の収集に努めるとともに、その効果的な活用を図ること。

(カ) 組織的・計画的な進路相談の充実に努めること。

(キ) きめ細かな就職指導の充実・徹底に努めること。

オ 産業教育の充実を図る。

産業教育の改善・充実を図るため、施設・設備の充実及び情報教育の推進に努めた。

(ア) 体験入学の内容の質的改善・充実に努めた。

(イ) 情報教育の充実のため、教員の研修に努めた。

(ウ) 産業教育関係機関との連携により、産業教育の振興に努めた。

#### (4) 教職員の資質の向上と学校管理運営の充実

ア 現職教育の充実

(ア) 校内における研修体制の改善・充実を図った。

(イ) 研修会、講習会等への積極的な参加を促進し、指導力の向上を図った。

(ウ) 自己研修の充実により、教職員の能力が効果的に発揮されるように努めた。

イ 学校管理運営の適正化

(ア) 学校経営・運営ビジョンを定め、その達成度を客観的に評価し、その結果を公表するように努めた。

(イ) 管理者が学校管理運営について積極的に指導助言を行うよう努めた。

(ウ) 諸表簿の整理と保管、設備・備品の管理と活用については、適正に行われるように努めた。

(エ) 学校事務の責任分担を明確にし、正確、敏速、円滑に処理するよう努めた。

(オ) 各種調査報告について、厳正、的確に作成し、期限の厳守に努めた。

#### ウ 勤務体制の確立

教職員の勤務内容を明確にし、その実績について客観的に評価できるようにした。

#### エ 使命感の高揚

(ア) 教育公務員としての使命感に徹し、規律と責任ある体制を整え、教育能率の向上に努めた。

(イ) 教育公務員としての立場を自覚するとともに、服務倫理委員会を活用して事故防止に努め、社会的信用を失墜させることのないようにした。

(ウ) 絶えず自己研修に努め、豊かな知性を養い、指導力を高め、職責を十分果たせるようにした。

### (5) 教育環境の整備充実

#### ア 学習環境の整備充実

(ア) 環境整備については、方針を確立し、年次計画による充実を図った。

(イ) 学習環境を整備し、学習意欲の高揚を図った。

(ウ) 施設・設備の管理と運営の適正化を図った。

#### イ 学校事故防止の徹底

(ア) 安全教育の計画的実施と、事故防止を配慮した環境の整備改善に努めた。

(イ) 学校事故、教職員事故の防止については、適切な対策を講じ、事故の絶無を期した。

(ウ) 指導・管理の充実を図るため、関係機関、団体等との連携を密にして協力体制の確立に努めた。

### (6) 県立高等学校入学者選抜

#### ア 基本方針

平成31年度福島県立高等学校入学者選抜における基本方針

##### (ア) I期選抜

I期選抜は、各高等学校が自校の特色に応じてどのような受験生に志願してほしいかを選抜方法と併せて明示し、受験生は、それに従って自分の志願したい高等学校を主体的に選択し出願できる選抜とする。選抜に当たっては、受験生の個性や学ぶ意欲を重視するとともに、自校の特色に応じた選抜となるよう選抜資料を活用し、各高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

a 選抜に当たっては、志願理由書の記載内容、調査書の審査結果、面接の結果を資料とする。なお、各高等学校の判断により、学校の特色や学科の特性に応じて、小論文（又は作文）の結果、実技等の結果を選抜資料に加えることができるものとする。

b I期選抜においては、各高等学校が自校の教育目標にふさわしい入学者を選抜するため、受験生を多面的・多元的に評価するための資料の一つとして面接の結果を積極的に活用するものとする。

このため、面接の内容としては、受験生の個性や学ぶ意欲をみるとともに、中学校における学習活動の成果を問う内容を含むことができるものとする。

c I期選抜の定員枠については、県教育委員会が定める範囲の中で、各高等学校が、その特色や学科の特性に応じて設定するものとする。

##### (イ) II期選抜

II期選抜は、中学校における学習活動の成果を総合的にみる選抜とする。選抜に当たっては、学力検査の成績、調査書の審査結果を資料とし、さらに面接を実施する高等学校においては面接の結果とを併せて資料とし、各学校の特色、学科の特性等に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

a 学力検査を実施する教科は、全日制の課程においては、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科とする。

定時制の課程においては、各高等学校の判断により、実施教科を減じることができるものとする。

また、定時制の課程においては、年齢18歳以上の者については、学力検査を免除することができるものとし、学力検査を免除した場合、小論文（又は作文）を実施することができるものとする。

b 学力検査の問題作成に当たっては、中学校学習指導要領に示された各教科の目標及び内容を踏まえて、基礎的・基本的な内容の確実な定着をみる出題を一層工夫するとともに、論述式の解答を求める出題や思考力・分析力を問う出題をさらに工夫するものとする。

c 学力検査問題の配点については、各問の標準配点に留意しつつ、各高等学校の判断により配点ができるものとする。

d 特定の教科の学力検査の配点の比重を変える傾斜配点については、各学校の特色・学科の特性を考慮し、各高等学校の判断により実施することができるものとする。

また、志願者の自己申告による傾斜配点についても、各高等学校の判断により実施できるものとする。

e II期選抜の可否判定に当たっては、学力検査と調査書の成績の比重を原則として同等とする。

ただし、各高等学校が自校の特色化を図るために必要と判断する場合には、学力検査と調査書の成績の比重を変えることができるものとする。

具体的には、次のようにして可否判定を行う。

(a) 学力検査と調査書の成績の比重を同等とする場合  
学力検査と調査書の成績のいずれもが定員内にある者で、調査書の記載事項及び面接を実施した場合にはその結果に特に問題のない者を合格とする。次に、その他の者については、学力検査の成績と調査書の記載事項及び面接を実施した場合にはその結果とを十分に精査して、総合的に判定する。

(b) 学力検査と調査書の成績の比重を変える場合  
学力検査と調査書の成績のいずれか一方に一定の数値を掛けて両者を加えて得られた成績と、調査書

の記載事項及び面接を実施した場合にはその結果とを十分に精査して、総合的に判定する。

ただし、上記eにより実施する場合には、学力検査の特定の教科への傾斜配点及び自己申告による傾斜配点は実施しないものとする。

f 面接については、各高等学校の判断により実施できるものとする。

#### (ウ) III期選抜

III期選抜は、I期選抜、II期選抜及び連携型中高一貫教育に係る入学者選抜（以下「連携型選抜」という。）により定員（会津学鳳高等学校においては、会津学鳳中学校から会津学鳳高等学校への入学を志願する者の数を除いた数とする。）を充足しない高等学校において実施するものとし、I期選抜、II期選抜及び連携型選抜の受験の有無にかかわらず出願できる選抜とする。選抜に当たっては、調査書の審査結果、面接の結果及び小論文（又は作文）の結果を資料として、各高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

なお、I期選抜、II期選抜又は連携型選抜に合格した者は出願できないものとする。

a 選抜に当たっては、調査書の成績とともに、面接の結果及び小論文（又は作文）の結果を十分に精査する。

b II期選抜における学力検査の成績は、III期選抜の資料とはしないものとする。

c III期選抜における面接は、受験生の学ぶ意欲をみる内容とともに、中学校における学習活動の成果を問う内容を含むことができるものとする。

#### (エ) 連携型選抜

連携型中高一貫教育を実施する高等学校（以下「連携型高等学校」という。）において、連携型中高一貫教育を実施する中学校（以下「連携型中学校」という。）から目的意識や意欲のある生徒の入学を促進し、6年間を通して生徒一人一人の個性をより重視した教育の実現を図るため連携型選抜を実施する。選抜に当たっては、受験生の個性や学ぶ意欲をみるとともに、連携している内容に応じた選抜となるよう配慮し、各連携型高等学校の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜するものとする。

a 選抜に当たっては、中学校長から提出された調査書及び面接の結果を資料とする。

なお、各連携型高等学校長の判断により、学校の特色や連携している内容に応じて、課題研究レポート、適性検査等の結果を選抜資料に加えることができるものとする。

b 連携型選抜においては、各連携型高等学校が連携型中高一貫教育にふさわしい入学者を選抜するため、面接の内容としては、受験生の個性や学ぶ意欲をみるとともに、中学校における学習活動の成果を問う内容を含むことができるものとする。

c 募集定員枠については、別に公告する募集定員の30%を下限とし、各連携型高等学校が学校・学科の特色や地域の特性に応じて設定する。

ただし、定員枠については、当該高等学校長はあらかじめ県教育委員会と協議するものとする。

また、I期選抜の募集定員枠は、これとは別に設定するものとする。

d 連携型高等学校の連携型選抜に出願することができる者は、当該高等学校と連携している中学校を卒業する見込みの者とする。

なお、連携型中学校を卒業する見込みの者は、当該中学校と連携している高等学校のI期選抜へ出願することはできない。

e 実施期日については、I期選抜と同日又はI期選抜に近接した日とする。

なお、併設型中高一貫教育校である会津学鳳中学校から会津学鳳高等学校への入学を志願する者については、各選抜に出願することはできないものとする。

#### イ 入学者選抜関係日程

6月6日 第1回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議

7月19日 第2回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議

8月28日 第3回県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議

8月28日 県立中学校・高等学校入学者選抜方法の改善等に関する調査研究報告書提出

10月5日～10月12日

県北・県中・県南・会津・南会津・いわき・相双の7地区で入学者選抜実施要綱説明会実施

10月19日 平成31年度入学者募集定員決定

#### (ア) I期選抜関係日程

1月17日～1月22日 出願書類受付

1月31日（2月1日） 面接等

2月5日 合格内定通知

2月7日～2月12日 入学確約書提出

3月14日 合格者発表

#### (イ) II期選抜関係日程

2月13日～2月18日 出願書類受付

2月19日～2月21日 出願先変更

2月22日～2月25日 調査書提出

3月7日 学力検査

3月7日又は8日 面接等

3月14日 合格者発表

#### (ウ) III期選抜関係日程

3月15日～3月18日 出願書類受付

3月19日 出願先変更

3月22日 面接等

3月25日 合格者発表

(エ) 連携型選抜関係日程

1月17日～1月22日 出願書類受付  
 I期選抜と同日又はI期選抜に近接した日 面接等  
 2月5日 合格内定通知  
 2月7日～2月12日 入学確約書提出  
 3月14日 合格者発表

(カ) 通信制の課程選抜日程

2月13日～3月27日 出願書類受付  
 4月3日 合格者発表(個人宛通知)

ウ ふたば未来学園高等学校の入学者選抜

平成27年度入学者選抜において、双葉高等学校(普通科)、浪江高等学校(普通科)、浪江高等学校津島校(普通科)、富岡高等学校(国際・スポーツ科)、双葉翔陽高等学校(総合学科)を募集停止とし、平成27年4月にふたば未来学園高等学校を開校した。平成31年度連携型選抜においては、次の(ア)～(ウ)に該当する者を出願資格を有する者とした。

(ア) 出願時にJFAアカデミー福島又は双葉地区教育構想ビクトリープログラムに参加している者

(イ) 次の双葉郡の中学校に在籍している者

双葉郡浪江町立浪江中学校  
 双葉郡浪江町立浪江東中学校  
 双葉郡浪江町立津島中学校  
 双葉郡浪江町立なみえ創成中学校  
 双葉郡葛尾村立葛尾中学校  
 双葉郡双葉町立双葉中学校  
 双葉郡大熊町立大熊中学校  
 双葉郡富岡町立富岡第一中学校  
 双葉郡富岡町立富岡第二中学校  
 双葉郡川内村立川内中学校  
 双葉郡檜葉町立檜葉中学校  
 双葉郡広野町立広野中学校

(ウ) ふたば未来学園高等学校との連携型中高一貫教育を実施している中学校に在籍している者以外で、東日本大震災が発生した時に、双葉郡内の小学校に在籍していた者又は双葉郡内に保護者が居住していた者で、中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校若しくは中等教育学校の前期課程を平成31年3月に卒業見込又は修了見込の者

エ 志願者数・合格者数

◇各選抜ごとの集計

※「普通科等」には、普通科、理数科、数理科学科、文理科、国際文化科、英語科、体育科、デザイン科学科、国際科学科が含まれる。

( ) 内は平成30年度

(ア) I期選抜

《全日制》

| 学科   | 入学定員               | I期選抜定員           | 志願者数             |                  |                  | 志願倍率           | 合格内定者数           |                  |                  |
|------|--------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|------------------|------------------|------------------|
|      |                    |                  | 男                | 女                | 計                |                | 男                | 女                | 計                |
| 普通科等 | 7,500              | 1,854            | 1,104            | 1,761            | 2,865            | 1.55           | 730              | 1,180            | 1,910            |
| 農業   | 1,040              | 448              | 257              | 402              | 659              | 1.47           | 181              | 278              | 459              |
| 水産   | 160                | 56               | 90               | 17               | 107              | 1.91           | 48               | 16               | 64               |
| 工業   | 2,080              | 944              | 1,209            | 162              | 1,371            | 1.45           | 863              | 123              | 986              |
| 商業   | 1,480              | 630              | 299              | 690              | 989              | 1.57           | 190              | 482              | 672              |
| 家庭   | 40                 | 14               | 4                | 7                | 11               | 0.79           | 3                | 7                | 10               |
| 総合   | 1,320              | 429              | 226              | 426              | 652              | 1.52           | 162              | 293              | 455              |
| 計    | 13,620<br>(13,940) | 4,375<br>(4,464) | 3,189<br>(3,237) | 3,465<br>(3,429) | 6,654<br>(6,666) | 1.52<br>(1.49) | 2,177<br>(2,225) | 2,379<br>(2,353) | 4,556<br>(4,578) |

《定時制》

| 学科 | 入学定員         | I期選抜定員       | 志願者数        |            |              | 志願倍率           | 合格内定者数     |            |              |
|----|--------------|--------------|-------------|------------|--------------|----------------|------------|------------|--------------|
|    |              |              | 男           | 女          | 計            |                | 男          | 女          | 計            |
| 普通 | 440          | 140          | 94          | 74         | 168          | 1.20           | 63         | 59         | 122          |
| 工業 | 40           | 12           | 8           | 0          | 8            | 0.67           | 8          | 0          | 8            |
| 計  | 480<br>(480) | 152<br>(152) | 102<br>(66) | 74<br>(99) | 176<br>(165) | 1.16<br>(1.09) | 71<br>(37) | 59<br>(74) | 130<br>(111) |

## (イ) 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜（連携型選抜）

| 学科 | 入学定員         | 連携型選抜<br>定員  | 志願者数       |              |              | 志願<br>倍率       | 合格内定者数     |            |              |
|----|--------------|--------------|------------|--------------|--------------|----------------|------------|------------|--------------|
|    |              |              | 男          | 女            | 計            |                | 男          | 女          | 計            |
| 普通 | 80           | 32           | 11         | 14           | 25           | 0.78           | 11         | 13         | 24           |
| 工業 | 80           | 24           | 12         | 3            | 15           | 0.63           | 10         | 3          | 13           |
| 総合 | 320          | 144          | 71         | 86           | 157          | 1.09           | 61         | 75         | 136          |
| 計  | 480<br>(480) | 200<br>(184) | 94<br>(95) | 103<br>(119) | 197<br>(214) | 0.99<br>(1.16) | 82<br>(75) | 91<br>(98) | 173<br>(173) |

## (ウ) II期選抜

## 《全日制》

| 学科   | 入学定員               | I期選抜・<br>連携型選抜<br>合格内定者を<br>除いた定員 | 志願者数             |                  |                  | 志願<br>倍率       | 合格者数             |                  |                  |
|------|--------------------|-----------------------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|------------------|------------------|------------------|
|      |                    |                                   | 男                | 女                | 計                |                | 男                | 女                | 計                |
| 普通科等 | 7,500              | 5,566                             | 2,690            | 2,991            | 5,681            | 1.02           | 2,255            | 2,440            | 4,695            |
| 農業   | 1,040              | 581                               | 280              | 236              | 516              | 0.89           | 246              | 211              | 457              |
| 水産   | 160                | 96                                | 75               | 10               | 85               | 0.89           | 63               | 8                | 71               |
| 工業   | 2,080              | 1,081                             | 959              | 84               | 1,043            | 0.96           | 852              | 69               | 921              |
| 商業   | 1,480              | 808                               | 357              | 490              | 847              | 1.05           | 301              | 394              | 695              |
| 家庭   | 40                 | 30                                | 5                | 9                | 14               | 0.47           | 4                | 8                | 12               |
| 総合   | 1,320              | 643                               | 262              | 376              | 638              | 0.99           | 222              | 327              | 549              |
| 計    | 13,620<br>(13,940) | 8,805<br>(9,103)                  | 4,628<br>(4,964) | 4,196<br>(4,388) | 8,824<br>(9,352) | 1.00<br>(1.03) | 3,943<br>(4,140) | 3,457<br>(3,621) | 7,400<br>(7,761) |

## 《定時制》

| 学科 | 入学定員         | I期選抜<br>合格内定者を<br>除いた定員 | 志願者数         |            |              | 志願<br>倍率       | 合格者数       |            |              |
|----|--------------|-------------------------|--------------|------------|--------------|----------------|------------|------------|--------------|
|    |              |                         | 男            | 女          | 計            |                | 男          | 女          | 計            |
| 普通 | 440          | 318                     | 92           | 59         | 151          | 0.47           | 61         | 52         | 113          |
| 工業 | 40           | 32                      | 12           | 0          | 12           | 0.38           | 7          | 0          | 7            |
| 計  | 480<br>(480) | 350<br>(369)            | 104<br>(102) | 59<br>(65) | 163<br>(167) | 0.47<br>(0.45) | 68<br>(78) | 52<br>(58) | 120<br>(136) |

## (エ) 外国人生徒等に係る特別枠選抜

| 学校名   | 学科名  | 定員  | 志願者数 |   |   | 合格者数 |   |   |
|-------|------|-----|------|---|---|------|---|---|
|       |      |     | 男    | 女 | 計 | 男    | 女 | 計 |
| 福島北   | 総合   | 若干名 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 |
| 福島南   | 国際文化 | 若干名 | 0    | 2 | 2 | 0    | 2 | 2 |
| あさか開成 | 国際科学 | 若干名 | 2    | 2 | 4 | 2    | 2 | 4 |
| 光南    | 総合   | 若干名 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 |
| 会津学鳳  | 総合   | 若干名 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 |
| 湯本    | 普通   | 若干名 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 |
| 相馬東   | 総合   | 若干名 | 0    | 0 | 0 | 0    | 0 | 0 |

## (オ) III期選抜

## 《全日制》

| 学科   | 入学定員             | 志願者数         |             |              | 合格者数         |             |              |
|------|------------------|--------------|-------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
|      |                  | 男            | 女           | 計            | 男            | 女           | 計            |
| 普通科等 | 871              | 97           | 56          | 153          | 82           | 50          | 132          |
| 農 業  | 124              | 23           | 7           | 30           | 13           | 6           | 19           |
| 水 産  | 25               | 4            | 0           | 4            | 4            | 0           | 4            |
| 工 業  | 160              | 21           | 6           | 27           | 18           | 6           | 24           |
| 商 業  | 113              | 5            | 9           | 14           | 3            | 9           | 12           |
| 家 庭  | 18               | 0            | 0           | 0            | 0            | 0           | 0            |
| 総 合  | 94               | 16           | 9           | 25           | 12           | 7           | 19           |
| 計    | 1,405<br>(1,342) | 166<br>(185) | 87<br>(119) | 253<br>(304) | 132<br>(132) | 78<br>(106) | 210<br>(238) |

## 《定時制》

| 学科  | 入学定員         | 志願者数       |           |            | 合格者数       |           |            |
|-----|--------------|------------|-----------|------------|------------|-----------|------------|
|     |              | 男          | 女         | 計          | 男          | 女         | 計          |
| 普 通 | 205          | 33         | 9         | 42         | 22         | 8         | 30         |
| 工 業 | 25           | 5          | 0         | 5          | 2          | 0         | 2          |
| 計   | 230<br>(233) | 38<br>(38) | 9<br>(15) | 47<br>(53) | 24<br>(29) | 8<br>(11) | 32<br>(40) |

## ◇III期選抜実施後の最終集計

※「普通科等」には、普通科、理数科、数理科学科、文理科、国際文化科、英語科、体育科、デザイン科学科、国際科学科が含まれる。

( ) 内は平成30年度

## 《全日制》

| 学科   | 入学定員               | I 期 選 抜<br>合 格<br>内 定 者 数 | 連 携 型 選 抜<br>合 格<br>内 定 者 数 | II 期 選 抜<br>合 格 者 数 | III 期 選 抜<br>合 格 者 数 | 合格者数             |                  |                    |
|------|--------------------|---------------------------|-----------------------------|---------------------|----------------------|------------------|------------------|--------------------|
|      |                    |                           |                             |                     |                      | 男                | 女                | 計                  |
| 普通科等 | 7,500              | 1,910                     | 24                          | 4,695               | 132                  | 3,078            | 3,683            | 6,761              |
| 農 業  | 1,040              | 459                       |                             | 457                 | 19                   | 440              | 495              | 935                |
| 水 産  | 160                | 64                        |                             | 71                  | 4                    | 115              | 24               | 139                |
| 工 業  | 2,080              | 986                       | 13                          | 921                 | 24                   | 1,743            | 201              | 1,944              |
| 商 業  | 1,480              | 672                       |                             | 695                 | 12                   | 494              | 885              | 1,379              |
| 家 庭  | 40                 | 10                        |                             | 12                  | 0                    | 7                | 15               | 22                 |
| 総 合  | 1,320              | 455                       | 136                         | 549                 | 19                   | 457              | 702              | 1,159              |
| 計    | 13,620<br>(13,940) | 4,556<br>(4,578)          | 173<br>(173)                | 7,400<br>(7,761)    | 210<br>(238)         | 6,334<br>(6,572) | 6,005<br>(6,178) | 12,339<br>(12,750) |

《定時制》

| 学科 | 入学定員         | Ⅰ期選抜<br>合格<br>内定者数 | 連携型選抜<br>合格<br>内定者数 | Ⅱ期選抜<br>合格者数 | Ⅲ期選抜<br>合格者数 | 合格者数         |              |              |
|----|--------------|--------------------|---------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|    |              |                    |                     |              |              | 男            | 女            | 計            |
| 普通 | 440          | 122                |                     | 113          | 30           | 146          | 119          | 265          |
| 工業 | 40           | 8                  |                     | 7            | 2            | 17           | 0            | 17           |
| 計  | 480<br>(480) | 130<br>(111)       |                     | 120<br>(136) | 32<br>(40)   | 163<br>(144) | 119<br>(143) | 282<br>(287) |

## 2 現職教育

### (1) 各種研修並びに講習会

| 名称                          | 期日                | 期間    | 会場                                                                                               | 参加者                      |
|-----------------------------|-------------------|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 新任校長研修会                     | 5.10～5.11         | 2日    | 教育センター                                                                                           | 新任県立高等学校長 15名            |
| 新任教頭研修会                     | 5.17～5.18         | 2日    | 教育センター                                                                                           | 新任県立高等学校教頭 21名           |
| 経験者研修Ⅲ（中堅教員研修）              | 10.22～10.24       | 3日    | 教育センター                                                                                           | 県立学校中堅教員 48名             |
| 初任者研修（基本研修）                 | 4.4～4.5           | 2日    | 教育センター                                                                                           | 高等学校初任者研修<br>対象教員 43名    |
| 〃（一次研修）                     | 4.18～4.20         | 3日    | 教育センター                                                                                           |                          |
| 〃（二次研修）                     | 10.31～11.2        | 3日    | 教育センター                                                                                           |                          |
| 〃（教科別 研修）                   | 9.3～9.5           | 3日    | ・商業（平商業）                                                                                         |                          |
|                             | 9.5～9.7           | 3日    | ・国語（相馬農業）<br>・数学（福島南）<br>・理科（石川）<br>・保健体育（喜多方）<br>・音楽<br>（いわき光洋、平工業）<br>・家庭（耶麻農業）<br>・農業水産（岩瀬農業） |                          |
|                             | 9.25～9.27         | 3日    | ・英語（南会津）                                                                                         |                          |
|                             | 9.26～9.28         | 3日    | ・地歴公民（郡山）<br>・美術<br>（長沼、須賀川桐陽）<br>・工業（会津工業）                                                      |                          |
| 〃（地区別研修）                    | 4月～11月            | 11日   | 各地区施設<br>学校等                                                                                     |                          |
| 〃（所属における研修）                 | 4月～3月             | 150時間 | 各所属校                                                                                             |                          |
| 2年次教員フォローアップ研修<br>（教科等指導研修） | 7.9               | 1日    | 教育センター                                                                                           | 高等学校初任者研修<br>修了教員 37名    |
| 〃（企業体験研修）                   | 長期休業期間中           | 2日    | 各企業等                                                                                             |                          |
| 〃（所属校における研修）                | 4月～3月             | 30時間  | 各所属校                                                                                             |                          |
| 経験者研修Ⅰ（校外研修）                | 1班<br>10.10～10.12 | 3日    | 教育センター                                                                                           |                          |
| 〃（所属校における研修）                | 5月～12月            | 5日    | 各所属校                                                                                             | 県立学校教職経験<br>5年を経過した者 74名 |

| 名 称          | 期日             | 期間    | 会 場     | 参加者                       |
|--------------|----------------|-------|---------|---------------------------|
| 経験者研修Ⅱ（共通研修） | 4. 17          | 1 日   | 教育センター  | 県立学校教職経験<br>10年を経過した者 73名 |
| 〃（生徒指導研修）    | 7. 3           | 1 日   | 教育センター  |                           |
| 〃（教科指導研修Ⅰ）   | 7. 4           | 1 日   |         |                           |
| 〃（教科指導研修Ⅱ）   | 10. 29 ～10. 30 | 2 日   |         |                           |
| 〃（社会体験研修Ⅰ）   | 4月～1月          | 2 日   | 各所、施設等  |                           |
| 〃（所属校における研修） | 4月～1月          | 15日以上 | 各所属校    |                           |
| 〃（選択研修）      | 4月～1月          | 3日以上  | 各所、施設等  |                           |
| 新任教務主任研修会    | 7. 31          | 1 日   | 郡山北工業高校 | 新任教務主任 19名                |
|              | 8. 2           | 1 日   | 福島西高校   |                           |
|              | 8. 2           | 1 日   | 四倉高校    |                           |
|              | 8. 17          | 1 日   | 坂下高校    |                           |

## (2) 教員体験研修（2か月）

実施せず

## (3) 教職員等中央研修

### ア 趣旨

学校経営力向上のための高度で専門的な知識等を習得させ、各地域の中核となる校長、教頭、中堅教員を育成する。

イ 主催 独立行政法人教員研修センター

ウ 共催 文部科学省

エ 会場 独立行政法人教員研修センター

オ 期間及び参加者

◇校長研修（10月15日～10月19日）

県立小野高等学校校長 渡邊 学

◇副校長・教頭等研修（9月25日～10月5日）

県立会津高等学校教頭 田母神 賢一

◇中堅教員研修（11月19日～11月30日）

県立平工業高等学校教諭 小宅 都雄

県立会津学鳳高等学校教諭 平出 雅一

◇次世代リーダー育成研修

（8月6日～8月10日、12月10日～12月14日）

県立郡山商業高等学校教諭 鈴木 敦

県立本宮高等学校教諭 太田 智寛

## (4) 学校組織マネジメント指導者養成研修

### ア 趣旨

学校組織マネジメントの理論を身に付け、的確な校長のリーダーシップと経営理念のもとに戦略を構築し、学校内外の資源を活用することができるようにする。

イ 主催 独立行政法人教員研修センター

ウ 共催 文部科学省

エ 会場 独立行政法人教員研修センター

オ 期間及び参加者

（8月27日～8月30日）

県立会津学鳳高等学校教頭 齋藤 賢一郎

## 3 教育課程

### (1) 高等学校教育課程説明会

#### ア 目的

新高等学校学習指導要領について、その趣旨の説明及び必要な研究協議を行い、高等学校教育の改善及び充実を図ることを目的とする。

#### イ 主催

文部科学省及び福島県教育委員会

#### ウ 期日・開催地

○ 各学科に共通する教科関係

7月17日（火）～7月19日（木）

○ 職業学科に関する教科関係

7月17日（火）～7月20日（金）

○ 東京都

#### エ 参加者

| 部 会       | 氏 名   | 所 属         |
|-----------|-------|-------------|
| 総 則       | 箱崎 兼一 | 高 校 教 育 課   |
| 国 語       | 梅野 克也 | 高 校 教 育 課   |
| 地 理 歴 史   | 大和田好倫 | 高 校 教 育 課   |
| 公 民       | 武田 重信 | 教 育 セ ン タ ー |
| 数 学       | 佐藤 周  | 高 校 教 育 課   |
| 理 科       | 高野 英樹 | 高 校 教 育 課   |
| 保 健 体 育   | 新方 浩二 | 健 康 教 育 課   |
| 音 楽       | 鈴木 和明 | 高 校 教 育 課   |
| 美 術 ・ 工 芸 | 橋本 淳也 | 教 育 セ ン タ ー |
| 書 道       | 佐藤 真紀 | 白 河 高 等 学 校 |
| 外 国 語     | 森 敏行  | 教 育 セ ン タ ー |
| 家 庭       | 岩淵 優子 | 高 校 教 育 課   |
| 情 報       | 滝沢日佐人 | 高 校 教 育 課   |

| 部 会       | 氏 名   | 所 属         |
|-----------|-------|-------------|
| 理 数       | 高野 英樹 | 高 校 教 育 課   |
| 総合的な探究の時間 | 坂本 圭介 | 県中教育事務所     |
| 特 別 活 動   | 渡辺 隆博 | 県南教育事務所     |
| 農 業       | 持地 勝博 | 高 校 教 育 課   |
| 工 業       | 清水 隆司 | 高 校 教 育 課   |
| 商 業       | 羽染 恒  | 高 校 教 育 課   |
| 水 産       | 持地 勝博 | 高 校 教 育 課   |
| 看 護       | 急式 祐子 | 教 育 セ ン タ ー |
| 情 報       | 清水 隆司 | 高 校 教 育 課   |
| 福 祉       | 急式 祐子 | 教 育 セ ン タ ー |

## (2) 福島県高等学校教育課程講習会

### ア 目的

新高等学校学習指導要領について、その趣旨の徹底を図るとともに、教育課程実施に伴う諸問題について研究協議を行う。

### イ 主催

文部科学省及び福島県教育委員会

### ウ 期日・会場・参加者数

| 地 区    | 期 日   | 会 場       | 参加者数  |
|--------|-------|-----------|-------|
| 相 双    | 8月6日  | 相馬高等学校    | 69    |
| 会津・南会津 | 8月7日  | 会津学鳳高等学校  | 184   |
| 県中・県南  | 8月8日  | 清陵情報高等学校  | 394   |
| 県 北    | 8月9日  | 福島南高等学校   | 242   |
| い わ き  | 8月10日 | いわき光洋高等学校 | 210   |
| 合 計    |       |           | 1,099 |

### エ 部会の参加者

設置部会及び参加者数は次の通りである。

| 部 会     | 参加者数 | 部 会       | 参加者数  |
|---------|------|-----------|-------|
| 総 則     | 97   | 書 道       | 10    |
| 国 語     | 136  | 外 国 語     | 107   |
| 地 理 歴 史 | 91   | 家 庭       | 65    |
| 公 民     | 78   | 情 報       | 20    |
| 数 学     | 161  | 農 業       |       |
| 理 科     | 122  | 工 業       |       |
| 保 健 体 育 | 118  | 商 業       |       |
| 音 楽     | 46   | 水 産       | 11    |
| 美術・工芸   | 30   | 看 護 ・ 福 祉 | 7     |
| 合 計     |      |           | 1,099 |

## (3) 情報教育の充実

### ア 情報教育研修

(ア) 専門研修 高等学校教育の産業教育及び教育センターの情報処理教育講座の欄参照

(イ) 一般研修 各種研修において情報処理に関する演習等を実施

### イ 情報処理関係学科の設置状況

|    |          |                       |
|----|----------|-----------------------|
| 農業 | 生産情報     | 福島明成                  |
| 工業 | 情報技術     | 郡山北工業、会津工業、平工業        |
|    | 情報電子     | 福島工業、清陵情報             |
|    | 情報システム   | 二本松工業                 |
|    | 情報工学     | 平工業                   |
| 商業 | 情報処理     | 郡山商業、清陵情報             |
|    | 情報会計     | 福島南、本宮、清陵情報           |
|    | 情報ビジネス   | 福島商業、白河実業、若松商業、小高産業技術 |
|    | オフィス情報   | 須賀川                   |
|    | 情報マネジメント | 修明                    |
|    | 情報システム   | 喜多方桐桜、平商業             |
| 水産 | 産業革新     | 小高産業技術                |
|    | 情報通信     | いわき海星                 |

## (4) 国際理解教育の充実

語学指導等を行う外国青年招致事業

国際化に対応できる人材の育成及び外国語教育の充実

ア 招致人数 32名

イ 配 置 ○県内23の高校に各1名を配置、配置校における指導及び訪問指導

○県内8つの高校に各1名、県立中学校に1名配置、専任校における指導

## 4 学力向上対策等

### (1) 平成30年度文部科学省指定各種研究校

| 研究種別                 | 学校名  | 指定年度  | 研究主題                                                                                                        |
|----------------------|------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| スーパーサイエンスハイスクール(SSH) | 福島   | 29～33 | 高い専門性と地域のリーダーとしての資質を併せ持つ世界で活躍する科学技術人材の育成を目的とし、この達成のために創造的思考力、表現力・発信力、国際力、専門力、物事を完遂する力といった5つの資質・能力の育成を目標とする。 |
|                      | 会津学鳳 | 28～32 | 大学、研究機関、地元企業の協力のもとに、高度なコンピュータリテラシーをそなえ、国際化、情報化社会で活躍できる科学技術系人材を、中学校・高等学校・大学の連携体制を通して育成するプログラムの研究開発。          |

### (2) アクティブ・ラーニングによる学力向上推進事業

#### ア スペシャリスト育成ミッション支援事業

アクティブ・ラーニングの視点も取り入れて、生徒の進路実現に必要な学力向上や指導力の向上及び地域とのつながりを重視したプログラム等を実施し、社会人としての自覚や基礎学力の育成を図った。各学校における指導内容や指導法について連携を図り、3年間を見通した計画的な指導体制の充実を図った。

#### ○ 対象校：県立高等学校22校

福島商業、福島明成、福島西、須賀川、須賀川桐陽、清陵情報、岩瀬農業、光南、白河旭、白河実業、塙工業、石川、船引、若松商業、猪苗代、川口、南会津、湯本、小名浜、いわき海星、相馬農業、新地

#### イ 大学進学ミッション支援事業

アクティブ・ラーニングの視点も取り入れて、生徒の大学進学へ向けた早期の意識改革と学力向上を図った。さらには、教員の教科指導力や進学指導力の向上を図るとともに、各学校における指導内容や指導法等について情報共有や連携を進めて、3年間を見通した計画的な指導体制の充実を図った。

#### ○ 対象校：県立高等学校16校

福島、橘、福島東、安積、安積黎明、郡山東、郡山、白河、会津、葵、会津学鳳、喜多方、磐城、磐城桜が丘、相馬、原町

#### ウ オールふくしまリーダー育成プロジェクト

教員や予備校講師によるレベルの高い授業を実施し学力の向上を図るとともに、進路講演会や大学の先輩との交流、参加者同士の協議等を通して進路意識の高揚を図り、将来リーダーシップを発揮し社会に貢献できる人材としての礎を築いた。

○ 対象：難関大学進学への意識、意欲の高い県立高等学校1年生及び2年生、それぞれ150名程度。

○ 日時：1年生・3泊4日

平成31年3月25日～28日

2年生・地区別(4地区)2日間

平成30年8月2～3日、20～21日、

平成30年12月25～26日、27～28日

## 5 生徒指導・進路指導

### (1) 教育事務所指導主事の活動

県内7地区の教育事務所の指導主事の活動によって生徒指導の充実を図った。

主な活動は次のとおりである。

ア 地区内の高等学校の訪問指導(計画・随時)

イ 地区内の高等学校生活指導協議会の指導・援助

ウ 関係諸機関、諸団体との連携

エ 生徒指導関係の情報と資料の収集

オ 生徒指導関係の諸研修会における指導

### (2) スクールカウンセラーの配置

生徒の問題行動の多様化や深刻化、東日本大震災に伴う心のケアに対応するため、全ての県立高等学校(87校)にスクールカウンセラーを配置した。

## 6 学校行事

### (1) 卒業式

#### ア 県立高等学校卒業生数

| 課程  | 性別    |       | 計      |
|-----|-------|-------|--------|
|     | 男     | 女     |        |
| 全日制 | 7,010 | 6,415 | 13,470 |
| 定時制 | 91    | 85    | 190    |
| 通信制 | 56    | 76    | 121    |
| 計   | 7,157 | 6,720 | 13,781 |

#### イ 卒業式実施期日

| 日付   | 種別  |     |     |    |
|------|-----|-----|-----|----|
|      | 全日制 | 定時制 | 通信制 | 計  |
| 3月1日 | 82  | 6   | 0   | 88 |
| 3月2日 | 1   | 0   | 0   | 1  |
| 3月3日 | 0   | 0   | 1   | 1  |
| 3月5日 | 0   | 1   | 0   | 1  |
| 計    | 83  | 7   | 1   | 91 |

#### ウ 県知事、県議会議長、県教育長臨席校

県知事臨席校 3月1日 白河旭高等学校  
白河実業高等学校

県議会議長臨席校 3月1日 ふたば未来学園高等学校

県議会副議長臨席校 3月1日 あさか開成高等学校

県教育長臨席校 3月1日 田村高等学校

小野高等学校平田校

(2) 修学旅行(県立高等学校) ( )は前年度

ア 参加生徒総数 13,072人(13,573人)  
イ 参加率 98.2%(95.4%)  
ウ 行先

| 行先       | 校数      |
|----------|---------|
| 北海道      | 0 (2)   |
| 関東       | 0 (0)   |
| 奈良・京都    | 48 (36) |
| 中国・近畿    | 20 (20) |
| 九州       | 1 (1)   |
| 沖縄       | 12 (25) |
| 四国・中国・近畿 | 1 (0)   |
| 四国・近畿    | 1 (1)   |
| 四国       | 0 (0)   |
| 海外       | 2 (3)   |

エ 航空機利用 34校(49校)  
北海道方面 0校(2校)  
大阪方面 17校(18校)  
九州方面 0校(1校)  
沖縄方面 12校(25校)  
広島 2校(0校)  
愛媛 1校(0校)  
海外 2校(3校)

オ 泊日数  
1泊2日 0校(0校)  
2泊3日 2校(3校)  
3泊4日 72校(74校)  
4泊5日 11校(11校)

カ 必要経費  
生徒一人当たりの最高額 143,122円(172,579円)  
最低額 79,961円(78,534円)  
平均額 102,354円(104,776円)

キ 引率責任者  
校長 41校(38校)  
教頭 44校(50校)

7 産業教育

(1) 県産業教育フェア

平成30年度は実施せず。

(2) 文部科学省主催の研修講座と内容

ア 平成30年度産業・情報技術等指導者養成研修

| 教科 | 氏名    | 職名 | 学校名      | 研修先               | 研修期間        |
|----|-------|----|----------|-------------------|-------------|
| 農業 | 皆川良輔  | 教諭 | 相馬農業高等学校 | アクトシティ浜松研修交流センター他 | 8月6日～8月10日  |
| 工業 | 石田和之  | 教諭 | 平工業高等学校  | 金沢工業大学            | 8月20日～8月24日 |
| 商業 | 二瓶政紀  | 教諭 | 若松商業高等学校 | 千葉商科大学            | 7月30日～8月3日  |
| 家庭 | 永井富美子 | 教諭 | 喜多方高等学校  | 全国高等学校長協会家庭部会事務局他 | 8月6日～8月9日   |
| 情報 | 江川純司  | 教諭 | 耶麻農業高等学校 | 千葉商科大学            | 7月30日～8月3日  |

イ 平成30年度産業教育実習助手研修

| 教科 | 氏名   | 職名   | 学校名      | 研修先    | 研修期間        |
|----|------|------|----------|--------|-------------|
| 工業 | 羽田直揮 | 実習助手 | 福島工業高等学校 | 足利工業大学 | 8月20日～8月24日 |

ウ 平成30年度学校農業・家庭クラブ連盟指導者養成講座

| 教科 | 氏名   | 職名 | 学校名         | 研修先                 | 研修期間       |
|----|------|----|-------------|---------------------|------------|
| 農業 | 渡部智博 | 教諭 | ふたば未来学園高等学校 | 国立オリンピック記念青少年総合センター | 8月8日～8月10日 |
| 家庭 | 渡邊美紀 | 教諭 | 磐城農業高等学校    | 国立オリンピック記念青少年総合センター | 8月2日～8月3日  |

## 8 学校訪問

### (1) 目的

指導主事等が県立学校を訪問し、関係者とともに授業研究や教科の指導に関する研究協議を行うことにより、学習指導等の充実を図る。

### (2) 訪問校

経験者研修Ⅰ、又は経験者研修Ⅱの該当者の勤務する学校から教校を選定する。

### (3) 訪問学校一覧

|             |           |
|-------------|-----------|
| 福島商業高等学校    | 商業        |
| 福島明成高等学校    | 公民、農業     |
| 福島西高等学校     | 数学        |
| 福島北高等学校     | 芸術（美術）    |
| 川俣高等学校      | 情報        |
| 安達高等学校      | 理科        |
| 安達東高等学校     | 保健体育      |
| 本宮高等学校      | 理科        |
| 安積黎明高等学校    | 英語        |
| 郡山東高等学校     | 芸術（音楽）、公民 |
| 須賀川高等学校     | 国語        |
| 須賀川桐陽高等学校   | 理科        |
| 白河実業高等学校    | 工業        |
| 修明高等学校鮫川校   | 家庭        |
| 船引高等学校      | 数学        |
| 小野高等学校      | 保健体育      |
| 会津高等学校      | 英語        |
| 会津学鳳高等学校    | 芸術（書道）    |
| 会津工業高等学校    | 国語        |
| 猪苗代高等学校     | 国語        |
| 耶麻農業高等学校    | 学校保健、家庭   |
| 只見高等学校      | 地理歴史      |
| 平工業高等学校     | 工業、地理歴史   |
| いわき光洋高等学校   | 数学        |
| 小名浜高等学校     | 国語        |
| 磐城農業高等学校    | 農業        |
| 好間高等学校      | 英語        |
| 四倉高等学校      | 保健体育      |
| ふたば未来学園高等学校 | 工業        |
| 相馬東高等学校     | 理科        |
| 原町高等学校      | 学校保健      |
| 相馬農業高等学校    | 農業、保健体育   |
| 小高産業技術高等学校  | 工業、商業     |

## 9 県立学校学校教育指導委員

| 教科名                    | 氏名    | 職名   | 学校名         |
|------------------------|-------|------|-------------|
| 国語                     | 江原 沙織 | 教諭   | 川俣高等学校      |
|                        | 高橋 敏哉 | 教諭   | 葵高等学校       |
|                        | 鈴木 貴子 | 教諭   | 磐城農業高等学校    |
| 地理歴史                   | 阿部健太郎 | 教諭   | 喜多方東高等学校    |
|                        | 林 裕文  | 教諭   | ふたば未来学園高等学校 |
| 公民                     | 香西太二郎 | 教諭   | 橘高等学校       |
|                        | 菊地 祐介 | 教諭   | 白河実業高等学校    |
| 数学                     | 小島 栄人 | 教諭   | 郡山高等学校      |
|                        | 佐川 綾  | 教諭   | 磐城高等学校      |
|                        | 佐藤 伸也 | 教諭   | 福島東高等学校     |
| 理科                     | 菅野 俊樹 | 教諭   | 福島東高等学校     |
|                        | 田柳 美澄 | 教諭   | 郡山高等学校      |
|                        | 菅家 奈未 | 教諭   | 会津学鳳高等学校    |
|                        | 橘 圭子  | 教諭   | 小高産業技術高等学校  |
| 保健体育                   | 松井 暢彦 | 教諭   | 福島高等学校      |
|                        | 増子 賢俊 | 教諭   | 白河旭高等学校     |
|                        | 小野 瞳  | 教諭   | 勿来工業高等学校    |
|                        | 成田 祐介 | 教諭   | 相馬東高等学校     |
| 芸術（美術）<br>（音楽）<br>（書道） | 中原 勝  | 教諭   | 福島高等学校      |
|                        | 宍戸 真市 | 教諭   | 安積黎明高等学校    |
|                        | 佐藤 真紀 | 教諭   | 白河高等学校      |
| 外国語                    | 砂子田 吏 | 教諭   | 福島西高等学校     |
|                        | 野中 斉  | 教諭   | 会津学鳳高等学校    |
|                        | 人見 彩  | 教諭   | 湯本高等学校      |
| 家庭                     | 永井富美子 | 教諭   | 喜多方高等学校     |
|                        | 清水堅香子 | 教諭   | 勿来高等学校      |
| 情報                     | 佐々木茂明 | 教諭   | 安積高等学校御館校   |
| 農業・水産                  | 中畑 良司 | 教諭   | 岩瀬農業高等学校    |
|                        | 鈴木 洋行 | 教諭   | 修明高等学校      |
|                        | 長南 哲也 | 教諭   | 安達東高等学校     |
| 工業                     | 先崎 隆幸 | 教諭   | 埴工業高等学校     |
|                        | 田中 哲  | 教諭   | 喜多方桐桜高等学校   |
|                        | 石田 和之 | 教諭   | 平工業高等学校     |
| 商業                     | 山野辺 康 | 教諭   | 平工業高等学校     |
|                        | 二瓶 政紀 | 教諭   | 若松商業高等学校    |
| 定通                     | 中島 裕  | 教諭   | 郡山商業高等学校    |
|                        | 大須賀菜美 | 教諭   | 白河第二高等学校    |
| 学校保健                   | 佐々木則子 | 養護教諭 | 白河実業高等学校    |
|                        | 長崎 幸恵 | 養護教諭 | 小高産業技術高等学校  |

（39名）

# 10 教科用図書

## (1) 教科書採択事務説明会

平成30年度は実施せず。

# 11 教育研究団体

## (1) 福島県高等学校長協会

組織

平成30年度福島県高等学校長協会役員名簿

| 役職名  | 氏名          |
|------|-------------|
| 会長   | 阿部 武彦 (磐城)  |
| 副会長  | 竹田 真二 (福島)  |
| 副会長  | 渡辺 昇 (安積)   |
| 副会長  | 山内 正之 (会津)  |
| 副会長  | 佐川 尚史 (原町)  |
| 監査   | 井関 和明 (福西)  |
| 監査   | 吉津 三千彦 (福南) |
| 事務局長 | 吉田 強栄 (福東)  |

支部

| 支部  | 支部長        | 副支部長                     |
|-----|------------|--------------------------|
| 県北  | 竹田 真二 (福島) | 吉村 淳 (橘)<br>松本 明倫 (福工)   |
| 県南  | 渡辺 昇 (安積)  | 菅野 哲哉 (黎明)<br>田中 誠 (白河)  |
| 会津  | 山内 正之 (会津) | 鈴木 睦治 (葵)<br>瓜生 康弘 (喜方)  |
| いわき | 阿部 武彦 (磐城) | 比佐 功 (桜丘)<br>安瀬 一夫 (い総)  |
| 相双  | 佐川 尚史 (原町) | 長田 公雄 (相馬)<br>丹野 純一 (ふ未) |

理事会

|     | 氏名                                  |
|-----|-------------------------------------|
| 理事会 | 竹田 真二 (福島) 吉村 淳 (橘)                 |
|     | 渡辺 昇 (安積) 小林 喜則 (福商)                |
|     | 山内 正之 (会津) 大和田範雄 (明成)               |
|     | 阿部 武彦 (磐城) 松本 明倫 (福工)               |
|     | 佐川 尚史 (原町) 阿部 秀樹 (萌世)               |
|     | 吉田 強栄 (福東) 須田 康仁 (視支)<br>廣瀬 敬彦 (田村) |

専門委員会 (◎印 委員長 ○印 副委員長)

| 専門委員会      | 氏名                      |
|------------|-------------------------|
| 管理運営委員会    | ◎鈴木 芳人 (白旭) ○平澤 洋介 (小浜) |
|            | 吉津三千彦 (福南) 安瀬 一夫 (い総)   |
|            | 佐藤 恵一 (清陵) 丹野 純一 (ふ未)   |
|            | 菊池 直之 (喜東) 須田 康仁 (視支)   |
|            | 阿部 武彦 (磐城) 曾川 孝規 (西支)   |
| 杉山 裕恵 (会支) |                         |
| 教育課題委員会    | ◎松尾 親弥 (遠野) ○安田 修久 (修明) |
|            | 吉田 強栄 (福東) 関根 健雄 (四倉)   |
|            | 齋藤 文子 (石川) 片寄 一 (大支)    |
|            | 郷 清隆 (耶農) 齊藤 恵子 (た支)    |
|            | 吉井 秀樹 (西会) 神田 豊 (平支)    |
|            | 五ノ井平吉 (川口) 小河原健一 (富支)   |
| 生徒指導委員会    | ◎佐藤 京治 (猪代) ○中野 幹夫 (相農) |
|            | 鈴木 義祐 (福北) 吉成 広昭 (田島)   |
|            | 高梨 哲夫 (松工) 松本 善法 (い海)   |
|            | 秦 尚志 (湖南) 富樫 実 (勿工)     |
|            | 遠藤 均 (須川) 佐川 尚史 (原町)    |
|            | 山崎 雅弘 (光南) 上妻 弘 (あ支)    |
|            | 廣瀬 敬彦 (田村) 菅野美恵子 (猪支)   |
| 教育課程委員会    | ◎渡邊 学 (小野) ○猪俣 豊 (船引)   |
|            | ○高島 秀一 (新地) 佐竹 正徳 (只見)  |
|            | 大和田範雄 (明成) 高橋 豊治 (磐農)   |
|            | 松本 明倫 (福工) 吉田 浩美 (い翠)   |
|            | 渡辺 昇 (安積) 橋本 淳一 (須支)    |
|            | 谷川 信一 (大沼)              |
| 高校入試検討委員会  | ◎菊田 勇雄 (梁川) ○佐藤 秀美 (相東) |
|            | 安田 徹 (保原) 芳賀 菊博 (喜桐)    |
|            | 矢森 健一 (あ開) 松尾 幸生 (坂下)   |
|            | 星 栄一 (長沼) 森 義彦 (い光)     |
|            | 佐藤 浩正 (塙工) 夏目利江子 (好間)   |
| 山内 正之 (会津) |                         |
| 大学入試対策委員会  | ◎瀬谷真理子 (郡東) ○井関 和明 (福西) |
|            | 竹田 真二 (福島) 鈴木 睦治 (葵)    |
|            | 吉村 淳 (橘) 湯田 重哉 (学鳳)     |
|            | 菅野 哲哉 (黎明) 瓜生 康弘 (喜方)   |
|            | 白石 文夫 (郡山) 比佐 功 (桜丘)    |
|            | 末永 仁 (桐陽) 二瓶 晃一 (湯本)    |
|            | 田中 誠 (白河) 長田 公雄 (相馬)    |
|            | 郷家 俊哉 (郡支)              |

| 専門委員会                      | 氏 名         |             |
|----------------------------|-------------|-------------|
| 就 職<br>指 導<br>対 策<br>委 員 会 | ◎齋藤 寿 (郡商)  | ○澁谷 栄一 (郡北) |
|                            | 小林 喜則 (福商)  | 佐藤 文男 (会農)  |
|                            | 山内 義美 (川俣)  | 鈴木 康隆 (平工)  |
|                            | 黒川 佳子 (本宮)  | 松浦 冬樹 (平商)  |
|                            | 菅野 利彦 (若商)  | 鈴木 稔 (小産)   |
|                            | 二瓶 賢一 (会工)  | 阿部 秀樹 (萌世)  |
|                            | 佐藤 清悦 (い支)  | 芳賀 孝美 (聴支)  |
| 人 権<br>教 育<br>委 員 会        | ◎馬場 裕史 (白実) | ○渡邊 周二 (石支) |
|                            | 中野 隆幸 (安達)  | 橋本 忠広 (南会)  |
|                            | 伊藤 重幸 (安東)  | 木村 敏明 (勿来)  |
|                            | 渡辺 譲治 (岩農)  | 鈴木 龍也 (相支)  |

| 部会長    |               |
|--------|---------------|
| 部 会    | 氏 名           |
| 普通部会   | 吉村 淳 (橘)      |
| 商業部会   | 小林 喜則 (福島商業)  |
| 農業部会   | 大和田範雄 (福島明成)  |
| 工業部会   | 松本 明倫 (福島工業)  |
| 水産部会   | 松本 善法 (いわき海星) |
| 家庭部会   | 瀬谷真理子 (郡山東)   |
| 定通部会   | 阿部 秀樹 (郡山萌世)  |
| 特別支援部会 | 須田 康仁 (視覚支援)  |
| 理数部会   | 田中 誠 (白河)     |
| 英語国際部会 | 吉津三千彦 (福島南)   |
| 体育部会   | 廣瀬 敬彦 (田村)    |
| 総合学科部会 | 安瀬 一夫 (いわき総合) |

| 全国校長会 |               |
|-------|---------------|
| 部 会   | 氏 名           |
| 理 事   | 阿部 武彦 (磐城)    |
| 理 事   | 竹田 真二 (福島)    |
| 理 事   | 渡辺 昇 (安積)     |
| 管理運営  | 鈴木 芳人 (白河旭)   |
| 教育課題  | 松尾 親弥 (遠野)    |
| 生徒指導  | 佐藤 京治 (猪苗代)   |
| 教育課程  | 渡邊 学 (小野)     |
| 大学入試  | 瀬谷真理子 (郡山東)   |
| 就職対策  | 澁谷 栄一 (郡山北工業) |
| 人権教育  | 馬場 裕史 (白河実業)  |

## (2) 福島県高等学校教育研究会

ア 財政及び組織の状況

(7) 本部

平成 30 年度福島県高等学校教育研究会

| 役職名 | 氏 名    | 所属校・職名       |
|-----|--------|--------------|
| 会長  | 鈴木 義祐  | 福島県立福島北高等学校長 |
| 副会長 | 松本 明倫  | 〃 福島工業高等学校長  |
| 副会長 | 井関 和明  | 〃 福島西高等学校長   |
| 監査  | 吉田 強栄  | 〃 福島東高等学校長   |
| 監査  | 竹田 真二  | 〃 福島高等学校     |
| 委員  | 佐藤 恵一  | 〃 清陵情報高等学校長  |
| 委員  | 大和田 範雄 | 〃 福島明成高等学校長  |
| 委員  | 小林 喜則  | 〃 福島商業高等学校長  |
| 委員  | 二瓶 賢一  | 〃 会津第二高等学校長  |
| 委員  | 鈴木 睦治  | 〃 葵高等学校長     |
| 委員  | 渡辺 昇   | 〃 安積高等学校長    |
| 委員  | 菅野 哲哉  | 〃 安積黎明高等学校長  |
| 幹事  | 国分 茂男  | 〃 福島北高等学校教頭  |
| 幹事  | 佐藤 真一  | 〃 福島北高等学校教頭  |

(イ) 部会

| 部会名  | 部会長氏名  | 所属校・職名    | 会員数 |
|------|--------|-----------|-----|
| 養護教諭 | 松本 明倫  | 福島工業高等学校長 | 151 |
| 保健体育 | 鈴木 義祐  | 福島北高等学校長  | 450 |
| 理 科  | 井関 和明  | 福島西高等学校長  | 440 |
| 音 楽  | 佐藤 恵一  | 清陵情報高等学校長 | 83  |
| 農 業  | 大和田 範雄 | 福島明成高等学校長 | 230 |
| 工 業  | 松本 明倫  | 福島工業高等学校長 | 425 |
| 商 業  | 小林 喜則  | 福島商業高等学校長 | 326 |
| 定 通  | 二瓶 賢一  | 会津第二高等学校長 | 156 |
| 英 語  | 鈴木 睦治  | 葵高等学校長    | 464 |
| 数 学  | 竹田 真二  | 福島高等学校長   | 485 |
| 家 庭  | 渡辺 昇   | 安積高等学校長   | 136 |
| 美術工芸 | 菅野 哲哉  | 安積黎明高等学校長 | 70  |

○平成 30 年度予算 120,240 円

## 第4節 文化活動の振興

### 1 文化活動の振興

高校生の芸術文化活動の充実向上を図るため、福島県高等学校文化連盟に対する助成を行った。

平成30年12月16日(日)、とうほう・みんなの文化センターにおいて第37回福島県高等学校総合文化祭～ふくしまをつなぐ2018～活動優秀校公演が行われ、事務局校である福島西高等学校を中心とした実行委員会の協力により、成功裏のうちに終了した。

#### (1) 芸術文化活動発表機会の充実

ア 福島県高等学校文化連盟への助成

福島県高等学校総合文化祭の開催に対する補助を行った。(補助対象事業費計：8,072千円、補助金額計：1,000千円)

(ア) 平成30年度福島県高等学校文化連盟

役員

| 役職名      | 氏名    | 職  | 所属校      | 役職名 | 氏名    | 職  | 所属校      |
|----------|-------|----|----------|-----|-------|----|----------|
| 会長       | 菅野 哲哉 | 校長 | 安積黎明高等学校 | 監事  | 齋藤 寿  | 校長 | 郡山商業高等学校 |
| 副会長(私立)  | 森 涼   | 校長 | 学法石川高等学校 | 幹事  | 飯豊 利子 | 教諭 | 郡山高等学校   |
| 副会長(県北)  | 井関 和明 | 校長 | 福島西高等学校  | 幹事  | 持地 晶子 | 教諭 | 福島西高等学校  |
| 副会長(県南)  | 佐藤 恵一 | 校長 | 清陵情報高等学校 | 幹事  | 藤本こずえ | 教諭 | 新地高等学校   |
| 副会長(会津)  | 山内 正之 | 校長 | 会津高等学校   | 幹事  | 菊地 良尚 | 教諭 | 郡山東高等学校  |
| 副会長(いわき) | 鈴木 康隆 | 校長 | 平工業高等学校  | 幹事  | 岩田 隼  | 教諭 | 小野高等学校   |
| 副会長(相双)  | 高島 秀一 | 校長 | 新地高等学校   | 幹事  | 藤川 潤子 | 教諭 | 安積黎明高等学校 |
| 理事長      | 三條 敦  | 教諭 | 安積黎明高等学校 | 幹事  | 樋川 太地 | 講師 | 安積黎明高等学校 |
| 副理事長     | 根本 靖彦 | 教諭 | 安積黎明高等学校 | 顧問  | 小島 稔  | 課長 | 高校教育課    |
| 事務局長     | 難波 幸生 | 教諭 | 安積黎明高等学校 |     |       |    |          |

専門部会長・専門部委員長

| 専門部         | 部会長   | 職  | 所属校   | 部委員長   | 職  | 所属校   |
|-------------|-------|----|-------|--------|----|-------|
| 演劇          | 丹野 純一 | 校長 | ふたば未来 | 岡田 篤   | 教諭 | 福島東稜  |
| 高音連         | 佐藤 恵一 | 校長 | 清陵情報  | 菅原 民栄  | 教諭 | 修明    |
| 合唱          | 渡辺 昇  | 校長 | 安積    | 鈴木 敦   | 教諭 | 安積    |
| 吹奏楽         | 丹野 純一 | 校長 | ふたば未来 | 今野 貴文  | 教諭 | ふたば未来 |
| 器楽管弦楽       | 齋藤 寿  | 校長 | 郡山商業  | 鈴木 敦   | 教諭 | 郡山商業  |
| 日本音楽        | 比佐 功  | 校長 | 磐城桜が丘 | 高橋 真由美 | 教諭 | 磐城桜が丘 |
| 吟詠剣詩舞       | 唐木 義則 | 校長 | 昌平    | 大橋 未緒  | 教頭 | 昌平    |
| 郷土芸能        | 中野 幹夫 | 校長 | 相馬農業  | 村田 和丈  | 教諭 | 磐城農業  |
| マーチングB・バトンT | 白石 文夫 | 校長 | 郡山    | 工藤 幸恵  | 教諭 | 郡山    |
| 美術・工芸       | 菅野 哲哉 | 校長 | 安積黎明  | 眞柴 毅   | 教諭 | 福島東   |
| 書道          | 阿部 秀樹 | 校長 | 郡山萌世  | 小野 俊彦  | 教諭 | 郡山萌世  |
| 写真          | 富樫 実  | 校長 | 勿来工業  | 石山 文雄  | 教諭 | 勿来工業  |
| 放送          | 森 義彦  | 校長 | いわき光洋 | 中野 加奈子 | 教諭 | いわき光洋 |
| 囲碁          | 吉村 淳  | 校長 | 橘     | 鈴木 仁孝  | 教諭 | 田島    |
| 将棋          | 竹田 真二 | 校長 | 福島    | 松村 茂郎  | 教諭 | 福島    |
| 弁論          | 山内 正之 | 校長 | 会津    | 猪俣 小百合 | 教諭 | 会津    |

| 専 門 部     | 部会長    | 職  | 所属校    | 部委員長  | 職  | 所属校    |
|-----------|--------|----|--------|-------|----|--------|
| 小倉百人一首かるた | 菅野 哲哉  | 校長 | 安積黎明   | 橋本 安広 | 教諭 | 田村     |
| 新聞        | 澁谷 栄一  | 校長 | 郡山北工   | 吉田 義仁 | 教諭 | 郡山北工   |
| 文芸        | 湯田 重哉  | 校長 | 会津学鳳   | 奥 真理子 | 教諭 | 会津学鳳   |
| 自然科学      | 井関 和明  | 校長 | 福島西    | 山口 伝  | 教諭 | 会津学鳳   |
| 農業        | 大和田 範雄 | 校長 | 福島明成   | 小野 浩嗣 | 教諭 | 福島明成   |
| 工業        | 澁谷 栄一  | 校長 | 郡山北工業  | 渡部 鉄仁 | 教諭 | 郡山北工業  |
| 商業        | 小林 喜則  | 校長 | 福島商業   | 三浦 純  | 教諭 | 福島商業   |
| 家庭        | 二瓶 晃一  | 校長 | 湯本     | 鈴木美加子 | 教諭 | 湯本     |
| 定通        | 吉田 浩美  | 校長 | いわき翠の杜 | 原 寛子  | 教諭 | いわき翠の杜 |
| 特別支援学校    | 片寄 一   | 校長 | 大笹生支援  | 土田 崇  | 教諭 | 大笹生支援  |
| J R C     | 吉田 強栄  | 校長 | 福島東    | 松本 仁子 | 教諭 | 福島東    |

イ 第37回福島県高等学校総合文化祭

県内高校生の文化活動の成果発表と相互の交流を目的として、全県内において、平成30年5月から平成30年12月まで、専門部の行事を開催した。

ウ 第42回全国高等学校総合文化祭への参加

平成30年8月7日から8月11日まで、長野県で開催された文化祭に参加するため、183名を派遣した。

[参加部門等及び参加生徒数]

総合開会式1名、器楽・管弦楽26名、日本音楽16名、吟詠剣詩舞10名、郷土芸能21名、美術・工芸6名、書道5名、写真8名、放送31名、囲碁5名、将棋7名、弁論2名、小倉百人一首8名、新聞8名、文芸5名、自然科学16名、ボランティア4名、工業4名

エ 平成30年度福島県高文連専門部全国大会入賞状況

(ア) 団体

| 専 門 部                 | 大 会 名                   | 成 績                  | 学 校 名         |
|-----------------------|-------------------------|----------------------|---------------|
| 合 唱                   | 第71回全日本合唱コンクール全国大会      | 金賞(全国1位)(文部科学大臣賞)    | 郡 山           |
|                       |                         | 金賞(全国2位)(長野県知事賞)     | 会 津           |
|                       | NHK全国学校音楽コンクール          | 金賞(全国1位)             | 郡 山           |
| 吹奏楽                   | 第66回全日本吹奏楽コンクール全国大会     | 銀賞<br>銅賞             | 磐 城<br>湯 本    |
| 器楽・管弦楽                | 日本学校合奏コンクール2018全国大会     | 金賞<br>銅賞             | 郡山商業<br>橘     |
| マーチングバンド・<br>バトントワリング | 全国高等学校ダンスドリル選手権大会2018   | JAZZ部門 Small 編成(第3位) | 郡 山           |
|                       |                         | KICK部門(第2位)          | 郡山商業          |
|                       |                         | POM部門 Midium 編成(第2位) | 郡山商業          |
|                       |                         | プロップ部門(第2位)          | 郡山商業          |
|                       | 第10回全国高等学校ダンスドリル冬季大会    | JAZZ部門 Small 編成(第2位) | 郡 山           |
|                       |                         | POM部門 Midium 編成(第1位) | 郡山商業          |
| 放 送                   | 第42回全国高等学校総合文化祭放送部門     | ビデオメッセージ部門優秀賞        | 磐 城           |
| 自然科学                  | 第42回全国高等学校総合文化祭自然科学部門   | 奨励賞                  | 会 津           |
| 新 聞                   | 第48回全国高校新聞コンクール         | 奨励賞                  | 郡 山 東<br>郡山北工 |
| 文 芸                   | 第33回全国高等学校文芸コンクール文芸部誌部門 | 優秀賞                  | 磐 城           |

## (イ) 個人

| 専 門 部 | 大 会 名                             | 成 績      | 学 校 名   | 氏 名     |
|-------|-----------------------------------|----------|---------|---------|
| 商 業   | 第 6 5 回全国高等学校珠算・電卓競技大会<br>(電卓の部)  | 個人総合 2 等 | 郡 山 商 業 | 佐 藤 優 花 |
|       | 第 6 5 回全国高等学校珠算・電卓競技大会<br>(伝票算競技) | 優勝       | 郡 山 商 業 | 半 澤 桃 香 |
| 工 業   | 第 7 6 回全日本学生児童発明くふう展              | WIPO 賞   | 郡 山 北 工 | 関 根 巧 也 |

オ 平成 3 0 年度福島県高等学校文化連盟表彰

## (ア) 優秀団体

| No. | 団 体 名         | 所 属 校 名 | 専 門 部                 | 全 国 大 会 での 成 績                                                                                                                                                                      |
|-----|---------------|---------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | チアダンス部        | 郡 山     | マーチングバンド・<br>バトントワリング | 全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2 0 1 8<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>JAZZ 部門 Small 編成 3 位、KICK 部門 3 位<br>第 1 0 回全国高等学校ダンスドリル冬季大会<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>JAZZ 部門 Small 編成 2 位            |
| 2   | チアリーディング<br>部 | 郡 山 商 業 | マーチングバンド・<br>バトントワリング | 全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2 0 1 8<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>POM 部門 Medium 編成 2 位、KICK 部門 2 位、プロップ部門 2 位<br>第 1 0 回全国高等学校ダンスドリル冬季大会<br>主催：ミスダンスドリルインターナショナルジャパン<br>POM 部門 Medium 編成 1 位 |
| 3   | 放送委員会         | 磐 城     | 放 送                   | 第 4 2 回全国高等学校総合文化祭放送部門<br>主催：全国高等学校文化連盟<br>ビデオメッセージ部門 優秀賞 (第 1 位)                                                                                                                   |
| 4   | 合 唱 部         | 郡 山     | 合 唱                   | 第 7 1 回全日本合唱コンクール全国大会<br>主催：全日本合唱連盟<br>金賞、文部科学大臣賞 (全国 1 位相当)<br>NHK 全国学校音楽コンクール<br>主催：NHK<br>金賞 (全国 1 位相当)                                                                          |
| 5   | 合 唱 部         | 会 津     | 合 唱                   | 第 7 1 回全日本合唱コンクール全国大会<br>主催：全日本合唱連盟<br>金賞、長野県知事賞 (全国 2 位相当)                                                                                                                         |

## (イ) 優秀個人

| No. | 氏 名     | 所 属 校 名   | 専 門 部 | 全 国 大 会 での 成 績                                                         |
|-----|---------|-----------|-------|------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 関 根 巧 也 | 郡 山 北 工 業 | 工 業   | 第 7 6 回全日本学生児童発明くふう展<br>主催：公益社団法人発明協会<br>W I P O 賞 (全国 3 位相当)          |
| 2   | 佐 藤 優 花 | 郡 山 商 業   | 商 業   | 第 6 5 回全国高等学校珠算・電卓競技大会 (電卓の部)<br>主催：全国商業高等学校長協会 全国商業高等学校協会<br>個人総合 2 等 |
| 3   | 半 澤 桃 香 | 郡 山 商 業   | 商 業   | 第 6 5 回全国高等学校珠算・電卓競技大会 (伝票算競技)<br>主催：全国商業高等学校長協会 全国商業高等学校協会<br>優勝      |

## (ウ) 優秀指導者

| No. | 氏名    | 所属校名 | 専門部                   | 指導歴等                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|-------|------|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 工藤 幸恵 | 郡 山  | チアリーディング・<br>バトントワリング | H28 全国高等学校ダンスドリル選手権大会ウインターカップ<br>ジャズ部門 第3位<br>H29 全国高等学校ダンスドリル選手権大会2017<br>ミスダンスドリルチーム部門優勝 文部科学大臣賞(鈴木 梨奈)<br>ミリタリー部門2位<br>第9回全国高等学校ダンスドリル冬季大会<br>JAZZ部門 Small 編成第1位<br>Ms. solo 部門1年生第1位(大河内ほのか)<br>Ms. solo 部門2年生第3位(安藤 楓香) |

# 第7章 特別支援教育

## 第1節 概要

県教育委員会では、福島県学校教育審議会に本県における今後の特別支援教育の在り方について諮問し、平成21年9月に「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進を基本理念とする答申を受けた。本答申を具体的な施策に反映させるため、第6次福島県総合教育計画（改訂版）においては、「地域におけるインクルーシブ教育システムの構築と理解啓発の促進」、「小・中学校における特別支援教育の充実」、「高等学校における特別支援教育の充実」、「特別支援学校における特別支援教育とセンター的機能の充実」、「教員の特別支援教育に関する指導力の向上」、「特別支援学校の在り方の検討（再掲）」の6項目を本県の目指すべき特別支援教育の方向性として示した。

また、「夢に向かってテクノチャレンジ事業」を実施し、高等部設置県立特別支援学校全校による特別支援学校作業技能大会を開催した。各校の進路に関する学習の成果を発表し合うとともに、作業技能検定等において外部専門家から客観的な評価を受けることを通して、生徒の自立や社会参加につながる学力や技能、意欲の向上を図った。また、「次世代のふくしまを担う人材育成事業（特別支援学校における就労総合支援事業）」を実施し、特別支援学校高等部生徒の就職率と職場定着率の向上に向けて、労働や福祉の関係機関と連携体制の構築と、企業への理解啓発並びに企業で働き続けることのできる人材の育成を図った。

「未来へつなぐ子育て・教育充実事業」では、市町村教育委員会と連携協力の下、医療、保健、福祉、労働との関係機関と連携を図りながら、県内全ての特別な支援を必要とする幼児児童生徒が地域において一貫した支援を受けることができる相談支援体制の整備を進めた。特別支援学校教員に対する研修の充実を図り専門性の向上を図るとともに、特別支援学校のセンター的機能による、幼稚園、小・中・高等学校への相談支援や研修支援を充実させ、地域における指導支援の充実を図った。さらに、教育事務所を中心として特別支援教育センター、特別支援学校がそれぞれの役割や機能を果たすとともに、地域支援チームとして連携・協力して市町村や学校等のニーズに応じ、支援体制整備に向けた取組を行った。

「特別支援学校における医療的ケア実施事業」を実施し、教育・医療・福祉等関係者からなる「医療的ケア実施運営協議会」を設置し、本県における医療的ケアの在り方について研究・協議を行った。また、常時、医療的ケアを必要とする児童生徒（訪問教育や病院入院生徒は除く）が在籍している学校（13校）に常勤講師及び特別非常勤講師として看護師を配置した。さらに、医療的ケアの実施を指導する「指導医の委嘱」、地域の保健・医療・福祉機関のバックアップ体制の確立のための「医療的ケアサポート会議の設置」、医療的ケアの実施に必要な「医療機器等の整備」を行った。

## 第2節 学校管理

### 1 児童生徒数と教職員定数

#### (1) 児童生徒数の推移

| 種別              | 部/年度 | 21    | 22    | 23    | 24    | 25    | 26    | 27    | 28    | 29    | 30    |
|-----------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 視覚障がい<br>特別支援学校 | 小学部  | 10    | 9     | 7     | 6     | 6     | 4     | 3     | 5     | 5     | 3     |
|                 | 中学部  | 10    | 7     | 6     | 7     | 8     | 6     | 5     | 3     | 4     | 5     |
|                 | 高等部  | 29    | 32    | 33    | 35    | 30    | 25    | 24    | 22    | 19    | 17    |
|                 | 計    | 49    | 48    | 46    | 48    | 44    | 35    | 32    | 30    | 28    | 25    |
| 聴覚障がい<br>特別支援学校 | 幼稚部  | 17    | 17    | 14    | 16    | 11    | 17    | 12    | 10    | 14    | 17    |
|                 | 小学部  | 35    | 44    | 42    | 46    | 54    | 45    | 44    | 44    | 38    | 32    |
|                 | 中学部  | 24    | 20    | 21    | 17    | 18    | 22    | 25    | 26    | 28    | 26    |
|                 | 高等部  | 23    | 24    | 25    | 29    | 24    | 24    | 22    | 23    | 28    | 28    |
| 計               | 99   | 105   | 102   | 108   | 107   | 108   | 103   | 103   | 103   | 108   | 103   |
| 知的障がい<br>特別支援学校 | 小学部  | 464   | 493   | 498   | 504   | 501   | 517   | 529   | 543   | 551   | 600   |
|                 | 中学部  | 408   | 376   | 345   | 334   | 362   | 373   | 371   | 370   | 376   | 384   |
|                 | 高等部  | 670   | 746   | 763   | 824   | 757   | 749   | 751   | 803   | 819   | 812   |
|                 | 計    | 1,542 | 1,615 | 1,606 | 1,662 | 1,620 | 1,639 | 1,651 | 1,716 | 1,746 | 1,796 |

| 種別              | 部/年度 | 21    | 22    | 23    | 24    | 25    | 26    | 27    | 28    | 29    | 30    |
|-----------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 肢体不自由<br>特別支援学校 | 小学部  | 118   | 119   | 120   | 124   | 128   | 142   | 139   | 136   | 130   | 126   |
|                 | 中学部  | 73    | 71    | 58    | 71    | 68    | 69    | 70    | 66    | 71    | 70    |
|                 | 高等部  | 90    | 78    | 83    | 75    | 76    | 72    | 79    | 82    | 82    | 73    |
|                 | 計    | 281   | 268   | 261   | 270   | 272   | 283   | 288   | 284   | 283   | 269   |
| 病弱<br>特別支援学校    | 小学部  | 29    | 37    | 40    | 34    | 29    | 35    | 27    | 33    | 30    | 29    |
|                 | 中学部  | 40    | 36    | 46    | 46    | 36    | 25    | 32    | 23    | 40    | 35    |
|                 | 高等部  | 40    | 45    | 44    | 46    | 40    | 32    | 37    | 35    | 36    | 46    |
|                 | 計    | 109   | 118   | 130   | 126   | 105   | 92    | 96    | 91    | 106   | 110   |
| 合 計             |      | 2,080 | 2,154 | 2,145 | 2,214 | 2,148 | 2,157 | 2,170 | 2,224 | 2,271 | 2,303 |

※1 知的障がい特別支援学校は市立特別支援学校、福島大学附属特別支援学校を含む。

※2 視覚障がい特別支援学校高等部は専攻科を含む。

## (2) 平成30年度児童生徒数

(H30.5.1 学校基本調査、訪問学級を含む)

| 種別              | 性別 | 部・学年<br>幼稚園 | 小学部 |    |     |    |    |    |     | 中学部 |     |     |     | 高等部 |     |     |     | 専攻科 | 合計 | 総計    |
|-----------------|----|-------------|-----|----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-------|
|                 |    |             | 本科  |    |     |    |    |    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |    |       |
|                 |    |             | 1   | 2  | 3   | 4  | 5  | 6  | 計   | 1   | 2   | 3   | 計   | 1   | 2   | 3   | 計   |     |    |       |
| 視覚障がい<br>特別支援学校 | 男  |             | 0   | 0  | 1   | 0  | 0  | 1  | 2   | 1   | 0   | 0   | 1   | 3   | 0   | 2   | 5   | 3   | 8  | 11    |
|                 | 女  |             | 0   | 0  | 0   | 0  | 0  | 1  | 1   | 2   | 1   | 1   | 4   | 2   | 2   | 4   | 8   | 1   | 9  | 14    |
|                 | 計  |             | 0   | 0  | 1   | 0  | 0  | 2  | 3   | 3   | 1   | 1   | 5   | 5   | 2   | 6   | 13  | 4   | 17 | 25    |
| 聴覚障がい<br>特別支援学校 | 男  | 11          | 0   | 1  | 4   | 4  | 2  | 6  | 17  | 2   | 10  | 4   | 16  | 6   | 7   | 0   | 13  |     |    | 57    |
|                 | 女  | 6           | 0   | 4  | 3   | 2  | 1  | 5  | 15  | 5   | 3   | 2   | 10  | 4   | 6   | 5   | 15  |     |    | 46    |
|                 | 計  | 17          | 0   | 5  | 7   | 6  | 3  | 11 | 32  | 7   | 13  | 6   | 26  | 10  | 13  | 5   | 28  |     |    | 103   |
| 知的障がい<br>特別支援学校 | 男  |             | 89  | 70 | 74  | 70 | 66 | 56 | 425 | 81  | 92  | 91  | 264 | 165 | 175 | 193 | 533 |     |    | 1,222 |
|                 | 女  |             | 32  | 26 | 29  | 23 | 32 | 33 | 175 | 39  | 46  | 35  | 120 | 110 | 101 | 68  | 279 |     |    | 574   |
|                 | 計  |             | 121 | 96 | 103 | 93 | 98 | 89 | 600 | 120 | 138 | 126 | 384 | 275 | 276 | 261 | 812 |     |    | 1,796 |
| 肢体不自由<br>特別支援学校 | 男  |             | 9   | 9  | 13  | 15 | 14 | 9  | 69  | 13  | 14  | 14  | 41  | 15  | 12  | 16  | 43  |     |    | 153   |
|                 | 女  |             | 6   | 8  | 8   | 8  | 11 | 16 | 57  | 11  | 10  | 8   | 29  | 7   | 12  | 11  | 30  |     |    | 116   |
|                 | 計  |             | 15  | 17 | 21  | 23 | 25 | 25 | 126 | 24  | 24  | 22  | 70  | 22  | 24  | 27  | 73  |     |    | 269   |
| 病弱<br>特別支援学校    | 男  |             | 1   | 2  | 5   | 2  | 5  | 3  | 18  | 6   | 10  | 1   | 17  | 13  | 6   | 8   | 27  |     |    | 62    |
|                 | 女  |             | 4   | 0  | 1   | 0  | 3  | 3  | 11  | 4   | 8   | 6   | 18  | 12  | 5   | 2   | 19  |     |    | 48    |
|                 | 計  |             | 5   | 2  | 6   | 2  | 8  | 6  | 29  | 10  | 18  | 7   | 35  | 25  | 11  | 10  | 46  |     |    | 110   |

※ 市立特別支援学校、福島大学附属特別支援学校を含む。

## (3) 県立特別支援学校教職員定数の推移

| 種別 | 年度    | 視覚支援学校・聴覚支援学校 |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 特別支援学校 |     |     |     |     |       |       |       |       |    |
|----|-------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|----|
|    |       | 21            | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  | 27  | 28  | 29  | 30  | 21     | 22  | 23  | 24  | 25  | 26    | 27    | 28    | 29    | 30 |
| 教員 | 校長    | 2             | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 11  | 12     | 12  | 12  | 12  | 12  | 12    | 12    | 13    | 13    |    |
|    | 教頭・教諭 | 122           | 123 | 121 | 117 | 119 | 115 | 131 | 129 | 133 | 887 | 948    | 994 | 965 | 963 | 967 | 1,145 | 1,157 | 1,209 | 1,242 |    |
|    | 養護教諭  | 4             | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 23  | 24     | 25  | 24  | 24  | 23  | 24    | 24    | 26    | 26    |    |
|    | 兼任主事  |               |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |     |     |     |     |       |       |       |       |    |
|    | 補充教員  | 7             | 10  | 5   | 10  | 11  | 16  | 14  | 8   | 13  | 148 | 147    | 132 | 162 | 159 | 160 | 160   | 150   | 170   | 189   |    |

| 種別     | 年度     | 視覚支援学校・聴覚支援学校 |     |     |     |     |     |     |     |     |       | 特別支援学校 |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|--------|--------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|        |        | 21            | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  | 27  | 28  | 29  | 30    | 21     | 22    | 23    | 24    | 25    | 26    | 27    | 28    | 29    | 30    |
| 教員     | 講師     |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | 寄宿舎指導員 | 24            | 24  | 24  | 26  | 25  | 25  | 25  | 27  | 28  | 28    | 30     | 31    | 34    | 33    | 32    | 34    | 32    | 31    | 30    |       |
|        | 実習助手   | 8             | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8     | 22     | 24    | 24    | 24    | 24    | 24    | 25    | 27    | 27    |       |
|        | 計      | 167           | 171 | 164 | 167 | 169 | 170 | 184 | 178 | 188 | 185   | 1,121  | 1,186 | 1,221 | 1,220 | 1,215 | 1,218 | 1,399 | 1,400 | 1,476 | 1,527 |
| 事務職員   | 11     | 10            | 11  | 11  | 12  | 11  | 11  | 11  | 11  | 11  | 44    | 48     | 48    | 49    | 53    | 51    | 50    | 51    | 53    | 53    |       |
| その他の職員 | 技能労務員  |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | 学校司書   |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | 用務員    | 2             | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2     | 8      | 6     | 6     | 6     | 6     | 6     | 7     | 6     | 6     |       |
|        | ボイラー技師 | 2             | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 1   | 1   | 1     | 1      | 2     | 2     | 2     | 1     | 1     | 1     | 1     | 1     |       |
|        | 栄養職員   | 2             | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2     | 6      | 7     | 7     | 9     | 8     | 9     | 9     | 9     | 10    | 10    |
|        | 調理給食員  |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | 技能訓練士  |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | マッサージ師 |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | 運転手    |               |     |     |     |     |     |     |     |     |       | 1      | 1     | 1     |       |       |       |       |       |       |       |
|        | 計      | 6             | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 5   | 5   | 5     | 16     | 16    | 16    | 17    | 15    | 16    | 16    | 17    | 17    | 17    |
| 合計     | 184    | 187           | 181 | 184 | 187 | 187 | 201 | 194 | 204 | 201 | 1,181 | 1,250  | 1,285 | 1,286 | 1,283 | 1,285 | 1,465 | 1,468 | 1,546 | 1,597 |       |

| 種別     | 年度     | 計     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|        |        | 21    | 22    | 23    | 24    | 25    | 26    | 27    | 28    | 29    | 30    |
| 教員     | 校長     | 13    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 14    | 15    | 15    |
|        | 教頭・教諭  | 1,009 | 1,071 | 1,115 | 1,082 | 1,082 | 1,082 | 1,276 | 1,286 | 1,342 | 1,373 |
|        | 養護教諭   | 27    | 28    | 29    | 28    | 28    | 27    | 28    | 28    | 30    | 30    |
|        | 兼任主事   |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | 補充教員   | 155   | 157   | 137   | 172   | 170   | 176   | 174   | 158   | 183   | 201   |
|        | 講師     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | 寄宿舎指導員 | 54    | 55    | 58    | 59    | 58    | 57    | 59    | 59    | 59    | 58    |
|        | 実習助手   | 30    | 32    | 32    | 32    | 32    | 32    | 32    | 33    | 35    | 35    |
| 計      | 1,288  | 1,357 | 1,385 | 1,387 | 1,384 | 1,388 | 1,583 | 1,578 | 1,664 | 1,712 |       |
| 事務職員   | 55     | 58    | 59    | 60    | 65    | 62    | 61    | 62    | 64    | 64    |       |
| その他の職員 | 技能労務員  |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | 学校司書   |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | 用務員    | 10    | 8     | 8     | 8     | 8     | 8     | 8     | 9     | 8     | 8     |
|        | ボイラー技師 | 3     | 4     | 4     | 4     | 3     | 3     | 3     | 2     | 2     | 2     |
|        | 栄養職員   | 8     | 9     | 9     | 11    | 10    | 11    | 11    | 11    | 12    | 12    |
|        | 調理給食員  |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | 技能訓練士  |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | マッサージ師 |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|        | 運転手    | 1     | 1     | 1     | 1     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     | 0     |
| 計      | 22     | 22    | 22    | 23    | 21    | 22    | 22    | 22    | 22    | 22    |       |
| 合計     | 1,365  | 1,437 | 1,466 | 1,470 | 1,470 | 1,472 | 1,666 | 1,662 | 1,750 | 1,798 |       |

## 2 特別支援学校及び特別支援学級の実態

### (1) 特別支援学校（学部別学級・児童生徒数）

| 障がい種別 | 種別<br>校名      | 幼稚部 |     | 小学部 |     | 中学部 |     | 高等部 |     |     |     | 計   |       |
|-------|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
|       |               | 学級数 | 幼児数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 生徒数 | 本科  |     | 専攻科 |     | 学級数 | 児童生徒数 |
|       |               |     |     |     |     |     |     | 学級数 | 生徒数 | 学級数 | 生徒数 |     |       |
| 視覚    | 県立視覚支援学校      |     |     | 2   | 3   | 3   | 5   | 7   | 13  | 3   | 4   | 15  | 25    |
|       | 小計            |     |     | 2   | 3   | 3   | 5   | 7   | 13  | 3   | 4   | 15  | 25    |
| 聴覚    | 県立聴覚支援学校      | 3   | 6   | 6   | 14  | 7   | 26  | 9   | 28  |     |     | 25  | 74    |
|       | 県立聴覚支援学校福島校   | 3   | 7   | 4   | 8   |     |     |     |     |     |     | 7   | 15    |
|       | 県立聴覚支援学校会津校   | 1   | 2   | 2   | 2   |     |     |     |     |     |     | 3   | 4     |
|       | 県立聴覚支援学校平校    | 1   | 2   | 4   | 8   |     |     |     |     |     |     | 5   | 10    |
|       | 小計            | 8   | 17  | 16  | 32  | 7   | 26  | 9   | 28  |     |     | 40  | 103   |
| 知的障がい | 県立大笹生支援学校     |     |     | 31  | 97  | 15  | 53  | 20  | 115 |     |     | 66  | 265   |
|       | 県立あぶくま支援学校    |     |     | 29  | 95  | 21  | 68  | 35  | 192 |     |     | 85  | 355   |
|       | 県立西郷支援学校      |     |     | 14  | 37  | 10  | 32  | 11  | 58  |     |     | 35  | 127   |
|       | 県立石川支援学校      |     |     | 13  | 36  | 8   | 24  | 14  | 64  |     |     | 35  | 124   |
|       | 県立石川支援学校たまかわ校 |     |     | 13  | 37  | 4   | 11  |     |     |     |     | 17  | 48    |
|       | 県立たむら支援学校     |     |     | 11  | 28  | 3   | 9   | 4   | 16  |     |     | 18  | 53    |
|       | 県立会津支援学校      |     |     | 26  | 77  | 18  | 57  | 16  | 81  |     |     | 60  | 215   |
|       | 県立猪苗代支援学校     |     |     | 5   | 13  | 3   | 10  | 6   | 20  |     |     | 14  | 43    |
|       | 県立いわき支援学校     |     |     | 25  | 81  | 13  | 47  | 20  | 91  |     |     | 58  | 219   |
|       | 県立いわき支援学校くばた校 |     |     |     |     |     |     | 7   | 30  |     |     | 7   | 30    |
|       | 県立富岡支援学校      |     |     | 11  | 26  | 3   | 8   | 6   | 21  |     |     | 20  | 55    |
|       | 県立相馬支援学校      |     |     | 8   | 26  | 6   | 26  | 8   | 39  |     |     | 22  | 91    |
|       | 福島市立福島養護学校    |     |     | 9   | 32  | 6   | 25  | 10  | 62  |     |     | 25  | 119   |
|       | 小計            |     |     | 195 | 585 | 110 | 370 | 157 | 789 |     |     | 462 | 1,744 |
| 肢体不自由 | 県立郡山支援学校      |     |     | 28  | 72  | 18  | 44  | 19  | 48  |     |     | 65  | 164   |
|       | 県立平支援学校       |     |     | 22  | 54  | 13  | 26  | 9   | 25  |     |     | 44  | 105   |
|       | 小計            |     |     | 50  | 126 | 31  | 70  | 28  | 73  |     |     | 109 | 269   |
| 病弱    | 県立須賀川支援学校     |     |     | 6   | 12  | 8   | 18  | 14  | 46  |     |     | 28  | 76    |
|       | 県立須賀川支援学校医大校  |     |     | 4   | 11  | 3   | 4   |     |     |     |     | 7   | 15    |
|       | 県立須賀川支援学校郡山校  |     |     | 3   | 3   | 4   | 7   |     |     |     |     | 7   | 10    |
|       | 県立会津支援学校竹田校   |     |     | 2   | 3   | 2   | 6   |     |     |     |     | 4   | 9     |
|       | 小計            |     |     | 15  | 29  | 17  | 35  | 14  | 46  |     |     | 46  | 110   |
| 合計    |               | 8   | 17  | 278 | 775 | 168 | 506 | 215 | 949 | 3   | 4   | 672 | 2,251 |

(2) 特別支援学級（障がい別・児童生徒数）

| 管内  | 学校別   |    | 小学校 |    |      |             |           |    |                | 中学校  |    |    |     |             |           |    | 計   |                |      |
|-----|-------|----|-----|----|------|-------------|-----------|----|----------------|------|----|----|-----|-------------|-----------|----|-----|----------------|------|
|     | 種別    | 内容 | 弱視  | 難聴 | 知的   | 病弱・<br>身体虚弱 | 肢体<br>不自由 | 言語 | 自閉症<br>・<br>情緒 | 小計   | 弱視 | 難聴 | 知的  | 病弱・<br>身体虚弱 | 肢体<br>不自由 | 言語 |     | 自閉症<br>・<br>情緒 | 小計   |
| 県北  | 学校数   |    | 0   | 1  | 64   | 1           | 1         | 0  | 51             | 118  | 0  | 3  | 35  | 1           | 0         | 0  | 31  | 70             | 188  |
|     | 学級数   |    | 0   | 1  | 79   | 1           | 1         | 0  | 62             | 144  | 0  | 3  | 41  | 1           | 0         | 0  | 34  | 79             | 223  |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 1  | 359  | 2           | 5         | 0  | 301            | 668  | 0  | 5  | 168 | 1           | 0         | 0  | 120 | 294            | 962  |
| 県中  | 学校数   |    | 0   | 2  | 75   | 0           | 0         | 0  | 61             | 138  | 0  | 2  | 140 | 0           | 0         | 0  | 33  | 75             | 213  |
|     | 学級数   |    | 0   | 2  | 91   | 0           | 0         | 0  | 80             | 173  | 0  | 2  | 44  | 0           | 0         | 0  | 36  | 82             | 255  |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 2  | 396  | 0           | 0         | 0  | 400            | 798  | 0  | 2  | 182 | 0           | 0         | 0  | 122 | 306            | 1104 |
| 県南  | 学校数   |    | 1   | 4  | 29   | 0           | 2         | 0  | 20             | 56   | 0  | 0  | 13  | 0           | 0         | 0  | 10  | 23             | 79   |
|     | 学級数   |    | 1   | 4  | 34   | 0           | 2         | 0  | 22             | 63   | 0  | 0  | 13  | 0           | 0         | 0  | 10  | 23             | 86   |
|     | 児童生徒数 |    | 1   | 4  | 124  | 0           | 2         | 0  | 82             | 213  | 0  | 0  | 39  | 0           | 0         | 0  | 34  | 73             | 286  |
| 会津  | 学校数   |    | 0   | 0  | 36   | 2           | 2         | 0  | 32             | 72   | 0  | 0  | 23  | 0           | 0         | 0  | 15  | 38             | 110  |
|     | 学級数   |    | 0   | 0  | 38   | 2           | 2         | 0  | 33             | 75   | 0  | 0  | 24  | 0           | 0         | 0  | 15  | 39             | 114  |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 0  | 147  | 2           | 4         | 0  | 106            | 259  | 0  | 0  | 70  | 0           | 0         | 0  | 29  | 99             | 358  |
| 南会津 | 学校数   |    | 0   | 0  | 9    | 1           | 0         | 0  | 6              | 16   | 0  | 0  | 4   | 0           | 0         | 0  | 3   | 7              | 23   |
|     | 学級数   |    | 0   | 0  | 9    | 1           | 0         | 0  | 6              | 16   | 0  | 0  | 4   | 0           | 0         | 0  | 3   | 7              | 23   |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 0  | 16   | 1           | 0         | 0  | 16             | 33   | 0  | 0  | 9   | 0           | 0         | 0  | 6   | 15             | 48   |
| 相双  | 学校数   |    | 0   | 1  | 24   | 0           | 1         | 0  | 18             | 44   | 0  | 1  | 14  | 1           | 0         | 0  | 7   | 23             | 67   |
|     | 学級数   |    | 0   | 1  | 27   | 0           | 1         | 0  | 18             | 47   | 0  | 1  | 14  | 1           | 0         | 0  | 8   | 25             | 72   |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 1  | 101  | 0           | 1         | 0  | 59             | 162  | 0  | 1  | 40  | 1           | 0         | 0  | 29  | 71             | 233  |
| いわき | 学校数   |    | 1   | 1  | 42   | 0           | 0         | 0  | 28             | 72   | 0  | 0  | 23  | 0           | 0         | 0  | 13  | 36             | 108  |
|     | 学級数   |    | 1   | 1  | 47   | 0           | 0         | 0  | 30             | 79   | 0  | 0  | 28  | 0           | 0         | 0  | 14  | 42             | 121  |
|     | 児童生徒数 |    | 2   | 1  | 220  | 0           | 0         | 0  | 132            | 355  | 0  | 0  | 120 | 0           | 0         | 0  | 48  | 168            | 523  |
| 計   | 学校数   |    | 2   | 9  | 279  | 4           | 6         | 0  | 216            | 516  | 0  | 6  | 152 | 2           | 0         | 0  | 112 | 272            | 788  |
|     | 学級数   |    | 2   | 9  | 325  | 4           | 6         | 0  | 251            | 597  | 0  | 6  | 169 | 2           | 0         | 0  | 120 | 297            | 894  |
|     | 児童生徒数 |    | 3   | 9  | 1363 | 5           | 12        | 0  | 1096           | 2488 | 0  | 8  | 628 | 2           | 0         | 0  | 388 | 1026           | 3514 |

(3) 通級による指導（障がい別・児童生徒数）

| 管内  | 学校別   |    | 小学校 |    |           |     |           |     |      | 中学校  |    |    |           |     |           |    | 計  |      |      |
|-----|-------|----|-----|----|-----------|-----|-----------|-----|------|------|----|----|-----------|-----|-----------|----|----|------|------|
|     | 種別    | 内容 | 弱視  | 難聴 | 言語<br>障がい | 自閉症 | 情緒<br>障がい | LD  | ADHD | 小計   | 弱視 | 難聴 | 言語<br>障がい | 自閉症 | 情緒<br>障がい | LD |    | ADHD | 小計   |
| 県北  | 学校数   |    | 0   | 0  | 4         | 3   | 0         | 3   | 4    | 14   | 0  | 0  | 0         | 1   | 0         | 2  | 1  | 4    | 18   |
|     | 学級数   |    | 0   | 0  | 12        | 6   | 0         | 5   | 4    | 27   | 0  | 0  | 0         | 1   | 0         | 2  | 1  | 4    | 31   |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 0  | 169       | 126 | 0         | 135 | 102  | 532  | 0  | 0  | 0         | 19  | 0         | 27 | 22 | 68   | 600  |
| 県中  | 学校数   |    | 0   | 1  | 2         | 8   | 0         | 0   | 7    | 18   | 0  | 0  | 1         | 0   | 0         | 0  | 1  | 2    | 20   |
|     | 学級数   |    | 0   | 1  | 3         | 8   | 0         | 0   | 7    | 19   | 0  | 0  | 1         | 0   | 0         | 0  | 1  | 2    | 21   |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 7  | 53        | 107 | 0         | 0   | 68   | 235  | 0  | 0  | 10        | 0   | 0         | 0  | 17 | 27   | 262  |
| 県南  | 学校数   |    | 0   | 0  | 0         | 0   | 0         | 0   | 3    | 3    | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 0  | 0    | 3    |
|     | 学級数   |    | 0   | 0  | 0         | 0   | 0         | 0   | 3    | 3    | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 0  | 0    | 3    |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 0  | 0         | 0   | 0         | 0   | 20   | 20   | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 0  | 0    | 20   |
| 会津  | 学校数   |    | 0   | 0  | 1         | 1   | 0         | 3   | 2    | 7    | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 1  | 2  | 3    | 10   |
|     | 学級数   |    | 0   | 0  | 1         | 1   | 0         | 4   | 3    | 9    | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 1  | 2  | 3    | 12   |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 0  | 15        | 5   | 0         | 50  | 32   | 102  | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 18 | 7  | 25   | 127  |
| 南会津 | 学校数   |    | 0   | 0  | 0         | 0   | 0         | 0   | 1    | 1    | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 0  | 0    | 1    |
|     | 学級数   |    | 0   | 0  | 0         | 0   | 0         | 0   | 1    | 1    | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 0  | 0    | 1    |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 0  | 0         | 0   | 0         | 0   | 15   | 15   | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 0  | 0    | 15   |
| 相双  | 学校数   |    | 0   | 0  | 2         | 0   | 0         | 0   | 2    | 4    | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 1  | 1    | 5    |
|     | 学級数   |    | 0   | 0  | 6         | 0   | 0         | 0   | 2    | 8    | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 1  | 1    | 9    |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 0  | 111       | 0   | 0         | 0   | 32   | 143  | 0  | 0  | 0         | 0   | 0         | 0  | 7  | 7    | 150  |
| いわき | 学校数   |    | 0   | 0  | 2         | 1   | 1         | 0   | 2    | 6    | 0  | 0  | 0         | 1   | 0         | 0  | 0  | 1    | 7    |
|     | 学級数   |    | 0   | 0  | 5         | 1   | 1         | 0   | 2    | 9    | 0  | 0  | 0         | 1   | 0         | 0  | 0  | 1    | 10   |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 0  | 62        | 15  | 12        | 0   | 21   | 110  | 0  | 0  | 0         | 4   | 0         | 0  | 0  | 4    | 114  |
| 計   | 学校数   |    | 0   | 1  | 11        | 13  | 1         | 6   | 21   | 53   | 0  | 0  | 1         | 2   | 0         | 3  | 5  | 11   | 64   |
|     | 学級数   |    | 0   | 1  | 27        | 16  | 1         | 9   | 22   | 76   | 0  | 0  | 1         | 2   | 0         | 3  | 5  | 11   | 87   |
|     | 児童生徒数 |    | 0   | 7  | 410       | 253 | 12        | 185 | 290  | 1157 | 0  | 0  | 10        | 23  | 0         | 35 | 53 | 131  | 1288 |

**(4) 訪問教育対象児童生徒数及び担当教員数**

| 年 度       | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 対象児童生徒数   | 80 | 77 | 75 | 89 | 69 | 90 | 80 | 69 | 58 | 55 | 54 | 49 | 50 | 43 | 42 | 39 | 43 | 38 | 33 | 34 | 36 | 36 | 32 | 30 |
| 担 当 教 員 数 | 35 | 33 | 36 | 41 | 36 | 45 | 36 | 41 | 33 | 33 | 35 | 27 | 27 | 27 | 27 | 30 | 29 | 24 | 19 | 27 | 32 | 18 | 18 | 18 |

**(5) 障がいによる就学義務の猶予・免除者の推移**

| 年 度     | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
|---------|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 猶 予 者 数 | 1 | 0 | 0 | 0  | 0  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 免 除 者 数 | 5 | 7 | 5 | 3  | 3  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |

**3 教職員人事・任用**

**(1) 人事異動の概要**

平成 30 年度の県立特別支援学校教職員の定数(補充教員は含まない)は、前年比 30 人増の 1,597 人となった。このうち、教諭等は、前年比 31 人増の 1,373 人である。

**ア 新採用について**

平成 31 年度福島県公立学校教員採用試験での特別支援学校の志願者数は、平成 30 年度に比べ、前年比 6 人増の 263 人(小中学校教員採用試験との併願者を含む)であった。一次及び二次選考試験の結果、名簿登載者数は 70 人であり、62 人が教諭として採用された。

**イ 交流について**

平成 30 年度人事異動は、例年通り 4 月 1 日付け実施となった。同一校永年勤務者、採用後引き続き同一校に 3 年以上勤務する者等を含め 145 人の教諭の交流が実現した。

また、小・中学校・市立特別支援学校及び福島大学附属特別支援学校との交流(転入)は 19 人で、高等学校との交流(転入)は 7 人であった。特別支援教育の更なる充実が期待される。

**(2) 平成 30 年度県立特別支援学校教員異動・交流基準**

**ア 一般基準**

(ア) 教育課程の適正な運営を期するため、教員組織の均衡をはかるように努める。

(イ) 同一校には原則として最低 3 年は勤務するものとする。

(ウ) 2 親等以内の者(姻族を含む)は原則として同一校勤務をさける。

**イ 平成 20 年度以前の採用者についての基準(以下「旧基準」)という。**

**(ア) 勤続年数による基準**

次の基準に該当する者は、原則として異動の対象とする。

○ 採用後引き続き同一校に 3 年以上勤務した者(以下「初任者」という。)

○ 同一校に 8 年以上勤務した者(以下「永年者」という。)

**(イ) 地区、障がいによる基準**

教員の均衡化を図るため、県内を県北、県南、会津、いわき、相双の 5 地区に分け、地区及び障がいに、所在する学校を別表 1 に定める I・II 群に分類し、以下により異動を促進する。

○ 昭和 52 年度以降、特別支援学校教員採用者は、原則として、15 年以内に 2 地区および 2 障がい以上の学校に勤務するものとする。

○ 上記の 2 障がいの経験については、原則として、別表 1 注によるものとする。

**ウ 平成 21 年度以降の採用者についての基準(以下「新基準」という。)**

**(ア) 勤続年数により基準**

次に該当する者は、異動の対象とする。

○ 初任者

○ 異動 2 校目において 3 年以上勤務したもの(以下「若年者」という。)

○ 永年者

**(イ) 地域による基準**

教員の適材適所への配置及び教員組織の均衡化を図るため、県内各学校を別表 2 のとおり中通り、会津、浜通りの 3 地域に分け、異動を促進する。

原則として、採用後 20 年以内に 3 地域の学校に勤務するものとする。

**エ 平成 24 年度より、採用年度にかかわらず新基準を適用する。**

ただし、平成 20 年度以前の旧基準採用者については、平成 30 年度まではイ(イ)別表 1 を準用し、(イ)○印を満たす者は、ウ(イ)の規定を満たす者とみなす。

**オ 交流**

特別支援学校及び小学校、中学校、高等学校における教育を充実させるため、県立特別支援学校と市立特別支援学校及び市町村公立小・中学校、県立高等学校との交流を促進する。その期間は、教諭及び実習助手については原則として 3 年とし、養護教諭及び寄宿舎指導員については、原則として 3 年から 8 年とする。

別表1 県立特別支援学校地区別・障がい別・群別学校

| 群分類       | I 群                                                    | II 群                   |                        |                        |                                |
|-----------|--------------------------------------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------------|
| 障がい<br>地区 | 知的障がい<br>教育を主と<br>する学校                                 | 視覚障がい<br>教育を主と<br>する学校 | 聴覚障がい<br>教育を主と<br>する学校 | 肢体不自<br>由教育を主と<br>する学校 | 病弱教育<br>を主とする<br>学校            |
| 県北        | 大笹生支援                                                  | 視覚支援                   | 聴覚支援<br>(福島)           |                        | 須賀川<br>支援<br>(医大)              |
| 県南        | あぶくま<br>支援<br>石川支援<br>石川支援<br>(たまかわ校)<br>たむら支援<br>西郷支援 |                        | 聴覚支援                   | 郡山支援                   | 須賀川<br>支援<br>須賀川<br>支援<br>(郡山) |
| 会津        | 会津支援<br>猪苗代支援                                          |                        | 聴覚支援<br>(会津)           |                        | 会津支援<br>(竹田)                   |
| いわき       | いわき支援<br>いわき支援<br>(くぼた)                                |                        | 聴覚支援<br>(平)            | 平支援                    |                                |
| 相双        | 富岡支援<br>相馬支援                                           |                        |                        |                        |                                |

注：平成20年度までの採用教員について

- (1) II群内の学校のみ経験者は、I群の学校に勤務することを必須とする。
- (2) I群の学校に勤務している者、又は勤務した者で、2障がいの経験を有していない者は、II群内の学校での勤務をするものとする。
- (3) ただし、平成7年度までに2地区及び2障がいの勤務経験を終了している者はこの限りではなく、これまで2地区及び2障がいの勤務経験を有していない者、及び平成8年度以降平成20年度までの採用教員については、(1)、(2)の勤務経験を必要とする。

別表2 県立特別支援学校地域別学校

| 地域  | 地区  | 学校                          |                        |
|-----|-----|-----------------------------|------------------------|
| 中通り | 県北  | 視覚支援<br>聴覚支援(福島)            | 大笹生支援<br>須賀川支援(医大)     |
|     | 県中  | 聴覚支援<br>あぶくま支援<br>須賀川支援(郡山) | 郡山支援<br>須賀川支援<br>たむら支援 |
|     | 県南  | 西郷支援<br>石川支援(たまかわ校)         | 石川支援                   |
| 会津  | 会津  | 会津支援<br>聴覚支援(会津)            | 会津支援(竹田)<br>猪苗代支援      |
| 浜通り | いわき | 平支援<br>聴覚支援(平)              | いわき支援<br>いわき支援(くぼた)    |
|     | 相双  | 富岡支援                        | 相馬支援                   |

## 第3節 学校教育

### 1 概要

#### (1) 指導行政の基本方針

学校教育審議会答申(平成21年9月)の基本理念「地域で共に学び、共に生きる教育」をもとに、第6次総合教育計画(改訂版)で、特別支援教育の推進に向けた取組を行った。

本県では、「共に学ぶ」理念のもと、障がいのある子どもが障がいのない子どもと共に学ぶ環境づくりを推進し、障がいのある子どもが地域の小・中学校等で、障がいのない子どもと共に学ぶことができる教育環境の整備を進めた。第6次総合教育計画(改訂版)では、次の基本的な方針のもとに、大きく6つの具体的な取組を示し、その充実に努めた。

#### ○ 基本的方向性

- ・ 障がいのある子どもが、就学前、在学中、さらには卒業後において、一貫した支援を受けることができるよう、医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関の連携を深めることなどにより、地域で「共に生きる」ことができる体制の整備を進める。

- ・ 障がいのある子どもが、一人一人のニーズに応じて、地域の幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校において学ぶことができるよう、教員の専門性の向上、校内支援体制の整備・充実、すべての保護者に対する特別支援教育への理解の促進などにより、各学校における「共に学ぶ」環境づくりを進める。

#### ○ 具体的な取組

- ・ 地域におけるインクルーシブ教育システムの構築と理解啓発の促進、小・中学校における特別支援教育の充実
- ・ 高等学校における特別支援教育の充実
- ・ 特別支援学校におけるセンター的機能の充実
- ・ 教員の特別支援教育に関する指導力の向上
- ・ 特別支援学校の在り方の検討(再掲)

#### (2) 指導組織

課長、主幹兼副課長1名、主幹1名、主任管理主事1名、管理主事3名、主任指導主事1名、指導主事5名、各教育事務所特別支援教育担当指導主事7名、教育委員会委嘱特別支援教育担当学校教育指導委員8名をもって指導に当たった。

#### (3) 学校教育指導の重点

前記の基本方針に基づき、指導の重点を次のように設定し、指導の充実を図った。

##### ア 教育内容・方法の改善充実

- (7) 児童生徒一人一人の障がいの状態や教育的ニーズに応じた適切な教育を行うために特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室等の教員に対し、教育課程実施に伴う指導上の問題点、個に応じた指導の工夫改善、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成等について研修を行い、指導担当者の指導力の向上に努めた。

(イ) 各種研修会、要請訪問等を通して、幼児児童生徒の実態に応じた学習指導、生徒指導等の諸問題について協議を深め、学校運営の質的向上に努めた。

#### イ 生徒指導の充実

幼児児童生徒の障がいの状態や特性について、教職員の共通理解を図り、幼・小・中・高等部の一貫した指導に努めるとともに、生徒指導の機能を生かした授業や家庭及び関係機関との連携に努めた。

また、県立特別支援学校の生徒指導担当者による連絡協議会を5月と11月の2回開催し、本県の生徒事故の現状や課題の共有を図り、事故の未然防止に向けた取組の充実に努めた。

#### ウ 進路指導の充実

「夢に向かってテクノチャレンジ事業」を実施し、生徒の自立と社会参加を図るため、全ての高等部設置県立特別支援学校による「特別支援学校作業技能大会」を開催した。作業技能検定や作業製品品評等で得られた外部専門家からの評価を生かし、各校の進路に関する取組のさらなる充実を図ると共に、生徒の就労に向けた企業等への理解啓発を行った。また、「次世代のふくしまを担う人材育成事業（特別支援学校における就労推進事業）」において、生徒の就職率とその定着率の向上を目指し、高等部を設置する特別支援学校の進路指導担当者による進路支援チーム会議を開催し、教員の進路指導に関する専門性の向上と、労働、福祉の各関係機関と連携した早期からの支援体制の構築を図った。

#### エ 発達障がいのある児童生徒への指導の充実

障がいの多様化に対応した教育課程の編成に努め、個に応じた指導計画の作成及び指導の充実に努めるなど、学習指導要領の趣旨を生かした特別支援学級経営の充実に努めた。また、「発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」を実施するとともに、通常の学級に在籍する発達障がいのある児童生徒の理解や指導の在り方について、各地域において特別支援教育コーディネーターや教員を対象とした研修を開催し、指導力や専門性の向上に努めた。

#### オ 交流及び共同学習の推進

近隣の幼稚園や小・中学校、高等学校との交流及び共同学習や、児童生徒の居住地における学校との交流を通し、幼児児童生徒の経験を広め、社会性を養うとともに、障がいのあるなしにかかわらず、お互いを理解し尊重する心を育むことに努めた。

#### カ 情報教育の充実

幼児児童生徒の学習上又は生活上の困難を改善・克服し、学習を支援するために情報機器や情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的に活用するとともに児童生徒の情報活用能力の育成に努めた。

### (4) 教員の資質と指導力の向上

ア 「切れ目のない支援体制整備事業」事業担当者会議の開催

事業を推進する指導主事が参集し、各事業実施状況等の報告及び課題についての協議を行い、各教育事務所域内の支援体制の整備や特別支援教育に関する指導の重点や事業概要等について研究協議を行い、各教育事務所域内の特別支援教育の充実にに向けた指導業務の円滑な推進を図った。

イ 学校教育指導委員連絡協議会の開催

特別支援教育に関する指導の重点や事業概要及び学校教育指導委員の任務についての研修を行い、学校教育指導委員の資質の向上を図った。

ウ 特別支援学校初任者研修、二年次教員フォローアップ研修、経験者研修の実施

特別支援学校の初任者に対し、校内・校外における研修を通して、実践的指導力と使命感を養った。

また、教職経験に応じた経験者研修を実施し、校内におけるリーダーとしての力量の向上に努めた。経験者研修において、教科（領域）指導研修や社会体験研修等を行った。

エ 特別支援教育担当教員専門研修

特別支援教育に関し、指導的立場に立つ教員の育成に対し、専門的知識及び技術を習得させ、資質の向上と指導力の向上を図るため、教員6名を国立特別支援教育総合研究所の専門研修へ派遣した。

### (5) 就学相談の推進

学校教育法施行令の一部改正による就学先決定の仕組み等の周知を図るため、市町村教育委員会就学事務担当者と公立中学校管理職を対象に教育支援協議会を県内7か所で開催した。また、市町村の就学先決定における相談の充実については、各教育事務所で支援し、障がい児の早期からの一貫した支援の充実に努めた。

### (6) 特別支援教育の推進

ア 特別支援学校における医療的ケア実施事業

「平成30年度特別支援学校における医療的ケア実施事業」を実施し、教育・医療・福祉等関係者からなる「医療的ケア実施運営協議会」を設置し、本県における医療的ケアの在り方について研究・協議を行った。また、常時、医療的ケアを必要とする児童生徒（訪問教育や病院入院生徒は除く）が、在籍している学校（13校）に看護師を配置した。さらに、医療的ケアの実施を指導する「指導医の委嘱」、地域の保健・医療・福祉機関のバックアップ体制の確立のための「医療的ケアサポート会議の設置」、医療的ケアの実施に必要な「医療機器等の整備」を行った。

※看護師配置校

聴覚支援学校、聴覚支援学校福島校、大笹生支援学校、郡山支援学校、あぶくま支援学校、須賀川支援学校、西郷支援学校、石川支援学校、会津支援学校、会津支援学校竹田校、平支援学校、いわき支援学校、相馬支援学校

【平成 30 年度医療的ケア実施運営協議会委員】

| 氏名     | 委嘱時の職名              |
|--------|---------------------|
| ◎森田 浩之 | 県総合療育センター・副所長       |
| ○生江 良幸 | 太田西ノ内病院・小児科部長       |
| 古橋 知子  | 福島医科大学看護学部・准教授      |
| 斎藤 昭弘  | 保健福祉部障がい福祉課・専門員     |
| 門脇 俊平  | 子ども未来局児童家庭課・技師      |
| 鈴木 基之  | 県特別支援教育センター・所長      |
| 鈴木 仁   | 白河こひつじ学園・相談支援アドバイザー |
| 大橋 隆史  | 聴覚支援学校・教頭           |
| 小川 令子  | 聴覚支援学校福島校・教頭        |
| 大竹奈保子  | 大笹生支援学校・教頭          |
| 加藤 賢一  | 郡山支援学校・教頭           |
| 佐藤 登   | あぶくま支援学校・教頭         |
| 喜多見久美  | 須賀川支援学校・教頭          |
| 田中 紀彦  | 西郷支援学校・教頭           |
| 菅野かおり  | 石川支援学校・教頭           |
| 阿部 和行  | 会津支援学校・教頭           |
| 梅津 幸男  | 会津養護学校竹田分校・分校長      |
| 齋藤 顕   | 平支援学校・教頭            |
| 香取 重治  | いわき支援学校・教頭          |
| 持舘 康生  | 相馬支援学校・教頭           |
| 平澤美智子  | 平支援学校・看護師           |
| 鍋木いづみ  | 郡山支援学校・看護師          |

(◎委員長 ○副委員長)

【医療的ケア実施運営協議会の開催】

○ 平成 30 年 6 月 15 日

【会議における検討事項】

- 医療的ケア児が就学するときの関係機関や保護者との連携について
- 医療的ケア児が安心安全にケアを受けるためのマニュアルの作成について

【看護師研修会の開催】

- 年 1 回の医療的ケア実施校看護師研修会を郡山支援学校において実施した。

イ 「切れ目のない支援体制整備事業」による市町村における支援体制整備の促進

県内 7 地区において「特別支援教育体制促進協議会」を年 2 回開催し、市町村における支援体制の整備・機能充実に向けた支援や、地域自立支援協議会子ども部会等の充実のための具体的方策について協議するとともに、相談体制の整備や相談支援ファイルの活用への促進に取り組んだ。

ウ 地域支援体制の充実

県立特別支援学校が、地域における特別支援教育のセンター的機能の役割を発揮し、小・中学校等や市町村教育委員会のニーズに応じた相談や研修等の支援を実施した。

相談・研修件数は 3,440 件であった。

また、県内の各教育事務所が地域支援のコーディネーターとなり、相談支援チームを編制し、市町村や小・中学校等への支援の在り方や具体的な方策について協議するとともに、地域の小・中学校等における特別支援教育の充実に向けた支援を実施した。

エ 「高等学校学習支援推進事業」による後期中等教育における発達障がい等のある生徒の支援の充実

平成 17 年度から平成 23 年度まで、文部科学省「研究開発学校」制度や、県重点事業「LD 等の中高連携型生徒支援事業」、「特別支援教育総合推進事業」において進めてきた学習支援員を活用した生徒支援のノウハウを活かし、平成 30 年度は県立高等学校 18 校に学習支援員を配置し、高等学校における支援を必要とする生徒への支援の充実を図った。

オ 障がいのある幼児児童生徒の就学相談の充実

市町村教育委員会、公立中学校管理職を対象に学校教育法施行令の一部改正に伴い、「教育支援協議会」において、就学先決定の流れや特別な支援を必要とする生徒の支援等について説明をし、障がい児の一貫した支援に努めた。また、本協議会を通して各市町村における早期からの相談支援体制の整備と各学校における教育相談の充実を図った。

## 2 現職教育

### (1) 教員の研修

研修会については、下表のとおり実施し、教員の資質向上に努めた。

| 名称               | 期日                     | 期間 | 会場          | 人数  | 対象         |
|------------------|------------------------|----|-------------|-----|------------|
| 特別支援学校教育課程運営改善講座 | 8月21日                  | 1日 | 県特別支援教育センター | 42  | 特別支援学校教員   |
| 特別支援学級等新任担当教員研修会 | 4月18日<br>11月各地区<br>2日間 | 3日 | 県特別支援教育センター | 139 | 特別支援学級担当教員 |
| 通級指導教室担当教員研修会    | 7月18日                  | 1日 | 県特別支援教育センター | 57  | 通級指導教室担当教員 |
| 特別支援学校経験者研修Ⅰ     | 6月20日～<br>6月22日        | 3日 | 県特別支援教育センター | 42  | 特別支援学校教員   |
| 特別支援学校経験者研修Ⅱ     | 6月27日～<br>6月29日        | 3日 | 県特別支援教育センター | 30  | 特別支援学校教員   |

#### 特別支援学校初任者研修

| 名称        | 期日          | 期間       | 会場          |
|-----------|-------------|----------|-------------|
| 宿泊研修      | 一次研修        | 8月8日～10日 | 磐梯青少年交流の家   |
|           | 二次研修        | 2月7日～9日  | いわき海浜自然の家   |
| 一般研修      | 4月11日～12日   | 2日       | 県特別支援教育センター |
| カウンセリング研修 | 6月13日～14日   | 2日       | 県特別支援教育センター |
| 地区別研修     | 講習会研修会等参加研修 | 各校で実施    | 各地区内の該当学校等  |
|           | 他校参観研修      | 各校で実施    | 各地区内の該当学校等  |
|           | 企業等体験研修     | 各校で実施    | 各地区内の該当学校等  |
| 教育課程別研修   | 9月12日       | 1日       | 初任者配置校      |
| 学部別研修     | 11月14日      | 1日       | 初任者配置校      |
|           | 年間150時間以上   |          | 各所属校        |

### (2) 特別支援教育教員短期研修

国立特別支援教育総合研究所（専門研修 2か月）

| 氏名    | 職名 | 学校名        | コース等          | 期間                |
|-------|----|------------|---------------|-------------------|
| 小原 巧也 | 教諭 | 聴覚支援学校     | 聴覚障害教育専修      | 31年1月9日～<br>3月14日 |
| 佐藤 絢香 | 教諭 | 須賀川支援学校    | 病弱教育専修        | 31年1月9日～<br>3月14日 |
| 八巻 裕  | 教諭 | 郡山支援学校     | 肢体不自由教育専修     | 31年1月9日～<br>3月14日 |
| 高橋 理恵 | 教諭 | 石川支援学校     | 知的障害教育専修      | 9月5日～<br>11月9日    |
| 大竹 舞香 | 教諭 | あぶくま支援学校   | 知的障害教育専修      | 9月5日～<br>11月9日    |
| 泉 翔子  | 教諭 | いわき市立磐崎小学校 | 発達障害・情緒障害教育専修 | 5月14日～<br>7月13日   |

### (3) 小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会

小・中学校の特別支援教育コーディネーターに対し、インクルーシブ教育システムの理解を深め、校内支援体制や児童生徒への配慮や支援等についての役割を研修し、特別支援教育コーディネーターの実践力の向上を図った。

### (4) 高等学校特別支援教育コーディネーター研修会

高等学校の特別支援教育コーディネーターに対し、インクルーシブ教育システムの理解を深め、校内支援体制や生徒への配慮や支援等についての役割を研修し、特別支援教育コーディネーターの実践力の向上を図った。

### (5) 特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会

特別支援学校の特別支援教育コーディネーターに対し、センター的機能の在り方、国や県の教育施策、コンサルテーションの進め方等について研修し、特別支援教育コーディネーターの専門性の向上及び実践力の向上を図った。

| 地区 | 会場          | 期日    | 受講者数 |
|----|-------------|-------|------|
| 県内 | 県特別支援教育センター | 5月29日 | 25   |

## 3 教育課程

### (特別支援学校教育課程運営改善講座)

特別支援学校における教育課程実施上の諸問題に関する専門的な研修を実施することにより、指導的立場にある教員の指導力の向上を図るとともに、学校の実態や児童生徒の障がいの種類と程度に応じた教育課程の編成と適切な実施及び管理に努め、特別支援教育の改善・充実に資する。

| 地区 | 期日    | 会場          | 人数 | 参加対象         |
|----|-------|-------------|----|--------------|
| 県内 | 8月21日 | 県特別支援教育センター | 42 | 特別支援学校の教務主任等 |

## 4 訪問教育

通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対して行う訪問教育を週3回実施し、登校可能な児童生徒に対して、定期的に他の子どもたちと交流したり、集団学習を行ったりすることができるように、1回はスクーリング(登校学習)を実施した。

さらに、大笹生支援学校と郡山支援学校では高等部の訪問教育を実施している。

実施状況は次のとおりである。

| 校名          | 学級数 |     |     |     |     |     |     |     | 児童生徒数 |     |     |     |     |     |     |     | スクーリング児童生徒数 |     |     |    |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------------|-----|-----|----|
|             | 小学部 | 病院訪 | 中学部 | 病院訪 | 高等部 | 病院訪 | 学部計 | 病院訪 | 小学部   | 病院訪 | 中学部 | 病院訪 | 高等部 | 病院訪 | 学部計 | 病院訪 | 小学部         | 中学部 | 高等部 | 計  |
| 大笹生支援学校     | 2   |     | 1   |     | 1   |     | 4   | 0   | 5     |     | 1   |     | 1   |     | 7   | 0   | 4           | 1   |     | 5  |
| 郡山支援学校      | 1   |     | 1   |     | 1   |     | 3   | 0   | 3     |     | 2   |     | 2   |     | 7   | 0   | 3           |     |     | 3  |
| 須賀川支援学校郡山分校 |     | 1   |     | 1   |     |     | 0   | 2   |       | 2   |     |     |     |     | 0   | 2   |             |     |     | 0  |
| 須賀川支援学校医大分校 |     | 1   |     |     |     |     | 0   | 1   |       | 1   |     |     |     |     | 0   | 1   |             |     |     | 0  |
| 石川支援学校      |     |     | 1   |     |     |     | 1   | 0   |       |     | 1   |     |     |     | 1   | 0   |             |     |     | 0  |
| 会津支援学校      | 1   |     | 1   |     |     |     | 2   | 0   | 2     |     | 1   |     |     |     | 3   | 0   | 2           | 1   |     | 3  |
| 平支援学校       | 1   | 1   | 1   | 1   |     |     | 2   | 2   | 3     | 3   | 1   | 1   |     |     | 4   | 4   | 3           | 1   |     | 4  |
| 相馬支援学校      | 1   |     |     |     |     |     | 1   | 0   | 1     |     |     |     |     |     | 1   | 0   | 1           |     |     | 1  |
| 合計          | 6   | 3   | 5   | 2   | 2   | 0   | 13  | 5   | 14    | 6   | 6   | 1   | 3   | 0   | 23  | 7   | 13          | 3   | 0   | 16 |

## 5 生徒指導・進路指導

### (1) 生徒指導

障がいのある児童生徒一人一人の意思や個性を生かしながら、障がいの状態や発達の段階・特性等に応じた指導が十分に行えるように、校内の生徒指導体制の確立に努めた。

特に、児童生徒一人一人の課題を的確に把握し、児童生徒の立場に立った行動理解を行い、児童生徒の自己実現を図るべく、生徒指導の機能を生かした指導支援に努めた。

### (2) 進路指導

ア 夢に向かってテクノチャレンジ事業

#### (ア) 事業の趣旨

特別支援学校高等部生徒の自立と社会参加を促すため、特別支援学校作業技能大会を開催し、日頃の進路に関する学習の成果を発表するとともに、外部専門家から客観的な評価を受ける機会とする。

#### (イ) 実施校

高等部設置県立特別支援学校 16校  
 福島大学附属特別支援学校  
 福島市立福島養護学校 計 18校

#### (ウ) 実施状況

##### a 特別支援学校作業技能大会の開催

- ・期日 7月31日(火)
- ・場所 ビッグパレットふくしま

##### b 実施部門

- ・作業技能検定部門  
 ビルクリーニング、喫茶接遇サービス、パソコンデータ入力、店舗販売(品出し・パッケージ)

##### ・作業製品品評部門

作業製品の品評と作業学習の紹介等

##### ・デモンストレーション部門

視覚支援学校理療科のあん摩マッサージ等の技術披露

##### c 外部評価の活用

・各作業技能検定部門及び作業製品品評部門の評価表に関する助言

・作業技能検定部門と作業製品品評部門の審査

イ 次世代のふくしまを担う人材育成事業(特別支援学校における就労推進事業)

#### (ア) 事業の趣旨

高等部を設置する特別支援学校を対象として、労働、福祉等の各関係機関と連携した支援体制整備を基盤とし、企業への理解啓発と、企業で働き続けることのできる人材育成を充実させることにより、就職率と定着率の向上を図る。

#### (イ) 実施校

高等部設置県立特別支援学校 16校  
 福島大学附属特別支援学校  
 福島市立福島養護学校 計 18校

#### (ウ) 実施状況

##### a 進路支援チーム会議の実施

- ・特別支援学校進路指導担当による就労促進及び支援の充実に関する協議
- ・障がい者就業・生活支援センターとの連携強化

- b 移行支援機能の充実
  - ・関係機関と連携した、早期からの移行支援会議の実施
  - ・在学中から卒業後までの長いスパンでの支援
- c 企業の求める人材育成
  - ・作業学習の内容や手法の見直し
  - ・ジョブコーチや企業等からの指導助言
  - ・「障がい者就職面接会」への参加
  - ・「特別支援学校早期訓練コース」の活用
- d 外部評価の活用
  - ・「特別支援学校作業技能大会」における作業技能検定の活用
  - ・「障がい者技能競技大会」への参加

## 6 特別活動

### (1) 卒業式

ア 県立特別支援学校卒業生数

| 学部<br>障がい | 学部  |     |     |     | 合 計 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|
|           | 幼稚部 | 小学部 | 中学部 | 高等部 |     |
| 視覚障がい     |     | 2   | 1   | 8   | 11  |
| 聴覚障がい     | 4   | 11  | 6   | 5   | 26  |
| 知的障がい     |     | 86  | 120 | 233 | 439 |
| 肢体不自由     |     | 25  | 20  | 27  | 72  |
| 病 弱       |     | 5   | 6   | 10  | 21  |
| 計         | 4   | 129 | 153 | 283 | 569 |

イ 県立特別支援学校卒業式学部別開催日(校数)

| 学部  | 開催日  |      |      |       |       |       |       |       |       |       |
|-----|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|     | 3月1日 | 3月4日 | 3月5日 | 3月12日 | 3月13日 | 3月15日 | 3月16日 | 3月18日 | 3月19日 | 3月20日 |
| 幼稚部 |      |      |      |       |       | 1     | 1     |       |       | 1     |
| 小学部 |      |      |      |       | 2     | 11    | 1     | 3     | 1     | 3     |
| 中学部 |      |      |      | 1     | 2     | 10    | 1     | 2     | 1     | 2     |
| 高等部 | 1    | 1    | 5    |       | 1     | 2     | 1     | 1     | 1     | 2     |

### (2) 修学旅行

| 学部  | 行き先<br>日数 | 行き先 |    |    |    |    |       |     | 日 数 |      |      |      | 人<br>数 |      |
|-----|-----------|-----|----|----|----|----|-------|-----|-----|------|------|------|--------|------|
|     |           | 県内  | 東北 | 関東 | 北陸 | 関西 | 九州・沖縄 | 北海道 | 日帰り | 一泊二日 | 二泊三日 | 三泊四日 |        | 四泊五日 |
| 小学部 |           | 4   | 5  | 5  |    |    |       |     | 13  | 1    |      |      |        | 105  |
| 中学部 |           |     |    | 15 |    |    |       |     | 4   | 11   |      |      |        | 143  |
| 高等部 |           | 1   |    | 6  |    | 12 |       |     | 1   | 3    | 9    | 6    |        | 286  |

## 7 学校訪問

### 県立特別支援学校

経験者研修Ⅰ、Ⅱの研究授業日に学校訪問を実施した。

| No. | 訪 問 日  | 学 校 名       |
|-----|--------|-------------|
| 1   | 9月18日  | いわき支援学校くぼた校 |
| 2   | 9月20日  | 郡山支援学校      |
| 3   | 10月12日 | 富岡支援学校      |
| 4   | 10月30日 | あぶくま支援学校    |
| 5   | 11月 6日 | 石川支援学校たまかわ校 |
| 6   | 11月19日 | 平支援学校       |

## 8 県立学校学校教育指導委員

| 氏 名   | 職 名 | 所 属 校      |
|-------|-----|------------|
| 國分 静香 | 教諭  | 視覚支援学校     |
| 寺井 寛  | 教諭  | 聴覚支援学校     |
| 渡邊 万里 | 教諭  | 郡山支援学校     |
| 永戸 千賀 | 教諭  | 須賀川支援学校郡山校 |
| 佐藤 綾  | 教諭  | 西郷支援学校     |
| 原田 友加 | 教諭  | 石川支援学校     |
| 横山 史子 | 教諭  | たむら支援学校    |
| 中野 正貴 | 教諭  | 会津支援学校     |

## 9 就学指導

### (1) 福島県特別支援教育推進会議

福島県特別支援教育推進会議委員

| 委 員   | 職 名                |
|-------|--------------------|
| 学識見識者 | 大学教授               |
| 関係機関  | NPO団体代表            |
| 関係機関  | 県総合療育センター所長        |
| 関係機関  | 県保健福祉部障がい福祉課長      |
| 関係機関  | 県保健福祉部こども未来局児童家庭課長 |
| 関係機関  | 県商工労働部雇用労政課長       |
| 教育関係  | 小学校長会代表            |
| 教育関係  | 中学校長会代表            |
| 教育関係  | 高等学校長会代表           |
| 教育関係  | 特別支援学校長会代表         |
| 教育関係  | 県特別支援教育センター所長      |
| 教育関係  | 県教育庁特別支援教育課長       |

## (2) 教育支援協議会

### ア 期日及び会場

| 地区  | 期日    | 会場         | 参加者数 |
|-----|-------|------------|------|
| 県北  | 6月1日  | パルセいいざか    | 49   |
| 県中  | 6月7日  | 特別支援教育センター | 39   |
| 県南  | 5月25日 | 白河合同庁舎     | 26   |
| 会津  | 6月14日 | 湯川村公民館     | 49   |
| 南会津 | 5月31日 | 御蔵入交流館     | 12   |
| 相双  | 6月8日  | かしま交流センター  | 33   |
| いわき | 5月30日 | いわき合同庁舎    | 41   |

### イ 参加者

- ・各市町村教育委員会指導主事等
- ・公立中学校管理職

### ウ 説明及び協議

#### (ア) 説明

「特別な支援が必要な生徒への支援のあり方について」

#### (イ) 説明及び協議

「自校における特別な支援が必要な生徒への支援の取組について」

## 10 教科用図書

### (1) 教科用図書事務説明会

#### ア 開催日時・場所

平成30年6月7日・自治会館

#### イ 参加者

各教育事務所 各市町村教育委員会  
特別支援学校教科書担当者

### (2) 学校教育法附則第9条に規定する一般図書の展示期日及び会場

|             |                       |
|-------------|-----------------------|
| 6月11日～6月12日 | 相馬支援学校                |
| 6月14日～6月15日 | 福島市立福島養護学校            |
| 6月18日～6月20日 | 大笹生支援学校               |
| 6月22日～6月25日 | 会津支援学校                |
| 6月27日～6月28日 | 南会津町役場                |
| 7月2日～7月3日   | 西郷支援学校                |
| 7月5日～7月9日   | あぶくま支援学校              |
| 7月11日～7月13日 | 平支援学校                 |
| 7月17日～7月23日 | 県特別支援教育センター<br>(一般公開) |

## 11 教育研究団体

### (1) 平成30年度福島県特別支援学校長会役員

| 役職名 | 氏名    | 所属校        |
|-----|-------|------------|
| 会長  | 須田 康仁 | 視覚支援学校     |
| 副会長 | 芳賀 孝美 | 聴覚支援学校     |
| 副会長 | 佐藤 成紀 | 福島市立福島養護学校 |

### (2) 平成30年度福島県特別支援学校教頭会役員

| 役職名 | 氏名    | 所属校        |
|-----|-------|------------|
| 会長  | 香取 重治 | 須賀川支援学校郡山校 |
| 副会長 | 梅津 幸男 | 会津支援学校竹田校  |
| 副会長 | 大槻 孝昭 | 須賀川支援学校医大校 |

### (3) 福島県特別支援教育研究会

#### ア 組織

| 役職名 | 氏名    | 所属校        |
|-----|-------|------------|
| 会長  | 佐藤 成紀 | 福島市立福島養護学校 |
| 副会長 | 須田 康仁 | 視覚支援学校     |
| 副会長 | 酒井 勝弘 | 郡山市立橋小学校   |

#### イ 事業の概要

| 事業名 | 期日    | 会場          | 概要                  |
|-----|-------|-------------|---------------------|
| 役員会 | 2月15日 | 県特別支援教育センター | H30事業報告、H31事業計画について |

### (4) 福島県特別支援教育振興会

#### ア 役員

| 役職名 | 氏名    | 所属              |
|-----|-------|-----------------|
| 会長  | 鈴木 敏夫 | 仁愛看護福祉専門学校長     |
| 副会長 | 櫻井 和朋 | 元県PTA連合会長       |
| 副会長 | 齊藤 義人 | 元福島商業高等学校長      |
| 理事  | 山崎 壽克 | 県北支部長           |
| 理事  | 道下 和幸 | 県中支部長           |
| 理事  | 圓谷美智子 | 県南支部長           |
| 理事  | 木村 秀  | 会津支部長           |
| 理事  | 只野 裕一 | 相双支部長           |
| 理事  | 大谷 明  | いわき支部長          |
| 監事  | 鈴木 基之 | 県特別支援教育センター所長   |
| 監事  | 高屋 隆男 | 東北福祉大学准教授 元聾学校長 |
| 顧問  | 柳沼 穹壹 | 元あぶくま養護学校長      |

#### イ 事務局

##### (ア) 本部事務担当

聴覚支援学校 校長 芳賀 孝美  
聴覚支援学校 教頭 岡田 進  
聴覚支援学校 教頭 大橋 隆史  
聴覚支援学校 事務長 田澤 好一

##### (イ) 支部

| 支部 | 事務局校   | 支部  | 事務局校    |
|----|--------|-----|---------|
| 県北 | 視覚支援学校 | 会津  | 猪苗代支援学校 |
| 県中 | 郡山支援学校 | 相双  | 相馬支援学校  |
| 県南 | 西郷支援学校 | いわき | 平支援学校   |



## 第8章 体育・健康

### 第1節 概要

東日本大震災により、甚大な被害を受けたが、「健康」や「体力」の必要性・重要性について、再認識されたところである。また、震災後の深刻な健康課題の解決に向けて、ふくしまっ子体力向上総合プロジェクトを策定した。これは、望ましい運動習慣や食習慣を形成するために、「自分手帳」を活用した生活改善、小学校体育専門アドバイザーの派遣、学校等における個別・集団指導への外部人材・専門家の派遣、ウェブサイトを活用した「ふくしまっ子なわとびコンテスト」の実施と体力向上表彰の実施、関係機関・団体によるチーム会議と外部評価を一体的に展開し、体力の向上及び肥満の解消を図るものである。

学校体育の充実については、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現することを重視し、運動を楽しみながら体力の向上を目指す授業の普及に努めた。

また、体育の授業のさらなる充実を図るため、ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト及び武道等指導者派遣事業により、中学校の武道・ダンスの授業に専門的な技能を有する地域のスポーツ人材を指導者として派遣し、教員との連携による効果的な指導の実践に努めた。

さらに、部活動の適正化や教職員の働き方改革につながる取組を進めるため、中学校・高等学校に部活動指導員を配置した。

健康教育の充実・普及については、平成16年度から実施している「うつくしまっ子すこやか事業」の中で、平成19年度より「学校すこやかプラン」を展開し、関係機関との連携や地域を巻き込んだ学校保健委員会の活性化を目指して取り組んでいる。さらに児童生徒の自ら健康的な生活を営む実践力を育むための指導の在り方について研究を深め、関係機関と一体となって児童生徒の健康課題解決を目指している。また、食生活を取り巻く社会環境等の変化に伴い、偏った栄養摂取、肥満等の生活習慣病の増加及び若年化など、食に起因する新たな健康問題が増加している。こうした状況の下、生涯を通じた健康づくりの観点から、食に関する指導を一層充実するとともに、各種研修会・講習会の開催を通して、衛生管理指導の徹底を図り、豊かで安全な学校給食の実現に努めた。

#### 1 学校体育の充実

学校における体育・スポーツ活動のより一層の充実を図るため「子どもの体力向上支援委員会」を開催し、具体的な方策について検証するとともに、ふくしまっ子体力向上総合プロジェクト支援委員会において作成した「ふくしまっ子児童期運動指針」に基づき、児童の運動習慣づくりに努めた。

また、小・中・高等学校体育担当者連絡協議会、部活動指導員配置促進事業、武道等指導者派遣事業を実施し、運動に親しむ児童生徒の育成を図るとともに、体力・運動能力の向上に努めた。

さらに、県内すべての小学校に体育専門アドバイザーを派遣し、体育の授業の更なる充実を図った。

#### 2 学校保健・学校安全の充実

学校における健康教育の充実を図るため、ヘルスプロモーションの理念に基づく各種事業を推進している。「学校すこやかプラン」においては、多様化・複雑化する児童生徒の健康課題に対応するため、現代的な課題を含めた児童生徒の健康課題に対する理解と学校における対応の在り方について健康教育推進者研修会を実施した。平成30年度は、LGBTやがん教育等についての研修を実施し、健康教育推進の要となる養護教諭の資質向上を目指し、健康教育の充実を図った。

また、県の健康課題の一つである肥満の解消に対しては、ふくしまっ子体力向上総合プロジェクトの事業の一つとして、「肥満に関する健康相談・個別の保健指導担当者研修会」を開催し、「学校における肥満対応ガイドライン」の活用促進と指導者である養護教諭、栄養教諭等のスキルアップを目指した。

顕彰事業関係では、県教育委員会が行う「福島県学校歯科保健優良校表彰」のほかに、県学校保健会の「学校保健優良学校表彰」を行った。ここでは、自校の健康教育にかかわる課題を的確に捉え、地域と連携し、組織的・計画的に課題解決に向けた取組を行うとともに、児童生徒の主体的な活動が行われた学校を表彰した。

学校安全に関しては、学校防災マニュアルの見直しを図るとともに、福島県学校災害安全指導者養成研修会を実施した。また、平成30年5月に新潟市で起きた女兒の事件を受け、4省庁（文部科学省、国土交通省、厚生労働省・警察庁）からの依頼を受け防犯の観点から緊急通学路合同点検を実施するなど、安全教育の推進・充実を図った。

#### 3 食育の推進

学校における食育の方向を示す「ふくしまっ子食育指針」に基づき、食べる力、感謝の心、郷土愛を育み、望ましい食習慣を形成することを目指し、給食の時間や特別活動、各教科等教育活動全体で食に関する指導の充実を図った。また、平成26年度より東日本大震災後の新たな課題に対応するため、「ふくしまからはじめよう。元気なふくしまっ子食環境整備事業」を三部（保健福祉部、農林水産部、教育庁）連携事業として実施し、学校における食に関する指導体制の整備に努めた。その一環で行っている「ふくしまっ子ごはんコンテスト」では、応募総数が平成29年度の1.2倍である16,332点となり、家庭における食育への意識の向上につながった。

#### 4 学校給食の充実

学校給食の充実を図るため、給食関係者を対象とした各種研修会をはじめ、学校栄養職員の専門的指導力を高めるため、新規採用学校栄養職員研修（県立学校を含む）及び学校栄養職員経験者研修Ⅱを実施した。

さらに、食中毒防止等衛生管理の徹底を図るためには、平成21年4月1日に施行された「学校給食衛生管理基準」（文部科学省告示第64号）の遵守が必要であることから、その実施状況の確認及び指導・助言のため、健康教育課担当者及び各教育事務所の指導主事で単独校調理場60校（健康教育課5校、各教育事務所55校）、健康教育課担当者で共同調理場13施設及び県立学校25校の学校給食施設訪問実施状況点検を実施した。

#### 5 全国高等学校総合体育大会

平成30年度全国高等学校総合体育大会第68回全国高等学校スピードスケート選手権大会を郡山市で開催し、関係機関等と連携を密にし、万全の準備を進め、全日程を無地終了し、高校生最大のスポーツの祭典にふさわしい大会とすることができた。また高校生自らが歓迎活動を行う姿を通して、全国に福島の元気な姿を発信することができた。

### 第2節 表彰

#### 1 体育関係

##### (1) 公益財団法人日本学校体育研究連合会表彰

ア 最優秀校 該当なし

イ 優良校 福島市立北沢又小学校  
福島市立平野小学校  
福島市立福島第一中学校

ウ 功労者

| 職名 | 氏名    | 学校・所属名        |
|----|-------|---------------|
| 校長 | 福士 寛樹 | 福島市立福島第二小学校   |
| 校長 | 慶徳 秀夫 | 郡山市立安積第三小学校   |
| 校長 | 矢澤 良伸 | 会津若松市立第二中学校   |
| 校長 | 比佐 功  | 福島県立磐城桜が丘高等学校 |

##### (2) 福島県学校体育研究連合会表彰

ア 優秀校

| 学校名          | 校長名   |
|--------------|-------|
| 郡山市立赤木小学校    | 鈴木 久  |
| 喜多方市立塩川中学校   | 星 裕次郎 |
| 福島県立磐城高等学校   | 阿部 武彦 |
| 福島県立若松商業高等学校 | 菅野 利彦 |
| 福島県立南会津高等学校  | 橋本 忠広 |

イ 功労者

| 職名 | 氏名    | 学校名           |
|----|-------|---------------|
| 校長 | 福士 寛樹 | 福島市立福島第二小学校   |
| 校長 | 鈴木 一正 | 泉崎村立泉崎第二小学校   |
| 校長 | 星田 弘美 | 須賀川市立西袋第一小学校  |
| 校長 | 慶徳 秀夫 | 郡山市立安積第三小学校   |
| 校長 | 山田 克行 | 鏡石町立鏡石中学校     |
| 校長 | 笹沼 真一 | 白河市立大信中学校     |
| 校長 | 柳沼 昌仁 | 西郷村立川谷中学校     |
| 校長 | 渡邊 宏文 | 浅川町立浅川中学校     |
| 校長 | 佐藤 信行 | 金山町立金山中学校     |
| 校長 | 比佐 功  | 福島県立磐城桜が丘高等学校 |
| 教諭 | 坂本 幸司 | 福島県立磐城高等学校    |

#### 2 学校保健・学校安全関係

##### (1) 福島県教育委員会表彰

ア 学校保健功労者

| 氏名    | 役職名              |
|-------|------------------|
| 渡邊 一民 | 福島県立福島高等学校 学校歯科医 |
| 重巢 吉美 | 福島市立平野小学校 校長     |
| 長嶺恵美子 | 喜多方市立塩川小学校 栄養教諭  |

イ 特別功績者(児童・生徒・団体) の部

| 学校名                          | 校長名   |
|------------------------------|-------|
| 福島市立野田小学校<br>マーチングバンドクラブ     | 佐藤 一男 |
| 白河市立白河第一小学校<br>特設器楽クラブ       | 大杉 和規 |
| 郡山市立郡山第五中学校 合唱部              | 阿部 博  |
| 猪苗代町立猪苗代中学校<br>男子・女子バドミントン部  | 武田 光弘 |
| 福島県立郡山高等学校 合唱部               | 白石 文夫 |
| 福島県立ふたば未来学園高等学校<br>女子バドミントン部 | 丹野 純一 |

##### (2) 文部科学大臣表彰

ア 学校保健・学校安全表彰(教医・歯科医・薬剤師)

| 区分    | 氏名    | 勤務校         |
|-------|-------|-------------|
| 学校歯科医 | 安齋 勲  | 二本松市立杉田小学校  |
| 学校歯科医 | 平井 清武 | いわき市立平第五小学校 |
| 学校薬剤師 | 星 陽子  | 喜多方市立第一小学校  |

イ 学校保健・学校安全表彰(学校・団体)

該当なし

ウ 学校安全ボランティア活動奨励賞

該当なし

(3) 平成30年度歯科衛生図画・ポスター・書写・標語コンク

ール表彰

<最優秀入賞者>

ア 図画の部

| 学 年    | 学 校 名         | 氏 名   |
|--------|---------------|-------|
| 幼 稚 園  | 希望ヶ丘こども園      | 齊木 龍馬 |
| 小学校1年  | 郡山市立薫小学校      | 杉原 愛栞 |
| 小学校2年  | 会津若松ザベリオ学園小学校 | 佐藤 理奈 |
| 小学校3年  | 郡山市立金透小学校     | 小磯 里奈 |
| 特別支援学校 | 福島県立会津支援学校竹田校 | 齋藤 光  |

イ ポスターの部

◎小学校

| 学 年   | 学 校 名     | 氏 名   |
|-------|-----------|-------|
| 小学校4年 | 白河市立釜子小学校 | 鈴木 歩純 |
| 小学校5年 | 郡山市立金透小学校 | 荒井 琉央 |
| 小学校6年 | 石川町立石川小学校 | 迎 彩花  |

◎中学校

| 学 年    | 学 校 名        | 氏 名   |
|--------|--------------|-------|
| 中学校1年  | 白河市立白河中央中学校  | 永山 結  |
| 中学校2年  | 矢吹町立矢吹中学校    | 佐藤 彩香 |
| 中学校3年  | いわき市立中央台北中学校 | 丸本 滯音 |
| 特別支援学校 | 福島県立あぶくま支援学校 | 根本 真明 |

ウ 書写の部

| 学 年    | 学 校 名        | 氏 名   |
|--------|--------------|-------|
| 小学校1年  | いわき市立湯本第一小学校 | 藁谷 知世 |
| 小学校2年  | いわき市立平第六小学校  | 杉山 陽南 |
| 小学校3年  | 白河市立白河第二小学校  | 室井 悠伍 |
| 小学校4年  | 会津若松市立荒館小学校  | 菅井 惇平 |
| 小学校5年  | 白河市立白河第二小学校  | 室井 楓伍 |
| 小学校6年  | 須賀川市立第一小学校   | 小山 幹太 |
| 中学校全学年 | 南会津町立館岩中学校   | 湯田菜那葉 |
| 特別支援学校 | 福島県立須賀川支援学校  | 藁谷 宏紀 |

エ 標語の部

| 学 年    | 学 校 名        | 氏 名   |
|--------|--------------|-------|
| 小・中学校  | いわき市立藤原小学校   | 高橋穂乃日 |
| 特別支援学校 | 福島県立あぶくま支援学校 | 土橋 優芽 |

(4) 平成30年度福島県学校歯科保健優良校表彰

ア 特別表彰 該当なし

イ 栄誉賞 1校

| No. | 域 内 | 学 校 名     |
|-----|-----|-----------|
| 1   | 県 北 | 福島市立水保小学校 |

ウ 最優秀賞 4校

| No. | 域 内 | 学 校 名           |
|-----|-----|-----------------|
| 1   | 県 南 | 西郷村立米小学校        |
| 2   | 県 南 | 西郷村立羽太小学校       |
| 3   | 会 津 | 喜多方市立第一小学校      |
| 4   | 特 支 | 福島県立視覚支援学校(中学部) |

エ 優秀賞 20校

◎小学校(11学級以下) 13校

| No. | 域 内 | 学 校 名       |
|-----|-----|-------------|
| 1   | 県 中 | 須賀川市立白方小学校  |
| 2   | 県 中 | 田村市立西向小学校   |
| 3   | 県 中 | 三春町立中妻小学校   |
| 4   | 県 南 | 鮫川村立鮫川小学校   |
| 5   | 会 津 | 磐梯町立磐梯第二小学校 |
| 6   | 会 津 | 喜多方市立松山小学校  |
| 7   | 会 津 | 喜多方市立上三宮小学校 |
| 8   | 会 津 | 喜多方市立熊倉小学校  |
| 9   | 会 津 | 湯川村立笈川小学校   |
| 10  | 会 津 | 湯川村立勝常小学校   |
| 11  | 南会津 | 只見町立只見小学校   |
| 12  | 相 双 | 相馬市立八幡小学校   |
| 13  | 相 双 | 大熊町立熊町小学校   |

◎小学校(12学級以上) 3校

| No. | 域 内 | 学 校 名        |
|-----|-----|--------------|
| 14  | 県 中 | 須賀川市立柏城小学校   |
| 15  | 県 南 | 西郷村立小田倉小学校   |
| 16  | いわき | いわき市立中央台東小学校 |

◎中学校(11学級以下) 3校

| No. | 域 内 | 学 校 名       |
|-----|-----|-------------|
| 17  | 県 中 | 田村市立常葉中学校   |
| 18  | 県 南 | 白河市立大信中学校   |
| 19  | 南会津 | 南会津町立南会津中学校 |

◎特別支援学校 1校

| No. | 域 内 | 学 校 名           |
|-----|-----|-----------------|
| 20  | 特 支 | 福島県立視覚支援学校(小学部) |

オ 優秀活動奨励賞 1校

| No. | 域 内 | 学 校 名     |
|-----|-----|-----------|
| 1   | 県 南 | 白河市立大屋小学校 |

## カ 努力賞 38校

## ◎小学校(11学級以下) 15校

| No. | 域内  | 学校名          |
|-----|-----|--------------|
| 1   | 県北  | 二本松市立塩沢小学校   |
| 2   | 県中  | 郡山市立白岩小学校    |
| 3   | 県中  | 玉川村立須釜小学校    |
| 4   | 県中  | 平田村立小平小学校    |
| 5   | 県中  | 浅川町立山白石小学校   |
| 6   | 県中  | 田村市立滝根小学校    |
| 7   | 県中  | 田村市立大越小学校    |
| 8   | 県中  | 田村市立常葉小学校    |
| 9   | 県中  | 田村市立緑小学校     |
| 10  | 県南  | 白河市立小田川小学校   |
| 11  | 県南  | 白河市立信夫第二小学校  |
| 12  | 会津  | 喜多方市立豊川小学校   |
| 13  | 南会津 | 只見町立明和小学校    |
| 14  | 相双  | 大熊町立大野小学校    |
| 15  | いわき | いわき市立好間第四小学校 |

## ◎小学校(12学級以上) 9校

| No. | 域内  | 学校名           |
|-----|-----|---------------|
| 16  | 県北  | 福島市立清水小学校     |
| 17  | 県中  | 須賀川市立阿武隈小学校   |
| 18  | 県中  | 須賀川市立仁井田小学校   |
| 19  | 県中  | 石川町立石川小学校     |
| 20  | 県南  | 白河市立みさか小学校    |
| 21  | 県南  | 西郷村立熊倉小学校     |
| 22  | 会津  | 会津若松市立河東学園小学校 |
| 23  | いわき | いわき市立郷ヶ丘小学校   |
| 24  | いわき | いわき市立好間第一小学校  |

## ◎中学校(11学級以下) 4校

| No. | 域内 | 学校名          |
|-----|----|--------------|
| 25  | 県中 | 須賀川市立長沼中学校   |
| 26  | 県中 | 平田村立ひらた清風中学校 |
| 27  | 県南 | 西郷村立西郷第二中学校  |
| 28  | 会津 | 磐梯町立磐梯中学校    |

## ◎中学校(12学級以上) 1校

| No. | 域内 | 学校名       |
|-----|----|-----------|
| 29  | 県中 | 石川町立石川中学校 |

## ◎特別支援学校 8校

| No. | 域内 | 学校名              |
|-----|----|------------------|
| 30  | 特支 | 福島県立郡山支援学校(小学部)  |
| 31  | 特支 | 福島県立西郷支援学校(中学部)  |
| 32  | 特支 | 福島県立相馬支援学校(小学部)  |
| 33  | 特支 | 福島県立相馬支援学校(中学部)  |
| 34  | 特支 | 福島県立相馬支援学校(高等部)  |
| 35  | 特支 | 福島県立いわき支援学校(中学部) |
| 36  | 特支 | 福島県立いわき支援学校(高等部) |
| 37  | 特支 | 福島県立いわき支援学校くぼた校  |

## ◎高等学校 1校

| No. | 域内 | 学校名        |
|-----|----|------------|
| 38  | 会津 | 福島県立坂下高等学校 |

## (5) 福島県学校保健会表彰

## ア 学校保健功労者(71名)

| No. | 職名  | 氏名    | 勤務校                         |
|-----|-----|-------|-----------------------------|
| 1   | 学校医 | 中村 一郎 | 福島市立福島第一中学校                 |
| 2   | 学校医 | 木村 忍  | 福島市立渡利小学校・渡利幼稚園             |
| 3   | 学校医 | 佐藤 正  | 伊達市立桃陵中学校                   |
| 4   | 学校医 | 武田 章臣 | 伊達市立上保原小学校・保原幼稚園            |
| 5   | 学校医 | 木村 秀夫 | 伊達市立保原小学校                   |
| 6   | 学校医 | 阪内 正純 | 伊達市立栗野小学校・堰本小学校・梁川中学校       |
| 7   | 学校医 | 高野 俊夫 | 伊達市立霊山中学校・大石小学校             |
| 8   | 学校医 | 遠藤 毅  | 桑折町立醸芳小学校                   |
| 9   | 学校医 | 松本 毅  | 桑折町立半田醸芳小学校                 |
| 10  | 学校医 | 角田理恵子 | 川俣町立川俣中学校・福田小学校・福田幼稚園       |
| 11  | 学校医 | 武藤 茂生 | 川俣町立川俣小学校・福田小学校・福田幼稚園・川俣幼稚園 |
| 12  | 学校医 | 佐久間博史 | 川俣町立富田小学校・鶴沢小学校・富田幼稚園       |
| 13  | 学校医 | 渡邊 英夫 | 本宮市立岩根小学校・和田小学校             |
| 14  | 学校医 | 森 秀樹  | 二本松市立二本松北小学校・塩沢小学校          |
| 15  | 学校医 | 松井 元右 | 郡山市立大槻小学校                   |
| 16  | 学校医 | 山本 純  | 郡山市立永盛小学校                   |
| 17  | 学校医 | 鈴木 直記 | 郡山市立朝日が丘小学校                 |
| 18  | 学校医 | 佐藤 正也 | 下郷町立下郷中学校・旭田小学校・南小学校        |

| No. | 職名    | 氏名    | 勤務校                                |
|-----|-------|-------|------------------------------------|
| 19  | 学校医   | 佐藤 正友 | 下郷町立楢原小学校・江川小学校・下郷中学校・南小学校         |
| 20  | 学校医   | 石井 敦子 | いわき市立泉小学校・泉中学校・鹿島小学校・泉北小学校・汐見が丘小学校 |
| 21  | 学校医   | 鈴木 秀幸 | 南相馬市立小高中学校・金房小学校・鳩原小学校・小高小学校・福浦小学校 |
| 22  | 学校医   | 志賀嘉津郎 | 南相馬市立原町第三中学校                       |
| 23  | 学校医   | 田村 融彦 | 南相馬市立上真野小学校                        |
| 24  | 学校医   | 佐藤 英二 | 福島県立勿来高等学校                         |
| 25  | 学校医   | 後藤 浩志 | 福島県立平工業高等学校<br>いわき市立豊間中学校          |
| 26  | 学校医   | 佐藤 武寿 | 福島県立福島東高等学校                        |
| 27  | 学校医   | 吾妻 耕治 | 福島県立須賀川高等学校                        |
| 28  | 学校医   | 武田 佑子 | 喜多方市立塩川小学校                         |
| 29  | 学校医   | 飯塚 敦夫 | 会津若松市立河東学園小学校(河東第一・第三小学校)          |
| 30  | 学校医   | 小針 仁美 | 会津若松市立行仁小学校                        |
| 31  | 学校医   | 荒井 一貴 | 会津若松市立第四中学校                        |
| 32  | 学校医   | 仙波 哲雄 | 会津若松市立城西小学校                        |
| 33  | 学校医   | 前田 耕志 | 会津若松市立神指小学校・永和小学校・第六中学校            |
| 34  | 学校医   | 船久保博人 | 西郷村立川谷小学校                          |
| 35  | 学校医   | 安田 秀男 | 福島市立岳陽中学校・野田中学校・庭坂小学校              |
| 36  | 学校医   | 森 央子  | 福島市立大森小学校                          |
| 37  | 学校医   | 安齋 友博 | 福島市立岡山小学校                          |
| 38  | 学校医   | 設楽 厚司 | 須賀川市立長沼中学校・長沼小学校<br>福島県立長沼高等学校     |
| 39  | 学校医   | 熊田 六郎 | 須賀川市立白方小学校・白江小学校・岩瀬中学校             |
| 40  | 学校医   | 小橋 主税 | 須賀川市立仁井田中学校・仁井田小学校・仁井田幼稚園          |
| 41  | 学校歯科医 | 佐藤 方則 | 猪苗代町立猪苗代小学校・翁島幼稚園・千里小学校・長瀬小学校      |
| 42  | 学校歯科医 | 水口 秀文 | 福島県立大沼高等学校<br>会津美里町立高田中学校          |
| 43  | 学校歯科医 | 野田 俊光 | 郡山市立富田東小学校<br>ザベリオ学園幼稚園            |
| 44  | 学校歯科医 | 野木 敏久 | 福島県立湯本高等学校                         |

| No. | 職名    | 氏名    | 勤務校                                   |
|-----|-------|-------|---------------------------------------|
| 45  | 学校歯科医 | 佐藤 健一 | 喜多方市立上三宮小学校                           |
| 46  | 学校歯科医 | 栗城 博人 | 会津若松市立一箕小学校                           |
| 47  | 学校歯科医 | 佐藤 正矢 | 会津若松市立河東学園中学校                         |
| 48  | 学校歯科医 | 渡部 博俊 | 会津若松市行仁小学校                            |
| 49  | 学校歯科医 | 佐野 久幸 | 会津若松市立第一中学校                           |
| 50  | 学校歯科医 | 山本 昇  | 福島県立新地高等学校<br>相馬市立中村第一小学校・磯部小学校・磯部中学校 |
| 51  | 学校歯科医 | 内藤 尊文 | 西郷村立川谷小学校                             |
| 52  | 学校歯科医 | 齋須 幸司 | 白河市立表郷中学校                             |
| 53  | 学校歯科医 | 芳賀 信義 | 西郷村立西郷第二中学校                           |
| 54  | 学校歯科医 | 國分 光寿 | 本宮市立白岩小学校                             |
| 55  | 学校歯科医 | 國分 敏行 | 本宮市立岩根小学校                             |
| 56  | 学校歯科医 | 大内 英二 | 二本松市立原瀬小学校・石井幼稚園・はらせ幼稚園               |
| 57  | 学校歯科医 | 入野 孝男 | 福島市立岳陽中学校・福島市立養護学校                    |
| 58  | 学校歯科医 | 大橋日出雄 | 福島市立大笹生小学校                            |
| 59  | 学校歯科医 | 岩本 繁夫 | 二本松市立塩沢小学校・塩沢幼稚園                      |
| 60  | 学校歯科医 | 本田 修  | 三春町立御木沢小学校・三春小学校・沢石小学校・三春中学校          |
| 61  | 学校歯科医 | 村越 丈博 | 田村市立関本小学校・常葉小学校・常葉中学校                 |
| 62  | 学校歯科医 | 宗像 清武 | 三春町立岩江小学校・岩江中学校                       |
| 63  | 学校歯科医 | 佐藤 裕行 | 須賀川市立稲田中学校                            |
| 64  | 学校歯科医 | 松本 修  | 鏡石町立第二小学校・鏡石中学校                       |
| 65  | 学校薬剤師 | 岩田 守弘 | 喜多方市立関柴小学校                            |
| 66  | 学校薬剤師 | 三瓶 几典 | いわき市立植田小学校・錦東小学校・田人小学校・田人中学校          |
| 67  | 学校薬剤師 | 櫻井 利彦 | 福島県立新地高等学校                            |
| 68  | 学校薬剤師 | 白坂 光子 | 福島市立岡山小学校                             |
| 69  | 養護教諭  | 但野せつ子 | 福島県立新地高等学校<br>福島県立相馬養護学校<br>相馬市立桜丘小学校 |
| 70  | 養護教諭  | 酒井るり子 | 只見町立只見中学校・明和中学校<br>南会津町立伊南小学校         |
| 71  | 養護教諭  | 三瓶 順子 | 石川町立石川小学校・中谷第一小学校・沢田小学校               |

イ 学校安全ボランティア活動奨励賞（2団体）

| No. | 団体名              | 代表者名  |
|-----|------------------|-------|
| 1   | 城南っ子の安全を守る会      | —     |
| 2   | 磐梯町立磐梯第一小学校 見守り隊 | 鈴木 久一 |

ウ 学校保健会感謝状（11名）

| No. | 職名    | 氏名    | 勤務校             |
|-----|-------|-------|-----------------|
| 1   | 学校医   | 坂本 輝明 | (前)本宮市立糠沢小学校    |
| 2   | 学校医   | 池田 敏春 | (前)本宮市立本宮第一中学校  |
| 3   | 学校医   | 賀澤 秀雄 | (前)福島県いわき海星高等学校 |
| 4   | 学校医   | 河田 昭  | (前)白河市立小田川小学校   |
| 5   | 学校医   | 穴澤 味光 | (前)福島県立会津工業高等学校 |
| 6   | 学校歯科医 | 遠藤富士男 | (前)須賀川市立第三中学校   |
| 7   | 学校歯科医 | 吉川 一彦 | (前)福島市立平野中学校    |
| 8   | 学校歯科医 | 藤田 勝久 | (前)棚倉町立近津小学校    |
| 9   | 学校歯科医 | 八重嶋政俊 | (前)塙町立常豊小学校     |
| 10  | 校長    | 阿部 正春 | (前)福島県立磐城高等学校   |
| 11  | 養護教諭  | 石田 智子 | (前)福島県立郡山商業高等学校 |

3 学校給食関係

(1) 文部科学大臣表彰

ア 学校給食優良学校等

| 学校・共同調理場名         | 校長・施設長 |
|-------------------|--------|
| 喜多方市熱塩加納学校給食共同調理場 | 原 利正   |

イ 学校給食功労者

| 職名   | 氏名     | 所名        |
|------|--------|-----------|
| 栄養教諭 | 篠野 梨恵子 | 福島市立西信中学校 |

(2) 公益財団法人福島県学校給食会会長・福島県学校給食研究会会長表彰

ア 学校給食優良団体

| 団体名         | 校長・施設長名 |
|-------------|---------|
| 会津若松市立城北小学校 | 山口 浩    |

イ 学校給食功労者

| 職名       | 氏名     | 所名            |
|----------|--------|---------------|
| 作業長兼技能主査 | 島貫 幹夫  | 福島市南部学校給食センター |
| 技能主査     | 小林 重子  | 福島市立庭塚小学校     |
| 栄養教諭     | 鈴木 由利  | 郡山市立芳賀小学校     |
| 栄養教諭     | 田原 智代子 | 西郷村立西郷第一中学校   |
| 栄養教諭     | 二瓶 美智子 | 会津若松市立一箕中学校   |
| 栄養教諭     | 小泉 弘子  | 新地町立新地小学校     |
| 栄養教諭     | 櫻井 長子  | 南相馬市立原町第一中学校  |
| 栄養教諭     | 松本恵美子  | いわき市立平第三中学校   |

ウ 福島県教育委員会教育長賞

該当なし

第3節 学校体育

1 学校体育関係各種研修

(1) 小・中・高等学校体育担当者連絡協議会

県北：平成30年5月8日（火）

とうほう・みんなの文化センター 162名参加

県中：平成30年5月23日（水）

郡山中央公民館 188名参加

県南：平成30年5月7日（月）

中島村生涯学習センター 70名参加

会津・南会津

：平成30年5月22日（火）

下郷ふれあいセンター 133名参加

相双：平成30年4月26日（木）

万葉ふれあいセンター 67名参加

いわき：平成30年5月29日（火）

いわき合同庁舎南分庁舎 121名参加

(2) 体育・保健体育指導力向上研修

県中央研修：平成30年6月27日（水）

あづま総合運動公園 46名参加

地区別研修

県北地区：平成30年8月20日（月）

福島市国体記念体育館 84名参加

県中地区：平成30年8月17日（金）

郡山総合体育館 84名参加

県南地区：平成30年8月21日（火）

白河市立表郷中学校 64名参加

会津・南会津地区：平成30年8月21日（火）

あいづ総合体育館 141名参加

相双地区：平成30年8月3日（金）

南相馬市スポーツセンター 73名参加

いわき地区：平成30年8月20日（月）

いわき市立総合体育館 97名参加

(3) ダンス・表現指導者養成研修会

日時：平成30年8月1日（水）

会場：福島市国体記念体育館

参加者：72名

(4) 学校フォークダンス指導者養成研修会

日時：平成30年11月15日（木）

会場：会津若松市河東総合体育館

参加者：39名

## 2 福島県高等学校体育連盟

### (1) 平成30年度福島県高等学校体育連盟役員

|           |                                                                                |                             |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 顧問(歴代会長)  | 折笠常弘(15代) 早川俊一(16代) 齋藤久(18代) 砂子田敦博(19代)                                        |                             |
|           | 杉原陸夫(20代) 高城俊春(21代) 齋藤和也(22代) 古市孝雄(23代)                                        |                             |
|           | 富田孝志(24代) 星本文(25代) 新井田大(26代) 富田昭夫(27代)                                         |                             |
|           | 本間稔(28代) 長岐博(29代)                                                              |                             |
|           | 佐藤浩哉(県教育庁健康教育課長) 佐藤弘樹(県体育協会専務理事)                                               |                             |
| 参与(歴代理事長) | 高橋充雄(9代) 浅尾晃左(11代) 菅野一治(12代) 渡辺正昭(13代)                                         |                             |
|           | 赤沼健一(14代) 渡邊正仁(15代) 穂本哲哉(16代)                                                  |                             |
| 会長        | 廣瀬敬彦(田村高校長)                                                                    |                             |
| 副会長(地区会長) | 鈴木義祐(福島北高校長) 遠藤均(須賀川高校長) 山内正之(会津高校長)                                           |                             |
|           | 比佐功(磐城桜が丘高校長) 佐藤秀美(相馬東高校長)                                                     |                             |
| 理事長       | 滝田勝彦(田村高教頭)                                                                    |                             |
| 事務局長      | 花田巖(田村)                                                                        |                             |
| 常任理事      | 軽部英敏(健康教育課) 中村俊之(県体育協会) 佐藤和之(安積黎明)                                             |                             |
|           | 須藤浩治(修明) 木村あさ子(郡山前田(通信制))                                                      |                             |
| 常任理事・理事   | 県北<br>☆◎三浦武彦(福島明成) ○渡部浩一(福島工業) 花田樹(安達東)<br>高橋明日美(福島東陵) △山口慶紀(福島)               |                             |
|           | 県南<br>☆◎清水秀昭(郡山商業) ☆○佐川公一(あさか開成) ☆大内博美(石川)<br>☆大堀直也(田村) ☆金澤克美(岩瀬農業) △郡司安由美(田村) |                             |
|           | 会津<br>☆◎室井真仁(会津) ○福島広巳(会津工業) 須藤俊亮(ザベリオ学園)<br>△小野康平(会津農林)                       |                             |
|           | いわき<br>☆◎阿部秀幸(磐城桜が丘) ○糸井亮平(好間) 小川尚之(いわき総合)<br>△鈴木美結(磐城桜が丘)                     |                             |
|           | 相双<br>☆◎齊藤清人(相馬東) ○佐原明良(ふたば未来学園) 鎌田慎也(小高産業技術)<br>△唯野桃可(相馬東)                    |                             |
|           | 監事                                                                             | 瀬田川広行(福島商業) 相原隆幸(葵)         |
|           | 会長指名理事                                                                         | 軽部英敏(健康教育課) 中村俊之(県体育協会)     |
|           | 幹事                                                                             | 渡邊哲也(郡山) 二文字屋哲(田村) 渡部健次(小野) |
|           | (公財)福体協理事                                                                      | 廣瀬敬彦(田村高校長)                 |
|           | 同評議員                                                                           | 花田巖(田村)                     |
| 東北高体連副会長  | 廣瀬敬彦(田村高校長)                                                                    |                             |
| 同常任理事     | 滝田勝彦(田村高教頭)                                                                    |                             |
| 同理事       | 花田巖(田村)                                                                        |                             |

☆常任理事、◎地区理事長、○地区副理事長、△地区生徒理事

## (2) 第64回福島県高等学校体育大会日程・会場

※○…終日 □…半日

| 開催<br>地区    | No.         | 種 目 名               | 日 程                                    |                 |            | 会 場                                             | 参加人数                 |     |
|-------------|-------------|---------------------|----------------------------------------|-----------------|------------|-------------------------------------------------|----------------------|-----|
|             |             |                     | 6/2(土)                                 | 6/3(日)          | 6/4(月)     |                                                 |                      |     |
| 県<br>北      | 1           | 陸 上 競 技             | 5月25日(金)～28日(月)                        |                 |            | とうほう・みんなのスタジアム                                  | 1,519                |     |
|             | 2           | サ ッ カ ー 男 子         | 5月26日(土)～28日(月)<br>6月2日(土)～3日(日)       |                 |            | 十六沼公園サッカー場 熱海フットボールセンター 鳥見山多目的広場                | 600                  |     |
|             | 3           | ソ フ ト テ ニ ス         | ○                                      | ○               | □          | あづま総合運動公園テニスコート                                 | 767                  |     |
|             | 4           | ハ ン ド ボ ー ル         | ○                                      | ○               | □          | 県営あづま総合体育館 橘高校 福島西高校                            | 672                  |     |
|             | 5           | 弓 道                 | ○                                      | ○               | □          | 福島明成高校弓道場                                       | 651                  |     |
|             | 6           | 体 操                 | 体操競技                                   | 5月26日(土)～27日(日) |            |                                                 | 福島市国体記念体育館           | 70  |
|             |             |                     | 新体操                                    | 5月26日(土)～27日(日) |            |                                                 | 福島市国体記念体育館           |     |
|             | 7           | 馬 術                 | 5月26日(土)～27日(日)                        |                 |            | J R A福島競馬場                                      | 55                   |     |
|             | 8           | 登 山                 | 5月31日(木)～6月2日(土)                       |                 |            | 吾妻連峰東城                                          | 198                  |     |
|             | 9           | 自 転 車 競 技           | ロ ー ド                                  | 5月28日(月)        |            |                                                 | エビスサーキット 西コース (二本松市) | 42  |
|             |             |                     | ト ラ ッ ク                                | 5月26日(土)～27日(日) |            |                                                 | 泉崎村 泉崎国際サイクルスタジアム    |     |
|             | 10          | フ ェ ン シ ン グ         | ○                                      | ○               |            | 福島商業高校 第二体育館                                    | 17                   |     |
| 11          | カ ヌ ー       | ○                   |                                        |                 | 二本松市阿武隈漕艇場 | 12                                              |                      |     |
| 12          | ラ イ フ ル 射 撃 |                     | ○                                      |                 | 二本松市総合射撃場  | 21                                              |                      |     |
| 県<br>南      | 13          | テ ニ ス               | ○                                      | ○               | □          | 郡山庭球場 須賀川市牡丹台庭球場                                | 377                  |     |
|             | 14          | バ ド ミ ン ト ン         | ○                                      | ○               | □          | 郡山総合体育館                                         | 496                  |     |
|             | 15          | 水 泳                 | 競 泳                                    | 6月23日(土)～25日(月) |            |                                                 | 郡山しんきん開成山プール         | 408 |
|             |             |                     | 飛 込                                    | 7月4日(水)         |            |                                                 | 郡山カルチャーパーク飛込プール      | 2   |
|             | 16          | 相 撲                 | 5月26日(土)～27日(日)                        |                 |            | 郡山相撲場                                           | 21                   |     |
|             | 17          | 剣 道                 | 5月26日(土)～28日(月)                        |                 |            | 郡山総合体育館                                         | 712                  |     |
|             | 18          | 空 手 道               | 6月1日(金)～3日(日)                          |                 |            | 石川町総合体育館                                        | 113                  |     |
|             | 19          | ウ ェ イ ト リ フ テ ィ ン グ | ○                                      | ○               |            | 田村高校 第二体育館                                      | 37                   |     |
|             | 20          | ホ ッ ケ ー             | 未開催                                    |                 |            | 未開催                                             | —                    |     |
|             | 21          | ス ケ ー ト             | スピード                                   | 12月7日(金)        |            |                                                 | 磐梯熱海スポーツパーク郡山スケート場   | 9   |
| フィギュア       |             |                     | 12月23日(日)                              |                 |            | 磐梯熱海アイスアリーナ                                     |                      |     |
| 22          | ア ー チェ リ ー  | ○                   |                                        |                 | 三春町営グラウンド  | 17                                              |                      |     |
| 会<br>津      | 23          | バ ス ケ ッ ト ボ ー ル     | 6月9日(土)～11日(月)                         |                 |            | あいづ総合体育館 会津若松市内高校                               | 1,024                |     |
|             | 24          | バ レ ー ボ ー ル         | 5月26日(土)～28日(月)                        |                 |            | あいづ総合体育館 河東総合体育館 葵高校 若松商業高校                     | 1,261                |     |
|             | 25          | 卓 球                 | ○                                      | ○               | □          | あいづ総合体育館                                        | 587                  |     |
|             | 26          | ボ ー ト               | 6月1日(金)～3日(日)                          |                 |            | 福島県営荻野漕艇場                                       | 87                   |     |
|             | 27          | ボ ク シ ン グ           | 5月25日(金)～27日(日)                        |                 |            | 会津工業高校 ボクシング練習場                                 | 15                   |     |
|             | 28          | レ ス リ ン グ           | ○                                      | ○               |            | 田島高校                                            | 39                   |     |
|             | 29          | ス キ ー               | 31年1月10日(木)～12日(土)                     |                 |            | アルパ：会津高原だいくらスキー場 知カ：檜枝岐村七入知効ソリコース               | 34                   |     |
|             | 30          | な ぎ な た             |                                        | ○               |            | 会津学鳳高校 第二体育館                                    | 34                   |     |
|             | 31          | 駅 伝 競 走             | 10月25日(木)                              |                 |            | 猪苗代町駅伝コース                                       | 537                  |     |
| い<br>わ<br>き | 32          | ラ グ ビ ー フ ッ ト ボ ー ル | 10月27日(土)～28日(日)<br>11月3日(土)・11月10日(土) |                 |            | 21世紀の森公園いわきグリーンフィールド・多目的広場                      | 245                  |     |
|             | 33          | ソ フ ト ボ ー ル         | ○                                      | ○               | □          | 小名浜市民運動場(男子) 新舞子多目的運動場(女子)                      | 514                  |     |
|             | 34          | 柔 道                 | ○                                      | ○               | □          | いわき市南部アリーナ                                      | 301                  |     |
|             | 35          | 軟 式 野 球             | 未開催                                    |                 |            | 未開催                                             | —                    |     |
|             | 36          | ヨ ッ ト               | ○                                      |                 |            | いわき市 小名浜港(釜の前)                                  | 8                    |     |
| 相双          | 37          | サ ッ カ ー 女 子         | ○                                      | ○               |            | 広野町サッカー場                                        | 65                   |     |
| 特殊専門部       |             | 定 時 制 通 信 制         | 6月9日(土)～10日(日)                         |                 |            | あづま総合体育館 あづま総合運動公園庭球場<br>福島中央高校グラウンド 郡山萌世高校アリーナ | 282                  |     |

### 3 福島県中学校体育連盟

#### (1) 平成30年度福島県中学校体育連盟役員

| 役職名 | 氏名    | 所属名           | 地区名 |
|-----|-------|---------------|-----|
| 会長  | 菊池 裕二 | 若松四中          | 会津  |
| 副会長 | 斎藤 剛  | 蓬萊中           | 県北  |
|     | 長沼 政美 | 日和田中          | 県中  |
|     | 高橋 顕  | 白河二中          | 県南  |
|     | 小椋 裕  | 若松一中          | 会津  |
|     | 吉田 信治 | 中央台北中         | いわき |
|     | 荒木 幸子 | 檜葉中           | 相双  |
| 理事長 | 長正 壮平 | 福島三中          | 県北  |
| 理事  | 高橋 英人 | 県教育庁健康教育課指導主事 |     |
|     | 安齋 敏彦 | 二本松一中         | 県北  |

| 役職名  | 氏名    | 所属名  | 地区名 |
|------|-------|------|-----|
| 理事   | 塚原 雅也 | 富田中  | 県中  |
|      | 馬場 正和 | 白河二中 | 県南  |
|      | 宗田 昌史 | 一箕中  | 会津  |
|      | 鈴木 雅之 | 平三中  | いわき |
|      | 藍原 広明 | 原町一中 | 相双  |
| 監事   | 古川 豊  | 西根中  | 県北  |
|      | 益子 朗  | 大信中  | 県南  |
|      | 馬場 勇  | 大戸中  | 会津  |
| 顧問   | 関内 健  | 前会長  |     |
| 事務局長 | 大和田 亮 | 福島四中 | 県北  |

#### (2) 第61回福島県中学校体育大会

| 競技種目     | 競技会場                          | 期日                     | 参加人数              |
|----------|-------------------------------|------------------------|-------------------|
| 陸上競技     | いわき陸上競技場                      | 7月4日(水)～7月6日(金)        | 1,350             |
| 水泳       | 競泳                            | 会津水泳場                  | 7月22日(日)～7月24日(火) |
|          | 飛込み                           | 郡山カルチャーパークプール          | 7月4日(水)           |
| 軟式野球     | みちのく鹿島球場                      | 7月22日(日)～7月24日(火)      |                   |
|          | 新地町総合公園野球場                    | 7月22日(日)～7月23日(月)      |                   |
|          | 南相馬市野球場                       | 7月22日(日)               |                   |
|          | 二の丸球場                         | 7月22日(日)               |                   |
| ソフトボール   | 会津総合運動公園 多目的広場                | 7月23日(月)～7月24日(火)      |                   |
|          | 会津総合運動公園 多目的サッカー・ラグビー場        | 7月23日(月)～7月24日(火)      |                   |
| バスケットボール | あづま総合体育館                      | 7月23日(月)～7月24日(火)      |                   |
| バレーボール   | あいづ総合体育館                      | 7月23日(月)～7月24日(火)      |                   |
|          | 鶴ヶ城体育館                        | 7月23日(月)               |                   |
|          | 会津若松市立第二中学校体育館                | 7月23日(月)               |                   |
| ソフトテニス   | 県営あづま総合運動公園テニスコート             | 7月23日(月)～7月24日(火)      |                   |
| 卓球       | いわき市立総合体育館                    | 7月23日(月)～7月24日(火)      |                   |
| バドミントン   | 福島市国体記念体育館                    | 7月23日(月)～7月24日(火)      |                   |
| サッカー     | いわきグリーンフィールド                  | 7月22日(日)～7月24日(火)      |                   |
|          | いわきグリーンフィールド多目的広場             | 7月22日(日)～7月24日(火)      |                   |
|          | 新舞子フットボール場                    | 7月22日(日)               |                   |
|          | いわきFCフィールド                    | 7月22日(日)               |                   |
| ハンドボール   | 石川町総合体育館                      | 7月22日(日)～7月24日(火)      |                   |
| 柔道       | 郡山西部第二体育館                     | 7月23日(月)～7月24日(火)      |                   |
| 剣道       | 白河市中央体育館                      | 7月23日(月)～7月24日(火)      |                   |
| 相撲       | 郡山相撲場                         | 7月23日(月)～7月24日(火)      |                   |
| 新体操      | 郡山西部体育館                       | 7月22日(日)～7月24日(火)      |                   |
|          | ※ 22日の新体操男子は体操競技会場にて実施        |                        |                   |
| 体操競技     | 宝来屋郡山総合体育館                    | 7月23日(月)               |                   |
| 駅伝競走     | 県営あづま総合運動公園                   | 10月2日(火)～10月3日(水)      | 551               |
| スケート     | 磐梯熱海スポーツパーク郡山スケート場            | 12月7日(金)               | 6                 |
| スキー      | 猪苗代スキー場ミネロ 猪苗代町クロスカントリースキーコース | 平成31年1月14日(月)～1月16日(水) |                   |
|          | 御成山公園ジャンプ場 田沢クロスカントリー競技場      | 平成31年1月6日(日)           | 124               |

## 第4節 学校保健・学校安全

### 1 学校保健・学校安全研修会等

#### (1) 学校保健

| 事業名                     | 期 日                                               | 会 場                                          | 参加人数                |
|-------------------------|---------------------------------------------------|----------------------------------------------|---------------------|
| 養護教諭<br>経 験 者<br>研 修 I  | 校内研修 (3日)<br>校外研修 (3日)<br>宿泊研修<br>9月12日<br>～9月14日 | 学校の計画による<br>教育センター<br>教育センター                 | 22名                 |
| 養護教諭<br>経 験 者<br>研 修 II | 校内研修 (4日以上)<br>校外研修 (6日以上)<br>宿泊研修<br>8月1日～8月3日   | 学校の計画による<br>各教育事務所の<br>計画による<br>教育センター       | 6名                  |
| 養護教諭<br>専門研修<br>講 座     | 9月19日～<br>9月21日                                   | 教育センター                                       | 16名                 |
| 健康教育<br>推 進 者<br>研 修 会  | 9月5日<br>9月11日<br>9月26日                            | いわき合同庁舎<br>下郷ふれあいセ<br>ンター<br>富岡町文化交<br>流センター | 116名<br>135名<br>73名 |

#### (2) 学校安全

学校安全指導者養成研修会

県北地区：平成30年9月4日（火）

会 場：とうほう・みんなの文化センター

参加者：168名

県中・県南地区：平成30年9月18日（火）

会 場：郡山ユラックス熱海

参加者：259名

### 2 児童・生徒の健康管理費補助

#### (1) 要保護児童生徒援助費補助金(医療費)

学校安全保健法第25条の規定に基づく補助金の交付状況は次のとおりである。

ア 県立学校

| 対象児童生徒数（人） |        | 設置者が援助<br>した額（円） | 補 助 金<br>確 定 額（円） |
|------------|--------|------------------|-------------------|
| 区 分        | 特別支援学校 |                  |                   |
| 要保護        | 0      | 0                | 0                 |

イ 市町村立学校

| 対象児童生徒数（人） |     |     |        | 設置者が援助<br>した額（円） | 補助金<br>確定額（円） |
|------------|-----|-----|--------|------------------|---------------|
| 区 分        | 小学校 | 中学校 | 特別支援学校 |                  |               |
| 要保護        | 28  | 14  | 0      | 849,971          | 394,000       |

### 3 福島県学校保健会

#### (1) 会員

ア 県内小・中学校及び高等学校の児童生徒

イ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師及び学校保健関係者

#### (2) 財政

平成30年度予算額 4,616,565円

#### (3) 事業概要

ア 学校保健講習会の開催(県内21支部単位)

イ 学校保健優良学校・学校保健功労者表彰・学校安全ボランティア奨励賞

ウ 各種研究大会、講習会等への派遣

エ 刊行物の発行

学校保健会報 第49号

### 4 独立行政法人日本スポーツ振興センター

#### (1) 災害共済給付契約加入状況

県立学校の平成30年度の加入幼児児童生徒数は

43,362人で、前年度に比べ1,168人減少した。

#### (2) 災害共済給付状況

県立学校において、平成30年度「学校管理下」で発生した児童生徒等の災害は、給付件数では4,248件(平成29年度4,175件)、給付金額では77,413,041円である。

給付件数では73件増加、給付金額で19,098,142円減少した。

### (3) 平成30年度県立学校災害共済給付状況

| 区分   | 医療費                     |            | 障害見舞金    |            | 死亡見舞金    |            | 供花料      |        | 合計               |            |
|------|-------------------------|------------|----------|------------|----------|------------|----------|--------|------------------|------------|
|      | (発生件数)<br>給付件数          | 給付額        | 給付<br>件数 | 給付額        | 給付<br>件数 | 給付額        | 給付<br>件数 | 給付額    | (発生件数)<br>給付件数   | 給付額        |
| 幼稚園  | 件<br>(0)<br>0           | 円<br>0     | 件<br>0   | 円<br>0     | 件<br>0   | 円<br>0     | 件<br>0   | 円<br>0 | 件<br>(0)<br>0    | 円<br>0     |
| 小学校  | (11)<br>28              | 920,018    | 0        | 0          | 0        | 0          | 0        | 0      | (11)<br>28       | 920,018    |
| 中学校  | (17)<br>28              | 289,548    | 0        | 0          | 0        | 0          | 0        | 0      | (17)<br>28       | 289,548    |
| 高等学校 | 全日制<br>(1,395)<br>4,135 | 33,793,681 | 3        | 14,120,000 | 1        | 28,000,000 | 0        | 0      | (1,395)<br>4,139 | 75,913,681 |
|      | 定時制<br>(18)<br>48       | 277,214    | 0        | 0          | 0        | 0          | 0        | 0      | (18)<br>48       | 277,214    |
|      | 通信制<br>(2)<br>5         | 12,580     | 0        | 0          | 0        | 0          | 0        | 0      | (2)<br>5         | 12,580     |
| 合計   | (1,443)<br>4,244        | 35,293,041 | 3        | 14,120,000 | 1        | 28,000,000 | 0        | 0      | (1,443)<br>4,248 | 77,413,041 |

### (4) 学校安全支援業務

ア 各種研修会等への講師派遣

## 第5節 学校給食

### 1 学校給食に関する研修会

| 名称                    | 開催月日                          | 会場                 | 参加人数 |
|-----------------------|-------------------------------|--------------------|------|
| 新規採用学校<br>栄養職員研修      | 校内研修<br>各15日                  | 所属校・<br>勤務共同調理場    | 7名   |
|                       | 校外研修                          |                    |      |
|                       | 地区別研修A<br>4日                  | 教育事務所の計<br>画による    |      |
|                       | 地区別研修B<br>3日                  | 市町村教育委員<br>会の計画による |      |
|                       | 宿泊研修A 3日<br>5月22日～24日         | 国立磐梯青少年<br>交流の家    |      |
| 宿泊研修B 3日<br>9月26日～28日 | 教育センター                        |                    |      |
| 学校栄養職員<br>経験者研修Ⅱ      | 校内研修 2日                       | 所属校・<br>勤務共同調理場    | 9名   |
|                       | 校外研修 3日<br>(宿泊研修)<br>7月25～27日 | 教育センター             |      |

### 2 学校給食用パン品質調査

学校給食用パン品質を良化して、学校給食の食事内容の充実向上に役立たせるため実施した。

| 教育事務所 | 調査件数 |
|-------|------|
| 県北    | 4件   |
| 県中    | 18件  |
| 県南    | 8件   |
| 会津    | 3件   |
| 南会津   | 1件   |
| 相双    | 2件   |
| いわき   | 7件   |
| 合計    | 43件  |

### 3 食育等に関する研修会等

#### (1) 食習慣・肥満等の健康課題に対応する食育指導者研修会及び福島県学校給食担当者会議

○日時：平成30年5月11日（金）

○会場：県環境創造センター

○参加者：135名

**(2) ふくしまっ子の健康課題に対応する食環境を考える会**

県 中：平成 30 年 7 月 27 日（金）  
郡山市中央公民館 203 名参加  
県 南：平成 30 年 8 月 7 日（火）  
白河合同庁舎 110 名参加  
会津・南会津：平成 30 年 8 月 23 日（木）  
湯川村公民館 152 名参加

**(3) 栄養教諭食育推進研修会**

○日 時：平成 30 年 11 月 6 日（火）  
○会 場：田村市立船引小学校  
○参加者：60 名

**4 学校給食関係の国庫助成実績**

平成 23 年 4 月 1 日付け 23 文科施第 3 号文部科学大臣裁定「学校施設環境改善交付金要綱」に基づく交付金の状況は、次のとおりである。

平成 30 年度「学校施設環境改善交付金」（学校給食施設）

| 設置者名 | 交付額<br>(千円) | 学校または共同調理場名                                                | 事業名         | 児童生徒数<br>(人) | 構造<br>(区分)   | 対象面積<br>(㎡) |
|------|-------------|------------------------------------------------------------|-------------|--------------|--------------|-------------|
| 福島県  | 11,318      | 相馬支援学校(Ⅰ期工事)                                               | 単独校調理場(新增築) | 130          | 鉄筋コンクリート造(R) | 91          |
| 伊達市  | 83,635      | 伊達市保原学校給食センター<br>(伊達市中央給食センター)<br>(Ⅱ期工事)<br>【H28年度より繰越の繰越】 | 共同調理場(改築)   | 3,464        | 鉄筋構造(S)      | 853         |
|      | 32,245      | 伊達市保原学校給食センター<br>(伊達市中央給食センター)<br>(Ⅲ期工事)<br>【H29年度より繰越】    |             |              |              | 0           |
| 石川町  | 3,548       | 石川中学校(Ⅰ期工事)                                                | 単独校調理場(新增築) | 361          | 鉄筋コンクリート造(R) | 28          |
|      | 6,650       | 石川中学校(Ⅰ期工事)                                                | 単独校調理場(改築)  |              |              | 81          |
| 相馬市  | 1,469       | 中村第二中学校(Ⅲ期工事)<br>【H29年度より繰越】                               | 単独校調理場(新增築) | 220          | 鉄筋コンクリート造(R) | 10          |
|      | 2,184       | 中村第二中学校(Ⅲ期工事)<br>【H29年度より繰越】                               | 単独校調理場(改築)  |              |              | 24          |
| 計    | 141,049     |                                                            | 7 件         |              |              |             |

**第 6 節 体育施設****1 公立学校施設整備費補助（学校体育諸施設補助）**

平成 30 年度における補助事業実施状況は次のとおりである。

**(1) 水泳プール（屋外）**

| 設置者名  | 施設名      | 水面積 (㎡) | 上屋面積 (㎡) | 交付金額 (千円) |
|-------|----------|---------|----------|-----------|
| 会津美里町 | 新鶴小学校    | 375     | —        | 47,718    |
| 平田村   | ひらた清風中学校 | 325     | —        | 18,316    |

**2 社会体育施設整備費補助**

平成 30 年度における補助事業実施状況は次のとおりである。

**(1) 地域スポーツセンター**

| 設置者名 | 施設名         | 面積 (㎡) | 交付金額 (千円) |
|------|-------------|--------|-----------|
| 福島市  | 福島体育館(Ⅱ・Ⅲ期) | 2,800  | 159,643   |

## (2) 地域武道センター

| 設置者名 | 施設名           | 面積 (m <sup>2</sup> ) | 交付金額 (千円) |
|------|---------------|----------------------|-----------|
| 福島市  | 福島市武道館 (Ⅱ・Ⅲ期) | 1,949                | 141,961   |

## (3) 社会体育施設耐震化

| 設置者名 | 施設名   | 面積 (m <sup>2</sup> ) | 交付金額 (千円) |
|------|-------|----------------------|-----------|
| 伊達市  | 保原体育館 | 2,380                | 25,399    |

# 第7節 全国高等学校総合体育大会 (第68回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会)

## 1 入賞状況

女子チームパシュウ

第3位 福島県立郡山商業高等学校 (秋山光希 遠藤眞夏 安田彩夏)

## 2 経過概要

平成30年度全国高等学校総合体育大会

第68回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会に関わる経過報告

|       |        |                                                                                     |
|-------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成20年 | 12月5日  | 全国高体連理事会において、冬季総体について分離開催実施も視野にローテーションを考慮することを確認                                    |
| 平成21年 | 10月27日 | 全国高体連冬季総体プロジェクト会議において、スケート専門部よりスピードスケート分離開催可能地域として、山形県、福島県、岐阜県を提示                   |
| 平成24年 | 9月5日   | 全国高体連スケート専門部より、福島県スケート専門部に平成31年度開催について打診を受ける                                        |
| 平成25年 | 6月4日   | 県スケート専門部より、輪番によると31年度開催になるが、選手の事情等を踏まえて30年度に前倒しして開催したいとの意向を受け、県高体連として前向きに検討することを回答  |
| 平成26年 | 10月24日 | 全国高体連スケート専門部事務局長が県高体連事務局校に来校、<br>開催依頼文書 (全国高体連会長、全国高体連スケート専門部部長連署) を受理              |
|       | 11月18日 | 郡山市教育委員会を訪問、開催説明及び開催要請<br>〈出席者〉 郡山市教育委員会：教育長、生涯学習課課長<br>県高体連：会長、理事長、事務局長、専門委員長      |
|       | 11月27日 | 県教育委員会を訪問、開催説明及び開催要請<br>〈出席者〉 県教育委員会：健康教育課課長、副課長、指導主事<br>県高体連：会長、部会長、理事長、事務局長、専門委員長 |
| 平成28年 | 4月12日  | 県教育委員会庁参事兼健康教育課長、全国高校総体推進室長等が郡山市役所を訪問、<br>郡山市長、文化スポーツ部長、スポーツ振興課長等と面談、開催について依頼       |
|       | 4月15日  | 全国高体連会長からの全国大会開催依頼文書を受理                                                             |
|       | 5月20日  | 福島県教育委員会教育長と福島県高等学校体育連盟会長の連名で開催承諾書を<br>全国高体連に発出                                     |
|       | 6月1日   | 全国高体連会長から開催決定通知を受理                                                                  |
|       | 9月23日  | 全国総体中央委員会において、本県開催が承認                                                               |
|       | 11月9日  | 県高体連理事会で開催について公表、負担金について承認                                                          |
| 平成29年 | 4月20日  | 県高体連評議員会において開催を発表                                                                   |
|       | 6月8日   | 県高体連より郡山市へ公式文書にて開催依頼文書発出                                                            |
|       | 6月14日  | 郡山市から開催承諾書を受理                                                                       |
|       | 9月11日  | 福島県知事が定例記者会見で本大会の福島県開催を発表                                                           |
|       | 9月19日  | 福島県準備委員会設立総会並びに第1回福島県準備委員会の開催                                                       |
|       | 9月27日  | 福島県内の各高等学校、特別支援学校 (高等部) 等に「大会スローガン・入賞メダル・<br>総合ポスター図案」の募集案内通知                       |

|         |                                |                                                                                                                                    |
|---------|--------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成 29 年 | 9月28日                          | 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合一般旅館ホテル連合会長と宿泊業務について協議<br>〈出席者〉 一般旅館ホテル連合会：会長<br>福島県準備委員会：県高体連事務局長・県準備委員会事務局                                       |
|         | 10月12日                         | 磐梯熱海温泉旅館組合との宿泊業務について協議<br>〈出席者〉 一般旅館ホテル連合会：会長<br>磐梯熱海温泉旅館協同組合：専務理事・事務局長<br>福島県準備委員会：県高体連事務局長・県準備委員会事務局                             |
|         | 11月 1日                         | 宿泊業者選定に関わる業者説明会を開催(6社参加)                                                                                                           |
|         | 11月21日                         | 県高体連常任理事会・理事会において大会開催趣旨および概要説明と協力依頼                                                                                                |
|         | 11月28日                         | 宿泊業者選定に関わるプレゼンテーションを開催(4社実施)                                                                                                       |
|         | 12月14日                         | 審査委員会を開催し、「大会スローガン・入賞メダル・総合ポスター図案」の審査<br>常任委員会を開催し、これまでの経過報告と準備状況について説明。<br>また、「大会実施要項」等についての審議を実施<br>業者選定委員会を開催し、「宿泊業務委託者」の候補者を決定 |
| 平成 30 年 | 1月10日                          | 全国高体連会長へ「大会スローガン・入賞メダル・総合ポスター図案」の承認申請書を提出                                                                                          |
|         | 1月21日                          | 第 67 回全国高校総体(山梨大会)・全国報道者会議視察(3名)<br>全国高等学校体育連盟スケート専門部会 事務局より出席し大会要項等の説明                                                            |
|         | 1月22日<br>～26日                  | 第 67 回全国高校総体(山梨大会)開始式出席及び視察(会長以下7名)                                                                                                |
|         | 1月23日                          | 全国高体連会長より「大会スローガン・入賞メダル・総合ポスター図案」の承認申請に承認回答を得る                                                                                     |
|         | 2月15日                          | 県高体連常任理事会・理事会において準備状況を説明し改めて協力を依頼                                                                                                  |
|         | 2月23日                          | 県南高体連理事会において、山梨大会の視察報告および準備状況を説明し協力を依頼                                                                                             |
|         | 3月15日                          | 第 2 回福島県準備委員会の開催                                                                                                                   |
|         | 4月 4日                          | 平成 29 年度福島県準備委員会中間会計監査会                                                                                                            |
|         | 4月 6日                          | 県南高体連理事会において、準備状況を説明し協力を依頼                                                                                                         |
|         | 4月11日                          | 県高体連会長等が郡山市役所を訪問、<br>文化スポーツ部長、スポーツ振興課長等と面談し、大会成功に向けた協力を確認<br>県高体連会長等が陸上自衛隊郡山駐屯地を訪問、<br>第六師団第六特科連隊長等と面談し、大会成功に向けた協力を要請              |
|         | 4月13日                          | 県高体連会長等が県健康教育課、県文化スポーツ局、県体育協会を訪問、健康教育課課長、<br>文化スポーツ局局長、体育協会事務局次長と面談し、協力を確認                                                         |
|         | 4月19日                          | 県高体連常任理事会・理事会において準備状況を説明し協力を依頼                                                                                                     |
|         | 4月26日                          | 県高体連評議員会において大会開催概要を説明<br>大会スローガン・大会入賞メダル図案・総合ポスター図案を正式に発表                                                                          |
|         | 4月27日                          | 全国高体連事務局訪問。事務局より訪問し、準備状況等の報告                                                                                                       |
|         | 5月 9日                          | 県高体連スケート専門部会開催                                                                                                                     |
|         | 5月12日                          | 郡山市高等学校合唱連盟総会にて協力依頼                                                                                                                |
|         | 5月17日                          | 大会開催に向けた事前協議会(福島県・郡山市・福島県高体連三者協議)を開催                                                                                               |
|         | 5月18日                          | 福島県準備委員会会計監査会                                                                                                                      |
|         | 5月24日                          | 第 3 回福島県準備委員会(解散総会)<br>福島県実行委員会設立総会並びに第 1 回実行委員会<br>大会スローガン・大会入賞メダル図案・総合ポスター図案表彰式                                                  |
|         | 5月31日                          | 福島県実行委員会会長、同副会長、県高体連理事長等が郡山市役所を訪問、<br>郡山市長、郡山市教育委員会教育長、郡山市文化スポーツ部長、スポーツ振興課長等に<br>福島県実行委員会設立報告並びに大会成功に向けた協力依頼                       |
| 7月 1日   | 福島県スケート連盟理事会において大会開催成功に向けた協力依頼 |                                                                                                                                    |
| 7月 2日   | 福島県実行委員会事務局電話開設                |                                                                                                                                    |

|        |                          |                                                                                                                                                                                              |
|--------|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成30年  | 7月 4日                    | 郡山市に開催補助金申請書を提出<br>郡山市・郡山市教育委員会に主催申請書を提出<br>(公財) 福島県体育協会・郡山市体育協会に後援申請書を提出                                                                                                                    |
|        | 7月23日                    | 福島県実行委員会HP開設                                                                                                                                                                                 |
|        | 7月26日                    | 福島県実行委員会第1回常任委員会を開催<br>広告協賛依頼開始                                                                                                                                                              |
|        | 8月 7日                    | 大会補助員協力依頼 (あさか開成高校・郡山北工業高校・郡山商業高校)                                                                                                                                                           |
|        | 8月21日                    | 大会ポスター完成・関係機関へ配布開始                                                                                                                                                                           |
|        | 8月23日                    | 全国高体連事務局・日本スケート連盟事務局へ訪問 (部会長・専門委員長・事務局)<br>平成30年度全国高等学校帯域連盟スケート専門部会競技別委員会にて大会要項等審議                                                                                                           |
|        | 8月24日                    | 平成30年度全国高等学校帯域連盟スケート専門部会競技別常任委員会・委員会にて大会要項等の<br>変更案の承認                                                                                                                                       |
|        | 8月27日                    | 福島県に共催負担金申請書を提出                                                                                                                                                                              |
|        | 8月30日                    | 全国高体連へ会長承認事項3件及び総体中央委員会承認事項10件について依頼                                                                                                                                                         |
|        | 9月19日                    | 福島県実行委員会第1回報道委員会を開催                                                                                                                                                                          |
|        | 9月20日                    | 県南支部校長会において、廣瀬会長より概要説明と補助員の協力を依頼                                                                                                                                                             |
|        | 9月21日                    | 全国高等学校体育連盟第2回総体中央委員会において会長承認事項3件及び総体中央委員会承認<br>事項10件の承認を得る                                                                                                                                   |
|        | 9月25日                    | 日本スケート連盟にオンライン大会申込サイト及び記録データ使用について依頼                                                                                                                                                         |
|        | 9月26日                    | 郡山市内補助員等協力依頼校を訪問                                                                                                                                                                             |
|        | 9月28日                    | 各都道府県高等学校体育連盟会長に、大会要項等のHP掲載についての案内を送付                                                                                                                                                        |
|        | 10月 1日                   | 全国高等学校体育連盟に負担金申請書を提出<br>全国高等学校体育連盟スケート専門部に助成金申請書を提出<br>日本スケート連盟に競技団体助成金申請書を提出<br>日本スケート連盟に会長杯のレプリカ作成依頼書を提出<br>日本新聞協会・日本民間放送連盟・日本放送協会・福島県内報道者会の計345社に対し、<br>来会希望調査書を送付<br>本大会実行委員会HPに大会要項等を掲載 |
|        | 10月12日                   | 福島県知事・郡山市長 他 関係者に開始式への参列とあいさつについて依頼書を送付                                                                                                                                                      |
|        | 10月17日                   | 福島県看護協会郡山支部長に大会期間中における看護師の派遣協力依頼書を送付                                                                                                                                                         |
|        | 10月23日                   | 全国高等学校体育連盟会長 他 関係者に大会プログラム掲載原稿執筆依頼書を送付                                                                                                                                                       |
|        | 11月 1日                   | 本大会実行委員会HPに大会申込書等の様式を掲載                                                                                                                                                                      |
|        | 11月 5日                   | 陸上自衛隊郡山駐屯地に齋藤副会長と事務局が訪問し、大会期間における協力を確認                                                                                                                                                       |
|        | 11月 7日                   | 県高体連加盟校および郡山市内各小・中学校へポスターを郵送配布                                                                                                                                                               |
|        | 11月15日                   | 日本スケート連盟オンライン大会申込サイト開設                                                                                                                                                                       |
|        | 11月20日                   | 県高体連常任理事会・理事会において大会開催準備状況について報告                                                                                                                                                              |
|        | 11月22日                   | 福島県実行委員会第2回常任委員会を開催                                                                                                                                                                          |
|        | 11月30日                   | 前年度優勝校へ優勝杯送付について依頼                                                                                                                                                                           |
|        | 12月 1日                   | 大会競技役員へ委嘱状送付                                                                                                                                                                                 |
|        | 12月13日                   | 大会役員並びに競技種目別大会役員へ委嘱状送付<br>関係高等学校へ大会補助員の派遣依頼を送付                                                                                                                                               |
|        | 12月14日                   | 売店等出店申し込み締め切り                                                                                                                                                                                |
|        | 12月20日                   | 陸上自衛隊郡山駐屯地と大会協力協定書を調印                                                                                                                                                                        |
| 12月21日 | プレハブ等仮設設備の設営開始           |                                                                                                                                                                                              |
| 12月25日 | スピード競技の電子データによりエントリー締め切り |                                                                                                                                                                                              |
| 12月27日 | 全ての大会申込書類(消印有効)を締め切る     |                                                                                                                                                                                              |
| 平成31年  | 1月 4日                    | スピード競技の組合せ抽選会議を開催、各参加校へ宿泊先決定通知書を送付<br>郡山市役所内に横断幕を設置                                                                                                                                          |
|        | 1月 7日                    | 大会プログラム最終原稿を入稿し印刷依頼                                                                                                                                                                          |

|       |                |                                                                                                                                                      |
|-------|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成31年 | 1月 8日          | 磐梯熱海スポーツパーク郡山スケート場にコースラインを設置                                                                                                                         |
|       | 1月 9日          | 福島県実行委員会事務局を磐梯熱海スポーツパーク郡山スケート場に移設                                                                                                                    |
|       | 1月15日          | 大会歓迎のぼり旗の設置                                                                                                                                          |
|       | 1月17日          | 大会プログラムが完成、関係機関等へ郵送                                                                                                                                  |
|       | 1月18日          | 参加者への配布物（大会プログラム・I D・参加賞等）の仕分け、袋詰め作業                                                                                                                 |
|       | 1月20日          | プレスセンター設営                                                                                                                                            |
|       | 1月21日          | 全国報道者会議を開催（郡山ユラックス熱海第3会議室）<br>全国高体連スケート専門部第2回競技別委員会を開催（郡山ユラックス熱海第4会議室）<br>開始式用品搬入、開始式会場設営                                                            |
|       | 1月22日          | 監督会議を開催（郡山ユラックス熱海大会議室）<br>開始式リハーサルを実施（郡山ユラックス熱海多目的ホール）<br>開始式を開催（郡山ユラックス熱海多目的ホール）<br>全国高体連会長・日ス連スピード委員長・福島県知事・福島県教育長・郡山市長<br>郡山市議会議長・郡山市教育長等の臨席のもと開催 |
|       | 1月23日          | 競技を開催（～26日）<br>※降雪により1/22・24・26陸上自衛隊郡山駐屯地へ派遣を要請                                                                                                      |
|       | 1月26日          | 競技終了、閉会式を開催                                                                                                                                          |
|       | 1月28日          | 福島県実行委員会事務局を郡山商業高等学校内へ移設                                                                                                                             |
|       | 1月29日          | 大会報告書作成に伴い各実行委員会会長へ巻頭のあいさつを依頼                                                                                                                        |
|       | 2月 6日          | 県南支部校長会において、廣瀬会長・齋藤事務局長より大会開催協力の終了報告                                                                                                                 |
|       | 2月14日          | 協力校10校へ礼状発送                                                                                                                                          |
|       | 2月15日          | 大会報告書（フィギュア:愛知県、アイスホッケー:青森県）を含め編集・発注計画                                                                                                               |
|       | 2月18日          | 福島県教育長、県健康教育課等へ大会終了に伴い実行委員会会長、事務局長等で表敬訪問                                                                                                             |
|       | 2月19日          | 郡山市長、教育長、議会議長に大会終了に伴い実行委員会会長、事務局長等で表敬訪問<br>陸上自衛隊郡山駐屯地に大会終了に伴い実行委員会会長、事務局長等で表敬訪問                                                                      |
|       | 3月上旬           | 大会報告書の納品と関係各機関、愛知県分、青森県分及び注文済み各校へ発送                                                                                                                  |
|       | 3月15日          | 福島県実行委員会事務局会計の会計監査を実施（福島県実行委員会事務局）                                                                                                                   |
|       | 3月19日          | 福島県実行委員会第3回常任委員会の開催（郡山市中央公民館 13:30～）<br>第2回福島県実行委員会（解散総会）の開催（郡山市中央公民館 14:30～）                                                                        |
| 3月29日 | 福島県実行委員会事務局を閉局 |                                                                                                                                                      |

## 第9章 社会教育

### 第1節 概要

#### 1 社会教育一般

県社会教育委員の会議では、本県における社会教育推進や地域の教育力向上を目指した施策の成果及び課題を整理するとともに、本県における家庭と地域社会の現状より、社会全体として子育て家庭を支援する必要等について審議することにより、提言「地域全体で子どもたちを育てる協働体制の実現に向けて～地域総ぐるみによる家庭教育・学校教育の充実を通じて～」をまとめ、進捗状況を検証してきた。（第2章 第7節に記載）

#### 2 地域コミュニティの再生

震災からの復興のために、地域コミュニティを再生していくことが重要である。そのために、地域の実情に即して、学校・家庭・地域住民の連携を進めるとともに、それぞれが主体的かつ確実にその役割を果たしながら、地域の教育力向上を図ることができるよう、地域には地域コーディネーターを、学校には地域との連携の窓口となる地域連携担当教職員を置き、双方向性の協働体制のもと、地域が学校を支援していく活動だけでなく、学校も地域に貢献する活動を展開する「地域学校協働活動事業」をはじめ、子どもたちの健全育成と安心安全な活動拠点づくりを推進するための「放課後子ども教室事業」や、地域人材や社会教育団体などの参画を得て、学校と地域の連携の構築を図り、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する「学校支援活動事業」を実施するとともに、「学校・家庭・地域連携サポート事業」において、コーディネーターやボランティアを対象とした研修等を実施した。

また、災害記録の保存と県民への情報提供に活用する資料の収集を行い、移動図書館や協力車の巡回を実施して読書普及を通じた支援を行った。

#### 3 家庭教育

家庭教育は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、豊かな情操、他人に対する思いやりや善悪の判断などの基本的倫理観、自立心や自制心、社会的なマナーを身につける上で重要な役割を担っている。しかしながら、少子高齢化、高度情報化等、社会環境が激しく変化する現在、子育てに関する課題等も多様化している。そこで、PTAや企業との連携する等、地域ぐるみで子どもたちを育む仕組みの構築に努め、「地域でつながる家庭教育応援事業」等を実施した。

#### 4 青少年教育

青少年の豊かな人間性や社会性を育むためには、異年齢の子ども同士や地域の大人等の関わりのもと、自然体験、ボランティア活動、職業体験、交流体験、スポーツ・文化活動等の様々な体験の機会の充実や社会環境づくりが促進されることが必要である。そのために、「体験活動・ボラ

ンティア推進センター事業」を実施するとともに、学校・家庭・地域が連携を進めながら、地域ぐるみで青少年を育成する環境づくりが推進されるよう、子どもと大人が、共通の体験をとおして、感動したことや共感したことを話し合い、また、震災からさらなる復興を願った「ふくしま」への思いを、日本古来の五・七・五の十七音で表現した作品を募集、表彰、広報する「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」を実施した。

#### 5 成人教育

地域における大人の持つ知識や技能、公民館等において学習した成果などを、地域社会に還元する活動の重要性が高まっていることから、地域の教育力の向上への取組と関連させながら、成人の学習活動や社会参加活動を促進するよう努めた。

#### 6 子どもの読書活動推進

第三次「福島県子ども読書活動推進計画」に基づき、関係機関と連携して、地域で子どもの読書活動を推進するボランティアの資質向上を図り、学校図書館への支援等もできる人材の養成に努めるとともに、福島県子ども読書活動推進会議を開催し、読書活動推進に向けた協議を行った。また、読書の楽しさや自ら進んで読書に親しみきっかけとして、中高校生によるビブリオバトルを開催した。

#### 7 ユネスコ活動

ユネスコ憲章の精神に基づく教育・科学・文化活動についての理解を県民一般に広めるよう努めた。

#### 8 ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業

子どもたちの豊かな人間性や生きる力を育むために「ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業」を実施し、東日本大震災の経験を踏まえ、再発見した郷土の良さを伝え合い発信していく様な交流活動を行う団体や充実した自然体験活動等を行う団体に対し、補助金を交付した。

#### 9 子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業

子どもたちが福島の今を伝える活動を行う中で主体的に復興に寄与する社会体験活動に取り組むことなど、その想いを具現化できる機会を提供するため、「子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業」を実施し、市町村や青少年育成団体等が実施する事業に対し、補助金を交付した。

### 第2節 社会教育一般

#### 1 社会教育推進体制の充実

##### (1) 社会教育行政の推進

社会教育担当者会議

第1回 日 時 平成30年4月6日(金)

場 所 公立学校共済組合飯坂保養所

第2回 日 時 平成31年2月1日(金)

場 所 公立学校共済組合飯坂保養所

## (2) 社会教育主事の設置

社会教育活動の充実を図るため、県立自然の家へ社会教育主事を配置するなど設置促進に努めた。

## (3) 社会教育関係職員の研修

ア 市町村の社会教育主事や公民館職員、図書館職員、社会教育指導員などの社会教育関係職員を対象とした研修機会の充実を図り、その資質向上に努めた。

イ 国立教育政策研究所等で実施する専門的な研修講座への計画的な派遣に努めた。

## (4) 各種社会教育関係団体等との連携

地域の教育力向上を図る観点から、各種社会教育関係団体等の果たす役割や学校・家庭・地域住民の連携を促進するための活動が重要であるため、各種社会教育関係団体等との連携に努めた。

## 2 社会教育施設の整備充実

### (1) 県立社会教育施設の整備充実

ア 県立図書館の整備充実

県民への図書館サービスの向上を図るため、図書館資料や設備・備品等の整備充実にも努めるとともに、「県立図書館情報ネットワークシステム」を活用して公立図書館や公民館図書室、学校図書館等との連携の強化に努めた。

イ 福島県自然の家の整備充実

自然の中での集団宿泊体験を通して青少年の健全育成を図る場や機会を拡充するため、自然の家の整備充実にも努めた。

### (2) 市町村立社会教育施設の整備促進

ア 公民館の整備促進

地域住民のための学習の拠点となる社会教育施設として、多様化した学習ニーズに的確に対応し、充実した公民館活動が行われるよう、市町村に対し、長期的な展望に立った施設・設備の在り方について助言した。

イ 市町村立図書館の整備促進

市町村立図書館を26自治体巡回し、図書館の運営相談や相互貸借資料等の搬送等を行った。

また、高等教育機関にも巡回しその連携体制の強化に努めた。

### (3) 災害復旧国庫補助事業

東日本大震災で被災した公立社会教育施設の災害復旧事業を補助するため、災害査定（現地調査）等の事務を行った。また、未だ申請できない双葉地区等の市町村について情報収集を行い、復旧に向けての準備ができるよう働きかけた。

## 3 社会教育関係職員の研修

### (1) 公民館職員研修会

ア 期日 平成30年5月16日(水)～17日(木)

イ 会場 福島県男女共生センター

ウ 参加対象 市町村公民館職員でおおむね3年未満の者及び社会教育関係者

エ 参加者数 67名

オ 講師

教育庁社会教育課長 菊池 篤志

郡山市立中田公民館長 宗像 善夫

福島大学地域創造支援センター

副センター長・教授 木暮 照正

喜多方市松山公民館長 飯野 信也

会津教育事務所主任社会教育主事 高原 昇

教育庁社会教育課主幹 渋谷 卓也

### (2) 福島県市町村社会教育担当者研修会

ア 期日 平成30年8月28日(火)～29日(水)

イ 会場 福島県男女共生センター

ウ 参加対象 社会教育関係行政職員（公民館職員、社会教育主事等の社会教育関係事業担当2年目以上の職員）、社会教育指導員等

エ 参加者数 1日目44名、2日目24名

オ 講師

尚綱学院大学エクステンションセンター特任教授

松田 道雄

福島市吉井田学習センター館長 矢吹 稔

山形県高島町二井宿地区公民館長 神保 一雄

同公民館館長代理 土田 裕一

文部科学省国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

社会教育調査官（併）専門調査員 山田 智章

棚倉町教育員会生涯学習課主事兼社会教育主事

古市 裕幸

## 4 社会教育研究集会

(1) 主催 福島県市町村社会教育委員連絡協議会

一般社団法人全国社会教育委員連合

(2) 主管 いわき地区社会教育委員連絡協議会

(3) 共催 いわき市教育委員会

(4) 後援 福島県教育委員会

(5) 日程・内容

ア 期日 平成30年10月4日(木)～5日(金)

イ 会場 いわき市文化センター 他

ウ 参加対象 市町村社会教育委員、市町村社会教育行政担当者、社会教育関係施設職員、社会教育関係団体会員 他

エ 参加者数 2日間のべ439名

オ 基調講演

講師 アクアマリンふくしま館長 安部 義孝

演題 「第10回世界水族館会議を前にして」

カ 分科会

第1分科会「子育て・家庭教育支援について」

第2分科会「地域と学校との連携・協働について」

第3分科会「地域を担う人材発掘・人材育成について」

第4分科会「社会教育委員の役割について」

## 5 社会教育指導員の設置

### (1) 設置数

(単位：人)

|          | 県北 | 県中 | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | 計   |
|----------|----|----|----|----|-----|----|-----|-----|
| 社会教育指導員数 | 48 | 18 | 11 | 58 | 16  | 11 | 6   | 168 |

### (2) 福島県市町村社会教育指導員研修会（年2回）

#### ア 第1回

- (ア) 期日 平成30年5月9日(水)
- (イ) 場所 郡山市労働福祉会館
- (ウ) 対象 福島県市町村社会教育指導員
- (エ) 参加者数 130名
- (オ) 講師 社会教育課社会教育主事 戸井田 修

#### イ 第2回

- (ア) 期日 平成30年9月28日(金)
- (イ) 場所 いわき海浜自然の家
- (ウ) 対象 福島県市町村社会教育指導員、  
青少年教育指導員、社会教育主事、  
公民館職員等社会教育関係者
- (エ) 参加人数 113名
- (オ) 講師 いわき総合図書館長 夏井 芳徳  
演題 「戊辰戦争から150年」

## 6 社会教育主事の市町村派遣

※ 平成22年度より派遣していない。

## 7 社会教育研修会

### (1) 内容

社会教育推進上の諸問題についての協議等を通してその方策を明らかにし、市町村における社会教育の振興・充実に資する。

市町村職員及び社会教育委員等を対象として希望市町村の計画に基づき実施する。

### (2) 対象

公民館職員、公民館運営審議会委員、社会教育委員、社会教育関係者

### (3) 期日・会場

| 域内 | 期日    | 実施市町村等 | 参加者 |
|----|-------|--------|-----|
| 県北 | 9月15日 | 国見町    | 39名 |
|    | 9月28日 | 大玉村    | 28名 |
| 県中 | 7月20日 | 天栄村    | 8名  |
|    | 8月9日  | 石川地社連  | 25名 |
|    | 10月4日 | 田村市    | 37名 |
| 県南 | 6月29日 | 矢祭町    | 10名 |
| 会津 | 7月5日  | 金山町    | 8名  |
|    | 7月22日 | 猪苗代町   | 12名 |
|    | 11月9日 | 柳津町    | 8名  |

| 域内  | 期日     | 実施市町村等 | 参加者 |
|-----|--------|--------|-----|
| 南会津 | 8月3日   | 下郷町    | 26名 |
|     | 11月21日 | 檜枝岐村   | 4名  |
| 相双  | 6月23日  | 広野町    | 8名  |
|     | 8月9日   | 相馬市    | 10名 |
|     | 9月28日  | 飯館村    | 12名 |

合計 14か所 参加者 235名

## 8 福島県公民館研究集会

- (1) 期日 平成30年10月18日(木)
- (2) 会場 白河市表郷公民館
- (3) 参加対象 公民館職員等
- (4) 講師 株式会社アポロガス社長 篠木 雄司

## 9 社会教育職員研修派遣

### (1) 東北大学社会教育主事講習

- ア 主催 東北大学教育学部
- イ 期日・会場  
平成30年6月21日(木)～22日(金)  
二本松市男女共生センター  
平成30年7月2日(月)～8月8日(水)  
国立磐梯青少年交流の家  
東北大学教育学部

ウ 受講者数 18名

エ 修了者名

| 域内     | 氏名    | 勤務先           |
|--------|-------|---------------|
| 県北(5)  | 氏家 博行 | 福島市立土湯小学校     |
|        | 安西 裕紀 | 福島市吉井田学習センター  |
|        | 菅野 貴裕 | 福島市信陵学習センター   |
|        | 鈴木 真英 | 桑折町教育委員会生涯学習課 |
|        | 武藤 彰裕 | 本宮市立本宮第一中学校   |
| 県中(1)  | 高宮 裕  | 郡山市立永盛小学校     |
| 県南(3)  | 岸浪 明美 | 白河市立信夫第一小学校   |
|        | 笹山美紀子 | 白河市立白河第二小学校   |
|        | 渡辺 康嗣 | 西郷村立小田倉小学校    |
| 会津(2)  | 大関 美華 | 会津若松市立一箕小学校   |
|        | 伊藤 大  | 喜多方市立第一小学校    |
| 南会津(2) | 仲丸 和宏 | 只見町朝日立小学校     |
|        | 赤井 勉  | 南会津町伊南小学校     |
| いわき(2) | 戸田 裕樹 | いわき市立湯本第三小学校  |
|        | 橋本 雄一 | いわき市立小名浜第三小学校 |
| 相双(2)  | 鳥中 雪野 | 飯館村立草野小学校     |
|        | 渡部 友彦 | 大熊町教育委員会教育総務課 |
| 県立(1)  | 野地 宏  | 福島県立大笹生支援学校   |

## (2) 国立教育政策研究所主催講習

### ア 社会教育主事講習

(ア) 会場 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

(イ) 期日

a A講習 平成30年7月23日(月)～8月24日(金)

b B講習 平成31年1月21日(月)～2月27日(水)

(ウ) 受講者数

a A講習 0名

b B講習 1名

(エ) 修了者名

| 講習名    | 氏名    | 勤務先         |
|--------|-------|-------------|
| B講習(1) | 齋藤 慶太 | 須賀川市文化スポーツ部 |

### イ 専門講座等

| 講座名        | 期間             | 受講者数 |
|------------|----------------|------|
| 社会教育主事専門講座 | 11月6日(火)～9日(金) | 0    |

## 10 出版資料

| 資料名         | 部門   | 規格 | 頁数 | 広報手段  |
|-------------|------|----|----|-------|
| 社会教育 No.339 | 社会教育 | A4 | 12 | Web掲載 |

## 第3節 地域コミュニティの再生

### 1 地域学校協働活動事業

#### (1) 目的

県内8本部を先進的な取組のモデル学区に指定し、地域の総合窓口として「地域コーディネーター」を配置し、学校の窓口として「地域連携担当教職員」を置き、地域と学校が連携・協働のもと幅広い地域住民等が参画し、郷土学習や地域行事への参加等をおして、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域づくりを推進する事業を展開する。

#### (2) 県事業

##### ア 評価・検証委員会の設置

第1回

期日：平成30年7月17日(火)

会場：杉妻会館

第2回

期日：平成30年10月22日(月)

会場：西会津町立西会津中学校

第3回

期日：平成31年2月19日(火)

会場：杉妻会館

##### イ 地域連携担当教職員等連絡協議会の実施

第1回

期日：平成30年5月28日(月)34名参加

講義：尚綱学院大学 松田 道雄

第2回

期日：平成30年11月2日(金)39名参加

講義：栃木県教育委員会 井上 昌幸

尚綱学院大学 松田 道雄

第3回

期日：平成31年2月26日(火)34名参加

講話：「地域学校協働活動事業の最終年度の取組に

向けて」 尚綱学院大学 松田 道雄

##### ウ 地域学校協働活動事業推進フォーラムの実施

期日：平成31年1月30日(水)278名参加

会場：郡山市ビッグパレットふくしま

実践発表：「地域学校協働活動事業の実践について」

モデル8市町村(国見町、大玉村、天栄村、

西郷村、西会津町、川内村、双葉町、檜葉

町)

シンポジウム：

コーディネーター

尚綱学院大学

松田 道雄

パネリスト

栃木県教育委員会

井上 昌幸

栃木県都賀中学校

森田 聡

国見町教育長

岡崎 忠昭

檜葉町立檜葉南小学校

横田 一夫

総評：福島県復興教育アドバイザー

貝ノ瀬 滋

#### (3) 市町村事業

ア 評価・検証委員会の実施

イ 地域学校協働活動事業の実施 8町村

### 2 放課後子ども教室事業

#### (1) 目的

すべての児童を対象とし、地域の方々の参画を得て、様々な体験活動や交流活動を行う「放課後子ども教室」を設置し、放課後等の子どもたちの安全で健やかな居場所をつくる。

#### (2) 県事業

○放課後子ども教室の実施

県立特別支援学校(3教室)

・福島県立聴覚支援学校福島校

・福島県立聴覚支援学校平校

・福島県立平支援学校

#### (3) 市町村事業

ア 運営委員会の実施

イ 子ども教室の実施

38市町村 126教室実施

### 3 学校支援活動事業

#### (1) 目的

地域人材や団体などの参画を得て、学校と地域が連携し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する。

## (2) 市町村委託

19の市町村（桑折町、国見町、大玉村、本宮市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、田村市、三春町、西郷村、会津若松市、北塩原村、柳津町、三島町、西会津町、浪江町、富岡町、楡葉町）に32の地域学校協働本部が設置され実施した。

## (3) 市町村補助

なし

## 4 学校・家庭・地域連携サポート事業

### (1) 目的

未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校、家庭、地域住民等がそれぞれの役割と自覚し、地域全体で教育活動を支援する体制づくりを目指す。特に、震災後の子どもたちを取り巻く環境の変化に対応した要望に応えることのできる支援を行うことにより、教育環境の復興を加速させる。

### (2) 県事業

ア 放課後子ども教室地区別研修会 7か所

#### 【県北地区】

第1回

期 日 平成30年8月7日(火)

会 場 吾妻学習センター

参加者 76名

内 容 講話・演習・情報交換

第2回

期 日 平成30年10月12日(金)

会 場 二本松文化センター

参加者 46名

内 容 演習・情報交換

#### 【県中地区】

期 日 平成30年8月23日(木)

会 場 たまかわ文化体育館

参加者 36名

内 容 講演・演習・情報交換

#### 【県南地区】

期 日 平成30年8月29日(水)

会 場 白河市 新白信ビル

参加者 41名

内 容 実践紹介・講演・グループ協議

#### 【会津地区】

期 日 平成30年7月18日(水)

会 場 会津若松市立河東学園小学校

参加者 110名

内 容 講演・実践発表・協議・子ども教室見学

#### 【南会津地区】

期 日 平成30年8月24日(金)

会 場 南会津町御蔵入交流館

参加者 39名

内 容 実技研修

#### 【相双地区】

期 日 平成31年1月16日(水)

会 場 道の駅南相馬ホール

参加者 41名

内 容 講話・演習・情報交換

イ 学校支援実践研修会（本庁）

期 日 平成30年6月4日(月)

場 所 ユラックス熱海

内 容

講 演

「ふれあい学習の推進ととちぎ未来アシストネット～栃木県教育委員会と栃木市の取組」

栃木県教育委員会事務局下都賀教育事務所

ふれあい学習課 所長補佐兼課長 星 育夫

栃木県栃木市とちぎ未来アシストネット

大平中地域コーディネーター 柳田 和子

事例発表 I

「国見町地域学校協働本部の取組について」

国見町教育委員会生涯学習課

課長補佐兼係長 半澤 一隆

事例発表 II

「金山町の放課後子ども教室」

金山町教育委員会 教育係長 五ノ井 智徳

グループ協議

「効果的な教育プログラムの実践に向けて」

参加者 169名

ウ 学校支援実践研修会各地区研修会（事務所）

#### 【県北地区】

期 日 平成30年11月27日(火)

場 所 大玉村農村環境改善センター

参加者 47名

#### 【県中地区】

期 日 平成30年12月4日(火)

場 所 たまかわ文化体育館

参加者 39名

#### 【県南地区】

期 日 平成30年7月25日(水)

場 所 白河市合同庁舎大会議室

参加者 40名

#### 【会津地区】

期 日 平成30年10月3日(水)

場 所 道の駅あいづ 湯川・会津坂下

参加者 87名

#### 【南会津地区】

期 日 平成30年11月7日(水)

場 所 南会津町南郷総合センター

参加者 41名

#### 【相双地区】

期 日 平成31年1月16日(水)

場 所 道の駅南相馬ホール

参加者 41名

## 5 東日本大震災福島県復興ライブラリー整備事業

### (1) 目的

災害記録の保存と県民への情報提供のため、関連資料の収集を行う。資料は館内での提供と貸出に加え、出張展示にも活用する。また、避難自治体の教育委員会と連携し学校等への移動図書館（あづま号）の巡回を実施し、資料の貸出による支援を行う。

### (2) 内容

- ア 震災及び原発事故関連資料収集  
資料収集件数 12,316 件
- イ 避難自治体支援  
移動図書館（あづま号）による資料貸出  
稼働 18 回 貸出 3,632 冊  
（開催場所 飯舘村、楡葉町他 計 20 か所）

## 第4節 家庭教育

### 1 地域でつながる家庭教育応援事業

#### (1) 目的

本県の家庭教育推進上の大きな課題である「親の学び」を支援するために、PTAと連携し、家庭教育について親自身が学ぶ機会が充実するよう支援する。また、各地域で主体的に家庭教育の支援が行えるよう学習プログラムを作成するとともに、家庭教育支援者をリードする人材を育成する。さらに、企業と連携し地域の家庭教育を推進する。

#### (2) 家庭教育応援プロジェクト

- ア 福島県地域家庭教育推進協議会  
第1回 平成30年5月23日(水) 杉妻会館  
第2回 平成31年2月4日(月) ふくしま中町会館
- イ 地域家庭教育推進各地区ブロック会議  
各教育事務所域内（7か所）  
各地区2回実施（6月～1月）
- ウ 家庭教育応援企業推進活動  
連携企業数  

|       |                  |
|-------|------------------|
| 県北地区  | 45社（173社）        |
| 県中地区  | 30社（225社）        |
| 県南地区  | 29社（57社）         |
| 会津地区  | 0社（145社）         |
| 南会津地区 | 2社（59社）          |
| 相双地区  | 0社（10社）          |
| いわき地区 | 10社（40社）         |
| 計     | 116社（709社）※（ ）累計 |
- エ 親子の学び応援講座

#### 【県北地区】

- 川俣町PTA連絡協議会 70名  
平成30年8月1日(水)  
「子どもの自己肯定感を高める親・教師の接し方」  
福島県学校教育相談員 山本 和宏

- 二本松市立安達中学校区PTA 400名  
平成30年11月5日(月)  
「これまで歩んできた道、そしてこれからの福島に寄せる思い」

ふくしまボンガーズ 橋本 亜由美  
同 齋藤 智暁

- 伊達地区PTA連絡協議会 250名  
平成30年11月10日(土)

「東南アジア、山岳少数民族の子どもたちの瞳の輝きから学ぶ」  
特別非営利活動法人「シーエスアールスクエア」  
理事長 宍戸 仙助

- 福島市立福島第三中学校区PTA 40名  
平成30年12月1日(土)

「スマホ・ケータイ安全教室」～スマホ・ケータイと正しく付き合うために～  
NTTドコモ スマホ・ケータイ教室CS  
東北インストラクター 永澤 亜希子

#### 【県中地区】

- 浮金小学校PTA 107名  
平成30年6月17日(日)

「子どもたちを健康に導く運動プログラム”BALL GAME “」体験会  
福島ファイアーボンズ 猪狩 涉  
国際ビジネス公務員大学校 堀越 啓子  
同 高階 裕美  
同 学生ボランティア 4名

- 三春方部幼小中PTA連絡協議会 89名  
平成30年6月24日(日)

「子どもが危ない！ スマホ社会～知らなかっただけでは済まされない～」  
株式会社情報文化総合研究所代表取締役  
佐藤 佳弘

- 郡山市PTA連合会東ブロック勉強会 203名  
平成30年8月18日(土)

「ネット時代を生きるこどもたち」  
聖心女子大学非常勤講師 榎本 竜二

#### 【県南地区】

- 小田倉地域PTA 90名  
平成30年7月19日(木)

「あなたの想い、子どもの心に届いていますか」  
～心を通わす、コミュニケーション～  
親業訓練シニアインストラクター 大屋 弘子

- 西白河PTA連絡協議会 60名  
平成30年11月2日(金)

「健やかな子どもを育てるための食育」  
郡山女子大学 食物栄養学科 准教授  
亀田 明美

鮫川小・中学校PTA 150名  
平成30年11月10日(土)  
「聞いて語って、話して語って」  
～聞く語る」、心を通わすコミュニケーション～親  
業訓練シニアインストラクター 大屋 弘子

白河市幼・小・中・高PTAの集い 100名  
平成30年11月10日(土)  
「人間ってすごい。でも、子どもってもっとすごい」  
茨城県生涯学習・社会教育研究会会長 長谷川 幸介  
絵本喫茶「なんだかうれしい」店主 長谷川 鈴子

五箇中学校区学校保健委員会 130名  
平成30年11月30日(金)  
「メディア機器と心の健康」  
福島県立矢吹病院 副院長 角田 智哉

棚倉中学校PTA 棚倉町内小学校PTA 550名  
平成30年11月30日(金)  
「461個の弁当は、親父と息子の男の約束」  
ミュージシャン(猪苗代湖ズ) 渡辺 俊美

#### 【会津地区】

三島町・中PTA連絡協議会 61名  
平成30年10月20日(土)  
「ソーシャルメディア・スマートフォン利用の光と影」  
会津大学上級准教授 清野 正哉

河東学園小中学校PTA 120名  
平成30年10月20日(土)  
「初心者からはじめるプログラミング体験」  
株式会社 PLISE 西川 直登

#### 【南会津地区】

朝日小学校・只見中学校PTA 36名  
平成30年5月31日(木)  
「メディアが子どもの生活に及ぼす影響について」  
南会津教育事務所指導主事 伊藤 武徳

下郷町小中学校PTA 65名  
平成30年6月9日(土)  
「思春期を迎える、子どもとのコミュニケーション～  
通い合っていますか、子どもの気持ちと親の思い～」  
親業訓練シニアインストラクター 大屋 弘子

伊南保育所・伊南小学校PTA 34名  
平成30年6月14日(木)  
「メディアの怖さと子どもの生活に及ぼす影響につ  
いて」  
南会津警察署刑事生活安全課  
生活安全係少年警察補導員 武藤 好美  
南会津教育事務所指導主事兼社会教育主事  
猪股 克亘

舘岩小中学校PTA 42名  
平成30年6月29日(金)  
「成長期の食生活」  
南会津郡南会津町立伊南小学校  
栄養教諭 横田 みえ子

田島第二小学校・田島中学校PTA 168名  
平成30年6月29日(金)  
「親子でチャレンジ楽しい運動プログラム」  
福島大学 鈴木 裕美子

檜枝岐中学校区PTA 98名  
平成30年7月3日(火)  
「呼び起こそう子どもの好奇心を！～宇宙飛行士体  
験を通して～」  
宇宙航空研究開発機構 広報部 中沢 孝  
「インターネット・スマートフォンを安全に利用す  
るためには」  
違法・有害情報相談センター  
センター長 桑子 博行

下郷中学校区PTA 180名  
平成30年7月4日(水)  
「健康な生活」  
公益社団法人日本3B体操協会 木戸 慶子

只見小学校・只見中学校PTA 69名  
平成30年7月4日(水)  
「家読のさらなる充実をめざして」  
国見町教育委員会教育長 岡崎 忠昭

南会津中学校区PTA 103名  
平成30年7月7日(日)  
「夢の実現に向けて」  
株式会社白石モータース 代表取締役  
白石 高司

明和小学校・只見中学校PTA 69名  
平成30年7月12日(木)  
「家庭教育の基本はよい生活習慣と心を通わすコミ  
ュニケーション」  
親業訓練シニアインストラクター  
大屋 弘子

暁の星幼稚園・田島小学校PTA 27名  
平成30年8月14日(金)  
「幼児期の遊びと成長に係る有効性について」  
NPO法人郡山ペップ子育てネットワーク  
理事長 菊池 信太郎

荒海小学校・荒海中学校PTA 32名  
平成30年9月20日(木)  
「SNSの利用状況の実態や問題点について」  
南会津教育事務所学校教育課指導主事  
伊藤 武徳

#### 【相双地区】

檜葉南北小学校PTA 156名  
平成30年6月29日(月)  
「メディアによる子どもの心身への影響とメディア  
とのよりよい関わり方」  
NPO日本コンピュータ振興協会  
理事長 根本 雅昭

相馬市立大野小学校 61名  
平成30年7月6日(金)  
「パステルシャインアート講座」  
パステルシャインアート講師 高橋 美樹  
相馬市立日立木小学校 38名  
平成31年2月22日(金)  
「思春期の子どもの育て方について」  
相馬市立日立木小学校スクールカウンセラー  
新井 順

#### 【いわき地区】

小名浜第二小学校 388名  
平成30年6月27日(水)  
「メディアとかしこくつきあう方法」  
子どもとメディア関東 インストラクター  
水野 史代  
湯本第一中学校区 376名  
平成30年9月12日(水)  
「夢をかなえるコツ」  
福島大学名誉教授 朝日大学教授 白石 豊  
菊田小学校区 319名  
平成30年12月13日(木)  
「ネット依存ってな～に～その危険と対策～」  
(小学生向け)  
「ネット依存の実際と教師や親ができること」  
(大人向け)  
独立行政法人 国立病院機構  
久里浜医療センター 臨床心理士 三原 聡子

イ 地域センターの設置  
(ア) 構成  
・センター長（教育事務所総務社会教育課長）  
・コーディネーター（社会教育主事、指導主事）  
(イ) 内容  
・公民館及び学校の訪問指導に関すること  
・連絡調整、情報収集、調査研究に関すること  
・人材登録に関すること  
・市町村センターとの連携に関すること  
ウ 学校における推進体制の整備  
(ア) 体験活動等推進委員会の開催  
(イ) 体験活動等推進委員会主任（教頭又は社会教育主事有資格者等）の配置  
エ 学習支援ボランティアの登録推進  
(ア) 目的  
青少年の体験活動の支援にあたるボランティアの登録を促進するとともに、学校内外における青少年の体験活動を支援することにより、地域の教育力の向上に寄与する。  
(イ) 対象 ボランティアを推進する県民一般  
(ウ) 内容  
学習支援ボランティア、読書活動ボランティア、ノートテイクボランティア、外国出身者支援ボランティア、家庭教育支援ボランティア、病院訪問学習支援ボランティアの登録や活動を支援する。  
・学習支援ボランティア登録人数 427名  
・読書活動ボランティア登録人数 264名  
・ノートテイクボランティア登録人数 2名  
・外国出身者支援ボランティア登録人数 25名  
・家庭教育支援ボランティア登録人数 205名  
・病院訪問学習支援ボランティア登録人数 19名  
計 942名

## 第5節 青少年教育

### 1 体験活動・ボランティア推進センター事業

#### (1) 目的

青少年の社会性や思いやりの心など豊かな人間性を育むため、学校内外を通じた体験活動やボランティア活動の機会の充実を図ることを目的に情報提供やコーディネート等を行う推進センターを県に設置し、市町村並びに市町村センターにおける体験活動・ボランティア活動の推進体制を支援する。

#### (2) 内容

ア 本部センターの設置

##### (ア) 構成

- ・センター長（社会教育課長）
- ・副センター長（社会教育課主幹）
- ・コーディネーター（社会教育主事兼指導主事）

##### (イ) 内容

- ・各種研修会に関すること
- ・連絡調整、情報収集、調査研究に関すること
- ・人材登録に関すること
- ・地域センターの統括、指導助言に関すること

### 2 ふくしまを十七音で奏でよう絆ふれあい支援事業

#### (1) 目的

家庭や地域における人と人のかかわりの中で感じた思いや願いを十七音で表現することを通して、子どもの豊かな心を育成するとともに、人と人との絆を深め、家庭や地域の教育力の向上を目指す。

また、全国に避難している方からも作品を募集し「ふくしま」のことを考えるきっかけとする。

#### (2) 内容

ア 応募期間 平成30年7月2日(月)  
～9月14日(金)

イ 応募総数 44,545組

ウ 最終審査会 平成30年11月16日(金)

エ 審査員 和合 亮一（福島県立本宮高等学校教諭）  
佐々木孝司（新地町教育委員会教育長）  
室井 君男（県公立学校退職校長会副会長）

- オ 表彰式及び応募者 平成 30 年 12 月 15 日(土)  
ホテル福島グリーンパレス
- カ 入賞数 絆部門・復興部門 最優秀賞各 5 組  
優秀賞各 5 組、佳作各 10 組

### (3) 広報・普及活動

- ア 募集・応募  
県内各幼稚園、保育園、小・中学校、高等学校、特別支援学校、社会教育施設、教育事務所等にチラシ・応募用紙を配布した。また、社会教育課のホームページに掲載した。
- イ 事後の広報  
優秀作品を社会教育課のホームページに掲載したほか、ラジオ放送での紹介と YouTube の動画配信にて紹介した。各教育事務所においては、域内の作品集を作成し、事業の普及に努めた。

## 第 6 節 成人教育

主に各関係団体の諸活動や研修会における指導助言や人的補助を行う。

## 第 7 節 子どもの読書活動推進

### 1 ふくしまの未来をひらく読書のカ プロジェクト

#### (1) 福島県子どもの読書活動推進会議

- 【第 1 回】平成 30 年 7 月 10 日(火)  
杉妻会館 3 階「鈴蘭」
- 【第 2 回】平成 31 年 2 月 5 日(火)  
杉妻会館 3 階「鈴蘭」

#### ア 目的

第三次「福島県子ども読書活動推進計画」に沿って、読書活動推進に向けた取組等について協議・評価を行う。

#### イ 子ども読書推進会議委員

| 氏名    | 職業等                  | 区分                 |
|-------|----------------------|--------------------|
| 高野 保夫 | 国立大学法人福島大学名誉教授       | 学識経験者              |
| 三瓶亜記子 | 福島県高等学校 P T A 連合会副会長 | 社会教育関係者            |
| 中野みどり | 福島県学校図書館協議会会長        | 学校図書館関係者           |
| 籠田まき子 | 小野町ふるさと文化の館副主幹       | 公立図書館等関係者          |
| 矢吹 貴美 | 家庭教育インストラクター         | 家庭教育関係者            |
| 藍原恵美子 | NPO 法人夢ネットワーク理事長     | 読書活動に係るボランティア団体関係者 |

### (2) 読書活動支援者育成事業

- 【県北地区】平成 30 年 6 月 14 日(木)  
桑折町イコーゼ 受講者 36 名  
平成 30 年 6 月 28 日(木)  
福島市清水学習センター 受講者 32 名  
平成 30 年 9 月 14 日(金)  
福島県立図書館 受講者 70 名
- 【県中地区】平成 30 年 6 月 20 日(水)  
郡山市労働福祉会館 受講者 54 名  
平成 30 年 9 月 21 日(金)  
郡山市労働福祉会館 受講者 50 名
- 【県南地区】平成 30 年 7 月 2 日(月)  
棚倉町立図書館 受講者 74 名  
平成 30 年 10 月 24 日(水)  
白河市立図書館 受講者 51 名
- 【会津地区】平成 30 年 7 月 31 日(火)  
福島県立博物館 受講者 77 名  
平成 30 年 9 月 5 日(水)  
会津大学 受講者 89 名
- 【南会津地区】平成 30 年 7 月 6 日(金)  
只見町朝日振興センター 受講者 39 名  
平成 30 年 10 月 25 日(木)  
南会津町御蔵入交流館 受講者 43 名
- 【相双地区】平成 30 年 7 月 27 日(金)  
檜葉町コミュニティセンター 受講者 25 名  
平成 30 年 9 月 19 日(水)  
福島県テクノアカデミー 受講者 36 名
- 【いわき地区】平成 30 年 7 月 20 日(金)  
いわき産業創造館 受講者 57 名  
平成 30 年 10 月 19 日(金)  
いわき産業創造館 受講者 56 名

### (3) 子どもの読書活動推進ネットワークフォーラム

期日：平成 30 年 7 月 30 日(月)

場所：郡山市立中央公民館

郡山市勤労青少年ホーム 174 名

内容

事業紹介：県の読書活動推進事業について

講演：「本は人の心を豊かにするというけれど・・・」  
児童文学者・翻訳者 清水真砂子

ビブリオバトル実践発表

事例発表：「連携で支える子どもの読書活動」

新地町図書館 司書 高橋 裕美

事例発表：「エピソードからみる高校生の読書」

福島県立福島西高等学校主任学校司書 吉田 久恵

事例発表：「絵本の力を信じて」

ばんげ読み聞かせの会 鶴見 美佐子

#### (4) 情報発信プロジェクト「ビブリオバトル福島県大会」

期日：平成30年11月17日(土)

場所：福島県立図書館

参加者：発表者17名(中学生11名、高校生6名)

観戦者183名

##### 【中学生の部】

優勝 郡山市立明健中学校 伊藤 花音

「あたしの嫌いな私の声」成井豊

準優勝 白河市立表郷中学校 鈴木 康生

「できる人は必ず持っている一流の気くばり力」安田正

優秀賞 伊達市立伊達中学校 宍戸 結実

「アバター」山田悠介

南会津町立田島中学校 高橋 優太

「終電の神様」阿川大樹

##### 【高校生の部】

優勝 福島県立磐城高等学校 佐藤 一貴

「もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら」

神田桂一・菊池良

準優勝 福島県立田村高等学校 会田 遙輝

「蜂蜜と遠雷」恩田陸

優秀賞 福島県立坂下高等学校 五十嵐 珠鈴

「君を愛したひとりの僕へ」乙野四方宇

福島県立喜多方桐桜高等学校 小檜山 帆波

「四畳半神話大系」森見登美彦

福島県立須賀川桐陽高等学校 関 歩夢

「凍りのくじら」辻村深月

福島県立郡山北工業高等学校 星野 和紀

「ちょっと今から仕事やめてくる」北川恵海

#### (5) 子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト

ア 親子ふれあい読書フェスティバル「絵本はともだち」

期日：平成30年8月6日(月)

場所：相馬市民会館 参加者70名

内容：講演「子どもと一緒におはなしの世界を」

幼児教育専門家 藤田 浩子

イ 親子ふれあい読書フェスティバル「本はともだち」

期日：平成30年11月4日(日)

場所：福島県立図書館 参加者72名

内容：講演・演習「ブックトーク」

東京子ども図書館理事 杉山 きく子

## 第8節 ユネスコ活動

### 1 ユネスコ協会事務局一覧

| 協会名          | 会長名   | 事務局                             | 事務局長  | 設立年月日       |
|--------------|-------|---------------------------------|-------|-------------|
| 須賀川地方ユネスコ協会  | 岩田悦次郎 | 須賀川市教委生涯学習スポーツ課内<br>須賀川市牛袋町5    | 河村 朝子 | S46. 9. 13  |
| いわきユネスコ協会    | 松本 恒雄 | いわき市教委生涯学習課内<br>いわき市堂根町4-8      | 佐久間静子 | S51. 10. 23 |
| 郡山ユネスコ協会     | 過足 満雄 | 学校法人尚志学園高等学校内<br>郡山市大槻町字坦ノ腰2    | 宗像 金三 | S53. 1. 24  |
| 白河ユネスコ協会     | 小野 利廣 | 白河市教委生涯学習スポーツ課内<br>白河市八幡小路7-1   | 小松 寛  | S53. 11. 19 |
| 福島ユネスコ協会     | 門間 孝一 | 福島市中央学習センター内<br>福島市松木町1-7       | 宗川 孝  | S55. 7. 19  |
| 会津ユネスコ協会     | 吉田 幸代 | 会津若松市教委生涯学習センター内<br>会津若松市栄町3-50 | 石田 明夫 | S55. 11. 16 |
| 郡山次世代ユネスコ協会  | 大本 研二 | 学校法人こおりやま東都学園本部気付<br>郡山市図景2-9-3 | 遠藤 典雄 | H28. 1. 16  |
| 福島県ユネスコ連絡協議会 | 河田 亨  | 福島市笹木野字中西表60-6<br>近野元洋宅         | 近野 元洋 | S56. 12. 5  |

### 2 福島県ユネスコ活動研修会

平成30年11月20日(火)サンフレッシュ白河

参加者数 43名

テーマ 「地域に根ざしたユネスコ活動」

## 第9節 ふくしまっ子自然体験・交流活動支援事業

### 1 内容

#### (1) 小・中学校自然体験・交流活動等支援事業

対象者：県内の小・中学校、特別支援学校小学部・  
中学部の児童生徒及び引率者等

対象期間：4月から3月末まで

実施内容：小・中学校や特別支援学校小学部・中学部  
が、教育課程等に位置付けられている各教  
科、特別活動などをよりよい環境（県内外）  
のもとで行う宿泊を伴う体験活動に宿泊費  
と活動費・交通費を補助する。

補助基準：①宿泊費

1人当たり1泊5千円上限13泊まで

②活動費・交通費

1人当たり1回1千円を上限

#### (2) 幼稚園・保育所自然体験活動等支援事業

対象者：県内の幼稚園・保育所・認定こども園（認  
可外保育施設も含む）、特別支援学校幼稚部  
の幼児及び引率者等

対象期間：4月から3月末まで

実施内容：幼稚園・保育所・認定こども園や特別支援  
学校幼稚部が、年間計画等に位置付けられて  
いる園行事などをよりよい環境（県内外）の  
もとで行う日帰り及び宿泊を伴う体験活動  
に宿泊費と活動費・交通費を補助する。

補助基準：①宿泊費

1人当たり1泊5千円上限13泊まで

②活動費・交通費

1人当たり1回1千円を上限

#### (3) 社会教育団体自然体験活動支援事業

対象者：県内の社会教育団体（子ども会、スポーツ  
少年団、PTA等）

対象期間：7月から8月末、12月から1月末

実施内容：社会教育団体（子ども会、スポーツ少年団、  
PTA等）が、よりよい環境（県内外）のも  
とで行う長期宿泊  
（6泊～）を伴う体験活動に宿泊費と活動費  
・交通費を補助する。

補助基準：①宿泊費

1人当たり1泊5千円上限13泊まで

②活動費・交通費

1人当たり1回1千円を上限

#### (4) ふくしまっ子体験活動応援補助事業

対象者：県内の社会教育団体等（子ども会、スポー  
ツ少年団、PTA、公民館等）

対象期間：7月から8月末、12月から1月末

実施内容：市町村や社会教育関係団体等が、よりよい  
環境（県内）のもとで体験活動や交流活動を  
実施する場合、宿泊費と交通費・体験活動費  
を補助する。

補助基準：①宿泊費

1人当たり1泊5千円上限5泊まで

②活動費・交通費

1人当たり1回1千円上限

### 2 実績

#### (1) 小・中学校自然体験・交流活動等支援事業

件数：446件 参加者：22,603名

#### (2) 幼稚園・保育所自然体験活動等支援事業

件数：363件 参加者：42,339名

#### (3) 社会教育団体自然体験活動支援事業

件数：4件 参加者：65名

#### (4) ふくしまっ子体験活動応援補助事業

件数：235件 参加者：6,638名

## 第10節 子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業

### 1 内容

事業1 避難者や被災者と交流して子どもたちが元気を発信する

事業2 風評被害などを経験した地域との交流を行い、地域の復興を考え他県等へ復興をアピールする

事業3 自分たちの専門性を生かして何ができるかを考え、実践することでふくしまを発信する

### 2 採択状況

応募団体 110団体

採択団体 84団体

補助金額 114,286千円

## 第11節 公民館等社会教育施設

### 1 公民館を除く主な社会教育施設

※震災により休館中の施設を含む

#### (1) 図書館の設置状況

##### ア 県立

| 名 称     | 所 在 地       | 電話番号         | 設置者 |
|---------|-------------|--------------|-----|
| 福島県立図書館 | 福島市森合字西養山 1 | 024-535-3220 | 福島県 |

##### イ 市町村立

| 名 称             | 所 在 地              | 電話番号         | 設置者  |
|-----------------|--------------------|--------------|------|
| 福島市立図書館         | 福島市松木町 1-1         | 024-531-6551 | 福島市  |
| 福島市西口ライブラリー     | 福島市三河南町 1-20       | 024-525-4023 | 福島市  |
| 福島市子どもライブラリー    | 福島市早稲町 1-1 (こむこむ内) | 024-526-4200 | 福島市  |
| 伊達市 教育部市立図書館    | 伊達市箱崎字川端 7         | 024-551-2132 | 伊達市  |
| 二本松市立二本松図書館     | 二本松市本町 1 丁目 102 番地 | 0243-23-5082 | 二本松市 |
| 二本松市立岩代図書館      | 二本松市小浜字藤野町 242 番地  | 0243-55-3255 | 二本松市 |
| しらさわ夢図書館        | 本宮市白岩字堤崎 500       | 0243-44-2112 | 本宮市  |
| 郡山市中央図書館        | 郡山市麓山一丁目 5-25      | 024-923-6601 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 田村分館   | 郡山市田村町岩作字穂多礼 40-3  | 024-955-3842 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 喜久田分館  | 郡山市喜久田堀之内字下河原 1    | 024-959-2205 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 緑ヶ丘分館  | 郡山市緑ヶ丘東三丁目 1-21    | 024-944-0001 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 日和田分館  | 郡山市日和田町字小堰 23-4    | 024-958-2352 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 三穂田分館  | 郡山市三穂田町字東屋敷 6      | 024-953-2820 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 中田分館   | 郡山市中田町下枝字大平 385    | 024-973-2951 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 西田分館   | 郡山市西田町三丁目桜内 259    | 024-972-2807 | 郡山市  |
| 郡山市中央図書館 大槻分館   | 郡山市大槻町字中前田 56      | 024-951-1512 | 郡山市  |
| 郡山市希望ヶ丘図書館      | 郡山市希望ヶ丘 1-5        | 024-961-1600 | 郡山市  |
| 郡山市安積図書館        | 郡山市安積一丁目 38        | 024-946-8850 | 郡山市  |
| 郡山市富久山図書館       | 郡山市富久山町福原字泉崎 181-1 | 024-921-0030 | 郡山市  |
| 須賀川市図書館         | 須賀川市八幡町 134        | 0248-75-3309 | 須賀川市 |
| 須賀川市長沼図書館       | 須賀川市長沼字金町 85       | 0248-67-2138 | 須賀川市 |
| 須賀川市岩瀬図書館       | 須賀川市柱田字中地前 22 番地   | 0248-65-3549 | 須賀川市 |
| 鏡石町図書館          | 鏡石町旭町 440-6        | 0248-62-1288 | 鏡石町  |
| 古殿町図書館          | 古殿町松川字横川 235       | 0247-53-2305 | 古殿町  |
| 三春町町民図書館        | 三春町字大町 12-1        | 0247-62-3375 | 三春町  |
| 小野町ふるさと文化の館・図書館 | 小野町大字小野新町字中通 2     | 0247-72-2120 | 小野町  |
| 田村市図書館          | 田村市船引町船引字扇田 19     | 0247-82-1001 | 田村市  |
| 田村市図書館滝根分館      | 田村市滝根町神俣字町 48-1    | 0247-78-2001 | 田村市  |
| 田村市図書館大越分館      | 田村市大越町上大越字元池 87-5  | 0247-79-2161 | 田村市  |
| 田村市図書館常葉分館      | 田村市常葉町常葉字町裏 1      | 0247-77-2013 | 田村市  |
| 田村市図書館都路分館      | 田村市都路町古道字本町 33-4   | 0247-75-2063 | 田村市  |
| 白河市立図書館         | 白河市道場小路 96-5       | 0248-23-3250 | 白河市  |
| 白河市立図書館表郷分館     | 白河市表郷金山字長者久保 2     | 0248-32-4784 | 白河市  |
| 白河市東図書館         | 白河市東釜子字狐内 47       | 0248-34-1130 | 白河市  |
| 白河市大信図書館        | 白河市大信町屋字沢田 25      | 0248-46-3614 | 白河市  |
| 矢吹町図書館          | 矢吹町小松 481          | 0248-44-3595 | 矢吹町  |

| 名 称             | 所 在 地              | 電話番号         | 設置者   |
|-----------------|--------------------|--------------|-------|
| 泉崎図書館           | 泉崎村大字泉崎字館 24-9     | 0248-53-4779 | 泉崎村   |
| 棚倉町立図書館         | 棚倉町大字棚倉字棚倉字森町 21-1 | 0247-33-4342 | 棚倉町   |
| 塙町立図書館          | 塙町大字塙字栄町 68-6      | 0247-43-0808 | 塙町    |
| 矢祭もったいない図書館     | 矢祭町大字東館字石田 25      | 0247-46-4646 | 矢祭町   |
| 鮫川村図書館          | 鮫川村大字赤坂中野字巡ヶ作 128  | 0247-49-3151 | 鮫川村   |
| 会津若松市立会津図書館     | 会津若松市栄町 3-50       | 0242-22-4711 | 会津若松市 |
| 猪苗代町図書館歴史情報館    | 猪苗代町字古城町 132-7     | 0242-23-7855 | 猪苗代町  |
| 喜多方市立図書館        | 喜多方市字柳原 7503-1     | 0241-22-1855 | 喜多方市  |
| 南会津町図書館         | 南会津町田島字宮本東 22      | 0241-62-5522 | 南会津町  |
| 相馬市図書館          | 相馬市中村字塚ノ町 65-16    | 0244-37-2630 | 相馬市   |
| 新地町図書館          | 新地町谷地小屋字樋掛田 40-1   | 0244-62-5031 | 新地町   |
| 南相馬市立中央図書館      | 南相馬市原町区朝日町二丁目 7-1  | 0244-23-7789 | 南相馬市  |
| 南相馬市立鹿島図書館      | 南相馬市鹿島区寺内字迎田 22-1  | 0244-46-5116 | 南相馬市  |
| 南相馬市立小高図書館（休館中） | 南相馬市小高区本町二丁目 89-1  | 0244-44-3049 | 南相馬市  |
| 浪江町図書館（休館中）     | 浪江町権現堂字矢沢町 6-1     | 0240-34-5024 | 浪江町   |
| 双葉町図書館（休館中）     | 双葉町大字長塚字鬼木 1       | 0240-33-4214 | 双葉町   |
| 大熊町図書館（休館中）     | 大熊町大字下野上字大野 669-3  | 0240-32-3011 | 大熊町   |
| 富岡町図書館（休館中）     | 富岡町大字本岡字王塚 622-1   | 0240-21-3665 | 富岡町   |
| いわき市立総合図書館      | いわき市平字田町 120       | 0246-22-5552 | いわき市  |
| いわき市立内郷図書館      | いわき市内郷綴町榎下 40-1    | 0246-45-1030 | いわき市  |
| いわき市立小名浜図書館     | いわき市小名浜字愛宕上 7-2    | 0246-54-9257 | いわき市  |
| いわき市立常磐図書館      | いわき市常磐関船町作田 1      | 0246-44-6218 | いわき市  |
| いわき市立勿来図書館      | いわき市植田町南町 1丁目 2-2  | 0246-62-7431 | いわき市  |
| いわき市立四倉図書館      | いわき市四倉町字東一丁目 50    | 0246-32-5980 | いわき市  |

#### ウ 法人

| 名 称        | 所 在 地           | 電話番号         | 設置者    |
|------------|-----------------|--------------|--------|
| クローバー子供図書館 | 郡山市開成 6丁目 346-1 | 024-932-2118 | 財金森和心会 |

## (2) 博物館の設置状況

### ア 登録博物館及び相当施設

| 名 称                  | 所 在 地                | 電話番号         | 設置者            | 種別    | 登録・指定年月日  |
|----------------------|----------------------|--------------|----------------|-------|-----------|
| 福島県立美術館              | 福島市森合字西養山 1          | 024-531-5511 | 福島県            | 美術博物館 | 59.7.16   |
| 福島県立博物館              | 会津若松市城東町 1-25号       | 0242-28-6000 | 福島県            | 総合博物館 | 61.11.28  |
| 須賀川市立博物館             | 須賀川市池上町 6            | 0248-75-3239 | 須賀川市           | 歴史博物館 | 46.7.10   |
| いわき市立美術館             | いわき市平字堂根町 4-4        | 0246-25-1111 | いわき市           | 美術博物館 | 59.9.3    |
| 郡山市立美術館              | 郡山市安原町字大谷地 130-2     | 024-956-2200 | 郡山市            | 美術博物館 | 平5.1.20   |
| 南相馬市博物館              | 南相馬市原町区牛来字出口 194     | 0244-23-6421 | 南相馬市           | 総合博物館 | 平8.5.9    |
| 野口英世記念館              | 猪苗代町大字三ツ和字前田 81      | 0242-85-7867 | (公財)野口英世記念会    | 歴史博物館 | 29.10.21  |
| 会津民俗館                | 猪苗代町大字三ツ和字前田 33-1    | 0242-65-2600 | 会津民俗館          | 歴史博物館 | 55.10.3   |
| 白虎隊記念館               | 会津若松市一箕町大字八幡字弁天下 33  | 0242-24-9170 | (一財)白虎隊記念館     | 歴史博物館 | 63.6.30   |
| 奥会津博物館               | 南会津町沢沢字西沢山 3692-20   | 0241-66-3077 | 南会津町           | 歴史博物館 | 平21.6.16  |
| 諸橋近代美術館              | 北塩原村大字桧原字剣ヶ峰 1093-23 | 0241-37-1088 | (公財)諸橋近代美術館    | 美術博物館 | 平11.8.17  |
| 藤田記念博物館（休館中）         | 白河市五郎窪 37-1          | 0248-24-1780 | (公財)藤田教育振興会    | 美術博物館 | 54.9.1    |
| CCGA 現代グラフィックアートセンター | 須賀川市塩田宮田 1           | 0248-79-4811 | (公財)DNP 文化振興財団 | 美術博物館 | 平25.12.25 |

イ 博物館相当施設

| 名 称           | 所 在 地                 | 電話番号         | 設置者          | 種別      | 登録・指定年月日     |
|---------------|-----------------------|--------------|--------------|---------|--------------|
| やないづ町立齋藤清美術館  | 柳津町柳津字下平乙 187         | 0241-42-3630 | 柳津町          | 美術博物館   | 平 11. 9. 28  |
| 龍が城美術館（休館中）   | いわき市平字旧城跡 27- 1       | 0246-22-1601 | （一財）白龍会      | 美術博物館   | 30. 2. 10    |
| 会津武家屋敷会津歴史資料館 | 会津若松市東山町大字石山字院内 1     | 0242-28-2525 | （株）会津武家      | 屋敷歴史博物館 | 56. 11. 25   |
| 安積歴史博物館       | 郡山市開成 5- 25- 63       | 024-938-0778 | （公財）安積歴史博物館  | 歴史博物館   | 59. 9. 8     |
| 磐梯山噴火記念館      | 北塩原村桧原字剣ヶ峰 1093- 36   | 0241-32-2888 | （株）ワールドハウス目黒 | 科学博物館   | 平 5. 7. 1    |
| 會津藩校日新館       | 会津若松市河東町南高野字高塚山 10 番地 | 0242-75-2525 | （株）会津武家屋敷    | 歴史博物館   | 平 12. 11. 28 |
| はじまりの美術館      | 猪苗代町新町 4873           | 0242-62-3454 | （社福）安積愛育園    | 歴史博物館   | 平 28. 12. 6  |

ウ 類似施設

| 名 称                 | 所 在 地                        | 電話番号         | 設置者  |
|---------------------|------------------------------|--------------|------|
| ふくしま海洋科学館           | いわき市小名浜字辰巳町 50               | 0246-73-2525 | 福島県  |
| 福島県文化財センター白河館       | 白河市白坂一里段 86                  | 0248-21-0700 | 福島県  |
| 福島県歴史資料館            | 福島市春日町 5- 54                 | 024-534-9195 | 福島県  |
| ふれあい歴史館（福島市資料展示室）   | 福島市上町 39- 1                  | 024-563-7855 | 福島市  |
| 福島市民家園              | 福島市上名倉字大石前地内                 | 024-593-5249 | 福島市  |
| 福島市古閑裕而記念館          | 福島市入江町 1- 1                  | 024-531-3012 | 福島市  |
| 福島市写真美術館            | 福島市森合町 11- 36                | 024-523-1202 | 福島市  |
| UFOふれあい館            | 福島市飯野町大字青木字小手神森 1- 299       | 024-562-2002 | 福島市  |
| 民俗資料展示室             | 福島市飯野町大字明治字北小戸明利 60          | 024-525-3785 | 福島市  |
| 羽山の森美術館             | 伊達郡川俣町大字西福沢字山橋内 20           | 024-566-3367 | 川俣町  |
| 伊達市梁川美術館            | 伊達市梁川町字中町 10                 | 024-527-2656 | 伊達市  |
| 伊達市保原歴史文化資料館        | 伊達市保原町大泉字宮脇 265              | 024-575-1615 | 伊達市  |
| 霊山子どもの村遊びと学びのミュージアム | 伊達市霊山町石田字宝司沢 9- 1            | 024-589-2211 | 伊達市  |
| 二本松市歴史資料館           | 二本松市本町 1- 102                | 0243-23-3910 | 二本松市 |
| 二本松市智恵子記念館          | 二本松市油井字漆原町 36                | 0243-22-6151 | 二本松市 |
| 二本松市大山忠作美術館         | 二本松市本町 2- 3- 1               | 0243-24-1217 | 二本松市 |
| あだたらふるさとホール         | 大玉村玉井字西庵 183                 | 0243-48-2569 | 大玉村  |
| 本宮市歴史民俗資料館          | 本宮市字南町裡 130                  | 0243-33-2546 | 本宮市  |
| 本宮市白沢ふれあい文化ホール      | 本宮市白岩字堤崎 494- 44             | 0243-44-3185 | 本宮市  |
| 郡山市開成館              | 郡山市開成 3- 3- 7                | 024-923-2157 | 郡山市  |
| 郡山市歴史資料館            | 郡山市麓山 1- 8- 3                | 024-932-5306 | 郡山市  |
| 郡山市こおりやま文学の森資料館     | 郡山市豊田町 3- 5                  | 024-991-7610 | 郡山市  |
| 郡山市ふれあい科学館          | 郡山市駅前 2- 11- 1 ビッグアイ 20F~24F | 024-936-0201 | 郡山市  |
| 須賀川市歴史民俗資料館         | 須賀川市長沼字門口 186                | 0248-67-2030 | 須賀川市 |
| 古殿町郷土文化保存伝習施設       | 古殿町大字松川字横川 235               | 0247-53-2305 | 古殿町  |
| 天栄村ふるさと文化伝承館        | 天栄村大字大里字八石 1- 2              | 0248-81-1030 | 天栄村  |
| 石川町歴史民俗資料館          | 石川町字高田 200- 2                | 0247-26-3768 | 石川町  |
| 浅川町歴史民俗資料館          | 浅川町大字浅川字背戸谷地 144- 6          | 0247-36-2134 | 浅川町  |
| 吉田富三記念館             | 浅川町大字袖山字森下 287               | 0247-36-4129 | 財団法人 |
| 三春町歴史民俗資料館          | 三春町字桜谷 5                     | 0247-62-5263 | 三春町  |
| 三春郷土人形館             | 三春町字大町 30                    | 0247-62-7053 | 三春町  |
| 小野町ふるさと文化の館・郷土資料館   | 小野町大字小野新町字中通 2               | 0247-72-2120 | 小野町  |
| 田村市歴史民俗資料館          | 田村市船引町船引字四城内前 196 番地         | 0247-81-1215 | 田村市  |

| 名 称                | 所 在 地                 | 電話番号         | 設置者   |
|--------------------|-----------------------|--------------|-------|
| 白河市歴史民俗資料館         | 白河市中田 7-1             | 0248-27-2310 | 白河市   |
| 白河集古苑              | 白河市郭内 1-73            | 0248-24-5050 | 白河市   |
| 中山義秀記念文学館          | 白河市大信町屋字沢田 25         | 0248-46-3614 | 白河市   |
| 白河市大信ふるさと文化伝承館     | 白河市大信町屋字沢田 25         | 0248-46-3614 | 白河市   |
| 泉崎資料館              | 泉崎村大字泉崎字館 24-9        | 0248-54-1533 | 泉崎村   |
| あぶくま高原美術館          | 塙町大字那倉字吉元 86-1        | 0247-42-2510 | 塙町    |
| 矢祭町歴史民俗資料館         | 矢祭町大字東館字石田 25         | 0247-46-2202 | 矢祭町   |
| 国指定名勝会津松平氏庭園       | 会津若松市花春町 8-1          | 0242-27-2472 | 会津若松市 |
| 若松城天守閣             | 会津若松市追手町 1-1          | 0242-27-4005 | 会津若松市 |
| 茶室麟閣               | 会津若松市追手町 1-1          | 0242-27-4005 | 会津若松市 |
| 会津町方伝承館            | 会津若松市大町 2-8-8         | 0242-22-8686 | 会津若松市 |
| アクアマリンいなわしろカワセミ水族館 | 猪苗代町大字長田字東中丸 344-4    | 0242-65-2481 | 猪苗代町  |
| 喜多方市郷土民俗館          | 喜多方市柳原 7503-1         | 0241-24-3821 | 喜多方市  |
| 喜多方蔵の里             | 喜多方市字押切 2 丁目 109      | 0241-22-6592 | 喜多方市  |
| 喜多方市美術館            | 喜多方市押切 2 丁目 2         | 0241-23-0404 | 喜多方市  |
| 喜多方市カイギョウランドたかさど   | 喜多方市高郷町西羽賀字和尚堂 3163   | 0241-44-2924 | 喜多方市  |
| 喜多方市高郷郷土資料館        | 喜多方市高郷町上郷字天神後戊 417    | 0241-44-2765 | 喜多方市  |
| 会津坂下町五浪美術記念館       | 会津坂下町字台 number ノ下 842 | 0242-84-1233 | 会津坂下町 |
| ほっと i n やないづ縄文館    | 柳津町大字柳津字下平乙 151-1     | 0241-41-1077 | 柳津町   |
| 会津美里町民俗資料館         | 会津美里町米田字堂ノ後甲 149      | 0242-54-2368 | 会津美里町 |
| 三島町交流センター山びこ       | 三島町名入字諏訪ノ上 418        | 0241-52-2165 | 三島町   |
| からむし工芸博物館          | 昭和村大字佐倉字上ノ原 1         | 0241-58-1677 | 昭和町   |
| 旧南会津郡役所            | 南会津町田島字丸山甲 4681       | 0241-62-3848 | 南会津町  |
| 久川城資料館             | 南会津町青柳字久川 23          | 0241-76-2191 | 南会津町  |
| 奥会津民俗館 南郷館         | 南会津町界字川久保 552         | 0241-73-2829 | 南会津町  |
| 奥会津民族館 館岩館         | 南会津町松戸原 55            | 0241-78-2110 | 南会津町  |
| 奥会津民族館 伊南館         | 南会津町青柳字久川 24          | 0241-76-7719 | 南会津町  |
| 檜枝岐村歴史民俗資料館        | 檜枝岐村字下ノ原 887-2        | 0241-75-2342 | 檜枝岐村  |
| 会津只見考古館            | 只見町大字大倉字窪田 33         | 0241-86-2175 | 只見町   |
| 只見町ブナセンター          | 只見町字町下 2590           | 0241-72-8355 | 只見町   |
| 河井継之助記念館           | 只見町大字塩沢字上ノ台 850-5     | 0241-82-2870 | 只見町   |
| 相馬市歴史民俗資料館         | 相馬市中村字大手先 13          | 0244-37-2191 | 相馬市   |
| 鹿島歴史民俗資料館（廃止）      | 南相馬市鹿島区西町 3-1         | 0244-46-4281 | 南相馬市  |
| 埴谷島尾記念文学資料館（休館中）   | 南相馬市小高区本町 2-89-1      | 0244-44-3049 | 南相馬市  |
| 葛尾村郷土文化保存伝習館       | 葛尾村落合字落合 11           | 0240-29-2008 | 葛尾村   |
| 双葉町歴史民俗資料館（休館中）    | 双葉町大字新山字本町 27-1       | 0240-33-4763 | 双葉町   |
| 大熊町民俗伝承館（休館中）      | 大熊町大字下野上字大野 669-3     | 0240-32-3011 | 大熊町   |
| 富岡町歴史民俗資料館（休館中）    | 富岡町大字本岡字玉塚 622-1      | 0240-22-2626 | 富岡町   |
| 檜葉町歴史資料館（休館中）      | 檜葉町大字北田字鐘突堂 5-4       | 0240-25-2492 | 檜葉町   |
| いわき市石炭・化石館         | いわき市常磐湯本町向田 3-1       | 0246-42-3155 | いわき市  |
| いわき市勿来関文学歴史館       | いわき市勿来町関田長沢 6-1       | 0246-65-6166 | 財団法人  |
| いわき市アンモナイトセンター     | いわき市大久町大久字鶴房 147-2    | 0246-82-4561 | いわき市  |
| いわき市考古資料館          | いわき市常磐湯本町手這 50-1      | 0246-43-0391 | いわき市  |

| 名 称                  | 所 在 地               | 電話番号         | 設置者  |
|----------------------|---------------------|--------------|------|
| いわき市立草野心平記念文学館       | いわき市小川町高萩字下夕道 1-39  | 0246-83-0005 | いわき市 |
| いわき市草野心平生家           | いわき市小川町上小川字植ノ内 6-1  | 0246-83-0005 | いわき市 |
| いわき市暮らしの伝承郷          | いわき市鹿島町下矢田字散野 14-16 | 0246-29-2230 | いわき市 |
| 原郷のこけし群西田記念館         | 福島市荒井字横塚 3-183      | 024-593-0639 | 財団法人 |
| 種徳美術館                | 桑折町字陣屋 12           | 024-582-5507 | 桑折町  |
| 東北サファリパーク            | 二本松市沢松倉 1           | 0243-24-2336 | 株式会社 |
| デコ屋敷資料館              | 郡山市西田町高柴字福内 41      | 024-971-3900 | 私人   |
| ふくしまの森科学体験センター       | 須賀川市虹の台 100         | 0248-89-1120 | 財団法人 |
| (有) 大桑原つつじ園          | 須賀川市大桑原字竹ノ花 13      | 0248-76-5857 | 有限会社 |
| (株) エイトファーム三春ハーブガーデン | 三春町大字斉藤字仁井道 126     | 024-942-1138 | 株式会社 |
| リカちゃんキャッスル           | 小野町小野新町中通 51-3      | 0247-72-6364 | 株式会社 |
| 白河フラワーワールド           | 白河市南湖 59            | 0248-23-2100 | 私人   |
| 南湖神社宝物館              | 白河市字菅生館 2           | 0248-23-3015 | 私人   |
| 木の博物館                | 塙町大字伊香字松原 160-13    | 0247-43-1480 | 有限会社 |
| 會津宮泉酒造 (旧会津酒造歴史館)    | 会津若松市東栄町 8-7        | 0242-26-0031 | 株式会社 |
| 会津葵シルクロード文明館         | 会津若松市追手町 4-6        | 0242-27-1001 | 株式会社 |
| (社) 福島県伝統産業会館        | 会津若松市大町 1-7-3       | 0242-24-5757 | 社団法人 |
| 大和川酒造北方風土館           | 喜多方市字寺町 4761        | 0241-22-2233 | 私人   |
| 喜多方蔵品美術館             | 喜多方市梅竹 7294-4       | 0241-24-3576 | 私人   |
| うるし美術博物館             | 喜多方市字東町 4095        | 0241-24-4151 | 株式会社 |
| 御蔵入細井家資料館            | 南会津町静川字風下甲 175      | 0241-62-0906 | 私人   |
| 福島さくら遊学舎             | 三春町大字鷹巣字瀬山 213      | 0247-61-6345 | 株式会社 |

### (3) 青少年教育関係施設の設置状況

#### ア 県設置

| 名 称          | 所 在 地                 | 電話番号         | 設置者 |
|--------------|-----------------------|--------------|-----|
| 福島県郡山自然の家    | 郡山市逢瀬町多田野字中丸山 46      | 024-957-2111 | 福島県 |
| 福島県会津自然の家    | 会津坂下町大字八日沢字西東山 4495-1 | 0242-83-2480 | 福島県 |
| 福島県いわき海浜自然の家 | いわき市久之浜町田之網字向山 53     | 0246-32-7700 | 福島県 |

#### イ 教育施設

| 名 称           | 所 在 地           | 電話番号         | 設置者   |
|---------------|-----------------|--------------|-------|
| 国立那須甲子青少年自然の家 | 西郷村大字真船字村火 6-1  | 0248-36-2331 | 文部科学省 |
| 国立磐梯青少年交流の家   | 猪苗代町字五輪原 7136-1 | 0242-62-2530 | 文部科学省 |
| 市町村 (条例) 設置   | ※27 施設 (別掲)     |              |       |
| 他県設置等         | ※3 施設 (別掲)      |              |       |

#### 《市町村 (条例) 設置 27 施設》

| 名 称                | 所 在 地           | 電話番号         | 設置者    |
|--------------------|-----------------|--------------|--------|
| 福島県青少年会館           | 福島市黒岩字田部屋 53-5  | 024-546-8311 | 公益財団法人 |
| 福島市社会教育会館「こぼし荘」    | 福島市庭坂字砥石山 40-13 | 024-591-3366 | 福島市    |
| 福島市社会教育会館「立子山自然の家」 | 福島市立子山字金井作 1    | 024-597-2951 | 福島市    |
| 福島市勤労青少年ホーム        | 福島市入江町 1-1      | 024-531-6257 | 福島市    |
| 福島市子どもの夢を育む施設こむこむ館 | 福島市早稲町 1-1      | 024-524-3131 | 福島市    |
| 二本松市青年の家           | 二本松市榎戸 1-92     | 0243-23-5121 | 二本松市   |

| 名 称                      | 所 在 地              | 電話番号         | 設置者   |
|--------------------------|--------------------|--------------|-------|
| 二本松市二本松勤労青少年ホーム          | 二本松市榎戸 1-92        | 0243-23-5121 | 二本松市  |
| 二本松市安達勤労青少年ホーム           | 二本松市油井字濡石 3-1      | 0243-23-3721 | 二本松市  |
| 本宮市勤労青少年ホーム              | 本宮市字矢来 39-1        | 0243-33-2611 | 本宮市   |
| 郡山市青少年会館                 | 郡山市大槻町字漆棒 82       | 024-961-8282 | 郡山市   |
| 郡山市少年湖畔の村                | 郡山市湖南町横沢字村西 112    | 024-982-2115 | 郡山市   |
| 郡山市勤労青少年ホーム              | 郡山市麓山 1 丁目 8-4     | 024-932-3027 | 郡山市   |
| 須賀川市市民の森                 | 須賀川市塩田音森 20        | 0248-79-2187 | 須賀川市  |
| 須賀川市勤労青少年ホーム             | 須賀川市和田字柏崎 44       | 0248-63-2154 | 須賀川市  |
| 須賀川市ふれあいセンター             | 須賀川市長祿町 79         | 0248-72-0200 | 須賀川市  |
| 鏡石町ふれあいの森公園              | 鏡石町堂前 90-1         | 0248-83-2381 | 鏡石町   |
| 鏡石町勤労者青少年ホーム             | 鏡石町中央 59           | 0248-62-2115 | 鏡石町   |
| 羽鳥湖畔オートキャンプ場             | 天栄村羽鳥字芝草 2-4       | 0248-85-2033 | 天栄村   |
| 小野町勤労青少年ホーム              | 小野町大字小野新町字中道 2     | 0247-72-2125 | 小野町   |
| 石川町勤労青少年ホーム              | 石川町字当町 418 番地の 1   | 0247-26-2566 | 石川町   |
| 会津若松市勤労青少年ホーム            | 会津若松市城東町 14-52     | 0242-26-6662 | 会津若松市 |
| 会津若松市少年の家                | 会津若松市城東町 15-62     | 0242-39-1304 | 会津若松市 |
| 喜多方市勤労青少年ホーム             | 喜多方市舞台田 3119-1     | 0241-22-1403 | 喜多方市  |
| 御蔵入の里会津山村道場うさぎの森オートキャンプ場 | 南会津町糸沢字西沢山 3692-20 | 0241-66-2108 | 南会津町  |
| 高清水自然公園                  | 南会津町界字長地沢口 4298-12 | 0241-73-2115 | 南会津町  |
| 三島町生涯学習センター森の校舎カタクリ      | 三島町西方字上原 3580      | 0241-48-5577 | 三島町   |
| 新地町勤労青少年ホーム              | 新地町大字福田字中里 15-1    | 0244-62-3106 | 新地町   |

参考 ※いわき市生涯学習プラザ いわき市平字一丁目 1 番地ティーワンビル 4・5 階

※財団法人福島県産業振興センター産業交流館（ビッグパレットふくしま） 郡山市安積町日出山字北千保 19-8

#### 《他県設置等 3 施設》

| 名 称              | 所 在 地                 | 電話番号         | 設置者   |
|------------------|-----------------------|--------------|-------|
| 越谷市立あだたら高原少年自然の家 | 二本松市永田字長坂国有林 14 林班    | 0243-24-2561 | 越谷市   |
| さいたま市立館岩少年自然の家   | 南会津町宮里字向山 2847-1      | 0241-78-2311 | さいたま市 |
| S Y D ばんだいふれあいびあ | 北塩原村桧原字南黄連沢山 1157-192 | 0241-33-2335 | 財団法人  |

## 2 文化施設の整備充実

### (1) 県立美術館の整備充実

移動展等を開催するとともに、美術作品の収集と作品・作家等に関する調査研究を計画的に推進したほか、教育普及活動に努め、本県美術振興の中心的施設として機能の充実に努めた。

### (2) 県立博物館の整備充実

展示資料の収集・整備に努め、調査研究を計画的に推進し、常設展・企画展等の充実を図るとともに教育普及のための各種事業を行い、県内博物館の中心的施設として機能の充実に努めた。

### (3) 県文化財センター白河館（まほろん）

文化財の収集と被災した地域の文化財等の公開・活用及び埋蔵文化財担当職員等の研修を図り、文化財に親しみ、文化財への理解を深める施設として機能の充実に努めた。

## 第12節 福島県立図書館

### 1 概要

福島県立図書館は、平成17年10月に策定した『福島県立図書館「学びの環境づくり」』に基づき、県民の生涯にわたる多様な学習活動に応えるため、資料及び情報の計画的な収集を図るとともに市町村立図書館等との連携のもとに効果的な図書館活動の展開に努め、県民文化の向上に寄与することを目的とした事業を行っている。

さらに、平成30年3月に策定した『福島県立図書館アクションプラン（第3次）』（平成30年度～令和2年度）の基本理念と4つの目標に基づき読書環境、学習環境の整備やサービスの充実に努めた。

併せて、平成27年2月に策定された「第三次福島県子ども読書活動推進計画」（平成27年度～31年度）に基づき、計画実現のための事業推進にも取り組んでいる。

### 『福島県立図書館アクションプラン（第3次）』 平成30年度～令和2年度

#### 1 基本理念

『「知の拠点」として、全ての県民の教育と文化の振興を図り、ふくしまの未来をひらきます。』

福島県立図書館は、情報（資料）の提供（貸出・閲覧）やレファレンス等、県民への直接的サービスに努める他、社会（地域）や行政の課題解決に応えるため、「知の拠点」としての責務を果たします。

また、市町村立図書館（未設置自治体にあつては公民館図書室等）の円滑な活動を支援するため、情報（資料）を体系的に収集・保存・提供するとともに、市町村間のネットワーク体制の強化に努めます。そして、子どもの読書活動を推進し、未来を担う子供たちが、人生をより深く生きる力を身に付けられるよう支援するなど、ふくしまの復興の一翼を文化面から担います。

#### 2 福島県立図書館が目指す4つの目標

「基本理念」の実現に向けて定めた、「福島県立図書館が目指す4つの目標」

##### (1) 県民のための図書館

福島県立図書館は、資料（情報）を収集し、保存し、提供することで、県民の皆さんに役立つ図書館を目指すとともに、全ての人が等しく利用できるサービス体制を目指します。

##### (2) 子どもたちの今と未来のための図書館

ふくしまの未来を担う、今とこれからの子どもたちのために、資料（情報）を収集し、保存し、伝え、子どもたちの読書活動や主体的・対話的で深い学びを支えることができる図書館を目指します。

##### (3) 市町村（図書館・公民館等）を支えるための図書館

県内市町村図書館等に対する協力・支援を充実させることにより、市町村の図書館活動を支えるとともに、ネットワーク体制を推進し、全県的な図書館活動の振興を目指します。

#### (4) ふくしまを知ることができる図書館

「ふくしま」の情報を収集し、保存し、発信することで、全ての人が、いつでも、どこからでも、「ふくしま」を知ることができる「拠点」となることを目指します。

#### 図書館協議会

開催日 平成30年11月29日（木） 於：県立図書館  
議題等

- ・図書館利用実績について
- ・朝河貫一没後70年記念展開催報告について
- ・只見線応援企画実施状況について
- ・「福島県立図書館アクションプラン（第3次）」の取組について

#### 図書館協議会委員名※所属団体等は就任時現在

[任期：平成29年10月21日（土）～令和元年10月20日（日）]

| 区分     | 氏名    | 所属団体等（主な役職名等）                 |
|--------|-------|-------------------------------|
| 学識経験者  | 佐藤 佐敏 | 福島大学人間発達文化学類（教授）              |
|        | 三瓶千香子 | 桜の聖母短期大学キャリア教養学科（准教授）         |
|        | 佐藤 克也 | 株式会社福島民報社（編集局 文化部長）           |
|        | 菊池 克彦 | 福島民友新聞社株式会社（編集局長）             |
|        | 東山 京子 | 公募                            |
|        | 金澤 一成 | 公募                            |
| 家庭教育   | 矢吹 貴美 | 福島県家庭教育インストラクター連絡協議会          |
| 社会教育   | 宮崎 亜古 | 福島県公共図書館協会<br>（田村市図書館長）       |
| 学校教育関係 | 佐藤 秀美 | 福島県高等学校校長協会<br>（福島県立相馬東高等学校長） |
|        | 吉田ひとみ | 福島県中学校長会<br>（磐梯町立磐梯中学校長）      |

（会長）佐藤 佐敏 （副会長）佐藤 秀美

## 2 資料の収集・整理

「福島県立図書館資料収集基本要綱」及び「福島県立図書館アクションプラン（第3次）」を踏まえ、県民からの資料要求に対応するために、各分野の基本資料を収集し迅速な整理に努めた。また、平成24年度に開設した「東日本大震災福島県復興ライブラリー」の整備充実に継続して行った。

### (1) 図書館資料の収集

#### ア 一般資料の収集

新刊・既刊を問わず、資料的価値や利用的価値の高い資料の収集を行った。官公庁刊行物は主要なものを収集、年鑑白書や叢書等の継続資料については厳選し計画的な収集に努めた。文学作品は、受賞作品・候補作品や書評等で評価の高い作品を収集した。重点収集として、東日本大震災に関する資料をはじめ、調査相談に対応するために必要な各種参考図書、大活字本等のユニバーサルデザインに対応した資料の収集・整理に努めた。

## イ 地域資料の収集

福島県に関する資料の収集に努め、福島県人著作の収集は話題性等を考慮し購入した。非売品等の資料については出版した個人・団体・機関等へ寄贈を依頼し収集に努めた。また、寄贈を呼びかけるチラシを作成し関係機関へ配布して寄贈を呼びかけた。購入冊数 1,113 冊に対して寄贈を受けた冊数は 3,535 冊となった。

行政資料についても各自治体・部局へ収集の依頼を行い、県職員へは全員へメールで要請を行うなどの他、定期的な訪問回収を 6 回実施した。収集した資料は、当館ホームページの「県立図書館所蔵 県内行政機関発行資料一覧」を更新し情報提供を行った。「福島県行政資料コーナー」の紹介チラシを作成して関係機関へ配布した。

震災関連資料及び東京電力福島第一原子力発電所事故に関する資料に関しては、ホームページ上やチラシ等で寄贈のお願いを掲載し、約 568 冊を収集、地域資料の約 11%となっている。

## ウ 地域視聴覚資料の収集

震災関連資料及び合唱・吹奏楽関係の資料を主に 102 点を収集した。地元新聞の CD-ROM など保存価値の高いものは継続的に収集し提供している。

## エ 児童資料・研究資料の収集

### (ア) 児童資料

市町村のモデルとして運営している「こどものへや」用児童資料として、子どもの読書活動推進に資する資料を、新刊書を中心に厳選して収集した。

重点収集として、ユニバーサルデザインや多文化に対応した資料の収集に努めた。また、中学生・高校生向け資料にいても収集した。

### (イ) 研究資料

「児童図書研究室」用研究資料として、児童図書に関する調査研究及び子どもの読書活動支援に資する資料を、新刊書を中心に厳選して収集した。

また、読み聞かせ活動支援のための大型絵本や研究用児童資料としての主要な児童図書賞受賞作品も収集した。

重点収集として、子どもの読書や読書環境に関する資料の収集に努めた。

## オ 逐次刊行物の収集と整備

雑誌は、資料価値を重視し、専門的な調査相談や相互貸借に対応できる資料を幅広く継続収集した。要望していた『福島民友新聞』過去紙面マイクロフィルム(昭和 62-平成 4 年)144 本を購入し、提供できるようになった。

新聞、雑誌の震災・原発事故関連記事についても収集に努めた。

## カ 市町村支援用資料の収集

図書館未設置の自治体や、県立図書館の利用環境が十分ではない過疎・中山間地域、また、東日本大震災に伴う被災地地域の読書活動に役立たせるため、新刊書を中心に、話題性の高い文芸書や生活に密着した情報が掲載された実用書・時事関係資料等を収集した。

### 逐次刊行物受入状況

(単位：種)

| 区分  | 購入  | 寄贈・他 | 計     |
|-----|-----|------|-------|
| 新聞  | 25  | 57   | 82    |
| 雑誌  | 240 | 829  | 1,069 |
| 官報等 | 3   | 0    | 3     |
| 合計  | 268 | 886  | 1,154 |

### 資料受入状況

(単位：冊)

| 区分       | 購入     | 寄贈・他  | 計      |
|----------|--------|-------|--------|
| 一般資料     | 5,404  | 2,640 | 8,044  |
| 地域・行政資料  | 1,111  | 3,927 | 5,038  |
| 児童資料     | 2,259  | 417   | 2,676  |
| 児童図書研究資料 | 411    | 54    | 465    |
| 市町村支援資料  | 1,085  | 1,341 | 2,426  |
| 合計       | 10,270 | 8,379 | 18,649 |

### 資料受入状況・推移

(単位：冊)

| 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|----------|----------|----------|
| 28,080   | 19,700   | 18,649   |

## キ 県民のくらし応援文庫

県民が抱える課題の解決に役立つ図書を整備することを目的に、平成 28 年度に創設した寄贈制度。平成 30 年度は、7 団体(企業)から合計 883 冊の寄贈を受けた。

## 蔵書統計(資料別・分類別)

(単位：冊)

| 分類   | 区分      | 29 年度累計 | 30 年度増加 | 30 年度除籍 | 利用替え | 30 年度累計 |
|------|---------|---------|---------|---------|------|---------|
| 一般資料 | 0 総記    | 32,195  | 386     | 7       | 25   | 32,599  |
|      | 1 哲学    | 25,923  | 399     | 34      | -1   | 26,287  |
|      | 2 歴史    | 64,315  | 1,005   | 11      | 2    | 65,311  |
|      | 3 社会科学  | 105,973 | 2,030   | 93      | -2   | 107,908 |
|      | 4 自然科学  | 36,876  | 928     | 591     | 1    | 37,214  |
|      | 5 工学・工業 | 35,682  | 766     | 6       | 24   | 36,466  |
|      | 6 産業    | 28,542  | 490     | 12      | 5    | 29,025  |

| 分類      | 区分        | 29年度累計  | 30年度増加 | 30年度除籍 | 利用替え      | 30年度累計  |
|---------|-----------|---------|--------|--------|-----------|---------|
|         | 7 芸術      | 40,822  | 796    | 26     | 1         | 41,593  |
|         | 8 語学      | 9,494   | 152    | 12     | 0         | 9,634   |
|         | 9 文学      | 92,503  | 1,092  | 11     | 12        | 93,596  |
|         | 計         | 472,325 | 8,044  | 803    | 67        | 479,633 |
| 地域資料    | 0 総記      | 17,987  | 422    | 0      | 0         | 18,409  |
|         | 1 哲学      | 2,714   | 43     | 0      | 0         | 2,757   |
|         | 2 歴史      | 37,650  | 868    | 6      | 6         | 38,518  |
|         | 3 社会科学    | 65,455  | 1,411  | 2      | 1         | 66,865  |
|         | 4 自然科学    | 9,886   | 236    | 3      | 0         | 10,119  |
|         | 5 工学・工業   | 14,395  | 706    | 8      | 1         | 15,094  |
|         | 6 産業      | 21,937  | 397    | 1      | 1         | 22,334  |
|         | 7 芸術      | 16,798  | 407    | 1      | 1         | 17,205  |
|         | 8 語学      | 918     | 8      | 0      | 0         | 926     |
|         | 9 文学      | 28,167  | 540    | 1      | 1         | 28,707  |
|         | 計         | 215,907 | 5,038  | 22     | 11        | 220,934 |
| 児童資料    | 研究資料      | 36,521  | 465    | 2      | -6        | 36,978  |
|         | 児童図書      | 113,928 | 2,676  | 113    | 2,512     | 119,003 |
|         | 計         | 150,449 | 3,141  | 115    | 2,506     | 155,981 |
| 逐次刊行物資料 | 雑誌        | 165,345 | 4,959  | 269    | 0         | 170,035 |
|         | 新聞合本      | 15,454  | 110    | 0      | 0         | 15,564  |
|         | 新聞記事ファイル  | 3,830   | 2      | 0      | 0         | 3,832   |
|         | 計         | 184,629 | 5,071  | 269    | 0         | 189,431 |
| 特殊文庫    | 70,272    | 0       | 0      | 0      | 70,272    |         |
| 館内用計    | 1,093,582 | 21,294  | 1,209  | 2,584  | 1,116,251 |         |
| 市町村支援計  | 66,499    | 2,426   | 3,955  | -2,584 | 62,386    |         |
| 合計      | 1,160,081 | 23,720  | 5,164  | 0      | 1,178,637 |         |

### 3 館内奉仕

開館日は286日、入館者は174,034人、1日平均609人の利用があった。震災の影響で平成23年度に大きく落ち込んだ入館者数だが、震災前(平成22年度)の7割程度に回復してきている。しかし大きな伸びはない。

#### 入館者数

|        |          |
|--------|----------|
| 開館日数   | 286日     |
| 入館者数   | 174,034人 |
| (1日平均) | 609人     |

#### 入館者数・推移 (単位：人)

| 平成28年度  | 平成29年度  | 平成30年度  |
|---------|---------|---------|
| 167,650 | 164,502 | 174,034 |

#### (1) 調査相談(レファレンス)

県内外から、日常生活の中での質問、仕事上の調査研究等、多種多様な調査相談を受け、所蔵資料及び関係機関の協力を得て回答している。問い合わせは、口頭、電話、文書、FAX、電子メールにて受け付けている。総件

数は一般・地域・逐刊、児童資料ともに昨年度より若干減少した。また、当館のホームページについては、トップページや「蔵書検索」へのアクセスが大きく伸びた。県内の図書館の所蔵資料を検索する「横断検索」や当館の貴重資料を紹介した「デジタルライブラリー」も利用されている。

#### 調査相談件数

(単位：件)

|       | 一般・地域・逐刊 | 児童資料  | 小計     |
|-------|----------|-------|--------|
| 口頭    | 7,065    | 3,333 | 10,398 |
| 電話    | 1,287    | 43    | 1,330  |
| 文書    | 15       | 0     | 15     |
| FAX   | 28       | 0     | 28     |
| 電子メール | 177      | 1     | 178    |
| 合計    | 8,572    | 3,377 | 11,949 |

#### 調査相談件数・推移

(単位：件)

| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|
| 11,473 | 12,074 | 11,949 |

ホームページアクセス件数 (単位：件)

| 区 分        | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|------------|----------|----------|----------|
| トップページ     | 194,853  | 270,257  | 317,481  |
| 蔵書検索       | 510,541  | 529,594  | 655,110  |
| 横断検索       | 396,175  | 374,626  | 501,635  |
| デジタルライブラリー | 4,677    | 3,880    | 5,036    |
| こどものへや     | 3,480    | 3,383    | 2,651    |
| 利用案内       | 14,634   | 14,595   | 20,362   |

(2) 館内サービス

「福島県立図書館アクションプラン（第3次）」を踏まえ、図書館資料の提供や各種講座の実施を通じ、地域の復興及び暮らしに役立つ情報の提供に努めた。

また、当館のホームページから全ての所蔵資料（貸出可能なもの）の予約ができるWeb予約サービスやWeb予約した資料を市町村図書館で受取ることができる受取館指定サービスは利用が伸びている。

(3) 館外個人貸出

登録者数は13,824人、貸出冊数は155,500冊、のべ人数は41,513人で、昨年度より増加した。

直接自宅へ資料が届く資料宅配サービス（有料）の利用は、17件、冊数は98冊と昨年度より減少した。

館外個人貸出状況

| 分類    | 冊数(冊)   | 構成比 (%) |
|-------|---------|---------|
| 総記    | 2,404   | 1.6     |
| 哲学・宗教 | 4,718   | 3.0     |
| 歴史・地理 | 7,616   | 4.9     |
| 社会科学  | 11,461  | 7.4     |
| 自然科学  | 7,335   | 4.7     |
| 工学・工業 | 7,216   | 4.6     |
| 産業    | 3,663   | 2.4     |
| 芸術    | 8,308   | 5.3     |
| 語学    | 1,310   | 0.8     |
| 文学    | 21,619  | 13.9    |
| 地域資料  | 8,305   | 5.3     |
| 新聞雑誌  | 7,549   | 4.9     |
| 小計    | 91,504  | 58.8    |
| 児童    | 64,046  | 41.2    |
| 合計    | 155,550 | 100.0   |

館外個人貸出状況・推移

| 区 分     | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|---------|----------|----------|----------|
| 冊数(冊)   | 140,037  | 150,699  | 155,550  |
| のべ人数(人) | 38,237   | 39,979   | 41,513   |

館外個人貸出登録者数（登録有効期間3年）（単位：人）

| 区 分 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 合 計    |
|-----|----------|----------|----------|--------|
| 新規  | 3,130    | 3,169    | 3,128    | 9,427  |
| 更新者 | 1,459    | 1,408    | 1,530    | 4,397  |
| 合計  | 4,589    | 4,577    | 4,658    | 13,824 |

館外個人貸出登録者数・推移 (単位：人)

| 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|----------|----------|----------|
| 13,993   | 13,733   | 13,824   |

(4) 特別貸出

特別貸出とは、類縁機関での展示等のための貸出を行う制度で、資料・冊数・期間などの面で配慮している。

特別貸出状況

| 貸出先    | 件数(件) | 冊数(冊) |
|--------|-------|-------|
| 官公庁関係  | 4     | 21    |
| 図書館その他 | 12    | 148   |
| 会社・事業所 | 23    | 153   |
| 報道関係   | 0     | 0     |
| 学 校    | 100   | 111   |
| 計      | 139   | 433   |

特別貸出状況・推移 (単位：冊)

| 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|----------|----------|----------|
| 828      | 755      | 433      |

(5) 一般資料

県民が必要とする多種多様な情報を迅速に提供するように資料整理等に努めた。

また、時事や季節、話題性のあるテーマで展示を行い資料の紹介に努めた。「本のひろば」のコーナーでは「介護への視線」「空模様を読む」「人をむすぶ、本とむすぶ」など7回実施した。時事展示として、「新生活を始めよう!」「子どもたちの教科書を見てみよう!」「幕末の風 一戊辰150年」など7回実施。ミニ展示としては、美術館企画展示関連の「ポーラ美術館展をより楽しむために」日本人ノーベル賞受賞者を紹介した「ノーベル医学・生理学賞 本庶佑氏関連資料」など2回実施した。さらに、パスファインダー「本の森への道しるべ」は「空模様を読む」など新たに5本作成し、効率かつ有効的な情報の提供に努めた。

平成31年2月23日(土)には図書館見学会を実施し県立図書館の役割や機能について紹介しながら書庫を案内した。(参加者17名)

(6) 地域資料

平成30年に没後70年を迎えた本県出身の国際的歴史学者・朝河貫一博士(1873-1948)の功績を称え、「朝河貫一没後70年記念事業」として下記の各種事業を実施した。ア 当館ホームページに「郷土の偉人・朝河貫一没後70年」を平成30年4月に開設

イ 企画展「海を渡ったサムライ～朝河貫一没後 70 年記念展」の開催

(期間：平成 30 年 6 月 8 日(金)～9 月 5 日(水))

(ア) オープニングセレモニーの実施

開催日・会場：平成 30 年 6 月 8 日(金)

11 時～ エントランスホール

出席者：朝河貫一博士顕彰協会 代表理事

矢吹 晋(横浜市立大学名誉教授)

朝河貫一博士顕彰協会 事務局長

糠澤 修一(福島テレビ代表取締役会長)

早稲田大学文学学術院教授 甚野 尚志

福島県教育長 鈴木 淳一 等 21 名

(イ) 図書館職員によるギャラリートーク(3 回実施)

合計参加者 66 名

ウ 記念講演会 平成 30 年 6 月 9 日(土) 福島県立図書館講堂 参加者 168 名

講演「ふくしまから世界へ～国際人・朝河貫一のあゆみ～」

講師 早稲田大学文学学術院教授 甚野 尚志

エ 『朝河貫一資料目録』改訂版の発行

書簡内容の解説等を加えた 1992 年発行の大幅な改訂版

(ア) 刊行記念講演会 平成 31 年 2 月 23 日(土)

福島県立図書館講堂 参加者 82 名

講演「書簡からみた朝河貫一の歩み」

講師 早稲田大学文学学術院教授 甚野尚志 氏

その他の企画展示としては、一般チームと協力して「幕末の風～戊辰 150 年～」を開催し、期間中戊辰戦争をテーマにした連続講座を 2 回実施した。

地域資料については、県内外の個人・団体などから様々な調査相談が寄せられた。調査相談件数の 22%が福島県に関するものの問い合わせであり、的確な回答を導き出せるよう調査に取り組むとともに、迅速な対応を心がけた。

地域資料の館外個人貸出冊数は前年度比 103%となった。分野別に見ると歴史地理部門が多く個人貸出冊数の約 40%を超え、東日本大震災関連資料は昨年とほぼ同じ約 11%に留まった。県人文庫は前年度とほぼ変わらず 19.6%と横ばい傾向にある。

資料の撮影・展示及び掲載許可の申請は 23 件と増加した。当館の「朝河貫一没後 70 年記念事業」と全国的な朝河博士の顕彰事業の影響によるところが大きい。また、所蔵する貴重資料も幅広く利用された。

劣化の激しい貴重資料『郷土誌 相馬郡日立木村』など 4 点については、デジタル化した。

一つのテーマを絞って資料を案内するパスファインダー「本の森への道しるべ」は、新規 1 本「伝える。東日本大震災・原発事故の記憶」、改訂 1 本を作成した。

## (7) 逐次刊行物

『福島県公立図書館 現行購入雑誌保存年限および保存指定館、現行受入新聞一覧』(平成 30 年度版)については、

大熊町、双葉町、浪江町の 3 町以外から回答を得て発行した。

加えて『「福島県公立図書館現行受入新聞以外の保存新聞(昭和 40 年代以前)」に関する調査結果』を発行した。

ミニ展示については、「夏を楽しむ」「お金との上手な付き合い方」「雑誌で読む文学賞」など、季節を配慮するなどして利用者の方に関心を持っていただけるような内容で行った。

パスファインダー「本の森への道しるべ」は、展示コーナー企画展示「さようなら平成」にちなんで「平成」を振り返る」で新規 1 本を作成した。

## (8) 児童サービス

子どもの読書活動推進のために各種の事業を行った。

ア こどものへや・児童図書研究室の運営

資料の貸出や調査相談をはじめ、「絵本コーナー」や「新着図書コーナー」などで推奨する資料の展示を行った他、ロビー展示コーナーを活用して 10 代の子どもたちに向けた展示を行った。また、「子ども読書活動支援コーナー」では、読書活動関係者に対して情報提供を行った。

イ おはなしかいの開催

乳幼児と保護者を対象とした「ちいさなおはなしかい」(毎月第 2 木曜日)や児童を対象に以下の「おはなしかい」を開催した。

・県立図書館との連携おはなしかい

県立美術館企画展「イラストレーター安西水丸」展で「ちいさなおはなしかいスペシャル」(7 月 12 日(木)、8 月 9 日(木))、「アートなおはなしかい」(7 月 21 日(土))を実施した。

・「クリスマス ミステリーツアー」

(12 月 1 日(土))

小学校低学年まで、中学年・高学年、中学生を対象とした図書館見学とおはなしかいを実施した。

ウ こども講座

・「こども図書館探偵」(7 月 25 日(水)、26 日(木))

本の調べ方、図書館の利用方法について調べながら考える講座を実施した。

エ 図書館見学の受け入れ

学校等の要望に応え、施設見学や利用案内、読み聞かせ等を行い、図書館や本に親しむ機会の提供に努めた。

オ 情報誌の発行

思春期の子どものための読書案内誌『LITTLE BIG』や児童サービス関連情報誌『児童図書研究ニュース』を発行し読書普及のための情報提供に努めた。

カ ロビー展示ミニコーナーでの展示

こどもの読書週間関連展示やヤングアダルト向け資料の展示を行った。

(ア) 「絵本はともだち 読み聞かせに向く絵本」

(平成 30 年 4 月 21 日(土)～5 月 13 日(日))

- (イ) 「大人が読む絵本」  
(平成 30 年 5 月 15 日(火)～7 月 4 日(水))
- (ウ) 「夏に読みたいストーリー」  
(平成 30 年 7 月 6 日(金)～9 月 5 日(水))
- (エ) 「「詠む」ということ」  
(平成 30 年 9 月 7 日(水)～10 月 3 日(水))
- (オ) 「世界を知る手がかり」  
(平成 30 年 10 月 5 日(金)～31 日(水))
- (カ) 「食にまつわるおいしい本」  
(平成 30 年 11 月 2 日(金)～12 月 5 日(水))
- (キ) 「写真の力」  
(平成 30 年 12 月 7 日(金)～27 日(木))

キ 「子育て支援コーナー」の運営

図書館の子育て世代のための施設案内「ママ・パパ 子育てマップ」を作成した。また、子育てに役立つ図書や雑誌の展示や関係各課からのパンフレット配布等、情報提供に努めた。親子で楽しむ絵本の展示を行った。

ク 子ども読書と科学のコラボ事業

「spffサイエンス屋台村in福島」(平成 30 年 11 月 17 日(土))に参加し、科学や実験に関連する資料の展示を行った

**(9) 東日本大震災福島県復興ライブラリー**

平成 24 年度から「東日本大震災福島県復興ライブラリー」を開設。常設コーナーとして、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故の関連資料を中心に、地震、津波、体験記、放射線、除染、復興、防災、エネルギー問題等の資料を配架し、利用に供している。所蔵数は、平成 31 年 3 月 11 日現在で 12,316 タイトルとなっており、平成 30 年度増加資料一覧を作成しホームページで公開した。また、資料紹介として「ブックガイド」を刊行し利用促進を図った。

また福島民報と福島民友に掲載された震災・原発・復興関連の記事の見出しを地区ごとにまとめ一覧にした『地元新聞にみる原発関連見出し一覧』を平成 31 年 1 月 31 日現在までに更新し、ホームページに掲載した。

さらに、「巡回する福島県復興ライブラリー」として、資料やパネル等を出張展示用セットとして編成し活用を図っている。平成 30 年度は、鶴川女子短期大学附属図書館で出張展示(11 月 9 日(金)～10 日(土))が開催された。

平成 31 年 2 月には館内レイアウトの変更に伴い、復興ライブラリー資料コーナーを拡大し見やすい配置にした。

**(10) 特殊文庫・貴重資料紹介コーナー**

公開図書室内にて各特殊文庫概要紹介パネルの掲示をはじめ、資料の一部配架や展示ケースにて貴重資料の展示などを行い、当館所蔵の特殊文庫や貴重資料の紹介に努めた。平成 30 年度は、平成 29 年 2 月に開設した「長田弘文庫」の一部を展示し紹介した。11 月からは展示ケース内で「蔵書印やサインなど長田氏の所蔵の痕跡がみ

られる資料」の公開展示を実施した。併せて「長田弘文庫見学会」を 2 回(5 月 3 日(木)と 11 月 10 日(土))実施した(参加者のべ 9 人)。

平成 31 年 2 月からは「東日本大震災福島県復興ライブラリーの出張展示用セット」を展示し利用拡大を図っている。

**(11) 複写サービス**

コイン式コピー機は 1 台、レーザープリンター 1 台、カラープリンター 1 台、マイクロプリンター 2 台での対応となっている。保存のために資料の媒体を変えていることから、形態にあわせてそれぞれのプリンターで対応している。

**複写利用状況**

| 区 分    | 件数 (件) | 枚数 (枚) |
|--------|--------|--------|
| 自・他館処理 | 4,168  | 48,507 |

**複写利用状況・推移**

(単位:枚)

| 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|----------|----------|----------|
| 51,548   | 49,297   | 48,507   |

**(12) 来館者用インターネットコーナー**

来館者が利用できるインターネット端末を一般用に 6 台、こどものへやに 1 台設置し、情報提供の便宜を図っている。また、当館職員による「はじめてのインターネット使い方講座」を 2 回(11 月 7 日(土)と 12 月 12 日(水))実施し、インターネット利用の啓発を図った。

**インターネット利用状況 (単位:人)**

| 区 分 | 一 般   | 児 童 | 合 計   |
|-----|-------|-----|-------|
| 人 数 | 6,181 | 29  | 6,210 |

**インターネット利用状況・推移**

(単位:人)

| 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|----------|----------|----------|
| 6,603    | 6,067    | 6,210    |

**(13) 展示**

ア 展示コーナー企画展示

当館入り口の展示コーナーにおいて、テーマに沿った資料の展示を行った。

- (ア) 「小さな人たちのためにー雑誌『赤い鳥』創刊 100 年ー」

(平成 30 年 4 月 6 日(金)～30 日(月))

1918 年に鈴木三重吉により創刊された雑誌「赤い鳥」復刻版を展示した。

- (イ) 「まほろん移動展 被災地の文化財 双葉高校史学部の歩み」

(平成 30 年 5 月 3 日(木)～6 月 6 日(水))

福島県文化財センター白河館(まほろん)による展示。

双葉高校史学部の軌跡を辿りながら、被災地の文化財を紹介した。

(ウ) 「海を渡ったサムライ～朝河貫一没後 70 年記念展」

(平成 30 年 6 月 8 日(金)～9 月 5 日(水))

当館所蔵「朝河貫一資料」の書簡や著作等を中心に 53 点を展示。朝河博士の生涯を辿り、大隈重信、野口英世ら著名な人々との交流を中心に書簡や人物紹介を展示したほか、「昭和天皇宛大統領親書草案」や「朝河をいどった女性たち」のテーマ展示を行った。

期間中、職員による展示資料の解説(ギャラリートーク)を平成 30 年 6 月 9 日(土)、7 月 22 日(日)、8 月 5 日(日)の 3 回実施。

(エ) 「世界の岩なだれ展 ～セントヘレズと磐梯山を中心に～」

(平成 30 年 9 月 7 日(金)～10 月 3 日(水))

磐梯山噴火記念館による、磐梯山噴火 130 年に関連した展示。セントヘレズと磐梯山を中心に、世界の岩なだれに関するパネルを展示した。

(オ) 「幕末の風 ～戊辰 150 年～」

(平成 30 年 10 月 5 日(金)～31 日(水))

当館所蔵の戊辰戦争関係資料を、①リアルタイムでの記録 ②様々な視点による戊辰戦争の記録 ③絵画による記録 の 3 つのテーマに分けて展示した。館内のセンター展示やミニ展示も戊辰戦争をテーマとした。

期間中、戊辰戦争をテーマに「ふくしまを知る連続講座」第 3 回と第 4 回を実施した。〔(14)普及事業に詳細〕

(カ) 福島県歴史資料館移動展示「村人たちの戊辰戦争」

(平成 30 年 11 月 2 日(金)～12 月 5 日(水))

公益財団法人福島県文化振興財団との共催事業として、福島県歴史資料館で開催した同テーマによる展示の移動展を行った。

同館所蔵の資料を参考に、戊辰戦争時における村人たちの生き方を紹介した。

併せて、福島県歴史資料館の専門学芸員山田英明氏による講座「士(さむらい)たちの戊辰戦争(第 5 回ふくしまを知る連続講座)」を実施した。

(キ) 「受賞図書展」

(平成 30 年 12 月 7 日(金)～平成 31 年 2 月 11 日(月))

ノーベル文学賞や日本の文学賞等、様々な文学賞の受賞作品を展示した。

(ク) 「さようなら平成」

(平成 31 年 2 月 23 日(土)～令和元年 5 月 8 日(水))

平成の時代が 4 月で幕を閉じ、5 月から新しい令和の時代へと変わった改元の時期にあわせ、平成の 30 年間に飾ったさまざまな出来事を振り返る資料を展示した。

イ ロビー展示

情報発信の一環としてロビー通路壁面を利用し、県民に作品発表の場を提供した。

(ア) 「色鉛筆画の世界」

(平成 30 年 4 月 6 日(金)～30 日(月))

(イ) 「仏像模写 悠久の禱り」

(平成 30 年 5 月 3 日(木)～6 月 6 日(水))

(ウ) 「只見線秀景」

(平成 30 年 6 月 8 日(金)～7 月 4 日(水))

(エ) 「県工展—福島県立福島工業高等学校 美術部展—」

(平成 30 年 7 月 6 日(金)～8 月 1 日(水))

(オ) 「福島西高等学校書道部作品展示」

(平成 30 年 8 月 3 日(金)～9 月 5 日(水))

(カ) 「網代澄亭と一門による刻字展」

(平成 30 年 9 月 7 日(金)～17 日(月))

(キ) 「JICA 青年海外協力隊シニア海外ボランティア活動写真パネル展示」

(平成 30 年 9 月 19 日(水)～10 月 31 日(水))

(ク) 「トールペイントのおくりもの」

(平成 30 年 11 月 2 日(金)～12 月 5 日(水))

(ケ) 「磐梯吾妻・蔵王を撮る」

(平成 30 年 12 月 7 日(金)～27 日(木))

(コ) 「只見線秀景」

(平成 31 年 1 月 5 日(土)～2 月 11 日(月))

(サ) 「「復興」と「創生」を支える福島県土木部の役割」

(平成 31 年 2 月 23 日(土)～4 月 3 日(水))

#### (14) 普及事業

県内公共図書館及び公民館図書室等、図書館関係施設職員の資質の向上を図るため、講演会や講座を実施することで、幅広い知識の習得を目指し、また、一般県民に対しても開放し、図書館としての情報発信を行い、地域文化の進展に寄与した。

ア 講演会

第 1 回「ふくしまから世界へ～国際人・朝河貫一のあゆみ～」

平成 30 年 6 月 9 日(日)

講師 早稲田大学文学学術院 教授 甚野尚志

参加者 168 名

第 2 回「書簡からみた朝河貫一の歩み」

平成 31 年 2 月 23 日(土)

講師 早稲田大学文学学術院 教授 甚野尚志

参加者 82 名

イ ふくしまを知る連続講座

第 1 回「磐梯山の噴火から 130 年

～世界の岩なだれの中の磐梯山～」

平成 30 年 4 月 22 日(日)

講師 磐梯山噴火記念館 館長 佐藤公

参加者 60 名

第2回「被災地の文化財 ～双葉高校史学部の軌跡～」

平成30年5月13日(日)

講師 双葉町教育委員会 吉野 高光

参加者 23名

第3回「県南の戊辰戦争～白河を中心に～」

平成30年10月6日(土)

講師 白河歴史民俗資料館専門学芸員 内野 豊大

参加者 61名

第4回「福島の戊辰戦争～大藩の狭間で揺れ動く小藩の悲哀～」

平成30年10月21日(日)

講師 福島市史編纂室 守谷 早苗

参加者 57名

第5回「士(さむらい)たちの戊辰戦争」

平成30年11月25日(日)

講師 福島県歴史資料館専門学芸員 山田 英明

参加者 94名

ウ 衛生学予防医学講演会

福島県立医科大学の衛生学・予防医学講座との連携による講演会を、平成20年度から開催している。

開催日 平成30年7月7日(土)

場所 福島県立図書館 第一研修室

内容

(講演1)

- ・テーマ「リンゴを食べるとやせる? ～健康に関する情報の見極め方～」

- ・講師 遠藤 翔太  
(県立医大衛生学・予防医学講座助手)

(講演2)

- ・テーマ「「口から食べる」を続けるために ～嚥下障害の仕組み、対応と予防の方法～」

- ・講師 鈴木 園美  
(言語聴覚士、県立医大衛生学・予防医学講座大学院修士課程)

参加者 67名

エ 県民講座(試行)

- ・テーマ 「終活入門 ～その日に備える遺言、エンディングノート」

- ・講師 福島県弁護士会 駒田 晋一

参加者 55名

## 4 館外奉仕

### (1) 移動図書館「あづま号」

以下の目的により巡回事業を実施し、連携協力を図るとともに、合計26,786冊の資料を貸出した。

ア 図書館未設置町村支援

図書館未設置町村における図書館活動の促進を図ることを目的に、資料の貸出しと公民館図書室等の運営相談を行った。18自治体に巡回し、延べ22,054冊の資料を貸出した。

イ 避難自治体支援事業

東日本大震災等の影響により避難を余儀なくされ、図書館等の運営が困難な7自治体に対し、読書環境を改善することを目的に巡回し資料の貸出しを行った。

該当自治体全ての小学校を始め、希望が寄せられた公民館・子ども園・中学校・仮設図書館に対して2,998冊を貸出した。

ウ 特別支援学校読書活動支援事業

日常的に図書館や読書施設、書店等の利用が困難な子どもたちの読書環境の向上を目的に、西郷養護学校・富岡養護学校・石川支援学校・猪苗代支援学校の4校を巡回し、延べ1,188冊の資料を貸出した。

エ 文化施設連携事業

県内文化施設間の連携を図ることを目的に、福島県文化財センター白河館の事業(まほろん冬まつり)に参加し、31冊を貸出した。また、まほろんの企画展示「はま・なか・あいづ再生史」の関連資料を展示するとともに、朝河貫一博士のコレクションをPRした。

### 移動図書館「あづま号」貸出状況・推移 (単位:冊数)

| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|
| 23,026 | 23,506 | 26,786 |

### (2) 市町村援助のための支援貸出

大規模な図書館事業を行う市町村に対して、長期にわたり一括大量に資料の貸出しを行い、図書館・公民館図書室の読書・学習環境を支援した。

平成30年度の利用状況は次のとおりである。

|            |        |
|------------|--------|
| 本宮市教育委員会   | 1,797冊 |
| 川俣町教育委員会   | 393冊   |
| 喜多方市教育委員会  | 264冊   |
| 浅川町教育委員会   | 3,332冊 |
| 平田村教育委員会   | 309冊   |
| 会津美里町教育委員会 | 2,225冊 |
| 西会津町教育委員会  | 310冊   |
| 合計         | 8,630冊 |

### (3) 福島県立図書館資料の譲与

再活用が十分見込まれる資料を、県内市町村教育委員会及び高等学校等に対し譲与し、図書館施設の蔵書の充実を支援した。平成30年度の利用状況は次のとおりである。

|              |        |
|--------------|--------|
| 会津美里町教育委員会   | 1,000冊 |
| 福島県男女共生センター  | 55冊    |
| 福島刑務所        | 463冊   |
| 福島警察学校       | 400冊   |
| 福島県大笹生学園     | 114冊   |
| 福島県中央児童相談所   | 52冊    |
| ふくしま自治研修センター | 47冊    |
| 合計           | 2,131冊 |

#### (4) 学校図書館活動支援貸出

県内高等学校及び県立特別支援学校の図書館活動の充実を図るために、長期にわたり一括大量に図書の出しを行い、学校図書館読書・学習環境の支援を行う。平成30年度の実績はなかった。

#### (5) 学校図書館活動支援セット貸出

県内の児童・生徒の学びの環境づくりを支援するため、県内の高等学校および特別支援学校、小・中学校等に対して、その図書館活動の充実を図ることを目的に、118テーマ（延べ277セット）を編成し貸出を行った。

平成30年度の利用状況は、16団体に対し44セット（1,882冊）を貸出した。

#### (6) 広報資料の発行

ア 館報「あづま」

第68巻（通巻272号）を平成31年2月22日に発行した。主たる掲載事項としては、「福島県立図書館アクションプラン（第3次）について」「県内新設図書館及び再開図書館の動向」「朝河貫一没後70年記念事業実施報告」等

イ 平成30年版福島県公共図書館・公民館図書室実態調査報告書（データ版）

図書館活動の振興に資するため、昭和54年度から県内公共図書館等の実態調査を実施し、報告書としてまとめ、県立図書館ホームページに掲載している。

主な調査結果であるが、4月1日現在、県内図書館の合計蔵書冊数は6,122,010冊で、当該人口1人当たり3.59冊（前年度3.48冊）、年間増加冊数は210,478冊である。また、平成29年度中の貸出図書冊数は、6,560,676冊（当該人口1人当たり3.84冊）であり、前年度と比べると総冊数では、75,345冊の増である。状況としては、各館の数値が微増しているものであり、大きな要因は認められない。

ウ 福島県郷土資料情報

第59号を発行。1年以上をかけて準備した当館の「朝河貫一没後70年記念事業」実施報告と、その一連の企画で6月～9月にかけて実施した「海を渡ったサムライ～朝河貫一没後70年記念展」の展示資料より、書簡5点に焦点をあて紹介した。

また、年度内に5回実施した「ふくしまを知る連続講座」の概要を報告した。連載記事として「福島県立図書館所蔵貴重郷土資料探照」、「福島県関係書誌」をまとめた。100部発行し、当館ホームページへも掲載する等、郷土の情報を発信した。

### 5 図書館協力

#### (1) 相互協力と遠隔地返却

協力貸出（他館との資料の貸借）サービス、遠隔地返却（当館資料を他館に返却する）サービスを行っている。協力貸出や遠隔地返却など、市町村図書館を窓口とした遠隔地の県民の利用が大きく増加した。

#### 相互貸借状況

（単位：件/冊）

| 区分 | 県内    |       | 県外  |     | 合計    |       |
|----|-------|-------|-----|-----|-------|-------|
|    | 件数    | 冊数    | 件数  | 冊数  | 件数    | 冊数    |
| 貸出 | 1,035 | 5,171 | 456 | 703 | 1,491 | 5,874 |
| 借用 | 133   | 178   | 78  | 90  | 211   | 268   |
| 小計 | 1,168 | 5,349 | 534 | 793 | 1,702 | 6,142 |

#### 相互貸借状況・推移

（単位：冊）

| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|
| 5,819  | 5,555  | 6,142  |

隔地返却冊数・推移（利用者が来館し、直接貸出しを受けた資料を県内公立図書館に返却した冊数）（単位：冊）

| 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
|--------|--------|--------|
| 6,551  | 6,865  | 7,578  |

#### (2) 図書館協力事業

県内市町村図書館などの運営を支援するため、各館を定期的に巡回し、情報の収集と提供、運営に関する相談を行った。

また、協力貸出（資料の貸借）などの資料の搬送支援を行った。平成30年度は、16コースを編成し、31自治体と2高等教育機関に対し巡回した。

#### (3) 県内図書館職員研修会

県内図書館職員の資質向上と専門的知識の涵養を図るため、毎年行っている。

ア 福島県図書館・公民館図書室職員等初任者研修会

(ア) テーマ 「図書館の意義と基本について」

(イ) 期日 平成30年5月25日（金）

(ウ) 会場 福島県立図書館

(エ) 参加者 県内図書館・学校図書館・公民館図書室職員等 99名

(オ) 講師 義務教育課指導主事 川野邊勝也  
県立図書館職員

イ 福島県図書館・公民館図書室職員等専門研修会

(ア) テーマ 「障害者差別解消法を踏まえ、  
改めて考える図書館サービス」

(イ) 期日 平成30年11月16日（金）

(ウ) 会場 福島県立図書館

(エ) 参加者 県内図書館・学校図書館・公民館図書室職員等 33名

(オ) 講師 専修大学 教授 野口 武悟

ウ 福島県内図書館初任者職員実務研修

(ア) 期日 平成30年6月21日（木）～22日（金）

(イ) 会場 福島県立図書館

(ウ) 参加者 6名

(エ) 講師 福島県立図書館職員

#### (4) 第 16 回福島県図書館研究集会（北日本図書館連盟研究協議会）

図書館業務及び読書活動推進に関わる実務的な研究会を行うとともに、情報交換や協議を行い図書館活動の振興を図ることを目的に、福島県公共図書館協会事務局として実施・運営している。平成 30 年度は北日本図書館連盟による研究協議会との併催として実施した。

- ア テーマ 「図書館が果たすべき社会的役割とは  
～復興を起点に図書館の在り方を考える～」
- イ 期 日 平成 30 年 10 月 4 日(木)～5 日(金)
- ウ 会 場 福島県立図書館
- エ 参加者 北海道東北地区図書館・学校図書館・公民  
図書室職員等 98 名

#### オ 内 容

##### 事例報告①

- ・テーマ 「東日本大震災からの復興に向けて  
～陸前高田市立図書館の取組み～」

- ・報告者 陸前高田市立図書館 館長 戸羽 亮一

##### 事例報告②

- ・テーマ 「すべては、よりよく生きるために」

- ・報告者 大崎市図書館 司書 村上 さつき

##### 事例報告③

- ・テーマ 「つながる図書館の実現に向けた取り組み  
～復興を起点として～」

- ・報告者 気仙沼図書館 主幹(司書) 山口 和江

##### 事例報告④

- ・テーマ 「『個』をつなぐ図書館を目指して  
～人、町、文化の交流の広場に～」

- ・報告者 富岡町図書館 司書 東山 恵美

##### 情勢報告

- ・報告者 公益社団法人日本図書館協会  
副理事長 西野 一夫

##### パネルディスカッション

- ・司 会 富士大学 教授 早川 光彦

- ・パネラー 事例報告者(前出)  
公益社団法人日本図書館協会  
図書館災害対策委員会 委員 川島 宏

#### (5) 子どもの本がつなぐスマイルプロジェクト

東日本大震災で被災した子どもたちや親たちが、本とのふれあいを通して心を癒やすことを目的に、読み聞かせなどを行うフェスティバルを、平成 26 年度より開催している。

プロジェクト実施に併せ、子どもたちに出会って欲しい絵本を紹介したブックリスト「本はともだち～福島を知る 福島を伝える～」を作成し配布した。

#### ア 「絵本はともだち」

- (ア) 期 日 平成 30 年 8 月 6 日(月)

- (イ) 会 場 相馬市民会館

- (ウ) 参加者 子どもと保護者・保育従事者・読書ボラ  
ンティア・その他関係者等 70 名

#### (エ) 内 容

講演・実演(おはなしかい等)

- ・テーマ 「おはなしかい いっしょにね」

- ・講 師 幼児教育専門家 藤田 浩子

#### イ 「本はともだち」

- (ア) 期 日 平成 30 年 11 月 4 日(日)

- (イ) 会 場 福島県立図書館

- (ウ) 参加者 子どもと保護者・学校・保育関係者・読  
書ボランティア・その他 72 名

#### (エ) 内 容

講演・実演(ブックトーク等)

- ・テーマ「ブックトーク」

- ・講 師 公益財産法人東京子ども図書館  
理事 杉山 きく子

#### (6) 県内大学図書館間との連携

県内の大学図書館及び公共図書館間における、「図書館資料の相互貸借」「複写」「参考業務」及び「一般社会人への共通利用証発行」等の協力体制を推進するため、「福島県内大学図書館連絡協議会」の公共図書館唯一の加盟館として、「福島県内大学図書館間相互利用制度」の維持に努めた。

同協議会には、県立図書館の他、県内 20 の市町村立図書館が参加館として参加している。参加している図書館は、福島市立図書館、二本松市立二本松図書館、郡山市中央図書館、須賀川市図書館、白河市立図書館、会津若松市立会津図書館、喜多方市立図書館、相馬市図書館、南相馬市立中央図書館、いわき市立いわき総合図書館、田村市図書館、小野町ふるさと文化の館、三春町民図書館、鏡石町図書館、矢吹町図書館、双葉町図書館、大熊町図書館、新地町図書館、浪江町図書館、本宮市立しらす夢図書館である。

さらに、福島大学附属図書館、及び、福島県立医科大学附属学術情報センター図書館とは、相互協力のための「ふくふくネット」を締結しており、それに基づき活動を行った。

## 第13節 福島県立美術館

### 1 概要

昭和59年に開館した福島県立美術館は、さまざまなテーマに基づく展覧会、創作や芸術鑑賞のための各種講座等の事業を実施している。また、文化財としての美術作品の収集保存、美術や地域の芸術運動に関する調査研究を継続的に実施している。これらの活動を基盤に、美術の情報センターとしての機能を担っている。

当年度の美術館活動の概要は以下のとおりである。

#### (1) 美術館運営協議会

##### ア 委員

|       |                                                |
|-------|------------------------------------------------|
| 山口 功  | 福島県中学校教育研究会美術専門部所属<br>(平成25年1月1日～)             |
| 番匠あつみ | 福島県高等学校教育研究会美術工芸部会所属<br>(平成27年1月1日～)           |
| 杉 昭重  | 公益財団法人福島県文化振興財団理事長兼<br>福島県文化センター館長(平成29年1月1日～) |
| 坂本節子  | 福島県家庭教育インストラクターいわきの会事務局長<br>(平成25年1月1日～)       |
| 齋藤勝正  | 福島県美術家連盟会長<br>(平成29年1月1日～)                     |
| 鈴木 仁  | 日本放送協会福島放送局長<br>(平成29年8月19日～)                  |
| 星眞智子  | 西会津国際芸術村事務局長<br>(平成27年1月1日～)                   |
| 清水眞砂  | 世田谷美術館分館長<br>(平成27年1月1日～)                      |
| 齋藤美保子 | 郡山女子大学短期大学部教授<br>(平成27年1月1日～)                  |
| 舟木藤弘  | 福島県立美術館友の会理事<br>(平成29年1月1日～)                   |

##### イ 協議会の開催

- (ア) 期日 平成31年2月27日(水)
- (イ) 内容 ・平成30年度事業実施の概要  
・平成31年度事業計画案の概要  
・県立美術館の運営等

#### (2) 他館等との連携

県内外の博物館施設および全国組織等との連携を図り、運営・事業等に関する情報交換や研修等を実施した。

- 加盟団体 ・全国美術館会議 (理事)  
・日本博物館協会 (会員)  
・日本博物館協会東北支部 (監事)  
・東北地区博物館協会 (監事)  
・福島県博物館連絡協議会 (理事)

### 2 美術品の収集・保存

優れた美術作品鑑賞の機会を提供し、文化財を保存継承するために、コレクション(収集作品)の収集活動を継続的にしている(ただし平成22年度以降、作品購入実績はない)。

平成30年度は113点の作品および6件の資料を寄贈により収集した。

#### (1) 収集作品点数(平成31年3月31日現在)

|       |        |
|-------|--------|
| 海外作品  | 450点   |
| 日本画   | 355点   |
| 洋画    | 971点   |
| 版画    | 1,153点 |
| 立体    | 139点   |
| 工芸    | 155点   |
| 書     | 39点    |
| 素描・下絵 | 257点   |
| 写真    | 410点   |
| 作品合計  | 3,929点 |
| 美術資料  | 69件    |

#### (2) 収集評価委員会

##### ア 委員

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 原田 光  | 元岩手県立美術館長<br>(平成23年12月1日～)         |
| 村田眞宏  | 豊田市美術館長<br>(平成23年12月1日～)           |
| 荒屋鋪透  | 中部大学民族資料博物館長<br>(平成23年12月1日～)      |
| 三上満良  | 宮城県美術館副館長<br>(平成23年12月1日～)         |
| 佐々木吉晴 | いわき市立美術館長、宇都宮美術館長<br>(平成23年12月1日～) |

##### イ 委員会の開催

- (ア) 期日 平成31年2月22日(金)
- (イ) 内容 ・平成29年度収集作品の報告  
・平成30年度収集候補作品について

#### (3) 平成30年度収集作品等

##### ア 美術作品及び美術資料の収集

|          |              |     |
|----------|--------------|-----|
| 国内：日本画   | 中野蒼穹         | 1点  |
| 国内：洋画    | 梅宮英亮         | 1点  |
|          | 角田行夫         | 2点  |
|          | 渡部菊二         | 4点  |
|          | 宮崎 進         | 19点 |
|          | 若松光一郎        | 39点 |
| 国内：素描・下絵 | 渡部菊二         | 17点 |
|          | 若松光一郎        | 25点 |
| 国内：版画    | 渡部菊二         | 2点  |
|          | 若松光一郎        | 3点  |
| 国内：資料    | 中野蒼穹資料       | 1件  |
|          | 齋藤 清資料       | 1件  |
|          | 渡部菊二資料       | 1件  |
|          | 道乃奥第1号       | 1件  |
|          | 県内作家資料       | 1件  |
|          | 門間春男資料       | 1件  |
|          | 計113点 美術資料6件 |     |

#### イ 図書資料の収集

収蔵図書数 59,667 冊

#### (4) 保存管理

美術品の状態を維持回復し、美術品の保管・展示の環境を良好に保つために、計画的に美術品の修復や館内の保存環境調査を実施している。

##### ア 保存環境調査の実施(虫菌害モニタリングと環境測定)

時期：平成30年6月4日(月)～18日(月)、  
8月10日(金)～25日(土)  
(調査期間)[報告書は平成30年7月10日(火)、平成30年9月20日(木)に提出]

内容：展示室、収蔵庫、搬入口およびその他の館内外の虫菌害調査、酸アルカリ濃度測定等

##### イ 美術品の修復

酒井三良《雪に埋もれつつ正月はゆく》の修復を実施した。そのほか関根正二、上野山清貢、安井曾太郎、村山槐多の作品(計34点)の状態点検調査を実施。またジョルジュ・ルオー《ミセレーレ》58点中24点の額を交換。

##### ウ 敷地内の放射線測定

(ア) 時期 毎月1回、計12回測定  
(イ) 場所 美術館内および敷地内 計45か所

### 3 展示事業

#### (1) 常設展

収蔵および寄託の美術作品を展示している。美術の多様な領域や数多くの作家を紹介するとともに、作品の状態の保全に配慮して、年4回(版画は年8回)展示替えを行っている。

##### コレクション展Ⅰ 平成30年3月24日(土)

～6月24日(日)

春の日本画：伊東深水「春光」、小茂田青樹「薫房」  
関根正二と近代の洋画：関根正二「姉弟」、  
小出檜重「けしの花」

日本人画家が魅せられたヨーロッパ：渡辺良雄「城壁のある町」、桑原実「アテネ」

池袋モンパルナス：鈴木新夫「働く人(A)」、  
吉井忠「麦の穂を持つ女」

印象派と海外の名品：ピサロ「エラニーの菜園」、  
ピカソ「二人の裸婦」

齋藤隆『貌』：「貌Ⅰ」～「貌Ⅶ」

##### コレクション展Ⅱ 平成30年6月30日(土)

～10月14日(日)

酒井三良と日本画の名品：酒井三良「村芝居」、  
池田遙邨「大漁」

型染の魅力：柚木沙弥郎「人びと」、

伊砂利彦「海に逝きし人々にささげる鎮魂歌」

現代の絵画―具象と抽象：田淵安一「花林朱径」、  
村上善男「卍町に釘打ち(参)」

追悼・保田春彦：「季節の残像Ⅰ」～「季節の残像Ⅸ」

近代の洋画：恩地孝四郎「静物(レモン)」、安井曾太郎「テーブルの上」

アメリカの美術：レジナルド・マーシュ「回転ブランコ」、

ベン・シャーン「ラッキードラゴン」

ヤノベケンジ《ラッキードラゴン》・

《サンチャイルド》：「ラッキードラゴン構想模型」

フランス美術の名品：コロエ「ヴィル・ダヴレー林をぬけて コロエ家へ向かう池沿いの道」、

ルノワール「帽子を被る女」

斎藤清の版画：「赤い花」、「凝視」

前川千帆の版画：「野外小品」、「第二野外小品」

##### コレクション展Ⅲ 平成30年10月20日(土)

～12月24日(月・祝)

河野・安齋コレクション：岸田劉生「白狗図」、

小川芋銭「飲中八仙図」

大山忠作と室井東志生：大山忠作「0先生」、

室井東志生「白煌(楊貴妃に扮する玉三郎像)」

福島の木彫：橋本堅太郎「慈光」、西山勇三「希う」

アメリカの美術：ワイエス「松ぼっくり男爵」、

野田英夫「牛乳ワゴン」

エルンスト『博物誌』：版画集『博物誌』

ヤノベケンジ《ラッキードラゴン》・

《サンチャイルド》：「ラッキードラゴン構想模型」

フランス美術の名品：モネ「ジヴェルニーの草原」、

ゴーギャン「ブルターニュの子供」

斎藤清の版画：「ショップガール・パリ」、「セントラル公園、ニューヨーク」

追悼・浜田知明の版画：「初年兵哀歌(歩哨)」、「風景」

秀島由己男の版画：版画集 舊約聖書「詩篇」より

##### コレクション展Ⅳ 平成31年1月8日(火)

～3月10日(日)

現代の日本画：朝倉摂「1960-6月(内部への挑戦)」、  
横山操「黒い工場」

関根正二と近代の洋画：関根正二「真田吉之助夫婦像」、  
田口安男「波から焰へ-A-」

アメリカの美術：ジョン・スローン「五番街の批評家たち」、  
ベン・シャーン 版画集「ドレフュス事件」

フランス美術の名品：ドゥミエ「日々の出来事(アクチュアリテ)」、  
ロダン「影の頭部」

斎藤清の版画：「会津の冬(1)」～「会津の冬(20)」

木口木版の魅力：日和崎尊夫 詩画集「卵」、

柄澤齊 詩画集「迷宮の潭」

#### (2) 移動美術館

会期 平成30年12月4日(火)～12日(水)

開催日数 9日

分野 絵画、版画、彫刻

展示数 23点

主催 檜葉町 檜葉町教育委員会 福島県立美術館

会場 檜葉町コミュニティセンター大会議室

観覧料 無料

観覧者数 231名

#### 概要

東日本大震災発生から4年後の平成27年、楡葉町は避難指示が解除された。当館では、被災地域復興支援として〈移動美術館展〉を提案し、同町でも地域活性化事業の一つとしてこれを受け入れた。

展覧会の内容は、同町の希望をもとに展示構成を図り、ロダン、マンゾーら海外作家、佐藤忠良や舟越保武ら日本を代表する彫刻家、福島県にゆかりのある斎藤清や楡葉町出身の日本画家である永山十志夫の作品など23点を展示した。

#### 関連事業

- ・ギャラリートーク

講師：伊藤 匡(当館専門員)

日時：平成30年12月9日(日) 11時～12時

参加者：20名

### (3) 企画展

平成30年度は3回の企画展示を開催し、国内外の様々な文化を紹介した。

#### ア 長谷川利行展

(ア) 会期 平成30年3月24日(土)～4月22日(日)

開催日数 26日(平成30年度19日)

(イ) 分野 絵画

(ウ) 展示数 140点

(エ) 主催 福島県立美術館

協力 長谷川利行の会

(オ) 観覧料 一般・大学生1,000(800)円、  
高校生600(500)円、小・中学生400(300)円  
※( )内は20名以上の団体料金

(カ) 観覧者数 2,666名(平成30年度)

#### (キ) 概要

伝説の洋画家、長谷川利行(はせかわ・としゆき 1891-1940)。木賃宿をねぐらとし、友人知人の肖像を素早い筆さばきで描いては、その絵を売りつけ、金をせびる風来坊。しかし、対象の本質をわしづかみにする利行の作品は、近代日本絵画の到達した一つの極である。原色を多用しながら、水墨画の静けさすら感じさせる、長谷川利行の芸術を回顧する。

本展は、福島会場を立ち上がりに東京都、愛知県、福岡県、栃木県に巡回した。

#### (ク) 関連事業

- ・講演会「雑踏の美学」

講師：原田 光(本展監修者 元岩手県立美術館長)

日時：平成30年4月8日(日)

14時～15時30分 美術館講堂

参加者：70名

- ・ゲストトーク

講師：小林 真結(府中市美術館学芸員)

日時：平成30年3月24日(土)

14時～15時 企画展示室

参加者：51名

- ・担当学芸員によるギャラリートーク

講師：堀宜雄(当館専門学芸員)

日時：①平成30年3月25日(日) 14時～15時

②平成30年4月7日(土) 14時～15時

③平成30年4月13日(金) 14時～15時

企画展示室

参加者：①28名、②33名、③25名

- ・創作プログラム「自画像を描く～自分を見つめる～」

講師：齋藤 隆(画家)

日時：平成30年4月14日(土) 10時～15時 実習室

参加者：10名

- ・キッズ・プログラム

「ペタコロサッサ★油絵ってたのしいね！」

講師：油井 瑞樹(画家)

日時：平成30年4月1日(日)

10時～15時 美術館実習室

参加者：7名

### イ ポーラ美術館コレクション

#### —モネ、ルノワールからピカソまで

(ア) 会期 平成30年4月28日(土)～6月24日(日)

開催日数 51日

(イ) 分野 絵画、彫刻

(ウ) 展示数 72点

(エ) 主催 ポーラ美術館コレクション福島展実行委員会

[構成：福島県立美術館・テレビユー福島・  
福島民報社・ラジオ福島]

公益財団法人ポーラ美術振興財団

ポーラ美術館

(オ) 観覧料 一般1,300円(1,100円)

大学・専門学校生1,100円(900円)

小・中・高校生650円(500円)

※( )内は前売り料金または20名以上の団体料金

(カ) 観覧者数 53,447名

#### (キ) 概要

ポーラ美術館が誇る西洋美術のコレクションより、19世紀後半から20世紀まで、フランスを中心に活動した計20名の美術家たちの作品72点を紹介した。うつろいゆく光の表現を追求した印象派から、色彩の解放を目指したフォーヴィスム(野獣派)、造形の冒険を試みたキュビスム(立体派)まで、西洋近代美術の個性豊かな展開をたどる。ポーラ美術館を代表するルノワールの《レースの帽子の少女》(県内初公開)をはじめ、モネ、ルノワール、ピカソの作品(各8点)が特に注目を集めた。

当館でのフランス近代美術展は、「フランス近代絵画のながれ」(2008年)以来10年振りとなる。印象派は県民のあいだでも特に人気が高いこともあり、観覧者数は5万人を超えた。

(ク) 関連事業

- ・講演会「1910年代フランス モネやピカソが生きた激動の時代」

講師：木島 俊介（ポーラ美術館長、展覧会監修）  
日時：平成30年4月28日（土）14時～15時 講堂  
参加者：116名

- ・担当学芸員によるギャラリートーク

講師：坂本 篤史（当館副主任学芸員）  
（平成30年5月11日（金）、6月1日（金））  
橋本 恵里（当館学芸員）  
（平成30年5月25日（金）、6月15日（金））  
日時：平成30年5月11日（金）、25日（金）、  
6月1日（金）、15日（金）  
各回14時～14時30分 企画展示室

参加者：25名、22名、23名、27名

- ・まちなか美術講座 福島大学行政政策学類連携企画

- 演題「印象派画家たちの冒険：モネとセザンヌ」  
講師：伊藤 匡（当館専門員）  
日時：平成30年4月7日（土）18時30分～20時
  - 演題「ピカソー新しい視覚の誕生」  
講師：荒木 康子（当館学芸課長）  
日時：平成30年4月21日（土）14時～15時30分
  - 演題「市民生活の変化と絵画の中のモード」  
講師：田村 奈保子（福島大学教授）  
日時：平成30年5月12日（土）18時30分～20時
  - 演題「古典彫刻とルノワール」  
講師：坂本 篤史（当館副主任学芸員）  
日時：平成30年5月19日（土）18時30分～20時
  - 演題「前衛の舞台：モンマルトルとモンパルナス」  
講師：橋本 恵里（当館学芸員）  
日時：平成30年6月16日（土）14時～15時30分
- ※すべて福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ  
で開催

- ・映画上映 フォーラム福島連携企画

- 作品名：「セザンヌと過ごした時間」  
期間：平成30年4月28日（土）～5月11日（金）
- 作品名：「ゴッホ最期の手紙」  
期間：平成30年5月5日（土）～18日（金）
- 作品名：「ゴーギャン タヒチ、楽園への旅」  
期間：平成30年5月12日（土）～18日（金）

- ※美術館学芸員によるレクチャー（映画上映後実施）

- 演題：「楽園幻想 ゴーガンが夢見た異国」  
講師：橋本 恵里（当館学芸員）  
日時：平成30年5月13日（日）11時20分～12時
- 作品名：「リュミエール！」  
期間：平成30年5月19日（土）～25日（金）
- 作品名：「ルノワール 陽だまりの裸婦」  
期間：平成30年5月26日（土）～6月1日（金）

※すべてフォーラム福島で上映

- ・ワークショップ「名画で缶バッジをつくろう！」

日時：平成30年5月11日（金）、25日（金）、  
6月2日（土）＊各回2時間程度

講師：坂本 篤史（当館副主任学芸員）、橋本 恵  
里（当館学芸員）、大北 孝（当館主任学芸  
員）、白木 ゆう美（当館学芸員）

参加者：86名 ＊3回合わせて

- ・ワークショップ「美術館の庭で油絵を描こう」

日時：平成30年5月20日（日）、26日（土）、  
27日（日） ＊3回連続

講師：後藤 學（画家、喜多方市美術館館長）

参加者：15名

- ・ワークショップ「てんてん絵画体験！」

日時：平成30年6月10日（日）

＊午前午後1回ずつ

講師：白木 ゆう美（当館学芸員）、大北 孝（当  
館主任学芸員）

参加者：14名 ＊2回合わせて

**ウ イラストレーター 安西水丸**

(ア) 会期 平成30年7月7日（土）～9月2日（日）

開催日数 50日

(イ) 分野 イラストレーター

(ウ) 展示数 764点（うち原画・版画421点）

(エ) 主催 福島県立美術館

監修 安西水丸事務所

協力 嵐山オフィス、村上事務所、和田誠事務所、  
東京イラストレーターズ・ソサエティ、SPACE  
YUI、クリエイションギャラリーG8（リクル  
ートホールディングス）、福島県立図書館

企画協力 クレヴィス

後援 福島市、福島市教育委員会

(オ) 観覧料 一般・大学生1,000(800)円、  
高校生600(500)円 小・中学生400(300)円

※（ ）内は20名以上の団体料金

(カ) 観覧者数 8,125名

(キ) 概要

安西水丸は、1970年代より小説、漫画、絵本、エッセイや広告など多方面で確約したイラストレーターである。はじめ広告代理店や出版社に勤め、デザイン等の仕事をしながら、嵐山光三郎の勧めで『ガロ』に漫画を掲載、南房総での幼少期を題材とした『青の時代』が高い評価を受ける。独立後は、村上春樹をはじめとする本の装幀や、『がたん ごとん がたん ごとん』などの絵本、和田誠との二人展、広告や執筆活動など幅広く活躍した。「その人にしか描けない絵」を追求し、身近なものを独自の感性で表現した。展覧会では、「小さい頃よりずっと絵を描くことが好きだった」という安西の幼少期から晩年に至るまでの足跡を、原画と資料あわせて700点以上により紹介した。

(ク) 関連事業

- ・講演会「安西水丸さんのこと」  
講師：嵐山 光三郎（作家）× 南 伸坊（イラストレーター）  
日時：平成30年7月14日（土）  
14時～15時30分 美術館講堂  
参加者：250名
- ・ワークショップ「美術館で見つけた『いいかんじ！』を描こう。」  
講師：浅生 ハルミン（イラストレーター・エッセイスト）  
日時：平成30年8月4日（土）10時～14時30分  
美術館周辺及び実習室  
参加者：16名
- ・美術館・図書館連携企画「アートなおはなしかい」  
講師：福島県立図書館司書、福島県立美術館学芸員  
日時：平成30年7月21日（土）14時～15時30分  
福島県立図書館会議室、福島県立美術館実習室・企画展示室  
対象：5歳～小学生20名と保護者  
参加者：23名
- ・美術館・図書館連携企画「ちいさなおはなしかいスペシャル」  
講師：福島県立図書館司書  
日時：平成30年7月12日（木）、8月9日（木）  
10時30分～11時 企画展示室  
対象：0～3歳ぐらいのお子さんと保護者  
参加者：53名、19名
- ・担当学芸員によるギャラリートーク  
講師：紺野 朋子（当館副主任学芸員）  
日時：平成30年7月28日（土）、8月25日（土）  
14時～15時 企画展示室  
参加者：両日とも20名

エ 「土に挑む 一走泥社の作家たち」

- (ア) 会期 平成30年9月15日（土）～10月14日（日）  
開催日数26日
- (イ) 分野 工芸
- (ウ) 展示数 40点
- (エ) 主催 福島県立美術館
- (オ) 観覧料 一般・大学生600(500)円、  
高校生 300(250)円 小・中学生200(150)円  
※( )内は20名以上の団体料金
- (カ) 観覧者数 1,561名
- (キ) 概要

走泥社（そうでいしゃ）は、戦後、日本の陶芸界に新風を巻き起こした前衛陶芸家集団。八木一夫（1918-1979）、山田光（1923-2001）、鈴木治（1926-2001）ら京都の若手陶芸家たちによって1948年に結成された。焼き物の伝統が根強い土地で、彼らは従来の枠組や形式にとらわれない“土”による新しい表現を模索し、器としての用途をもたない、造形性を追求したやきものを数多く生み出した。

この展覧会では、当館が所蔵する山田光、鈴木治作品の他、走泥社を牽引した八木一夫の作品を40点の作品により紹介した。工芸の企画展は約10年ぶりの開催であり、当館の工芸コレクションをまとめて紹介する機会となった。

(ク) 関連事業

- ・担当学芸員によるギャラリートーク  
日時：平成30年9月22日（土）14時～15時  
講師：白木 ゆう美（当館学芸員）  
参加者：15名
- ・創作プログラム「土とあそぼう！」  
日時：平成30年10月6日（土）13時30分～15時30分  
講師：安藤 郁子（陶芸家、秋田公立美術大学准教授）  
参加者：7名
- ・創作プログラム「土に触れる ところに触れる」  
日時：平成30年10月7日（日）10時～12時  
講師：安藤 郁子（陶芸家、秋田公立美術大学准教授）  
参加者：10名

※展示室での小・中学生向けガイドの配布

オ 生誕130年・佐藤玄々（朝山）展

- (ア) 会期 平成30年10月27日（土）～12月16日（日）  
開催日数44日
- (イ) 分野 彫刻
- (ウ) 展示数 103点
- (エ) 主催 福島県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会  
協賛 ライオン、大日本印刷、損害保険ジャパン日本興亜  
協力 日本通運  
助成 一般財団法人地域創造、公益財団法人ポーラ美術振興財団
- (オ) 観覧料 一般・大学生1,000(800)円、  
高校生600(500)円 小・中学生400(300)円  
※( )内は20名以上の団体料金
- (カ) 観覧者数 5,230名
- (キ) 概要

福島県相馬市出身で、大正期から昭和戦後期に活躍した木彫作家・佐藤玄々（朝山）の大規模回顧展。県内でははじめての開催となる。近代彫刻史は近年見直しが進んでいる分野であり、木彫の代表的作家である玄々をあらためて美術史の中に位置づけるものである。作家を生み出した地域性にも着目、相馬市・南相馬市等と協力して調査研究をすすめ、地元の文化資源の掘り起こしをはかった。

佐藤玄々の作品100点余を効果的に展示することができ、「天女像」の3D映像展示、参考史料等多数紹介できた。木彫のワークショップ、国際シンポジウムの開催を合わせて、多方面からの参加があった。

県内外での反響は大きく、雑誌、テレビ等で取り上げられることで話題性を高めることができた。来館者アンケート結果によると、「たいへんよい」「よい」を合わせて98%を超えた。

(ク) 関連事業

- ・国際シンポジウム「佐藤朝山とパリ」  
日時：平成30年11月23日(金) 10時30分～17時  
会場：美術館講堂  
パネリスト：アレッサンドロ・ガッリッキオ  
(ボンピドーセンター研究員)  
アメリー・シミアエ(ブールデル美術館長)  
田中 修二(大分大学教授)  
藤井 明  
(小平市平櫛田中彫刻美術館学芸員)  
増渕 鏡子(当館専門学芸員)  
司会：坂本 篤史(当館副主任学芸員)  
参加者：100名
- ・担当学芸員によるギャラリートーク  
講師：①増渕 鏡子(当館専門学芸員)  
②坂本 篤史(当館副主任学芸員)  
日時：①平成30年11月10日(土) 14時～15時  
②平成30年12月1日(土) 14時～15時  
参加者：①20名、②20名

**カ Gallery F 2019 コレクション再発見**

- ① アートカード★チャレンジ
- ② 福陽美術会 100年
- (ア) 会期 平成31年2月9日(土)～3月10日(日)  
開催日数26日
- (イ) 分野 ①絵画、版画、立体 ②絵画、資料
- (ウ) 展示数 ①46点 ②70点(資料類を含む)
- (エ) 主催 被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会  
助成 平成30年度文化庁 地域と共働した美術館  
・歴史博物館創造活動支援事業
- (オ) 観覧料 無料
- (カ) 観覧者数 1,973名
- (キ) 概要

「Gallery f」とは、当館のコレクションの中から、今まで紹介できなかった作品や新収蔵・寄託作品を取り上げ、あるいはテーマを絞って掘り下げる小さな展覧会を意味する。3回目の今年は日本画と、アートカードを使ったコレクション再発見の試み。

- ①「アートカード★チャレンジ」では、福島県立福島東高等学校の生徒たちが、鑑賞教材アートカードを使って考えた「愛のかたちと家族のかたち」展を、実際に当館のコレクションを展示して再現した。
- ②「福陽美術会 100年」では、1919(大正8)年に福島出身の日本画家が結集した福陽美術会という団体について、その魅力と特色を、資料を含め約70点により紹介した。

(ク) 関連事業

- ・担当学芸員によるギャラリートーク  
講師：堀 宜雄(当館専門学芸員)  
日時：平成31年2月10日(日) 14時～15時  
企画展示室  
参加者：15名
- ・福島県立福島東高等学校生徒によるギャラリートーク  
講師：福島県立福島東高等学校美術部  
日時：平成31年2月24日(日) 14時～15時  
企画展示室  
参加者：20名
- ・ギャラリートーク「東北の日本画家群像－秋田と福島を中心に－」  
講師：山本 丈志(秋田県文化振興課学芸員)  
堀 宜雄(当館専門学芸員)  
日時：平成31年3月2日(土) 14時～15時  
企画展示室  
参加者：30名
- ・創作プログラム「すきなもので自分の顔をかいてみよう！」  
講師：坂内 直美(画家、女子美術大学芸術学部美術学科洋画科専攻助手)  
日時：平成31年3月3日(日) 10時30分～15時  
実習室  
参加者：10名

**キ 東日本大震災復興祈念 伊藤若冲展**

- (ア) 会期 平成31年3月26日(火)  
～令和元年5月6日(月・祝)  
開催日数38日(30年度6日)
- (イ) 分野 絵画、版画、資料
- (ウ) 展示数 111点
- (エ) 主催 東日本大震災復興祈念「伊藤若冲展」実行委員会  
[構成：福島県、福島県教育委員会、福島県立美術館、福島民友新聞社、福島中央テレビ]
- (オ) 観覧料 一般・大学生1,500(1,300)円、  
学生1,100(900)円、高校生以下無料  
※( )内は20名以上の団体料金
- (カ) 観覧者数 9,529名(平成30年度)
- (キ) 概要

東日本大震災復興祈念と銘打って開催される、伊藤若冲の回顧展。本展は、京都国立博物館で「伊藤若冲展」を企画した狩野博幸氏の監修により、重要文化財の『連地図』、『果蔬素涅槃図』を始め、水墨画を中心とした百点以上の作品で構成する。若冲作品が最も早い使用例とされる、プルシアン・ブルー(紺青)の絵具(国重文)も参考展示する。

## 4 調査研究事業

調査研究は美術館活動の基礎をなし、また広く県民に対して美術の情報センター機能を果たすためにデータ集積が欠かせない。県内外の美術家や作品の調査、教育普及、保存、展示等の調査を継続的に実施している。

平成30年度は県内の美術品調査と、県内出身作家やゆかりの作家、収蔵作家（長谷川利行、山田光、鈴木治、佐藤玄々、勝田蕉琴、荻生天泉、坂内青嵐、太田秋民、湯田玉水、酒井三良、角田磐谷、酒井白澄、須田瑛中、木下春、猪巻清明、大平華泉、石川良風、大山忠作等）の調査を重点的に行った。

## 5 普及事業

美術をより深く知る喜びを得る機会を提供する事業として、さまざまな講座を開催している。また、つくる楽しみを経験する契機として、各種の実技講座や、学校と連携しての出張講座等を行っている。

### (1) 館内解説

学校や公民館その他の団体での鑑賞者のために、鑑賞前に芸員が美術館の概要、鑑賞マナー、代表的収蔵作品の解説、常設展示や企画展示の概要等のガイダンスを行っている。

団体総数は144団体4,527人である。そのうち解説を行ったのは61団体2,592人である。

### (2) 鑑賞講座

館長講座 「古典に帰れ—西洋美術の巨匠たち— ～ルネサンスからロマン派まで～」

第1回「ルネサンス(1) 先駆者ジョットと初期ルネサンス」

平成30年5月19日(土) 参加者数：42名

第2回「ルネサンス(2) 前半 レオナルド、ラファエロ、ミケランジェロ」

平成30年7月21日(土) 参加者数：36名

第3回「ルネサンス(2) 後半 レオナルド、ラファエロ、ミケランジェロ」

平成30年9月15日(土) 参加者数：30名

第4回「ルネサンス(3) ジョルジョーネ、ティツィアーノ、ティントレット、デューラー」

平成30年11月17日(土) 参加者数：27名

第5回「バロック(1) カラヴァッジオ、ルーベンス、ヴェラスケス」

平成31年1月19日(土) 参加者数：27名

第6回「バロック(2) レンブラント、フェルメール」

平成31年3月9日(土) 参加者数：42名

### (3) 創作プログラム

実技教室は、広く県民各層の美術に関する関心をふまえて、美術の創作と鑑賞の一助とする目的で、子どもから大人まで幅広い対象に応じたプログラムを実施している。

ア ペタコロサッサ★★油絵って楽しいね！」

平成30年4月1日(日)

・講師：油井 瑞樹(画家)

・参加者数：7名

イ 「自画像を描く～自分をみつめる～」

平成30年4月14日(土)

・講師：齋藤 隆(画家、当館収蔵作家)

・参加者数：15名

ウ 「バードウォッチング&巣箱をつくろう！」

平成30年5月5日(土)

・講師：杉浦 裕志(とりにとりくむ会社)

・参加者数：8組19名

エ 「名画で缶バッジをつくろう！」

平成30年5月11日(金)、25日(金)、6月2日(土)

\*各回2時間程度

・講師：坂本 篤史、橋本 恵里、大北 孝、  
白木 ゆう美(当館学芸員)

・参加者数：86名 \*3回合わせて

オ 「美術館の庭で油絵を描こう」

平成30年5月20日(日)、26日(土)、27日(日)

\*3回連続

・講師：後藤 學(画家、喜多方市美術館館長)

・参加者数：15名

カ 「てんてん絵画体験！」

平成30年6月10日(日) \*午前午後1回ずつ

・講師：白木 ゆう美、大北 孝(当館学芸員)

・参加者数：14名 \*2回合わせて

キ 「型絵をつくって版画にしよう」

平成30年7月29日(日)

・講師：海老塚 耕一(多摩美術大学教授)

・参加者数：21名

ク 「美術館で見つけた『いい感じ!』を描こう。」

平成30年8月4日(土)

・講師：浅生 ハルミン(イラストレーター)

・参加者数：16名

ケ 「土とあそぼう！」

平成30年10月6日(土)

・講師：安藤 郁子(秋田公立美術大学准教授)

・参加者数：7名

コ 「土に触れる ころころに触れる」

平成30年10月7日(日)

・講師：安藤 郁子(秋田公立美術大学准教授)

・参加者数：10名

サ 「木彫の鑑賞と制作～佐藤玄々の動物彫刻をたよりに」

平成30年11月4日(日)、11日(日)、18日(日)、  
25日(日) \*4回連続

・講師：黒沼 令(郡山女子短期大学講師)

・参加者数：12名

- シ 「手のりの動物をつくろう」  
平成30年12月2日(日)  
・講師：大北 孝、白木 ゆう美(当館学芸員)  
・参加者数：2名
- ス 「自分だけの布をデザインしてプリントしよう」  
平成30年12月16日(日)  
・講師：坂内 まゆ子(テキスタイル作家)  
・参加者数：4組9名
- セ 「すきなもので自分の顔をかいてみよう！」  
平成31年3月3日(日)  
・講師：坂内 直美(画家、女子美術大学芸術学部  
美術学科洋画科専攻助手)  
・参加者数：10名

#### (4) 美術館・学校教育連携事業

##### ア 学校連携共同ワークショップ

学校からの要望をもとに平成15年度より開催する連携事業。子どもたちが作家と触れ合う生の機会として、作家・学校・美術館の共同による創作活動を中心にした「出張ワークショップ」を開催している。この事業により相互の協力関係を密にし、新鮮な体験を通して子どもたちの美術や美術館への関心を高めるとともに、通常は美術館を利用しにくい地域へも文化事業の還元をはかる。

平成30年度は、小学校・中学校・適応指導教室合わせて4校(参加者延べ115名)で開催した。ワークショップ作品は平成30年12月22日(土)～24日(月・祝)/平成31年1月8日(火)～20日(日)の期間、当館企画展示室Bにて活動中のスナップ写真とあわせて展示した。詳細は以下のとおり。

##### (ア) 作家：三浦 麻梨乃(銅版画家)

プログラム：版画でつづる「ささやかな幸せ」

内容：自分の好きなもの、大切なものをモチーフとして、日々の出来事をドライポイントの技法で表現した。

##### 開催校・人数

- 会津若松市立第一中学校(美術部)  
平成30年10月8日(月・祝) 7名
- 会津若松市立第一中学校(美術部)  
平成30年11月24日(土) 10名
- 会津若松市立第二中学校(美術部)  
平成30年9月26日(水) 15名
- 会津若松市立第二中学校(美術部)  
平成30年11月26日(月) 14名
- 二本松市立渋川小学校(4年生)  
平成30年10月5日(金) 18名
- 二本松市立渋川小学校(4年生)  
平成30年11月27日(火) 17名

##### (イ) 作家：小原 風子(画家・絵本作家)

「木の実くん絵本」をつくろう！

「木の実くんコマドリアニメ」をつくろう！

内容：木の実に顔を描いて木の実人形をつくり、物語を膨らませながら写真を撮影する。撮った写真で絵本やコマドリアニメを制作した。

##### 開催校・人数

- 福島市教育委員会教育研修課  
(ふれあい教室通級生)  
平成30年10月18日(木) 6名
- 福島市教育委員会教育研修課  
(ふれあい教室通級生)  
平成30年10月23日(火) 8名
- 福島市教育委員会教育研修課  
(ふれあい教室通級生)  
平成30年10月26日(金) 8名
- 二本松市立渋川小学校(1年生)  
平成30年11月15日(木) 12名

##### イ 先生と考える美術館ミーティング

小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞指導について講座を開催する福島県教育センターと連携しながら、学校における美術館の活用方法を考える。平成30年度も昨年度に引き続き、前期(福島県教育センター)後期(県立美術館)の2回に分けて開催した。

日時：前期 平成30年8月17日(金)13時～14時5分  
講義・演習「学校と美術館の連携活動についてⅠ」  
大北 孝(当館学芸員)

日時：後期 平成30年10月25日(木)10時～15時45分  
講義・演習「学校と美術館の連携活動についてⅡ」  
演習「鑑賞用教材を活用した鑑賞活動Ⅰ・Ⅱ」

橋本 淳也(福島県教育センター指導主事)、  
大北 孝・白木 ゆう美(当館学芸員)

参加者：小学校教諭2名、中学校教諭2名、  
高等学校教諭5名 合計9名

#### (5) 美術館への年賀状展

県内の小中高校生から寄せられた手作り年賀状を全てエントランスホールに展示した。

会期：平成31年1月12日(土)～31日(木)

応募総数：469通 観覧者数：約610名

#### (6) 博物館実習

学芸員資格取得のため実習を希望する大学生を受入れ、カリキュラムを組んで指導している。

日時：平成30年8月21日(火)～26日(日)

受講者数：4名

#### (7) 友の会、協力会との連携事業

ア 福島県立美術館友の会 通常総会の開催

日時：平成30年5月20日(日) 美術館講義室

参加者：18名 伊藤 匡(当館専門員) 参加

イ ポーラコレクション展ボランティア

友の会有志を中心とするメンバーが、会期中の土日、荷物一時預かり及び観光紹介のボランティア活動を行った。

参加者：会期中の土日13回 参加者延べ72名

ウ ワークショップマート ～ものづくりの庭～  
＜NPO 法人福島県立美術館協力会との共催＞  
漆作家や自家焙煎珈琲店、綿花農家など様々な異業種事業者が当館収蔵作品をテーマに「もの作りワークショップ」を美術館庭園にテントを設置した。当日、友の会有志が、参加者への案内、無料観覧日の美術館常設展示の紹介等のボランティア活動を行った。

日時：平成30年9月17日(月)

10時～15時 美術館庭園

参加者：約 1,500 名

エ 友の会研修旅行

日時：平成 30 年 10 月 13 日(土)

友の会研修旅行：岩手県立美術館、深沢紅子野の花美術館、花巻市宮沢賢治記念館

酒井 哲朗(名誉館長)、早川 博明(館長)、伊藤 匡(専門員)ほか 参加者数 45 名

オ 友の会実技講座「ドライポイントで表現する」

講師：大北 孝(当館学芸員)

日時：平成30年10月20日(土) 実習室

参加者：9名

カ アート チャリティ バザー

友の会会員や美術館関係者が美術工芸品、美術図書、図録、ミュージアムグッズなどを持ち寄り、安い価格で販売する。収益金によって、ポータブル・マイクセットを購入して、美術館に寄付した。

日時：平成30年12月2日(日) 9時30分～13時

場所：美術館エントランスホール

参加者：約 200 名

キ ミュージアム・コンサート「チェロで奏でるクラシック&スクリーン・ミュージック」

＜NPO 法人福島県立美術館協力会、福島県立美術館友の会との共催＞

日時：平成 31 年 3 月 3 日(日) 14 時～15 時 30 分

場所：美術館エントランスホール

演奏：斎藤 静(チェロ)、富田 一夫(キーボード)、中川 英治(ベース)、

参加者：約 200 名

ク 触って話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ「佐藤玄々の動物たちを楽しもう」

＜NPO 法人福島県立美術館協力会との共催＞

福島の彫刻家・佐藤玄々の動物彫刻を取り上げ、視覚障がい者の方と晴眼者の方と一緒に作品鑑賞をした。様々な彫刻の素材(木、ブロンズなど)に触れる、木を彫る際の音を聞く、匂いを嗅ぐ、のみ跡に触れるなどした。その後、玄々作品に実際に触れながら、みんなで話しながら作品を楽しんだ。

日時：平成 30 年 11 月 3 日(土・祝)

10 時 30 分～12 時、14 時～15 時 30 分

場所：実習室、企画展示室

講師：宮坂 慎司(筑波大学芸術系助教)

協力：半田 こづえ(明治学院大学非常勤講師)

真下 弥生(ルーテル学院大学非常勤講師)

参加者：午前/4名 午後/4名

ケ アートカード『ぼけっとアート』貸出

平成29年4月から当館所蔵作品80点をカード形にした鑑賞補助教材『ぼけっとアート』の貸出をはじめた。

小学校、中学校、高校、その他教育関係機関を含め貸出総数 105 か所、489 セット

## (8) その他の事業

ア 福島県立図書館との連携事業「アートなおはなし会」  
「がたん ごとん で でかけよう」

幼稚園児・小学生とその保護者を対象にした、図書館の「よみきかせ」と美術館展示室及び実習室の「鑑賞と工作のワークショップ」

日時：平成 30 年 7 月 21 日(土)

場所：福島県立図書館、福島県立美術館

参加者：23 名

イ 「中学生ドリームアップ事業」職場体験活動

平成 30 年 7 月 3 日(火)～6 日(金)

福島市立福島第四中学校 2 年生 1 名

福島市立岳陽中学校 2 年生 3 名

福島市立北信中学校 2 年生 1 名

福島市立西根中学校 2 年生 2 名

福島市立信夫中学校 2 年生 3 名

ウ 委員等

・いわき市立美術館収集評価委員(荒木 康子学芸課長)

・「新しいAIZUの美術展」選考委員

(荒木 康子学芸課長)

・郡山市立美術館協議会委員(荒木 康子学芸課長)

・宇都宮美術館美術作品等収集評価委員

(増渕 鏡子専門学芸員)

・相馬市史調査編さん委員(増渕 鏡子専門学芸員)

・須賀川市歴史文化基本構想策定委員

(増渕 鏡子専門学芸員)

・須賀川市文化財保護審議会委員

(増渕 鏡子専門学芸員)

・一般財団法人可月亭庭園美術館評議員

(増渕 鏡子専門学芸員)

・福島市写真美術館運営委員(堀 宜雄専門学芸員)

・西会津国際芸術村公募展審査員

(坂本 篤史副主任学芸員)

・第 37 回福島県高等学校文化祭写真展審査委員

(坂本 篤史副主任学芸員)

エ 寄稿、発表、受賞等

・福島大学行政政策学類「博物館教育論」講師

平成 30 年 4 月 8 日(火)～7 月 24 日(火)全 15 回

(伊藤 匡専門員)

・可月亭庭園美術館オープン記念トークイベント

「地域小美術館の役割について」

平成 30 年 5 月 19 日(土)(増渕 鏡子専門学芸員)

- ・鹿沼市立川上澄生美術館「斎藤清と川上澄生」展記念講演会  
「斎藤清と川上澄生 それぞれの故郷」  
平成30年10月27日(土) (荒木 康子学芸課長)
- ・喜多方市美術館トークイベント  
「福島県内の美術をめぐる動き-大正時代」  
平成30年11月4日(土) (増渕 鏡子専門学芸員)

- ・福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ講座  
「相馬出身！生誕130年佐藤玄々(朝山)展を前に」  
平成30年10月12日(金)  
(坂本 篤史副主任学芸員)
- ・第1回図工・美術セミナーin東北「実践 福島県立美術館アートカード」  
平成30年12月1日(土) (白木 ゆう美学芸員)

## 第14節 福島県立博物館

### 1 概要

福島県立博物館は、資料収集・展示・調査研究・教育普及事業を中心に、内容の充実を図っている。平成30年度の博物館活動の概要は次のとおりである。

#### (1) 運営協議会

博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

##### ア 運営協議会委員

学校教育及び社会教育の関係者並びに学識経験のある者10名に委嘱している。平成13年1月からは、委員の選考に一部公募方式を導入した。

|       |         |                        |
|-------|---------|------------------------|
| 学校教育  | 鈴木 充子   | いわき市立勿来第一小学校校長         |
|       | 和田 節子   | 飯館村立飯館中学校校長            |
|       | 湯田 重哉   | 会津学鳳高等学校校長             |
| 社会教育  | 杉 昭重    | 公益財団法人福島県文化振興財団理事長     |
|       | 遠藤 喜一   | いわき市立中央公民館長            |
| 学識経験者 | 佐藤 彌右衛門 | 合資会社 大和川酒造店代表社員        |
|       | 長尾 修    | 博物館友の会幹事長              |
|       | 秋月 順子   | 会津若松市教育委員会委員           |
|       | 大友 靖子   | 福島県家庭教育インストラクター連絡協議会理事 |
| 公 募   | 山口 昴太郎  | 棚倉町文化団体連絡協議会会長         |

##### イ 会議

- 第1回 平成30年9月19日(水)  
議題 ①副会長の選出について  
②平成30年度事業計画について  
③福島県立博物館第2期中期目標について
- 第2回 平成31年2月20日(木)  
議題 ①平成31年度事業計画について  
②第二期中期目標(11月末現在)について  
③福島県立博物館の使命の改正と第3期中期目標の設定について

### 2 資料収集事業

#### (1) 収集展示委員会

##### ア 収集展示委員会委員

館の収集資料、企画展の計画等についての審議のため、12人を委嘱している。

#### 福島県立博物館収集展示委員会 委員名簿

| 氏 名   | 役 職 名                         | 備 考  |
|-------|-------------------------------|------|
| 有賀 祥隆 | 東北大学名誉教授・東京藝術大学客員教授           | 委員長  |
| 野沢 謙治 | 郡山女子大学短期大学部文化学科教授             | 副委員長 |
| 入間田宣夫 | 一関市博物館館長                      | 委員   |
| 大石 雅之 | 岩手県立博物館研究協力員、東北大学総合学術博物館協力研究員 | 委員   |
| 岡田 清一 | 東北福祉大学大学院嘱託教授                 | 委員   |
| 佐々木利和 | 北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授        | 委員   |
| 原田 一敏 | 東京藝術大学大学美術館教授                 | 委員   |
| 三上 喜孝 | 国立歴史民俗博物館准教授                  | 委員   |
| 村川 友彦 | 福島県史学会会長、元福島県歴史資料館課長          | 委員   |
| 柳田 俊雄 | 東北大学名誉教授、東北大学総合学術博物館協力研究員     | 委員   |
| 玉川 一郎 | 福島県考古学会会長                     | 委員   |
| 北野 博司 | 東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科 教授         | 委員   |

##### イ 会議

平成30年7月13日(金)

- 議題 ①今後3年間の展示計画について  
②令和元年度・令和2年度開催予定企画展等について  
③購入資料について  
④寄贈資料について  
⑤その他

#### (2) 受贈・受託

##### ア 歴史資料

##### (ア) 受 贈

|             |    |    |
|-------------|----|----|
| 松平容保写真ほか    | 2件 | 個人 |
| 松平頼子筆観音図ほか  | 2件 | 個人 |
| 帝国在郷軍人会員証ほか | 3件 | 個人 |
| 若松県記録       | 1件 | 個人 |
| 出征祈願写真      | 1件 | 個人 |

|            |    |    |  |
|------------|----|----|--|
| (イ) 受託     |    |    |  |
| 戊辰戦争図巻     | 1件 | 個人 |  |
| 藤田剛夫妻結婚式写真 | 1件 | 個人 |  |
| 葦名盛氏書状     | 1件 | 個人 |  |
| 野矢常方和歌書    | 1件 | 個人 |  |
| 金戒光明寺図ほか   | 5件 | 個人 |  |
| 河原田家文書     | 1件 | 個人 |  |
| 福島県名士肖像録ほか | 5件 | 個人 |  |

イ 美術資料

(ア) 受贈

|                |     |    |  |
|----------------|-----|----|--|
| 富士に海浜蒔絵でんぶ台    | 1件  | 個人 |  |
| 刀 銘陸奥會津臣藤原道辰ほか | 2件  | 個人 |  |
| 角皿ほか           | 14件 | 個人 |  |
| 朱塗大盃           | 1件  | 個人 |  |
| 三. 一一之記        | 1件  | 個人 |  |
| 文人画指導教書ほか      | 2件  | 個人 |  |
| 江戸時代農業絵図ほか     | 4件  | 個人 |  |
| 『百壽体』掛軸        | 1件  | 個人 |  |
| 詩書屏風(徐晏波筆)     | 1件  | 個人 |  |
| 美人図屏風ほか        | 3件  | 個人 |  |
| 詩書「海内存知己」ほか    | 9件  | 個人 |  |
| 佐竹永海「紫式部図」ほか   | 18件 | 個人 |  |

(イ) 受託

|              |    |     |  |
|--------------|----|-----|--|
| 石井柏亭筆「長尾柳涯像」 | 1件 | 個人  |  |
| 蒔絵太鼓形香炉      | 1件 | 個人  |  |
| 松平容保使用漆器ほか   | 2件 | 妙国寺 |  |

ウ 民俗資料

(ア) 受贈

|              |     |    |  |
|--------------|-----|----|--|
| 「鼠除御守護」札ほか   | 14件 | 個人 |  |
| 衣桁ほか         | 5件  | 個人 |  |
| オシンメイサマ      | 1件  | 個人 |  |
| 年祝い記念お盆ほか    | 5件  | 個人 |  |
| 職人巻物(番匠巻物)ほか | 3件  | 個人 |  |
| 小荒井豊山筆「製鋸図」  | 1件  | 個人 |  |
| ゆかた染見本       | 1件  | 個人 |  |
| 行火ほか         | 5件  | 個人 |  |
| 上棟式の屋羽根      | 1件  | 個人 |  |
| 上棟式の屋羽根ほか    | 4件  | 個人 |  |
| イロほか         | 3件  | 個人 |  |
| 婚礼用着物        | 1件  | 個人 |  |
| 鋸            | 2件  | 個人 |  |
| 郷土玩具類        | 1件  |    |  |

福島県ハイテクプラザ  
会津若松技術支援センター

|       |     |    |  |
|-------|-----|----|--|
| 鋸ほか   | 40件 | 個人 |  |
| 館へらほか | 10件 | 個人 |  |
| ニシン鉢  | 1件  | 個人 |  |
| こづゆ椀  | 1件  | 個人 |  |

エ 考古資料

(ア) 受贈

|          |    |  |          |
|----------|----|--|----------|
| 古墳時代胡服ほか | 2件 |  |          |
|          |    |  | 中島村教育委員会 |

オ 自然資料

(ア) 受贈

|                                |        |    |  |
|--------------------------------|--------|----|--|
| 会津若松市湊町大字東田面字赤崎産植物化石<br>(上三寄層) | 1件     | 個人 |  |
| 化石                             | 1,079件 | 個人 |  |

カ 震災遺産

(ア) 受贈

|                 |     |    |                  |
|-----------------|-----|----|------------------|
| 放射線量計測記録ほか      | 91件 |    |                  |
|                 |     |    | いいたてまでの会         |
| 放射能検査報告書(贈答用モモ) | 1件  | 個人 |                  |
| 旧エネルギー館関連資料     | 16件 |    |                  |
|                 |     |    | 東京電力ホールディングス株式会社 |
|                 |     |    | 福島復興本社           |
| 看板(スクリーニング)ほか   | 5件  |    |                  |
|                 |     |    | 福島県立若松商業高等学校     |

(イ) 受託

|     |    |    |  |
|-----|----|----|--|
| 和太鼓 | 2件 | 個人 |  |
|-----|----|----|--|

(3) 購入

ア 歴史資料

|       |    |  |  |
|-------|----|--|--|
| 戊辰戦争図 | 2幅 |  |  |
|-------|----|--|--|

イ 民俗資料

|                                          |    |  |  |
|------------------------------------------|----|--|--|
| 民俗文化映像研究所 映像民俗学<br>シリーズ DVD「日本の姿(第3・4集)」 | 1件 |  |  |
| 食品サンプル(こづゆ、棒鱈煮ほか)                        | 4件 |  |  |

ウ 自然資料

|                    |    |  |  |
|--------------------|----|--|--|
| 現生貝類標本(アラフラオオニシほか) | 7件 |  |  |
|--------------------|----|--|--|

エ 図書資料

(ア) 一般図書

考古分野 19冊、民俗分野 20冊、歴史分野 10冊、  
美術分野 17冊、自然分野 22冊、保存分野 12冊、  
震災遺産 31冊 計 131冊

(イ) 定期刊行物

定期刊行物リスト (平成31年3月31日現在)

| No. | 定期購読雑誌        | 分野 |
|-----|---------------|----|
| 1   | 考古学研究         | 考古 |
| 2   | 宗教研究          | 民俗 |
| 3   | 民具研究          | 民俗 |
| 4   | ナショナルジオグラフィック | 共通 |
| 5   | 第四紀研究         | 自然 |
| 6   | ヒストリア         | 歴史 |
| 7   | 考古学雑誌         | 考古 |
| 8   | 日本民俗学         | 民俗 |
| 9   | 信濃            | 共通 |
| 10  | ミューゼ          | 共通 |

| No. | 定期購読雑誌    | 分野   |
|-----|-----------|------|
| 11  | 史林        | 共通   |
| 12  | 史学雑誌      | 歴史   |
| 13  | 歴史評論      | 歴史   |
| 14  | 地方史研究     | 歴史   |
| 15  | 日本史研究     | 歴史   |
| 16  | 日本歴史      | 歴史   |
| 17  | 歴史学研究     | 歴史   |
| 18  | 美術手帳      | 美術   |
| 19  | 芸術新潮      | 美術   |
| 20  | 国華        | 美術   |
| 21  | 古代文化      | 考古   |
| 22  | 文化財発掘出土情報 | 考古   |
| 23  | 考古学ジャーナル  | 考古   |
| 24  | 季刊考古学     | 考古   |
| 25  | 日経サイエンス   | 自然   |
| 26  | 科学        | 自然   |
| 27  | 化学        | 保存科学 |
| 28  | 海洋        | 自然   |
| 29  | 地球        | 自然   |
| 30  | 月刊文化財     | 共通   |
| 31  | たくさんのふしぎ  | 共通   |
| 32  | ニュートン     | 共通   |

#### (4) 制作

震災遺産

震災遺産牧場牛舎柱（複製） 1件

### 3 保存管理事業

#### (1) 資料の収集

##### ア 博物館資料

資料受入れ時点における収集資料件数の、現在までの累計を示す。件数は概数であり、「一括」で受け入れた資料も1件と数える。

収集資料数（平成31年3月31日現在）

| 分野   | 件数      | 備 考                |
|------|---------|--------------------|
| 考古   | 20,232  | 土器・石器・金属器ほか        |
| 民俗   | 13,616  | 生活・生業・交通・信仰・芸能用具ほか |
| 歴史   | 22,205  | 書籍・文書資料ほか          |
| 美術   | 6,626   | 絵画・彫刻・工芸資料ほか       |
| 自然   | 43,441  | 化石・岩石・鉱物ほか         |
| 震災遺産 | 155     | 被災遺物、文書資料、写真ほか     |
| 合計   | 106,275 |                    |

##### イ 図書および映像資料

(ア) 収蔵図書数（平成31年3月31日現在）

考古分野：27,273冊 民俗分野：4,909冊

歴史分野：10,684冊 美術分野：4,430冊

自然分野：17,421冊 保存分野：1,791冊

震災遺産：63冊 その他：55,594冊

合計：120,167冊

(イ) 収蔵映像資料数（平成31年3月31日現在）

収蔵映像資料総数：1,373点

#### (2) 登録・整理

##### ア 資料管理システムの運用

平成25年度中に、それまでのサーバークライアント方式による資料管理システムに換えて、新たにASP方式の博物館資料管理専用システムである早稲田システム開発株式会社製 I.B. Museum SaaS を導入した。新システムは県教育委員会のFKS回線を介してインターネットに接続した端末パソコンより使用するものとし、それまで使用してきた資料管理システム専用LAN回線はFKS回線に一本化した。

新システムでは多数のデータの一括登録や一括修正が可能となり、また、経年的なランニングコストが削減された。更に、インターネット上での資料情報の外部公開が可能となった。

資料管理システム本来の目的である資料の登録および資料情報の外部公開に関しては運用が軌道に乗り、各種登録作業などがほぼ順調に進められるようになった。しかし運用が本格化するにつれ、使用中に発見される書式や登録方法の設定ミス等は引き続き散見され、これらはそのつど修正に努めており、自力で修正できないものについては内容を書き出して、一括して早稲田システムに修正を依頼する必要がある。また、有償の改修が必要な一部項目の再構成については、予算措置を待って改修する予定である。

##### イ 資料の登録・資料情報の外部公開

整理が終了した資料のデータを資料管理システムに入力し、資料の登録を行った。表中の数値は登録済み資料の件数を示す。また、システムの資料情報外部公開機能を使用し、インターネット上で公開する所蔵資料情報を新たに追加した。前年度に続き平成30年度も収蔵資料の登録数および資料情報の外部公開ともに中期目標の評価指標を達成した。ただし各分野により達成度にばらつきが見られる。引き続き資料情報の外部公開において検索機能をより使いやすく改良することが望まれるが、システムがASP方式であるため実施可能な修正に制限があり、相当の工夫と時間が必要となる。

## 平成30年度収蔵指定文化財一覧

(平成31年3月31日現在)

| 連番 | 指定者 | 指定種別  | 資料種類 | 指定番号 | 資料名                    | 点数  | 単位 | 備考         |
|----|-----|-------|------|------|------------------------|-----|----|------------|
| 1  | 国   | 重要文化財 | 絵画   | 1903 | 絹本著色阿弥陀二十五菩薩来迎図        | 1   | 幅  | 館蔵         |
| 2  | 国   | 重要文化財 | 絵画   | 6    | 紙本著色蒲生氏郷像              | 1   | 幅  | 寄託         |
| 3  | 国   | 重要文化財 | 工芸品  | 2065 | 銅鉢                     | 2   | 口  | 指定4口中の2口寄託 |
| 4  | 国   | 重要文化財 | 工芸品  | 2187 | 椿彫木彩漆笈                 | 1   | 背  | 館蔵         |
| 5  | 国   | 重要文化財 | 工芸品  | 981  | 白銅三鈷杵                  | 1   | 点  | 寄託         |
| 6  | 国   | 重要文化財 | 工芸品  | 2055 | 刺繡阿弥陀名号掛幅              | 1   | 幅  | 寄託         |
| 7  | 国   | 重要文化財 | 考古資料 | 352  | 会津大塚山古墳出土品             | 一括  |    | 寄託         |
| 8  | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 7    | 絹本著色仏涅槃図・如意輪観音像・愛染明王像  | 3   | 幅  | 寄託         |
| 9  | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 10   | 絹本著色松平楽翁像              | 1   | 幅  | 館蔵         |
| 10 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 25   | 絹本著色達磨図                | 1   | 幅  | 寄託         |
| 11 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 26   | 絹本墨画著色寒山図・絹本墨画著色拾得図    | 2   | 幅  | 寄託         |
| 12 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 9    | 絹本著色十六善神像              | 1   | 幅  | 寄託         |
| 13 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 3    | 紙本著色千葉妙見寺縁起            | 2   | 巻  | 寄託         |
| 14 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 13   | 絹本著色名体不離阿弥陀画像          | 1   | 幅  | 寄託         |
| 15 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 27   | 絹本著色熊野曼陀羅図             | 1   | 幅  | 寄託         |
| 16 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 28   | 絹本著色普賢菩薩像              | 1   | 幅  | 寄託         |
| 17 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 2    | 紙本著色両界種子曼荼羅            | 2   | 幅  | 寄託         |
| 18 | 福島県 | 重要文化財 | 絵画   | 6    | 絹本著色土津神社霊神画像           | 1   | 幅  | 指定9幅中の1幅寄託 |
| 19 | 福島県 | 重要文化財 | 彫刻   | 4    | 木造大日如来坐像               | 1   | 軀  | 寄託         |
| 20 | 福島県 | 重要文化財 | 彫刻   | 29   | 木造地藏菩薩坐像               | 1   | 軀  | 寄託         |
| 21 | 福島県 | 重要文化財 | 彫刻   | 81   | 銅造聖観音菩薩立像(羽黒山湯上神社)     | 1   | 軀  | 寄託         |
| 22 | 福島県 | 重要文化財 | 彫刻   | 23   | 銅造聖観音菩薩立像(福聚寺)         | 1   | 軀  | 寄託         |
| 23 | 福島県 | 重要文化財 | 工芸品  | 58   | 銅鉢                     | 1   | 口  | 寄託         |
| 24 | 福島県 | 重要文化財 | 工芸品  | 55   | 青磁牡丹唐草文大瓶              | 1   | 口  | 寄託         |
| 25 | 福島県 | 重要文化財 | 工芸品  | 18   | 鉄製釣燈籠                  | 1   | 箇  | 寄託         |
| 26 | 福島県 | 重要文化財 | 工芸品  | 40   | 十一面観音版木                | 1   | 枚  | 寄託         |
| 27 | 福島県 | 重要文化財 | 工芸品  | 42   | 刺繡阿弥陀三尊来迎掛幅            | 1   | 幅  | 寄託         |
| 28 | 福島県 | 重要文化財 | 工芸品  | 53   | 大名家婚礼調度等               | 47  | 件  | 寄託         |
| 29 | 福島県 | 重要文化財 | 書跡   | 8    | 紙本墨書猪苗代兼載書八代集秀逸        | 1   | 巻  | 寄託         |
| 30 | 福島県 | 重要文化財 | 書跡   | 10   | 相馬家系図                  | 1   | 巻  | 寄託         |
| 31 | 福島県 | 重要文化財 | 典籍   | 3    | 家世実紀                   | 277 | 冊  | 館蔵         |
| 32 | 福島県 | 重要文化財 | 古文書  | 10   | 築田家文書                  | 一括  |    | 寄託         |
| 33 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 35   | 流廃寺跡出土金銀象嵌鉄剣           | 1   | 口  | 寄託         |
| 34 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 1    | 福島信夫山出土品               | 一括  |    | 館蔵         |
| 35 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 14   | 金銅製双鱼袋金具               | 2   | 枚  | 館蔵         |
| 36 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 21   | 原山1号墳出土埴輪              | 一括  |    | 館蔵         |
| 37 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 28   | 常世原田遺跡出土品              | 一括  |    | 館蔵         |
| 38 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 2    | 田村山古墳出土品               | 一括  |    | 寄託         |
| 39 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 46   | 相馬・双葉地方の弥生時代石器         | 一括  |    | 館蔵         |
| 40 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 23   | 松野千光寺経塚出土品             | 一括  |    | 寄託         |
| 41 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 20   | 五職神経塚出土銅製経筒 附 石製外容器 3口 | 3   | 口  | 寄託         |
| 42 | 福島県 | 重要文化財 | 考古資料 | 33   | 森北1号墳出土品               | 一括  |    | 寄託         |

| 連番 | 指定者 | 指定種別    | 資料種類 | 指定番号 | 資料名             | 点数  | 単位 | 備考         |
|----|-----|---------|------|------|-----------------|-----|----|------------|
| 43 | 福島県 | 重要文化財   | 考古資料 | 40   | 荒屋敷遺跡出土品        | 一括  |    | 寄託         |
| 44 | 福島県 | 重要文化財   | 歴史資料 | 4    | 絹本著色恵日寺絵図       | 1   | 幅  | 寄託         |
| 45 | 福島県 | 重要文化財   | 歴史資料 | 5    | 陸奥国会津城絵図        | 1   | 鋪  | 館蔵         |
| 46 | 福島県 | 重要文化財   | 歴史資料 | 15   | 絹本著色飯豊山山道絵図     | 1   | 巻  | 寄託         |
| 47 | 福島県 | 有形民俗文化財 |      | 16   | 上行合人形           | 368 | 点  | 寄託         |
| 48 | 福島県 | 有形民俗文化財 |      | 3    | (宇内薬師堂) 古絵馬     | 3   | 面  | 指定6面中の3面寄託 |
| 49 | 福島県 | 有形民俗文化財 |      | 31   | 旧修験高橋家所蔵修験資料    | 241 | 点  | 寄託         |
| 50 | 福島県 | 天然記念物   | 化石   | 63   | パレオパラドキシア化石梁川標本 | 1   | 体  | 館蔵         |

登録資料数・資料情報の外部公開数

(平成31年3月31日現在)

| 資料類別   | 登録資料<br>(平成30年度) | 登録資料(累計) | 資料情報の外部公開<br>(平成30年度) | 資料情報の外部公開<br>(累計) |
|--------|------------------|----------|-----------------------|-------------------|
| 考古資料類  | 0                | 12,130   | 0                     | 3,532             |
| 民俗資料類  | 219              | 14,470   | 1,003                 | 4,408             |
| 歴史資料類  | 4,236            | 45,704   | 3,468                 | 11,988            |
| 美術工芸品類 | 0                | 6,229    | 0                     | 23                |
| 自然標本類  | 244              | 25,213   | 1,348                 | 11,746            |
| 合計     | 4,699            | 103,746  | 5,819                 | 31,697            |

#### ウ ボランティア

博物館資料の整理のため、次の通り資料整理ボランティアを受け入れ、資料の整理を行った。

##### (ア) 自然資料整理

桑原 功 化石標本整理 16日

星 総一郎 化石標本整理 16日

竹谷 陽二郎 岩石・化石標本整理 5日

##### (イ) 古文書整理

古文書整理ボランティア登録者のうち9名が延べ57日参加し、本田信英家および坂内利子家文書の整理作業(表題・年代・法量などのデータ採取)を行った。終了したのは235点。参加者は五十嵐 晴日子、大堀 義子、小関 栄助、小檜山 裕二、榊原 源法、佐藤 敏子、鈴木 清二、馬場 純、星 弘明の諸氏。

##### (ウ) 民俗資料整理

民俗資料整理ボランティアとして佐々木 長生を登録、月例の収蔵庫資料整理日および山口弥一郎調査資料の研究の資料整理日の作業に参加、資料の整理や情報提供の協力を得ている。

### (3) 貸出

#### ア 博物館資料

##### 貸出資料一覧

| 資料名                                                | 貸出先         | 貸出期間                 | 展覧会名                              |
|----------------------------------------------------|-------------|----------------------|-----------------------------------|
| 松平定信像 1点                                           | 群馬県立歴史博物館   | 平成30年6月26日<br>～9月25日 | 企画展「すごいぞ！江戸の科学—時代を動かした地図・暦・和算の力—」 |
| 浦上玉堂「山林読書図」 1幅<br>浦上玉堂「野橋可立図」 1幅<br>浦上玉堂「青山禅琴図」 1幅 | 渋谷区立松濤美術館   | 平成30年7月1日<br>～10月10日 | 「涯テノ詩聲 詩人 吉増剛造展」                  |
| 武井柯亭筆「御家訓」(当館受託資料) 1幅                              | 高知県立坂本龍馬記念館 | 平成30年7月7日<br>～8月21日  | 企画展「大義と忠誠の戊辰戦争—会津・土佐・三春の幕末明治—」    |

| 資料名                                                                                                                                                                                                                           | 貸出先           | 貸出期間                      | 展覧会名                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------------------|---------------------------------------------------|
| 白河之戦 1点<br>白河城下探索書(当館受託資料) 1点<br>白河官賊宿(当館受託資料) 1点<br>上小屋村絵図(当館受託資料) 1点<br>白河鹿島宮周辺図(当館受託資料) 2点<br>5月26日戦闘図(当館受託資料) 1点<br>暗号(5月19日から)(当館受託資料) 1点<br>暗号(6月24日付)(当館受託資料) 1点                                                       | 白河集古苑         | 平成30年7月<br>～10月           | 特別企画展「戊辰戦争と白河—武士と庶民、それぞれの戦いと慰霊—」                  |
| パレオパラドキシア梁川標本のうち<br>頭骨レプリカ 1点<br>下顎レプリカ 1点<br>左寛骨レプリカ 1点<br>右寛骨レプリカ 1点<br>左大腿骨レプリカ 1点<br>右大腿骨レプリカ 1点<br>歯牙レプリカ 22点                                                                                                            | 山形県立博物館       | 平成30年8月31日<br>～12月14日     | プライム企画展「ヤマガタダイカイギュウ<br>と人魚たち—1千万年、進化のドラマ—」        |
| 木造建築継ぎ手一式                                                                                                                                                                                                                     | 個人            | 平成30年9月7日～8<br>日          | 平成30年度「福島県もりの案内人要請講座」                             |
| 白河市明戸遺跡出土品 69点                                                                                                                                                                                                                | 福島県文化財センター白河館 | 平成30年9月19日<br>～12月17日     | 指定文化財展「白河市天王山遺跡の時代」                               |
| 雑巾 3点<br>南郷のサシコ 1点<br>信玄袋 1点<br>風呂敷 1点<br>コギンキモノ(当館受託資料) 1点<br>コギンキモノ(当館受託資料) 1点<br>刺し子布(当館受託資料) 1点<br>刺し子布(当館受託資料) 1点<br>菱刺し着物(当館受託資料) 1点<br>サキオリジンバ(当館受託資料) 1点<br>サンコジバン(当館受託資料) 1点<br>アットゥシ(当館受託資料) 1点<br>カパラミプ(当館受託資料) 1点 | 小山市立博物館       | 平成30年10月10日<br>～12月26日    | 企画展「糸と布をめぐる手しごとの旅」                                |
| 穴田遺跡出土品(イノシシ形土製品) 1点                                                                                                                                                                                                          | じょーもびあ宮畑      | 平成30年11月22日<br>～令和元年5月31日 | 特別展「福島氏の弥生遺跡」                                     |
| 編み組み細工 巾着袋 2点                                                                                                                                                                                                                 | 個人            | 平成31年2月19日<br>～3月11日      | 編み組み細工製作の調査研究(福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターでの技術指導・支援のため) |
| 連釈之大事(当館常設展借用資料) 1点                                                                                                                                                                                                           | 栃木県立博物館       | 平成31年3月12日<br>～令和元年7月12日  | 企画展「下野の鎌倉街道—道を行き交う人と物—」                           |
| 十二天図旧軸木(恵日寺旧蔵)<br>正徳5年銘 1点<br>正徳6年(二月上旬吉祥)銘 1点                                                                                                                                                                                | 磐梯町磐梯山慧日寺資料館  | 平成31年3月28日<br>～令和元年12月4日  | 常設展示                                              |

#### イ 写真資料

総数：141件 246点

考古：18件 54点 民俗：7件 25点

歴史：87件 131点 美術：28件 35点

#### (4) 保存

収蔵資料を適切に保存するため、収蔵庫および展示室など主要箇所での保存環境の定期調査、新規収蔵資料の生物被害防除を実施している。

##### ア 保存管理

###### (ア) 保存環境調査

常設展示室・収蔵資料展示室・企画展示室、収蔵庫（一時、第1～第6収蔵庫）、エントランスホール、体験学習室、講堂、事務室、会議室、研究室、図書室、空調機械室など主要なスペースの保存環境を調査した。調査項目は、昆虫、空中浮遊菌、付着菌、空中浮遊塵埃数、化学汚染物質、温度、湿度、照度、紫外線強度である。調査期間は、2月1日～3月6日である。平成30年度は常設展示室（部門：考古展示室）の展示ケースを部分改修したため、ケース改修後の化学汚染物質を検査するため、3月7日～14日にかけて調査を実施した。

###### (イ) 生物被害防除

7月に1回、新収蔵資料などを対象にエキシヒュームSを用いた文化財燻蒸を実施し、298件燻蒸処理した。

## 4 展示事業

### (1) 常設展示

総合展示と部門展示からなる。総合展示は、原始から現代までの福島県の歴史を通観し、人々の暮らしを時系列に沿って展示している。原始・古代・中世・近世・近現代・自然と人間の6つのテーマで構成される。部門展示は、テーマ性の高い専門的な展示であり、民俗・自然・考古・歴史美術の展示に分かれる。平成21年度から、常設展示室内においてテーマ展・ポイント展を実施している。

##### ア テーマ展

常設展示室内において、特定のテーマを設定した小・中規模展示を「テーマ展」として実施した。平成30年度が10年目である。全8回実施。うち「野山の宝 化石・鉱物展 一友の会化石・鉱物探検隊第2回成果展」は友の会との共催事業として、「華麗なる島—会津出身の文化人・西川満が愛した台湾、繋いだ日本」は県立博物館と国立台湾文学館の主催事業として、「詩人が見つけたふくしま—吉増剛造が出会った会津、漆」は社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館と埴谷・島尾記念文学資料館との共催事業としてそれぞれ実施した。

###### (ア) 「ふるさとの考古資料7【檜葉町歴史資料館】移動展」

（部門：考古展示室）前年度～平成30年5月20日（日）

###### (イ) 「祈りのふくしま2」 （部門：歴史・美術展示室）

平成30年4月28日（土）～7月8日（日）

###### (ウ) 「野山の宝 化石・鉱物展—友の会化石・鉱物探検隊第2回成果展—」 （エントランス）

平成30年7月10日（火）～8月19日（日）

###### (エ) 「華麗なる島—会津出身の文化人・西川満が愛した台湾、繋いだ日本—」 （部門：歴史・美術展示室）

平成30年7月22日（日）～8月19日（日）

###### (オ) 「うるわしのうるしのうつわ—土の中から—」

（部門：考古展示室）

平成30年8月4日（土）～次年度

###### (カ) 「詩人が見つけたふくしま—吉増剛造が出会った会津、漆」 （部門：歴史・美術展示室）

平成30年10月27日（土）～12月9日（日）

###### (キ) 「けんぱくの宝2018—漆工芸名品選」

（部門：歴史・美術展示室）

平成30年12月22日（土）～平成31年2月3日（日）

###### (ク) 「託されたおもい2018 寄贈・寄託の名品たち—会津漆器コレクション」 （部門：歴史・美術展示室）

平成31年2月16日（土）～3月31日（日）

##### イ ポイント展

常設展示室内において、特定資料の公開を目的とした小規模展示を「ポイント展」として実施した。平成30年度が10年目である。全19回実施。新収蔵・新発見の資料を紹介するポイント展として、「黒船来航を伝える農具」と「魚の化石展」を実施した。

###### (ア) 「戊辰戦争ピックアップ1—西郷頼母の戦略談」

（総合：近現代展示室）

平成30年4月3日（火）～6月1日（金）

###### (イ) 「築城450年 会津の向羽黒山城はどんな城？」

（総合：中世展示室）

平成30年4月3日（火）～9月30日（日）

###### (ウ) 「日本遺産！ 会津三十三観音と御詠歌」

（総合：近世展示室）

平成30年4月3日（火）～平成31年3月31日（日）

###### (エ) 「日本遺産！ 安積疏水ができるまで」

（総合：近現代展示室）

平成30年4月3日（火）～平成31年3月31日（日）

###### (オ) 「ドウってどう使うの？ 魚とりの道具たち」

（部門：民俗展示室）

平成30年4月13日（金）～6月20日（水）

###### (カ) 「戊辰戦争ピックアップ2—磐城の戦い—」

（総合：近現代展示室）

平成30年4月28日（土）～6月1日（金）

###### (キ) 「ジオパーク関連展覧会」 （エントランス）

平成30年4月28日（土）～6月3日（日）

###### (ク) 「戊辰戦争ピックアップ3—戦場のうわさ話—」

（総合：近現代展示室）

平成30年6月2日（土）～7月6日（金）

###### (ケ) 「染型紙の世界」 （部門：民俗展示室）

平成30年6月22日（金）～8月29日（水）

###### (コ) 「只見線のある風景—美しき奥会津・星賢孝写真展」

（展示ロビー）

平成30年7月18日（水）～8月19日（日）

###### (サ) 「戊辰戦争ピックアップ4—会津の戦い—」

（総合：近現代展示室）

平成30年7月7日（土）～8月10日（金）

- (シ) 「2度眠ったパレオパラドキシア」(展示ロビー)  
平成30年7月29日(日)～9月2日(日)
- (ス) 「戊辰戦争ピックアップ5—若松城下の戦い—」  
(総合：近現代展示室)  
平成30年8月11日(土)～9月14日(金)
- (セ) 「黒船来航を伝える農具」(部門：民俗展示室)  
平成30年8月31日(金)～10月24日(水)
- (ソ) 「福島のこけし・東北のこけし」(部門：民俗展示室)  
平成30年10月26日(金)～12月12日(水)
- (タ) 「魚の化石展」(展示ロビー)  
平成30年10月27日(土)～12月2日(日)
- (チ) 「囲炉裏のまわりの道具たち」(部門：民俗展示室)  
平成30年12月14日(金)～平成31年2月28日(木)
- (ツ) 「会津が生んだ知の巨人・山口弥一郎—災害と民俗—」  
(企画展示室)  
平成31年2月16日(土)～次年度
- (テ) 「フタバズキリュウ時代の貝」(部門：自然展示室)  
平成31年3月30日(土)～次年度

## (2) 企画展示

歴史・美術・民俗・考古・自然の各分野が単独もしくは協力し企画した館のオリジナルなテーマに基づいた展示を中心に、会期を設定して開催している。平成30年度は、4本の企画展示を開催した。福島県立博物館は季節毎に年間の展示のコンセプトを設定している。春は、会津をテーマにした展示をとおして会津の魅力や再発見できるような内容。夏は、学校の夏休みの時期に、子どもたちが興味を持ち、家族や親子で楽しめる内容。秋は、福島をテーマにした展示をとおして県民が広く文化や歴史に親しむ機会を提供する内容。

ア 春の企画展「匠のふるさと会津—技と祈りの建築文化誌—」

(ア) 会期 平成30年4月28日(土)～6月24日(日)

開館日数 50日間

(イ) 会場 企画展示室

(ウ) 入館者数 7,047人

(エ) 担当学芸員 民俗分野 内山 大介

(オ) 趣旨

冬は雪に閉ざされる会津地方では、厩中門造りとよばれる曲屋の民家、一人前の職人のみが伝授された巻物、火難除けの呪物や儀礼など、住まいに関する特有の文化が育まれてきた。また職人の技を支えた道具づくりの鍛冶技術も大きな発展を遂げ、鋸鍛冶の中屋や刃物鍛冶の重房一門などの名工を多く輩出している。さらに農閑期に会津から他所へ出ていく「会津茅手」、逆に越後から会津にやって来る「越後大工」のような出稼ぎ職人が生まれ、彼らによって多様な文化も伝えられた。本企画展では、住まいや暮らしを支えた職人に着目し、その技と道具、儀礼や信仰などを通じて会津の建築文化を掘り下げる。またそれぞれの専門家による講演会や古建築の見学会ツアーを開催し、地域の身近な文化への理解を深めてもらう。

(カ) 展示構成

出品点数 168件

I. 木を伐り、家をたてる

山の神の祭祀者ヤマサキや木の伐り出し・加工を職分とするモトヤマ、木を刻み組む番匠(大工)まで、会津に特徴ある建築職人の姿。(主な展示資料：ヤマサキの御幣・木挽き鋸・大工道具・継手仕口模型)

II. 神に祈り、家をまもる

上棟式を中心に家を築き守るための儀礼と信仰を紹介。(上主な展示資料：棟式の矢羽根・大工の巻物、火伏せの呪物、家相図・上棟式の祭壇模型)

III. 会津名工列伝

大工や鍛冶屋など江戸時代から名の知られた会津の名工たちを追う。(主な展示資料：宮大工・山岸喜右衛門関係資料・鋸鍛冶の「中屋」や刃物鍛冶重房一門関係資料)

IV. 屋根葺き集団 会津茅手

県内から関東にかけて多くの茅屋根を葺いてきた会津茅手の功績を振り返る。(主な展示資料：出稼ぎの鑑札・屋根葺き道具・屋根葺き巻物)

V. 越後大工の活躍と会津

会津の民家や寺社などの名建築を生みだした越後大工の足跡をたどる。(主な展示資料：渡部組御用留・間瀬大工関係資料・大宝院不動堂の棟札)

(キ) 関連事業

・記念講演会「奥会津地方の建築儀礼と職人巻物」

日時 平成30年5月20日(日)13時30分～15時

場所 福島県立博物館 講堂

講師 宮内 貴久(お茶の水女子大学教授)

来場者数 80人

・記念講演会「越後大工の会津への旅立ち」

日時 平成30年6月16日(土)13時30分～15時

場所 福島県立博物館 講堂

講師 中村 義隆(新潟郷土史研究会・新潟文化財鑑賞会顧問)

来場者数 88人

・バスツアー「知られざる会津の名建築をたどる」

日時 平成30年5月12日(土)

場所 自在院(会津若松市)・旭長岡観音堂(会津美里町)・旧五十嵐家住宅(会津坂下町)など

講師 小沢 弘道(福島県民俗学会副会長)

参加者数 22名

・体験イベント「親子ものづくり木工体験」

日時 平成30年6月2日(土)10時～16時

場所 福島県立博物館 実習室

講師 会津若松市建築業組合

内容 かんながけ実演、時計づくり、木端で小物づくり、かんな屑の匂い袋づくり

来場者数 130人

・展示解説会

日時 平成30年4月28日(土)・29日(日)、5月6日(日)・13日(日)・26日(土)、6月24日(日)  
いずれも13時30分～

来場者数 88人

(ク) 成果と課題

・テーマと内容

本企画展は会津の職人巻物や火伏せの奉納習俗など、これまで当館が調査研究や展示を通じて蓄積してきた個別のテーマを建築全体のなかでとらえ直すとともに、大工道具づくりの鍛冶職人の技術や近世以来の職人の出稼ぎといった社会的なテーマを新たに掘り起こし、会津の建築文化を総体として提示した内容であった。テーマとしてはやや固い内容であったが、鍛冶職人の文化や越後大工の会津への出稼ぎなどは初公開資料がほとんどで、初めて知ったという来館者からの声が多数あった。

・来場者の内訳と推移

目標は6,000人であったが、来場者数は7,047人、行事等を含めた全体の利用者数は7,464人で、目標を上回った。春の修学旅行シーズンを反映して小中学生の来場が合計4,294人と多く、全体の約6割を占めたが、高校生以下の無料措置に加え、児童・生徒への積極的な展示室への誘導が功を奏した。また本企画展は年間パスポートが導入されて初めての企画展であった。4月1日から閉幕日までで339枚(会期中では222枚)を販売した。有料入館者全体の13%(268人)がパスポート購入者であり、複数回の来場者もみられパスポート導入は一定の効果を上げている。また来場者数の推移をみると、開幕から5月末の前半では来場者数は2,800人ほどであったが、6月に入ってから上昇率が上がり、6月中だけで約4,200人の来場があった。また6月の伸び方は、平日に大きく増えて週末は比較的落ち着くというパターンを繰り返した。いずれも6月の平日に多くの修学旅行生に訪れた結果であり、無料入館者の推移がそのまま入館者全体の推移に影響する結果となった。

・団体による見学と傾向

展示解説会とは別に、公民館や学校など12団体からの依頼を受けて11団体・合計289人への展示解説を行った。特に会津工業高校建築インテリア科や高等職業訓練校など、将来建築関係の職を目指す10代から20代の若年層が団体で来場したことは、展示内容の特色を反映する結果となった。普段の利用者として最も少ない年齢層だが、テーマを絞ったアプローチにより若年層の来館の促進も可能であることを示唆している。さらに介護支援センターからは車椅子の高齢者が来場したが、非常に熱心な観覧行動が印象的であった。民俗分野の展示は自身の経験や記憶を想起しながら観覧できる内容であり、介護施設等への博物館利

用の促進にも可能性を感じさせる。また教育旅行シーズンにあたり学校団体も多く来場した。全263校が来場したが、その内訳は県内35%、県外65%であった。また県外の内訳は宮城が67%、新潟が19%と多い。これまで教育旅行は宮城が多いことは分かっていたが、それに次ぐのが新潟県であるが分かった。一方で、予約した学校の割合をみると宮城県の学校は予約して来場することが多いが、新潟県の学校は予約率が圧倒的に低く、これまで来館の実態が把握できていなかった。県内の内訳は会津32%、中通りは郡山を中心に県中が35%、福島市を中心に県北が23%となり、中通り南部と浜通りは非常に少ない。

・アンケートへの反応

春の行楽シーズンであり、アンケート回答者にも市外・県外からの来場者数が多かった。小中学生を中心に10代からの回答が目立ち、来館目的にも修学旅行を挙げる人が多かった。認知媒体としては従来通りポスターやチラシが多いものの、新聞広告や折込チラシ、新聞記事に多く取り上げられたことが功を奏した。一方でFacebookページは全11回更新し、展示内容の紹介を中心に告知を試みたが、認知媒体としてはあまり効果が現れなかった。自由記述では、会津の鍛冶屋の歴史や越後大工の出稼ぎなどについて、初めて知ったという地元の方々が多くみられた。また特に反響が大きかったのは展示室内で放映した「奥会津の元山と番匠」(当館製作)と「会津の鋸鍛冶」(県農林水産部製作)の映像で、貸出や購入を希望される方が多かった。当館製作の映像については販売して歳入予算に組み込めないか、今後の検討課題である。全体として、「とても満足」「まあ満足」を足した満足度は80%であった。関連行事については、総じて満足度は展示に比べて高い傾向にあった。特にバスツアーは参加無料だったこともあり予約が殺到し、参加した方の満足度も非常に高かった。参加者も申込できなかった方々からも、次回開催を望む声が多数あがっている。

イ 夏の企画展「美しき刃たち—東京富士美術館と福島の名刀—」

(ア) 会期 平成30年7月13日(金)～8月19日(日)  
開館日数 34日間

(イ) 会場 福島県立博物館企画展示室

(ウ) 主催 刀剣展実行委員会(福島県立博物館・福島民報社・福島テレビ)

企画協力 東京富士美術館

後援 福島県、福島県教育委員会、会津若松市、会津若松市教育委員会、会津若松市戊辰150周年記念事業実行委員会、公益財団法人日本美術刀剣保存協会、日本美術刀剣保存協会会津支部

(エ) 入館者数 27,281人

(オ) 担当学芸員 美術分野 川延 安直、小林 めぐみ、塚本 麻衣子

(カ) 趣旨

近年、若い世代からも強い関心を集めている刀剣。これまで、当館においてまとまった数の展示、紹介は行われておらず、本展では東京富士美術館の所蔵品を中心に刀剣の魅力を紹介した。同館が所蔵する平安・鎌倉時代から江戸時代までの優品 19 点、福島県内の資料館・博物館が収蔵する福島県ゆかりの刀剣、刀装具を加えた計 48 件を紹介。各種解説パネルにより、刀剣の美、見所、変遷を理解できる構成とし、関連事業として解説会、トークイベント等を開催、刀剣と福島県の関わりを掘り起こした。

(キ) 展示構成

a 東京富士美術館の名刀

b 福島県内の刀剣、刀装具、現代の刀剣、刀装具

【主な展示品】

東京富士美術館コレクションの刀剣、太刀「銘 一（福岡一文字）」（重要文化財）他、計 18 点  
刀 「銘（葵紋）以南蠻鐵於武州江戸越前康継」（佐藤彦五郎新選組資料館蔵）

福島県内の刀剣・刀装具・甲冑 計 55 点（主な出品館：鶴ヶ城天守閣郷土博物館、南相馬市博物館、須賀川市立博物館、白河市歴史民俗資料館、三春町歴史民俗資料館、二本松市歴史資料館）

(ク) 関連事業

・テープカット

日時 平成 30 年 7 月 13 日（金） 9 時 30 分～9 時 45 分  
会場：福島県立博物館 エントランスホール

・展示解説会「刀剣展の見方・はじめの一步（1）」

講師：鴨木 年泰（東京富士美術館学芸員）  
小林 めぐみ（福島県立博物館学芸員）

日時：平成 30 年 7 月 13 日（金） 10 時～11 時

会場：福島県立博物館 企画展示室

・展示解説会「刀剣展の見方・はじめの一步（2）」

講師：鴨木 年泰（東京富士美術館学芸員）  
月山 貞伸（刀匠・月山日本刀鍛錬道場）

日時：平成 30 年 8 月 19 日（日）11 時 30 分～12 時 30 分

会場：福島県立博物館 企画展示室

・体験「鎧を着て見る刀剣展」

講師：YOROI 工房あいつのみなさん

日時：平成 30 年 7 月 21 日（土）13 時 30 分～、  
平成 30 年 7 月 29 日（日）13 時 30 分～

会場：福島県立博物館 エントランスホール、企画展示室

・居合実演

実演者：福島県県道連盟会津居合道部会のみなさん

日時：平成 30 年 7 月 15 日（日）11 時 30 分～12 時、  
13 時 15 分～13 時 45 分

平成 30 年 8 月 4 日（土）11 時 30 分～12 時、  
13 時 15 分～13 時 45 分

平成 30 年 8 月 18 日（土）11 時 30 分～12 時、  
13 時 15 分～13 時 45 分

会場：福島県立博物館 エントランスホール

・講演会「古刀再現－日本刀の心－」

講師：藤安 将平（刀匠 藤安将平鍛刀場）

日時：平成 30 年 7 月 15 日（日）14 時 30 分～15 時 30 分

会場：福島県立博物館 講堂

・講演会「ふくしまの刀剣」

講師：渡辺 明（日本美術刀剣保存協会会津支部長）

日時：平成 30 年 7 月 29 日（日）14 時 30 分～15 時 30 分

会場：福島県立博物館 講堂

・シンポジウム「ふくしま刀剣自慢」

講師：二上 文彦（南相馬市博物館学芸員）

四家 久央（いわき市文化財保護審議会委員）

吉田 一（二本松市教育委員会主査）

平田 禎文（三春町歴史民俗資料館副館長）

管野 和恵（須賀川市立博物館学芸員）

内野 豊大（白河市文化財課学芸員）

中岡 進（若松城天守閣郷土博物館学芸員）

日時：平成 30 年 8 月 4 日（土） 14 時～16 時

会場：福島県立博物館 講堂

(ケ) 成果と課題

2 万 7 千人を超える来場者を迎えることができた。折からの刀剣ブームもあり、若い世代の来場者が多かったが、夏休み期間中の開催であったため子ども連れの家族の来場も多かった。関連事業も盛況で、特に居合実演は 8 月 18 日に追加公演を行なった。

東京富士美術館のコレクションの平安時代から江戸時代までの優品の展示により、日本の刀剣の変遷を知ることができる展示となった。また、福島県内の資料館、博物館、個人から福島ゆかりの刀剣、刀装具を借用、展示したことで、県内に残る刀剣の価値を確認できた。また、県内在住の刀匠、鞘師らの作品も展示できたことで、刀剣の文化が現在も継承されていることを紹介できた。

さらに、県内在住の刀匠、日本美術刀剣保存協会会津支部の協力を得たことで、刀剣の手入れの重要性が広く認識された。展覧会の開催が一過性の刀剣ブームに乗ったものではなく、県内の文化財保護の機運醸成に結びついたのは展覧会後も残る重要な成果となった。

ウ 秋の企画展「戊辰戦争 150 年」

(ア) 会期 平成 30 年 9 月 1 日（土）～10 月 14 日（日）

開館日数 38 日間

(イ) 会場 企画展示室

(ウ) 主催 福島県立博物館・新潟県立歴史博物館・仙台市博物館

協力 日本通運株式会社

(エ) 入館者数 17,445 人

(オ) 担当学芸員 歴史分野：阿部綾子・栗原祐斗

(カ) 趣旨

戊辰戦争から 150 年の節目に、東北・新潟の視点から戊辰戦争を捉え直し、奥羽越列藩同盟と強い関わりのある地域に立地する三館が共同企画した展覧会。新潟県立

歴史博物館〔7月14日(土)～8月26日(日)〕、当館、仙台市博物館〔10月26日(金)～12月9日(日)〕の順に開催した。共通のストーリーに関わる基幹資料は三館を巡回させつつ、各館とも独自の地域資料を交えて展示した。当館では会津藩を中心とする福島県の実情を伝える資料を多く出品した。なお三館全体の入場者数は62,119人にのぼった。

(キ) 展示構成

- 序章「開国」
- 第一章「政局」
- 第二章「開戦」
- 第三章「盟約」
- 第四章「展開」
- 第五章「降伏」
- 終章「再起」

出品点数：錦旗・奥羽越列藩同盟旗・会津藩旗など旗類、自筆書状類、錦絵・屏風・白虎隊自刃図など絵画資料類、武器・武具類など210件

(ク) 関連事業

・展示解説会

日時：平成30年9月8日(土)、15日(土)、22日(土)、23日(日)、24日(月)、10月6日(土)、13日(土)  
各回とも13時30分～14時30分

場所：企画展示室

講師：当館学芸員

・記念講演会「戊辰内乱と「官軍」の創造」

日時：平成30年9月16日(日) 13時30分～15時  
場所：講堂

講師：宮間 純一(中央大学文学部准教授)

・記念講演会「仙台藩と奥羽越列藩同盟」

日時：平成30年9月29日(土) 13時30分～15時  
場所：講堂

講師：水野 沙織(仙台市博物館学芸員)

・記念講演会「北越戊辰戦争と会津藩」

日時：平成30年10月14日(日) 13時30分～15時  
場所：講堂

講師：田邊 幹(新潟県立歴史博物館学芸員)

(ケ) 成果と課題

平成30年は戊辰戦争および明治維新から150年であり全国で関連の企画展が計画される中、関連の三館が手を組んだことで、内容を充実させることができた。東北地方を中心としながらも戊辰戦争を総合的に紹介する企画は希少であり注目を集め、全国からの集客につながった。また単なる巡回展ではなく各館でそれぞれ特色(地域色)を加えて展示したため、三会場の制覇をめざすリーダーも獲得できた。ただ総合展としては評価されたが、反面、それぞれの地域の実情を掘り下げきれなかったことが課題である。

展示の工夫としては、実在の会津藩士・渋谷源蔵をナビゲーター役に設定し、ストーリーに臨場感をもた

せたことが好評を得た。また共通図録も売れ行きが好調で、当館では用意した1,200冊程を完売し、三会場全体では年度内に5,000冊近くが売れた。また図録は内容も評価され、日本グラフィックサービス工業会主催の「平成三十年度ジャグラ作品展」業務用印刷部門にて作品展審査会委員長賞(令和元年6月付)を、東大比較文学会 CatalTo 主催の CatalTo2018 にて学術賞(令和元年7月付)を受賞した。しかし予想以上の売れ行きにより、図録は先行する新潟会場及び当館において会期に売り切れ、購入できないお客さまにご迷惑をおかけした。共通図録の発行・販売方法については課題が残った。

当館独自の試みとしては、オリジナルグッズ(クリアファイル)の販売、展示の理解を助ける「戊辰戦争150年ミニガイドブック」の無償配布、外灯フラッグのプレゼント企画などを行い、いずれも人気があった。

エ 秋の企画展「日本のわざと美—重要無形文化財とそれを支える人々—」

(ア) 会期 平成30年11月27日(土)～12月2日(日)

開館日数 32日間

(イ) 会場 企画展示室

(ウ) 入館者数 3,177人

(エ) 担当学芸員 美術分野 小林 めぐみ

(オ) 趣旨

文化庁や全国の美術館・博物館の所蔵品により、「人間国宝」と呼ばれる重要無形文化財の所有者や保持団体の「わざ」と作品の「美」を紹介する展覧会。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、手漉和紙、截金(きりかね)、撥鏝(ぼちる)など、伝統的な工芸技術を高度に受け継ぎつつ、さらに新たな技法・技術や表現を追求し、豊かな感性を注ぎこんだ逸品によって、日本工芸の粋を紹介。また、それらの伝統工芸に関わる道具や材料を製作・生産する選定保存技術も展示。豊かな伝統工芸の土地でもある会津で、日本各地のわざと美をご覧いただく機会とした。

(カ) 展示構成

a 重要無形文化財と所有者・保持団体

—陶芸、漆芸、染織、木竹工、人形、金工、截金、撥鏝、手漉和紙—

富本憲吉作「色絵金銀彩四弁花文八角飾箱」(東京国立近代美術館蔵)等 203件

b 選定保存技術と所有者・保存団体

辻昇楽「上絵具製造工程見本」等 26件

(キ) 関連事業

・講演会「人間国宝とは何か?—守るべき技・伝える美—」

講師：室瀬 和美(漆芸家・重要無形文化財「蒔絵」保持者(人間国宝))

佐々木 正直(群馬県立館林美術館長)

日時：平成30年10月28日(日) 13時30分～15時30分

- ・実演1「芭蕉布の苧績み」  
講師：喜如嘉の芭蕉布保存会のみなさん  
会場：体験学習室
- ・実演2「伊勢型紙の彫り」  
講師：伊勢型紙技術保存会のみなさん  
日時：平成30年12月2日（日）10時～12時  
会場：体験学習室
- ・ワークショップ1「伝統工芸の技を体験1－芭蕉布の糸づくり」  
講師：喜如嘉の芭蕉布保存会のみなさん  
日時：平成30年11月3日（土・祝）  
13時30分～15時30分  
会場：体験学習室
- ・ワークショップ2「伝統工芸の技を体験2－伊勢型紙で年賀状づくり」  
講師：伊勢型紙技術保存会のみなさん  
日時：平成30年12月2日（日）13時30分～16時30分  
会場：体験学習室
- ・展示解説会1  
講師：文化庁担当者  
日時：平成30年10月27日（土）10時～11時  
日時：平成30年11月11日（日）15時～16時  
参加人数：48名
- ・座談会1「福島のからむし・沖縄の芭蕉布」  
日時：平成30年11月4日（日）13時30分～15時30分  
会場：昭和村 旧喰丸小学校
- ・座談会2「喜多方の型紙・伊勢の型紙」  
日時：平成30年12月1日（土）13時30分～15時  
会場：喜多方市 喜多方市立図書館
- ・関連展示1「冠木昭子の会津型」  
会期：平成30年10月27日（土）～12月27日（木）  
会場：けんぱくレストラン
- ・関連展示2「会津のわざと美」  
会期：平成30年10月22日（火）～11月18日（日）  
会場：福西本店  
主催：福島県立博物館・会津若松まちづくり株式会社
- ・ふくにし・けんぱく連携講座「支えるわざ・伝えるくらしー伝統工芸から考える暮らし方・生き方」  
講師：矢澤 源成（三島町長）  
コーディネーター：赤坂 憲雄（福島県立博物館長）  
日時：平成30年11月14日（水）18時30分～19時30分  
会場：福西本店  
主催：会津若松まちづくり株式会社  
企画協力：福島県立博物館

(ク) 成果と課題

文化庁や全国の美術館・博物館の所蔵品により、「人間国宝」と呼ばれる重要無形文化財の保持者や保持団体の「わざ」と作品の「美」を紹介する本展を、平成30年度福島県立博物館の秋の企画展として開催した。福島県での開催は初となった。福島県立博物館が所在する会

津若松市および近隣の会津地域は、伝統工芸の技が豊かに残る地域であり、日々工芸に触れる機会は多い。しかし、これまで本展の開催の機会がなかったのは、福島県から重要無形文化財の認定が出ていないことが遠因としてあったかと思われる。

しかし、当館での開催は、既存の会津および福島の工芸への関心を喚起するとともに、あらためて重要無形文化財、いわゆる人間国宝に認定されている技の高度さと美術表現としてすばらしさを認識していただく機会となったことが、アンケートからも窺えた。

特に、会期中に開催した講演会や実演・ワークショップでは、高い評価を得られ、作品の展示にあわせて、言葉や実演等での体験が伴うことにより、より理解を深めていただくことができた実感している。

特に、芭蕉布と伊勢型紙の実演とワークショップは、それぞれ福島県昭和村のからむし、福島県喜多方市の会津型という地域の類似の工芸と関連づけることで、参加者に親近感をもって参加していただけた上に、両地域の交流の場とすることもできた。

残念ながら、入館者数は多くはなかったが、来場者、参加者の受容の濃度は高いものだったと思われる。

(3) 特集展

特集展は、新しく収集した寄贈・寄託資料を中心に、特定のテーマに基づいて一定の期間開催する展示会である。平成30年度は、第2期中期目標に掲げている次世代ミュージアム機能の充実を図る活動として、冬に開催した。福島県立博物館は、季節毎に年間の展示のコンセプトを設定している。冬は、東日本大震災や復興に関連する内容。

企画展示のように特別の観覧料金を設定せずに、特集展ごとに常設展観覧料で観覧できるか、無料で観覧できるように対応した。

ア 特集展「はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト2017 成果展 アートで伝える考える福島の今、未来 at Fukushima Museum」

(ア) 会期 平成30年3月3日（土）～4月11日（水）

開館日数：34日間（平成30年度の会期9日間）

(イ) 会場 部門 歴史美術展示室・収蔵資料展示室

(ウ) 観覧者数 2,388人（平成30年度の観覧者数711人）

(エ) 担当学芸員 川延 安直・小林 めぐみ・塚本 麻衣子

(オ) 趣旨

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から5年を迎え、その記憶も薄れつつある。しかし、巨大地震と原子力発電所事故が福島に限らない課題であることはこの国の多くの人が共有し続けなければならない課題である。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトは、文化・芸術の視点から2011年以降福島が抱えている課題に向き合ってきた。地域に新たなアートを定着させ、アーティストとともに被災地の記憶をとどめ、未来そのものである子供たちにアートワークショップを通じて触れあってきた。2011年以降の福島を伝え、

ともに考えることを目的に制作されたはま・なか・あいづ文化連携プロジェクトの成果作品を展示。はま・なか・あいづ文化連携プロジェクトの5年間の成果をまとめて公開した。

(カ) 展示構成

岡部昌生「被爆樹×被曝し続ける樹、他」【フロタージュ作品】

岩根愛「Island in my mind, Futaba Mieko and Kichio Ito Shinzan, Futaba, Apr. 2017」【写真作品】等、出品点数約100点

イ 特集展「震災遺産を考えるー災害の歴史と東日本大震災ー」

(ア) 会期 平成30年3月3日(土)～4月11日(水)

開館日数34日間(平成30年度の会期9日間)

(イ) 会場 企画展示室

(ウ) 共催 大熊町、双葉町、浪江町

(エ) 特別協力 久之浜・大久地区復興対策協議会、いわき市立久之浜第一小学校、久之浜大久地区まちづくりサポートチーム、久之浜町商工会、いわき市

(オ) 観覧者数 2,388人(平成30年度の観覧者数711人)

(カ) 担当学芸員 猪瀬 弘瑛、大里 正樹、栗原 祐斗(震災遺産保全チーム)

(キ) 趣旨

ふくしま震災遺産保全プロジェクトは、東日本大震災を「歴史」と位置づけ、震災が産み出したモノや震災を示すバシヨを「震災遺産」と名付けて、収集・保全、そして公開する取り組みを平成26年度から平成28年度まで実施してきた。本展示では、これまでに収集・保全した「震災遺産」と過去に起こった災害に関する資料を合わせて展示し、震災を地域の歴史としてとらえ直した。

(ク) 展示構成

(第1章) 歴史の中の災害

(第2章) 東日本大震災の“歴史”

※出品点数69件 津波堆積物断面剥ぎ取り(小高区、広野町)、浪江・大熊・双葉関連資料、浜風商店街関連資料、久之浜地区町並み模型、久之浜地区案内看板、被災街灯(久之浜)、磐梯山噴火図(各種)、書状(御屋敷普請につき)、九州大悪風津波大破損之事、白亜紀津波化石、ワークショップの成果物など

(ケ) 関連事業

・展示解説会

展示解説会は各回にテーマを設け、企画展示室において当館学芸員を講師として実施した。

解説会「山口弥一郎の見た三陸津波」

講師：震災遺産保全チーム(当館学芸員)

日時：平成30年4月1日(日)11時～11時30分

会場：企画展示室

解説会「古文書から見る災害」

講師：震災遺産保全チーム(当館学芸員)

日時：平成30年4月1日(日)13時30分～14時

会場：企画展示室

解説会「震災遺産が語るコト」

講師：震災遺産保全チーム(当館学芸員)

日時：平成30年4月7日(土)13時30分～14時

会場：企画展示室

ウ 特集展「震災遺産を考える」

(ア) 会期 平成31年2月16日(土)～4月11日(木)

開館日数:47日間(平成30年度の会期38日間)

(イ) 会場 企画展示室

(ウ) 観覧者数 2,786人(平成30年3月31日時点)

(エ) 担当学芸員 平成30年度震災遺産保全チーム

(オ) 趣旨

ふくしま震災遺産保全プロジェクトは、東日本大震災を「歴史」と位置づけ、震災が産み出したモノや震災を示すバシヨを「震災遺産」と名付けて、収集・保全、そして公開する取り組みを平成26年度から平成28年度まで実施してきた。本展示では、これまでに収集・保全した「震災遺産」を展示し、震災に向き合う機会とした。

(カ) 展示構成

第1章 地震と破壊

第2章 混乱と避難

第3章 災害と時間

ソフトウェアで観覧する

親子で震災遺産を考える

図書コーナー

【出品点数】津波痕跡の残る壁紙(南相馬市)他、合計117件(館蔵品、大熊町、富岡町教育委員会、長岡市立中央図書館文書資料室、会津大学、個人から借用品を含む)

(キ) 関連事業

・防災講座「楽しいそなえ」

日時：平成31年2月16日(土)10時30分～12時

会場：実習室

講師：会田 理恵子(にいがた防災ボランティアネットワーク事務局長)

・館長講座「中越大地震が遺したもの」

日時：平成31年2月21日(木)13時30分～15時

会場：実習室

講師：澤田 雅浩(兵庫県立大学大学院准教授)、赤坂 憲雄(福島県立博物館長)

・考古学講座「災害を発掘する ～考古学から見える会津の災害史」

日時：平成31年3月17日(日)13時30分～15時

会場：講堂

講師：荒木 隆(当館学芸員)

・ミニシンポジウム「震災を未来へ継承する」

日時：平成31年3月23日(土・祝)

13時30分～15時30分

会場：講堂

講師：森井 順之(文化庁文化財調査官)

佐藤 公（磐梯山噴火記念館館長）

杉崎 佐保恵（当館学芸員）

・展示解説会 ※各回 30 分程度

日時：平成 31 年 2 月 16 日（土）10 時～、2 月 23 日（土）13 時 30 分～、3 月 9 日（土）15 時～、3 月 10 日（日）14 時 45 分～、3 月 11 日（月）13 時 30 分～（75 分拡大版）、3 月 21 日（木・祝）13 時～、3 月 30 日（土）13 時 30 分～

会場：企画展示室

講師：当館学芸員

(ク) 成果と課題

館長講座、考古学講座を特集展の関連事業として開催して、災害史の教育普及を推進した。

また、平成 31 年 3 月 11 日（月）を臨時開館として展示解説会を実施し、解説会終了後に東日本大震災の犠牲者の方の追悼と復興を祈念して、観覧者とともに黙祷を捧げた。

(4) 指定文化財の公開

平成 30 年度の展示で以下の指定文化財の公開を行った（館蔵・寄託品などは除く）。

ア 国指定

〈重文〉

(ア) 太刀 銘 有綱（古伯耆）一振 東京富士美術館

(イ) 太刀 銘 一（福岡一文字）一振 東京富士美術館

(ウ) 太刀 銘 備前国長船住近景 建武二年五月日 一振 東京富士美術館

（以上、3 件は企画展「美しき刃たち—東京富士美術館コレクションと福島の名刀—」で展示公開）

(エ) 磐城檜葉天神原遺跡出土品のうち 2 点 檜葉町教育委員会（福島県）（総合：原始展示室）

(オ) 磐城檜葉天神原遺跡出土品のうち 92 点 檜葉町教育委員会（福島県）（テーマ展「ふるさとの考古資料 7 【檜葉町歴史資料館】移動展」で展示公開）

(カ) 金銅製双龍双鳥文馨 一面 金剛寺（テーマ展「祈りのふくしま 2」で展示公開）

〈重有文〉

(キ) 「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」2, 333 点のうちのアイ 20 点 只見町教育委員会（福島県）（企画展「匠のふるさと会津—技と祈りの建築文化誌—」で展示公開）

イ 県指定（福島県指定）

(ア) 太刀 銘 陸奥大掾三善長道 延宝三年八月日 一振 土津神社

(イ) 金梨地糸巻太刀拵 一腰 土津神社

(ウ) 太刀 銘 兼友 為直 道辰 長道 兼氏 謹共作 文政十一戊子六月日 一振 土津神社

(エ) 金梨地糸巻太刀拵 一腰 土津神社

(オ) 刀 銘 陸奥會津住下坂為利 延宝三年八月日 一振 土津神社

(カ) 黒漆刀拵 一腰 土津神社

(キ) 刀 銘 若狭守二代目藤原道辰作 一振 土津神社

(ク) 黒漆刀拵 一腰 土津神社

（以上 8 件は、企画展「美しき刃たち—東京富士美術館コレクションと福島の名刀—」で展示公開）

(ケ) 関和久官衙遺跡出土品のうち 2 点 福島県教育委員会（総合：古代展示室）

(コ) 森北 1 号墳出土品のうち 4 点 会津坂下町教育委員会（総合：古代展示室）

(ク) 八槻都々古別神社御正体 一面 八槻都々古別神社（総合：中世展示室）

〈重有文〉

(シ) 「奥会津の屋根葺用具と火伏せの呪具」242 点のうち 13 点 南会津町教育委員会（福島県）

（企画展「匠のふるさと会津—技と祈りの建築文化誌—」で展示公開）

(5) 展示解説

ア 展示解説員

平成 30 年度の展示解説員は 13 名で前年度と変わらなかった。これに加えて前年度と同様に常設展示室内で 2 名分の監視員を委託できる予算を確保したが、展示解説員の増員を図ることができなかった。企画展についても、展示予算の中で監視員 1 名を予算化し、通常の展示解説員 1 名に監視員 1 名を交えた体制で展示室の対応をせざるをえない状況であった。

さらに、企画展開催時には企画展示室の入口のモグリに人数を割かれるなどするため、常設展示室内に対応できる人員が不足する状況が恒常的に続いている。これらの状況に対して、学芸員による解説活動を増やし、定数減の状況を乗り切る対策をとっている。

このような展示解説員の減員により、過去に実施されていた解説員が主となる講座などは、平成 30 年度も実施できない状況であった。

また、展示解説員は来館者に展示を解説・案内することが第一の役割であるが、定数減により展示解説員 1 人で対応しなければならないエリアが広がった関係で十分な解説活動ができない場合が少なくなく、最低限の監視業務を行うので精一杯の状況であることが多かった。きめ細やかな展示解説活動をはじめとしたより質の高い行政サービスを保障するために、展示解説員に対する研修を実施するなど、質的向上に向けた努力を行っているが、展示解説員の人数不足という量的課題については、引き続き検討をしていく必要がある。

展示解説員の業務は、総合ガイダンスと名付けられた受付での来館者への対応をはじめとして展示や館内の業務をよく知っている職員でなければ担当できない内容がほとんどである。現在の減員状況の中でどうにか対応している状況であるが、現在の定数では通常業務を実施する上では限界の状態であり、来館者への解説サービスを考えた場合、定数増が図られなければ、本来の業務にも支障を来す可能性が出てくる。

#### (ア) けんぱくハイライトツアー

展示解説員による常設展の定時解説で、開館 30 周年記念行事としてそれまで実施していた「やさしい展示解説会」をリニューアルさせたものである。原則的に他の行事の入っていない土曜日と日曜日・祝日の午前 11 時、午後 2 時の 2 回開催を基本に実施している。1 回の所要時間は約 30 分。各解説員が独自の解説ルートを開発し、それぞれ展示解説員ごとのテーマで解説会を実施している。平成 30 年度の「けんぱくハイライトツアー」は平成 30 年 4 月 29 日から平成 31 年 3 月 26 日の期間実施した。

＜実施状況＞ 実施日数：68 日  
総参加人数：317 人

#### (イ) 通し解説

不定期的に行われる常設展・企画展の解説。主として来館の個人・団体の要望に応じて展示解説員 1 名が全体を解説するもの。解説員の減員のため、通し解説は困難になってきているが、予約の団体の要望にこたえる形で実施してきていることが多い。

実施回数：51 回

#### (ウ) 部屋送り解説

不定期的常設展・企画展の解説。主として来館する個人の要望に応じ、各展示室の担当として立っている解説員が順に引き継いで解説する。

実施回数：21 回

#### (エ) 体験講座

体験講座などの解説員が主体となって実施する講座は、解説員業務に比して人数が少ないために平成 30 年度も実施されなかった。

ただし、七夕の時期には竹飾り、クリスマスには手製のクリスマスツリー、小正月に合わせての団子飾り、ひな祭りの時期に自作の雛人形の段飾りなど、解説員が自分たちで作ったものを体験学習室内に展示することは継続している。

また、ゴールデンウィークを中心に時代衣装の試着体験に加え、期間限定で甲冑の試着体験も行うなど、体験的な活動の充実を図っている。

#### イ 学芸員

企画展および特集展の開催中は展示解説のために職員を配置する場が増えることになり、展示解説員だけでは解説員の昼休みや休憩時間の減員に対応できない状況であるため、学芸員が代わって展示室に立つことになっている。原則 1 コマ 45 分である。平成 30 年度は年間で 285 回を数えた。学芸員が展示室に立つことは単なる解説員の肩代わりではなく、実際に展示室に立つことにより得るもの、気づくものが多かったが、通常業務とのバランスの点で今後の検討が必要である。

また、企画展、テーマ展、特集展については、公民館、研究団体などからの依頼に応じて、担当分野の学芸員が展示解説を実施した。

#### ウ 展示解説のための資料等

##### (ア) 『今月のおすすめ』

展示室見学の参考とするため、常設展示総合展示室（A～F）の各部屋から月別に 1 点ずつおすすめ資料を選定し、資料に関するキャッチコピーと簡単な紹介を展示室内の表示と常設展入り口にデジタルフォトフレームによる表示を行っている。月別に紹介する資料が変わり、見学するポイントが分かることから、常設展示に対する観覧者の興味・関心を高めることに役立っている。

##### (イ) 福島県立博物館ガイドブック

常設展の展示内容をコンパクトに解説したもの（全 28 ページ）で、館活動についても紹介している。昭和 61 年に発行され、一部改訂をしながら観覧補助資料として有償配布している。

##### (ウ) Fukushima Museum Permanent Exhibition Guide Book

ガイドブックを要約した英文の展示解説パンフレット（全 14 ページ）で、平成 18 年に発行され、一部改訂を行いながら観覧補助資料として、希望する来館者に無償配布している。

#### (6) 体験学習室

エントランスホール隣に設置してある無料で使用できる場所。囲炉裏のついた畳敷きの座敷と木のフローリングの部分がある。昔のおもちゃが用意されていて、自由に遊べるほか、季節ごとに昔の着物を着ることができる。着付けは衣服の上からだがかなり本格的で好評を得ている。また、資料に触れるハンズオンコーナーを常設することで、子どもたちも博物館に親しむことのできる空間作りを目指している。この部屋には展示解説員が常駐し来館者に対応している。

##### ア 衣装

###### (ア) 衣装着付け

体験学習室では季節ごとに入れ替えを行いながら、時代衣装の着付け体験を行っている。着衣のまま着ることのできる衣装であるが、着付けの技術や衣装についての知識を深めるために新任の展示解説員は研修を行うなど、より質の高いサービスを提供できるように努めている。

着付けにはある程度の時間を要するため、多人数の要望には一度に応え難い面もある。しかし、体験希望者は親子連れから若い友人同士のグループまで幅広く、着付けした姿を鏡に映したり、カメラで撮影したりと、楽しんでいる様子が伺える。展示解説員も体験者との会話から、衣装着付けの体験に対する満足度が高いことを実感している。

a 衣装着付け件数 449 件

b 着付けた衣装

春：打掛・直垂

夏：水干・半袴

秋：天武朝女官朝服・推古朝朝服

冬：白拍子・町人旅姿

#### (イ) 衣装展示

春：大工・編綴  
夏：壺装束・武士旅装  
秋：小袖・古墳男子  
冬：大鎧・稚児鎧

#### イ 手作り資料展示

季節に関する手作りの資料を展示した。製作は展示解説員が担当。

7月：七夕飾り / 12月：クリスマスツリー /  
1月：団子さし / 3月：手作り雛人形

#### ウ おもちゃ

畳の上で幼児におもちゃで遊ばせるお母さんや家族連れが多くみられる。壁の引き出しに用意されているおもちゃの利用も多い。ただ、おもちゃの経年劣化に加えて利用者の増加もあり、修理を必要とするおもちゃの数も増えている。

おもちゃの修理：63件

#### エ ハンズオンコーナー

来館者が実際に体感することで、様々な学びを促進するためのコーナー。平成30年度は「土器パズル」（縄文土器の写真を再現するパズル）、「化石にさわろう！」（当館収蔵の様々な化石を実際に手に取ることができるコーナー）、「福島県地図パズル」（各市町村の形を、それぞれの市町村の木で製作してあるパズル）を常設展示として設置した。また、7月～9月にかけては蚊帳を設置し、一昔前の暮らしを体感できるコーナーを作った。特に展示の理解が難しい児童に対する博物館入門コーナーという意図があるが、親子や大人のグループの利用もあり、好評を得ている。

#### (7) リニューアルの検討

リニューアルに向けて、調査・研究を行うためにリニューアル推進チームを設置して活動した。会議は通年で14回実施し、下記の内容について協議した。

##### ア リニューアル基本構想原案の検討

##### イ 「新しい展示室イメージ」の検討と提示

##### ウ 会津大学ソフトウェアスタジオとの連携事業の実施

##### エ 「親子で探検！はくぶつかんのウラ側」の実施

基本構想原案をとりまとめ、平成30年6月に社会教育課への説明を行った。その次の段階として基本計画の作成を予定していたが、大規模な予算をかけたリニューアルをスケジュール化することが現実的に難しいため、次年度から始まる第3期中期目標の中で、できるところから館内の事業・活動の改善を始めることと、将来のリニューアルを想定した新しい展示ストーリーを作って準備しておくという方針を決めるにとどまった。

また、いくつかのケースを想定した「新しい展示室イメージ」をチームの中で作成・検討し、今後の議論のためのたたき台として館内の会議で提示した。詳しい検討は、次年度以後に持ち越され、第3期中期目標の中の重点目標「新しい展示ストーリーの検討」に継承されることになった。

## 5 調査研究事業

### (1) 展示資料調査研究

将来の博物館リニューアルに向けて、新たなる研究成果と展示資料の収集のため、考古・歴史・民俗・美術・自然・保存の各分野がテーマを設定して調査を実施している。平成30年度は、以下の6テーマの調査を実施した。

#### ア 山口弥一郎調査資料の研究

##### (ア) 分野 民俗

##### (イ) 趣旨

山口弥一郎(1902-2000)は旧・新鶴村に生まれ、東北の地理学・民俗学研究に多大な業績を残した。近年では東日本大震災を経て著書『津浪と村』(1943年刊)が復刊され、津波災害と集落移動に関する研究が全国的に注目を集めている。しかし、磐梯山慧日寺資料館(磐梯町)に一括して収蔵されている山口が残した調査ノートや写真、蔵書などは、体系的な整理や目録作成にまで至っていない。本研究では磐梯町の協力のもと、同資料の整理・調査を進めることで、山口弥一郎の調査研究を見直し、人文科学的側面からの災害研究の新しい方向性を探っていく。

##### (ウ) 調査概要

磐梯町と福島県立博物館で昨年度に取り交わした協約書にもとづき、平成30年度も引き続き山口弥一郎旧蔵資料の整理を進めた。調査ノートや文書類の目録化と写真撮影等を進め、またガラス乾板写真のデジタルデータ化を行った。さらに平成30年度はこれまでの成果の一部を公表するため、ミニシンポジウム「山口弥一郎が見た昭和の災害と民俗」とポイント展「会津が生んだ知の巨人・山口弥一郎」を開催し、紀要には「磐梯町所蔵・山口弥一郎旧蔵ノート一解題と目録一」を掲載した。

#### イ 考古資料による原始・古代の画期の再検討

##### (ア) 分野 考古

##### (イ) 趣旨

I 縄文時代後半期から弥生時代初頭とII古墳時代終末期から奈良時代(6世紀末～8世紀)の2つの時期を取り上げ、当館収蔵の当該期の考古資料を中心に取り上げ、資料の有する社会的背景を考察し、本県における原始・古代の時代変遷の画期を検討し考古地域史の確立を目指すものである。

##### (ウ) 調査概要

県内出土古人骨の研究を東京大学と実施し、年代及び同位体のデータを取得した。また、弘前大学との共同研究で、荒屋敷遺跡出土土器片の漆塗膜のクロスセクションを採取し、エックス線分析を実施した。

#### ウ 福島県産中生代軟体動物化石の研究

##### (ア) 分野 自然

##### (イ) 趣旨

福島県内には相馬地方にジュラ系相馬中村層群、いわき地方に白亜系双葉層群という中生代の地層が分布している。これらの地層からはアンモナイトや二枚貝や巻

貝といった軟体動物化石を豊富に産することが知られ、特に近年は地元の化石収集家の努力によって多くの標本が発見されてきた。

しかし、これらの標本については鑑定が不十分なものもあり、論文などで発表されていないものも多い。そこで、これらの中生代軟体動物化石について鑑定内容を確認した上で成果を論文として記録・公表し、当館所蔵標本を充実させることを目指す。また、新たに追加した標本を展示する機会を設け、さらなる標本の発見・評価につなげる。

#### (ウ) 調査概要

産状の比較のため、富岡町の新生代貝化石産地について現地調査を行った。現地調査の際には、特に二枚貝、巻貝の産状を確認、採取した。福島県立博物館に所蔵されているアンモナイト化石について鑑定作業を行った。いわき地方の白亜系双葉層群玉山層から新たに発見した二枚貝化石群集について紀要で報告した。

### エ 戊辰戦争資料の研究

#### (ア) 分野 歴史

##### (イ) 趣旨

平成30年は戊辰戦争から150年の節目であった。そこで、戦争の激戦地となり、日本の歴史が転換する舞台となった本県でも改めて戊辰戦争の意義について問い直すため、戦争の経過及び戦後の復興過程までを対象として3年計画で資料調査を進めてきた。目的は、新たな資料の発掘を行い、平成30年に成果を盛り込んだ企画展を開催することであった。

#### (ウ) 調査概要

研究の最終年となった本年は、平成28・29年度の資料調査の成果を踏まえ、秋の企画展「戊辰戦争150年」を開催した。企画展の概要については該当頁を参照されたい。

### オ 会津の三十三観音めぐりの調査研究

#### (ア) 分野 美術・民俗

##### (イ) 趣旨

会津の三十三観音めぐりは、近世以降、女性を中心に連綿と行われてきた。仏教信仰のみならず、観音講におけるコミュニティ形成や御詠歌など多様な要素を含む非常に重要な文化と言える。その一方で、参加人口の減少などにより、継承が危惧されてもいる。本調査研究では、聞き取り調査等を実施し、会津の信仰文化・民俗を掘り下げ、地域の文化の新たな見直し・活用を目指す。

#### (ウ) 調査概要

会津の三十三観音を構成する観音堂を実際にめぐり、各観音堂の歴史や地域において果たしてきた役割等について現地調査を行い、調査結果を講演会などに活かした。

### カ 災害史の学際的研究と災害史展示の構築

#### (ア) 分野 震災遺産保全チーム

##### (イ) 趣旨

東日本大震災の発生以来、災害史の研究はこれまでで

以上に盛んに行われるようになった。これまで当館では、慶長大地震や磐梯山噴火などに関する資料の収集や会津藩の社倉制の研究、山口弥一郎資料の研究など多様な災害に関わる調査研究を進めてきたが、いずれも個々の分野が断片的に行ってきた活動であった。東日本大震災や原発事故のような大規模災害の経験を後世に語り継いでいくためには、自然史や歴史、民俗、考古、保存科学等の分野が総合的に資料を調査研究していく必要があり、また学際的な見地から歴史上の災害を整理し直し、資料調査を進めたいうで展示に反映していくことも求められる。本研究では東日本大震災と災害史に関する資料の収集や調査研究を分野横断的なチームで進め、将来的な常設展示のリニューアルにおいてそれらを福島県の歴史として位置づけることを目指す。

#### (ウ) 調査概要

牧場牛舎柱の雌型を完成させ、専門業者へ模造品制作を委託した。なお、材料費、調査旅費を予算で賄えなくなったため、調査研究費を取りまとめている担当者の差配により、調査研究費「古墳出土金属製品の現代保存修復と展示公開」の予算を投じた。

当館では平成27年度より、白板や黒板に書かれた文字が故意的に消されないように、文字を定着させる新手法の開発を目指している。平成30年度は、7月に浪江町で基礎調査を実施して、年度末までかけて調査報告書に集約した。処置に用いる材料（修復材料）について、平成30年度は、東京文化財研究所へ技術指導を仰ぎ、合成樹脂素材の画溶液を用いた表面コーティング処置の適性を判断するために、東京文化財研究所にテストピースを作成していただいた。処置による色・質感の変化に対して、分野横断的に検討を重ねたが、各分野の学識による意見はなく、各個人の主観的な感想に留まり、結論に至らなかった。一方で、「修復材料として実績のない材料を用いることは不相当であり、画溶液を修復材料として用いた実績を調査するべき。」との意見があり、当館図書室の蔵書を対象に文献調査を行うことになった。調査対象の文献を抽出して、文献調査を進めている。文献調査の途中ではあるが、平成30年度末の時点で、白板や黒板に書かれた文字の定着に画溶液を用いた処置事例を検出できなかった。

### キ 古墳出土金属製品の現代保存修復と展示公開

#### (ア) 分野 保存科学分野

##### (イ) 趣旨

発掘調査で出土した金属製品は、歴史学上、過去の社会・経済・産業・流通などを考える上で貴重な資料であり、博物館等の収蔵施設での保存・展示のために、クリーニング、埋没環境下で進行した腐食の安定化（脱塩処理）、形態を保つための樹脂含浸、破片の復元等の一連のプロセス（保存処理）が要求される。保存処理の後には、温度、湿度、空気質（金属の腐食促進ガス、塵埃等）、照明等の環境を適切に構築することによって、保存処理

の効果が持続する。

維持管理において、適切な環境構築手法を検討する。

#### (ウ) 調査概要

調査研究費「災害史の学際的研究と災害史展示の構築」の事業費が予算内で収まらなくなったため、調査研究費を取りまとめている担当者の差配により、調査研究費「古墳出土金属製品の現代保存修復と展示公開」の予算を投じることになり、調査を断念せざるを得なかった。

## (2) その他の調査研究事業

### ア 古文書整理事業

古文書類の調査・研究は、福島県の歴史をさぐるために欠かせない。しかし古文書を歴史資料として活用するためには、1点ずつ整理を行い、表題・年代・形態・法量・状態などのデータを採取した上で、博物館資料として登録する必要がある。このため、購入・寄贈・寄託などにより当館で受け入れた古文書の整理・登録作業を行っている。また古文書原本を状態よく保存し後世に伝えていくため、古文書をマイクロ撮影し、原本のかわりに閲覧用に提供している。

平成30年度は、前年度に引き続き安斎勇雄コレクション、浅羽興一家寄贈資料の整理を継続して実施したほか、新たに高橋福江家寄託資料、山川健英家寄託資料、石井健司家寄託資料の整理を行った。また整理が終了した松崎達夫家寄贈資料(若松城下薬種問屋資料)、斎藤美恵子家寄託資料(会津藩土篠澤家資料)、本田徳壽家寄託資料、本田信英家寄託資料を登録し、登録済みだが未公開であった中村栄一・政子コレクションの公開も併せて行った。マイクロ撮影は、前年度に引き続き「築田家追加寄託資料」の撮影を行った。

## (3) 職員の研究活動

### ア 研究成果の公表(職員の氏名あいうえお順)

#### (ア) 印刷物(単行本・自治体史・図録・報告書・紀要・学術雑誌)

阿部 綾子 平成30年7月 企画展図録『戊辰戦争一五〇年』(福島県立博物館、新潟県立歴史博物館、仙台市博物館)

荒木 隆 平成30年3月 「学校支援を中核とした博物館における多様な社会教育活動の実践と展望—学校・博物館・地域・市町村教育委員会の連携を模索して—」『福島県立博物館紀要』第32号 p.1-32 福島県立博物館

荒木 隆 平成31年3月 「子どもたちの学びを支える博物館活動—これまでの実践の総括—」『福島県立博物館紀要』第33号 p.11-26 福島県立博物館

荒木 隆 平成31年3月 「陸奥南部における郡家の地域支配の様相—磐城郡をモデルとして—」『福島県立博物館紀要』第33号 p.27-50 福島県立博物館

猪瀬 弘瑛 平成31年3月 「福島県いわき市入間沢に分布する双葉層群玉山層から産出する二枚貝化石群集」『福島県立博物館紀要』第33号 p.1-10 福島県立博物館

Inose, H., Furuuchi, K., Ito, T., Sashida, K. and Agematsu, S. 2018.10 Radiolarian Fossils from Conglomerate Layers of the Upper Cretaceous Nakaminato Group Exposed Along the Pacific Coast of Ibaraki Prefecture, Central Japan: Staged Denudation of the Mid-Mesozoic Accretionary Complexes in the Kanto District. *Paleontological Research*, vol. 22, 307-325.

Matsui, K., Kimura, Y., Nagata, M., Inose, H., Ikeda, K., Beatty, B., L., Obayashi, H., Hirata, T., Otoh, H., Shinmura, T., Agematsu, S. and Sashida, K. 2018.7 A long-forgotten 'dinosaur' bone from a museum cabinet, uncovered to be a Japan's iconic extinct mammal, *Paleoparadoxia* (Desmostylia, Mammalia). *Royal Society Open Science*, vol. 5, 172441.

内山 大介 平成30年4月 「会津の鍛冶産業と関連資料コレクション」『匠のふるさと会津—一技と祈りの建築文化誌』p.68-73 福島県立博物館

内山 大介・大里正樹・山口拓・辻本侑生 平成31年3月 「磐梯町所蔵・山口弥一郎旧蔵ノート—解題と目録—」『福島県立博物館紀要』第33号 p.79-112 福島県立博物館

内山 大介 平成31年3月 「震災・原発被災と日常／非日常の博物館活動—福島県の被災文化財と『震災遺産』をめぐる—」『国立歴史民俗博物館研究報告』第214集 p.103-129 国立歴史民俗博物館

内山 大介 平成31年3月 「書評 会津の御田植祭調査委員会編『会津の御田植祭』」「書評 赤沼博志『会津手語り 鍛冶屋編』」『福島の民俗』第47号 p.160-163 福島県民俗学会

大里 正樹 平成31年3月 「行事の継承におけるコストとモチベーション—福島県郡山市『笹川のあばれ地蔵保存会』の事例から—」『平成28年度～平成30年度科学研究費助成事業(基盤研究(C))研究成果報告書 民俗文化の継承におけるコストとモチベーションに関する基礎的研究』p.7-24 聖徳大学

大里 正樹 平成31年3月 「新聞記事から見た近年の沖縄の郷友会—一覧」『南島文化』第41号 p.93-103 沖縄国際大学南島文化研究所

大里 正樹 平成31年3月 「書評 東京文化財研究所無形文化遺産部編『かりやど民俗誌 福島県双葉郡浪江町苧宿地区』」『福島の民俗』第47号 p.158-159 福島県民俗学会

菊地 芳朗、藤沢 敦、石橋 宏、平澤 慎 平成31年2月 「宮城県仙台市太白区一塚古墳出土遺物調査報告」『古墳分布北縁地域における地域間交流解明のための実証的研究』p.9-17 福島大学行政政策学類  
高橋 充 平成30年7月 「『陸奥伊達一族』をよむ」高橋富雄『読みなおす日本史 陸奥伊達一族』

p. 203-209 吉川弘文館

高橋 充 平成 30 年 7 月 「書評 垣内和孝著『伊達政宗と南奥の戦国時代』」 『史学雑誌』 127-7 p. 62-67 公益財団法人史学会

(イ) 学会発表

荒木 隆 平成 30 年 7 月 19 日 「博物館展示資料と体験学習活動を組み合わせた思考・判断・表現する社会科の授業～『古墳時代』を題材にして」 『中学校・高等学校 社会科・地理歴史科・公民科 専門研修 資料活用を通して思考・判断・表現する力を育む社会科・地理歴史科・公民科の授業づくり講座』 於 福島県教育センター

荒木 隆 平成 30 年 9 月 6 日 「子どもたちの学びを支える博物館活動」 『子ども向け展示とワークショップを考える研究会』 於 東北歴史博物館

荒木 隆 平成 30 年 9 月 18 日 「県立博物館を活用したこれからの社会科の授業づくり～『弥生時代』を題材にして」 『小学校経験者研修Ⅱ 教科指導研修(社会科)』 於 福島県教育センター

荒木 隆 平成 30 年 9 月 29 日 「石背国建国 1300 年と国指定史跡上人壇廃寺跡整備事業」 『須賀川市歴史文化基本構想策定事業講演会』 於 史跡上人壇廃寺跡現地(須賀川市)

荒木 隆 平成 30 年 10 月 13 日 「陸奥南部における磐城郡の特色を読み解く」 『平成 30 年度「いわきの考古学講座」 第 5 回講座』 於 いわき市生涯学習プラザ

荒木 隆 平成 30 年 10 月 25 日 「福島県立博物館における読み聞かせ活動の展開」 『福島県読書活動推進セミナー』 於 南会津御蔵入文化センター

荒木 隆 平成 30 年 12 月 1 日 「陸奥南部における石城国の役割を探る」 『いわき市教育文化事業団設立 40 周年記念事業 報告会』 於 いわき市生涯学習プラザ

荒木 隆 平成 31 年 2 月 23 日 「北田城のルーツを探る ～会津郡内の物流拠点～」 『平成 30 年度湯川村「米と文化の里」講演会』 於 湯川村中央公民館

内山 大介 平成 31 年 1 月 26 日 「東北日本における傘鉾の地域的展開－祭礼の傘と祈願の吊り下げ物－」 民俗芸能学会 第 172 回研究例会 於：早稲田大学

イ 他団体による委嘱等

阿部 綾子：相馬市史編さん調査執筆員 相馬市教育委員会

阿部 綾子：郡山市文化財保護審議委員

荒木 隆：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育委員会

荒木 隆：堂後遺跡及び勝常寺跡調査指導委員会委員 湯川村教育委員会

猪瀬 弘瑛：ふくしまサイエンスぷらっとフォーム連

携コーディネーター

内山 大介：共同研究員 共同研究「地域における歴史文化研究拠点の構築」国立歴史民俗博物館

内山 大介：非常勤講師 福島県立医科大学医学部

内山 大介：単発非常勤講師 福島大学

内山 大介：評議員 日本民具学会

内山 大介：副委員長 会津の御田植祭調査委員会

内山 大介：三島町史編さん専門委員 三島町教育委員会

内山 大介：会津坂下町史編さん専門委員 会津坂下町教育委員会

内山 大介：委員 郡山市文化財保護審議委員会

内山 大介：事務局長 福島県民俗学会

大里 正樹：研究協力者 科研費基盤研究(C)「民俗文化の継承におけるコストとモチベーションに関する基礎的研究」 聖徳大学

大里 正樹：三島町史編さん専門委員 三島町教育委員会

大里 正樹：会津坂下町史編さん専門委員 会津坂下町教育委員会

大里 正樹：福島県民俗学会事務局 福島県民俗学会

大里 正樹：野田市史編さん調査研究員 野田市

大里 正樹：南島文化研究所特別研究員 沖縄国際大学南島文化研究所

川延 安直：喜多方市美術館収集委員会委員 喜多方市教育委員会

川延 安直：「ふるさとの風景展」 審査員 喜多方市美術館

川延 安直：いわき市文化財保護審議委員会委員 いわき市教育委員会

川延 安直：須賀川市文化財保護審議委員会委員 須賀川市教育委員会

川延 安直：白河市文化財保護審議委員会委員 白河市教育委員会

川延 安直：福島県文学賞エッセイ・ノンフィクション部門審査委員

川延 安直：福島大学芸術による地域創造研究所研究員 福島大学

川延 安直：やないづ町立斎藤清美術館運営協議会委員

小林 めぐみ：福島藝術計画×Art Support TOHOKU-TOKYO 運営委員会委員 福島県、東京都

小林 めぐみ：会津漆器技術後継者訓練校講師 会津漆器協同組合

小林 めぐみ：やないづ町立斎藤清美術館運営協議会委員 柳津町

小林 めぐみ：会津若松市文化のまちづくり事業委員会委員 公益財団法人会津若松文化振興財団

小林 めぐみ：只見町ユネスコエコパーク支援委員会委員 只見町ユネスコエコパーク推進協議会

小林 めぐみ：只見町ぶなと川のミュージアム運営委員会委員 只見町  
 小林 めぐみ：福島大学芸術による地域創造研究所研究員 福島大学  
 小林 めぐみ：調査委員会委員 会津の御田植祭調査委員会  
 小林 めぐみ：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育委員会  
 佐藤 洋一：南会津町伝統的建造物群保存地区保存審議会委員  
 佐藤 洋一：共同研究「『聆涛閣集古帖』の総合資料学的研究」共同研究員 国立歴史民俗博物館  
 高橋 充：二本松城跡整備検討委員会委員 二本松市教育委員会  
 高橋 充：向羽黒山城跡調査整備委員会委員 会津美里町教育委員会  
 高橋 充：相馬市史編さん専門委員 相馬市教育委員会  
 高橋 充：会津藩主松平家墓所及び名勝会津松平氏庭園整備指導会議委員 会津若松市教育委員会  
 高橋 充：阿津賀志山防塁調査・整備指導委員会委員 国見町教育委員会  
 高橋 充：伊達市宮脇廃寺跡保存管理計画策定委員会委員 伊達市教育委員会  
 高橋 充：伊達市立博物館（仮称）整備検討委員会委員 伊達市教育委員会  
 高橋 充：棚倉城跡調査指導委員会委員 棚倉町教育委員会  
 高橋 充：会津坂下町史編さん委員会委員 会津坂下町  
 高橋 充：北塩原村城館等保存・整備・活用検討委員会委員 北塩原村教育委員会  
 高橋 充：小峰城跡石垣検討委員会委員 白河市  
 高橋 充：堂後遺跡及び勝常寺跡調査指導委員会委員 湯川村教育委員会

高橋 充：医学部講義「芸術と文化（博物館からみた地域文化）」福島県立医科大学  
 高橋 満：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育委員会  
 高橋 満：「日本先史文化の多視点的研究」研究推進員 明治大学  
 高橋 満：「資源利用史 研究クラスター」研究推進員 明治大学  
 高橋 満：富岡町アーカイブ施設検討町民会議委員（会長） 富岡町  
 高橋 満：富岡町アーカイブ施設整備識者検討部会委員 富岡町  
 田中 敏：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育委員会  
 田中 敏：御三階復元検討委員会委員 会津若松市教育委員会  
 田中 敏：会津藩主松平家墓所整備指導会議委員 会津若松市教育委員会  
 藤原 妃敏：会津若松市文化財保護審議委員 会津若松市教育委員会  
 藤原 妃敏：原町市史編さん専門研究委員 南相馬市教育委員会  
 藤原 妃敏：新鶴民俗資料館運営委員 会津美里町教育委員会  
 藤原 妃敏：喜多方市文化財保護審議委員会委員 喜多方市教育委員会  
 藤原 妃敏：笹山原No.16 遺跡調査指導委員 郡山女子短期大学  
 藤原 妃敏：福島県考古学会副会長 福島県考古学会  
 藤原 妃敏：南相馬市博物館運営協議会委員 南相馬市博物館  
 藤原 妃敏：会津坂下町史編さん委員 会津坂下町教育委員会

## 6 教育普及事業

### (1) 講座・講演会

当館では館長と学芸員による各種講座を開催しているが、そのほかにも、外部に講師を依頼しさまざまな講座・講演会等を実施している。平成30年度の各講座開催数は178、総参加者数は14,958人であった。

前年度(平成29年度)の開催回数は157回で平成30年度は21回多かった。総参加者数は前年度10,111人で、4,847人の増加、前年比148%であった。以下は個別講座・講演等の一覧である。

ア 平成30年度講座・講演会等の回数と参加者数

| テーマ        | 回数 | 参加者数 |
|------------|----|------|
| (1) 館長講座   | 12 | 954  |
| (2) 考古学講座  | 7  | 156  |
| (3) 民俗講座   | 5  | 185  |
| (4) 歴史講座   | 9  | 633  |
| (5) 自然史講座  | 3  | 65   |
| (6) 保存科学講座 | 1  | 10   |
| (7) 美術講座   | 3  | 138  |

| テーマ                                 | 回数  | 参加者数   |
|-------------------------------------|-----|--------|
| (8) 指導者向け研修                         | 1   | 4      |
| (9) 実技講座                            | 6   | 58     |
| (10) 実演                             | 1   | 32     |
| (11) 企画展関連行事（記念講演・シンポジウム・講座・展示解説会等） | 55  | 5,121  |
| (12) ミュージアムイベント                     | 8   | 1,052  |
| (13) 子育て世代対応事業                      | 13  | 3,156  |
| (14) ミュージアムエデュケーター事業                | 20  | 358    |
| (15) 共催事業                           | 3   | 149    |
| (16) 後援事業                           | 22  | 1,428  |
| (17) 企画展・特集展内覧会（友の会）                | 9   | 1,459  |
| 計                                   | 178 | 14,958 |

イ 平成30年度講座・講演会等行事一覧

(ア) 館長講座

| テーマ                               | 講師・所属等                                                         | 期日             | 参加人数 |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------|----------------|------|
| 館長講座 東北の文学者たち①「吉野せい」              | 赤坂 憲雄（館長）                                                      | 平成30年4月19日(木)  | 70   |
| 館長講座 東北の文学者たち②「斉藤茂吉」              | 赤坂 憲雄（館長）                                                      | 平成30年5月17日(木)  | 80   |
| 館長講座 東北の文学者たち③「宮沢賢治」              | 赤坂 憲雄（館長）                                                      | 平成30年6月21日(木)  | 95   |
| 館長講座 東北の文学者たち④「西川 満」              | 赤坂 憲雄（館長）                                                      | 平成30年7月19日(木)  | 65   |
| 館長講座 東北の文学者たち⑤「佐々木喜善」             | 赤坂 憲雄（館長）                                                      | 平成30年8月16日(木)  | 87   |
| 館長講座 東北の文学者たち⑥「石川啄木」              | 赤坂 憲雄（館長）                                                      | 平成30年9月20日(木)  | 74   |
| 館長講座 東北の文学者たち⑦「寺山修司」              | 赤坂 憲雄（館長）                                                      | 平成30年10月18日(木) | 100  |
| 館長講座 東北の文学者たち⑧「島尾敏雄」              | 赤坂 憲雄（館長）                                                      | 平成30年11月15日(木) | 74   |
| 館長講座 東北の文学者たち⑨「太宰 治」              | 赤坂 憲雄（館長）                                                      | 平成30年12月13日(木) | 106  |
| 館長講座 東北の文学者たち⑩「若松丈太郎」             | 赤坂 憲雄（館長）                                                      | 平成31年1月17日(木)  | 54   |
| 東日本大震災を考える①<br>「中越大震災が遺したもの」      | 赤坂 憲雄（館長）<br>澤田 雅浩（兵庫県立大学大学院）                                  | 平成31年2月21日(木)  | 47   |
| 東日本大震災を考える②<br>「山口弥一郎が見た昭和の災害と民俗」 | 赤坂 憲雄（館長）<br>川島 秀一（元・東北大学災害科学<br>国際研究所教授）<br>佐々木 長生（福島県民俗学会会長） | 平成31年3月14日(木)  | 93   |

(イ) 考古学講座

| テーマ                    | 講師・所属等          | 期日              | 参加人数 |
|------------------------|-----------------|-----------------|------|
| 縄文土器をつくろう1             | 考古分野学芸員         | 平成30年8月4日(土)    | 14   |
| 縄文土器をつくろう2             | 考古分野学芸員         | 平成30年8月5日(日)    | 14   |
| 縄文土器の野焼き               | 考古分野学芸員         | 平成30年10月7日(日)   | 14   |
| 会津大塚山古墳を歩こう            | 平澤 慎・藤原 妃敏（学芸員） | 平成30年11月3日(土・祝) | 19   |
| 災害を発掘する～考古学から見える会津の災害史 | 荒木 隆（学芸員）       | 平成31年3月17日(日)   | 75   |
| 「勾玉・ガラス玉を作ろう」          | 考古分野学芸員         | 平成31年3月23日(土)   | 20   |

(ウ) 民俗講座

| テーマ              | 講師・所属等         | 期日             | 参加人数 |
|------------------|----------------|----------------|------|
| 民俗講座特別編          | 石本 敏也（聖徳大学准教授） | 平成30年11月17日(土) | 45   |
| おもしろ民俗学ゼミナール会津編① | 大里 正樹（学芸員）     | 平成30年12月15日(土) | 37   |
| おもしろ民俗学ゼミナール会津編② | 内山 大介（学芸員）     | 平成31年1月19日(土)  | 34   |
| おもしろ民俗学ゼミナール会津編③ | 山口 拓（学芸員）      | 平成31年2月16日(土)  | 38   |
| おもしろ民俗学ゼミナール会津編④ | 江川 トヨ子（学芸員）    | 平成31年3月3日(日)   | 31   |

## (エ) 歴史講座

| テーマ                        | 講師・所属等     | 期日            | 参加人数 |
|----------------------------|------------|---------------|------|
| 歴史講座 戊辰戦争こぼれ話①「西郷頼母の戦略談」   | 阿部 綾子(学芸員) | 平成30年4月14日(土) | 117  |
| 歴史講座 戊辰戦争こぼれ話②「磐城の戦いと西洋医学」 | 田中 伸一(学芸員) | 平成30年5月12日(土) | 78   |
| 歴史講座 戊辰戦争こぼれ話③「戦場のうわさ話」    | 栗原 祐斗(学芸員) | 平成30年6月9日(土)  | 96   |
| 歴史講座 戊辰戦争こぼれ話④「会津の戦い」      | 高橋 充(学芸員)  | 平成30年7月14日(土) | 137  |
| 歴史講座 戊辰戦争こぼれ話⑤「若松城下の戦い」    | 佐藤 洋一(学芸員) | 平成30年8月11日(土) | 85   |
| はじめてさんの古文書講座①              | 阿部 綾子(学芸員) | 平成31年3月2日(土)  | 30   |
| はじめてさんの古文書講座②              | 高橋 充(学芸員)  | 平成31年3月9日(土)  | 30   |
| はじめてさんの古文書講座③              | 阿部 綾子(学芸員) | 平成31年3月16日(土) | 30   |
| はじめてさんの古文書講座④              | 栗原 祐斗(学芸員) | 平成31年3月24日(日) | 30   |

## (オ) 自然史講座

| テーマ             | 講師・所属等       | 期日             | 参加人数 |
|-----------------|--------------|----------------|------|
| 野外講座「化石をさがそう」   | 猪瀬弘 瑛(学芸員)   | 平成30年10月13日(土) | 29   |
| 実技講座「化石標本をつくろう」 | 相田 優(学芸員)    | 平成30年10月14日(日) | 25   |
| 野外講座「鶴ヶ城の野鳥」    | 古川 裕司(野鳥研究家) | 平成30年11月11日(日) | 11   |

## (カ) 保存科学講座

| テーマ                      | 講師・所属等      | 期日            | 参加人数 |
|--------------------------|-------------|---------------|------|
| 博物館の舞台裏—博物館でコレクションを保管する— | 杉崎 佐保恵(学芸員) | 平成30年4月21日(土) | 10   |

## (キ) 美術講座

| テーマ          | 講師・所属等      | 期日            | 参加人数 |
|--------------|-------------|---------------|------|
| 美術講座①会津の仏教美術 | 塚本 麻衣子(学芸員) | 平成30年5月11日(金) | 49   |
| 美術講座②会津の仏教美術 | 塚本 麻衣子(学芸員) | 平成30年6月8日(金)  | 49   |
| 美術講座③会津の仏教美術 | 塚本 麻衣子(学芸員) | 平成30年7月6日(金)  | 40   |

## (ク) 指導者向け研修

| テーマ                  | 講師・所属等    | 期日           | 参加人数 |
|----------------------|-----------|--------------|------|
| 博物館を活用した学校教育プログラム研修会 | 荒木 隆(学芸員) | 平成30年8月3日(金) | 4    |

## (ケ) 実技講座

| テーマ                          | 講師・所属等                | 期日             | 参加人数 |
|------------------------------|-----------------------|----------------|------|
| 須賀川の絵のぼり・小旗をつくろう             | 大野 青峯・大野 久子(伝統技術保持者)  | 平成30年5月5日(土・祝) | 8    |
| 「ヒロロでコースターをつくろう」会津・三島の編み組み細工 | 渡部 ユキ子・秦 愛子(三島町生活工芸館) | 平成30年7月8日(日)   | 5    |
| 唐人和風をつくろう                    | 齋藤 誠一(伝統技術保持者)        | 平成30年7月28日(土)  | 13   |
| 縄文時代の編み物を再現しよう               | 本間 一恵(バスケットリー作家)      | 平成30年11月10日(土) | 9    |
| 漆を楽しむワークショップ①「漆絵を描こう」        | 会津漆器協同組合青年部           | 平成30年11月24日(土) | 8    |
| 漆を楽しむワークショップ②「漆スプーンをつくろう」    | 会津漆器協同組合青年部           | 平成30年11月24日(土) | 15   |

## (コ) 実演

| テーマ         | 講師・所属等            | 期日           | 参加人数 |
|-------------|-------------------|--------------|------|
| 「大堀相馬焼の絵付け」 | 山田 慎一(いかりや商店白河工房) | 平成30年7月1日(日) | 32   |

## (カ) 企画展関連行事(記念講演・シンポジウム・講座・展示解説会等)

| テーマ                              | 講師・所属等         | 期日           | 参加人数 |
|----------------------------------|----------------|--------------|------|
| 特集展解説会「山口弥一郎の見た三陸津波」 「古文書から見る災害」 | 震災遺産保全チーム担当学芸員 | 平成30年4月1日(日) | 41   |

| テーマ                                        | 講師・所属等                                                                                                                                                                                         | 期日              | 参加人数 |
|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------|
| 特集展解説会「震災遺産が語るコト」                          | 震災遺産保全チーム担当学芸員                                                                                                                                                                                 | 平成30年4月7日(土)    | 16   |
| 報道向内覧会(13時30分～14時)<br>友の会・関係者向内覧会(14時～15時) | 内山 大介(学芸員)                                                                                                                                                                                     | 平成30年4月27日(金)   | 56   |
| 企画展「匠のふるさと会津」展示解説会                         | 内山 大介(学芸員)                                                                                                                                                                                     | 平成30年4月28日(土)   | 5    |
| 企画展「匠のふるさと会津」展示解説会                         | 内山 大介(学芸員)                                                                                                                                                                                     | 平成30年4月29日(日・祝) | 9    |
| 企画展「匠のふるさと会津」展示解説会                         | 内山 大介(学芸員)                                                                                                                                                                                     | 平成30年5月6日(日)    | 18   |
| 企画展「匠のふるさと会津」関連バスツアー                       | 小澤 弘道(福島県民俗学会副会長)<br>・当館学芸員                                                                                                                                                                    | 平成30年5月12日(土)   | 22   |
| 企画展「匠のふるさと会津」展示解説会                         | 内山 大介(学芸員)                                                                                                                                                                                     | 平成30年5月13日(日)   | 4    |
| 企画展「匠のふるさと会津」記念講演会                         | 宮内 貴久(お茶の水女子大学教授)                                                                                                                                                                              | 平成30年5月20日(日)   | 80   |
| 企画展「匠のふるさと会津」展示解説会                         | 内山 大介(学芸員)                                                                                                                                                                                     | 平成30年5月26日(土)   | 12   |
| 親子ものづくり木工体験                                | 会津若松市建築業組合                                                                                                                                                                                     | 平成30年6月2日(土)    | 130  |
| 企画展「匠のふるさと会津」<br>記念講演会「越後大工の会津への旅立ち」       | 中村 義隆(新潟郷土史研究会・<br>新潟文化財鑑賞会顧問)                                                                                                                                                                 | 平成30年6月16日(土)   | 88   |
| 企画展「匠のふるさと会津」展示解説会                         | 内山 大介(学芸員)                                                                                                                                                                                     | 平成30年6月24日(日)   | 40   |
| 企画展「日本刀の魅力」開幕テーブルカット                       | —                                                                                                                                                                                              | 平成30年7月13日(金)   | 88   |
| 展示解説会「刀剣展の見方・はじめの一步(1)」                    | 鴨木 年泰(東京都富士美術館)                                                                                                                                                                                | 平成30年7月13日(金)   | 102  |
| 刀剣リレートーク                                   | 渡邊 明(日本美術刀剣保存協会会<br>津支部長)                                                                                                                                                                      | 平成30年7月14日(土)   | 94   |
| 居合実演                                       | 福島県剣道連盟会津居合道部会                                                                                                                                                                                 | 平成30年7月15日(日)   | 621  |
| 講演会「古刀再現—日本刀の心—」                           | 藤安 将平(藤安将平鍛刀場)                                                                                                                                                                                 | 平成30年7月15日(日)   | 192  |
| 体験「鎧を着て見る刀剣展」                              | YOROI 工房あいつ                                                                                                                                                                                    | 平成30年7月21日(土)   | 31   |
| 「華麗なる島—会津出身の文化人・西川満が愛した<br>台湾、繋いだ日本」開幕式典   | —                                                                                                                                                                                              | 平成30年7月22日(日)   | 102  |
| 芸文交流台湾@会津プロジェクトフォーラム<br>「台湾と会津 西川満から現在まで」  | 西川 潤(早稲田大学名誉教授)・<br>張良澤(真理大学・台湾)・渋川 恵<br>男(会津若松商工会議所会頭)                                                                                                                                        | 平成30年7月22日(日)   | 105  |
| 体験「鎧を着て見る刀剣展」                              | YOROI 工房あいつ                                                                                                                                                                                    | 平成30年7月29日(日)   | 32   |
| 講演会「ふくしまの刀剣」                               | 渡邊 明(日本美術刀剣保存協会会<br>津支部長)                                                                                                                                                                      | 平成30年7月29日(日)   | 75   |
| シンポジウム「ふくしま刀剣自慢」                           | 二上 文彦(南相馬市博物館当館学<br>芸員)、四家 久央(いわき市文化<br>財審議会委員)、吉田 陽一(二本<br>松市教育委員会文化課文化振興係主<br>査)、管野 和恵(須賀川市立博物<br>館当館学芸員)、内野 豊大(白河<br>市歴史民俗資料館学芸員)、中岡 進<br>(鶴ヶ城天守閣郷土博物館当館学<br>芸員)、平田 禎文(三春町歴史民俗<br>資料館当館学芸員) | 平成30年8月4日(土)    | 76   |
| 居合実演                                       | 福島県剣道連盟会津居合道部会                                                                                                                                                                                 | 平成30年8月4日(土)    | 429  |
| 居合実演                                       | 福島県剣道連盟会津居合道部会                                                                                                                                                                                 | 平成30年8月18日(土)   | 704  |
| 展示解説会「刀剣展の見方・はじめの一步(2)」                    | 月山 貞伸(刀匠・月山日本刀鍛錬道場)<br>鴨木 年泰(東京富士美術館)                                                                                                                                                          | 平成30年8月19日(日)   | 118  |
| 企画展「戊辰戦争150年」<br>オープニングセレモニー               | —                                                                                                                                                                                              | 平成30年9月1日(土)    | 53   |
| 企画展「戊辰戦争150年」解説会                           | 歴史分野学芸員                                                                                                                                                                                        | 平成30年9月1日(土)    | 53   |

| テーマ                                    | 講師・所属等                                               | 期日                   | 参加人数 |
|----------------------------------------|------------------------------------------------------|----------------------|------|
| 企画展「戊辰戦争 150 年」解説会                     | 歴史分野学芸員                                              | 平成 30 年 9 月 8 日(土)   | 67   |
| 企画展「戊辰戦争 150 年展」解説会                    | 歴史分野学芸員                                              | 平成 30 年 9 月 15 日(土)  | 70   |
| 企画展「戊辰戦争 150 年」<br>記念講演会「戊辰内乱と「官軍」の創造」 | 宮間 純一 (中央大学文学部准教授)                                   | 平成 30 年 9 月 16 日(日)  | 270  |
| 企画展「戊辰戦争 150 年」解説会                     | 歴史分野学芸員                                              | 平成 30 年 9 月 22 日(土)  | 62   |
| 企画展「戊辰戦争 150 年」解説会                     | 歴史分野学芸員                                              | 平成 30 年 9 月 23 日(日)  | 69   |
| 企画展「戊辰戦争 150 年」解説会                     | 歴史分野学芸員                                              | 平成 30 年 9 月 24 日(月)  | 58   |
| 企画展「戊辰戦争 150 年展」<br>記念講演会「仙台藩と奥羽越列藩同盟」 | 水野 沙織 (仙台市博物館)                                       | 平成 30 年 9 月 29 日(土)  | 240  |
| 企画展「戊辰戦争 150 年」解説会                     | 歴史分野学芸員                                              | 平成 30 年 10 月 6 日(土)  | 71   |
| 企画展「戊辰戦争 150 年」解説会                     | 歴史分野学芸員                                              | 平成 30 年 10 月 13 日(土) | 90   |
| 企画展「戊辰戦争 150 年」<br>記念講演会「北越戊辰戦争と会津藩」   | 田邊 幹 (新潟県立歴史博物館)                                     | 平成 30 年 10 月 14 日(日) | 240  |
| 企画展「日本のわざと美」展示解説会                      | 文化庁文化財調査官・文部科学技官                                     | 平成 30 年 10 月 27 日(土) | 24   |
| 講演会「人間国宝とは何か？」                         | 室瀬 和美 (漆芸家・人間国宝)・<br>佐々木正直 (群馬県立館林美術館長)              | 平成 30 年 10 月 28 日(日) | 80   |
| 芭蕉布の苧績み                                | 喜如嘉の芭蕉布保存会のみなさん                                      | 平成30年11月3日(土・祝)      | 25   |
| 伝統工芸の技を体験 1ー芭蕉布の糸づくり                   | 喜如嘉の芭蕉布保存会のみなさん                                      | 平成30年11月3日(土・祝)      | 4    |
| 企画展「日本のわざと美」展示解説会                      | 文化庁文化財調査官・文部科学技官                                     | 平成 30 年 11 月 11 日(日) | 48   |
| 伊勢型紙の彫り                                | 伊勢型紙技術保存会のみなさん                                       | 平成 30 年 12 月 2 日(日)  | 48   |
| 伝統工芸の技を体験 2ー伊勢型紙で年賀状づくり                | 伊勢型紙技術保存会のみなさん                                       | 平成 30 年 12 月 2 日(日)  | 21   |
| 特集展「震災遺産を考える」展示解説会                     | 震災遺産保全チーム担当学芸員                                       | 平成 31 年 2 月 16 日(土)  | 20   |
| 防災講座「楽しいそなえ」                           | 震災遺産保全チーム担当学芸員                                       | 平成 31 年 2 月 16 日(土)  | 26   |
| 特集展「震災遺産を考える」展示解説会                     | 震災遺産保全チーム担当学芸員                                       | 平成 31 年 2 月 21 日(木)  | 18   |
| 特集展「震災遺産を考える」展示解説会                     | 震災遺産保全チーム担当学芸員                                       | 平成 31 年 2 月 23 日(土)  | 16   |
| 特集展「震災遺産を考える」展示解説会                     | 震災遺産保全チーム担当学芸員                                       | 平成 31 年 3 月 9 日(土)   | 19   |
| 特集展「震災遺産を考える」展示解説会                     | 震災遺産保全チーム担当学芸員                                       | 平成 31 年 3 月 10 日(日)  | 35   |
| 特集展「震災遺産を考える」展示解説会                     | 震災遺産保全チーム担当学芸員                                       | 平成 31 年 3 月 11 日(月)  | 44   |
| 特集展「震災遺産を考える」展示解説会                     | 震災遺産保全チーム担当学芸員                                       | 平成31年3月21日(木・祝)      | 11   |
| ミニシンポジウム「震災を未来へ継承する」                   | 森井 順之 (文化庁文化財調査官)<br>佐藤 公 (磐梯山噴火記念館)<br>杉崎 佐保恵 (学芸員) | 平成 31 年 3 月 23 日(土)  | 38   |
| 特集展「震災遺産を考える」展示解説会                     | 震災遺産保全チーム担当学芸員                                       | 平成 31 年 3 月 30 日(土)  | 11   |

(シ) ミュージアムイベント

| テーマ              | 出演・講師                       | 期日                   | 参加人数 |
|------------------|-----------------------------|----------------------|------|
| 玄如節と日本の民謡        | 玄如節顕彰会                      | 平成 30 年 6 月 23 日(土)  | 100  |
| けんぱく映画会「ハーメルン」   | 学芸員                         | 平成30年7月16日(月・祝)      | 110  |
| 親子で探検！はくぶつかんのウラ側 | 学芸員                         | 平成 30 年 8 月 14 日(火)  | 28   |
| 会津磐梯山市民盆踊り       | 会津磐梯山盆踊り保存会                 | 平成 30 年 8 月 15 日(水)  | 70   |
| ナイトミュージアム        | 学芸員                         | 平成 30 年 8 月 18 日(土)  | 80   |
| 「Coderanni」コンサート | 会津室内楽団アンサンブル<br>「Coderanni」 | 平成30年9月17日(月・祝)      | 241  |
| クリスマスコンサート       | SLIDE I' z (スライド あいづ)       | 平成 30 年 12 月 16 日(日) | 250  |
| 会津の彼岸獅子          | 本滝沢獅子舞保存会                   | 平成 31 年 3 月 10 日(日)  | 173  |

## (ス) 子育て世代対応事業

| テーマ                     | 講師                                   | 期日                                          | 参加人数 |
|-------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------|------|
| 博物館でも読み聞かせ 1            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 4 月 14 日(土)                         | 51   |
| 子供ミニミニ博物館               | 学芸員                                  | 平成 30 年 4 月 28 日(土)<br>～平成 30 年 5 月 6 日(日)  | 795  |
| 博物館でも読み聞かせ 2            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 5 月 12 日(土)                         | 48   |
| 博物館でも読みきかせ 3            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 6 月 9 日(土)                          | 20   |
| 博物館でも読みきかせ 4            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 7 月 14 日(土)                         | 31   |
| 博物館でも読みきかせ 5            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 8 月 11 日(土)                         | 35   |
| 子供ミニミニ博物館               | 学芸員                                  | 平成 30 年 8 月 11 日(土)<br>～平成 30 年 8 月 19 日(日) | 1844 |
| 博物館でも読み聞かせ 6            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 9 月 8 日(土)                          | 31   |
| 博物館でも読みきかせ 7            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 10 月 13 日(土)                        | 24   |
| 子守唄コンサート                | 西館 好子・西山 琴恵・逸見 良造<br>(NPO 法人日本子守唄協会) | 平成 30 年 10 月 17 日(水)                        | 230  |
| 博物館でも読み聞かせ 8            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 11 月 10 日(土)                        | 35   |
| 博物館でも読み聞かせ 会津短期大学バージョン① | 会津短期大学幼児教育学科                         | 平成 30 年 12 月 22 日(土)                        | 4    |
| 博物館でも読み聞かせ 会津短期大学バージョン② | 会津短期大学幼児教育学科                         | 平成 31 年 1 月 14 日(月)                         | 8    |
| 博物館でも読み聞かせ 1            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 4 月 14 日(土)                         | 51   |
| 子供ミニミニ博物館               | 学芸員                                  | 平成 30 年 4 月 28 日(土)<br>～平成 30 年 5 月 6 日(日)  | 795  |
| 博物館でも読み聞かせ 2            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 5 月 12 日(土)                         | 48   |
| 博物館でも読みきかせ 3            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 6 月 9 日(土)                          | 20   |
| 博物館でも読みきかせ 4            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 7 月 14 日(土)                         | 31   |
| 博物館でも読みきかせ 5            | 読み聞かせグループ                            | 平成 30 年 8 月 11 日(土)                         | 35   |

## (セ) ミュージアムエデュケーター事業

| テーマ                                                           | 講師         | 期日                   | 参加人数 |
|---------------------------------------------------------------|------------|----------------------|------|
| ハニワ大王のギャラリートーク (1)<br>「展示資料で見るふくしまの暮らし【着る】」                   | 荒木 隆 (学芸員) | 平成 30 年 4 月 8 日(日)   | 13   |
| ティータイム考古学 『考古学を読む』 (1)<br>「紀元前後のボートピープル」                      | 荒木 隆 (学芸員) | 平成 30 年 4 月 22 日(日)  | 17   |
| ハニワ大王のギャラリートーク (2)<br>「展示資料で見るふくしまの暮らし【食べる】」                  | 荒木 隆 (学芸員) | 平成 30 年 5 月 4 日(金・祝) | 13   |
| シリーズ ふくしまの新しい古代像を考える 第 1 回<br>「東北地方から福島県が独立した!? -石城・石背国建国の背景- | 荒木 隆 (学芸員) | 平成 30 年 5 月 27 日(日)  | 23   |
| ハニワ大王のギャラリートーク (3)<br>「展示資料で見るふくしまの暮らし【住む】」                   | 荒木 隆 (学芸員) | 平成 30 年 6 月 10 日(日)  | 14   |
| ティータイム考古学 『考古学を読む』 (2)<br>「象牙とハンコ」                            | 荒木 隆 (学芸員) | 平成 30 年 7 月 1 日(日)   | 12   |
| ハニワ大王のギャラリートーク (4)<br>「展示資料で見るふくしまの暮らし【乗る】」                   | 荒木 隆 (学芸員) | 平成 30 年 7 月 8 日(日)   | 14   |
| ティータイム考古学 『考古学を読む』 (3)<br>「キモノと装身具」                           | 荒木 隆 (学芸員) | 平成 30 年 7 月 22 日(日)  | 12   |
| ハニワ大王のギャラリートーク (5)<br>「展示資料で見るふくしまの暮らし【学ぶ】」                   | 荒木 隆 (学芸員) | 平成 30 年 8 月 12 日(日)  | 21   |
| シリーズ ふくしまの新しい古代像を考える 第 2 回<br>「蝦夷大反乱がふくしまに残したもの? -耶麻郡成立の背景-   | 荒木 隆 (学芸員) | 平成 30 年 8 月 26 日(日)  | 30   |

| テーマ                                                                              | 講師         | 期日               | 参加人数 |
|----------------------------------------------------------------------------------|------------|------------------|------|
| ハニワ大王のギャラリートーク (6)<br>「展示資料で見るふくしまの暮らし【生と死】」                                     | 荒木 隆 (学芸員) | 平成30年9月2日(日)     | 16   |
| ハニワ大王のギャラリートーク (7)<br>「展示資料で見るふくしまの暮らし【願う】」                                      | 荒木 隆 (学芸員) | 平成30年10月21日(日)   | 16   |
| ティータイム考古学 『考古学を読む』 (4)<br>「わたしの茶碗・わたしの箸」                                         | 荒木 隆 (学芸員) | 平成30年10月28日(日)   | 15   |
| ハニワ大王のギャラリートーク (8)<br>「展示資料で見るふくしまの暮らし【子ども】」                                     | 荒木 隆 (学芸員) | 平成30年11月11日(日)   | 13   |
| シリーズ ふくしまの新しい古代像を考える 第3回<br>「平安時代のふくしまでは貞観大地震をどう乗り越えたのか？<br>ー貞観大地震復興政策としての寺院建立ー」 | 荒木 隆 (学芸員) | 平成30年11月25日(日)   | 38   |
| ハニワ大王のギャラリートーク (9)<br>「展示資料で見るふくしまの暮らし【道具】」                                      | 荒木 隆 (学芸員) | 平成30年12月9日(日)    | 8    |
| ティータイム考古学 『考古学を読む』 (5)<br>「世界最古のカードシステム」                                         | 荒木 隆 (学芸員) | 平成30年12月23日(日・祝) | 13   |
| ティータイム考古学 『考古学を読む』 (6)<br>「大工道具からみた日本人」                                          | 荒木 隆 (学芸員) | 平成31年1月27日(日)    | 12   |
| スーパー古事記 国のはじまり                                                                   | 荒木 隆 (学芸員) | 平成31年2月11日(月・祝)  | 43   |
| ティータイム考古学 『考古学を読む』 (7)<br>「道具の進歩と豊かさ」と                                           | 荒木 隆 (学芸員) | 平成31年2月24日(日)    | 15   |

(リ) 共催事業

| テーマ                              | 主催                     | 期日             | 参加人数 |
|----------------------------------|------------------------|----------------|------|
| 野外講座「高広山で化石をさがそう」                | 郡山市ふれあい科学館             | 平成30年5月27日(日)  | 34   |
| spff サイエンス屋台村                    | ふくしまサイエンスぶらっとフォーム運営協議会 | 平成30年11月17日(土) | 69   |
| 磐梯山噴火130周年記念講座<br>「磐梯山は生きています!!」 | 磐梯山噴火記念館               | 平成31年1月12日(土)  | 46   |

(ル) 後援事業

| テーマ                                                | 主催                        | 講師・所属                                   | 期日               | 参加人数 |
|----------------------------------------------------|---------------------------|-----------------------------------------|------------------|------|
| 「息の跡」上映会 (震災関係映画上映会)                               | つなぐ舎                      | —                                       | 平成30年4月30日(月・振替) | 75   |
| 平成30年度福島県民俗学会大会<br>(講演会・研究発表会)                     | 福島県民俗学会                   | 鈴木 昭英(日本宗教民俗学会顧問)・丹野 香須美(学会員)・山口 拓(学会員) | 平成30年6月3日(日)     | 37   |
| 会津教育事務所<br>域内公立小中学校事務担当者会議                         | 福島県教育委員会<br>(会津教育事務所)     | —                                       | 平成30年6月12日(火)    | 102  |
| 会津漆器協同組合青年部主催講演会<br>「やればできるということ・髹漆人間国宝<br>大西勲の世界」 | 会津漆器協同組合<br>青年部           | 大西 勲(漆芸作家)                              | 平成30年6月22日(金)    | 74   |
| 耶麻支部社会科部会研究会                                       | 中学校教育研修会                  | —                                       | 平成30年7月26日(木)    | 12   |
| 域内読書活動支援者育成事業<br>会津地区研修会                           | 福島県教育委員会<br>(会津教育事務所)     | —                                       | 平成30年7月31日(火)    | 72   |
| 歴史と夢まちづくりフォーラム                                     | 会津若松市                     | —                                       | 平成30年9月14日(金)    | 50   |
| 地球を結ぶアートプロジェクト<br>ミクロの化石からアートへ～太古の福島を<br>感じてみよう～   | 特定非営利活動法人<br>Wunderground | 竹谷 陽二郎(元福島県立博物館学芸員)・君平<br>(成安造形大学准教授)   | 平成30年9月22日(土)    | 9    |
| 仏都会津の魅力をさぐるセミナー①<br>「奈良からみる仏都会津の魅力」                | 会津と奈良いにしえの絆継承委員会          | 高次 喜勝(法相寺宗<br>別格本山副住職)                  | 平成30年10月4日(木)    | 57   |

| テーマ                                     | 主催                     | 講師・所属                                           | 期日             | 参加人数 |
|-----------------------------------------|------------------------|-------------------------------------------------|----------------|------|
| 仏都会津の魅力をさぐるセミナー②<br>「会津の仏像の魅力」          | 会津と奈良いにしえの絆継承委員会       | 塚本 麻衣子 (学芸員)                                    | 平成30年10月10日(水) | 71   |
| 少庵を語る麟閣千風会茶会講演会                         | 千風会                    | 熊倉 功夫<br>(MIHO MUSEUM 館長)                       | 平成30年10月20日(土) | 183  |
| 仏都会津の魅力をさぐるセミナー③<br>「会津の仏像の魅力」          | 会津と奈良いにしえの絆継承委員会       | 志村 和子 (元会津まほろば里人の会)・白岩 孝一 (徳一菩薩に学ぶ会)            | 平成30年11月13日(火) | 96   |
| あいづわくわく学園専攻課程講座<br>「会津史序章 (会津の古代)」      | あいづわくわく学園 (会津若松市高齢福祉課) | —                                               | 平成30年11月13日(火) | 23   |
| 「日本遺産会津地域観光アドバイザー」認定講習会                 | 極上の会津プロジェクト協議会         | 塚本 麻衣子 (学芸員)                                    | 平成30年11月20日(火) | 60   |
| 会津史談会文化史講座<br>「民具と民芸のあいだ」               | 会津史談会                  | 山口 拓 (学芸員)                                      | 平成30年11月22日(木) | 56   |
| 第15回五色百人一首福島県大会                         | TOSS 五色百人一首福島県協会       | —                                               | 平成30年12月1日(土)  | 85   |
| 会津三十三観音 会津地域観光アドバイザー認定講習会 第2回           | 極上の会津プロジェクト協議会         | 本田 勝之助 (日本遺産プロデューサー)・塚本 麻衣子 (学芸員)               | 平成31年1月22日(火)  | 110  |
| フォーラム 語り継ぐために                           | ライフミュージアムネットワーク        | —                                               | 平成31年2月3日(日)   | 23   |
| 「土湯温泉は海の中だった～土湯で発見されたパレオパラドキシアの世界へワープ～」 | 土湯温泉観光協会               | 木村 由莉 (国立科学博物館)・松井 久美子 (九州大学大学院)                | 平成31年2月26日(火)  | 50   |
| 会津民俗研究会公開講座                             | 会津民俗研究会                | 酒井 浩哉 (会員)・滝沢 洋之 (会長)                           | 平成31年3月1日(金)   | 88   |
| 3.11 追悼復興祈念行事 in 会津<br>8年前のあの日に祈りをこめて   | 会津地方振興局                | 大熊町立熊町・大野小学校、大熊中学校、福島県立大沼高等学校演劇部、会津若松市立第四中学校合唱部 | 平成31年3月9日(土)   | 72   |
| 木ロボくを作ろう！                               | 会津大学短期大学部幼児教育学科        | 葉山 亮三 (会津大学短期大学部幼児教育学科講師)                       | 平成31年3月31日(日)  | 23   |

(f) 企画展・特集展内覧会等 (友の会)

| テーマ                  | 主催      | 講師・所属等       | 期日             | 参加人数 |
|----------------------|---------|--------------|----------------|------|
| 化石鉱物探険隊成果展解説会        | 友の会     | 化石鉱物探険隊      | 平成30年7月25日(水)  | 25   |
| 化石鉱物探険隊成果展解説会        | 友の会     | 化石鉱物探険隊      | 平成30年8月5日(日)   | 177  |
| 化石鉱物探険隊成果展解説会        | 友の会     | 化石鉱物探険隊      | 平成30年8月12日(日)  | 342  |
| 化石鉱物探険隊成果展解説会        | 友の会     | 化石鉱物探険隊      | 平成30年8月14日(火)  | 191  |
| 化石鉱物探険隊成果展解説会        | 友の会     | 化石鉱物探険隊      | 平成30年8月15日(水)  | 200  |
| 化石鉱物探険隊成果展解説会        | 友の会     | 化石鉱物探険隊      | 平成30年8月18日(土)  | 258  |
| 企画展「日本のわざと美」展内覧会     | 福島県立博物館 | 美術分野学芸員      | 平成30年10月26日(金) | 30   |
| 福島県立博物館友の会創立30周年記念行事 | 友の会     | 星 亮一 (歴史小説家) | 平成30年11月4日(日)  | 220  |
| 友の会総会                | 友の会     | —            | 平成31年3月16日(土)  | 52   |
| 化石鉱物探険隊成果展解説会        | 友の会     | 化石鉱物探険隊      | 平成30年7月25日(水)  | 25   |

## (2) 学校・文化施設との連携

県内外の学校団体や文化施設主催団体が訪れた際の学習効果をさらに高めるため学習支援プログラムを開発し本格始動した。学習支援班が電話の受付を担当し、各団体からの相談対応をしながら、目的ニーズに応じた効果的な学習プログラムをプロデュースした。

### ア 展示室における学習プログラム

常設展示室における児童・生徒の学習活動が有意義なものとなるように、事前相談を充実させた。さらに発達段階や見学の目的などに応じた内容で、講堂や展示室等で具体的なレクチャーをおこなった。特に平成 30 年度は未就学児対応のプログラムも開発した。学習プログラムは、実施学校団体には大変好評であった。

#### (ア) 博物館見学のしおり（小・中学生用）

常設展示室の展示資料を見る際のポイントがわかりやすくなるように、設問形式で解答を書き込みながら学べるように構成した。児童・生徒は、自分のペースで見学をし、自由に考察を深めることができる。しおりは博物館ホームページからダウンロードできる。また、すべての漢字にルビがふられているので、留学生も活用している。

#### (イ) 学習プログラム（レクチャー・体験学習プログラム）

小学校高学年から中学生向けに作成し、常設展示を構成する 6 つの大テーマに沿って、展示室内の主要な資料を 12 の題材に分けて取り上げている。当館ホームページから学習の目的に応じて選択しダウンロードすることによって、有効に利用できる。また、小学校低学年向けには「展示室探検ビンゴ」で展示室を楽しみながら見学できる。

### オ ゲストティーチャー

当館学芸員がもつ専門知識や経験を館外で有効に活用してもらうため、学校等教育機関の要請に応じて現地に赴き、体験学習や講話を中心とした授業を担当している。

#### (ア) 平成 30 年度学習プログラム（レクチャー・体験学習プログラム）実施状況

| 月日       | 団体名               | 人数  | 滞在時間<br>(分) | 内容                         |
|----------|-------------------|-----|-------------|----------------------------|
| 4月19日(木) | 会津若松市立大戸小学校(6年)   | 10  | 90          | 大戸の昔をさわってみよう(40分)          |
| 4月20日(金) | 会津若松私立城西小学校(6年)   | 100 | 90          | 会津の歴史(30分)                 |
| 4月24日(火) | 会津美里町立新鶴小学校(6年)   | 37  | 90          | 会津の歴史(40分)                 |
| 4月24日(火) | 喜多方市立上三宮小学校(5,6年) | 12  | 60          | 会津の歴史(30分)                 |
| 4月25日(水) | 猪苗代町立緑小学校(6年)     | 7   | 75          | 猪苗代の歴史と大塚山古墳(30分)          |
| 4月26日(木) | 会津若松市立一箕小学校(6年)   | 112 | 120         | 一箕地区の秘法を探せ(45分)            |
| 4月26日(木) | 会津若松市立日新小学校(6年)   | 65  | 60          | 会津の歴史(30分)                 |
| 4月26日(木) | 猪苗代町立翁島小学校(6年)    | 7   | 120         | 火おこし体験、保科正之、天鏡閣、見祢の大石(35分) |
| 4月26日(木) | 北塩原村立第一中学校(1年)    | 16  | 120         | 勾玉づくり体験(60分)北塩原村立の歴史(30分)  |
| 4月27日(金) | 会津美里町立宮川小学校(2年)   | 85  | 60          | 部門展示室 フタバスズギリュウの解説(25分)×3  |
| 4月27日(金) | 猪苗代町立千里小学校(6年)    | 26  | 70          | 猪苗代の歴史と大塚山の古墳(35分)         |
| 5月2日(水)  | 会津若松市立湊小学校(6年)    | 11  | 130         | 常設展にて縄文・弥生時代の人々の暮らし(30分)   |
| 5月2日(水)  | 喜多方市立山都小学校(6年)    | 18  | 120         | 匠のふるさと会津 解説(30分)           |

### イ 団体体験学習プログラム

学校団体のニーズに応じたきめ細かい事前相談をはじめ、日常の授業と博物館の見学を効果的に結び付けられるような活動メニューなど、これまで以上に事業に役立つ内容を用意し、対応している。また、児童・生徒が博物館の資料を用いながら体験学習をすることは、多様なものの見方や考え方を育む上で有効である。事前申込制で「原始・古代のワザに挑戦(考古分野)」「化石にふれてみよう(自然分野)」「紙すきハガキづくり(民俗分野)」「昔の道具体験(民俗分野)」「度量衡の統一と農民の暮らし(歴史分野)」の 5 つの体験学習プログラムを準備している。特に、「昔の道具体験」は小学校 3 年生の授業と連動した内容となっており、昨年度より実施回数、人数とも増加し、学習効果を高めている。

### ウ 指導者向け研修

学校教育・生涯教育関係者を対象に博物館利用指導者研修会を実施している。団体体験学習プログラムを実際に体験してもらうことにより、当館の学習支援活動への理解を深め、学校や公民館の諸活動における活用の推進を図っている。平成 30 年度は団体活用プログラムの概要を活用実績校からみたおすすめプランを紹介した。平成 30 年 8 月 3 日(金)に 4 名の参加者による実施となった。

### エ 学習用具・教材等の貸出

学校での授業づくりや生涯教育関連施設における活動等を支援するため、考古・歴史・民俗・自然の各分野で学習用具・教材等の貸出を行っている。

学習用具・教材等の貸出実績はなかった。

| 月日       | 団体名                      | 人数  | 滞在時間<br>(分) | 内容                                                  |
|----------|--------------------------|-----|-------------|-----------------------------------------------------|
| 5月2日(水)  | 福島市立蓬萊中学校(1年)            | 99  | 120         | 福島市の歴史(30分)                                         |
| 5月8日(火)  | 会津坂下町立坂下南小学校(6年)         | 79  | 70          | 会津坂下町の歴史(30分)                                       |
| 5月9日(水)  | 伊達市立栗野小学校(6年)            | 29  | 90          | 火おこし体験(50分)                                         |
| 5月9日(水)  | 会津若松市立荒館小学校(1・2年)        | 97  | 60          | フタバスズキリュウの秘密・匠にふるさと会津の解説(40分)                       |
| 5月10日(木) | 家庭教育放送セミナー               | 10  | 45          | 匠のふるさと会津の解説(45分)                                    |
| 5月10日(木) | 西会津町立西会津小学校(3年)          | 42  | 60          | フタバスズキリュウの秘密・常設展動物を探そう(40分)                         |
| 5月11日(金) | 大熊町立大熊小学校(6年)            | 9   | 90          | 大熊町の歴史(30分)                                         |
| 5月18日(金) | 会津若松市立第二こども園(年長)         | 64  | 60          | フタバスズキリュウの秘密・昔の遊び(60分)                              |
| 5月18日(金) | 会津若松市立門田小学校(2年)          | 65  | 135         | フタバスズキリュウの秘密・匠のふるさと会津の解説<br>常設展動物を探そう(120分)         |
| 5月20日(日) | 昭和村公民館                   | 5   | 120         | 匠のふるさと会津の解説(45分)                                    |
| 5月24日(木) | 会津若松市立行仁小学校(2年)          | 51  | 90          | フタバスズキリュウの秘密・常設展動物を探そう(40分)                         |
| 5月25日(金) | 会津若松市立城南小学校(2年)          | 74  | 120         | 昔の洗濯体験・フタバスズキリュウの秘密(100分)                           |
| 5月25日(金) | 会津美里町立本郷小学校(2年)          | 36  | 60          | フタバスズキリュウの秘密(25分)×2回                                |
| 5月29日(火) | 会津工業高等学校建築インテリア科(3年)     | 42  | 90          | 匠のふるさと会津の解説(60分)                                    |
| 5月30日(水) | 会津工業高等学校建築インテリア科(1年)     | 46  | 90          | 匠のふるさと会津の解説(60分)                                    |
| 5月30日(水) | 会津工業高等学校建築インテリア科(2年)     | 43  | 90          | 匠のふるさと会津の解説(60分)                                    |
| 5月31日(木) | 会津若松市立東山小学校(1年)          | 38  | 60          | フタバスズキリュウの秘密・常設展動物を探そう(30分)                         |
| 5月31日(木) | 猪苗代町立猪苗代小学校(6年)          | 53  | 90          | 猪苗代の歴史(40分)                                         |
| 5月31日(木) | 磐梯町立磐梯第二小学校(1・2年)        | 21  | 110         | フタバスズキリュウの秘密・常設展動物を探そう(40分)                         |
| 6月1日(金)  | 下郷町立江川小学校(1・2・3年)        | 37  | 60          | フタバスズキリュウの秘密・大昔の人の暮らし(45分)                          |
| 6月5日(火)  | 会津美里町立高田小学校(6年)          | 51  | 90          | 会津の歴史(40分)                                          |
| 6月6日(水)  | 会津若松市立第一中学校美術部           | 30  | 120         | 会津漆器の工程解説・企画展常設展資料のスケッチ(120分)                       |
| 6月7日(木)  | 喜多方市 天心ケアハイツ(在宅介護支援センター) | 30  | 60          | 企画展「匠のふるさと会津」解説(40分)                                |
| 6月7日(木)  | 県立博物館屋根改修工事工法選定委員会委員     | 4   | 40          | 企画展「匠のふるさと会津」解説(40分)                                |
| 6月9日(土)  | 会津若松市立城北小学校2年PTA学年行事     | 100 | 120         | 常設展オリジナル問題作成<br>親子でといてみよう(40分)×2                    |
| 6月9日(土)  | 福島大学生                    | 12  | 60          | 企画展「匠のふるさと会津」(40分)バックヤード                            |
| 6月12日(火) | 域内公立小中学校事務担当者会議          | 132 | 150         | 学校利用の紹介(30分)                                        |
| 6月13日(水) | 郡山市立田母神小学校(6年)           | 13  |             | 企画展「匠のふるさと会津」解説(20分)                                |
| 6月14日(木) | いわき市立夏井小学校(5年)           | 25  | 90          | 福島のお古墳時代を知る(40分)<br>企画展「匠のふるさと会津」解説(15分)            |
| 6月15日(金) | 郡山市立行徳小学校(6年)            | 52  | 60          | 福島のおかし 大塚山古墳・安積疎水開拓事業について(30分)                      |
| 6月16日(土) | 昭和公民館                    | 9   | 240         | 企画展講演会参加(90分)<br>企画展「匠のふるさと会津」解説(60分)常設展自由見学        |
| 6月16日(土) | 長岡市文書資料室員                | 2   | 40          | 企画展「匠のふるさと会津」解説(40分)                                |
| 6月17日(日) | 会津共同高等職業訓練校              | 10  | 60          | 企画展「匠のふるさと会津」解説(50分)                                |
| 6月20日(水) | 郡山市立行健第二小学校(6年)          | 92  | 100         | 化石にふれてみよう(30分)×3回                                   |
| 6月20日(水) | 福島市立鎌田小学校(6年)            | 100 | 75          | 福島市の縄文～古墳時代(30分)常設展にて→磐梯山噴火・縄文時代・第2次世界大戦について(15分)ずつ |

| 月日       | 団体名                     | 人数  | 滞在時間<br>(分) | 内容                                                                       |
|----------|-------------------------|-----|-------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 6月21日(木) | 会津柳津学園中学校(1年)           | 5   | 30          | 自然部門展示室解説(30分)                                                           |
| 6月21日(木) | 田村市立常葉小学校(6年)           | 24  | 60          | 常設展通し解説(30分)                                                             |
| 6月21日(木) | 田村市立瀨川小学校(6年)           | 14  | 60          | 船引町の歴史(30分)                                                              |
| 6月21日(木) | 田村市立船引小学校(6年)           | 105 | 60          | 船引町の歴史(30分)                                                              |
| 6月22日(金) | 喜多方市立駒方公民館              | 21  | 120         | 企画展「匠のふるさと会津」解説(60分)                                                     |
| 6月22日(金) | 石川町文化協会                 | 40  | 60          | 企画展「匠のふるさと会津」解説(40分)                                                     |
| 6月24日(日) | 一箕公民館                   | 19  | 180         | 会津の古墳について(30分) 常設展通し解説(30分)<br>勾玉作り(80分)                                 |
| 6月26日(火) | 会津若松市立城北小学校(6年)         | 60  | 78          | 会津の歴史 講話(30分)                                                            |
| 6月27日(水) | 会津若松市立一箕小学校             | 38  | 60          | 大塚山古墳探検 講話(40分)<br>常設展見学ワンポイント解説(15分)                                    |
| 6月27日(水) | 会津美里町立本郷中学校             | 3   | 60          | 常設展通し解説(30分)                                                             |
| 6月29日(金) | 天栄村立湯本小学校               | 12  | 40          | 常設展 天栄村の資料解説(30分)                                                        |
| 7月4日(水)  | 桑折町立醸芳小学校               | 58  | 90          | 常設展通し解説 3班にわかれて(30分×3)                                                   |
| 7月13日(金) | 会津ザベリオ学園こども園            | 32  | 90          | 常設展「動物を探そう」(25分) 部門展示室「フタバスズキリュウのふしぎ」(25分) 体験学習室「昔のあそび」                  |
| 7月21日(土) | 会津坂下町立坂下東小学校5年PTA学年行事   | 80  | 60          | 通し解説(30分)×2回 親子で協力常設展を見学しながら問題を解いていこう(25分)×2回                            |
| 7月26日(木) | 耶麻両沼中教研社会科部会            | 15  | 90          | 県立博物館を利用した新しい社会のあり方 説明(60分)、総合展示室の資料の解説と見学(30分) 企画展「美しき刃たち」見学            |
| 8月2日(木)  | 福島市 吾妻学習センター            | 11  | 60          | 常設展 通し解説(30分)                                                            |
| 8月8日(水)  | 伊達市小学校夏休み史跡体験学習         | 110 | 75          | 3~6年講話「会津と戊辰戦争」(30分) 1.2年生常設展「動物探し」(30分) 部門展示室「フタバスズキリュウ」解説              |
| 8月10日(金) | 二本松市 あだちチャレンジ教室<br>体験事業 | 34  | 50          | 常設展 通し解説(30分)                                                            |
| 8月21日(火) | 西七日町児童館                 | 12  | 150         | 勾玉の解説と勾玉づくり(90分) 常設展見学・体験学習室「昔のあそび」体験                                    |
| 8月24日(金) | 白河高・旭高・白河実業高校           | 11  | 60          | 常設展通し解説(30分)                                                             |
| 9月5日(水)  | 郡山市 久留米公民館              | 30  | 60          | 企画展「戊辰戦争150年」解説(60分)                                                     |
| 9月6日(木)  | 梁川町梁川町郷土史研究会            | 20  | 60          | 企画展「戊辰戦争150年」解説(40分)                                                     |
| 9月7日(金)  | 喜多方市 のびやか保育園            | 22  | 90          | 常設展「動物探し」(20分) 部門展示室「フタバスズキリュウをみよう」(20分)                                 |
| 9月7日(金)  | 須賀川市立柏城小学校(4年)          | 79  | 70          | 常設展 通し解説(30分)×2回                                                         |
| 9月7日(金)  | 梁川町郷土史研究会               | 60  | 20          | 企画展「戊辰戦争150年」解説(60分)                                                     |
| 9月13日(木) | 大阪市関西福島県人会              | 11  | 65          | 企画展「戊辰戦争150年」解説(30分)                                                     |
| 9月15日(土) | 喜多方市高郷公民館(小学生)          | 19  | 60          | 常設展 ハイライトツアー参加(30分)                                                      |
| 9月20日(木) | 大玉村立大山小学校(6年)           | 45  | 60          | 企画展「戊辰戦争150年」解説(30分)                                                     |
| 9月21日(金) | いわき市立草野小学校(6年)          | 60  | 30          | 講話「いわきの古墳時代」(30分)                                                        |
| 9月28日(金) | いわき市立中央台北小学校(6年)        | 64  | 60          | 展示室通し解説(30分)×2回                                                          |
| 9月28日(金) | 郡山支援学校                  | 18  | 60          | 企画展「戊辰戦争150年」解説 常設展自由見学<br>体験学習室「昔のおもちゃ」「パズル」体験 *生徒の実態に応じて見学や体験をしていただいた。 |
| 9月28日(金) | 須賀川市 東公民館               | 30  | 120         | 紙すき体験(45分)×2回                                                            |
| 9月28日(金) | 須賀川市立大森小学校(6年)          | 16  | 60          | 常設展解説(40分)                                                               |

| 月日        | 団体名                     | 人数  | 滞在時間<br>(分) | 内容                                                                                         |
|-----------|-------------------------|-----|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10月2日(火)  | 宮城県東北電力 本店電友会           | 65  | 60          | 企画展「戊辰戦争150年」解説(30分)×2回                                                                    |
| 10月2日(火)  | 常磐交通観光                  | 40  | 60          | 企画展「戊辰戦争150年」解説(30分)×2回                                                                    |
| 10月4日(木)  | 会津若松市 どんぐり山子ども園         | 90  | 25          | 企画展「白虎隊について解説(20分)」                                                                        |
| 10月6日(土)  | コープあいづ                  | 20  | 60          | 企画展「戊辰戦争150年」解説(60分)                                                                       |
| 10月10日(水) | 会津坂下町 中央公民館             | 29  | 60          | 企画展「戊辰戦争150年」解説(60分)                                                                       |
| 10月10日(水) | 清水元気会(高齢者)              | 20  | 60          | 企画展「戊辰戦争150年」(60分)                                                                         |
| 10月11日(木) | 河東第三幼稚園(年長)             | 23  | 60          | 部門展示室「フタバズキリュウをみよう」(20分)<br>常設展「動物をさがしてみよう」(20分)                                           |
| 10月11日(木) | 会津報徳保育園(年長)             | 24  | 90          | 部門展示室「フタバズキリュウをみよう」(20分)<br>常設展「動物を探してみよう」(20分)                                            |
| 10月25日(木) | 泉崎村立泉崎第二小学校(6年)         | 28  | 90          | 常設展通し解説(30分)                                                                               |
| 10月25日(木) | 湯川村立笈川小学校(6年)           | 16  | 90          | 体験学習「化石にさわろう」(40分) 常設展通し解説(50分)                                                            |
| 11月6日(火)  | 会津若松市立永和小学校(6年)         | 18  | 90          | 講話「会津の偉人について」(20分) 常設展通し解説(30分)                                                            |
| 11月8日(木)  | 福島市新陵学習センター(高齢者)        | 15  | 90          | 常設展 解説(45分)                                                                                |
| 11月8日(木)  | 福島市立北沢又小学校(6年)          | 74  | 60          | 常設展通し解説(30分)×2回 企画展示室見学                                                                    |
| 11月17日(土) | 茨城キリスト教大学(1年)           | 27  | 120         | バックヤード案内(45分)                                                                              |
| 11月20日(火) | 二本松市立二本松南小学校(6年)        | 52  | 120         | 常設展 通し解説(30分)×2回<br>企画展「日本のわざと美」解説(55分)                                                    |
| 11月27日(火) | 喜多方市立第三小学校(6年)          | 16  | 120         | 体験学習「勾玉づくり」(60分)                                                                           |
| 11月30日(金) | 全国高等学校自動車科担当者会議<br>(教員) | 100 | 90          | 企画展「日本のわざと美」解説(35分)                                                                        |
| 12月6日(木)  | 経済同友会                   | 15  | 80          | 常設展「近現代」解説(20分)                                                                            |
| 12月7日(金)  | 柳津町立柳津小学校(6年)           | 30  | 90          | 部門展示室「化石と鉱物」(15分) 常設展通し解説(30分)                                                             |
| 12月20日(木) | 会津若松市立城南小学校(3年)         | 65  | 90          | 2組に分かれて活動～体験学習「昔の道具」(45分)×2回<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室<br>「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(45分)×2回 |
| 12月27日(木) | 県立川口高等学校(1年)            | 5   | 120         | 常設展通し解説(30分) バックヤードツアー(60分)                                                                |
| 1月16日(水)  | 会津若松市立湊小学校(3年)          | 11  | 110         | 体験学習「昔の道具」(45分)<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室<br>「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(45分)                 |
| 1月18日(金)  | 会津若松市立翁島小学校(3年)         | 12  | 70          | 体験学習「昔の道具」(40分)<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室<br>「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(30分)                 |
| 1月19日(土)  | 日立市立大久保中学校(1年)          | 172 | 60          | 防災教室(30分)                                                                                  |
| 1月22日(火)  | 福島市 桃林会OB会(高齢者)         | 30  | 50          | 常設展通し解説(30分)                                                                               |
| 1月23日(水)  | 会津若松市立東山小学校(3年)         | 55  | 90          | 2組に分かれて活動～体験学習「昔の道具」(45分)×2回<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室<br>「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(45分)×2回 |
| 1月30日(水)  | 会津若松市立大戸小学校             | 6   | 90          | 体験学習「昔の道具」(45分)<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室<br>「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(45分)                 |
| 1月30日(水)  | 大熊町立熊町小学校(3年)           | 4   | 90          | 体験学習「昔の道具」(45分)<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室<br>「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(45分)                 |

| 月日       | 団体名                              | 人数  | 滞在時間<br>(分) | 内容                                                                                                  |
|----------|----------------------------------|-----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1月31日(木) | 会津若松市立川南小学校(3年)                  | 19  | 120         | 体験学習「昔の道具」(45分)<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説・「昔のあそび」体験(75分)                    |
| 2月5日(火)  | 会津若松市立鶴城小学校(3年)                  | 51  | 90          | 2組に分かれて活動～体験学習「昔の道具」(45分)×2回<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(45分)×2回              |
| 2月9日(土)  | 日立市立日高中学校(1年)                    | 125 | 50          | 常設展通し解説(30分)×3回                                                                                     |
| 2月13日(水) | 会津若松市立河東学園小学校(3年)<br>1・2組        | 48  | 140         | 時間をずらし来館 2組に分かれて活動～<br>体験学習「昔の道具」(45分)×2回<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(45分)×2回 |
| 2月14日(木) | 会津若松市立河東学園小学校(3年)<br>3組          | 25  | 90          | 体験学習「昔の道具」(45分)<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(45分)                              |
| 2月15日(金) | 会津ザベリオ学園小学校(3年)                  | 23  | 105         | 体験学習「昔の道具」(60分)<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(45分)                              |
| 2月22日(金) | 会津若松市立勤教小学校(3年)                  | 54  | 120         | 2組に分かれて活動～体験学習「昔の道具」(60分)×2回<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(60分)×2回              |
| 2月27日(水) | 会津若松市立行仁小学校(3年)                  | 45  | 120         | 2組に分かれて活動～体験学習「昔の道具」(60分)×2回<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(60分)×2回              |
| 2月28日(金) | 会津若松市立城北小学校(3年)                  | 49  | 120         | 2組に分かれて活動～体験学習「昔の道具」(60分)×2回<br>部門展示室「囲炉裏まわりの道具たち」解説・体験学習室「昔のあかり」体験・「囲炉裏の生活」解説(60分)×2回              |
| 3月28日(木) | 埼玉県三郷市教育委員会主催<br>リーダー講習会(小学校～高校) | 53  | 120         | 講座「避難所でできること」(50分) 常設展通し解説(30分)×2回 特集展解説(30分)×2回                                                    |

(イ) 平成30年度 博物館を活用した学校教育プログラム研修会

| 時間            | 内容                                       | 場所   |
|---------------|------------------------------------------|------|
| 10時～10時10分    | 開講式・オリエンテーション                            | 視聴覚室 |
| 10時10分～10時30分 | 研修1「当館の学校団体活用プログラムの概要」                   | 視聴覚室 |
| 10時30分～11時30分 | 研修2「教科書分析/発掘調査成果からの補足」                   | 視聴覚室 |
| 11時30分～12時    | 研修3「展示資料の活用ポイント」                         | 展示室  |
| －昼食－          |                                          |      |
| 13時～13時45分    | 研修4「児童対象プログラム体験」【見学導入授業：福島県の弥生時代を調べてみよう】 | 視聴覚室 |
| 13時55分～15時25分 | 研修5「体験学習メニューの実際：石包丁づくり」                  | 実習室  |
| 15時25分～15時50分 | 博物館活用に関する意見交換                            | 実習室  |
| 15時50分～16時    | 閉講式・修了証授与                                | 実習室  |

定員 30名

## (ウ) ゲストティーチャー実施一覧

| 月 日       | 講 師                                      | 分野 | 内 容                      | 実施先      | 科目                 |
|-----------|------------------------------------------|----|--------------------------|----------|--------------------|
| 4月19日(木)  | 猪瀬 弘瑛<br>杉崎 佐保恵<br>筑波 匡介<br>高橋 満<br>高橋 充 | 合同 | 震災遺産・化石等観覧支援ソフトの開<br>発演習 | 会津大学     | 会津大学ソフトウェア<br>スタジオ |
| 5月10日(木)  | 猪瀬 弘瑛<br>杉崎 佐保恵<br>筑波 匡介<br>高橋 充         | 合同 | 震災遺産・化石等観覧支援ソフトの開<br>発演習 | 会津大学     | 会津大学ソフトウェア<br>スタジオ |
| 5月24日(木)  | 猪瀬 弘瑛<br>高橋 充                            | 合同 | 震災遺産・化石等観覧支援ソフトの開<br>発演習 | 会津大学     | 会津大学ソフトウェア<br>スタジオ |
| 5月31日(木)  | 高橋 満<br>筑波 匡介<br>高橋 充                    | 合同 | 震災遺産・化石等観覧支援ソフトの開<br>発演習 | 会津大学     | 会津大学ソフトウェア<br>スタジオ |
| 6月14日(木)  | 猪瀬 弘瑛<br>高橋 充                            | 合同 | 震災遺産・化石等観覧支援ソフトの開<br>発演習 | 会津大学     | 会津大学ソフトウェア<br>スタジオ |
| 6月28(木)日  | 小林 めぐみ                                   | 美術 | 会津の漆器・本郷焼                | 会津学鳳中学校  | 総合                 |
| 6月28日(木)  | 猪瀬 弘瑛<br>筑波 匡介<br>高橋 充                   | 合同 | 震災遺産・化石等観覧支援ソフトの開<br>発演習 | 会津大学     | 会津大学ソフトウェア<br>スタジオ |
| 7月19日(木)  | 猪瀬 弘瑛<br>高橋 充                            | 合同 | 震災遺産・化石等観覧支援ソフトの開<br>発演習 | 会津大学     | 会津大学ソフトウェア<br>スタジオ |
| 9月11日(火)  | 内山 大介<br>大里 正樹                           | 民俗 | 博物館実習                    | 福島大学     | 博物館資料論             |
| 9月26日(水)  | 高橋 充                                     | 歴史 | ガイダンス                    | 福島県立医科大学 | 芸術と文化              |
| 10月3日(水)  | 高橋 満                                     | 震災 | モノからコトへ～震災遺産を考える         | 福島県立医科大学 | 芸術と文化              |
| 10月6日(土)  | 田中 伸一<br>筑波 匡介                           | 震災 | 被災地へのフィールドワーク            | 会津高等学校   | 総合                 |
| 10月10日(水) | 内山 大介                                    | 民俗 | 医療と民俗Ⅰ 妊娠と出産             | 福島県立医科大学 | 芸術と文化              |
| 10月14日(日) | 大里 正樹<br>田中 伸一<br>筑波 匡介                  | 震災 | 若商祭「あの日を忘れない2018」        | 若松商業高等学校 | 行事                 |
| 10月24日(水) | 内山 大介                                    | 民俗 | 医療と民俗Ⅱ 死と葬送              | 福島県立医科大学 | 芸術と文化              |
| 10月31日(水) | 猪瀬 弘瑛                                    | 自然 | 化石の宝庫・福島県Ⅰ               | 福島県立医科大学 | 芸術と文化              |
| 11月1日(木)  | 内山 大介                                    | 民俗 | 民俗資料と博物館                 | 福島大学     | 博物館資料論             |
| 11月14日(水) | 猪瀬 弘瑛                                    | 自然 | 化石の宝庫・福島県Ⅱ               | 福島県立医科大学 | 芸術と文化              |
| 11月29日(木) | 相田 優                                     | 自然 | 博物館資料としての自然史資料           | 福島大学     | 博物館資料論             |
| 11月21日(水) | 塚本 麻衣子                                   | 美術 | 福島の仏教美術ー祈りの形ー            | 福島県立医科大学 | 芸術と文化              |
| 11月28日(水) | 高橋 満                                     | 考古 | 縄文と弥生                    | 福島県立医科大学 | 芸術と文化              |
| 12月5日(水)  | 高橋 充                                     | 歴史 | 伊達政宗からの手紙                | 福島県立医科大学 | 芸術と文化              |

## カ 職場体験

児童・生徒の進路意識の向上や職業観・勤労観の育成に寄与すべく、職場体験を受け入れている。平成30年度は3校からの要請があり、当館における業務を幅広く体験してもらった。

○職場体験受け入れ実績（児童・生徒のみ）

- ・会津若松市立第四中学校  
（2年生：4名） 2日間
- ・会津若松市立第一中学校  
（2年生：2名） 2日間
- ・三島町立三島中学校  
（2年生：1名） 2日間

キ 博物館実習

学芸員資格取得のための博物館実習を実施している。

平成30年度は県内出身および県内大学に在学する学生11名を受け入れた。演習「震災遺産を考えるー東京セッションー」では、グループでテーマを決め、東京で震災や震災遺産についての説明やプレゼンテーションを実施することを想定して、各グループで発表したのち積極的な意見交換を行うことができた。

実習期間 平成30年9月4日(火)～9日(日)

(3) 生涯学習・研究支援

ア 相談コーナー

エントランスホール内に配置された無料空間。展示図録・報告書・紀要など博物館の刊行物、および博物館資料に関連した図書を配架。図書は図鑑・事典類、調べ学習への対応、見て楽しむ本の3項目を重視して選定し、入館者が自由に閲覧できる。現在の配架図書数は2,686冊である。

相談コーナーは、入館者の展示や資料に関する質問や相談の求めに応じて、入館者と学芸員が面談する場としても利用される。

イ 資料の特別観覧

個人や研究機関による研究活動を支援するため、博物館資料の閲覧や撮影を許可し、実施している。

分野別特別観覧件数

考古：11件874点 歴史：15件47点 美術：2件5点  
民俗：8件89点 自然：1件2点 計37件1,017点

ウ 講師派遣

大学や公民館、研究団体などからの依頼に応じて、学芸員を講演会や講座に講師として派遣している。

平成30年度の派遣回数数は34回であった。

(ア) 実習生所属大学一覧

| No  | 大学名          | 人数 |
|-----|--------------|----|
| 1   | 岩手大学         | 1  |
| 2   | 駒澤大学         | 1  |
| 3   | 千葉科学大学       | 2  |
| 4   | 東北芸術工科大学     | 1  |
| 5   | 新潟大学         | 1  |
| 6   | 宮城学院女子大学     | 1  |
| 7   | 八洲学園大学       | 1  |
| 8   | 山形県立米沢女子短期大学 | 3  |
| 合 計 |              | 11 |

(イ) 福島県立博物館 平成30年度博物館実習日程・内容

| 月日              | 時 間         | 内 容          | 担 当                  | 場 所       |
|-----------------|-------------|--------------|----------------------|-----------|
| 9月<br>4日<br>(火) | 8時50分～9時    | 出席確認・諸連絡     | 学習支援班                | 第2会議室     |
|                 | 9時～9時10分    | 実習生紹介        | 学習支援班                | 事務室       |
|                 | 9時10分～9時50分 | オリエンテーション    | 学習支援班                | 第2会議室     |
|                 | 10時～12時     | 事業の概要・館内施設見学 | 学芸課長・震災遺産保全チーム・学習支援班 | 視聴覚室・管理棟  |
|                 | －昼食－        |              |                      |           |
|                 | 13時～13時30分  | 博物館の資料と調査研究  | 資料整理・保存班             | 第2会議室     |
|                 | 13時30分～14時  | 博物館の広報普及活動   | 広報班                  | 第2会議室     |
|                 | 14時～14時30分  | 博物館の展示       | 展示・企画班               | 第2会議室     |
|                 | 14時40分～16時  | 常設展・企画展の自由見学 | 学習支援班                | 展示室       |
|                 | 16時10分～17時  | 実習日誌の作成・提出   | 学習支援班                | 第2会議室     |
| 5日<br>(水)       | 8時50分～9時    | 出席確認・諸連絡     | 学習支援班                | 第2会議室     |
|                 | 9時10分～12時   | 歴史資料の取り扱い    | 歴史分野                 | 第2会議室     |
|                 | －昼食－        |              |                      |           |
|                 | 13時～15時50分  | 民俗資料の取り扱い    | 民俗分野                 | 第1収蔵庫ほか   |
|                 | 16時～16時30分  | 図書資料の整理・登録   | 資料整理・保存班             | 図書室       |
| 6日<br>(木)       | 16時30分～17時  | 実習日誌の作成提出    | 学習支援班                | 第2会議室     |
|                 | 8時50分～9時    | 出席確認・諸連絡     | 学習支援班                | 第2会議室     |
|                 | 9時10分～12時   | 美術資料の取り扱い    | 美術分野                 | 第2会議室     |
|                 | －昼食－        |              |                      |           |
|                 | 13時～15時50分  | 考古資料の取り扱い    | 考古分野                 | 実習室・第2収蔵庫 |
| 16時～16時30分      | 図書資料の整理・登録  | 資料整理・保存班     | 図書室                  |           |
|                 | 16時30分～17時  | 実習日誌の作成提出    | 学習支援班                | 第2会議室     |

| 月日        | 時 間               | 内 容                   | 担 当           | 場 所          |
|-----------|-------------------|-----------------------|---------------|--------------|
| 7日<br>(金) | 8時50分～9時          | 出席確認・諸連絡<br>自然資料の取り扱い | 学習支援班<br>自然分野 | 第2会議室<br>実習室 |
|           | 9時10分～12時<br>－昼食－ |                       |               |              |
|           | 13時～15時           | 資料の保存                 | 保存科学分野・資料班    | 第5収蔵庫ほか      |
|           | 15時10分～16時30分     | 震災遺産について              | 震災遺産保全チーム     | 図書室          |
|           | 16時30分～17時        | 実習日誌の作成提出             | 学習支援班         | 第2会議室        |
| 8日<br>(土) | 8時50分～9時          | 出席確認・諸連絡              | 学習支援班         | 第2会議室        |
|           | 9時10分～12時<br>－昼食－ | 演習①震災遺産を考える企画立案       | 学習支援班         | 実習室          |
|           | 13時～16時20分        | 演習②震災遺産を考える企画立案       | 学習支援班         | 実習室          |
|           | 16時30分～17時        | 実習日誌の作成・提出            | 学習支援班         | 第2会議室        |
| 9日<br>(日) | 8時50分～9時          | 出席確認・諸連絡              | 学習支援班         | 第2会議室        |
|           | 9時10分～12時<br>－昼食－ | 演習③震災遺産を考える発表準備       | 学習支援班         | 実習室          |
|           | 13時～15時50分        | 演習④震災遺産を考える発表・意見交換    | 学習支援班         | 実習室          |
|           | 16時～16時30分        | 実習を終えて（感想・意見交換）       | 学習支援班         | 第2会議室        |
|           | 16時30分～17時        | 実習日誌の作成・提出            | 学習支援班         | 第2会議室        |

(ウ) 講師派遣一覧

| No. | 月 日       | 講 師                    | 分野   | 演 題 ・ 内 容 等                       | 主 催             |
|-----|-----------|------------------------|------|-----------------------------------|-----------------|
| 1   | 5月30日(水)  | 塚本 麻衣子                 | 美術   | 仏像の観方と会津の仏像                       | 喜多方市中央公民館       |
| 2   | 6月5日(火)   | 高橋 充                   | 歴史   | 会津三十三観音と御詠歌                       | 西会津町公民館         |
| 3   | 6月19日(火)  | 荒木 隆                   | 学習支援 | 博物館を活用した社会科授業の方法                  | 福島県教育センター       |
| 4   | 6月22日(金)  | 高橋 充                   | 歴史   | 戊辰戦争のいろは                          | 会津美里町公民館        |
| 5   | 7月16日(月)  | 荒木 隆                   | 考古   | 福島の古代寺院～西原廃寺を中心に～                 | じょうもびあ宮畑        |
| 6   | 7月18日(水)  | 田中 伸一                  | 歴史   | 社会福祉の母 瓜生岩子                       | 福島愛育園           |
| 7   | 9月6日(木)   | 荒木 隆                   | 学習支援 | 子どもたちの学びを支える博物館活動                 | 東北歴史博物館         |
| 8   | 9月18日(火)  | 荒木 隆                   | 学習支援 | 博物館を活用した小学校社会科の進め方                | 福島県教育センター       |
| 9   | 9月19日(水)  | 阿部 綾子                  | 歴史   | 戊辰戦争と語り                           | 会津若松観光ビューロー     |
| 10  | 9月29日(土)  | 荒木 隆                   | 考古   | 上人壇廃寺の秘密を探ろう                      | 須賀川市教育委員会       |
| 11  | 10月10日(水) | 塚本 麻衣子                 | 美術   | 会津の仏像の魅力                          | 会津と奈良いにしへの継承委員会 |
| 12  | 10月13日(土) | 田中 敏                   | 考古   | 卑弥呼の時代のふくしま                       | まほろん            |
| 13  | 10月13日(土) | 荒木 隆                   | 考古   | 陸奥国における石城国の役割                     | いわき市生涯学習課       |
| 14  | 10月13日(土) | 塚本 麻衣子                 | 美術   | 会津の仏教文化をめぐる旅(南エリア編)               | 会津トラベルサービス      |
| 15  | 10月20日(土) | 塚本 麻衣子                 | 美術   | 会津の仏教文化をめぐる旅(西エリア編)               | 会津トラベルサービス      |
| 16  | 10月25日(木) | 荒木 隆                   | 学習支援 | 博物館における読み聞かせ活動                    | 南会津教育事務所        |
| 17  | 10月30日(火) | 佐藤 洋一                  | 歴史   | 戊辰戦争150年                          | 猪苗代町社会福祉協議会     |
| 18  | 11月10日(土) | 塚本 麻衣子                 | 美術   | 会津の仏教文化をめぐる旅(中央エリア編)              | 会津トラベルサービス      |
| 19  | 11月13日(月) | 猪瀬 弘瑛                  | 自然   | 棚倉町の地理・自然                         | 棚倉町地域創生課        |
| 20  | 11月14日(水) | 塚本 麻衣子                 | 美術   | 慧日寺薬師如来坐像と磐梯山                     | 磐梯山ジオパーク協議会     |
| 21  | 11月14日(水) | 小林 めぐみ                 | 美術   | 支えるわざ・伝えるくらし                      | 会津若松まちづくり株式会社   |
| 22  | 11月17日(土) | 猪瀬 弘瑛<br>弦巻 優太<br>相田 優 | 自然   | spffサイエンス屋台村<br>「アンモナイトの名前を当てよう！」 | 福島市こむこむ館        |
| 23  | 11月20日(火) | 塚本 麻衣子                 | 美術   | 仏像の知られざる見どころ紹介                    | 極上の会津プロジェクト協議会  |
| 24  | 11月25日(日) | 阿部 綾子                  | 歴史   | 会津藩の戦後処理                          | 会津若松市教育委員会      |
| 25  | 11月27日(火) | 塚本 麻衣子                 | 歴史   | 会津の三十三観音めぐりについて                   | あいづわくわく学園       |

| No. | 月 日      | 講 師            | 分野    | 演 題 ・ 内 容 等           | 主 催                      |
|-----|----------|----------------|-------|-----------------------|--------------------------|
| 26  | 12月1日(土) | 荒木 隆           | 考古    | 陸奥南部における磐城郡の果たした役割    | いわき市教育文化事業団              |
| 27  | 1月22日(火) | 塚本 麻衣子         | 美術    | 仏像の知られざる見どころ紹介        | 極上の会津プロジェクト協議会           |
| 28  | 2月17日(日) | 高橋 充           | 歴史    | 会津の観音信仰               | 会津若松市教育委員会               |
| 29  | 2月23日(土) | 荒木 隆           | 考古    | 北田城のルーツを探る～会津郡内の物流拠点～ | 湯川村教育委員会                 |
| 30  | 2月23日(土) | 山口 拓           | 民俗    | 都市移住者研究の現状と課題について     | 国学院大學研究開発推進センター          |
| 31  | 2月26日(火) | 塚本 麻衣子<br>高橋 充 | 美術・歴史 | 会津の仏教文化・江戸時代の観音めぐり    | 極上の会津プロジェクト協議会           |
| 32  | 3月13日(水) | 阿部 綾子          | 歴史    | 大須賀清光が描いた会津           | 会津若松まちづくり株式会社            |
| 33  | 3月16日(土) | 塚本 麻衣子         | 美術    | 会津三十三観音堂めぐり           | NPO 法人喜多方市市民活動サポートネットワーク |
| 34  | 3月30日(土) | 塚本 麻衣子         | 美術    | 新宮熊野神社神像について          | 喜多方市教育委員会                |

#### (4) 博物館友の会活動への支援

当館は、福島県立博物館友の会の活動を支援するため、共催事業などの実施、行事に対する講師の派遣、サークル活動への協力、各会員に対して博物館だよりの送付、展示観覧への便宜、資料や文献の閲覧等、研究活動の支援などを行っている。

##### ア 友の会の概要

(ア) 発足 平成元年3月10日

##### (イ) 設立の目的

博物館活動に協力するとともに、会員が「福島県の歴史と文化・自然」についての研修を深め、会員相互の親睦をはかり、あわせて博物館活動の普及発展に寄与することを目的とする。

##### (ウ) 総会の開催

平成31年3月16日(土)に開催した。平成30年度の事業・会務・会計決算等の報告と平成31年度の計画を協議し、承認された。また、各サークルの活動・会計の報告が行われた。

##### (エ) 平成30年度会員数

個人会員：170 家族会員：31 高校生会員：0  
賛助会員：4 合計：205

##### イ 平成30年度事業概要

##### (ア) 友の会創立30周年記念行事

平成30年11月4日(日)、講堂において、友の会創立30周年記念行事を開催した。

##### ○記念式典

式辞：芳賀 幸雄(友の会会長)

祝辞：赤坂 憲雄(博物館長)、寺木 誠伸(会津若松市教育委員会教育長) 他

感謝状贈呈

##### ○歴史講演会

講師：星 亮一(歴史作家)

演題：真実の戊辰戦争—会津藩は朝敵にあらず—

##### ○映画上映会

上映作品：「はやぶさ/HAYABUSA」

##### (イ) 研修旅行

春と秋に研修旅行を実施した。春は、宮城県多賀城市にある東北歴史博物館を訪れ、特別展「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」観覧するとともに、仙台市にある瑞鳳殿を見学した。秋は、戊辰戦争150年に合わせ、「奥会津の歴史を尋ねて」というテーマで、只見町にある河井継之助記念館をはじめ、南会津地方の史跡を巡った。いずれも大変有意義な研修旅行となった。

##### ○春の研修旅行

研修先：東北歴史博物館 瑞鳳殿

期 日：平成30年5月31日(木)

参加者：26名

##### ○秋の研修旅行

研修先：河井継之助記念館 医王寺 成法寺観音堂  
南会津博物館など

期 日：平成30年10月9日(金)

参加者：27名

##### (ウ) 会報の発行

第116号・第117号・第118号と3回の会報を発行し会員に配布した。会長のご挨拶、研修旅行の報告、サークル活動の様子や「友の会創立30周年記念行事」の報告、さらに私のライフワークの紹介など会員の顔が見える紙面作りに努めた。

##### (エ) 博物館事業への協力

##### ○博物館展示観覧

##### ○友の会会員向け企画展内覧会への参加

平成30年4月27日(金)

「匠のふるさと会津」内覧会 34名参加

平成30年10月26日(金)

「日本のわざと美」内覧会 30名参加

##### ○博物館講座への協力

博物館の各種講座へ多くの会員が参加した。

##### ウ サークル活動

化石・鉱物探検隊、古文書愛好会の2サークルが、それぞれの目的に向かって積極的に活動している。サークルごとに主体的に計画し、自立した活動となっている。

## (7) 化石・鉱物探検隊

化石や鉱物に興味をもつ研究サークルで、自然史に関する研鑽と会員相互の親睦を深めることを目的とし、平成11年に設立された。会員数27名。野外での巡検や化石・鉱物の採集、研修会等の活動を行っており、博物館の行事にも随時協力している。

平成30年度は次の活動を行った。

- a 平成30年4月22日(日) 福島市飯坂町中野での化石採集(木の葉の化石)
- b 平成30年5月13日(日) 郡山市熱海母成での鉱物採集(水晶、石英)
- c 平成30年5月27日(日) 郡山市逢瀬町河内高広林道での化石採集会サポート
- d 平成30年6月10日(日) 南会津町螢鉱山での鉱物採集(ホタル石、水晶)
- e 平成30年7月10日(火)～8月19日(日) 化石・鉱物探検隊20周年記念第2回成果展「野山の宝 化石鉱物展」の開催  
(会場:博物館エントランスホール)
- f 平成30年8月26日(日) 郡山市多田野鬼が城での鉱物採集(水晶、黄鉄鉱)
- g 平成30年9月9日(日) 南会津町館岩八総鉱山での鉱物採集(黄鉄鉱、黄銅鉱、紫石英、方鉛鉱)
- h 平成30年10月13日(土) 塙町藤田磁業での化石採集(貝化石)
- i 平成30年10月21日(日) 新潟県阿賀町中ノ沢での鉱物採集(輝沸石、メノウ、玉髄)
- j 平成30年12月2日(日) 学習会
- k 平成31年3月3日(日) 総会 研修会

## (イ) 古文書愛好会

平成14年度に発足した古文書愛好会は随時20～25名が参加し、活動を続けてきた。メンバーは5つの班に分かれ、チームを組んで古文書の解説・考察にあたっている。テキストには当初から県指定文化財の築田家文書(福島県立博物館寄託)を使用している。築田家は江戸時代に若松城下の検断(町役人)を務めた家で、その文書は城下の様子を伝える良質な資料であり、解説を通して少しずつ会津藩の歴史についての知見を深めている。近年では平成26年度から明治元年の公用簿籍(戊辰戦争直後の若松城下の記録)をテキストとして学習を進めてきたが、約4年半かけて、戊辰戦争から150年の節目にあたる平成30年度の上半期で読み終え、下半期には、その成果を「築田家文書第二集 公用簿籍 一会津開城後の民政史料一」として発刊した(平成31年2月)。なお下半期には、新たに会津藩の江戸の産物会所にかかわる記録(「御産物取扱方御仕法書」「御国産一件 壺」)の解説に取り組み、会津藩の産物の流通について学んでいる。

平成30年度の活動人数は25名で、前年度に引き続き月1回・第2土曜日の午前中に開催し、班ごとに順番に発表を行い、毎回最後に文字・内容の検討を行った。

## 7 東日本大震災からの復興支援

平成23年3月11日午後2時46分、宮城県牡鹿半島沖の海底を震源としたマグニチュード9.0の大地震が発生した。震源域は岩手県沖から茨城県沖までの南北約500km、東西約200kmの広範囲に及んだ。福島県立博物館のある会津若松市は震度5強の揺れを被った。福島県立博物館では、建物の躯体そのものには被害はなかった。しかし、設備および資料に若干の被害があり展示室の安全性の確認と修繕工事のため当面のあいだ休館とした。再開したのは平成23年4月12日(火)である。

福島県域は地震とそれに伴う津波、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により甚大な被害を被った。当館では、震災からの復興支援を目的として、平成24年度に新たに「ふくしまの文化・自然遺産の発掘と再生プロジェクト」を立ち上げた。これは次の3つの柱からなっている。

### 1 ふくしまの宝の発掘と保全

市町村や文化施設および大学等と連携し、被災地域の文化財の救出と保全を図るとともに、地域の宝である文化財や自然史資料を改めて調査・収集し、その価値を明らかにすることに努める。

### 2 ふくしまの宝の公開と活用

救出および新たに収集した文化財およびその研究成果をさまざまな形で県民に発信し、地域の誇りをとりもどすとともに、それらを教材として、ふくしまの未来を担う子供たちの育成を図る。

### 3 ふくしまの再生と活性化

文化施設や地域の文化団体、市民グループと連携し、文化資源を活用した地域おこし、文化的事業の開催など、文化の力を用いて地域の再生と活性化を図る。

このコンセプトに基づいて復興支援の事業を展開している。平成30年度は次の事業を実施した。

#### (1) 文化財・自然資料レスキュー

##### ア 平成30年度の活動

##### (7) レスキュー作業の体制

前年度から継続して「福島県被災文化財等救援本部」(以下「救援本部、当館は副代表・幹事・事務局」)に参画して活動した。幹事会1回。

##### (イ) 被災地域の資料への対応

震災後から受け入れてきた資料について、整理作業などを継続し、条件が整ったものについては返還した(一部返還1件)。

避難区域の再編・解除や復旧・復興のための事業が進む中で、要請があった場合に調査等を行った。平成30年度は、大熊町教育委員会の依頼によって、自然分野の学芸員が大熊町オオクマイルカ化石選出地の現地調査を行った。

##### (ウ) 救出された資料の展示公開

a 当館テーマ展「ふるさとの考古資料7【楡葉町歴史資料館】移動展」(～平成30年5月20日(日))

- b 当館テーマ展「けんぱくの宝 2018—漆工芸品名品選」  
(平成30年12月22日(土)～平成31年2月3日(日))
- (エ) 研修会・研究会への参加  
被災資料の保全に関する講演会やシンポジウムなどに参加した。当館が事務局となっている福島県博物館連絡協議会では、平成31年1月18日(金)、19日(土)に「双葉町の現状視察と福島の文化財をめぐるディスカッション—福島の被災地が抱える文化財の課題—」(いわき市・双葉町)で行った。
- (オ) 報告書作成の準備  
当館における震災後の活動・成果等をまとめ、報告書原稿の準備を進めたが、救援本部としての報告書作成は行われなかった。

- イ 今後の課題
- (ア) 受け入れてきた文化財・自然資料への対応(継続)
- (イ) 旧警戒区域からの文化財・自然資料の搬出・保全(継続)
- a 個人所有資料の保全
- b 救出された文化財・自然資料の収蔵・公開施設についての検討
- (ウ) 救出された文化財・自然資料の展示公開(継続)
- (エ) 今後の災害に備えたしくみづくりや準備

当館での被災文化財等の受け入れ状況

(平成30年度末現在)

| 受入年度             | 所有者                | 資料概要         | 点数              | 要因            | 整理状況 | 現状                |
|------------------|--------------------|--------------|-----------------|---------------|------|-------------------|
| 平成23             | 1 旧相馬女子高校          | 土器片等         | 195点            | 旧校舎収蔵施設の損壊    | 済み   | 採集                |
|                  | 2 いわき市の個人          | 古文書・祭礼道具等    | 13件<br>(1,509点) | 地震による蔵の損壊     | 未了   | 受託・平成28・29・30一部返還 |
|                  | 3 南相馬市の個人          | 野馬追甲冑等       | 12件<br>(16点)    | 原発事故避難により管理不能 | 不要   | 返還済み              |
|                  | 4 南相馬市の個人          | 文書           | 1点              | 原発事故避難により管理不能 | 不要   | 返還済み              |
|                  | 5 双葉町教育委員会         | 古文書          | 253点            | 原発事故避難により管理不能 | 不要   | 受託                |
|                  | 6 南相馬市の神社          | 棟札・像・文書等     | 22点             | 津波による神社の損壊    | 済み   | 一時預かり             |
|                  | 7 須賀川市の神社          | 絵馬           | 109点            | 地震による神社の損壊    | 済み   | 受託・一部返還           |
|                  | 8 須賀川市の個人          | 雛人形・五月人形等    | 4点              | 地震による建家の損壊    | 済み   | 受贈                |
|                  | 9 双葉町教育委員会         | 刀剣・火縄銃       | 7点              | 原発事故避難により管理不能 | 不要   | 受託                |
|                  | 10 郡山市の個人          | 近代史料・書籍等     | 961点            | 地震による蔵の損壊     | 済み   | 返還済み              |
|                  | 11 双葉町の個人(教育委員会寄託) | 太刀           | 1点              | 原発事故避難により管理不能 | 不要   | 受託                |
|                  |                    | 十三仏画         | 1点              |               | 不要   |                   |
|                  | 12 浪江町の寺院          | 両界種子曼荼羅      | 1点              | 原発事故避難により管理不能 | 不要   | 受託                |
|                  | 13 福島市の個人          | 雛人形・古写真等     | 17件<br>(22点)    | 地震による建家の損壊    | 済み   | 受贈・受託             |
|                  | 14 伊達市の個人          | 土器・石器・図書・地図  | 3件<br>(1,647点)  | 地震による蔵の損壊     | 済み   | 受贈                |
|                  | 15 南相馬市の寺院         | 膳椀漆器         | 48件<br>(79点)    | 原発事故避難により管理不能 | 未了   | 受託                |
|                  | 16 会津工業高校          | 陶磁器          | 8点              | 地震による損壊       | 不要   | 返還済み              |
| 17 南相馬市鹿島歴史民俗資料館 | 植物化石標本             | 62件<br>(66点) | 地震による収蔵施設の損壊    | 済み            | 返還済み |                   |
| 平成24             | 18 浪江町の個人          | 書跡           | 2点              | 原発事故避難により管理不能 | 不要   | 受託                |
|                  | 19 富岡町             | 16ミリフィルム     | 1点              | 原発事故避難により管理不能 | 不要   | 受託                |
|                  | 20 南相馬市の個人         | 化石標本         | 約400点           | 地震による収蔵施設の損壊  | 済み   | 受託                |
|                  |                    | 考古資料(落合B遺跡)  | 4,943点          |               | 済み   |                   |
| 考古資料(棚和子遺跡)      |                    | 10箱          | 済み              |               |      |                   |
| 21 大熊町教育委員会      | 和鏡                 | 1点           | 原発事故避難により管理不能   | 済み            | 受託   |                   |
|                  |                    |              |                 | 済み            |      |                   |

| 受入年度 |    | 所有者      | 資料概要      | 点数           | 要因             | 整理状況 | 現状   |
|------|----|----------|-----------|--------------|----------------|------|------|
| 平成25 | 22 | 浪江町教育委員会 | 棚塩地区公民館地図 | 1点           | 地震・津波による建物損壊   | 不要   | 返還済み |
|      | 23 | 葛尾村の寺院   | 仏像・仏画・経典等 | 5件<br>(604点) | 原発事故避難により管理不能  | 未了   | 受託   |
|      | 24 | 双葉町教育委員会 | 清戸迫横穴壁画模写 | 1点           | 原発事故避難により管理不能  | 不要   | 受託   |
|      | 25 | 双葉町教育委員会 | フタバクジラ化石他 | 27件          | 原発事故避難により管理不能  | 未了   | 受託   |
| 平成28 | 26 | 浪江町の個人   | 大型民具      | 21点          | 地震による建物損壊、解体予定 | 済み   | 受贈   |
|      | 27 | 南相馬市小高区  | 石仏        | 5点           | 津波被害による処分予定    | 済み   | 採集   |

## (2) ふくしま応援ミュージアムイベント

従来実施してきたミュージアムイベントを、「ふくしま応援ミュージアムイベント」と名付け、被災された方々への励ましや、福島県を応援する意図をもったイベントを企画し実施した。

### ア 玄如節と日本の民謡

- (ア) 日時 平成30年6月23日(土) 13時30分～15時
- (イ) 会場 福島県立博物館 エントランスホール
- (ウ) 参加者数 100人
- (エ) 共催・出演 玄如節顕彰会
- (オ) 内容

玄如節は、即興の掛け合いで唄うのを基本とする会津の民謡の源流でもある。今回のイベントでは、会津や東北を中心として民謡を歌と踊りをまじえて披露し、最後に玄如節で締めくくった。

### イ けんぱく映画会「ハーメルン」

- (ア) 日時 平成30年7月16日(月・祝)13時30分～15時
- (イ) 会場 福島県立博物館 講堂
- (ウ) 参加者数 110人
- (エ) 内容

毎年恒例の映画会を講堂で開催した。映画「ハーメルン」の主人公、野田学芸員は、福島県立博物館の考古学の学芸員という設定。昭和村喰丸小学校など県内でロケ撮影して制作され、福島県立博物館で撮影したバックヤードのシーンもある。

### ウ 親子で探検！はくぶつかんのウラ側

- (ア) 日時 平成30年8月14日(火)  
1回目 11時～12時 2回目 14時～15時
- (イ) 会場 福島県立博物館 バックヤード
- (ウ) 参加者数 28人
- (エ) 内容

普段は入ることができない博物館の裏側を親子でふれあいながら文化財を守り伝える博物館のウラ側を体感していただくツアーを実施し、参加した家族に夏休みの一日を楽しく過ごしていただいた。

### エ 会津磐梯山・市民盆踊り

- (ア) 日時 平成30年8月15日(水) 19時～20時30分  
※博物館閉館後
- (イ) 会場 福島県立博物館 前庭

(ウ) 参加者数 70人

- (エ) 共催 会津磐梯山盆踊り保存会
- (オ) 内容

博物館前庭に櫓を組み、会津磐梯山の歌に合わせて自由参加での盆踊り大会を開催した。踊りを通して、先の戦争やこの度の大震災でやむなく生命を奪われてしまった方々に、あらためて追悼と感謝の祈りを捧げた。

### オ 夏休みナイトミュージアム

- (ア) 日時 平成30年8月18日(土)17時30分～18時30分  
※博物館閉館後
- (イ) 会場 福島県立博物館 常設展示室 企画展示室
- (ウ) 参加者数 80人
- (エ) 講師 学芸員
- (オ) 内容

いつもと違う雰囲気真っ暗闇な展示室の中を、懐中電灯の光を頼りに見学する「ナイトミュージアム」は、例年人気の高いイベントである。平成30年度は企画展「美しき刃たちー東京富士美術館と福島の名刀ー」の中も探検した。

### カ 「Coderanni」コンサート

- (ア) 日時 平成30年9月17日(月・祝)13時30分～15時
- (イ) 会場 福島県立博物館 講堂
- (ウ) 参加者数 241人
- (エ) 出演 会津室内楽団「アンソナル・Coderanni」の皆様
- (オ) 内容

会津地域の室内楽普及を目的として、平成23年7月に音楽教育学研究者の峯岸創によって設立された楽団による演奏。第1部「戊辰150年に寄せて」第2部「音楽教育の黎明」第3部「秋の詩」と3部構成で行われた。特に、秋の企画展「戊辰戦争150年」開幕に合わせた第1部の吟詠「白虎隊」は大変迫力があり、音楽から歴史を感じさせてくれるものであった。

### キ クリスマスコンサート

- (ア) 日時 平成30年12月16日(日)13時30分～15時
- (イ) 会場 福島県立博物館 エントランスホール
- (ウ) 参加者数 250人
- (エ) 出演 「SLIDE I' z (スライド あいづ)」  
江見 悠希、石井 陸登、塚原 千翔氏、  
川上 康平

(オ) 内容

毎年恒例となっている12月のミュージアムイベントクリスマスコンサート。多くのお客様に気軽に来館していただき、音楽を楽しんでいただくとともに、博物館に親んでいただく機会とするために実施しており、毎回好評を博している。今回は会津の若者で結成された「SLIDE I' z (スライド あいづ)」による、トロンボーンアンサンブルを披露し、ジングルベルやきよしこの夜などのクリスマスソングを含めて9曲演奏していただいた。演奏後は、トロンボーンやパーカッションなどの楽器演奏体験ができる時間を設け、参加者に楽しんでいただいた。

ク 会津の彼岸獅子

- (ア) 日時 平成31年3月10日(日)13時30分～14時30分
- (イ) 会場 福島県立博物館 エントランスホール
- (ウ) 参加者数 173人
- (エ) 出演 本滝沢獅子舞保存会の皆様
- (オ) 内容

三匹の獅子が踊る三匹獅子舞は福島県内に広く分布しているが、会津若松市周辺では春の彼岸に踊られる「彼岸獅子」として親しまれている。通常は無病息災、五穀豊穡を祈って地区ごとに舞われるが、地区外の方々にも「会津の文化」として親んでいただくために、彼岸に先駆けて館内での実演を開催した。また、当該団体は後継者育成のために中学生を踊り手として活動しており、当イベントは次世代への伝統芸能の継承を助ける場としても機能し始めている。

## 8 次世代ミュージアム機能

第2期中期目標で目標設定している次世代ミュージアム機能に関して、東日本大震災による震災の共有と継承、福島県における新たな文化事業の創出と定着を達成するため、2件のプロジェクト活動を行った。

### (1) ライフミュージアムネットワーク

ア 事業趣旨

福島県立博物館は、平成23年の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故後、文化庁の支援を受けた「はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト」「ふくしま震災遺産保全プロジェクト」の事務局を務め、さまざまな文化芸術による復興支援事業を実施してきた。その過程で浮かび上がって来た課題は、福島、東北、被災地に限らず、日本各地に共通するものであり、解決方法を導き出すべく、広く共有されるべきものだった。

それらの課題は、【いのち】【暮らし】に集約される。これらは各地の博物館・美術館・資料館・記念館を含むミュージアムの活動の核となっているものであり、ミュージアムに限らず、様々な団体、機関も大切にしていることである。

東日本大震災後、新たに浮上してきたミュージアムの使命。それは【いのち(ライフ)】と【暮らし(ライフ)】

に再び誠実に向き合うことと捉え、同じ志を共有するネットワークを強化・拡大することでミュージアムの社会的使命を拡張することを目指してライフミュージアムネットワーク実行委員会を設立、活動を行った。

イ 組織

- (ア) 主催 ライフミュージアムネットワーク実行委員会
- (イ) 構成団体 南相馬市博物館  
はじまりの美術館  
三島町生活工芸館  
一般社団法人ふくしま連携復興センター  
原爆の図丸木美術館  
福島県立博物館

(ウ) 委員長 赤坂 憲雄(福島県立博物館長)

(エ) 事務局 福島県立博物館

ウ 実施期間

- (ア) 実施期間 平成30年7月2日～平成31年3月31日
- (イ) プロジェクト活動期間  
平成30年8月10日～平成31年3月31日

エ 助成

平成30年度文化庁地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

オ 事業内容

リサーチ、オープンディスカッション、フォーラムを実施し、記録集(ライフミュージアムネットワーク活動記録集『福島で「いのち」と「暮らし」を考える』、1,500部)を作成した。

### (2) ふくしま震災遺産保全プロジェクト

平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震とそれともなう津波・原発事故は、福島県内に甚大な被害を及ぼした。未だに多くの方々が避難生活を余儀なくされ、一方で復興や除染工事等により地域の景観は大きく変わりつつある。当館では平成26年度から28年度まで文化庁芸術振興費補助金の採択を受けて、県内の資料館や研究会とともに実行委員会を組織し「ふくしま震災遺産保全プロジェクト」を推進してきた。大震災を契機に起こった様々な出来事を歴史として共有し未来へ継承するため、震災を物語る資料を「震災遺産」と位置付けて、その保全や県内外での展覧会・シンポジウム等のアウトリーチ活動を行った。平成29年度からは当館の事業として、引き続き「震災遺産」の保全や発信を行っている。

ア 震災遺産保全チームの組織

前年度まで活動母体として組織してきた実行委員会は解散したが、博物館内では引き続き「震災遺産保全チーム」として分野横断的なプロジェクトチームを編成し、震災遺産の保全活動を進めている。平成30年度は民俗2名・考古1名・歴史4名(災害史1名を含む)・保存科学1名・自然1名、美術1名の学芸員が参画し、計10名で活動を行った。当館の事業として行う最初の年度であったため、博物館事業として今後進めていくに当たっての活動理念や組織編成、活動方針やその将来像などについてチーム内で協議した。

## イ 震災遺産の調査・保全

前年に引き続き県内における震災遺産の調査や資料収集を進めた。

## ウ 普及事業の実施

ゲストティーチャーとして会津大学のソフトウェアスタジオの授業に協力した。当館からは、震災遺産観覧支援ソフトウェアの作成を提案して、会津大学の学生がソフトウェア開発を作成する過程で、指導した。開発したソフトを特集展で公開した。

# 第 15 節 福島県自然の家

## 1 概要

### (1) 沿革

昭和 47 年県内初の県立少年自然の家として、また、東北でも 3 番目の宿泊研修用の先導的施設として「福島県少年自然の家」（以下「自然の家」という。）を開設。

昭和 50 年海浜型の青少年社会教育施設として「福島県海浜青年の家」（以下「青年の家」という。）を開設。同年発足した「財団法人福島県海浜青年の家」が管理運営を行うこととなる。

昭和 56 年県立少年自然の家 2 施設目となる「福島県会津少年自然の家」を開設。これに伴い、「自然の家」の名称を「福島県郡山少年自然の家」に改める。

平成 8 年「福島県いわき海浜自然の家」を開設。これに伴い、「青年の家」の名称を「福島県相馬海浜自然の家」に改める。運営財団の名称を「財団法人福島県海浜自然の家」に変更し、海浜型 2 施設の管理運営を行うこととなる。

平成 10 年福島県教育庁の直営であった「福島県郡山少年自然の家」及び「福島県会津少年自然の家」の名称を「福島県郡山自然の家」及び「福島県会津自然の家」と改める。これにより財団の名称を「財団法人福島県自然の家」に変更し、県内 4 施設の管理運営を行うこととなる。

平成 18 年度から指定管理者制度を導入し、平成 20 年度までの 3 年間「財団法人福島県自然の家」が指定管理者となり 4 施設の管理運営を行うこととなる。

指定管理者であった財団が平成 20 年度末をもって解散したため、平成 21 年度から 4 施設とも県の直営による管理運営となる。

平成 22 年度に開催した指定管理者選定検討会において「福島県いわき海浜自然の家」が「財団法人いわき市教育文化事業団」に指定管理することとなる。なお、他 3 施設については検討会の条件を満たす団体がいないため直営による運営が継続されることとなる。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、「福島県会津自然の家」は同年 7 月 2 日まで「福島県郡山自然の家」は同年 8 月 28 日まで避難所として運営を行う。また「福島県いわき海浜自然の家」の指定管理は震災の影響により平成 23 年 11 月 1 日からの開始となる。なお「福島県相馬海浜自然の家」は地震・津波の甚大な被害を受け平成 24 年 3 月

31 日をもって公所廃止となる。

平成 25 年度に開催した指定管理者選定検討会において「福島県いわき海浜自然の家」について平成 26 年度から平成 30 年度まで「財団法人いわき市教育文化事業団（平成 26 年度より公益財団法人に移行）」に指定管理することとなる。

平成 30 年度に開催した指定管理者選定検討会において「福島県郡山自然の家」について、令和元年度から令和 5 年度まで「学校法人国際総合学園」に、「福島県いわき海浜自然の家」について、令和元年度から令和 5 年度まで「公益財団法人いわき市教育文化事業団」に指定管理することとなる。

### (2) 所在地

#### ア 福島県郡山自然の家

福島県郡山市逢瀬町多田野字中丸山 46

〒963-0213 TEL 024-957-2111

FAX 024-957-2112

URL <https://www.koriyama-nc.fcs.ed.jp/>

#### イ 福島県会津自然の家

福島県河沼郡会津坂下町大字八日沢字西東山 4495-1

〒969-6504 TEL 0242-83-2480

FAX 0242-83-2481

URL <https://www.aizu-nc.fcs.ed.jp/>

#### ウ 福島県いわき海浜自然の家

福島県いわき市久之浜町田之網字向山 53

〒979-0335 TEL 0246-32-7700

FAX 0246-32-7730

URL <https://www.iwaki-nc.fcs.ed.jp/>

## 2 教育目標及び基本的視点

### (1) 教育目標

恵まれた自然環境の中で、野外学習や集団宿泊活動など様々な活動を通して主体的に対応できる人々の育成を目指す生涯学習の推進のため、次の目標を設定する。

ア 自然の恩恵にふれ、自然に親しむ心や敬虔の念を育てる。

イ 集団宿泊活動を通して規律・協同・友愛及び奉仕の精神を養う。

ウ 自然体験活動を通して自ら実践し、創造する態度を育てる。

### (2) 基本的視点

豊かな自然体験を楽しめる施設として、その機能を十分に発揮するために、施設・設備の整備や運営方法の確立・改善に努め、利用者が充実した活動を展開できるよう、次の基本的視点に基づきそれぞれの施設の運営にあたる。

ア 所員の英知と創意を結集し、施設の充実・整備を図り活気と魅力ある施設の運営に努める。

イ 利用者の多様なニーズや利用目的に応じた柔軟な運営を行うよう努める。

ウ 立地条件を生かした特色ある企画事業を展開するとともに、学校や地域に生きる活動種目やその指導方法の研究開発に努める。

- エ 民間の指導者の協力や高校生・大学生等にボランティアとして参加していただけるように努める。
- オ 現代的課題の解決に対応する事業を推進し、その情報の発信に努める。

## 第16節 福島県郡山自然の家

### 1 概要

#### (1) 沿革

郡山自然の家は、昭和47年に「福島県少年自然の家」という名称で設立され、小・中学校の宿泊体験学習の場として開所して以来45年が経過し、平成30年12月には、延べ利用者数が170万人に達した。

本施設は、郡山駅より西へ約11km、郡山南インターより車で約8分という交通の便に恵まれ、しかも豊かな自然環境に囲まれている都市近郊型の自然の家であり、心身共に健全な青少年と心豊かな社会人を育成することを目的とした教育施設である。

平成20年度まで11年間、県内4つの自然の家を運営してきた財団法人福島県自然の家が解散し、平成21年度から県直営としての運営形態に変わり9年目を終了した。

利用者は、これまで主体であった小・中学生のみならず、園児、高校生、一般社会人、家族など利用者層が多種多様になってきている。恵まれた自然環境の中で、「みどり・であり・感動」をキャッチフレーズに、野外活動や集団宿泊活動を通して、「自然に親しむ心や畏敬の念」「規律・協同・友愛・奉仕の精神」「自ら実践し、創造する態度」の育成を目指し、様々な活動を展開するとともに、生涯学習の拠点として、広く県民に利用していただけるような施設を目指し、施設の改築・改修や本館の段差を解消するなど障がい者にもやさしい施設づくりを進めてきた。

また、園児から高齢者までの幅広い年齢層に対応し、多くの人に利用していただけるよう、多種多様な企画事業の展開や、特色あるプログラムの開発に努めてきた。

さらに、放射線の影響を心配する利用者の声に応えるため、毎月エリア内の放射線量を測定してホームページに載せたり、クラフト活動で使用する木材等については、放射線量の低い地域から採集したり、「みどりの宅配便」を利用して全国から取り寄せたりした。また、放射線量が比較的高い場所のこまめな除草や表土の除去、活動コース付近の落ち葉等の清掃を実施し放射線量の低減化に努めた。

年間の利用状況は、震災前の9割程度まで回復し、利用団体数499団体、延べ利用者数35,265人となった。

#### (2) 職員組織

| 職 名      | 人員 |
|----------|----|
| 所長       | 1  |
| 次長       | 1  |
| 主査       | 1  |
| 専門員      | 1  |
| 主任社会教育主事 | 1  |
| 社会教育主事   | 2  |
| 計        | 7  |

#### (3) 平成30年度重点目標と成果

「復興加速の年」と位置づけ、利用者数を震災前の水準まで戻すために次の点に力を入れて取り組んだ。

##### ア 利用団体への効果的な支援の充実

(ア) 団体が主体的に活動できるようにするために、学校利用・社会教育団体利用とともに、利用団体の指導者との連携を密にしてきた。学校利用については、4月と7月に「学校利用指導者研修会」を実施し、フィールドワークやニュースポーツなどの実技研修の他、施設の概要説明や活動計画の立案に対しての指導・援助を行った。また、事前打合せや実地踏査・下見等を奨励し、各利用団体が主体的に活動できるように支援した。

(イ) 社会教育団体の利用については、各団体代表者との連絡を密にしながら、施設見学や活動計画の調整など、各団体の利用目的に応じた活動が展開できるよう努めた。

(ウ) 利用団体の指導者及び利用者の声をアンケート等により集約・分析して、職員の対応や準備物、食事等の改善に努めるとともに、利用者の立場に立った施設の運営に努めた。

##### イ 特色ある企画事業の運営

(ア) 季節感を生かした魅力ある企画事業を計画するとともに、外部講師やボランティアを積極的に活用したり、地域や関係機関との連携を図ったりすることができた。

(イ) 前年度の反省や評価を踏まえ内容や方法等に工夫・改善を加え、参加者の満足度を高める運営に努めた。

(ウ) 利用者増を図るために新規の企画事業を立案し、幅広い年代に応じた特色ある企画事業を実施することができた。

##### ウ 広報の充実と利用促進

(ア) 多くの団体に利用してもらえるよう、利用拡大に向けて、積極的に広報活動を行ってきた。学校利用の拡大については、各種企画事業の案内をその都度電子メールで送付するなど、より多くの学校に利用していただけるようPR活動を行った。また、未来キッズ生き生き事業については、中通り地区の全小学校・全児童に案内を配付し募集を図った。

(イ) 企画事業案内や事業実施後の企画事業のあしあとをホームページに掲載するなど、ホームページの改善・充実に努めた。また、毎月エリア内13か所の放射線量を

ホームページに掲載し、利用者が安心して利用できるよう配慮した。

(ウ) 企画事業では、報道機関を通じた周知活動や広報活動を積極的に行い、利用拡大に努めた。また、新聞社やタウン誌に企画事業に関する記事の掲載の依頼をすることで、多くの方の参加につなげることができた。

(エ) 利用促進を図るため、平成25年度から家族を対象とした会員登録制度を立ち上げ、名称を本所のマスコットキャラクターにちなんで「サザンピークラブ」とした。登録した会員には会員証を発行して入所手続きの簡略化を図ったり、企画事業の案内を送付したりして利用促進につなげた。また、利用回数に応じて、特製のシールやキーホルダーを贈呈した。133家族、459名が会員となっている。

#### エ 安全管理と保健安全指導の徹底

(ア) 「事故はどこでもいつでも起こり得る」という認識に立って、所員の安全意識の向上を図り、施設設備の日常点検及び定期点検の実施はもちろんのこと、利用者に対しても働きかけ、積極的に安全対策を行ってきた。

また、特に次の点に力を入れてきた。

- ・各団体の活動前のコース点検や遊具点検の徹底
- ・食中毒防止のための、手洗い・アルコール消毒の徹底
- ・食物アレルギー対応のための、利用団体との連絡及び食堂との連携
- ・スズメバチ対策のための、捕虫装置の設置と点検
- ・松食い虫による倒木防止のための計画的な伐採

(イ) 防災に関しては食堂等の委託業者にも参加してもらい、消火訓練や火災が起きたことを想定した避難訓練を実施するとともに、日常の点検を怠ることのないようにした。

さらに、不審者の侵入防止を図るためのマニュアルを作成して職員研修により理解を深めた。常に来所者に声をかけ、車止めや施設の施錠に万全を期すなどして、安全管理に努めてきた。

#### オ 施設・設備の整備

(ア) 利用者が快適に利用できるように、現在の施設環境のもとでできることは何かを考えながら、ハード面とソフト面の両面から改善を行ってきた。

また、安全対策として、利用者が利用する総合活動館やアスレチックなどの遊具全般の点検と併せて必要な補修整備に努めてきた。

(イ) 館内については、季節ごとの掲示に心がけたり、利用者から届いた写真や手紙を工夫して掲示したりするなど、変化のある計画的な掲示に努めた。

## 2 施設・設備の概要

### (1) 所在地

〒963-0213

郡山市逢瀬町多田野字中丸山46番地

### (2) 宿泊定員

ア 本館 166名 (14部屋)

イ ロッジ 126名 (9棟)

ウ テント 120名 (20張)

### (3) 敷地面積

237,587.59㎡

### (4) 建物面積

延床面積 3,806.08㎡

- ・本館 (管理棟・宿泊室・研修室・浴室)
- ・体育館、総合活動館、野外活動センター、東西炊飯場、ロッジ等

### (5) 設備備品等

#### ア 野外活動設備

- ・みどりの広場アスレチック
- ・フィールドアドベンチャーコース
- ・アーチェリー場(24的)
- ・ナイトハイクコース(3コース)
- ・スコアオリエンテーリングポスト(20)
- ・フィールドワークコース (赤、青、緑、シヨート)
- ・スタンプラリー(20)
- ・営火場(4)

#### イ その他

- ・野外炊飯用具
- ・インラインスケート
- ・フリスビーゴルフ
- ・フロッカー
- ・キンボール
- ・ペタンク
- ・マウンテンバイク
- ・グランドゴルフ
- ・ターゲットバードゴルフ
- ・そり
- ・各種クラフト用具
- ・伝承遊びセット
- ・ピアノ
- ・双眼鏡
- ・液晶プロジェクター
- ・インターネット接続大型液晶テレビ等
- ・ジェットヒーター
- ・ブルーヒーター

## 3 企画事業

### (1) 研修会事業

ア 学校利用指導者研修会 (第1回、第2回)

(ア) 期日・対象校及び参加者数

a 第1回

期日 平成30年4月18日(水)

対象校 5月～8月まで利用の学校

参加者 47名

b 第2回  
 期日 平成30年7月27日(金)  
 対象校 8月～10月まで利用の学校  
 参加者 49名

(イ) 研修内容(第1回、第2回とも同じ内容)

- ・施設案内
- ・実技研修(アスレチック、フィールドアドベンチャー、スコアOL、室内アーチェリー、ニュースポーツなど)
- ・全体会
- ・施設の利用の仕方等
- ・活動プログラムの調整(所バス利用調整を含む)

## (2) 利用拡大事業

ア サクラ・カタクリ週間

期日 平成30年4月1日(日)～22日(日)  
 対象者 どなたでも  
 参加者 980名

イ オープニングセレモニー

期日 平成30年4月17日(火)  
 参加者 郡山市立多田野小学校(堀口分校含)  
 4、5年生と先生方など59名

内容 児童代表あいさつ、テープカット、自由活動

ウ さくらウォーク

期日 平成30年4月14日(土)  
 対象者 どなたでも  
 参加者 106名  
 活動内容 ・自然の家を出発し、約5km・10kmのウォーキング  
 ・みどりの広場アスレチック  
 ・総合活動館開放

エ 未来キッズ生き生き事業

(ア) 期日・対象者及び参加者数

- ・期日 平成30年4月21日(土)  
 対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
 参加者 22名
- ・期日 平成30年4月22日(日)  
 対象者 幼児・小学生とその家族  
 参加者 72名
- ・期日 平成30年5月12日(土)  
 対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
 参加者 10名
- ・期日 平成30年5月13日(日)  
 対象者 幼児・小学生とその家族  
 参加者 31名
- ・期日 平成30年5月19日(土)  
 対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
 参加者 13名

- ・期日 平成30年5月20日(日)  
 対象者 幼児・小学生とその家族  
 参加者 87名
- ・期日 平成30年6月24日(日)  
 対象者 県北・県中・県南地区の子どもたちを含めたどなたでも  
 参加者 1,200名
- ・期日 平成30年8月8日(日)  
 対象者 県南・県中地区の子どもたち  
 参加者 119名
- ・期日 平成30年8月19日(日)  
 対象者 県北地区の子どもたち  
 参加者 106名
- ・期日 平成30年11月17日(土)  
 対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
 参加者 50名
- ・期日 平成30年11月18日(日)  
 対象者 幼児・小学生とその家族  
 参加者 82名
- ・期日 平成30年12月8日(土)  
 対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
 参加者 18名
- ・期日 平成30年12月9日(日)  
 対象者 幼児・小学生とその家族  
 参加者 24名
- ・期日 平成31年1月5日(土)  
 対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
 参加者 31名
- ・期日 平成31年1月6日(日)  
 対象者 幼児・小学生とその家族  
 参加者 32名
- ・期日 平成31年2月23日(土)  
 対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
 参加者 12名
- ・期日 平成31年2月24日(日)  
 対象者 幼児・小学生とその家族  
 参加者 20名
- ・期日 平成31年3月2日(土)  
 対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族  
 参加者 12名
- ・期日 平成31年3月3日(日)  
 対象者 幼児・小学生とその家族  
 参加者 18名

- ・期 日 平成 31 年 3 月 16 日(土)
- 対象者 特別支援学校・学級在籍の子どもたちとその家族
- 参加者 21 名
- ・期 日 平成 31 年 3 月 17 日(日)
- 対象者 幼児・小学生とその家族
- 参加者 46 名
- (イ) 活動内容  
アーチェリー、インラインスケート、スタンプラリー、フィールドアドベンチャー、活動館、みどりの広場アスレチック、おうせ茶屋（出店／昼食）
- オ 親子でチャレンジ  
期 日 平成 30 年 6 月 1 日(日)
- 対象者 親子または祖父母と孫
- 参加者 37 名
- 活動内容 スコアOL、フィールドビンゴ（小学 4～6 年生）野外炊飯（カレーづくり）
- カ 夢冒険キャンプ  
期 日 平成 30 年 8 月 2 日(水)～4 日(金)
- 対象者 小学 4～6 年生
- 参加者 37 名
- 活動内容 キャンプ生活を通して自然との共存を図る
- キ 第 16 回郡山自然の家オープンデー  
(未来キッズ生き生き事業)
- 期 日 平成 30 年 6 月 24 日(日)
- 対象者 どなたでも
- 参加者 1,200 名
- 活動内容
  - ・オープニングセレモニー（鬼五郎・幡五郎太鼓による和太鼓演奏）
  - ・各種プログラム体験（アーチェリー、インラインスケート、缶バッジ製作、活動館開放など）
  - ・イベント参加（ザリガニ釣り、似顔絵コーナー）
  - ・公園の駅「おうせ茶屋」、郡山きのこファーム出店
  - ・ステージ発表（吹奏楽部、他 4 団体）
- ク 親子五色沼ハイキング  
期 日 平成 30 年 10 月 21 日(日)
- 対象者 家族または祖父母と孫
- 参加者 33 名
- 活動内容 五色沼周辺のトレッキング
- ケ 手ぶらで、いも煮会  
期 日 平成 30 年 10 月 28 日(日)
- 対象者 家族またはグループ
- 参加者 62 名
- 活動内容 野外炊飯（いも煮会）、みどりの広場アスレチック体験、活動館開放
- コ 蓬田岳登山  
期 日 平成 30 年 11 月 4 日(日)
- 対象者 小学生を含む親子
- 参加者 11 名
- 活動内容 蓬田岳登山
- サ スナッグゴルフ教室  
期 日 平成 30 年 12 月 1 日(土)
- 対象者 小学生を含む親子
- 参加者 58 名
- 活動内容 スナッグゴルフ教室（基礎基本・ゲーム）
- シ 親子でハッピークリスマス&ハッピーニューイヤー  
期 日 平成 30 年 12 月 2 日(日)
- 対象者 どなたでも
- 参加者 50 名
- 活動内容 クリスマスリースづくり、門松づくり（外部講師による）
- ス 親子スケート教室  
期 日 平成 31 年 2 月 3 日(日)
- 対象者 親子または家族
- 参加者 29 名
- 活動内容 講師の指導による基本的な動き、自由滑走
- セ わくわく！ファミリー冬のつどい  
期 日 平成 31 年 2 月 16 日(土)～17 日(日)
- 対象者 小・中学生を含む家族
- 参加者 31 名
- 活動内容 猪苗代スキー場でのスキー体験、そり滑り
- ソ サザンピーククラブ感謝デー  
期 日 平成 31 年 3 月 10 日(日)
- 対象者 サザンピーククラブ会員親子
- 参加者 34 名
- 活動内容 いわき海浜自然の家クラフト体験、いわきら・ら・ミュウ内見学・体験
- タ みどりの広場アスレチック&活動館開放します  
期 日 前期 平成 30 年 4 月 21 日(土)  
平成 30 年 5 月 12 日(土)、26 日(土)  
後期 平成 30 年 11 月 17 日(土)  
平成 30 年 12 月 8 日(土)  
平成 31 年 1 月 5 日(土)  
平成 31 年 2 月 23 日(土)  
平成 31 年 3 月 2 日(土)、16 日(土)
- 対象者 特別支援学校、学級の幼児及び小学生とその家族
- 参加者 189 名
- 期 日 前期 平成 30 年 4 月 22 日(日)  
平成 30 年 5 月 13 日(日)、27 日(日)  
後期 平成 30 年 11 月 18 日(日)  
平成 30 年 12 月 9 日(日)  
平成 31 年 1 月 6 日(日)  
平成 31 年 2 月 24 日(日)  
平成 31 年 3 月 3 日(日)、17 日(日)
- 対象者 幼児及び小学生とその家族
- 参加者 412 名
- 活動内容 みどりの広場アスレチック(10 基)、活動館開放

- チ キッズフェスタ 2018in 郡山  
期 日 平成 30 年 10 月 13 日(土)～14 日(日)  
参加者 6,084 名  
活動内容 施設内外の活動やプログラム各種団体等を  
迎え様々なアトラクションを提供
- ツ 特別企画 自然の家でからだを動かそう  
期 日 平成 30 年 11 月 13 日(火)～平成 31 年 3 月 15  
日(金)までの平日、9 時～16 時  
参加者 28 園、785 名  
活動内容 活動館やアスレチックを利用した運動  
屋外での雪遊び、そり滑り

### (3) 協力事業

- ア 逢瀬公園さくらまつり  
期 日 平成 30 年 4 月 22 日(日)  
参加者 147 名  
活動内容 クラフト体験 (缶バッジ)
- イ 春のオープンデー (いわき海浜自然の家主催)  
期 日 平成 30 年 5 月 20 日(日)  
参加者 502 名 (缶バッジ来場者)  
活動内容 クラフト体験 (缶バッジ)
- ウ 春のオープンデー (会津自然の家主催)  
期 日 平成 30 年 5 月 27 日(日)  
参加者 230 名 (プラ板来場者)  
活動内容 クラフト体験 (プラ板キーホルダー)
- エ 安積山登山  
(安積アルプス出逢いプロジェクト実行委員会主催)  
期 日 平成 30 年 5 月 27 日(日)  
対象者 どなたでも  
参加者 320 名  
活動内容 ユラックス熱海入口→大将旗山→御霊櫃峠  
→高篠山森林公園までの縦走トレッキング  
(総距離約 16 km)
- オ ノルディックウォーキング大会  
(県ノルディックウォーキング協会主催)  
期 日 平成 30 年 6 月 3 日(日)  
参加者 14 名  
活動内容 10 km コース 浄土松公園→八畳座敷→冒  
険の丘→本所 (トイレ休憩)～きのこ岩コ  
ースの所員による警備
- カ いなわしろフェスティバル春  
(国立磐梯青少年交流の家主催)  
期 日 平成 30 年 6 月 17 日(日)  
参加者 320 名
- キ ミュージックライブ  
(安積アルプス出逢いプロジェクト実行委員会主催)  
期 日 平成 30 年 9 月 16 日(日)  
参加者 180 名  
活動内容 クラフト体験 (缶バッジ)
- ク 逢瀬公園秋の感謝祭 (福島県総合緑化センター主催)  
期 日 平成 30 年 10 月 6 日(日)

- 参加者 258 名 (缶バッジ来場者)  
活動内容 クラフト体験 (缶バッジ)
- ケ 第 30 回浄土松公園まつり  
(浄土松公園まつり実行委員会主催)  
期 日 平成 30 年 10 月 7 日(日)  
参加者 258 名 (缶バッジ来場者)  
活動内容 クラフト体験 (缶バッジ)
- コ 第 42 回子どもの祭典  
(須賀川市明るいまちづくりの会連絡協議会主催)  
期 日 平成 30 年 10 月 7 日(日)  
参加者 1,500 名 (缶バッジ来場者)  
活動内容 クラフト体験 (缶バッジ)
- サ 会津の冬を満喫！ウィンターフェスティバル  
(会津自然の家主催)  
期 日 平成 31 年 1 月 19 日(土)～20 日(日)  
参加者 63 名  
活動内容 スキー、スノーシュー、そり滑り、  
会津の民話

## 第 17 節 福島県会津自然の家

### 1 概要

福島県会津自然の家は、恵まれた自然環境の中で、自然に親しむ活動や集団宿泊生活、野外活動を体験することにより心豊かで心身ともに健全な県民を育成することを目的とした生涯学習施設である。

昭和 56 年 4 月に開所し、平成 30 年度末で 38 年になり、開所以来多くの方々にご利用いただいているところである。

平成 30 年度の利用者数は、46,366 人で、昨年度を 1,579 人上回った。これは、「未来キッズ生き活き事業」の実施をはじめ、様々な企画事業の工夫や、企業や大学など、新たな利用者層への利用促進に努めてきたことによるものと考えられる。

また、5 つの重点目標を掲げ、その達成に努めるとともに、誰もが利用しやすい魅力的な施設をめざして運営の改善を図り、時代や利用者のニーズに対応した生涯学習施設の役割に積極的に取り組んできた。

#### (1) 職員組織

| 職 名      | 人員 |
|----------|----|
| 所長       | 1  |
| 次長       | 1  |
| 主事       | 1  |
| 専門員      | 1  |
| 主任社会教育主事 | 1  |
| 社会教育主事   | 3  |
| 体験活動指導員  | 3  |
| 嘱託運転手    | 1  |
| 計        | 12 |

## (2) 平成30年度重点目標と成果

年間利用者数4万人以上の成果目標を達成するために、次の点に力を入れて取り組んできた。

- 【 】の数値は職員による自己評価の平均値
- ア 事故の絶無を期する安全管理と保健安全指導を徹底します。【3.60】
- (ア) 日常（事前、事中、事後）及び定期の安全・確認の徹底【3.86】  
定期安全点検だけでなく、労務員も含めた全所員による日常点検を徹底し、事故防止に努めることができた。
- (イ) 利用者への適時的確な指導助言【3.67】  
気象条件等、様々な状況の変化に対応し、所員の連携を図りながら、助言に努めることができた。
- (ウ) 傷病、感染症（インフルエンザ、感染性胃腸炎等）防止【3.71】  
食堂業者との連携も密にし、疾病や感染症防止に努めることができた。
- (エ) 施設の整備、修繕【3.00】  
日常点検を大切に、危険箇所を発見したらすぐに整備、修繕を行った。
- イ 「好感度」の高い施設を目指す親切な接遇に努めます。【3.62】
- (ア) 笑顔と元気なあいさつ、親切・ていねいな接遇【3.71】  
団体対応だけでなく、来客や電話対応など、相手の立場に立った対応に努め、好感度の高い施設を目指すことができた。
- (イ) 利用者一人一人の立場に立った支援及び利用目的や目標達成のための支援【3.67】  
利用者のねらい達成のために、必ず団体に担当所員が付き、積極的に支援を行った。
- (ウ) 各団体の自立的活動による、目標達成の支援【3.33】  
社会教育団体の利用数増加に伴い、自立的な活動が可能となるよう補助及び支援を行った。
- (エ) 適切な会計事務の執行、服務規律の厳正な保持【3.83】  
会計事務にかかる研修を受講したり、服務倫理委員会の定期的に開催したりして、会計事務の適正化を図った。
- (オ) 施設内・フィールド内ごみゼロ及び整理整頓【3.57】  
所員だけでなく、委託業者とも連携し、清潔な所内外の環境づくりに努めることができた。
- ウ 教育目標を達成する研修プログラムを充実します。【3.60】
- (ア) 里山、堤及び周辺環境の活用、四季を通して体験できる野外活動の充実【3.67】  
研修委員会を中心に新たなプログラム開発を行い、各団体のニーズに合った活動ができるように配慮した。
- (イ) 利用者の層に応じた、健康増進や体力づくりのための活動プログラムの提供【3.67】

新たに活動プログラム集を作成し、学校団体から社会教育団体まで幅広い団体のニーズ合ったプログラムを提供することができた。

- (ウ) ボランティアの確保及び活用の充実【3.27】  
ボランティアセミナーを複数回実施し、ボランティアの確保とともに、参加者のスキルアップに努めた。
- (エ) 職員一人一人の絶えざる研鑽と修養【3.60】  
お互いのプログラム指導を見合う場を設けたり、研修の場を設けたりして、所員全体のスキルアップに努めた。
- エ 生涯学習施設の拠点として、独創的で多様な企画事業と研修会を充実します。【3.40】
- (ア) 自然体験活動の促進及び歴史・文化に係る事業の工夫【3.57】  
会津坂下町と連携した高寺山登山や東松峠ウォーキング大会などの企画事業を通して、地元の歴史に触れる場を設定した。
- (イ) 社会や利用者のニーズに応え、前年踏襲にとらわれない事業の企画立案【3.21】  
年6回の未来キッズ生き生き事業において様々なプログラムを提供するとともに、利用者のニーズに応えられるよう創造的な事業の企画立案に努めた（あったかふれあいまつり・楽習宿など）。
- (ウ) R-PDCAサイクルの確実な実施【3.21】  
R-PDCAサイクルを確実に実施することにより、反省点を活かして、次の事業などの計画立案を進めることができた。
- (エ) 地域及び生涯学習施設（自然の家、公民館、美術館、博物館、図書館等）との連携【3.57】  
磐梯青少年交流の家や地元の公民館との連携事業を実施するなど、相互に高めあえる場の設定をした。
- オ 利用者数、利用者層を拡大する効果的で多様な広報活動を充実します。【3.30】
- (ア) ホームページの充実及び適時的確な更新【3.22】  
タイムリーな話題を時期を逃さず、ホームページにアップできるよう、担当を中心に全所員で更新に努めた。
- (イ) 情報発信の工夫【3.00】  
新たな利用者層にアプローチするために、フェイスブックを活用し、利用促進につなげることができた。
- (ウ) 誘客活動の工夫【3.33】  
学校、公民館など教育施設だけでなく、企業訪問を行い、利用者の拡大につなげることができた。
- (エ) 記録の蓄積及びデータの確実な分析【3.57】  
利用者アンケートや食堂アンケートなどの利用者の声を、確実に集計、分析し、改善につなげることができた。

## 2 施設・設備の概要

### (1) 所在地

河沼郡会津坂下町大字八日沢字西東山 4495 番 1

## (2) 宿泊定員

- ア 本館 26室 292名(うち1室障がい者用)
- イ ロッジ 10棟 150名
- ウ テント 10張 60名

## (3) 敷地面積

249,848.98㎡

## (4) 建物面積

- ア 延床面積 5,893.8㎡
  - (ア) 管理研修棟(鉄筋造2階建)
  - (イ) 宿泊棟(鉄筋造2階建)
  - (ウ) プレイホール(鉄筋造)
  - (エ) アセンブリホール(鉄筋造)
  - (オ) 機械棟(鉄筋造3階建)
  - (カ) ロッジ(木造平屋建)
  - (キ) 野外活動管理センター(鉄筋造)
  - (ク) 炊飯場(鉄筋造)
  - (ケ) 薪置場(コンクリートブロック造)
  - (コ) 車庫(鉄筋造)
  - (サ) 野外便所(鉄筋造)

## (5) 運動広場面積

8,500㎡

## (6) 設備備品等

- ア フィールドアスレチック
- イ 野外活動用具、野外炊飯用具、運動用具
- ウ 双眼鏡、天体望遠鏡、テレビ、VTR
- エ 液晶プロジェクター、CDカセットプレーヤー
- オ ピアノ、オルガン
- カ 伝承遊びセット
- キ クラフト用具
- ク 各種オリエンテーリング用具
- ケ アルペンスキー
- コ 歩くスキー(クロスカンリースキー)
- サ そり
- シ スノーシュー
- ス 営火場(4か所)
- セ 諸活動コース
- ソ その他

## 3 利用状況

### (1) 利用可能対象者

- ア 学校教育団体(幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高校、大学、高等専門学校等)の構成員及びその指導者
- イ 社会教育団体(公民館、子ども会、保育所、スポーツ少年団、老人会、勤労青少年団体等)の構成員及びその指導者
- ウ 教育長が適当と認めた者
- エ その他、家族などの一般人

### (2) 平成30年度の利用団体数

- ア 625団体
- イ 実利用者数 36,546人
- ウ 延利用者数 46,366人

### (3) 子どもたちへ体験活動機会提供

- ア 「未来キッズ生き生き事業」(6回)
- イ 企画事業の実施(14事業)

## 4 企画事業

### (1) 研修会事業

- ア 学校団体指導者事前研修会

#### (ア) 目的

- a 本所の設立の趣旨、教育目標、方針、利用のねらい及び運営方法を理解させる。
- b 児童生徒が安全に生活し充実した活動が行えるよう屋内外の施設環境を確認するとともに、各種プログラムのねらいや配慮事項を理解させ、効果的な活動計画が作成できるようにさせる。
- c 集団宿泊生活が円滑かつ効果的に進められるよう同じ時期に宿泊する他の学校団体との活動及び役割分担等について調整を図らせる。

#### (イ) 期日、対象、参加者数

- a 第1回：平成30年4月18日(水)  
5月10日(木)～6月16日(土)に利用する学校の教職員42名参加
- b 第2回：平成30年4月19日(木)  
6月19日(火)～7月18日(水)に利用する学校の教職員47名参加
- c 第3回：平成30年4月25日(水)  
8月29日(水)～10月26日(金)に利用する学校の教職員 名参加

#### (ウ) 研修内容

- a 利用の仕方及び利用日までの手続き準備物の確認
- b 活動計画の作成及び同時期利用団体との調整
- c プログラム及び活動内容、指導方法の理解
- d 施設及び避難経路の確認

- イ 社会教育団体指導者事前研修会

#### (ア) 目的

- a 本所の設立の趣旨、教育目標、方針、利用のねらい及び運営方法を理解させる。
- b 社会教育活動が安全に充実したものになるよう屋内外の施設環境を確認するとともに、各種プログラムのねらいや配慮事項を理解させ、効果的な活動計画が作成できるようにさせる。
- c 集団宿泊生活が円滑かつ効果的に進められるよう、同じ時期に宿泊する他の社会教育団体との活動及び役割分担等について調整を図らせる。

#### (イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成30年6月17日(日)
- b 平成30年7月21日(土)～8月26日(日)に利用する社会教育団体の指導者  
23団体30名参加

(ウ) 研修内容

- a 利用の仕方及び利用日までの手続き準備物の確認
- b 活動計画の作成及び同時期利用団体との調整
- c プログラム及び活動内容、指導方法の理解
- d 施設及び避難経路の確認

ウ ボランティアのつどい

(ア) 目的

- a ボランティアに関する講話や実践例などを聞く機会とし、ボランティアの意識高揚を図る。
- b ボランティアメンバーの交流の場を設け、情報交換などを通してボランティアとしての意欲を高める。
- c プログラム体験の機会を設け、各種オープンデー等に協力する際に必要な体験活動に関わるスキルを身につけることができるようにする。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 第1回：平成30年4月22日(日) 14名参加
- b 第2回：平成30年12月19日(日) 6名参加

(ウ) 研修内容

- a ボランティア概論
- b 野外クッキング研修
- c 本所プログラム研修

**(2) 教育研究事業**

ア 高寺山歴史勉強会

(ア) 目的

- a 高寺山山開き前日に歴史勉強会を開催し、いにしへのロマンと豊かな自然を有する高寺山及び周辺の歴史や文化を学び、興味を持って高寺山山開きに参加させるようにする。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成30年4月7日(土) 41名参加
- b 一般対象

(ウ) 活動内容

- a 歴史勉強会

イ ザ・マーズキャンプ

(ア) 目的

- a 15年ぶりの火星大接近の時期に星空や野鳥を鑑賞しながら、宇宙のロマンや自然に触れるとともに、会津自然の家や仲間とのふれあいを通して、心身のリフレッシュや体力増進を図る。
- b 本所ならではのプログラムを実際に体験することで利用促進につなげる。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成30年7月21日(土)～22日(日) 1泊2日
- b 県内の小学校4～6年生 39名参加

(ウ) 活動内容

- a 交流活動
- b 野外炊飯
- c 班別活動(ワークショップ・木工クラフト)
- d 星空観賞会
- e バードウォッチング

ウ 通学キャンプ

(ア) 目的

- a 本所での集団生活や様々な体験活動を通して、子どもたちの自律的な生活態度やよりよい人間関係を形成するための社会性を育成する。
- b 中学校進学前に、他校との交流を図ることにより中学校進学不安を少しでも解消できるようにする。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成30年11月6日(火)～9日(金)  
3泊4日 40名参加
- b 会津坂下町の小学校5～6年生

(ウ) 活動内容

- a 交流活動
- b 学習(宿題・読書)
- c 屋外活動

エ 冬休み楽習宿

(ア) 目的

- a 児童に冬季休業中の学習課題等に効果的に取り組む場を設定する。
- b 自主性や創造性を育みながら、学習の仕方や基本的な生活習慣を身に付けさせる。
- c 児童のふれあいや東京大学生ボランティアとのふれあいの場を設定し、参加者相互の交流を図る。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成30年12月25日(火)～27日(木)  
2泊3日 94名参加
- b 県内の小学校4～6年生

(ウ) 活動内容

- a お楽しみ交流会
- b 学習(国語、社会、算数、理科)
- c 体力づくり
- d 東大生との情報交換会

**(3) 利用促進事業**

ア 第14回高寺山山開き(会津坂下町との共催)

(ア) 目的

- a いにしへのロマンと豊かな自然を有する高寺山の山開きを行い、登山者の安全を願うとともに、町の教育観光資源を広く内外に広報し、地域振興に資する。
- b 参加者同士が共に汗を流し登山することより、健康づくりと温かい心の交流の機会を提供する。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成30年4月8日(日) 150名参加
- b 一般対象

(ウ) 活動内容

- a 山開き式典
- b 高寺山登山
- c お楽しみ抽選会、豚汁サービス

イ 春のオープンデー(未来キッズ生き生き事業との併催)

(ア) 目的

- a 自然の家オープンデーを実施することにより、県民に会津自然の家内外の環境やプログラムについて公開する。
- b 子どもたちに、心身ともにリラックスできる環境とプログラムを体験する機会を提供し明るく楽しい活動をさせる。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成30年5月27日(日) 442名参加
- b 県内の幼児、小・中学生とその家族対象
- c ボランティア14名

(ウ) 活動内容

- a プログラム体験コーナー(無料)  
カヌー、アスレチック、森遊び、火おこし体験、ミニ樹木OL、UFOゴルフ、クラフト、段ボール迷路

ウ お月見コンサート2018

(ア) 目的

- a 「月見」にふさわしい音楽や民話の語りを聴き、世代を越え、共に秋の夜長を楽しむ。

(イ) 期日、対象、参加者数、出演者数

- a 平成30年9月29日(土) 160名参加
- b 一般対象
- c ピアノ演奏、ゴスペル、民話の出演者40名

(ウ) 活動内容

- a 音楽コンサート
- b ゴスペルライブ
- c 会津の民話

エ あったかふれあいまつり

(未来キッズ生き生き事業との併催)

(ア) 目的

- a 野外活動プログラムや各種体験コーナーなどの自然や人とのふれあいを通して、心身のリフレッシュや体力増進を図る。
- b 県民に施設及び周辺の環境を開放し、活動プログラムを体験することができる場を提供することにより、自然体験機能及び生涯学習機能を兼ね備えた本所への理解を深めさせ、今後の集客につなげる。
- c 各団体と連携を図ることにより、体験活動の充実を図り、生涯学習の拠点として自然の家に対する理解を深める。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成30年10月14日(日) 489名参加
- b 県内の幼児、小・中学生とその家族対象

(ウ) 活動内容

- a 協力外部団体(おもしろ理科教室、木練がっこう、ツリーイング、秘密基地づくり、水辺の生き物観察、あったかマルシェ、読み聞かせ、会津民話)
- b 本所プログラム(森遊び、カヌー、アスレチック、段ボール迷路、どこどこOL、スタンプラリー)

オ 東松峠ウォーキング大会2018

(ア) 目的

- a 「旧越後街道」は、古くから会津若松と新潟県新発田市を結ぶ重要な街道であり、文化庁が選定する「歴史の道百選」に選定されており、地域の歴史的文化遺産である「東松峠」の再確認と継承・維持と保護の一環とする。
- b 東松峠ウォーキング大会に、地区外から参加を集うことにより、交流・地域の活性化を図る。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成30年10月1日(土) 130名参加
- b 一般対象

(ウ) 活動内容

<コース>

高寺コミュニティーセンター→天屋・本名→三本松→旧道→里檀→東松洞門→峠の茶屋跡→新道→三本松→天屋の阿弥陀様(希望者)→高寺コミュニティーセンター ※片門薬師堂(希望者)

カ 新そばにチャレンジ

(ア) 目的

そば打ち体験を通して、郷土の食生活、食の大切さを理解し、参加者同士の交流を深める。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 第1回:平成30年11月17日(土)  
67名参加、講師2名
- 第2回:平成30年11月18日(日)  
66名参加、講師2名

b 一般対象

(ウ) 活動内容

- a そば打ち実演
- b そば打ち体験
- c そば茹で実演
- d 実食

キ 手作り森のクリスマス

(ア) 目的

- a クリスマスケーキ、クラフトづくりを通して、楽しみながらケーキを作ったり、自然素材を工夫したりすることにより、家族やグループ間の交流、親睦を深める。
- b 手作りの良さや自然素材の温かみを味わってもらうとともに、本所プログラムや施設についての理解を図り、今後の利用促進につなげる。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 第1回:平成30年12月15日(土)  
43名参加、講師1名
- 第2回:平成30年12月16日(日)  
54名参加、講師1名

b 県内の小・中学生とその家族対象

(ウ) 活動内容

- a クリスマスケーキ作り

- (a) 講師の実演
- (b) 生地づくり、ロールの仕方、デコレート
- b クリスマスクラフト作成(フォトフレーム)
- c 試食

ク ウィンターフェスティバル

(ア) 目的

会津自然の家での宿泊、雪国ならではの冬を楽しむ活動などを通して、会津の冬や伝統文化のすばらしさを体験するとともに、参加者相互の交流を深めさせる。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成31年1月19日(土)～20日(日)  
1泊2日 137名参加
- b 県内の小・中学生とその家族対象

(ウ) 活動内容

- a 1日目：雪遊び(そり・チューブすべり)、アイスクリーム作り、スノーシュー体験、雪灯籠作り
- b 2日目：猪苗代スキー場(アルペンスキー)

ケ クラフトキッズフェア

(ア) 目的

- a 親子で工夫し、楽しみながらクラフト作成を行うことにより、子どもの発想力や創造力を高めたり、親子の絆を深めたりする。
- b クラフト作成の場を提供することにより、本所のプログラムについて理解を深める機会とする。

(イ) 期日、対象、参加者数

- a 平成31年3月3日(日) 219名参加
- b 県内の幼児、小・中学生とその家族対象
- c ボランティア8名

(ウ) 活動内容

- a もっくんクラフト
- b 木の実アート
- c ぶんぶんごま
- d カラーキャンドル
- e 空気砲
- f 飛行リング

**(4) その他の企画事業**

ア 未来キッズ生き生き事業

(ア) 目的、対象

県内の子どもたちとその家族を自然の家へ招待し、ブレイリーダーの協力も得ながら、一日を通して、自然の家でのプログラムに基づき、心身の健康や運動不足解消や体力増進となる取組を実施する。

会津地方の12歳以下の子どもたちとその家族を対象とする。

(イ) 名称、期日、参加者数

- a 春のオープンデー・・・・・・・・・・前赴  
平成30年5月27日(日)
- b 会津自然の家里山開放デー①  
平成30年6月10日(日) 157名参加

- c 会津自然の家里山開放デー②  
平成30年7月22日(日) 343名参加

- d 会津自然の家里山開放デー③  
平成30年9月2日(日) 142名参加

- e あったかふれあいまつり・・・・・・・・・・前赴  
平成30年10月14日(日)

- f そりすべり団体開放 ※事前予約団体  
平成31年1月8日(火)～2月24日(日)  
1月 16団体 703名

- 2月 21団体 940名 計37団体 1643名
- g そりすべり家族開放

- 第1回：平成31年1月27日(日) 202名参加
- 第2回：平成31年2月3日(日) 185名参加
- 第3回：平成31年2月10日(日) 265名参加
- 第4回：平成31年2月17日(日) 96名参加

(ウ) 活動内容

フィールドアスレチック、森遊び、UFOゴルフ、草すべり、各種オリエンテーリング、そりすべり、スノーチューブ、エアボード

## 第18節 福島県いわき海浜自然の家

### 1 概要

福島県いわき海浜自然の家は、海と山の豊かな自然環境の中で様々な活動や集団宿泊体験を通して、心身ともに健全な青少年を育成することを目的とした社会教育施設として平成8年7月に開所した。

開所以来、学校の利用はもとより、スポーツ少年団、子ども会などの社会教育団体や家族などのあらゆる年齢層に利用されてきた。しかし、平成23年3月11日の東日本大震災により休所を余儀なくされ、同年11月1日から財団法人いわき市教育文化事業団を指定管理者として一部再開した。以降、利用者が安心して利用できる環境を創出するため、活動エリアの放射線量測定及びデータの公開を行うとともに、放射線量低減措置を講じている。

平成23年度には本館周辺、平成24年度にはつどいの広場やいこいの広場及び第5営火場周辺の芝生張替等による放射線量低減措置、平成25年度にはトリムランドの除染作業、野営場入り口付近の崩落現場の復旧工事を実施した。平成26年度には野営場の表土入替作業や営火場のレンガ交換などの除染作業を行い、安全安心な活動エリアの拡大・復旧に努めた。なお、復旧工事等により平成25年度まで使用できなかったロッジ・野外炊飯場等については、除染作業終了後の平成26年7月より使用を再開した。山林部の一部についても平成29年3月に除染を行ったが、一部の放射線量がいわき市の基準値まで低下していないこと、また、使用休止中に傷んだ遊歩道や各種遊具などの再整備が必要であることから、フィールドアスレチックや冒険の森などの山での活動プログラムの再開はできていない。

海浜活動については、四倉海岸の海水浴再開に合わせて平成25年度から砂の芸術、磯遊び、魚釣りのプログラムを再開した。平成28年度から川での活動として再開したいかだ乗り、カヤック乗りは、四倉海岸の復旧工事が終了した平成30年度から四倉漁港に活動場所を戻し、合わせてボディボードを再開した。

平成30年度の利用状況は、536団体、延べ利用者数45,020人であった。利用者数については、震災前の平成22年度(546団体66,611人)に比して67%、このうち、学校教育団体の利用は、187団体延べ17,213人(平成22年度は342団体、延べ50,576人)と、団体数では54%、延べ人数では34%である。しかしながら、学校教育団体の利用者数は回復傾向が認められ、平成29年度に比べて3,039人の増となった。また、社会教育団体の利用数についても311団体と、平成25年度以降から連続で300団体を超え、総利用者数も3年連続で4万人超となった。平成30年12月26日に、開所以来の利用者130万人を達成した。

### (1) 平成30年度重点目標と成果

震災によって、これまでの自然体験活動が制限される中、少しでも多くの利用者が、新たな発見や感動、満足感・充実感を味わうことにより、本来の活動目的が達成されるよう引き続き次の目標に取り組んだ。

ア 本施設の設置目的の明確化とその周知及び利用促進を図る。

(ア) 自然体験活動が制限される中で教育施設として、青少年健全育成を目的とした利用のあり方などを考えながら受け入れを実施。山林部での活動内容が制限されていることから、野外活動やクラフト活動に新たなプログラムを加え、体験活動の充実を図った。

(イ) オープンデーやクラフトのつどいなどの企画事業を充実させ、利用の促進・広報につなげることができた。

(ウ) 小・中学校等への利用促進のための積極的な情報提供、PR活動に努めるとともに、生涯学習施設としての役割に鑑み、教育文化施設や公民館への広報活動を行い、史跡・文化財めぐり、ニュースポーツなどを実施。さらには、公民館等との連携事業を展開するなど、新たな利用者開拓を行った。

イ 利用者のニーズに対応した施設運営に努める。

(ア) 幼児から高齢者まで、多様なニーズに対応した幅広いプログラムの開発とクラフト活動の充実を図った。

(イ) 企画事業を通してアンケート調査を実施し、利用者のニーズについての調査・研究を行い、ニーズに応じた支援を実施した。また、利用者の自主性・主体性を助長できるよう、支援方法の検討・改善に努めた。

ウ 事故の未然防止、危機管理体制の充実に努める。

(ア) 受付やオリエンテーション、活動支援において安全のための適切な助言や指導を行った。

(イ) 学校・社会教育団体とともに事前研修会を実施し、安全で有効かつ適切な施設の活用について周知徹底するとともに、利用団体の指導者に対して適切な助言を行い安全教育の充実を図った。

(ウ) 東日本大震災を教訓として、事故発生時の緊急対応及び連絡体制を明確にするとともに、情報の共有化を徹底し危機管理体制の充実に努めた。

無線アンテナ設備の設置による海浜活動時等の情報通信網の整備や自然災害等での避難方法のマニュアル化など、利用者の安全と被害防止に努めた。

(エ) トリムランドの利用前に所員が点検を行うとともに、年1回の公園施設製品安全管理士による点検を行い、安全管理に努めた。

(オ) 施設全体と活動エリアである海岸、さらに現在使用休止中の山林部についても放射線量の測定を定期的実施して公表した。

(カ) 所内にハチトラップを設置してスズメバチ対策を行った。また、所外での活動に備えて平成29年度に引き続き2台のAEDをレンタルして安全対策の充実を図った。

エ 定期的な業務内容の点検と改善に努める。

(ア) 計画的かつ定期的な評価により、改善点の明確化を図り、密度の高い施設運営に努めた。

(イ) 多面的かつ多角的な視点から、業務遂行の在り方について検討し、開かれた施設運営に努めた。

(ウ) 利用者へのアンケート結果を参考に、業務遂行の在り方を検討し、利用者の目線に立った支援や管理運営に努めた。

オ 地域との連携を深め、生涯学習実践の場として機能する施設運営に努める。

(ア) 環境ボランティアによる所内美化活動を通年で実施したほか、海浜活動を実施する舟戸海岸・四倉漁港の清掃活動を年1回行い、地域との連携を密接にするともに地域に根ざした施設づくりに努めた。

(イ) 支援ボランティアが企画事業の一端を自主運営するなど、ボランティア活動の場の充実に努めた。

(ウ) 公民館、支所、消防署、交番、教育文化施設等のほか、地域の各種団体など、関係機関との連携強化に努めた。

(エ) 地域の連携、協力を得て様々な企画事業を開催した。

### (2) 職員組織

| 職名       | 人員 |
|----------|----|
| 所長       | 1  |
| 専門指導員兼次長 | 1  |
| 総括主査     | 1  |
| 副主任指導員   | 1  |
| 指導員      | 3  |
| 教育指導専門員  | 1  |
| 体験活動指導員  | 5  |
| 運転手      | 2  |
| 事務補助員    | 2  |
| 計        | 17 |

## 2 施設・設備の概要

### (1) 所在地

いわき市久之浜町田之網字向山 53

### (2) 宿泊定員

- ア 本館定員 300名 (和室 28室)
- イ ロッジ定員 160名 (10棟)
- ウ テント定員 100名 (25張)

### (3) 敷地面積

350,171 m<sup>2</sup>

### (4) 建物面積

6,696.97 m<sup>2</sup>

- ア 中心施設  
本館 (宿泊室、オリエンテーションホール、研修室、  
野外学習室、事務室、食堂、浴室等)  
体育館
- イ 野外施設  
管理棟、ロッジ、便所等

### (5) 野外活動施設面積

- ア つどいの広場 7,000 m<sup>2</sup>
- イ 多目的広場 8,890 m<sup>2</sup>
- ウ 自然観察園 4,050 m<sup>2</sup>
- エ みんなの広場 4,700 m<sup>2</sup>

### (6) 設備備品等

- ア 体育館  
(バレーボールコート2面、バスケットボールコート1  
面(バスケットボールリング、ミニバスケットボールリン  
グ)、バドミントンコート2面、卓球台3台、ピアノ1台  
キンボール 他)
- イ 野営場  
(野外炊飯場、キャンプ用品一式、冷蔵庫 他)
- ウ 野外活動設備  
(フィールドアスレチックコース、冒険の森歩道、トリ  
ムランド、営火場5か所、各種オリエンターリングコー  
ス、ナイトハイキングコース、ウォークラリーコース、  
ロープコース、マウンテンバイクコース 他)
- エ 多目的広場  
(ソフトボール、マウンテンバイクコース、サッカーゴ  
ール 他)
- オ その他  
(視聴覚機器、無線機、天体望遠鏡、双眼鏡、七宝焼窯、  
マウンテンバイク、釣り用具一式、海浜用具一式、マイ  
クロバス 他)

## 3 利用状況

### (1) 平成30年度利用者数

|        |               |
|--------|---------------|
| 延べ利用者数 | 45,020人       |
| 内訳     |               |
| 学校教育団体 | 187団体 17,213人 |
| 社会教育団体 | 311団体 23,415人 |
| ファミリー  | 9団体 118人      |
| 企画事業   | 4,274人        |

## 4 企画事業

### (1) 研修会事業

#### ア 学校団体指導者事前研修会

##### (ア) 目的

本所の利用にあたって、自主的、主体的な活動を展開するため、施設見学や実技研修を行い、研修計画の立案やその実施についての理解を深める。また、学校間で調整を図り、宿泊体験活動が円滑に実施できるようにする。

##### (イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 第1回平成30年4月25日(水)～26日(木)  
第2回平成30年5月30日(水)～31日(木)
- ・対象 平成30年度利用の学校団体
- ・参加者数 (延べ人数)  
第1回 53名 第2回 60名

##### (ウ) 研修内容

- ・施設紹介と利用の仕方について
- ・活動プログラムの紹介
- ・活動計画書の作成・調整

#### イ 社会教育団体指導者事前研修会(活動プログラム研修会)

##### (ア) 目的

施設見学や実技研修を通して、自主的、主体的な活動の進め方や研修計画の立案や実施についての理解を深め、活動が円滑に実施できるようにする。

##### (イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年5月18日(金)
- ・対象 平成30年7月1日以降の利用団体及び参加  
希望団体
- ・参加者数 33名

##### (ウ) 研修内容

- ・施設紹介と利用の仕方について
- ・本所プログラム活動の紹介
- ・海浜活動(磯遊び)

#### ウ ボランティア養成講座

##### (ア) 目的

自然体験活動を支援する上で、必要な知識と技術を習得するとともに、本所のボランティアとしての活動方法を学ぶ。

##### (イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年5月13日(日) 参加者数 13名  
平成30年7月15日(日) 参加者数 10名  
平成30年9月16日(日) 参加者数 16名  
平成30年12月16日(日) 参加者数 16名
- ・対象 高校生、大学生、一般

##### (ウ) 内容

実施予定の自然体験活動・企画事業支援についての研修を行った。

### (2) 利用促進事業

- ア 春のオープンデー (未来キッズ生き生き事業)  
連携：会津自然の家、郡山自然の家

(ア) 目的

施設を地域の人々に広く開放し、本所への理解を深め、地域の中での自然の家の役割を認識し、多くの方々の協力及び参加を得ながら地域づくりやまちづくりに貢献する。さらに、ボランティアスタッフとのつながりを深め、生涯学習活動や施設運営の充実を図る。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年5月20日(日)
- ・対象 一般
- ・参加者数 835名

(ウ) 内容

グラウンドゴルフ、マウンテンバイクなどのスポーツ体験で身体を動かし、缶バッジ作り、キーホルダー作りなどのクラフト体験を楽しんだ。また、餅つき体験や野外炊飯(カレー)、パトカー・消防車輛展示、鳴き砂展示、海浜レストラン、海浜風呂などでも楽しんだ。

イ 遊ぼう！初夏の海で

(ア) 目的

自然に親しみ、海での釣りや磯遊びを楽しみながら、協力して活動することで家族の絆を深める。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年6月17日(日)
- ・対象 小学生とその家族
- ・参加者数 40名

(ウ) 内容

堤防や磯場でさまざまな魚を釣り、水生生物を観察する磯遊びなどを楽しみながら海への理解を深めた。

ウ アウトドアクッキング

(ア) 目的

野外のかまどを使うことにより火の取扱いや料理する楽しさを学ぶ。併せて、本所への理解、利用促進を図る。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年11月18日(日)
- ・対象 小学生とその家族
- ・参加者数 40名

(ウ) 内容

自然の中で協力しながら、ダッチオーブンを使った煮込みハンバーグ、直火でのスイートポテト作りを行い、野外炊飯の楽しさや共同作業の大切を学んだ。

エ スポーツフェスティバル(未来キッズ生き生き事業)

(ア) 目的

身体を動かす大切さを知り、幼児・児童には体力向上、成人には健康維持を促進し、県民の健康的に生活するための意識向上を図る。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年10月14日(日)
- ・対象 一般
- ・参加者数 304名

(ウ) 内容

マウンテンバイク、ノルディックウォーキング、ヨガ体験、HIP HOP ジャズダンス体験などを楽しみ、目的や体力に合わせて身体を動かした。

オ 秋のオープンデー(未来キッズ生き生き事業)

連携：会津自然の家、郡山自然の家

(ア) 目的

施設を地域の人々に広く開放し、本所への理解を深め、地域の中での自然の家の役割を認識し、多くの方々の協力及び参加を得ながら地域づくりやまちづくりに貢献する。さらに、ボランティアスタッフとのつながりを深め、生涯学習活動や施設運営の充実を図る。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年10月28日(日)
- ・対象 一般
- ・参加者数 1,257名

(ウ) 内容

ディスクゴルフなどのスポーツ体験やアスレチックで身体を動かし、貝殻ストラップ作りや飛ぶ輪っか作りなどのクラフト体験を楽しんだ。また、高校生によるフラダンスや地元団体による太鼓の鑑賞、パトカー・消防車輛展示、鳴き砂展示、芋煮汁振る舞い、海浜レストラン、海浜風呂などでも楽しんだ。

カ ふれあいオータムキャンプ

(ア) 目的

自然のすばらしさや人とふれあう喜びを体得し、協調性・社会性を身につけ、自立心を養う。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年11月10日(土)～11日(日)
- ・対象 小学生
- ・参加者数 33名

(ウ) 内容

交流ゲームや背戸峨廊でのハイキング、採取した落ち葉を使ったクラフト、宝探しゲーム、野外炊飯(なみえ焼きそば、円盤餃子)などを行い参加者同士の親睦を深めた。

キ 親子のつどい

(ア) 目的

親子での共同作業を通して、家族の絆を深めるとともに、他の家族との交流の促進を図る。

地域の人々やボランティアへ活動の場を提供し、交流の推進を図る。

(イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年12月1日(土)～2日(日)
- ・対象 幼児から小学生とその家族
- ・参加者数 10名

(ウ) 内容

家族でクラフト体験(クリスマスリース、オーナメント作り)、野外炊飯(ビーフシチュー、クリームスパゲッティ、バームクーヘン)、交流ゲームなどを楽しんだ。

## ク 冬を楽しもう！～スキー教室～

### (ア) 目的

雪で遊ぶことが少ないいわきの親子を対象に、県内の風土の豊かさを感じ、冬の自然体験活動の楽しさを学ぶ。

### (イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成31年1月13日(日)
- ・対象 小学生とその家族
- ・参加者数 35名

### (ウ) 内容

猪苗代スキー場でスキーやそり遊びなどのウィンタースポーツを体験した。

## ケ クラフトのつどい

### (ア) 目的

創作活動の場を提供し、ものづくりの楽しみや生涯学習の振興に寄与することを目的とする。併せて、本所への理解、利用促進を図る。

### (イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成31年2月17日(日)
- ・対象 幼児から中学生とその家族
- ・参加者数 181名

### (ウ) 内容

缶バッジ、レジキキーホルダー、焼き板、草木染め(藍染め)、貝殻ストラップ作りなどを楽しんだりトリムランドで身体を動かしたりした。

## コ 森の音楽会

### (ア) 目的

地域の文化活動の推進と本所の利用促進を図る。

### (イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成31年3月10日(日)
- ・対象 一般
- ・参加者数 184名

### (ウ) 内容

ディナーバイキング料理と平商業高等学校吹奏楽部の演奏を楽しんだ。

## (3) その他の企画事業

### ア 未来キッズ生き生き事業 主催:福島県教育委員会

#### (ア) 目的

身体を動かすプログラムを提供し、県民の体力向上の促進を目的とする。

#### (イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年11月18日(日) 参加者数 343名
- 平成31年1月20日(日) 参加者数 159名
- 平成31年2月10日(日) 参加者数 144名
- ・対象 幼児から小学生とその家族

#### (ウ) 内容

所内のアスレチックで身体を動かしたり、野外ゲームやラダーゲッター、凧あげなどを楽しんだ。

### イ ウィンターフェスティバル! 主催:会津自然の家

#### (ア) 目的

会津の冬や伝統文化のすばらしさを体験するとともに、参加者相互の交流を深める。

#### (イ) 期日・対象及び参加者数

- ・期日 平成31年1月19日(土)～20日(日)
- ・対象 小・中学生とその保護者
- ・参加者数 33名(当所からの参加者)

#### (ウ) 内容

会津自然の家に宿泊し、スキーやスノーチューブ作り、雪灯ろう作りなどの冬の自然体験活動を満喫した。

## (4) 連携事業

### ア 公民館等連携講座(全5件)

#### (ア) 目的

いわき市立公民館、教育文化施設などと連携し、史跡見学・歴史講座、ニュースポーツ体験などを通じて、社会教育団体等の利用促進を図った。

#### (イ) 期間・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日)
- ・対象 成人
- ・参加者数 301名

#### (ウ) 内容

史跡見学・歴史講座のほか、ストラックアウトなどのニュースポーツを体験した。

### イ 出前講座(全7件)

#### (ア) 目的

自然の家の活動内容の紹介と学校及び社会教育団体等への利用促進を図るために、また、生涯学習支援をするため出前講座を行う。

#### (イ) 期間・対象及び参加者数

- ・期日 平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日)
- ・参加者数 2,018名

#### (ウ) 内容

いわき市内の公民館などで、主に児童・生徒を対象としたクラフトの出前講座を実施。

## (5) その他

### ア タイ青少年日本語研修(タイ王国カインドエンジェル)

#### (ア) 期日 平成31年3月18日(月)～4月18日(木)

#### (イ) 内容

タイ青少年16名が、32日間にわたり日本語学習と観光施設見学、茶道などを体験し、国際交流、日本文化への理解を深めた。



# 第 10 章 文化財

## 第 1 節 文化財保護体制の充実

### 1 指定文化財保護体制の充実 (文化財パトロール)

例年、文化財保護体制の充実を図るため、民間の有識者を文化財保護指導委員に委嘱し、パトロール計画に基づいて、定期的に国・県指定重要文化財や重要遺跡の巡視を行い、その現況把握に努めてきた。平成 30 年度は県内 15 地区 135 件の文化財を巡視した。

### 2 文化財保護指導者研修会

#### (1) 趣旨

文化財に関する知識の普及と愛護精神の高揚を図るため、公益財団法人福島県文化振興財団と福島県教育委員会の共催により実施した。文化財の保護について指導的立場にある関係者に対し、文化財に関する専門的事項について講習を行い、市町村における文化財保護行政の進展に役立てることを目的とする。

#### (2) 期日及び場所

平成 30 年 10 月 30 日(火)～31 日(水)  
いわき市生涯学習プラザ(いわき市)

#### (3) 内容

##### ア 講義内容及び講師

- (ア) 「縄文文化の世界的価値」  
菊池 徹夫(公財)福島県文化振興財団)
- (イ) 「いわき市における無形民俗文化財継承の取り組み」  
田仲 桂(いわき市)
- (ウ) 「文化財保護法改正の要点」  
佐藤 実(福島県教育庁文化財課)

##### イ 現地研修

いわき市考古資料館 見学  
住吉神社(いわき市) 見学

### 3 市町村文化財保護担当者会議

#### (1) 趣旨

県内市町村の文化財行政担当者が職務を遂行するうえで必要な知識の習得を図り、また、実務上の疑問点や問題点等について質疑・意見交換することによって、より円滑に文化財行政を推進させることを目的として開催した。

#### (2) 期日及び場所

平成 30 年 5 月 15 日(火)  
とうほう・みんなの文化センター

#### (3) 内容

- ア 文化行政の動向
- イ 平成 30 年度事業について
- ウ 指定文化財の対応について

## 第 2 節 埋蔵文化財の保護の充実

### 1 埋蔵文化財保護体制

県の歴史と文化を物語る文化財や県内の遺跡への関心は、県民の中で着実に高まっていることから、福島県教育委員会は、埋蔵文化財(遺跡)の保存・保護のため調査体制の充実を図ってきた。平成 30 年度は、他の県市及び財団から延べ 5 名の派遣を受けて、東日本大震災からの復旧・復興事業の埋蔵文化財調査のため、文化財課の体制を強化した。

#### 他の県市からの派遣

| 派遣期間        | 県市名         |
|-------------|-------------|
| H30.4～H31.3 | 青森県、岩手県、新潟県 |

また、県の委託により発掘調査を行っている(公財)福島県文化振興財団遺跡調査部においては、財団職員 22 名、派遣教員 3 名、財団間出向職員 5 名、嘱託職員 2 名、計 32 名で調査にあたった。

#### 福島県文化振興財団遺跡調査部職員数

|    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 年度 | 57 | 58 | 59 | 60 | 61 | 62 | 63 | 元  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 人員 | 26 | 26 | 30 | 40 | 44 | 47 | 47 | 55 | 60 | 60 | 62 | 62 | 62 | 62 |
| 年度 | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 人員 | 62 | 62 | 68 | 68 | 76 | 61 | 39 | 40 | 40 | 40 | 41 | 41 | 38 | 32 |
| 年度 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |    |    |    |    |    |
| 人員 | 26 | 26 | 35 | 40 | 39 | 37 | 32 | 30 | 32 |    |    |    |    |    |

(平成 14 年度までは遺跡調査課定数)

### 2 開発事業地内の保護対策

開発事業地内の遺跡の保護は、遺跡の所在・範囲・内容等を明らかにする「分布調査」・「試掘・確認調査」の結果により、事業者と遺跡を保護するための「保存協議」を行い、現状保存ができない場合は、発掘調査により「記録保存」し、その成果を調査報告書としてまとめることで対応している。

#### (1) 分布調査、試掘・確認調査

分布調査、試掘・確認調査は、遺跡を保護するための情報を収集することを目的としている。

平成 30 年度は、一般国道 115 号相馬福島道路 18,400 m<sup>2</sup>、小名浜道路 9,000 m<sup>2</sup>、阿武隈川上流河川改修事業 2,000 m<sup>2</sup>、会津縦貫南道路 20,900 m<sup>2</sup>、国道 349 号改良工事 6,600 m<sup>2</sup>、計 36,000 m<sup>2</sup>の試掘・確認調査を実施した。また、只見川河川整備事業に伴う計画路線内 40 ha の分布調査を実施した。

#### (2) 保存協議

昨年度の継続協議を含め、次の事業について関係機関と保存協議を実施した。

一般国道 115 号相馬福島道路の各事業関係機関、国道・県道の工事事務所等。

### (3) 発掘調査

福島県教育委員会では、開発に伴う発掘調査（保存目的調査）を（公財）福島県文化振興財団に委託し、以下の遺跡の調査を実施した。

- ・会津縦貫南道路：栗林遺跡他 1 遺跡（下郷町）  
8,400 m<sup>2</sup>
- ・一般国道 115 号相馬福島（霊山）道路：上ノ台遺跡他 3 遺跡（伊達市）10,950 m<sup>2</sup>
- ・県道吉間田滝根線（広瀬工区）整備事業：八反田遺跡（小野町）1,700 m<sup>2</sup>
- ・県道広野小高線（毛萱工区）整備事業：毛萱館跡（富岡町）5,000 m<sup>2</sup>
- ・県道広野小高線（浪江工区）整備事業：鹿屋敷館跡（浪江町）6,400 m<sup>2</sup>
- ・国道 349 号（下関工区）改良工事：宮平遺跡（矢祭町）  
2,300 m<sup>2</sup>
- ・国道 349 号（大綱木工区）改良工事：向ノ入山遺跡（川俣町）930 m<sup>2</sup>
- ・国道 114 号（山木屋 1 工区）改良工事：前田遺跡（川俣町）2,800 m<sup>2</sup>
- ・中間貯蔵建設予定地：銅谷迫遺跡（双葉町）3,000 m<sup>2</sup>

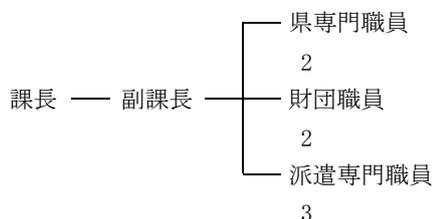
なお、県内市町村においても開発に伴う発掘調査を各市町村教育委員会が実施しているが、遺跡の重要性や調査体制の実情に応じ、適時福島県教育委員会が指導・助言している。

### 3 平成 30 年度の復興事業に係る埋蔵文化財調査状況

全国から専門職員 3 名の派遣を受けて県の復興調査体制を強化し、農山村地域復興基盤総合整備事業、海岸防災林関連事業等に係る埋蔵文化財の分布調査、試掘・確認調査を迅速に実施し、復興事業計画に遅れが出ないように対応した。

また、被災市町村の復興事業に対しても、技術協力を実施し、復興事業の迅速化に寄与してきた。

〈平成 30 年度〉復興調査体制  
(南相馬市駐在)



調査対応した開発事業は以下のとおりである。

#### (1) 分布調査

農山村地域復興基盤総合整備事業、中間貯蔵施設等 約 1,140 万 m<sup>2</sup>

#### (2) 試掘・確認調査

農山村地域復興基盤総合整備事業、海岸防災林、中間貯蔵施設等 約 172 万 m<sup>2</sup>

### (3) 災害復興に係る市町村技術協力

- ア 飯館村  
携帯基地局建設に係る分布調査
- イ 南相馬市  
県立相馬支援学校建設、農地整備に係る本発掘調査
- ウ 双葉町  
メガソーラー事業に係る試掘・確認調査、  
福島第一原子力発電所内造成に係る工事立会
- エ 川内村  
メガソーラー事業に係る分布調査、試掘・確認調査
- オ 広野町  
メガソーラー事業に係る分布調査
- カ 川俣町  
国道改良、商業施設建設に係る試掘・確認調査

## 4 埋蔵文化財保護体制充実のための研修

### (1) 福島県文化財センター白河館文化財研修

（公財）福島県文化振興財団が指定管理を行っている福島県文化財センター白河館において、埋蔵文化財の調査を担当する自治体・団体職員などを対象とした研修会を実施し、270 名が受講した。

### (2) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財担当者専門研修

平成 30 年度研修を受けた者は、以下のとおり。

| 研修名称          | 期 日             | 受 講 者              |
|---------------|-----------------|--------------------|
| 古文書歴史資料調査基礎課程 | 6月18日～<br>6月22日 | 矢祭町 1名             |
| 低湿地遺跡調査課程     | 10月3日～<br>10月5日 | (公財)いわき市教育文化事業団 1名 |
| 史跡等保存活用課程     | 1月15日～<br>1月25日 | 須賀川市 1名            |

## 5 埋蔵文化財保護普及活動

平成30年度に刊行した埋蔵文化財調査報告書は以下のとおり。

- ・福島県内遺跡分布調査報告 25
- ・一般国道 115 号相馬福島道路遺跡発掘調査報告 7
- ・阿武隈川上流河川改修事業高木地区遺跡調査報告
- ・東日本大震災復興関連遺跡調査報告 5
- ・平成 30 年度中間貯蔵土壌貯蔵施設等工事予定地における埋蔵文化財調査業務報告書
- ・常磐自動車道遺跡調査報告 74

## 6 市町村埋蔵文化財調査技術協力事業

県内の市町村教育委員会が実施する埋蔵文化財発掘調査等について、市町村教育委員会からの依頼により埋蔵文化財の調査等に必要な技術を協力・支援している。

具体的には、分布調査、試掘確認調査、小規模な発掘調査及び出土遺物の整理や報告書作成に関する技術の協力・支援を内容とするが、県教育委員会の委託により（公財）福島県文化振興財団が行っている。

平成30年度の技術協力の実績は、以下のとおり。

| 市町村   | 遺跡名         | 協力内容       |
|-------|-------------|------------|
| 鮫川村   | 姿平西製鉄遺跡     | 試掘調査       |
| 郡山市   | 田村町糠塚字池尻地内  | 分布調査       |
| 小野町   | 浮金字北ノ内地内    | 分布調査       |
| 二本松市  | 原瀬上原遺跡      | 試掘・確認調査    |
| 矢吹町   | 鬼穴古墳群       | 範囲確認調査     |
| 湯川村   | 堂後遺跡        | 範囲確認調査     |
| 会津若松市 | 墓料遺跡        | 発掘調査       |
| 三島町   | 大石田居平遺跡     | 発掘調査       |
| 会津若松市 | 墓料遺跡        | 発掘調査       |
| 川俣町   | 河股城跡        | 試掘・確認調査    |
| 矢吹町   | 鬼穴古墳群       | 範囲確認調査     |
| 泉崎村   | 原山古墳群       | 範囲確認調査     |
| 小野町   | 北ノ内遺跡及び浮金地区 | 試掘・確認調査    |
| 鏡石町   | 高久田地区       | 分布調査       |
| 三島町   | 大石田居平遺跡     | 遺物整理・報告書作成 |
| 川俣町   | 宮前遺跡        | 試掘・確認調査    |

## 7 文化財センター整備事業

福島県教育委員会が（公財）福島県文化振興財団に委託して実施した発掘調査により出土した遺物については、福島市渡利の県施設を活用し、福島県文化財センター整備事業としてその保存処理と調査を行っている。主な業務としては、金属製品や木製品等脆弱な出土文化財の保管管理と劣化防止措置、出土した遺物の整理・梱包・搬送・文化財データベース入力などである。

なお、福島市渡利の県施設の老朽化に伴い、文化財センター整備事業を文化財センター白河館にある体験学習館を改修して行うこととし、平成31年度以降は文化財センター白河館指定管理業務の中で文化財センター整備事業を行う。

## 8 開発事業に伴う試掘確認・発掘調査件数

### (1) 平成30年度 試掘確認調査件数

(平成30年4月～31年3月)

| No | 調査原因             | 県北 | 県中  | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | 計   |
|----|------------------|----|-----|----|----|-----|----|-----|-----|
| 1  | 道路建設             | 5  |     | 2  |    |     | 2  | 2   | 11  |
| 2  | 河川・ダム・空港・港湾      |    | 1   |    |    |     |    |     | 1   |
| 3  | 学校建設             | 1  |     |    |    |     |    |     | 1   |
| 4  | その他の建物           | 6  | 4   | 1  |    | 1   | 13 |     | 25  |
| 5  | 宅地造成・住宅等         | 19 | 96  | 1  |    |     | 12 | 3   | 131 |
| 6  | 都市計画等            |    |     |    |    |     |    |     | 0   |
| 7  | 公園造成など           |    |     |    |    |     |    |     | 0   |
| 8  | 土砂採取             |    |     |    |    |     | 7  |     | 7   |
| 9  | 農業関係             |    | 3   |    | 1  |     | 23 | 3   | 30  |
| 10 | 電気・ガス・水道         |    | 1   |    |    |     | 1  | 1   | 3   |
| 11 | その他の開発           | 1  | 4   |    | 1  |     | 17 |     | 23  |
| 12 | 史跡整備・保存目的の範囲内容確認 |    |     | 2  |    |     |    |     | 2   |
| 13 | 学術調査             |    |     |    |    |     |    |     | 0   |
|    | 合計               | 32 | 109 | 6  | 2  | 1   | 75 | 9   | 234 |

## (2) 平成30年度 発掘調査件数

(平成30年4月～31年3月)

| No  | 調査原因             | 県北 | 県中 | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | 計  |
|-----|------------------|----|----|----|----|-----|----|-----|----|
| 1   | 道路建設             | 5  | 2  | 5  | 1  | 1   | 2  |     | 16 |
| 2   | 河川・ダム・空港・港湾      |    |    |    |    |     |    |     | 0  |
| 3   | 学校建設             |    |    |    |    |     | 1  |     | 1  |
| 4   | その他の建物           |    |    |    | 1  |     |    |     | 1  |
| 5   | 宅地造成・住宅等         |    |    |    | 3  |     | 1  |     | 4  |
| 6   | 都市計画等            |    |    |    |    |     |    | 1   | 1  |
| 7   | 公園造成など           |    |    |    |    |     |    |     | 0  |
| 8   | 土砂採取             |    |    |    |    |     |    |     | 0  |
| 9   | 農業関係             | 1  |    |    | 1  |     | 1  |     | 3  |
| 10  | 電気・ガス・水道         |    |    |    |    |     |    |     | 0  |
| 11  | その他の開発           | 2  |    |    |    |     | 3  |     | 5  |
| 12  | 史跡整備・保存目的の範囲内容確認 | 6  | 2  | 4  | 5  | 1   | 1  | 2   | 21 |
| 13  | 学術調査             |    |    |    | 1  |     |    |     | 1  |
| 合 計 |                  | 14 | 4  | 9  | 12 | 2   | 9  | 3   | 53 |

## 9 平成30年度 試掘調査

## (1) 県調査

| No | 遺 跡 名         | 所 在 地                | 調査主体者 | 調査実施期間        | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時 代   | 種 別 | 調査原因 |
|----|---------------|----------------------|-------|---------------|---------------------------|-------|-----|------|
| 1  | 五畝田・犬這遺跡ほか1か所 | 南相馬市原町区大字零字五畝田ほか     | 福島県教委 | 8月27日～12月19日  | 69                        | 縄文    | 散布地 | 農地整備 |
| 2  | 平遺跡ほか2か所      | 南相馬市原町区大字下渋佐字平ほか     | 福島県教委 | 4月11日～4月12日   | 128                       | 古墳    | 集落跡 | 農地整備 |
| 3  | マキノイ遺跡ほか3か所   | 南相馬市小高区大字下浦字マキノイほか   | 福島県教委 | 6月19日～7月9日    | 1,098                     | 縄文    | 散布地 | 農地整備 |
| 4  | 天神谷地遺跡ほか2か所   | 南相馬市原町区大字上北高平字天神谷地ほか | 福島県教委 | 11月26日～11月27日 | 168                       | 縄文・弥生 | 散布地 | 農地整備 |
| 5  | 熊野前遺跡         | 南相馬市鹿島区大字小島田字後藤内     | 福島県教委 | 11月29日～11月29日 | 40                        | 古墳    | 散布地 | 農地整備 |
| 6  | 百枚遺跡          | 南相馬市鹿島区大字檜原字百枚       | 福島県教委 | 11月30日～11月30日 | 40                        | 縄文    | 集落跡 | 農地整備 |
| 7  | 赤柴館跡ほか8か所     | 南相馬市鹿島区大字栃窪字原東ほか     | 福島県教委 | 10月23日～12月18日 | 964                       | 中世    | 城館跡 | 農地整備 |
| 8  | 宮後A遺跡ほか3か所    | 南相馬市鹿島区大字上栃窪字宮後ほか    | 福島県教委 | 12月3日～12月18日  | 538                       | 縄文    | 散布地 | 農地整備 |
| 9  | 柿ノ内遺跡ほか6か所    | 南相馬市鹿島区大字小山田字柿ノ内ほか   | 福島県教委 | 1月14日～1月31日   | 993                       | 縄文    | 散布地 | 農地整備 |
| 10 | 深野南地区遺跡推定地    | 南相馬市原町区大字深野字搦屋       | 福島県教委 | 2月4日～2月6日     | 122                       | —     | —   | 農地整備 |
| 11 | 八木遺跡          | 川俣町大字山木屋字八木前         | 福島県教委 | 11月17日～11月17日 | 40                        | 縄文・平安 | 散布地 | 農地整備 |
| 12 | 路登A遺跡ほか1か所    | 都路町古路字呼石ほか           | 福島県教委 | 10月17日～10月18日 | 69                        | 縄文    | 散布地 | 農地整備 |

| No | 遺跡名         | 所在地               | 調査主体者 | 調査実施期間        | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代             | 種別  | 調査原因     |
|----|-------------|-------------------|-------|---------------|---------------------------|----------------|-----|----------|
| 13 | 下木戸遺跡ほか1か所  | 船引町北移字下木戸ほか       | 福島県教委 | 10月22日～11月2日  | 640                       | 縄文・平安          | 散布地 | 農地整備     |
| 14 | 砂田地区ほか3か所   | 川内村大字上川内字子安川ほか    | 福島県教委 | 11月12日～11月22日 | 555                       | 古墳             | 古墳  | 農地整備     |
| 15 | 広谷地B遺跡ほか7か所 | 葛尾村大字葛尾字広谷地ほか     | 福島県教委 | 9月10日～9月14日   | 477                       | 縄文             | 散布地 | 農地整備     |
| 16 | 大放遺跡ほか1か所   | 葛尾村大字落合字大放ほか      | 福島県教委 | 9月18日～9月18日   | 150                       | 近世             | 製鉄跡 | 農地整備     |
| 17 | 両竹館跡ほか3か所   | 浪江町大字両竹字花ノ木ほか     | 福島県教委 | 6月13日～6月19日   | 1,190                     | 中世・近世          | 城館跡 | 農地整備     |
| 18 | 諏訪原遺跡ほか2か所  | 南相馬市小高区大字塚原字諏訪原ほか | 福島県教委 | 4月19日～7月18日   | 536                       | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安 | 散布地 | 農地整備     |
| 19 | 高津戸館跡ほか2か所  | 富岡町大字上手岡字高津戸ほか    | 福島県教委 | 7月10日～7月24日   | 674                       | 中世             | 城館跡 | 農地整備     |
| 20 | 銅谷迫遺跡ほか35か所 | 双葉町大字郡山字銅谷迫ほか     | 福島県教委 | 4月23日～2月23日   | 4,137                     | 古墳・奈良・平安       | 集落跡 | 農地整備     |
| 21 | 北原遺跡        | 浪江町大字幾世橋字北原       | 福島県教委 | 4月17日～4月19日   | 26                        | 古墳・奈良・平安       | 散布地 | 農地整備     |
| 22 | 下団子遺跡隣接地    | 大熊町大字夫沢字長者原       | 福島県教委 | 1月29日～1月29日   | 6                         | —              | —   | 農地整備     |
| 23 | 田向遺跡ほか3遺跡   | 伊達市保原町上保原字田向 他    | 福島県教委 | 5月23日～6月5日    | 757                       | 奈良             | 集落跡 | 相馬福島道路   |
| 24 | 泉大平遺跡ほか1遺跡  | いわき市泉町大平、添野町長沢    | 福島県教委 | 7月2日～7月6日     | 191                       | 中世             | 散布地 | 小名浜道路    |
| 25 | 下町遺跡ほか1遺跡   | 矢祭町大字下関河内字下町・下古宿  | 福島県教委 | 7月23日～7月26日   | 225                       | 中世             | 散布地 | 349号改良工事 |
| 26 | 徳定A・B遺跡     | 郡山市田村町徳定大柳        | 福島県教委 | 9月5日～9月6日     | 90                        | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安 | 散布地 | 河川改修     |

## (2) 市町村調査

| No | 遺跡名     | 所在地         | 調査主体者 | 調査実施期間       | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代       | 種別  | 調査原因 |
|----|---------|-------------|-------|--------------|---------------------------|----------|-----|------|
| 1  | 猿内館跡    | 福島市下野寺字猿内   | 福島市教委 | 5月29日～6月6日   | 90                        | 中世       | 城館跡 | 宅地造成 |
| 2  | 町畑吉治下遺跡 | 福島市平石字吉治下   | 福島市教委 | 5月30日～7月6日   | 460                       | 縄文・平安・中世 | 散布地 | 道路   |
| 3  | 沖町遺跡    | 福島市渡利字沖町    | 福島市教委 | 7月24日～7月26日  | 70                        | 平安       | 散布地 | 共同住宅 |
| 4  | 岩崎町遺跡   | 福島市渡利字岩崎町   | 福島市教委 | 8月7日～8月7日    | 190                       | 縄文・奈良・平安 | その他 | 共同住宅 |
| 5  | 渡利町遺跡   | 福島市渡利町字渡利町  | 福島市教委 | 8月21日～8月22日  | 34                        | 縄文・平安    | 散布地 | 集合住宅 |
| 6  | 天王原B遺跡  | 福島市松川町沼袋字北原 | 福島市教委 | 9月11日～9月12日  | 20                        | 縄文       | 散布地 | 個人住宅 |
| 7  | 南諏訪原遺跡  | 福島市松川町字南諏訪原 | 福島市教委 | 9月18日～9月20日  | 20                        | 縄文・奈良・平安 | 散布地 | 宅地造成 |
| 8  | 宮代館跡    | 福島市宮代字屋敷畑   | 福島市教委 | 10月23日～11月9日 | 210                       | 平安       | 城館跡 | 宅地造成 |

| No | 遺跡名         | 所在地           | 調査主体者   | 調査実施期間        | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代          | 種別    | 調査原因  |
|----|-------------|---------------|---------|---------------|---------------------------|-------------|-------|-------|
| 9  | 本内館跡        | 福島市本内字館       | 福島市教委   | 12月12日～2月15日  | 213                       | 中世          | 城館跡   | その他開発 |
| 10 | 鎧塚遺跡        | 福島市吉倉字桜内34-1  | 福島市教委   | 4月23日～4月27日   | 28                        | 縄文・古墳・平安    | 散布地、他 | その他建物 |
| 11 | 上吉田C遺跡ほか4遺跡 | 高野町柳川字上吉田ほか   | 会津若松市教委 | 10月22日～12月14日 | 264                       | 奈良・平安・近世    | 散布地   | 圃場整備  |
| 12 | 柴宮山古墳群      | 郡山市大槻町字室ノ木    | 郡山市教委   | 4月12日～4月12日   | 16                        | 古墳          | 古墳    | 住宅建設  |
| 13 | 日向遺跡        | 郡山市西田町鬼生田字日向  | 郡山市教委   | 4月13日～4月13日   | 39                        | 奈良・平安       | 散布地   | 住宅建設  |
| 14 | 桃見台遺跡       | 郡山市長者二丁目      | 郡山市教委   | 4月19日～4月19日   | 21                        | 弥生・奈良・平安    | その他   | 住宅建設  |
| 15 | 一本松遺跡       | 郡山市並木一丁目      | 郡山市教委   | 4月20～4月20日    | 24                        | 奈良          | 散布地   | 住宅建設  |
| 16 | 清水台遺跡       | 郡山市赤木町        | 郡山市教委   | 4月26日～4月26日   | 20                        | 奈良・平安       | 官衙跡   | 仮園舎建設 |
| 17 | 清水台遺跡       | 郡山市赤木町        | 郡山市教委   | 4月26日～4月26日   | 11                        | 奈良・平安       | 官衙跡   | 住宅建設  |
| 18 | 中牛庭遺跡       | 郡山市安積町牛庭四丁目   | 郡山市教委   | 4月27日～4月27日   | 20                        | 奈良          | 散布地   | 住宅建設  |
| 19 | 西原遺跡群       | 郡山市富田町字矢ノ根石   | 郡山市教委   | 5月11日～5月11日   | 18                        | 縄文・古墳       | 散布地   | 倉庫建築  |
| 20 | 清水台遺跡       | 郡山市赤木町        | 郡山市教委   | 5月11日～5月11日   | 43                        | 奈良・平安       | 官衙跡   | 集合住宅  |
| 21 | 上野山遺跡       | 郡山市水門町        | 郡山市教委   | 5月15日～5月15日   | 61                        | 平安          | 散布地   | 集合住宅  |
| 22 | 下曲田遺跡       | 郡山市富田東五丁目     | 郡山市教委   | 5月22日～5月22日   | 13                        | 平安          | 散布地   | 住宅建設  |
| 23 | 阿久戸遺跡       | 郡山市町東一丁目      | 郡山市教委   | 5月24日～5月24日   | 20                        | 弥生・古墳・奈良・平安 | 散布地   | 住宅建設  |
| 24 | 水神山遺跡       | 郡山市富久山町久保田字麓山 | 郡山市教委   | 5月30日～5月30日   | 13                        | 縄文          | 散布地   | 住宅建設  |
| 25 | 阿良久遺跡       | 郡山市大槻町原田北     | 郡山市教委   | 5月31日～5月31日   | 28                        | 奈良・平安       | 散布地   | 住宅建設  |
| 26 | 清水台遺跡       | 郡山市咲田二丁目      | 郡山市教委   | 6月5日～6月5日     | 17                        | 奈良・平安       | 官衙跡   | 住宅建設  |
| 27 | 辰巳田遺跡       | 郡山市静町         | 郡山市教委   | 6月7日～6月7日     | 11                        | 平安          | 散布地   | 住宅建設  |
| 28 | 亀田遺跡群       | 郡山市亀田二丁目      | 郡山市教委   | 6月8日～6月8日     | 37                        | 古墳・奈良・平安    | その他   | 住宅建設  |
| 29 | 篠川館跡        | 郡山市安積町笹川字篠川   | 郡山市教委   | 6月12日～6月12日   | 31                        | 城館跡         | 中世    | 住宅建設  |
| 30 | 水穴遺跡        | 郡山市富田東一丁目     | 郡山市教委   | 6月14日～6月14日   | 14                        | 平安          | 散布地   | 住宅建設  |
| 31 | 成山西遺跡       | 郡山市安積町笹川字西長久保 | 郡山市教委   | 6月19日～6月19日   | 13                        | 奈良・平安       | 散布地   | 住宅建設  |
| 32 | 西原遺跡群       | 郡山市富田町字西原     | 郡山市教委   | 6月21日～6月21日   | 69                        | 縄文・古墳       | 散布地   | 集合住宅  |
| 33 | 鳴神・柿内戸遺跡    | 郡山市富久山町福原字町田  | 郡山市教委   | 6月26日～6月27日   | 172                       | 縄文・古墳・奈良・平安 | 散布地   | 宅地分譲  |
| 34 | 西原遺跡        | 郡山市富久山町福原字西原  | 郡山市教委   | 6月28日～6月28日   | 21                        | 縄文・奈良・平安    | 散布地   | 土地売買  |
| 35 | 郡山宿下榎形B遺跡   | 郡山市大町一丁目      | 郡山市教委   | 6月29日～6月29日   | 13                        | 近世          | その他   | 建物建設  |
| 36 | 西原遺跡群       | 富田町字向山        | 郡山市教委   | 7月2日～7月2日     | 15                        | 縄文・古墳       | 散布地   | 住宅建設  |

| No | 遺 跡 名   | 所 在 地            | 調査主体者 | 調査実施期間      | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時 代            | 種 別 | 調査原因    |
|----|---------|------------------|-------|-------------|---------------------------|----------------|-----|---------|
| 37 | 八幡古墳群   | 郡山市三穂田町八幡字東屋敷    | 郡山市教委 | 7月4日～7月4日   | 50                        | 古墳             | 古墳  | 住宅建設    |
| 38 | 亀田遺跡群   | 郡山市字上亀田          | 郡山市教委 | 7月9日～7月9日   | 20                        | 古墳・奈良・平安       | その他 | 住宅建設    |
| 39 | 清水台遺跡   | 郡山市赤木町           | 郡山市教委 | 7月9日～7月9日   | 27                        | 奈良・平安          | 官衙跡 | 住宅建設    |
| 40 | 太夫場加遺跡  | 郡山市安積町荒井字太夫場加    | 郡山市教委 | 7月10日～7月10日 | 17                        | 縄文             | 散布地 | 住宅建設    |
| 41 | 中野遺跡    | 郡山市大槻町字仙海東       | 郡山市教委 | 7月12日～7月12日 | 20                        | 奈良             | 散布地 | 住宅建設    |
| 42 | 上之内遺跡   | 郡山市富久山町福原字陣場     | 郡山市教委 | 7月18日～7月18日 | 23                        | 平安             | 散布地 | 住宅建設    |
| 43 | 闇沢C遺跡   | 郡山市田村町糠塚字牛骨      | 郡山市教委 | 7月24日～7月24日 | 12                        | 縄文             | 散布地 | 送電線工事   |
| 44 | 平館跡     | 郡山市田村町金屋字杉ノ宮     | 郡山市教委 | 7月26日～7月26日 | 44                        | 中世             | 城館跡 | 土地売買    |
| 45 | 柴宮山古墳群  | 郡山市大槻町字室ノ木東      | 郡山市教委 | 7月27日～7月27日 | 21                        | 古墳             | 古墳  | 住宅建設    |
| 46 | 阿久戸遺跡   | 郡山市富田町字久ノ内       | 郡山市教委 | 7月31日～7月31日 | 21                        | 弥生・古墳・奈良・平安    | 散布地 | 住宅建設    |
| 47 | 確認必要地区  | 郡山市田村町栃本字河ウツ     | 郡山市教委 | 8月1日、8月3日   | 211                       | —              | —   | 最終処分場建設 |
| 48 | 篠川館跡    | 郡山市安積町笹川字高石坊     | 郡山市教委 | 8月7日～8月7日   | 32                        | 城館跡            | 中世  | 住宅建設    |
| 49 | 亀田遺跡群   | 郡山市字下亀田          | 郡山市教委 | 8月10日～8月10日 | 61                        | 古墳・奈良・平安       | その他 | 宅地分譲    |
| 50 | 蟻塚遺跡    | 郡山市片平町字中川原南      | 郡山市教委 | 8月20日～8月20日 | 22                        | 平安             | 散布地 | 住宅建設    |
| 51 | 大島遺跡    | 郡山市富田町字大島        | 郡山市教委 | 8月22日～8月22日 | 43                        | 縄文・弥生・平安       | 散布地 | 住宅建設    |
| 52 | 荒井館跡    | 郡山市安積町荒井字荒井      | 郡山市教委 | 8月24日～8月24日 | 6                         | 中世             | 城館跡 | 住宅建設    |
| 53 | 乙高遺跡    | 郡山市富久山町久保田字大久保   | 郡山市教委 | 8月29日～8月29日 | 21                        | 縄文             | 散布地 | 住宅建設    |
| 54 | 金畑遺跡    | 郡山市大槻町字堀切西       | 郡山市教委 | 9月4日～9月4日   | 29                        | 奈良・平安          | 散布地 | 住宅建設    |
| 55 | 大槻城跡    | 郡山市大槻町殿町         | 郡山市教委 | 9月6日～9月6日   | 40                        | 中世             | 城館跡 | 土地売買    |
| 56 | 水神山遺跡   | 郡山市富久山町久保田字水神山   | 郡山市教委 | 9月11日～9月11日 | 15                        | 縄文             | 散布地 | 住宅建設    |
| 57 | 天神南遺跡   | 郡山市富田町字天神南       | 郡山市教委 | 9月12日～9月12日 | 14                        | 古墳・奈良・平安       | 散布地 | 住宅建設    |
| 58 | 並木遺跡    | 郡山市並木四丁目         | 郡山市教委 | 9月13日～9月13日 | 34                        | 縄文・平安          | 散布地 | 土地売買    |
| 59 | 堀込遺跡    | 郡山市日和田町原町        | 郡山市教委 | 9月14日～9月14日 | 110                       | 平安             | 散布地 | 住宅建設    |
| 60 | 徳定A・B遺跡 | 郡山市田村町徳定字う干場     | 郡山市教委 | 9月18日～9月18日 | 29                        | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安 | 平安  | 集合住宅    |
| 61 | 八雲遺跡    | 郡山市安積町荒井字撫子前, 畑田 | 郡山市教委 | 9月19日～9月19日 | 49                        | 平安             | 散布地 | 集合住宅    |

| No | 遺跡名     | 所在地            | 調査主体者 | 調査実施期間        | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代          | 種別     | 調査原因   |
|----|---------|----------------|-------|---------------|---------------------------|-------------|--------|--------|
| 62 | 横塚二丁目遺跡 | 郡山市横塚二丁目       | 郡山市教委 | 9月20日、9月26日   | 88                        | 縄文・平安       | 散布地    | 集合住宅   |
| 63 | 町B遺跡    | 郡山市西田町鬼生田字町    | 郡山市教委 | 10月3日～10月3日   | 23                        | 縄文          | 散布地    | 住宅建設   |
| 64 | 釜沼遺跡    | 郡山市富久山町福原字長沼   | 郡山市教委 | 10月5日～10月5日   | 14                        | 縄文          | 散布地    | 住宅建設   |
| 65 | 南田遺跡    | 郡山市富久山町久保田字南田  | 郡山市教委 | 10月5日～10月5日   | 14                        | 古墳          | 散布地    | 住宅建設   |
| 66 | 阿久戸遺跡   | 郡山市町東三丁目       | 郡山市教委 | 10月9日～10月9日   | 30                        | 弥生・古墳・奈良・平安 | 散布地    | 住宅建設   |
| 67 | 恩田遺跡    | 郡山市富久山町久保田字久保田 | 郡山市教委 | 10月11日～10月11日 | 16                        | 古墳・奈良・平安    | 散布地    | 住宅建設   |
| 68 | 平館跡     | 郡山市田村町金屋字宝蔵    | 郡山市教委 | 10月15日～10月15日 | 45                        | 中世          | 城館跡    | 住宅建設   |
| 69 | 恩田遺跡    | 郡山市富久山町久保田字水口  | 郡山市教委 | 10月16日～10月16日 | 13                        | 古墳・奈良・平安    | 散布地    | 住宅建設   |
| 70 | 宮ノ前遺跡   | 郡山市喜久田町早稲原字下ノ端 | 郡山市教委 | 10月23日～10月23日 | 28                        | 平安          | 散布地    | 住宅建設   |
| 71 | 宮前遺跡    | 郡山市大槻町字上柵      | 郡山市教委 | 10月26日～10月26日 | 35                        | 縄文          | 散布地    | 住宅建設   |
| 72 | 愛宕遺跡    | 郡山市富久山町久保田字愛宕  | 郡山市教委 | 11月1日～11月1日   | 17                        | 奈良          | 散布地    | 住宅建設   |
| 73 | 西原遺跡群   | 郡山市富田町字町畑      | 郡山市教委 | 11月7日～11月7日   | 84                        | 縄文・古墳       | 散布地    | 集合住宅建設 |
| 74 | 原ノ町遺跡   | 郡山市大槻町原ノ町      | 郡山市教委 | 11月12日～11月12日 | 12                        | 古墳・奈良・平安    | 集落跡    | 住宅建設   |
| 75 | 並木遺跡    | 郡山市並木四丁目       | 郡山市教委 | 11月13日～11月14日 | 76                        | 縄文・平安       | 散布地    | 集合住宅建設 |
| 76 | 八雲遺跡    | 郡山市安積町荒井字東屋敷   | 郡山市教委 | 11月15日～11月15日 | 54                        | 古墳・奈良・平安    | 散布地    | 集合住宅建設 |
| 77 | 西原遺跡群   | 郡山市富田町字向山      | 郡山市教委 | 11月19日～11月19日 | 15                        | 縄文・古墳       | 散布地    | 住宅建設   |
| 78 | 篠川館跡    | 郡山市安積町笹川字高瀬    | 郡山市教委 | 11月20日～11月20日 | 19                        | 城館跡         | 中世     | 住宅建設   |
| 79 | 水見台遺跡   | 郡山市桜木二丁目       | 郡山市教委 | 11月22日～11月22日 | 19                        | 縄文・奈良・平安    | 散布地    | 住宅建設   |
| 80 | 咲田遺跡    | 郡山市咲田二丁目       | 郡山市教委 | 11月27日～11月27日 | 11                        | 縄文・奈良・平安    | 散布地その他 | 住宅建設   |
| 81 | 篠川館跡    | 郡山市安積町笹川三丁目    | 郡山市教委 | 12月3日～12月3日   | 20                        | 城館跡         | 中世     | 集合住宅建設 |
| 82 | 恩田遺跡    | 郡山市富久山町久保田字恩田  | 郡山市教委 | 12月6日～12月6日   | 19                        | 古墳・奈良・平安    | 散布地    | 住宅建設   |
| 83 | 水神山遺跡   | 郡山市富久山町久保田字水神山 | 郡山市教委 | 12月7日～12月7日   | 19                        | 縄文          | 散布地    | 住宅建設   |
| 84 | 上之内遺跡   | 郡山市富久山町福原字陣場   | 郡山市教委 | 12月11日～12月11日 | 28                        | 平安          | 散布地    | 住宅建設   |
| 85 | 備前館跡    | 郡山市備前館二丁目      | 郡山市教委 | 12月13日～12月13日 | 51                        | 城館跡         | 中世     | 住宅建設   |

| No  | 遺跡名    | 所在地            | 調査主体者 | 調査実施期間        | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代                     | 種別  | 調査原因   |
|-----|--------|----------------|-------|---------------|---------------------------|------------------------|-----|--------|
| 86  | 下権現遺跡  | 郡山市久留米一丁目      | 郡山市教委 | 12月14日～12月14日 | 25                        | 縄文・弥生・<br>古墳・奈良・<br>平安 | 散布地 | 住宅建設   |
| 87  | 阿久戸遺跡  | 郡山市富田町字町東      | 郡山市教委 | 12月18日～12月18日 | 21                        | 弥生・古墳・<br>奈良・平安        | 散布地 | 土地売買   |
| 88  | 西原遺跡群  | 郡山市富田町字若木下     | 郡山市教委 | 12月20日～12月20日 | 17                        | 縄文・古墳                  | 散布地 | 住宅建設   |
| 89  | 石塚遺跡   | 郡山市田村町谷田川字石塚   | 郡山市教委 | 12月21日～12月21日 | 25                        | 古墳・奈良・<br>平安           | 散布地 | 住宅建設   |
| 90  | 水神山遺跡  | 郡山市富久山町久保田字水神山 | 郡山市教委 | 1月7日～1月7日     | 16                        | 縄文                     | 散布地 | 住宅建設   |
| 91  | 大槻城跡   | 郡山市大槻町字北寺      | 郡山市教委 | 1月10日～1月10日   | 21                        | 中世                     | 城館跡 | 住宅建設   |
| 92  | 大槻城跡   | 郡山市大槻町字城ノ内     | 郡山市教委 | 1月10日～1月10日   | 15                        | 中世                     | 城館跡 | 住宅建設   |
| 93  | 下館跡    | 郡山市片平町字町東      | 郡山市教委 | 1月16日～1月16日   | 16                        | 中世                     | 城館跡 | 住宅建設   |
| 94  | 広修寺跡   | 郡山市片平町字南万会     | 郡山市教委 | 1月21日～1月21日   | 125                       | 中世                     | 社寺跡 | 宅地分譲   |
| 95  | 広修寺跡   | 郡山市片平町字南万会     | 郡山市教委 | 1月23日～1月23日   | 53                        | 中世                     | 社寺跡 | 宅地分譲   |
| 96  | 恩田遺跡   | 郡山市富久山町久保田字久保田 | 郡山市教委 | 1月24日～1月24日   | 63                        | 古墳・奈良・<br>平安           | 散布地 | 土地売買   |
| 97  | 柴宮山古墳群 | 郡山市安積町荒井字柴宮山   | 郡山市教委 | 1月28日～1月28日   | 11                        | 古墳                     | 古墳  | 住宅建設   |
| 98  | 柴宮山古墳群 | 郡山市大槻町字室ノ木北    | 郡山市教委 | 1月28日～1月28日   | 16                        | 古墳                     | 古墳  | 住宅建設   |
| 99  | 米沢山遺跡  | 郡山市緑町          | 郡山市教委 | 2月5日～2月5日     | 31                        | 縄文・平安                  | 散布地 | 集合住宅建設 |
| 100 | 石井館跡   | 郡山市田村町谷田川字町畑   | 郡山市教委 | 2月7日～2月7日     | 13                        | 城館跡                    | 中世  | 住宅建設   |
| 101 | 清水台遺跡  | 郡山市清水台二丁目      | 郡山市教委 | 2月8日～2月8日     | 15                        | 奈良・平安                  | 官衙跡 | 住宅建設   |
| 102 | 大槻城跡   | 郡山市大槻町字城ノ内     | 郡山市教委 | 2月13日～2月13日   | 31                        | 中世                     | 城館跡 | 住宅建設   |
| 103 | 西原遺跡群  | 郡山市富田町向山       | 郡山市教委 | 2月15日～2月15日   | 39                        | 縄文・古墳                  | 散布地 | 集合住宅建設 |
| 104 | 下西田遺跡  | 郡山市大槻町針生       | 郡山市教委 | 2月19日～2月19日   | 18                        | 古墳                     | 散布地 | 住宅建設   |
| 105 | 谷地林遺跡  | 郡山市台新二丁目       | 郡山市教委 | 2月21日～2月21日   | 85                        | 古墳                     | 散布地 | 宅地分譲   |
| 106 | 天神南遺跡  | 郡山市富田町字天神南     | 郡山市教委 | 2月27日～2月27日   | 17                        | 古墳・奈良・<br>平安           | 散布地 | 住宅建設   |
| 107 | 米沢山遺跡  | 郡山市緑町          | 郡山市教委 | 3月8日～3月8日     | 50                        | 縄文・平安                  | 散布地 | 住宅建設   |
| 108 | 亀田遺跡群  | 郡山市字上亀田        | 郡山市教委 | 3月12日～3月12日   | 12                        | 古墳・奈良・<br>平安           | その他 | 住宅建設   |
| 109 | 西原遺跡群  | 郡山市富田町字町畑      | 郡山市教委 | 3月12日～3月12日   | 29                        | 縄文・古墳                  | 散布地 | 住宅建設   |
| 110 | 辰巳田遺跡  | 郡山市静町          | 郡山市教委 | 3月15日～3月15日   | 17                        | 平安                     | 散布地 | 住宅建設   |
| 111 | 堀込遺跡   | 郡山市日和田町字堀込     | 郡山市教委 | 3月20日～3月20日   | 50                        | 平安                     | 散布地 | 宅地分譲   |

| No  | 遺跡名            | 所在地                              | 調査主体者  | 調査実施期間                                  | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代       | 種別        | 調査原因    |
|-----|----------------|----------------------------------|--------|-----------------------------------------|---------------------------|----------|-----------|---------|
| 112 | 土手ノ内遺跡         | 郡山市三穂田町山口字常光                     | 郡山市教委  | 2月26日～2月28日<br>3月1日、3月5日、<br>3月6日、3月13日 | 542                       | 縄文       | 散布地       | 圃場整備    |
| 113 | 黒河地遺跡          | 郡山市三穂田町八幡字上ノ台                    | 郡山市教委  | 3月13日、3月15日<br>3月18日～3月19日<br>、3月22日    | 203                       | 縄文       | 散布地       | 圃場整備    |
| 114 | 中ノ坪A遺跡         | いわき市泉町滝尻字中ノ坪5番3の一部他              | いわき市教委 | 4月18日～5月1日                              | 89                        | 古墳       | 集落跡       | 宅地造成    |
| 115 | 小谷作広畑遺跡        | いわき市好間町小谷作字広畑5番                  | いわき市教委 | 6月25日～6月27日                             | 42                        | 古墳       | 集落跡       | 集合住宅建築  |
| 116 | 遠野古館跡          | いわき市遠野町入遠野字大多田、東山地内              | いわき市教委 | 7月11日～7月13日                             | 10                        | 中世       | 城館跡       | 道路整備    |
| 117 | 北境遺跡           | いわき市勿来町酒井北境28番1他                 | いわき市教委 | 7月25日～8月20日                             | 236                       | 縄文～平安・近世 | 集落跡       | 宅地造成    |
| 118 | 大林条里跡<br>(その1) | いわき市山田町林崎・中町・蛭子原・館越・川田地内         | いわき市教委 | 11月5日～11月8日                             | 70                        | 奈良・平安    | 条里跡       | 農業基盤整備  |
| 119 | 森戸貝塚<br>(隣接)   | いわき市平上片寄字森戸・本屋敷地内                | いわき市教委 | 12月3日～12月7日                             | 50                        | 縄文       | 貝塚        | 農業基盤整備  |
| 120 | 平城跡            | いわき市平字田町地内                       | いわき市教委 | 1月9日～1月25日                              | 50                        | 近世       | 城館跡       | 市街地再開発  |
| 121 | 大林条里跡<br>(その2) | いわき市山田町林崎・中町・蛭子原・館越・川田地内         | いわき市教委 | 2月25日～2月27日                             | 70                        | 奈良・平安    | 条里跡       | 農業基盤整備  |
| 122 | 原田窯跡<br>五反田A遺跡 | いわき市平上平窪字原田125番2、小川町下小川字味曾野45番1他 | いわき市教委 | 2月18日～3月8日                              | 227                       | 奈良・平安    | 窯跡<br>集落跡 | 送電線新設   |
| 123 | 小峰城跡           | 白河市郭内                            | 白河市教委  | 4月23日～4月27日                             | 37                        | 近世       | 城郭        | 道路改良工事  |
| 124 | 向畑遺跡           | 白河市久田野向畑                         | 白河市教委  | 11月12日～11月12日                           | 12                        | 古墳～平安    | 散布地       | 一般住宅建設  |
| 125 | 古内遺跡           | 白河市借宿古内                          | 白河市教委  | 10月18日～11月1日                            | 271                       | 古墳～平安    | 集落跡       | 工場建設    |
| 126 | 中平遺跡           | 二本松市東新殿字浮内ほか                     | 二本松市教委 | 4月23日～4月27日                             | 70                        | 縄文・平安    | 散布地       | 道路      |
| 127 | 原瀬上原遺跡         | 二本松市原瀬日照田                        | 二本松市教委 | 6月4日～6月6日                               | 100                       | 縄文       | 集落跡       | ライスセンター |
| 128 | 二本松城大手門跡       | 二本松市本町一丁目                        | 二本松市教委 | 8月1日～8月10日                              | 40                        | 近世       | 城館跡       | 個人住宅兼店舗 |
| 129 | 塩沢上原A遺跡        | 二本松市上原                           | 二本松市教委 | 8月17日                                   | 10                        | 縄文       | 集落跡       | 個人住宅    |
| 130 | 島ノ内館跡          | 二本松市木ノ崎                          | 二本松市教委 | 10月29日～10月31日                           | 40                        | 中世       | 城館跡       | 宅地造成    |
| 131 | 五月平遺跡          | 田村市常葉町堀田字五月平                     | 田村市教委  | 10月9日～10月11日                            | 540                       | 縄文       | 散布地       | 太陽光発電   |
| 132 | 植松B遺跡          | 南相馬市原町区上北高平字植松地内                 | 南相馬市教委 | 4月10日～4月13日                             | 240                       | 奈良・平安    | 散布地       | 工場増設    |

| No  | 遺跡名      | 所在地              | 調査主体者  | 調査実施期間        | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代             | 種別     | 調査原因  |
|-----|----------|------------------|--------|---------------|---------------------------|----------------|--------|-------|
| 133 | 桜井D遺跡    | 南相馬市原町区上渋佐字原畑地内  | 南相馬市教委 | 4月16日～4月12日   | 40                        | 奈良・平安          | 集落     | 戸建住宅  |
| 134 | 八郎内遺跡    | 南相馬市鹿島区西町3丁目     | 南相馬市教委 | 4月27日～4月27日   | 40                        | 奈良・平安          | 散布地    | 集合住宅  |
| 135 | 大田和広畑遺跡  | 南相馬市小高区大田和字広畑地内  | 南相馬市教委 | 5月1日～5月2日     | 50                        | 縄文・奈良・平安       | 散布地・集落 | 太陽光発電 |
| 136 | 桜井C遺跡    | 南相馬市原町区上渋佐字原田    | 南相馬市教委 | 5月7日～5月11日    | 60                        | 奈良・平安          | 集落     | 集合住宅  |
| 137 | 池ノ沢遺跡    | 南相馬市小高区神山字池ノ沢地内  | 南相馬市教委 | 6月19日～6月22日   | 150                       | 奈良・平安          | 製鉄遺跡   | 土砂採取  |
| 138 | 大田和広畑遺跡  | 南相馬市小高区大田和字広畑地内  | 南相馬市教委 | 6月21日～6月21日   | 10                        | 縄文・奈良・平安       | 散布地・集落 | 太陽光発電 |
| 139 | 白幡前遺跡    | 南相馬市小高区大井字上山畑地内  | 南相馬市教委 | 6月21日～6月21日   | 5                         | 縄文・古墳          | 散布地    | 太陽光発電 |
| 140 | 高見町B遺跡   | 南相馬市原町区高見町1丁目地内  | 南相馬市教委 | 7月10日～7月10日   | 40                        | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安 | 散布地    | 集合住宅  |
| 141 | 高松C遺跡    | 南相馬市上北高平字高松地内    | 南相馬市教委 | 7月19日～7月19日   | 10                        | 縄文・奈良・平安       | 散布地    | 個人住宅  |
| 142 | 石神坂下地区   | 南相馬市原町区石神字坂下地内   | 南相馬市教委 | 7月24日～7月24日   | 10                        | —              | —      | 太陽光発電 |
| 143 | 片草南原遺跡   | 南相馬市小高区片草字北原地内   | 南相馬市教委 | 8月10日～8月10日   | 2                         | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安 | 散布地    | 個人住宅  |
| 144 | 鱈沢遺跡     | 南相馬市小高区神山字鱈沢地内   | 南相馬市教委 | 8月30日～9月4日    | 31                        | 奈良・平安          | 製鉄遺跡   | 土砂採取  |
| 145 | 入竜田C遺跡   | 南相馬市原町区深野字入竜田地内  | 南相馬市教委 | 9月11日～10月16日  | 199                       | 奈良・平安          | 製鉄遺跡   | 土砂採取  |
| 146 | 玉ノ木平C遺跡  | 南相馬市小高区吉名字玉ノ木平地内 | 南相馬市教委 | 9月28日～9月28日   | 126                       | 縄文・弥生・奈良・平安    | 散布地    | 太陽光発電 |
| 147 | 上広畑B遺跡   | 南相馬市小高区上広畑地内     | 南相馬市教委 | 10月2日～10月2日   | 40                        | 古墳・奈良・平安       | 散布地    | 太陽光発電 |
| 148 | 清信遺跡     | 南相馬市小高区大井字清信     | 南相馬市教委 | 10月3日～10月3日   | 60                        | 弥生・古墳・奈良・平安    | 城館・散布地 | 太陽光発電 |
| 149 | 上根沢大久保地区 | 南相馬市上根沢字大久保地内    | 南相馬市教委 | 10月15日～10月25日 | 56                        | —              | —      | 土砂採取  |
| 150 | 小原遺跡     | 南相馬市原町区下太田字小原地内  | 南相馬市教委 | 10月19日～10月19日 | 35                        | 弥生             | 散布地    | 車庫・倉庫 |
| 151 | 金谷若林地区   | 南相馬市小高区金谷字若林地内   | 南相馬市教委 | 10月25日～10月25日 | 4                         | —              | —      | 土砂採取  |
| 152 | 宮平遺跡     | 南相馬市原町区深野字宮平地内   | 南相馬市教委 | 11月8日～11月8日   | 40                        | 縄文             | 散布地    | 太陽光発電 |
| 153 | 松ヶ沢B遺跡   | 南相馬市原町区小木迫松ヶ沢地内  | 南相馬市教委 | 11月5日～11月8日   | 50                        | 奈良・平安          | 製鉄遺跡   | 太陽光発電 |

| No  | 遺跡名           | 所在地                | 調査主体者  | 調査実施期間                | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代             | 種別     | 調査原因       |
|-----|---------------|--------------------|--------|-----------------------|---------------------------|----------------|--------|------------|
| 154 | 向畑遺跡          | 南相馬市原町区小木迫字向畑地内    | 南相馬市教委 | 11月12日～11月21日         | 107                       | 奈良・平安          | 製鉄遺跡   | 太陽光発電      |
| 155 | 松ヶ沢 A 遺跡      | 南相馬市原町区小木迫松ヶ沢地内    | 南相馬市教委 | 11月22日～12月18日         | 175                       | 奈良・平安          | 製鉄遺跡   | 太陽光発電      |
| 156 | 比丘尼沢 B 遺跡     | 南相馬市原町区上北高平字比丘尼沢地内 | 南相馬市教委 | 12月14日～12月14日         | 12                        | 奈良・平安          | 製鉄遺跡   | 土砂採取       |
| 157 | 諏訪原遺跡         | 南相馬市小高区塚原字諏訪原地内    | 南相馬市教委 | 12月17日～12月17日         | 38                        | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安 | 散布地    | 個人住宅       |
| 158 | 御所内遺跡         | 南相馬市鹿島区横手字御所内地内    | 南相馬市教委 | 平成31年2月7日～平成31年2月8日   | 16                        | 縄文             | 散布地    | 個人住宅       |
| 159 | 永渡横穴墓         | 南相馬市鹿島区永渡字東永渡地内    | 南相馬市教委 | 平成31年2月13日～平成31年2月25日 | 21                        | 古墳             | 横穴墓    | 市道改良       |
| 160 | 北明内遺跡         | 南相馬市原町区石神字北明内      | 南相馬市教委 | 平成31年3月1日～平成31年3月31日  | 171                       | 奈良・平安          | 製鉄遺跡   | 土砂採取       |
| 161 | 大田和広畑遺跡       | 南相馬市小高区飯崎字南原地内     | 南相馬市教委 | 平成31年3月4日～平成31年3月13日  | 700                       | 縄文・奈良・平安       | 散布地    | 園芸団地造成     |
| 162 | 巢掛場遺跡         | 南相馬市原町区萱浜字巢掛場地内    | 南相馬市教委 | 平成31年3月20日～平成31年3月22日 | 80                        | 縄文・弥生・奈良・平安・中世 | 散布地    | 事務所建設      |
| 163 | 大井花輪遺跡        | 南相馬市小高区大井字花輪地内     | 南相馬市教委 | 平成31年3月22日～平成31年3月22日 | 20                        | 縄文～近世          | 散布地    | 太陽光発電      |
| 164 | 大悲山遺跡         | 南相馬市小高区泉沢字前田地内     | 南相馬市教委 | 平成31年3月18日～平成31年3月18日 | 4                         | 平安             | 散布地・社寺 | 車庫・倉庫      |
| 165 | 一本木遺跡         | 伊達市一本木             | 伊達市教委  | 4月11日～4月12日           | 60                        | 平安             | 散布地    | 大型商業施設建設   |
| 166 | 瀬戸場窯跡群        | 伊達市瀬戸場             | 伊達市教委  | 4月13日～4月13日           | 20                        | 近世・近代          | 窯跡     | 大型商業施設建設   |
| 167 | 名場ノ内遺跡        | 伊達市保原町上保原字名場ノ内     | 伊達市教委  | 4月16日～4月16日           | 6                         | 古墳・奈良・平安       | 散布地    | 個人住宅建築     |
| 168 | 道城場遺跡<br>(2次) | 伊達市保原町大泉字道城場       | 伊達市教委  | 6月5日～6月19日            | 380                       | 古墳             | 散布地    | 県立特別支援学校建設 |
| 169 | 平館跡           | 伊達市保原町柱田字平         | 伊達市教委  | 8月30日～8月30日           | 12                        | 中世・近世          | 城館跡    | 個人住宅建築     |
| 170 | 岡陣屋跡          | 伊達市岡前              | 伊達市教委  | 9月13日～9月13日           | 20                        | 近世             | 陣屋跡    | 個人住宅建築     |
| 171 | 館ノ内遺跡<br>(3次) | 伊達市伏黒字館ノ内          | 伊達市教委  | 9月26日～9月26日           | 5                         | 奈良・平安・近世       | 散布地集落跡 | 個人住宅建築     |
| 172 | 田中遺跡          | 伊達市梁川町東大枝字田中       | 伊達市教委  | 12月6日～12月6日           | 15                        | 縄文             | 散布地    | 個人住宅建築     |
| 173 | 深田遺跡<br>(2次)  | 伊達市月館町御代田字深田       | 伊達市教委  | 1月10日～1月10日           | 9                         | 古墳・奈良・平安       | 散布地    | 個人住宅建築     |
| 174 | 松木内館跡         | 川俣町小綱木字松ノ口         | 川俣町教委  | 5月28日～5月30日           | 7                         | 中世             | 城館跡    | 国道349号線改良  |

| No  | 遺跡名       | 所在地                | 調査主体者  | 調査実施期間        | 調査面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 時代              | 種別                  | 調査原因                |
|-----|-----------|--------------------|--------|---------------|---------------------------|-----------------|---------------------|---------------------|
| 175 | 河股城跡      | 川俣町字池ノ入            | 川俣町教委  | 9月18日～9月19日   | 34                        | 縄文・中世<br>(戦国)   | 城館跡                 | 施設建設                |
| 176 | 宮前遺跡      | 川俣町字宮ノ入            | 川俣町教委  | 2月5日～2月6日     | 26                        | 縄文・平安           | 散布地                 | 個人住宅<br>建設          |
| 177 | 鶴沢地区      | 川俣町大字鶴沢            | 川俣町教委  | 2月14日～2月14日   | 23                        | —               | —                   | 商業施設<br>建設          |
| 178 | 二子塚遺跡     | 大玉村大山字三島           | 大玉村教委  | 8月21日～8月22日   | 72                        | 古墳              | 散布地                 | 宅地造成                |
| 179 | 南町遺跡      | 大玉村玉井字午房内          | 大玉村教委  | 1月8日～1月8日     | 111                       | 弥生・古墳・<br>奈良    | 散布地                 | 宅地造成                |
| 180 | 南町遺跡      | 大玉村玉井字午房内地内        | 大玉村教委  | 3月12日～3月14日   | 116                       | 弥生・古墳・<br>奈良    | 散布地                 | 村道拡幅                |
| 181 | 窪田遺跡      | 南会津郡只見町大字大倉<br>字窪田 | 只見町教委  | 5月7日～5月15日    | 145                       | —               | —                   | 収蔵庫建設               |
| 182 | 上野尻遺跡     | 西会津町上野尻字下沖ノ<br>原   | 西会津町教委 | 9月26日～10月1日   | 80                        | 縄文・弥生           | 散布地                 | 工場増設                |
| 183 | 原山古墳群     | 泉崎村大字太田川字原山        | 泉崎村教委  | 9月25日～10月6日   | 50                        | 縄文・古墳           | 古墳群                 | 範囲内容<br>確認          |
| 184 | 鬼穴1号墳     | 矢吹町神田東地内           | 矢吹町教委  | 7月9日～7月20日    | 70                        | 古墳              | 古墳                  | 範囲内容<br>確認          |
| 185 | 殿畑遺跡ほか2遺跡 | 石川町大字沢井字           | 石川町教委  | 3月14日～3月16日   | 78                        | 古墳・奈良・<br>平安・中世 | 集落跡、<br>散布地、<br>城館跡 | 圃場整備<br>事業          |
| 186 | 川平遺跡      | 三春町大字込木字川平         | 三春町教委  | 6月4日～6月6日     | 160                       | 縄文              | 散布地                 | 太陽光発電               |
| 187 | 彦治郎遺跡     | 三春町大字富沢字彦治郎        | 三春町教委  | 3月12日～3月13日   | 100                       | 縄文              | 散布地                 | 太陽光発電               |
| 188 | 大熊町内      | 大熊町大字野上字諏訪         | 大熊町教委  | 5月18日         | 47                        | —               | —                   | 倉庫建設                |
| 189 | 大熊町内      | 大熊町大字野上字小塚         | 大熊町教委  | 5月28日～6月14日   | 500                       | —               | —                   | トンネル<br>建設          |
| 190 | 大熊町内      | 大熊町大字夫沢字長者原        | 大熊町教委  | 6月15日～6月26日   | 300                       | —               | —                   | リサイク<br>ルセンタ<br>ー建設 |
| 191 | 大熊町内      | 大熊町大字大川原字南平        | 大熊町教委  | 7月10日～7月12日   | 73                        | —               | —                   | 仮設事務<br>所建設         |
| 192 | 大熊町内      | 大熊町大字大川原字西平        | 大熊町教委  | 7月2日～7月3日     | 45                        | —               | —                   | メガソー<br>ラー建設        |
| 193 | 大熊町内      | 大熊町大字大川原字南平        | 大熊町教委  | 7月13日         | 70                        | —               | —                   | 倉庫建設                |
| 194 | 大熊町内      | 大熊町大字大川原字西平        | 大熊町教委  | 6月27日         | 45                        | —               | —                   | 倉庫建設                |
| 195 | 大熊町内      | 大熊町大字夫沢字北原         | 大熊町教委  | 10月18日～10月19日 | 25                        | —               | —                   | 開閉所建設               |
| 196 | 大熊町内      | 大熊町大字夫沢字北原         | 大熊町教委  | 10月17日        | 20                        | —               | —                   | 鉄塔建設                |
| 197 | 大熊町内      | 大熊町大字大川原字西平        | 大熊町教委  | 10月10日        | 25                        | —               | —                   | 住宅建設                |
| 198 | 大熊町内      | 大熊町大字夫沢字北原         | 大熊町教委  | 1月30日～1月31日   | 76                        | —               | —                   | マンホー<br>ル建設         |

| No  | 遺跡名        | 所在地              | 調査主体者 | 調査実施期間      | 調査面積<br>(㎡) | 時代           | 種別  | 調査原因                |
|-----|------------|------------------|-------|-------------|-------------|--------------|-----|---------------------|
| 199 | 南原遺跡       | 大熊町夫沢字南原         | 大熊町教委 | 1月25日       | 15          | 縄文時代         | 散布地 | アンテナ<br>交換付帯<br>工事  |
| 200 | 竹下遺跡ほか2遺跡  | 双葉町渋川字竹下 他       | 双葉町教委 | 5月15日、6月22日 | 380         | 古墳時代         | 散布地 | 太陽光発<br>電所の建<br>設工事 |
| 201 | 深谷古墳群      | 双葉町長塚字深谷・蛭子堂     | 双葉町教委 | 3月26日～3月29日 | 32          | 古墳時代         | 古墳  | 住宅地開<br>発工事         |
| 202 | 上ノ原遺跡      | 大字川添字北上ノ原65-2    | 浪江町教委 | 5月18日～5月18日 | 12          | 縄文～平安        | 散布地 | 個人住宅<br>建替          |
| 203 | 渋井遺跡       | 大字北幾世橋字渋井79-7    | 浪江町教委 | 6月7日～6月7日   | 7           | 奈良・平安        | 散布地 | 事務所建設               |
| 204 | 権現堂条里制跡    | 大字権現堂字新町12-4     | 浪江町教委 | 6月12日～6月12日 | 8           | 中世           | その他 | 個人住宅<br>建築          |
| 205 | 上原遺跡       | 大字酒田字原128-1 他    | 浪江町教委 | 2月5日～2月7日   | 88          | 弥生・奈良・<br>平安 | 散布地 | 太陽光発電               |
| 206 | 植松古墳群ほか1遺跡 | 大字棚塩字植松・東原・赤坂 地内 | 浪江町教委 | 3月1日～3月28日  | 928         | 縄文～平安        | 散布地 | 開発計画<br>との調整        |
| 207 | 三貫地遺跡      | 新地町駒ヶ嶺字鍋内南地内     | 新地町教委 | 11月1日～3月20日 | 12          | 縄文後記         | 散布地 | 耕地復旧                |

## 10 平成30年度 発掘調査

### (1) 県調査

| No | 遺跡名          | 所在地             | 調査主体者 | 調査実施期間       | 調査面積<br>(㎡) | 時代                    | 種別          | 調査原因       |
|----|--------------|-----------------|-------|--------------|-------------|-----------------------|-------------|------------|
| 1  | 上ノ台館跡遺跡ほか3遺跡 | 伊達市霊山町下小国字上ノ台   | 福島県教委 | 4月11日～12月12日 | 10,950      | 縄文・古墳・<br>中世・近世       | 散布地・<br>集落跡 | 相馬福島<br>道路 |
| 2  | 栗林遺跡ほか1遺跡    | 下郷町大字中妻字和田前・柳の下 | 福島県教委 | 6月4日～12月14日  | 8,400       | 縄文・中世                 | 散布地・<br>集落跡 | 会津縦貫<br>道路 |
| 3  | 毛萱館跡遺跡       | 富岡町大字毛萱字前川原     | 福島県教委 | 6月4日～11月9日   | 5,000       | 弥生・中世                 | 城館跡・<br>散布地 | 県道整備       |
| 4  | 鹿屋敷遺跡        | 浪江町大字棚塩字狐塚      | 福島県教委 | 7月30日～2月4日   | 6,400       | 縄文・弥生・<br>古墳・平安       | 集落跡         | 県道整備       |
| 5  | 八反田遺跡        | 小野町大字小野新町字八反田   | 福島県教委 | 7月18日～10月12日 | 1,700       | 弥生・古墳                 | 散布地         | 県道整備       |
| 6  | 宮平遺跡         | 矢祭町大字下関河内字宮平    | 福島県教委 | 7月12日～11月1日  | 2,300       | 縄文・奈良・<br>平安          | 散布地         | 349号改良     |
| 7  | 向ノ入山遺跡       | 川俣町大字大綱木字向ノ入山   | 福島県教委 | 6月1日～7月31日   | 930         | 縄文・古代・<br>中世・近代       | 集落跡・<br>散布地 | 349号改良     |
| 8  | 前田遺跡         | 川俣町小綱木字前田       | 福島県教委 | 7月24日～12月13日 | 2,800       | 縄文・奈良・<br>平安          | 散布地         | 114号改良     |
| 9  | 銅谷作遺跡        | 双葉町大字郡山字銅谷迫     | 福島県教委 | 10月16日～2月27日 | 3,000       | 弥生・奈良・<br>平安・中～<br>近世 | 集落跡・<br>散布地 | 中間貯蔵<br>施設 |

## (2) 市町村調査

| No | 遺跡名        | 所在地                  | 調査主体者   | 調査実施期間               | 調査面積<br>(㎡) | 時代                | 種別      | 調査原因     |
|----|------------|----------------------|---------|----------------------|-------------|-------------------|---------|----------|
| 1  | 鎧塚遺跡       | 福島市仁井田字鎧塚            | 福島市教委   | 8月23日～11月16日         | 282         | 縄文・古墳・平安          | 散布地・他   | 道路       |
| 2  | 南沢又城跡      | 福島市南沢又字西原            | 福島市教委   | 5月18日～12月25日         | 176         | 中世                | 城館跡     | 道路       |
| 3  | 和台遺跡       | 福島市飯野町明治字南和台 外       | 福島市教委   | 7月3日～3月6日            | 269         | 縄文                | 散布地・集落跡 | 範囲内容確認   |
| 4  | 飯野白山遺跡     | 福島市飯野町飯野字白山          | 福島市教委   | 8月3日～10月24日          | 197         | 縄文                | 散布地     | 遺跡整備     |
| 5  | 墓料遺跡       | 会津若松市一箕町大字八幡字墓料      | 会津若松市教委 | 6月1日～10月31日          | 1,400       | 縄文・弥生・平安          | 散布地     | 宅地開発     |
| 6  | 田中遺跡       | 会津若松市河東町倉橋字田中        | 会津若松市教委 | 6月1日～10月14日          | 1,076       | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安・中世 | 散布地     | 圃場整備     |
| 7  | 若松城郭内武家屋敷跡 | 会津若松市山鹿町・本町          | 会津若松市教委 | 1月7日～1月18日           | 280         | 近世                | 武家屋敷跡   | 道路拡幅     |
| 8  | 若松城郭内武家屋敷跡 | 会津若松市城前              | 会津若松市教委 | 8月1日～11月9日           | 935         | 近世                | 武家屋敷跡   | 市営住宅建設   |
| 9  | 笹山原遺跡No.16 | 会津若松市湊町大字赤井字笹山原      | 会津若松市教委 | 5月12日～5月22日          | 120         | 縄文・奈良・平安          | 散布地     | 考古学発掘実習  |
| 10 | 正直B遺跡      | 郡山市田村町正直             | 郡山市教委   | 4月23日～3月22日          | 200         | 縄文・弥生・古墳・奈良・平安    | 散布地     | 範囲内容確認   |
| 11 | 泉町A遺跡      | いわき市泉町滝尻字御前田         | いわき市教委  | 12月6日～3月14日          | 320         | 古墳                | 散布地     | 区画整理     |
| 12 | 梅ノ作瓦窯跡群    | いわき市小川町下小川字梅ノ作       | いわき市教委  | 12月10日～1月11日         | 31          | 奈良・平安             | 生産遺跡    | 範囲内容確認   |
| 13 | 専称寺境域      | いわき市平山崎字梅福山          | いわき市教委  | 4月24日～5月29日          | 40          | 中・近世              | 寺院      | 範囲内容確認   |
| 14 | 地屋前遺跡      | 白河市東上野出島字地屋前         | 白河市教委   | 6月28日～10月16日         | 676         | 古墳～平安             | 集落跡     | 道路改良工事   |
| 15 | 天王山遺跡      | 白河市久田野豆柄山・久田野細入山・大岩倉 | 白河市教委   | 11月19日～3月6日          | 18          | 弥生                | 集落跡     | 範囲内容確認   |
| 16 | 南湖公園       | 白河市南湖                | 白河市教委   | 1月8日～2月14日           | 39          | 近世～現代             | 庭園      | 整備事業     |
| 17 | 小峰城跡       | 白河市郭内                | 白河市教委   | 5月22日～9月25日          | 660         | 近世                | 城郭      | 災害復旧     |
| 18 | 二本松城跡      | 二本松市郭内三丁目            | 二本松市教委  | 6月25日～10月31日         | 1,596       | 中世～近世             | 城館跡     | 文化観光交流施設 |
| 19 | 合戦場塚群      | 二本松市西新殿字杵少内          | 二本松市教委  | 12月17日～12月25日        | 162         | 近世                | 塚       | 駐車場      |
| 20 | 二本松城跡      | 二本松市本町一丁目            | 二本松市教委  | 11月19日～12月14日        | 90          | 近世                | 城館跡     | 範囲内容確認   |
| 21 | 二本松城跡      | 二本松市郭内三丁目            | 二本松市教委  | 5月22日～6月21日          | 132         | 中世～近世             | 城館跡     | 史跡整備     |
| 22 | 北ノ作遺跡      | 田村市船引町上移字北ノ作         | 田村市教委   | 5月1日～3月31日           | 570         | 縄文                | 散布地     | 市道改良     |
| 23 | 西迫遺跡       | 南相馬市原町区雫字川内迫地内       | 南相馬市教委  | 平成29年6月5日～平成30年5月31日 | 6,700       | 古墳                | 横穴墓     | 工業団地造成   |

| No | 遺 跡 名        | 所 在 地              | 調査主体者   | 調査実施期間                 | 調査面積<br>(㎡) | 時 代            | 種 別      | 調査原因      |
|----|--------------|--------------------|---------|------------------------|-------------|----------------|----------|-----------|
| 24 | 八幡林遺跡        | 南相馬市鹿島区寺内字八幡林地内    | 南相馬市教委  | 5月15日～6月2日             | 100         | 古墳             | 集落       | 個人住宅建替    |
| 25 | 梨木下西館跡       | 南相馬市原町区大甕字塔場下地内    | 南相馬市教委  | 4月5日～9月14日             | 2,620       | 古墳・中世・近世       | 集落・城館・墳墓 | 農地造成      |
| 26 | 鷺内遺跡         | 南相馬市鹿島区            | 南相馬市教委  | 4月1日～6月28日             | 6,500       | 縄文・奈良・平安       | 集落       | 特別支援学校建設  |
| 27 | 泉官衙遺跡        | 南相馬市原町区泉字寺家前地内     | 南相馬市教委  | 平成30年10月12日～平成31年3月20日 | 827         | 奈良・平安          | 官衙       | 範囲内容確認    |
| 28 | 堂庭遺跡<br>(9次) | 伊達市梁川町八幡字堂庭        | 伊達市教委   | 10月10日～12月5日           | 90          | 中世             | 社寺跡      | 範囲内容確認    |
| 29 | 長障子遺跡        | 国見町大字貝田字竹ノ内        | 国見町教委   | 5月29日～7月26日            | 2,105       | 縄文             | 集落跡      | 農業基盤整備事業  |
| 30 | 阿津賀志山防塁      | 国見町大字西大枝字下二重堀5番ほか  | 国見町教委   | 11月27日～12月21日          | 105         | 古代             | 防塁       | 範囲内容確認    |
| 31 | 八十里越         | 南会津郡只見町大字叶津字木ノ根山   | 只見町教委   | 10月29日～11月12日          | 13          | 近代             | 歴史の道     | 史跡整備      |
| 32 | 柏木城跡         | 北塩原村大塩             | 北塩原村教委  | 6月4日～12月13日            | 79          | 中世             | 城館跡      | 範囲内容確認    |
| 33 | 慧日寺跡         | 磐梯町磐梯              | 磐梯町教委   | 8月28日～12月7日            | 295         | 平安～近世          | 寺院跡      | 範囲内容確認    |
| 34 | 稲荷塚遺跡        | 会津坂下町字上柳田・大字気多宮字柳田 | 会津坂下町教委 | 4月3日～8月30日             | 4,983       | 弥生・古墳・平安・中世    | 散布地      | 宅地造成      |
| 35 | 高寺山遺跡        | 会津坂下町大字高寺字高寺       | 会津坂下町教委 | 8月20日～10月31日           | 362         | 中世             | 社寺跡      | 範囲内容確認    |
| 36 | 堂後遺跡         | 大字勝常字代舞            | 湯川村教委   | 6月6日～9月6日              | 207         | 弥生・奈良・平安・中世    | 散布地      | 範囲内容確認    |
| 37 | 大石田居平遺跡      | 大字大石田字下居平          | 三島町教委   | 8月27日～9月7日             | 15          | 縄文             | 集落跡      | 公共施設(集会所) |
| 38 | 向羽黒山城跡       | 会津美里町船場ほか          | 会津美里町教委 | 平成30年6月1日～平成31年3月22日   | 2,000       | 室町時代           | 城館跡      | 史跡整備      |
| 39 | 鬼穴1号墳        | 矢吹町神田東地内           | 矢吹町教委   | 7月9日～7月20日             | 70          | 古墳             | 古墳       | 範囲内容確認    |
| 40 | 花園館跡         | 棚倉町大字花園字沢目地内       | 棚倉町教委   | 8月30日～11月2日            | 26          | 中世             | 城館跡      | 道路改良      |
| 41 | 我満平遺跡        | 矢祭町大字中石井字我満平       | 矢祭町教委   | 6月7日～2月28日             | 3,180       | 縄文・平安・近世       | 集落跡      | 農道整備      |
| 42 | 割目遺跡         | 矢祭町大字中石井字割目        | 矢祭町教委   | 6月7日～2月28日             | 5,200       | 縄文・弥生・古墳・平安・近世 | 集落跡      | 農道整備      |
| 43 | 悪戸古墳群        | 石川町大字中野字悪戸         | 石川町教委   | 1月11日, 3月19日           | 27          | 古墳時代           | 古墳       | 史跡整備      |
| 44 | 北中谷地遺跡       | 浪江町大字北幾世橋字北中谷地     | 浪江町教委   | 4月2日～10月17日            | 10,371      | 縄文～平安          | 集落跡・生産遺跡 | 工業団地造成    |

### 第3節 文化財保存助成の充実

#### 1 文化財保存助成事業

国指定文化財の防災設備保守点検等の管理に必要な経費について、助成を行った。

| 事業区分            | 補助事業者 | 名称           | 種別  | 事業内容    | 金額（単位：円）  |           |           |           |
|-----------------|-------|--------------|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|                 |       |              |     |         | 事業費       | 国庫補助      | 県費補助      | その他       |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 八葉寺   | 八葉寺阿弥陀堂      | 建造物 | 防災保守点検等 | 231,204   | 57,500    | 57,500    | 116,204   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 延命寺   | 延命寺地蔵堂       | 建造物 | 防災保守点検等 | 261,940   | 65,000    | 65,000    | 131,940   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 飯盛正徳  | 旧正宗寺三匠堂      | 建造物 | 防災保守点検等 | 483,800   | 120,500   | 120,500   | 242,800   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 横山操   | 旧滝沢本陣横山家住宅   | 建造物 | 防災保守点検等 | 282,352   | 70,500    | 70,500    | 141,352   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 勝福寺   | 勝福寺観音堂       | 建造物 | 防災保守点検等 | 431,580   | 107,500   | 107,500   | 216,580   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 熊野神社  | 熊野神社長床       | 建造物 | 防災保守点検等 | 1,144,180 | 286,000   | 286,000   | 572,180   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 円満寺   | 円満寺観音堂       | 建造物 | 防災保守点検等 | 932,480   | 233,000   | 233,000   | 466,480   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 飯野八幡宮 | 飯野八幡宮        | 建造物 | 防災保守点検等 | 1,518,175 | 379,500   | 379,500   | 759,175   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 願成寺   | 阿弥陀堂（白水阿弥陀堂） | 建造物 | 小修理     | 1,066,500 | 266,500   | 266,500   | 533,500   |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 福生寺   | 福生寺観音堂       | 建造物 | 防災保守点検  | 50,400    | 12,500    | 12,500    | 25,400    |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 常福院   | 常福院薬師堂       | 建造物 | 防災保守点検  | 45,750    | 11,000    | 11,000    | 23,750    |
| 国指定文化財の管理に関する事業 | 法用寺   | 法用寺本堂内厨子及び仏壇 | 建造物 | 防災保守点検  | 39,900    | 9,500     | 9,500     | 20,900    |
| 計               | 12件   |              |     |         | 6,488,261 | 1,619,000 | 1,619,000 | 3,250,261 |

#### 2 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業を除く）

文化財の修理・防災・整備・調査・管理、埋蔵文化財保存調査等の事業（保存事業）とそれらの文化財を活用した事業（活用事業）を一体的に行った事業（保存活用事業）に必要な経費について、助成を行った。

##### (1) 国指定文化財

| 事業区分    | 補助事業者  | 名称     | 種別  | 事業内容   | 金額（単位：円）   |            |           |           |
|---------|--------|--------|-----|--------|------------|------------|-----------|-----------|
|         |        |        |     |        | 事業費        | 国庫補助       | 県費補助      | その他       |
| 建造物保存修理 | 相馬中村神社 | 相馬中村神社 | 建造物 | 屋根葺替工事 | 11,751,320 | 8,587,000  | 630,000   | 2,534,320 |
| 建造物保存修理 | 専称寺    | 専称寺本堂  | 建造物 | 解体修理   | 25,949,000 | 21,748,000 | 810,000   | 3,391,000 |
| 計       | 2件     |        |     |        | 37,700,320 | 30,335,000 | 1,440,000 | 5,925,320 |

**(2) 県指定文化財**

| 事業区分      | 補助事業者 | 名称               | 種別    | 事業内容       | 金額（単位：円）   |      |            |            |
|-----------|-------|------------------|-------|------------|------------|------|------------|------------|
|           |       |                  |       |            | 事業費        | 国庫補助 | 県費補助       | その他        |
| 建造物保存修理   | 喜多方市  | 旧外島家住宅           | 建造物   | 屋根改修工事     | 9,763,480  | 0    | 2,270,000  | 7,493,480  |
| 建造物保存修理   | 八幡神社  | 旧梁川亀岡八幡宮並びに別当寺境域 | 建造物   | 本殿修復工事     | 29,000,000 | 0    | 9,660,000  | 19,340,000 |
| 建造物保存修理   | 国見町   | 旧佐藤家住宅           | 建造物   | 屋根改修工事     | 2,801,475  | 0    | 930,000    | 1,871,475  |
| 天然記念物保護増殖 | 石川町   | 石川の高田ザクラ         | 天然記念物 | ワイヤー支柱設置工事 | 1,340,004  | 0    | 440,000    | 900,004    |
| 建造物保存修理   | 南会津町  | 旧猪股家住宅           | 建造物   | 屋根改修工事     | 7,600,000  | 0    | 1,770,000  | 5,830,000  |
| 美術工芸品保存施設 | 川中子区  | 銅鐘               | 美術工芸品 | 櫓の解体修理     | 3,917,792  | 0    | 1,300,000  | 2,617,792  |
| 計         | 6件    |                  |       |            | 54,422,751 | 0    | 16,370,000 | 38,052,751 |

**3 指定文化財保存活用事業（災害復旧事業）**

東日本大震災により被災した国指定・県指定文化財の修復等保存事業に必要な経費について、助成を行った。

**(1) 国指定文化財**

| 事業区分    | 補助事業者 | 名称  | 種別  | 事業内容   | 金額（単位：円）   |            |           |           |
|---------|-------|-----|-----|--------|------------|------------|-----------|-----------|
|         |       |     |     |        | 事業費        | 国庫補助       | 県費補助      | その他       |
| 建造物保存修理 | 専称寺   | 専称寺 | 建造物 | 本堂修復工事 | 72,200,000 | 61,370,000 | 5,415,000 | 5,415,000 |
| 計       | 1件    |     |     |        | 72,200,000 | 61,370,000 | 5,415,000 | 5,415,000 |

**(2) 県指定文化財**

| 事業区分    | 補助事業者 | 名称    | 種別  | 事業内容     | 金額（単位：円）   |      |            |            |
|---------|-------|-------|-----|----------|------------|------|------------|------------|
|         |       |       |     |          | 事業費        | 国庫補助 | 県費補助       | その他        |
| 建造物保存修理 | 初発神社  | 初発神社  | 建造物 | 本殿修復工事   | 16,632,000 | 0    | 8,316,000  | 8,316,000  |
| 記念物保存修理 | 相馬市   | 中村城跡  | 史跡  | 石垣復旧測量調査 | 8,142,120  | 0    | 4,071,000  | 4,071,120  |
| 記念物保存修理 | 石川町   | 悪戸古墳群 | 史跡  | 古墳修復工事   | 3,489,400  | 0    | 1,744,000  | 1,745,400  |
| 記念物保存修理 | 矢吹町   | 鬼穴古墳群 | 史跡  | 古墳修復測量調査 | 5,076,000  | 0    | 2,530,000  | 2,546,000  |
| 計       | 4件    |       |     |          | 33,339,520 | 0    | 16,661,000 | 16,678,520 |

#### 4 地域の「きずな」を結ぶ民俗芸能支援事業

東日本大震災及び原発事故により被災した12市町村において、存続の危機にある民俗芸能の円滑な継承を促進するため、流出・き損した用具類の新調・修理に要する費用及び保存団体の会員が稽古・公演に参集するために必要な交通費を補助し、継承活動を支援した。

| 事業区分 | 補助事業者        | 芸能の名称       | 種別   | 事業内容     | 金額（単位：円）  |      |           |     |
|------|--------------|-------------|------|----------|-----------|------|-----------|-----|
|      |              |             |      |          | 事業費       | 国庫補助 | 県費補助      | その他 |
| 浪江町  | 川添芸能保存会      | 川添の神楽       | 無形民俗 | 稽古・公演    | 173,920   | 0    | 173,920   | 0   |
| 浪江町  | 幾世橋芸能保存会     | 幾世橋の神楽      | 無形民俗 | 用具の新調・修理 | 467,640   | 0    | 467,640   | 0   |
| 双葉町  | 三字芸能保存会      | 三字の神楽       | 無形民俗 | 用具の新調    | 194,400   | 0    | 194,400   | 0   |
| 大熊町  | 熊川稚児鹿舞保存会    | 熊川稚児鹿舞      | 無形民俗 | 稽古       | 154,250   | 0    | 154,250   | 0   |
| 富岡町  | 麓山神社伝統芸能保存会  | 上手岡麓山神社の火祭り | 無形民俗 | 稽古       | 45,000    | 0    | 45,000    | 0   |
| 広野町  | 大滝神社浜下り神事保存会 | 大滝神社浜下り     | 無形民俗 | 用具の修理    | 709,668   | 0    | 709,668   | 0   |
| 計    | 6件           |             |      |          | 1,744,878 | 0    | 1,744,878 | 0   |

### 第4節 文化財の保護と公開の推進

#### 1 第60回北海道・東北ブロック民俗芸能大会

北海道・東北地区に伝承されている民俗芸能を広く一般に公開し、その価値を周知するとともに、無形民俗文化財の保存・伝承、文化財公開による地域振興等に寄与する。

期 日 平成30年10月27日 リハーサル・実行委員会  
10月28日 開会式・民俗芸能公開

場 所 秋田ふるさと村ドーム劇場（秋田県横手市）

公開演目 本県出演団体 1団体

「下川崎三島神社の太々神楽」三島神社楽人会（二本松市）

#### 2 文化財保護強調週間の実施

文化財保護の一層の推進を図るために、11月1日から11月7日までの文化財保護強調週間を中心に、チラシを配布し、県民に対し啓発を行った。

#### 3 文化財防火デーの実施

文化財の防火について、所有者・管理者はもとより、県民の理解と協力を高めるため、1月26日の文化財防火デーを中心に、チラシを配布するなど啓発を行った。

また、各市町村においては、消防署等の協力を得て、防火訓練、防火診断、防火査察等を実施した。

### 第5節 銃砲刀剣類の登録状況

美術品若しくは骨とう品としての価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品としての価値のある刀剣類の登録審査会を次のとおり実施した。

#### 1 登録審査委員

塚本憲司、佐藤安弘、阿部榮、溝井辰美

## 2 登録審査会の実施状況

| 期 日    | 会 場       | 審査数 | 失格数 | 登録数 | 登録数の内訳 |     |
|--------|-----------|-----|-----|-----|--------|-----|
|        |           |     |     |     | 刀 剣    | 銃 砲 |
| 5月17日  | いわき合同庁舎   | 21  | 0   | 21  | 21     | 0   |
| 7月10日  | 郡山市労働福祉会館 | 41  | 2   | 39  | 33     | 6   |
| 9月7日   | 会津若松合同庁舎  | 34  | 2   | 32  | 32     | 0   |
| 11月16日 | あづま荘      | 32  | 2   | 30  | 30     | 0   |
| 2月6日   | 郡山市労働福祉会館 | 36  | 1   | 35  | 33     | 2   |
| 計      |           | 164 | 7   | 157 | 149    | 8   |

※ 再交付に係る審査を除く。

## 3 銃砲刀剣類の譲受け・相続等の届出状況

| 区 分   | 銃 砲 等 | 刀 剣 類 |
|-------|-------|-------|
| 譲 受 け | 13    | 403   |
| 相 続   | 1     | 120   |
| 貸 付   | 0     | 0     |
| 保管の委託 | 0     | 0     |
| 計     | 14    | 523   |

## 第6節 文化財センター白河館の運営状況

### 1 入館者数

平成30年度の入館者は26,731人であり、前年度の入館者(28,102人)に比べ1,371人減少した。団体利用は、前年度に比べ243名増加した。平成13年7月の開館からの延べ入館者数は、541,077人となった。

(平成31年3月31日現在)

| 月   | 入館者数(人) | 1日平均入館者数(人) |
|-----|---------|-------------|
| 4月  | 2,538   | 98          |
| 5月  | 3,366   | 125         |
| 6月  | 3,080   | 118         |
| 7月  | 2,341   | 84          |
| 8月  | 2,966   | 99          |
| 9月  | 2,252   | 87          |
| 10月 | 2,005   | 77          |
| 11月 | 2,360   | 91          |
| 12月 | 1,285   | 56          |
| 1月  | 1,160   | 50          |
| 2月  | 1,669   | 70          |
| 3月  | 1,709   | 66          |
| 計   | 26,731  | —           |

### 2 入館者の内訳と傾向

地域別利用状況 県内者 81.3% (うち白河市 36.9%)

県外者 18.7%

年齢層別利用状況 入館者全体のうち、児童生徒(高校生以下)が43%、団体入館者が29%を占める。

### 3 団体利用者の内訳と傾向

(単位 人) (平成31年3月31日現在)

|                       |      | 4月  | 5月  | 6月    | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|-----------------------|------|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 幼稚園・保育園               | 団体数  |     | 1   | 2     |     |     | 1   | 2   | 2   |     |     | 1   | 2   | 11    |
|                       | 入館者数 |     | 22  | 31    |     |     | 16  | 57  | 40  |     |     | 17  | 31  | 214   |
| 小学校                   | 団体数  | 20  | 12  | 25    | 2   |     | 7   | 5   |     | 2   | 6   | 3   |     | 82    |
|                       | 入館者数 | 861 | 305 | 1,644 | 73  |     | 501 | 523 |     | 42  | 205 | 121 |     | 4,275 |
| 中学校                   | 団体数  |     |     | 1     |     | 1   | 1   |     |     | 1   |     |     |     | 4     |
|                       | 入館者数 |     |     | 8     |     | 63  | 56  |     |     | 146 |     |     |     | 273   |
| 高等学校                  | 団体数  |     |     |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |       |
|                       | 入館者数 |     |     |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |       |
| 養護学校                  | 団体数  |     | 1   |       |     |     |     |     | 2   |     |     |     |     | 3     |
|                       | 入館者数 |     | 18  |       |     |     |     |     | 16  |     |     |     |     | 34    |
| 大学                    | 団体数  |     |     |       |     | 2   |     |     | 1   |     |     |     |     | 3     |
|                       | 入館者数 |     |     |       |     | 30  |     |     | 27  |     |     |     |     | 57    |
| 幼小中高PTA<br>(保護者のみ)    | 団体数  |     |     |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |       |
|                       | 入館者数 |     |     |       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |       |
| 幼小中高PTA<br>(保護者と児童生徒) | 団体数  |     |     |       | 5   |     | 2   |     | 1   | 1   |     |     |     | 9     |
|                       | 入館者数 |     |     |       | 266 |     | 57  |     | 74  | 79  |     |     |     | 476   |
| 研究会                   | 団体数  |     | 1   |       |     |     | 1   |     |     |     |     |     |     | 2     |
|                       | 入館者数 |     | 19  |       |     |     | 34  |     |     |     |     |     |     | 53    |
| 子ども会                  | 団体数  | 1   |     | 1     | 2   | 4   | 1   |     |     |     |     |     |     | 9     |
|                       | 入館者数 | 26  |     | 19    | 99  | 220 | 59  |     |     |     |     |     |     | 423   |
| 公民館等                  | 団体数  |     | 1   | 2     | 4   | 2   | 1   | 3   | 3   | 1   |     |     |     | 17    |
|                       | 入館者数 |     | 35  | 53    | 83  | 45  | 12  | 64  | 51  | 23  |     |     |     | 366   |
| 福祉施設・<br>デイケアサービス     | 団体数  | 2   | 2   | 5     | 4   | 1   | 1   | 5   | 2   | 3   |     |     | 2   | 27    |
|                       | 入館者数 | 29  | 20  | 58    | 43  | 28  | 11  | 69  | 29  | 20  |     |     | 172 | 479   |
| 資料館等                  | 団体数  |     |     | 2     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 2     |
|                       | 入館者数 |     |     | 36    |     |     |     |     |     |     |     |     |     | 36    |
| 歴史研究団体                | 団体数  |     | 1   |       |     | 1   | 1   |     |     |     |     |     |     | 3     |
|                       | 入館者数 |     | 28  |       |     | 10  | 26  |     |     |     |     |     |     | 64    |
| 県・市町村・<br>教委・審議会等     | 団体数  |     |     | 1     |     |     | 1   | 1   | 1   |     |     |     |     | 4     |
|                       | 入館者数 |     |     | 6     |     |     | 7   | 12  | 16  |     |     |     |     | 41    |
| その他                   | 団体数  |     | 3   | 2     | 6   | 7   | 6   | 6   | 3   | 1   |     |     | 1   | 35    |
|                       | 入館者数 |     | 53  | 29    | 120 | 388 | 94  | 102 | 33  | 62  |     |     | 182 | 1,063 |
| 計                     | 団体数  | 23  | 22  | 41    | 23  | 18  | 23  | 22  | 15  | 9   | 6   | 4   | 5   | 211   |
|                       | 入館者数 | 916 | 500 | 1,884 | 684 | 784 | 873 | 827 | 286 | 372 | 205 | 138 | 385 | 7,854 |
| 総入館者に占める<br>団体入館者の割合% |      | 36  | 15  | 61    | 29  | 26  | 39  | 41  | 12  | 29  | 18  | 8   | 23  | 29    |

#### 4 情報発信事業の利用者

文化財データベースアクセス件数 165,653 件

(平成31年3月31日現在)

(文化財データベース公開件数 391,187 件をインターネット上で公開し、白河館のイベント情報等もホームページで紹介している。)

#### 5 資料管理業務

県教育委員会による調査の出土品 56,411 箱を、教育・普及・研究への活用が可能な環境に整備して収蔵管理している。写真掲載・転載の申し込み 24 件、出土品借受の申し込み 11 件、収蔵庫保管品の館内閲覧 26 件であった。

#### 6 研修事業の状況

埋蔵文化財や無形の文化財の調査・保護を担当する自治体・団体職員、学校教育・生涯学習に携わる教職員などを対象とした研修を実施する。

平成30年度研修実施状況 (平成31年3月31日現在)

| 区分           | 研修対象者      | 研修内容                                                           |
|--------------|------------|----------------------------------------------------------------|
| 基礎研修<br>(4回) | 教職員・市町村職員等 | 主に発掘調査技術の向上と整理技術の向上などをめざす。                                     |
| 専門研修<br>(4回) | 教職員・市町村職員等 | 考古資料を基に、深く細やかな指導を行うための知識や技術の習得と、総合的な歴史価値判断能力の習得などをめざす。         |
| 特別研修<br>(1回) | 教職員・市町村職員等 | 上記以外の研修(教職員を主な対象とする発掘調査研修、市町村職員等の要望に応じて随時実施する研修、無形の文化財に関する研修等) |

参加者：合計 270 名

##### ・基礎研修 (4回)

「文化財保護・活用基礎研修」 7月 1日 参加者 7名  
 「無形の文化財研修」 1月19日 参加者 6名  
 「地方史研修1」 2月23日 参加者 23名  
 「地方史研修2」 3月10日 参加者 23名

##### ・専門研修 (4回)

「文化財保護・活用専門研修」 7月 1日 参加者 10名  
 「考古学専門研修」 10月13日 参加者 28名  
 「文化財保護指導者研修会」(開催場所：いわき市)  
 10月30日～31日 参加者123名  
 「文化財と関連科学研修」 3月10日 参加者 22名

##### <特別研修> (1回)

職員派遣研修 (1回) 参加者：計 28名  
 「弥生土器観察学習会」会津若松市歴史資料センター(会津若松市)

3月15日 参加者 28名

#### 7 体験学習事業の状況

過去の生活の一部を体験しながら学べるよう、復元品等を用いた体験学習の普及活動を、館内・館外で行う。

活動を行うための施設として、屋内に体験活動室、別棟として体験学習館を設けている。また、野外展示施設では、体験広場を囲むように、縄文時代の家、前方後円墳、奈良時代の家、奈良時代の倉庫、製鉄炉、室町時代の館を復元展示している。

##### (1) 常時体験型体験学習

事前に予約を必要としない個人来館者を対象に実施するメニューと、事前予約制で、団体に体験学習を希望する場合を対象とするものを用意している。内容は、「勾玉づくり」「火おこしに挑戦」「昔の道具にさわろう」などである。

常時体験型体験活動状況 (平成31年3月31日現在)

| 月   | 来館者数(人) | 体験者数(人) | 割合(%) |
|-----|---------|---------|-------|
| 4月  | 2,538   | 2,525   | 99    |
| 5月  | 3,366   | 5,590   | 166   |
| 6月  | 3,080   | 3,278   | 106   |
| 7月  | 2,341   | 2,289   | 98    |
| 8月  | 2,966   | 2,487   | 84    |
| 9月  | 2,252   | 1,426   | 63    |
| 10月 | 2,005   | 2,458   | 123   |
| 11月 | 2,360   | 2,253   | 95    |
| 12月 | 1,285   | 926     | 72    |
| 1月  | 1,160   | 841     | 73    |
| 2月  | 1,669   | 1,527   | 91    |
| 3月  | 1,709   | 876     | 51    |
| 計   | 26,731  | 26,476  | 99    |

※ 体験者数は1人で複数メニューを体験した場合も合算した延べ人数である。

##### (2) 募集型体験学習

事前に参加者を募集して土器づくり、竹かごづくりなどの単発プログラムを行う「実技講座」、事前に参加者を募集し、関連性・継続性のあるメニューを年間6回実施する「まほろん森の塾」などのプログラム。

##### ・まほろん森の塾

第1回「入塾式・製塩土器づくり」 6月17日 参加者10名  
 第2回「土器焼き・竹箸づくり」 7月29日 参加者10名  
 第3回「石包丁づくり」 9月 2日 参加者12名  
 第4回「塩づくり」 10月21日 参加者 9名  
 第5回「森の塾活動報告会」 11月18日 参加者11名  
 第6回「活動のまとめ・終了式」 12月 2日 参加者10名

##### ・実技講座

「縄文ポシェットづくり」 5月26日 参加者11名  
 「土器づくり初級編①形づくり」 6月24日 参加者12名  
 「カラムシコースターづくり①刈り取り・苧ひき」

7月 7日 参加者 6名  
「カラムシコースターづくり②糸づくり」

7月14日 参加者 6名  
「カラムシコースターづくり③コースターづくり」

8月11日 参加者 5名  
「印章づくり」

11月 3日 参加者10名  
「親子で石庖丁づくり」

10月14日 参加者14名  
「六つ目編みのかごづくり」

12月 8日 参加者16名  
「古代の塩づくり①」

1月13日 参加者12名  
「古代の塩づくり②」

1月27日 参加者12名  
「縄文土器づくり上級編①形づくり」

1月26日 参加者 8名  
「縄文土器づくり上級編②文様づけ」

1月27日 参加者 7名  
「縄文土器づくり上級編③野焼き」

3月 9日 参加者 7名

### (3) まほろんイベント

「GWまほろんまつり」 5月3日～5日 参加者1,863名  
「まほろん夏まつり」 7月22日 参加者 444名  
「まほろん感謝デー」 11月18日 参加者 720名  
「まほろん冬まつり」 2月17日 参加者 675名

### (4) 「おでかけまほろん」

文化財センター白河館の職員が、小中学校等教育機関を対象として職員が出向き、収蔵資料等を活用した学習や体験学習を教職員と協働で行うプログラム。平成30年度は34校で実施し、参加者数は合計895名であった。

第1回 喜多方市立熱塩小学校 5月 9日 参加者 8名  
第2回 喜多方市立上三宮小学校 5月 9日 参加者 10名  
第3回 伊達市立小手小学校 5月10日 参加者 10名  
第4回 郡山市立大島小学校 5月16日 参加者109名  
第5回 いわき市立豊間小学校 5月17日 参加者 18名  
第6回 会津美里町立宮川小学校 5月23日 参加者 38名  
第7回 川俣町立飯坂小学校 5月24日 参加者 12名  
第8回 郡山市立薫小学校 5月30日 参加者 60名  
第9回 本宮市立糠沢小学校 5月31日 参加者 33名  
第10回 いわき市立錦小学校 6月 6日 参加者 45名  
第11回 郡山市立高倉小学校 6月 7日 参加者 17名  
第12回 伊達市立梁川小学校 6月13日 参加者 86名  
第13回 昭和村立昭和小学校 6月14日 参加者 4名  
第14回 矢祭町立矢祭小学校 6月20日 参加者 43名  
第15回 福島県立聴覚支援学校小学部（郡山市）  
6月21日 参加者 11名  
第16回 喜多方市立豊川小学校 6月27日 参加者 16名  
第17回 喜多方市立駒形小学校 6月27日 参加者 12名  
第18回 二本松市立安達太良小学校 6月28日 参加者 9名  
第19回 福島県立たむら支援学校高等部（田村市）  
7月 5日 参加者 15名  
第20回 福島県立須賀川支援学校医大校小学部（福島市）  
8月29日 参加者 6名  
第21回 大玉村立大山小学校 8月30日 参加者 41名  
第22回 磐梯町立磐梯第一小学校 9月 5日 参加者 20名  
第23回 二本松市立石井小学校 9月13日 参加者 25名  
第24回 田村市立常葉小学校 9月20日 参加者 20名

第25回 本宮市立五百川小学校 9月27日 参加者 54名  
第26回 平田村立小平小学校 10月11日 参加者 22名  
第27回 磐梯町立磐梯第二小学校 10月18日 参加者 13名  
第28回 いわき市立久ノ浜第二小学校  
11月 1日 参加者 21名  
第29回 伊達市立伊達東小学校 11月15日 参加者 23名  
第30回 福島県立あぶくま支援学校中学部（郡山市）  
11月28日 参加者 24名  
第31回 福島県立聴覚支援学校会津校小学部（会津若松市）  
11月29日 参加者 2名  
第32回 南相馬市立原町第二小学校  
12月 6日 参加者 21名  
第33回 福島県立須賀川支援学校小・中学部（須賀川市）  
12月19日 参加者 12名  
第34回 福島県立たむら支援学校小・中学部（田村市）  
1月10日 参加者 35名

### (5) まほろん出前講座

公民館等で活動している子どもクラブ等を対象として、職員が出向き、収蔵資料等を活用した学習や体験学習を施設職員と協働で行うプログラム。平成30年度は4か所で実施し、105名が参加した。

第1回 広野町立広野小学校放課後子ども教室  
9月 6日 参加者 32名  
第2回 郡山市立大槻東公民館 11月10日 参加者 6名  
第3回 桑折町中央公民館 11月11日 参加者 29名  
第4回 二本松市岳下公民館 12月13日 参加者 38名

### (6) まるごとまほろん

生涯学習施設等に職員が出向き、収蔵資料等を活用したミニ展示や体験学習を行うプログラム。平成30年度は7か所で実施し、3,217名が参加した。

第1回 全国植樹祭白河PR会場 6月10日 参加者 20名  
第2回 うすい百貨店 8月7日～8日 参加者 360名  
第3回 須賀川アリーナ 10月 7日 参加者 510名  
第4回 国立磐梯青少年交流の家 10月14日 参加者 130名  
第5回 国立那須甲子青少年自然の家  
10月21日 参加者 240名  
第6回 あだたらふるさとホール  
10月27日 参加者 116名  
第7回 那須高原ビジターセンター  
11月17日・18日 参加者 1,841名

### (7) 講演会・講習会

文化財に親しみ、文化財への理解を深めるために、講演会やビデオ上映会を開催した。

ア 館長講演会 シリーズ『未来への考古学』 5回開催  
第1回 「ことばと文字と考古学」 5月19日 聴講者 31名  
第2回 「北の縄文スピリット」 7月28日 聴講者 48名  
第3回 「北から見た縄文と弥生」 9月29日 聴講者 43名  
第4回 「東の日本人・西の日本人ー日本文化の地域差と多様性を考えるー」 12月16日 聴講者 21名  
第5回 「考古ニュースを解説する」 2月2日 聴講者 24名

## イ 文化財講演会

第1回「縄文マジカルミステリー」 4月28日 聴講者 43名

第2回「縄文中期の集落―法正尻遺跡を中心に―」

6月16日 聴講者 77名

第3回「縄文後晩期の社会を考える」

7月28日 聴講者 41名

第4回「卑弥呼の時代のふくしま」10月13日 聴講者 53名

第5回「天王山遺跡のいま」・「『弥生時代』をどうみるか」

11月10日 聴講者115名

第6回「旧・新沼浦の入浜式製塩遺跡」・「慶長奥州津波からの復興―仙台藩・相馬中村藩の塩田開発―」

12月16日 聴講者 28名

## ウ 文化財講座

「縄文後期の土器と文化」・「縄文晩期の土器―ふくしまの亀ヶ岡式」

9月 1日 聴講者 59名

## エ 文化財に関するビデオ上映会

「塩竈神社」・「富山県砺波地方の米作り」

1月19日 聴講者 11名

## 8 常設展事業

常設展示室では、収蔵遺物や復元品を、「見て、触れて、考え、学ぶ」というプロセスを通じて理解しやすい形で展示している。常設展示では、次の各展示コーナーにより構成される。「暮らしのうつりかわり」「みんなの研究ひろば」「しらかわ歴史名場面」「話題の遺跡」については展示替えを積極的に行い、歴史や文化財等に関する新鮮な情報を提供した。

- 暮らしのうつりかわり
- みんなの研究ひろば(まほろん森の塾活動記録等)
- しらかわ歴史名場面(白河市一里段A遺跡(旧石器)等)
- 話題の遺跡(東日本大震災復興関連遺跡の調査等)
- 重要文化財公開コーナー(国指定法正尻遺跡出土品)
- プロムナードギャラリー等でのミニ展示及び展示替え
  - ・「土器年代測定結果公開」
  - ・「新春干支特別展示」

## 9 企画展事業

特別展示室では、指定文化財展・収蔵資料展などの企画展を開催している。

### (1) 収蔵資料展 1

「J OMONワンダーランド」

4月21日～6月17日 観覧者6,472名

### (2) 収蔵資料展 2

「縄文土器の逸品」

7月7日～9月2日 観覧者5,498名

### (3) 指定文化財展

「白河市天王山遺跡の時代」

9月29日～11月25日 観覧者4,455名

### (4) ふくしま復興展

「はま・なか・あいづ再生史」

12月15日～3月17日

観覧者4,350名  
(平成30年度中入館者数)

## 10 ボランティア運営事業

### (1) 「まほろんボランティア」の活動状況

施設・展示の案内

体験学習用器材の整備など

ボランティア連絡会(8回開催)

### (2) 登録数

個人ボランティア 30名

# 第 11 章 福利厚生

## [教職員の健康管理・福利厚生事業]

### 第 1 節 概要

(1) 教職員の健康管理については、教職員の安全確保と健康の保持増進のため、労働安全衛生法や学校保健安全法等に基づき各種事業を実施した。

(2) 保健・厚生事業については、特定健康診査等を実施するとともに、教職員人間ドック等をはじめとする健診事業を県、市町村、公立学校共済組合、一般財団法人福島県教職員互助会等が連携を図り、実施した。教職員の健康管理を重点目標とし、生活習慣病の早期発見・早期治療等健康づくりを支援するための人間ドックや大腸がん検診等の健診事業のほか、保養所等利用助成事業等を実施した。

また、教職員の生涯生活設計の推進のためのライフプラン講座、教職員の健康管理意識を高めるため、生活習慣病、メンタルヘルス等に関する各種セミナー事業を実施し、教職員の心身の健康づくりを支援した。さらに、ふくしま教職員こころのケア事業等をはじめとする各種相談事業やストレスチェック事業を実施し、メンタルヘルス対策の充実を図った。

主な事業と実績は、以下のとおりである。

### 第 2 節 事業実績

#### 1 教職員の健康管理

教職員の健康管理を適正に行うため、雇入時健康診断、教職員定期健康診断、教職員結核健康診断、ストレスチェック事業等を実施した。

##### (1) 雇入時健康診断結果

教育庁及び県立学校等の新規採用教職員

ア 健康診断実施状況の内訳

| 受診者数 | 要注意者数 |       | 要精密検査者数 |       |
|------|-------|-------|---------|-------|
|      | 人数    | 割合    | 人数      | 割合    |
| 125  | 37    | 29.6% | 35      | 28.0% |

イ 精密検査の内訳

| 検査項目   | 聴力   | 血圧   | 貧血   | 脂質    | 肝機能  | 血糖   | 尿    | 心電   | 胸部   |
|--------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|
| 受診者数   | 125  | 125  | 123  | 123   | 123  | 125  | 122  | 124  | 124  |
| 要精密検査者 | 0    | 3    | 3    | 16    | 8    | 0    | 9    | 5    | 1    |
| 要精密検査率 | 0.0% | 2.4% | 2.4% | 13.0% | 6.5% | 0.0% | 7.4% | 4.0% | 0.8% |

(注) 要精密検査者については、要精密検査項目が1人で2つ以上ある場合には、該当項目にそれぞれ計上した。

##### (2) 教職員定期健康診断結果

教育庁及び県立学校等教職員（新規採用教職員を除く）

ア 健康診断実施状況の内訳

| 区分    | 年齢・性別 | 受診者数  | 要注意者数 |       | 要精密検査者数 |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|
|       |       | 人数    | 人数    | 割合    | 人数      | 割合    |
| 35歳以上 | 男     | 3,229 | 781   | 24.2% | 2,370   | 73.4% |
|       | 女     | 2,140 | 743   | 34.7% | 1,170   | 54.7% |
|       | 計     | 5,369 | 1,524 | 28.4% | 3,540   | 65.9% |
| 35歳未満 | 男     | 707   | 299   | 42.3% | 273     | 38.6% |
|       | 女     | 684   | 208   | 30.4% | 168     | 24.6% |
|       | 計     | 1,391 | 507   | 36.4% | 441     | 31.7% |
| 合計    | 男     | 3,936 | 1,080 | 27.4% | 2,643   | 67.1% |
|       | 女     | 2,824 | 951   | 33.7% | 1,338   | 47.4% |
|       | 計     | 6,760 | 2,031 | 30.0% | 3,981   | 58.9% |

イ 要精密検査の内訳

| 検査項目    | 聴力    |       | 血圧    |       | 貧血    |       | 血中脂質   |       | 肝機能   |       | 腎機能   |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
|         | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満  | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 |
| 年齢      |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |
| 受診者数    | 1,384 | 5,342 | 1,389 | 5,355 | 1,387 | 5,342 | 1,387  | 5,342 | 1,387 | 5,342 | 1,386 | 5,173 |
| 要精密検査者数 | 11    | 321   | 54    | 1,327 | 53    | 322   | 238    | 1,738 | 93    | 678   | 56    | 251   |
| 要精密検査率  | 0.8%  | 6.0%  | 3.9%  | 24.8% | 3.8%  | 6.0%  | 17.2%  | 32.5% | 6.7%  | 12.7% | 4.0%  | 4.9%  |
| 検査項目    | 血糖    |       | 尿     |       | 心電図   |       | 胃エックス線 |       | 大腸がん  |       | 眼底    |       |
|         | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満  | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 | 35歳未満 | 35歳以上 |
| 年齢      |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |       |       |
| 受診者数    | 1,390 | 5,352 | 1,367 | 5,308 | 1,385 | 5,318 | /      | 4,029 | /     | 5,042 | /     | 5,225 |
| 要精密検査者数 | 12    | 443   | 64    | 355   | 31    | 227   |        | 212   |       | 303   |       | 221   |
| 要精密検査率  | 0.9%  | 8.3%  | 4.7%  | 6.7%  | 2.2%  | 4.3%  |        | 5.3%  |       | 6.0%  |       | 4.2%  |

(注) 要精密検査者については、要精密検査項目が1人で2つ以上ある場合には、該当項目にそれぞれ計上した。

(3) 教職員結核健康診断結果

教育庁及び県立学校等教職員（新規採用教職員を除く）

| 受診者数   | 要精密検査者数 | 要精密検査率 |
|--------|---------|--------|
| 6,515人 | 49人     | 0.8%   |

(4) 教職員ストレスチェック事業（県）

教育庁及び県立学校等教職員

（平成30年7～11月実施）

検査を受けた職員数、率 6,590人、93.3%

(5) VDT作業従事教職員健康診断（県）

教育庁及び県立学校等教職員のうち作業に従事したもの

受診者数 5,134人

(6) 警戒区域等で業務に従事した職員の健康診断（県）

教育庁及び県立学校等教職員のうち作業に従事したもの

受診者延数 1,089人

2 保健事業

(1) 特定健康診査等（共済組合）

平成30年度中に、40～74歳となった公立学校共済組合員（任意継続組合員も含む）とその被扶養者を対象に、特定健康診査を実施した。特定健康診査の結果、生活習慣病のリスクが高い場合、その程度に応じて特定保健指導を実施した。

| 対象者数    | 受診者数    | 受診率   | 保健指導対象者 |
|---------|---------|-------|---------|
|         |         | B/A   |         |
| A       | B       |       |         |
| 16,744人 | 14,459人 | 86.4% | 2,617人  |

(H30年度確定値)

(2) 人間ドック（県・市町村・公立大学法人・共済組合・互助会）

ア 教職員人間ドック（県・市町村・公立大学法人・共済組合・互助会）

平成30年4月1日現在、満35・38・40・43・45・48・50・53・55・58歳、61歳以上の教職員を対象に、人間ドック（脳ドックを含む。）を実施した。

| 対象者数   | 申込者数   | 受診者数   | 申込率   | 受診率   |       | 検診結果 |       |       |       |
|--------|--------|--------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
|        |        |        | B/A   | C/A   | C/B   | 異常なし | 要注意   | 要精検   | 治療中   |
| A      | B      | C      |       |       |       |      |       |       |       |
| 6,405人 | 5,241人 | 5,191人 | 81.8% | 81.0% | 99.0% | 3.8% | 35.3% | 36.8% | 24.2% |

イ 配偶者人間ドック（共済組合・互助会）

平成 30 年 4 月 1 日現在、満 35 歳以上の被扶養配偶者を対象に、人間ドックを実施した。

| 申込者数<br>A | 受診者数<br>B | 受診率<br>B/A | 検診結果 |       |       |       |
|-----------|-----------|------------|------|-------|-------|-------|
|           |           |            | 異常なし | 要注意   | 要精検   | 治療中   |
| 296 人     | 268 人     | 90.5%      | 5.6% | 41.8% | 31.7% | 20.9% |

ウ 定年退職予定者人間ドック（互助会）

平成 30 年 4 月 1 日現在、満 59 歳の教職員を対象に、人間ドックを実施した。

| 対象者数<br>A | 申込者数<br>B | 受診者数<br>C | 申込率<br>B/A | 受診率   |       | 検診結果 |       |       |       |
|-----------|-----------|-----------|------------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
|           |           |           |            | C/A   | C/B   | 異常なし | 要注意   | 要精検   | 治療中   |
| 661 人     | 527 人     | 522 人     | 79.7%      | 78.9% | 99.0% | 0.6% | 26.8% | 29.7% | 42.9% |

(3) 大腸がん検診（共済組合・互助会）

平成 30 年 4 月 1 日現在、満 35 歳以上の教職員（人間ドック及び脳ドック受診者を除く。）を対象に、大腸がん検診を実施した。

| 対象者数<br>A | 申込者数<br>B | 受診者数<br>C | 申込率<br>B/A | 受診率  |       | 検診結果  |       |       |      |
|-----------|-----------|-----------|------------|------|-------|-------|-------|-------|------|
|           |           |           |            | C/A  | C/B   | 異常なし  | 要注意   | 要精検   | 治療中  |
| 9,494 人   | 837 人     | 742 人     | 8.8%       | 7.8% | 88.6% | 58.9% | 29.1% | 11.8% | 0.2% |

(4) 乳がん・子宮がん検診（県・公立大学法人・共済組合・互助会）

平成 30 年 4 月 1 日現在、満 20 歳以上の女性教職員（人間ドック及び脳ドック受診者を除く。）を対象に、乳がん・子宮がん検診を実施した。

| 対象者数<br>A | 申込者数<br>B | 受診者数<br>C | 申込率<br>B/A | 受診率   |       | 検診結果  |       |      |      |
|-----------|-----------|-----------|------------|-------|-------|-------|-------|------|------|
|           |           |           |            | C/A   | C/B   | 異常なし  | 要注意   | 要精検  | 治療中  |
| 6,638 人   | 3,878 人   | 3,687 人   | 58.4%      | 55.5% | 95.1% | 83.6% | 11.5% | 4.7% | 0.2% |

(5) 脳ドック（県・市町村・公立大学法人・共済組合・互助会）

平成 30 年 4 月 1 日現在、満 40・43・45・48・50・53・55・58 歳、61 歳以上の教職員を対象に、脳ドックを実施した。

※申込者数及び受診者数は教職員人間ドックの内数で、検診結果は人間ドック項目を除いた項目の構成比率である。

| 対象者数<br>A | 申込者数<br>B | 受診者数<br>C | 申込率<br>B/A | 受診率   |       | 検診結果  |       |       |      |
|-----------|-----------|-----------|------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
|           |           |           |            | C/A   | C/B   | 異常なし  | 要注意   | 要精検   | 治療中  |
| 5,674 人   | 980 人     | 965 人     | 17.3%      | 17.0% | 98.5% | 39.0% | 34.2% | 26.5% | 0.3% |

(6) 脳検診（共済組合・互助会）

平成 30 年 4 月 1 日現在、満 40・43・45・48・50・53・55・58 歳、61 歳以上の教職員を対象に、脳検診を実施した。

| 対象者数<br>A | 申込者数<br>B | 受診者数<br>C | 申込率<br>B/A | 受診率   |       | 検診結果  |       |      |      |
|-----------|-----------|-----------|------------|-------|-------|-------|-------|------|------|
|           |           |           |            | C/A   | C/B   | 異常なし  | 要注意   | 要精検  | 治療中  |
| 5,674 人   | 1,614 人   | 1,556 人   | 28.4%      | 27.4% | 96.4% | 82.0% | 14.2% | 3.7% | 0.1% |

(7) 肺がん検診（共済組合・互助会）

平成 30 年 4 月 1 日現在、満 40 歳以上の教職員を対象に、肺がん検診を実施した。

| 対象者数<br>A | 申込者数<br>B | 受診者数<br>C | 申込率<br>B/A | 受診率   |       | 検診結果  |       |      |      |
|-----------|-----------|-----------|------------|-------|-------|-------|-------|------|------|
|           |           |           |            | C/A   | C/B   | 異常なし  | 要注意   | 要精検  | 治療中  |
| 14,079 人  | 1,464 人   | 1,408 人   | 10.4%      | 10.0% | 96.2% | 58.1% | 31.3% | 9.9% | 0.7% |

**(8) 胃がん検診（共済組合・互助会）**

平成 30 年 4 月 1 日現在、満 30・33 歳の教職員を対象に胃がん検診を実施した。

| 対象者数  | 申込者数 | 受診者数 | 申込率   | 受診率   |       |       | 検診結果 |      |      |     |
|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|-----|
|       |      |      |       | B/A   | C/A   | C/B   | 異常なし | 要注意  | 要精検  | 治療中 |
| A     | B    | C    |       |       |       |       |      |      |      |     |
| 535 人 | 93 人 | 75 人 | 17.4% | 14.0% | 80.6% | 85.3% | 6.7% | 6.7% | 1.3% |     |

**3 厚生事業**

**(1) 厚生事業**

**ア ライフプラン講座（共済組合・互助会）**

教職員一人ひとりが、生涯にわたり健やかで充実したゆとりある生活を送ることができるよう、退職後の生活を視野に入れた生涯生活設計づくりとその実現を支援するため、ライフプラン講座を開催した。

| 日 程   | 平成 30 年 7 月 30 日                           | 平成 30 年 8 月 6 日 |
|-------|--------------------------------------------|-----------------|
| 会 場   | ビッグパレットふくしま                                |                 |
| プログラム | ライフプラン設計演習                                 |                 |
|       | ○20代～30代コース（8月6日）<br>株式会社FP研究所 三輪 鉄郎       |                 |
|       | ○40代コース（8月6日）<br>株式会社FP研究所 今野 隆文           |                 |
|       | ○50代～60代コース（7月30日・8月6日）<br>株式会社FP研究所 石田 英憲 |                 |
| 受講者数  | 233 人                                      | 211 人           |

**イ 在宅介護講座（共済組合）**

組合員を対象に、在宅介護に必要な知識や技術を身につけるための実技中心の1日介護講座を実施した。

| 日 程   | 平成 30 年<br>7 月 27 日 | 平成 30 年<br>8 月 1 日        | 平成 30 年<br>8 月 7 日 |
|-------|---------------------|---------------------------|--------------------|
| 会 場   | 福島県男女共生センター         |                           |                    |
| プログラム | (1) 講義「在宅介護の基礎知識」   |                           |                    |
|       | (2) 実技Ⅰ「環境整備と更衣の仕方」 |                           |                    |
|       | (3) 実技Ⅱ「食事介助法と排泄援助」 |                           |                    |
|       | (4) 実技Ⅲ「清潔援助」       |                           |                    |
|       | 7 月 27 日            | 福島県介護福祉士会<br>小山田 米子、佐藤 恵二 |                    |
|       | 8 月 1 日             | 福島県介護福祉士会<br>関根 誠一、和田 広美  |                    |
|       | 8 月 7 日             | 福島県介護福祉士会<br>松本 利一、佐久間 良子 |                    |
| 受講者数  | 14 人                | 19 人                      | 15 人               |

**ウ 管理監督者メンタルヘルス研修会**

管理監督者に対し、メンタルヘルスケアに関する基礎知識や職場環境等の改善方法を習得させるため、研修会を実施した。

| 日 程  | 平成30年5月16日～平成30年10月30日（計8回） |
|------|-----------------------------|
| 会 場  | 県内各支部                       |
| 講 師  | (株)インソース<br>手塚英樹、藤田美代子、長澤敦志 |
| 受講者数 | 計 744 人                     |

**エ メンタルヘルスセミナー（共済組合）**

組合員の心の健康を保持増進するため、メンタルヘルスに関する基礎知識を習得するための講座を開催した。

| 日 程   | 平成 30 年 8 月 1 日             | 平成 30 年 8 月 3 日 |
|-------|-----------------------------|-----------------|
| 会 場   | いわきゆったり館                    | ビッグパレットふくしま     |
| プログラム | 講演：毎日がワクワクする心と身体の元気アップセミナー  |                 |
|       | 演習：人間関係のストレスを軽減するコミュニケーション法 |                 |
|       | 心と身体の簡単リフレッシュ法              |                 |
|       | 講師：(株)カイトック 藤野 佳織           |                 |
| 受講者数  | 63 人                        | 95 人            |

**オ 女性のための健康セミナー（共済組合）**

女性組合員を対象に、健康意識の向上を図るため、女性特有の病気についての知識や予防法等を習得する講演、実技を行うセミナーを開催した。

| 日 程   | 平成 30 年 7 月 31 日                                       | 平成 30 年 8 月 2 日 |
|-------|--------------------------------------------------------|-----------------|
| 会 場   | ビッグパレットふくしま                                            | 原町フローラ          |
| プログラム | (1) 講演<br>「輝く女性のきれいと元気のために」<br>(株)カイトック 講師 樋口 恵子       |                 |
|       | (2) 演習<br>「好きな香りと色でつくる私だけのアロマ石鹸」<br>(株)カイトック 講師 樋口 恵子  |                 |
|       | (3) 実技<br>「からだバランスUP↑ボールエクササイズ体験」<br>(株)カイトック 講師 杉島小百合 |                 |
|       | 受講者数                                                   | 155 人           |

カ 教職員のためのカラダ元気力アップ！セミナー

(共済組合)

組合員を対象に、生活習慣病の知識と予防法等に関する講話と運動指導を行うセミナーを実施した。

| 日 程   | 平成 30 年<br>7 月 24 日                                                                                                                                                               | 平成 30 年<br>7 月 25 日 | 平成 30 年<br>7 月 26 日 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|---------------------|
| 会 場   | 会津アピオ<br>スペース                                                                                                                                                                     | ビッグパレット<br>ふくしま     | パルティいざか             |
| プログラム | (1) 講演 「最新！ライフスタイル改善術」<br>(2) 演習 「セルフチェックでカラダ改善」<br>(3) 実技<br>「ボクシングエクササイズ&リラクゼーション」<br>(7 月 24 日・7 月 25 日)<br>「体幹トレーニング」<br>(7 月 26 日)<br>(株)カイトック 講師 皆川 芳弘<br>フリーインストラクター 坂入 康弘 |                     |                     |
| 受講者数  | 42 人                                                                                                                                                                              | 53 人                | 43 人                |

キ 食のセミナー (共済組合)

組合員と被扶養配偶者を対象に、「高血圧」、「糖尿病」の予防・改善のため、「食に関する秘訣」を習得するセミナーを実施した。

| 日 程   | 平成 30 年<br>7 月 27 日                                                                                                                                           | 平成 30 年<br>8 月 7 日 | 平成 30 年<br>8 月 10 日 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------------------|
| 会 場   | ビッグパレット<br>ふくしま                                                                                                                                               | あづま荘               | 会津アピオ               |
| プログラム | (1) 講話 「高血圧・糖尿病について」<br>(2) 演習 「からだ改善チャレンジ！」<br>「栄養バランスのとれた食事」<br>「よく利用する弁当や汁物のカロリー<br>やバランス 塩分について」<br>(公財)福島県保健衛生協会<br>保健師 佐藤 志保 渡邊奈穂子<br>管理栄養士 軒名 礼子 本田 早紀 |                    |                     |
| 受講者数  | 53 人                                                                                                                                                          | 64 人               | 38 人                |

ク 保育補助 (共済組合)

平成 30 年度内に出産し又は出産を予定する女性組合員及び被扶養配偶者を有する組合員に対し、保育の支援及び福祉の向上に資するため、乳幼児の保育に必要な用品を出生児 1 人につき 1 セット交付した。

| 区分   | 内 容                                                                                                 | 交付件数  |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| Aセット | 電子レンジで除菌セット<br>ベビー用耳式体温計<br>お風呂用湯温計                                                                 | 75 件  |
| Bセット | ベビー食器セット (14 点セット)<br>ベビーマグセット (スペアパーツ付属)                                                           | 213 件 |
| Cセット | ベビー用バスローブ<br>肌着 (前開きミニオール)                                                                          | 63 件  |
| Dセット | 月刊「赤ちゃん和妈妈」 12 冊<br>お誕生号 1 冊<br>単行本<br>「赤ちゃんのつぶやき」 1 冊<br>「やさしい離乳食」 1 冊<br>冊子<br>「お医者さんにかかるまでに」 1 冊 | 12 件  |
| 計    |                                                                                                     | 363 件 |

ケ 教職員健康相談事業 (共済組合)

(こころとからだの健康相談)

健康上の不具合や心身の悩みについて相談を受けられるよう、18 医療機関に相談業務を委託。

のべ利用件数 11 件

コ 教職員相談事業 (県)

専任の相談員を配置し、教職員の各種相談に応じた。

のべ相談件数 401 件

サ メンタルヘルスサポート (セルフチェック) 事業

公立学校共済組合福島支部のホームページにアクセスし、所定の質問に回答することで、自己の状態を確認した。  
アクセス数 19,664 件

シ ふくしま教職員こころのケア事業 (共済組合)

東日本大震災を受けて、日常のストレスやこころの悩みを専門のカウンセラーに相談できる機会を提供するため、7 カウンセリング機関に業務を委託。

カウンセリングのべ利用件数 537 件

講師派遣利用件数 3 件

グループカウンセリングコース・

ピアカウンセリングコース利用件数 1 件

ス 教職員メンタルヘルスカウンセリング事業（県）  
常勤講師等臨時的任用職員の心の疾患の未然防止や心の健康保持増進を図るため7カウンセリング機関に業務を委託。

カウンセリングのべ利用件数 8件

セ 保養所等利用助成（共済組合）

組合員が福島支部指定の共済組合宿泊施設を利用した場合、利用料金の一部を助成した。

○ あづま荘利用助成

| 区分      | 助成対象                            | 助成内容                                    | 助成件数    |
|---------|---------------------------------|-----------------------------------------|---------|
| 宿泊利用助成  | 組合員・被扶養者・配偶者・子・父母・祖父母が宿泊したとき    | 1人1泊1食まで<br>2,000円<br>1人1泊2食<br>3,000円等 | 12,137件 |
| 会議室利用助成 | 組合員が開催する諸会議                     | 会議室料金の<br>2分の1の額                        | 87件     |
| 会食利用助成  | 組合員が5名以上で、かつ1人5,000円以上の会食を行ったとき | 1人<br>1,000円                            | 152件    |
| 法要利用助成  | 組合員及び直系親族が法要を行うとき               | 利用額の30%<br>(上限70,000円)                  | 4件      |

○ 他支部保養所等利用助成

県内2、県外10の指定宿泊施設利用に対し、1人1泊1,500円、計1,124件の助成を行った。

ソ 指定旅館等利用助成（互助会）

会員の保養及び健康の保持増進を図るため、県内（26施設）、県外（9施設）の宿泊施設等を指定し、会員が利用したとき、利用料金の一部を助成した。

| 区分        | 助成件数    | 金額       |
|-----------|---------|----------|
| 宿泊利用助成    | 14,207件 | 38,312千円 |
| 会食利用助成    | 144件    | 144千円    |
| アケアリン利用助成 | 400件    | 349千円    |
| 計         | 14,751件 | 38,805千円 |

タ 弔慰供花（共済組合）

在職中に亡くなった組合員の霊前に供花を行い、哀悼の意を表した。

供花件数 13件

チ 法律相談（共済組合）

組合員が抱える民事問題を早期解決に導くため法律相談を実施した。

相談件数 3件

ツ リフレッシュ助成（互助会）

勤続10年及び20年の節目に心身のリフレッシュを図るための助成（旅行券又は宿泊施設利用券）を実施した。  
実施件数 559件

テ 永年勤続リフレッシュ助成（互助会）

永年勤続表彰会員及び20年以上30年未満勤続し退職した会員等に対し、助成品（旅行券、宿泊施設利用券、図書券又は現金）を交付した。

永年勤続表彰会員 907名

20年以上30年未満勤続し退職した会員 8名

勤続30年以上で表彰を受けずに退職した会員 7名

ト 国内外旅行助成（互助会）

福島空港を利用して旅行した会員に対し、旅行代金の一部を助成した。

| 区分   | 助成件数 | 金額      |
|------|------|---------|
| 国内旅行 | 201件 | 1,005千円 |
| 海外旅行 | 10件  | 50千円    |
| 計    | 211件 | 1,055千円 |

ナ 教育塔合祀遺族助成（互助会）

教育塔に合祀された教職員、生徒児童等の遺族が教育祭に参加するための経費の一部を助成した。

教育祭参加者数 2人

ニ 会員交流促進事業（互助会）

独身会員を対象に異性との出会いと交流の場を提供することを目的に実施した。

事業参加者数 22人

## (2) 公益事業

ア へき地等教育事業助成（互助会）

県人事委員会指定の特地以上のへき地学校及び特別支援学校に在学する児童生徒の健全育成を図るため、これらの学校に図書を贈呈した。

対象校 92校

児童生徒数 5,585人

イ 互助会文庫（互助会）

県民の教育文化の向上に寄与するため、県立図書館に図書を寄贈し、広く県民の利用に供した。

一般・児童生徒用 1,091冊（累計 63,292冊）

### 第3節 貸付事業

#### 1 共済組合

平成30年度における共済組合貸付事業は、住宅貸付けをはじめ、一般、教育、医療、結婚、特例住宅災害、葬祭の7種類の新規貸付けを行った。

#### (1) 貸付けの状況

種類別貸付けの状況は次のとおりである。

(単位：件、千円)

| 種 類 別     | 件 数 | 金 額     | 金額割合  |
|-----------|-----|---------|-------|
| 一 般 貸 付 け | 178 | 185,732 | 37.5  |
| 住 宅 貸 付 け | 25  | 181,216 | 36.6  |
| 教 育 貸 付 け | 80  | 97,715  | 19.8  |
| 医 療 貸 付 け | 2   | 1,334   | 0.3   |
| 結 婚 貸 付 け | 4   | 7,100   | 1.4   |
| 特例住宅災害貸付  | 2   | 20,000  | 4.0   |
| 葬 祭 貸 付 け | 2   | 2,100   | 0.4   |
| 計         | 293 | 495,197 | 100.0 |

### 第4節 宿泊・保養施設

公立学校共済組合では、組合員の福利厚生施設として、飯坂保養所「あづま荘」を運営しているが、平成30年度の利用状況は、次のとおりである。

| 種別  | 施設    | あづま荘     |
|-----|-------|----------|
|     | 利用人員  | 宿 泊      |
|     | 会 議   | 2,428 人  |
|     | 宴 会   | 511 人    |
|     | 婚 礼   | 0 人      |
|     | 休 憩   | 0 人      |
|     | 計     | 18,778 人 |
| 利用率 | 宿 泊   | 45.8 %   |
|     | 宿 泊 外 | 2.2 %    |

※利用率

$$\cdot \text{宿 泊} = \frac{\text{利用人数 (宿泊)}}{\text{宿泊延定員 (宿泊定員} \times \text{営業日数)}} \times 100$$

$$\cdot \text{宿 泊 外} = \frac{\text{利用人数 (会議・宴会・婚礼)}}{\text{宿泊外延定員 (宿泊外定員} \times \text{営業日数)}} \times 100$$

### 第5節 児童手当（特例給付を含む）

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする「児童手当法」に基づき、年3回、定期支給しており、平成31年2月期の支払い状況は次のとおりである。

(単位：人、千円)

|          | 受 給<br>資格者数 | 支給対象<br>児 童 数 | 支給額     |
|----------|-------------|---------------|---------|
| 本庁・教育機関等 | 127         | 198           | 24,610  |
| 小学校      | 1,055       | 1,740         | 230,330 |
| 中学校      | 952         | 1,557         | 205,735 |
| 高等学校     | 1,029       | 1,722         | 228,365 |
| 特別支援学校   | 322         | 571           | 76,630  |
| 計        | 3,485       | 5,788         | 765,670 |

### 第6節 財産形成貯蓄制度

教職員の計画的な財産形成を促進するために財産形成貯蓄を導入し、昭和62年3月から控除預入を開始したが、平成30年度における契約状況は次のとおりである。

#### 財産形成貯蓄契約状況

◎貯蓄種類別契約件数（平成31年3月31日現在）

(単位：件)

|      | 期日指定<br>定期預金 | 金銭<br>信託 | 公社債<br>投資信託 | 積立<br>保険 | 計     |
|------|--------------|----------|-------------|----------|-------|
| 一般貯蓄 | 6,972        | 53       | 125         | 536      | 7,686 |
| 年金貯蓄 | 1,413        | 20       | 40          | 180      | 1,653 |
| 住宅貯蓄 | 338          | 7        | 9           | 42       | 396   |
| 計    | 8,723        | 80       | 174         | 758      | 9,735 |

契約者数 7,037 人

### [福利給付事業]

### 第7節 概要

教職員の福利給付事業については、県教育委員会、公立学校共済組合、一般財団法人福島県教職員互助会において、組合員（会員）に対する各種の給付事業を実施した。

一方、長期給付事業については、教職員等への退職手当、恩給及び厚生（共済）年金の支給を行った。

なお、平成30年度の年金額は平成29年度から据え置きとなった。

また、恩給年額については、平成22年度以降据え置きとなっている。

## 第8節 短期給付

### 1 共済組合

平成30年度末現在における組合員数は、現職組合員数19,021人（前年同期比225人減）、任意継続組合員419人（同92人増）の計19,440人（同133人減）である。

また、被扶養者数は、16,424人（同687人減）、組合員1人当たりの被扶養者数は、0.85人となっている。

平成30年度の共済組合短期給付の給付総額は、5,151,208千円で、前年度対比70,427千円の減少となった。

総額に占める割合は、法定給付97.63%、附加給付2.37%となっており、給付の内訳は次のとおりである。

共済組合短期給付内訳表

| 法定給付   |          |         |                | 附加給付    |             |       |         |
|--------|----------|---------|----------------|---------|-------------|-------|---------|
| 種別     |          | 件数(件)   | 給付額(千円)        | 種別      |             | 件数(件) | 給付額(千円) |
| 医療給付   | 本人医療費    | 177,635 | 1,807,732      | 医療給付    | 家族療養費       | 886   | 26,730  |
|        | 家族医療費    | 140,671 | 1,364,357      |         | 家族訪問看護療養費   | 1     | 1       |
|        | 高額療養費    | 2,864   | 295,548        |         | 出産費         | 269   | 13,450  |
|        | 薬剤       | 146,499 | 920,858        |         | 家族出産費       | 108   | 5,400   |
|        | 移送費      | 0       | 0              |         | 埋葬料         | 17    | 425     |
|        | 小計       | 467,669 | 4,388,495      |         | 家族埋葬料       | 12    | 300     |
| その他の給付 | 出産費      | 279     | 117,462        | その他の給付  | 直営保健給付家族療養費 | 0     | 0       |
|        | 家族出産費    | 110     | 46,140         |         | 傷病手当金       | 18    | 3,886   |
|        | 埋葬料      | 17      | 850            |         | 災害見舞金       | 0     | 0       |
|        | 家族埋葬料    | 12      | 600            |         | 結婚手当金       | 0     | 0       |
|        | 傷病手当金    | 300     | 73,003         |         | 入院附加金       | 0     | 0       |
|        | 出産手当金    | 29      | 3,004          |         |             |       |         |
|        | 休業手当金    | 0       | 0              |         |             |       |         |
|        | 育児休業手当金  | 2,288   | 394,705        |         |             |       |         |
|        | 介護休業手当金  | 25      | 5,084          |         |             |       |         |
|        | 弔慰金      | 0       | 0              |         |             |       |         |
|        | 家族弔慰金    | 0       | 0              |         |             |       |         |
|        | 災害見舞金    | 0       | 0              |         |             |       |         |
|        | 小計       | 3,060   | 640,848        |         |             |       |         |
|        | ① 法定給付 計 | 470,729 | 5,029,343      |         | ② 附加給付 計    | 1,311 | 50,191  |
|        |          |         | ③ 一部負担金払戻金     | 2,441   | 71,674      |       |         |
|        |          |         | 短期給付合計 (①+②+③) | 474,481 | 5,151,208   |       |         |

### 2 互助会

平成30年度末現在の互助会の会員数は、15,928人（前年同期比339人減）となっている。

互助会給付規程に基づいた短期給付金及び厚生給付金事業の内訳については、次のとおりである。

#### (1) 短期給付金

| 種別           | 件数(件)  | 給付額(千円) |
|--------------|--------|---------|
| 医療補助金 (被扶養者) | 11,512 | 46,135  |
| 死亡弔慰金 (会員)   | 13     | 650     |
|              | (被扶養者) | 9       |
| 災害見舞金        | 0      | 0       |
| 出産見舞金 (会員)   | 188    | 9,400   |
|              | (被扶養者) | 80      |
| 計            | 11,802 | 58,935  |

#### (2) 厚生給付金

| 種別      | 件数(件)  | 給付額(千円) |
|---------|--------|---------|
| 医療給付金   | 41,869 | 155,303 |
| 死亡給付金   | 518    | 18,630  |
| 出産給付金   | 98     | 2,970   |
| 結婚祝金    | 234    | 11,700  |
| 入学祝金    | 487    | 14,610  |
| 入院療養見舞金 | 1,360  | 14,291  |
| 障害見舞金   | 94     | 4,700   |
| 育児休業給付金 | 2,111  | 30,502  |
| 介護休暇給付金 | 7      | 1,014   |
| 計       | 46,778 | 253,720 |

## 第9節 長期給付

平成30年度の教職員等に対する退職給付の執行状況は、次のとおりである。

### 1 恩給

#### (1) 恩給の受給者数及び支給の状況

ア 支給人員及び支給額

普通恩給等の支給人員及び支給額は、次のとおりである。

平成30年度末現在の受給者数は47人（前年度比10人減）、平成30年度における支給総額は69,591千円（同19,738千円減）となっており、受給者の高齢化に伴い、いずれも減少傾向にある。

| 学校種別    | 普通恩給      |             | 扶助料       |             | 退隠料       |             | 遺族扶助料     |             | 計         |             |
|---------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
|         | 人員<br>(人) | 支給額<br>(千円) |
| 小学校     | 3         | 5,898       | 28        | 40,435      | 1         | 277         | 0         | 0           | 32        | 46,610      |
| 中学校     | 0         | 658         | 12        | 19,665      | 1         | 1,601       | 0         | 0           | 13        | 21,924      |
| 特別支援学校  | 0         | 0           | 0         | 0           | 0         | 0           | 1         | 112         | 1         | 112         |
| 高等学校    | 0         | 0           | 0         | 0           | 0         | 0           | 0         | 0           | 0         | 0           |
| 教育庁・その他 | 0         | 0           | 1         | 945         | 0         | 0           | 0         | 0           | 1         | 945         |
| 計       | 3         | 6,556       | 41        | 61,045      | 2         | 1,878       | 1         | 112         | 47        | 69,591      |

イ 裁定及び失権

裁定を受けた者及び死亡等により受給権を失った者は、次のとおりである。（単位：人）

| 恩給種別  | 裁 定 | 失 権 | 左のうち<br>完全失権 |
|-------|-----|-----|--------------|
| 普通恩給  | 0   | 2   | 2            |
| 扶助料   | 0   | 8   | 8            |
| 退隠料   | 0   | 0   | 0            |
| 遺族扶助料 | 0   | 0   | 0            |
| 計     | 0   | 10  | 10           |

#### (2) 恩給の改定について

恩給は、国民年金改定率(国民年金法第27条で規定する改定率)を基準に毎年度改定し、当該年度の4月以降に適用される。

直近の改定としては、平成21年度に0.9%の引き上げがされているが、22年度以降は実施していない。

被用者年金一元化法により、平成28年4月分以後の年金の支払額について端数処理の方法が変更された。

### 2 退職手当

#### (1) 退職手当の支給人員及び支給額

退職手当の支給人員及び支給額は、次のとおりである。

| 学校種別    | 人員 (人) | 支給額 (千円)   |
|---------|--------|------------|
| 教育庁・その他 | 7      | 146,553    |
| 小学校     | 1,358  | 9,644,334  |
| 中学校     | 833    | 4,453,711  |
| 高等学校    | 563    | 2,990,677  |
| 特別支援学校  | 396    | 757,125    |
| 計       | 3,157  | 17,992,400 |

#### (2) 失業者の退職手当

退職手当のうち「失業者の退職手当」の支給人員及び支給額は、次のとおりである。

| 学校種別    | 人員 (人) | 支給額 (千円) |
|---------|--------|----------|
| 教育庁・その他 | 0      | 0        |
| 小学校     | 27     | 6,272    |
| 中学校     | 18     | 4,375    |
| 高等学校    | 14     | 3,251    |
| 特別支援学校  | 8      | 1,366    |
| 計       | 67     | 15,264   |

### 3 年金

#### (1) 進達件数

老齢厚生（退職共済）年金等の本部への進達件数は、次のとおりである。

（単位：件）

| 進達<br>区分 | 旧共済法による年金 |      | 新共済法・一元化法による年金       |                          |                          |                    |                    | 計   |
|----------|-----------|------|----------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------|--------------------|-----|
|          | 退職年金      | 障害年金 | 老齢厚生<br>(退職共済)<br>年金 | 老齢厚生<br>(退職共済)<br>年金(特別) | 老齢厚生<br>(退職共済)<br>年金(繰上) | 障害厚生<br>(共済)<br>年金 | 遺族厚生<br>(共済)<br>年金 |     |
| 決定請求     | 0         | 0    | 16                   | 281                      | 11                       | 19                 | 18                 | 345 |
| 改定請求     | 0         | 0    | 11                   | 44                       | 0                        | 0                  | 0                  | 55  |

#### (2) 支給人員及び支給額

老齢厚生（退職共済）年金等の平成 30 年度末現在における支給人員は 25,404 人で、平成 30 年度における支給額は、37,280,823 千円である。

平成 27 年 10 月の被用者年金一元化以降は、新たに厚生年金、職域加算額の年金及び年金払い退職給付の年金が決定されることになったが、一人の者に厚生年金と職域加算額の年金など複数の年金受給権が発生することになるため、年金種別ごとの受給者数が増加している。

前年度に比較して人員で 1,818 人の増加、支給額で 78,241 千円の減少となっている。

| 年金種別           |                  | 受給者数<br>(人) | 平均年金額<br>(円)   | 支給額<br>(円)     |
|----------------|------------------|-------------|----------------|----------------|
| 厚生年金           | 老齢厚生年金           | 1,627       | 1,286,628      | 2,093,343,756  |
|                | 老齢厚生年金(特別)       | 1,595       | 1,194,404      | 1,905,074,380  |
|                | 障害厚生年金           | 39          | 1,048,430      | 40,888,770     |
|                | 遺族厚生年金           | 252         | 1,261,335      | 317,856,420    |
|                | 小計               | 3,513       | —              | 4,357,163,326  |
| 年金払給付          | 終身退職年金           | 69          | 2,820          | 194,580        |
|                | 有期退職年金           | 55          | 5,149          | 283,195        |
|                | 公務障害年金           | 0           | 0              | 0              |
|                | 公務遺族年金           | 0           | 0              | 0              |
|                | 小計               | 124         | —              | 477,775        |
| 新共済年金・<br>職域加算 | 退職共済年金(既裁定)      | 10,012      | 1,771,620      | 17,737,459,440 |
|                | 退職共済年金(特別・既裁定)   | 360         | 1,490,031      | 536,411,160    |
|                | 退職共済年金(職域加算額)    | 1,604       | 238,053        | 381,837,012    |
|                | 退職共済年金(特別・職域加算額) | 1,569       | 231,912        | 363,869,928    |
|                | 退職共済年金(追加費用)     | 0           | 0              | 0              |
|                | 障害共済年金(既裁定)      | 288         | 1,168,448      | 336,513,024    |
|                | 障害共済年金(職域加算額)    | 31          | 178,716        | 5,540,196      |
|                | 遺族共済年金(既裁定)      | 4,031       | 1,676,851      | 6,759,386,381  |
|                | 遺族共済年金(職域加算額)    | 851         | 134,402        | 114,376,102    |
|                | 遺族共済年金(追加費用)     | 600         | 1,689,905      | 1,013,943,000  |
| 小計             | 19,346           | —           | 27,249,336,243 |                |
| 旧共済年金          | 退職年金             | 1,811       | 2,634,755      | 4,771,541,305  |
|                | 減額退職年金           | 151         | 1,914,594      | 289,103,694    |
|                | 通算退職年金           | 10          | 627,679        | 6,276,790      |
|                | 障害年金             | 40          | 2,075,569      | 83,022,760     |
|                | 遺族年金             | 408         | 1,283,736      | 523,764,288    |
|                | 通算遺族年金           | 1           | 136,507        | 136,507        |
|                | 小計               | 2,421       | —              | 5,673,845,344  |
| 合計             | 25,404           | —           | 37,280,822,688 |                |

- ※ 支給額は平均年金額に受給者数を乗じた額である。
- ※ 受給者数について、1人の者に厚生年金及び職域加算額が裁定された場合はそれぞれ1件の年金受給権が発生するものとして合計している。
- ※ 既裁定とは一元化前に裁定された共済年金であり、職域加算とは一元化後に裁定された厚生年金等の旧職域部分の年金である。
- ※ 追加費用とは一元化後に受給権が発生した共済年金であり、厚生年金保険法が適用される。

### **(3) 年金額の改定**

年金額の改定については、法律上、賃金水準の変動がマイナスで物価水準の変動がプラスになる場合には、年金を受給し始める際の年金額（新規裁定年金）、受給中の年金額（既裁定年金）ともにスライドなしとすることが規定されている。

平成30年度の年金額は、年金額改定に用いる名目手取り賃金変動率がマイナス（ $\Delta 0.4\%$ ）で物価変動率がプラス（ $0.5\%$ ）となることから、新規裁定年金・既裁定年金ともにスライドなしとされ、年金額は据え置きとなった。



# 第12章 福島県教育センター

## 第1節 概要

教育センターは、教育に関する専門的・技術的事項の調査と研究、教育関係職員の研修、情報教育、教育相談及び教育図書・資料の作成・収集・提供等、本県の学校教育の向上・発展に寄与するための事業を実施してきた。

また、カリキュラムセンター業務として、学校や教職員及び市町村教育委員会をはじめとする教育機関等を対象に、学校経営を含む教育活動全般について、研究成果・資料・情報を提供するとともに、要請に応じて指導主事の派遣等の支援を行ってきた。

平成28年度より初任者の負担軽減や継続的な研修を考慮し、「2年次教員フォローアップ研修」を設け、実践的指導力の向上を図った。

なお、事業概要は、次のとおりである。

### 1 調査・研究事業

教育センターの使命、役割を自覚し、県教育委員会のシンクタンクとしての期待に十分こたえられるようにするとともに、本県の教育推進上の課題や学校教育の在り方に対応するために、本県学校教育の諸課題の解決に役立つ先導的・実証的な調査・研究を進めてきた。

#### (1) 調査

本県の教育に関する実態や課題を的確に把握するため、客観的で広範囲な基礎データを継続的に収集し分析した。さらに、その調査結果を教育センターでの研究に生かし、各学校や教育機関等へ提供した。

#### (2) 研究

「学校での様々な実践に生かす」視点から、本県の教育課題を具体的に把握し、それらの課題に対処する基礎的・実証的な研究を行った。

研究の推進に当たっては、調査・研究のためのチームを組織し、また、教育センターの役割と学校現場のニーズに基づく研究とするために、研究協力校、研究協力者を全県的に募り、開かれた研究の実践に努めた。

調査研究チーム、情報教育チーム、教育相談チームがそれぞれ共同研究を行った。

これらの研究成果は、「教育センターWeb サイト」、「研究紀要」、「所報ふくしま『窓』」等に掲載するとともに、平成30年11月29日(木)に実施した「福島県教育研究発表会」においても発表し、その成果を各学校や教育機関へ提供した。

### 2 研修事業

教職員の資質と指導力の向上を図るために、「平成30年度福島県公立学校教職員現職教育計画」に基づいて各種の研修講座を計画した。

基本研修、職能研修（職能研修Ⅰ、職能研修Ⅱ）、専門研修について、平成30年度の実績は、次のとおりであった。平成30年9月から平成31年3月まで耐震改修工事を理科棟及び宿泊棟で行ったため、研修日程を前倒しで実施した。

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 講座数    | 79講座                  |
| 講座開設数  | 148回                  |
| 講座研修者数 | 4,069人(延べ人数)          |
| 講座開設期間 | 平成30年4月4日～平成30年12月25日 |

前年度比

|        |      |
|--------|------|
| 講座数    | 5増   |
| 講座開設数  | 9増   |
| 講座研修者数 | 358増 |

### 3 情報教育事業

情報教育事業では、学習指導要領に対応した研修の充実を図り、「教科指導におけるICT活用」、「児童生徒の情報活用能力の育成」、「校務の情報化」を3つの柱とした「教育の情報化」の推進に向けて取り組んだ。

専門研修では、「校務処理における表計算(関数)講座」や「授業力向上のためのICT活用基礎講座」、「グループウェアで活用するG Suite実践講座」、「校内ネットワークの管理と運用基礎講座」などを行った。また、基本研修での講義等を通して、「情報モラル教育」及び「教科指導におけるICT活用」の研修の充実を図った。さらに、職能研修では「教育の情報化」の講義を行い、教育の情報化が円滑かつ確実に実施されるよう努めた。

### 4 教育相談事業

教育相談事業では、児童生徒の教育上の諸課題について来所及び電話で相談を受け、課題の改善・解決をめざした。

主訴別では、来所相談は集団不適合、不登校に関する相談が、電話相談は学校への不満、不登校、いじめに関する相談が多かった。

不登校やいじめに関する電話相談については、相談者の思いを受け止めるとともに、今後の対応を一緒に考えたり、身近な相談機関を紹介したりした。

特に、本県で増加している不登校に関する相談では、電話による相談を受けた上で、本人や保護者が来所による相談面接を希望し、課題の改善・解決をめざすきっかけとなることが多かった。

## 5 教育図書・資料事業

県内教職員の教育活動に役立つ教育図書及び教育資料の収集・分類・整理に努め、データベース化して教育センターWebサイトに掲載し、図書検索を可能にした。また、文献資料利用相談への対応並びに貸し出し等のサービスも行い、教職員の研修・研究活動を援助してきた。

教育センター広報誌「所報ふくしま『窓』」第175号、176号及び「研究紀要」第48集を発行した。

## 第2節 調査・研究事業

### 1 調査・研究

平成30年度は、教育センターにおける実施要項に基づき、教育庁より承認を得た調査研究課題について、調査研究チーム、情報教育チーム、教育相談チームで取り組んだ。

#### (1) 調査研究チームによる研究

高等学校におけるアクティブ・ラーニングの視点を生かした学習指導の在り方（第1年次）～高等学校における学習指導実態調査と授業の提案～

次期高等学校学習指導要領において、生徒に新たな時代の創り手として必要な資質・能力を育成することが明記されている。特に、小・中学校及び高等学校の接続を意識した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が求められている。

当チームにおいて平成28年度から2年間、研究主題「『思考力』を高める問題解決的な学習指導の在り方」の実践的研究に取り組み、小・中学校におけるアクティブ・ラーニングの視点を生かした授業改善のポイント（授業構成モデル）を明らかにした。それらを学習指導実態調査のアンケート項目や高等学校の授業改善に生かすことができれば、次期高等学校学習指導要領で目指す授業が実現されるのではないかと考えた。

平成30年度は、本県県立高等学校における授業を担当している教員を対象に、FCSメールを活用して学習指導実態調査を実施することとした。また、学習指導実態調査の結果から見てきた授業改善のポイントを明確にするとともに、小・中学校で実践されている学習・指導方法を踏まえた単元構想や授業改善の方向性を提案することを目指し、福島県立福島高等学校の協力を得て研究を進めた。

以上の実践結果から、次のような成果と課題が確認された。

#### (成果)

- これまでの学習指導要領改訂の折に、今回のような実態調査を行ったことは初めてである。対象の半数以上の教員から回答を得て実態を分析することができた。
- アンケート項目においては、小・中学校の授業改善で重視している内容を活用した。このアンケート項目は、小・中学校及び高等学校を通した一貫した指導体制を構築する上で、「共通の尺度」の一つとなり得るものと考えられる。この尺度を基に、高等学校における授業改善のポ

イントを明らかにすることができた。

- 国語科、数学科、理科において、授業改善のポイントに視点をあてながら実践研究を行った。その結果、必然性のある課題設定を工夫することにより、主体的に学ぶ姿を引き出すことができた。
- 生徒が納得し、実感を伴って理解する過程において、自力解決と対話活動を往還させる学びが有効であることが分かった。特に、生徒の思考の流れに沿って自力解決や対話活動を位置付けることが有効であった。
- 課題解決を自分事として意識させるためには、解決方法や追究内容を生徒に選択・自己決定させることが有効であることが分かった。特に、課題解決を自分事として意識させることにより、解決の充実感や達成感を味わわせることができた。

#### (課題)

- 他教科においても、探究場面と活用場面を明確に位置付けた単元構想を行い、授業実践を行う必要がある。
- 生徒に充実感や達成感を味わわせるために、本時、または、本単元の学習を振り返る活動を充実させることが必要である。
- 課題設定や自己決定する場において、教師は今以上に生徒の考えを引き出そうとする姿勢や、生徒に自己決定を促す意識が必要である。

#### (2) 情報教育チームによる研究

自ら学び、主体的に考える情報モラル教育の在り方～総合的な学習の時間における探究的な学習を通して～

総合的な学習の時間の探究課題に情報モラルを設定し、自ら学び、主体的に考え、発信する探究的な学習を展開した。探究的な学習を通して、生徒の断片化したインターネット利用に関する知識に有機的なつながりをもたせ、インターネット利用に関する知識の定着と情報モラルの向上を目指した。

中学校2校での授業実践から、次のような成果と課題が確認された。

#### (成果)

- 情報モラルを総合的な学習の時間における探究課題に設定し、「課題の設定」から「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」まで、生徒自ら主体的に学び、発信する学習活動を展開することで、生徒のスマートフォンやインターネットを使用する際の行動選択に必要な知識の定着やそれに伴う行動変容を見取ることができた。総合的な学習の時間に情報モラルを探究課題として扱うことの意義と効果が確認できた。
- 情報モラルを総合的な学習の時間の探究課題として設定したことが、生徒の行動変容につながったことを各学校が研究の成果としてとらえ、今年度の取組を次年度の教育課程の編成に反映することができた。

- 学校、地域、保護者との連携を研究の手だてとしたことで、情報モラル教育について地域間での共通認識を図ることができた。また、小学校と中学校の連携、中学校と高等学校の連携、中学校と家庭との連携、それぞれの連携の過程で学習内容を数多く振り返らせることで、インターネット利用に関する生徒の知識の定着や行動変容へつなげることができた。
- 「ふくしま高校生スマホ宣言」を活用して講義内容を構成したことで、高校生が作成したスローガンを小学生、中学生と共有することができた。また、県の施策を基に情報モラル教育に継続して取り組むことで、普及・啓発につなげることができた。

#### (課題)

- 本研究を継続するには、変化の激しい情報社会の最新情報を入手し、生徒に新たな気づきを促すような触発型の授業をいかに継続していくかが課題となる。教育センターとして、情報社会の最新情報を常に発信できるような情報収集に努め、情報モラル教育に有益な情報を教育センターのWebサイトを通じて発信する取組が必要である。

### (3) 教育相談チームによる研究

よりよい人間関係を育む指導援助の在り方に関する研究(第一年次)～対話的な学びを充実させる学級集団づくりを通して～

一年次は、教員が児童の個や集団への関わりに焦点を当てた校内研修を実施することにより、対話を踏まえた日常の指導を充実させ、「よりよい人間関係を育む力」を高めることを目指す指導援助の在り方を探った。

「よりよい人間関係を育む力」は「カウンセリング力」「ガイダンス力」の観点から整理し、「よりよい集団づくりチェックシート」にまとめた。チェックシートを日常の指導で活用するための研修をはじめ、Q-Uを使ったブロック別協議など4回の校内研修を行った。

#### (成果)

- 校内研修において「よりよい集団づくりチェックシート」を活用することで、教員が日常の指導を確認するとともに、今後の指導における方針や目標を明確にし、日常の指導を充実させるために活用することができた。
- コアチームによる話し合いを通して、教員と当チームが児童の実態や教員の学級経営に対する思い等を取り入れたテーマを設定することで、協力校のニーズに合った効果的な校内研修を実施することができた。
- 学校全体で研修内容を日常の指導に生かすなど、教員が研修内容を自校化し、組織的に教員相互の資質・能力の育成に取り組む姿が見られた。
- Q-Uのデータを用いたブロック別協議を行うことで、教員が客観的なデータと担任の主観的な見取りを組み合わせ、児童理解を深めることができた。また、話し合いを通して、より具体的な指導法や援助策について考えを深

めることができた。

#### (課題)

- 協力校における「よりよい集団づくりチェックシート」の結果から、「カウンセリング力」、「ガイダンス力」の二つの力をバランスよく高めていくことが必要であることが分かった。校内研修や「よりよい集団づくりチェックシート」の内容等を精査する必要がある。
- 「よりよい集団づくりチェックシート」の活用や校内研修が、対話的な学びを充実させる学級集団づくりを支援する上でどのように有効であったか、具体的にどのような指導援助に結びついたかについて把握し、検証する必要がある。
- 協力校の教員が主体的に生徒指導・教育相談に関する校内研修を進めることができるような支援の在り方を探っていく必要がある。

## 2 長期研究員制度による研究

平成23年度より長期研究員制度が復活した。長期研究員は、年間を通じて各自が研究テーマを設定して計画、実践、評価、まとめを行うこととしている。平成30年度は、15名が研究に取り組み、福島県教育研究発表会では10名が成果を発表した。また、研究結果を『研究紀要』、『研究報告書』にまとめるとともにWebサイトに掲載した。

## 第3節 研修事業

### 1 研修講座の概要

#### (1) 基本研修

ア 新規採用者・初任者研修

教職員としての基礎・基本を習得する研修である。

(ア) 幼稚園等教諭

a 園内における研修(10日)

b 園外における研修(10日)

宿泊研修(2泊3日)、地区別研修(3日)(各地区)、参観研修(3日)、選択研修(1日)

(イ) 小・中学校教諭

a 校内における研修(150時間以上)

b 校外における研修(22日)

(a) 宿泊研修(6日)

宿泊研修A(2泊3日)、宿泊研修B(2泊3日)

(b) 地区別研修(16日)

・地区別研修A(7日)(各地区)

一般研修、授業研修、へき地校研修、カウンセリング研修、特別支援学校研修

・地区別研修B(9日)

(市町村教育委員会、各学校による計画)

研究発表集会等研修、一般研修、社会奉仕体験活動研修、他校種園参観研修

- (7) 高等学校教諭
- a 校内における研修（150時間以上）
  - b 校外における研修（22日）
    - (a) 宿泊研修（8日）  
基本研修（1泊2日）、一次研修（2泊3日）、二次研修（2泊3日）
    - (b) 教科別研修（3日）  
（教科ごとに初任者配置校を会場として実施）
    - (c) 地区別研修（11日）
      - ・地区別研修A（7日）（各地区）  
一般研修、社会奉仕等体験研修、カウンセリング研修、特別活動等研修、安全教育研修
      - ・地区別研修B（4日）（各学校による計画）  
特別支援学校研修、他校での授業参観等研修
- (8) 公立学校実習助手  
（高校教育課主管 高等学校初任者研修と合同開催）
- a 校内における研修（2日程度）
  - b 校外における研修（9日）
    - (a) 基本研修（1泊2日）
    - (b) 地区別研修（7日）（各地区）  
一般研修、社会奉仕等体験研修、カウンセリング研修、特別活動等研修、安全教育研修
- (9) 養護教諭（小・中・高・特別支援）
- a 校内における研修（15日）
  - b 校外における研修（14日）
    - (a) 宿泊研修（6日）  
宿泊研修A（2泊3日）、宿泊研修B（2泊3日）
    - (b) 地区別研修（8日）
      - ・地区別研修A（6日）（各地区）  
一般研修、カウンセリング研修、企業等体験
      - ・社会奉仕等体験研修
      - ・地区別研修B（2日）（小・中は市町村教育委員会、高・特別支援は各学校）  
特別支援学校研修、学校訪問研修
- (10) 学校栄養職員
- a 学校等内における研修（15日）
  - b 学校等外における研修（13日）
    - (a) 宿泊研修（6日）  
宿泊研修A（共通研修）（2泊3日）、  
宿泊研修B（専門研修）（2泊3日）
    - (b) 地区別研修（7日）
      - ・地区別研修A（4日）（各地区）  
一般研修、特別支援学校研修、単独校実地研修、共同調理場実地研修
      - ・地区別研修B（3日）（市町村教育委員会）  
一般研修、他校園参観研修、企業等体験研修
- イ 2年次教員フォローアップ研修  
初任者研修を修了した教諭に対して、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力へと高める研修である。
- (7) 小学校・中学校教諭
- a 校内研修（30時間以上）
  - b 校外研修（3日）
- (4) 高等学校教諭
- a 校内研修（30時間以上）
  - b 校外研修（3日）
- (9) 公立学校実習助手（高校教育課主管 高等学校2年次教員フォローアップ研修と合同開催）
- a 校外における研修（2日程度）
- ウ 経験者研修Ⅰ  
在職期間が5年に達した教職員を対象とし、専門的知識と技能を高め、資質の向上を図る研修である。
- (7) 小・中学校教諭
- a 校内研修（5日）
  - b 校外研修（3日）  
宿泊研修（2泊3日）
- (4) 高等学校教諭
- a 校内研修（5日）
  - b 校外研修（3日）  
宿泊研修（2泊3日）
- (9) 養護教諭（小・中・高・特別支援）
- a 校内研修（3日）
  - b 校外研修（3日）  
宿泊研修（2泊3日）
- (10) 学校栄養職員（隔年実施・30年度は実施せず）
- a 校内研修（2日）
  - b 校外研修（2日）  
宿泊研修（1泊2日）
- エ 経験者研修Ⅱ  
在職期間が10年に達した教職員を対象とし、幅広い識見と豊かな社会性を得させ、併せて学校組織マネジメントに資する能力の育成を図るとともに、組織の中核として運営に資する人材の育成と職能の更なる向上を図る研修である。
- (7) 幼稚園等教諭
- a 園内研修（7日）
  - b 園外研修（5日）  
保育専門研修（1泊2日）、共通研修（1日）（各地区）、社会体験研修（1日）、選択研修（1日）
- (4) 小・中学校教諭
- a 校内における研修（15日）
  - b 校外における研修（10日）  
共通研修（各地区）（1日）、教科指導研修（2泊3日）、生徒指導研修（各地区）（1日）、社会体験研修Ⅰ（2日）、選択研修（3日）
- (9) 高等学校教諭
- a 校内における研修（15日）
  - b 校外における研修（10日）  
共通研修（1日）、生徒指導研修（1日）、教科指導研修Ⅰ（1日）、教科指導研修Ⅱ（2日）、社会

体験研修Ⅰ（２日）、選択研修（３日）

- (エ) 養護教諭（小・中・高・特別支援）
  - a 校内研修（４日）
  - b 校外研修（６日）
- 共通研修（１日）、宿泊研修（２泊３日）、社会体験研修Ⅰ（１日）、選択研修（１日）
- (オ) 学校栄養職員（隔年実施）
  - a 校内研修（４日）
  - b 校外研修（６日）
- 共通研修（１日）、宿泊研修（２泊３日）、社会体験研修Ⅰ（１日）、選択研修（１日）

オ 経験者研修Ⅲ

教務主任、学年主任等の中堅教員に対する学校管理運営上の諸問題の解決や、専門的な職能の向上を図る研修である。

- (ア) 市町村立学校教諭（隔年実施）
  - 教育センター（２泊３日）
- (イ) 県立学校教諭
  - 教育センター（２泊３日）

(2) 職能研修

新任の校長・教頭・主幹教諭・教務主任に対するの職能研修Ⅰ及び学校の教育活動が円滑に展開できるよう担当教員の職責・職能に応じた研修を実施する職能研修Ⅱを実施した。

ア 職能研修Ⅰ

- (ア) 市町村立小・中・特別支援学校新任校長研修会
  - 教育センター（１泊２日）
- (イ) 県立学校新任校長研修会
  - 教育センター（１泊２日）
- (ウ) 市町村立小・中・特別支援学校新任副校長研修会
  - 教育センター（１日）
- (エ) 県立学校新任副校長研修会
  - 教育センター（１日）
- (オ) 市町村立小・中・特別支援学校新任教頭研修会
  - 教育センター（１泊２日）
- (カ) 県立学校新任教頭研修会
  - 教育センター（１泊２日）
- (キ) 新任主幹教諭研修会
  - 教育センター（１日）
- (ク) 新任教務主任研修会（小・中・高・特別支援）
  - 各地区（１日）（関係各教育事務所または各中核市教育委員会による計画）

イ 職能研修Ⅱ

- (ア) 複式指導（国語・算数）担当教員研修会
  - 教育センター（１泊２日）
- (イ) 免許外教科担任教員研修会
  - 教育センター（２泊３日）
- (ウ) 校長のためのマネジメント講座
  - 教育センター（１泊２日）

(エ) 教頭のためのマネジメント講座

教育センター（１泊２日）

(オ) 小・中学校におけるキャリア教育実践講座

教育センター（１泊２日）

(カ) 養護教諭専門研修講座（隔年実施）

教育センター（２泊３日）

(キ) 学校栄養職員専門研修講座（隔年実施・30年度は実施せず）

教育センター（２泊３日）

(3) 専門研修

個に即応した指導力の向上を図るために、情報教育、学校教育相談（基礎、実践、予防・開発的教育相談）、道徳教育実践（小・中）、各教科（小・中・高）、高等学校理科実習助手などの各講座を実施した。

2 研修講座

(1) 平成30年度研修講座数・受講者数

ア 基本研修

|        | 基本研修  |     |     |     |     | 計     |
|--------|-------|-----|-----|-----|-----|-------|
|        | 初任研   | 2年次 | 経験Ⅰ | 経験Ⅱ | 経験Ⅲ |       |
| 講座数    | 6     | 3   | 4   | 6   | 2   | 21    |
| (延べ数)  | 49    | 4   | 6   | 20  | 2   | 81    |
| 延べ受講者数 | 1,762 | 136 | 249 | 549 | 84  | 2,780 |

イ 職能研修

|        | 職能研修  |       | 計   |
|--------|-------|-------|-----|
|        | 職能研修Ⅰ | 職能研修Ⅱ |     |
| 講座数    | 5     | 6     | 11  |
| (延べ数)  | 10    | 7     | 17  |
| 延べ受講者数 | 266   | 318   | 584 |

ウ 専門研修

|        | 専門研修 | 計   |
|--------|------|-----|
| 講座数    | 47   | 47  |
| (延べ数)  | 50   | 50  |
| 延べ受講者数 | 705  | 705 |

エ 総計

|        | 基本研修  | 職能研修 | 専門研修 | 計     |
|--------|-------|------|------|-------|
| 講座数    | 21    | 11   | 46   | 78    |
| (延べ数)  | 81    | 17   | 50   | 148   |
| 延べ受講者数 | 2,780 | 584  | 705  | 4,069 |

## (2) 平成30年度研修講座実施状況

## ア 基本研修

| 講座名                | 会場                     | 期日                  | 受講者数                                                                 |      |
|--------------------|------------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------------|------|
| 初任者研修              | 幼稚園等                   | 教育センター              | 8月20日～8月22日                                                          | 71   |
|                    | 小学校                    | 磐梯青少年交流の家<br>教育センター | 5月22日～5月24日<br>7月25日～7月27日<br>8月6日～8月8日                              | 101  |
|                    | 中学校                    | 磐梯青少年交流の家<br>教育センター | 5月22日～5月24日<br>8月1日～8月3日                                             | 44   |
|                    | 高等学校                   | 教育センター              | 4月4日～4月5日<br>4月18日～4月20日<br>9月5日～9月7日<br>9月26日～9月28日<br>10月31日～11月2日 | 43   |
|                    | 養護教諭                   | 磐梯青少年交流の家<br>教育センター | 5月22日～5月24日<br>10月31日～11月2日                                          | 28   |
|                    | 栄養職員                   | 磐梯青少年交流の家<br>教育センター | 5月22日～5月24日<br>9月26日～9月28日                                           | 7    |
|                    | 地区別研修                  | 幼・小・中・高・栄・養(35講座)   | 各地区で実施                                                               | 1180 |
| 2年次教員<br>フォローアップ研修 | 小学校                    | 教育センター              | 7月30日                                                                | 39   |
|                    | 中学校                    | 教育センター              | 7月2日                                                                 | 23   |
|                    | 高等学校                   | 教育センター              | 7月9日                                                                 | 37   |
| 経験者研修Ⅰ             | 小学校                    | 教育センター              | 6月20日～6月22日                                                          | 108  |
|                    | 中学校                    | 教育センター              | 10月3日～10月5日<br>10月10日～10月12日                                         | 45   |
|                    | 高等学校                   | 教育センター              | 10月3日～10月5日<br>10月10日～10月12日                                         | 74   |
|                    | 養護教諭                   | 教育センター              | 9月12日～9月14日                                                          | 22   |
|                    | 学校栄養職員                 | 教育センター              | 隔年実施                                                                 |      |
| 経験者研修Ⅱ             | 幼稚園等                   | 教育センター              | 5月30日～5月31日                                                          | 14   |
|                    | 小学校                    | 教育センター              | 9月18日～9月20日                                                          | 44   |
|                    | 中学校                    | 教育センター              | 9月12日～9月14日                                                          | 33   |
|                    | 高等学校                   | 教育センター              | 4月17日<br>7月3日～7月4日<br>10月29日～10月30日                                  | 73   |
|                    | 養護教諭                   | 教育センター              | 8月1日～8月3日                                                            | 6    |
|                    | 学校栄養職員                 | 教育センター              | 7月25日～7月27日                                                          | 8    |
|                    | 地区別研修                  | 幼・小・中・高・養(14講座)     | 各地区で開催                                                               | 225  |
| 経験者研修Ⅲ             | 小学校<br>中学校<br>市立特別支援学校 | 教育センター              | 10月16日～10月18日                                                        | 36   |
|                    | 県立学校                   | 教育センター              | 10月22日～10月24日                                                        | 48   |

イ 職能研修

|              | 講 座 名                   | 期 日                        | 受講者数 |
|--------------|-------------------------|----------------------------|------|
| 職能研修Ⅰ        | 市町村立小・中・特別支援学校新任校長研修会   | 4月26日～4月27日<br>5月10日～5月11日 | 79   |
|              | 県立学校新任校長研修会             | 5月10日～5月11日                | 25   |
|              | 市町村立小・中・特別支援学校新任副校長研修会  | 4月26日・5月10日                | 8    |
|              | 県立学校新任副校長研修会            | 5月10日                      | 4    |
|              | 市町村立小・中・特別支援学校新任教頭研修会   | 5月8日～5月9日<br>5月17日～5月18日   | 110  |
|              | 県立学校新任教頭研修会             | 5月17日～5月18日                | 29   |
|              | 新任主幹教諭研修会               | 5月21日                      | 16   |
|              | 市町村立小・中・特別支援学校新任教務主任研修会 | 各教育事務所の日程                  | 95   |
|              | 県立学校新任教務主任研修会           | 各教育事務所の日程                  | 18   |
| 職能研修Ⅱ        | 複式指導（国語・算数）担当教員研修会      | 5月29日～5月30日                | 31   |
|              | 免許外教科担任教員研修会            | 5月14日～5月16日                | 39   |
|              |                         | 5月23日～5月25日                | 43   |
|              | 校長のためのマネジメント講座          | 6月11日～6月12日                | 69   |
|              | 教頭のためのマネジメント講座          | 9月6日～9月7日                  | 80   |
|              | 小・中学校におけるキャリア教育実践講座     | 9月3日～9月4日                  | 40   |
|              | 養護教諭専門研修講座              | 9月19日～9月21日                | 16   |
| 学校栄養職員専門研修講座 | 隔年実施                    |                            |      |

ウ 専門研修

|                              | 講 座 名                                 | 期 日           | 受講者数 |
|------------------------------|---------------------------------------|---------------|------|
| 教科教育系                        | 言語活動の充実を図る小学校国語科指導力向上講座               | 10月25日～10月26日 | 4    |
|                              | アクティブ・ラーニングにつながる小学校国語科指導力向上講座         | 10月1日～10月2日   | 8    |
|                              | 子どもの目の輝きが変わるフィールドワークを取り入れた社会科の授業づくり講座 | 8月16日～8月17日   | 6    |
|                              | 数学的活動の充実を図る算数科授業づくり講座                 | 9月25日～9月26日   | 6    |
|                              | アクティブ・ラーニングにつながる小学校理科講座               | 8月9日～8月10日    | 6    |
|                              | 実践事例に学ぶ図画工作科指導法講座                     | 6月15日         | 7    |
|                              | 小学校外国語活動講座                            | 8月9日          | 23   |
|                              | アクティブ・ラーニングにつながる中学校国語科指導力向上講座         | 7月23日～7月24日   | 12   |
|                              | アクティブ・ラーニングにつながる中学校数学科授業づくり講座         | 8月9日～8月10日    | 5    |
|                              | アクティブ・ラーニングにつながる中学校理科講座               | 7月30日～7月31日   | 12   |
|                              | 匠に学ぶものづくり講座                           | 8月20日～8月21日   | 8    |
|                              | アクティブ・ラーニングにつながる英語指導講座                | 10月25日～10月26日 | 13   |
|                              | 思考力・表現力の向上を図る数学問題作成・研究講座              | 7月30日～7月31日   | 11   |
|                              | 科学的な自然観を育む高等学校理科講座                    | 10月18日～10月19日 | 12   |
|                              | 実習助手のための理科観察・実験講座                     | 6月18日～6月19日   | 11   |
|                              | スピーキング力を高める英語指導講座                     | 7月31日         | 16   |
| 4技能の向上につなげる英語科言語活動の指導と評価実践講座 | 7月5日～7月6日                             | 6             |      |

|        | 講 座 名                                       | 期 日                                         | 受講者数 |
|--------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|------|
|        | 授業改善に結び付く国語科の評価問題作成・研究講座                    | 8月7日～8月8日                                   | 14   |
|        | アクティブ・ラーニングにつながる PISA 型読解力研究講座              | 10月18日～10月19日                               | 12   |
|        | 授業力向上につなげるための社会科・地理歴史科・公民科の評価問題作成・研究講座      | 7月31日～8月1日                                  | 9    |
|        | 資料活用を通して思考・判断・表現する力を育む社会科・地理歴史科・公民科の授業づくり講座 | 6月18日～6月19日                                 | 4    |
|        | アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた主権者教育授業づくり講座            | 9月11日                                       | 12   |
|        | 統計的に問題解決する力を育成する中学校・高等学校数学科の授業づくり講座         | 10月16日～10月17日                               | 6    |
|        | 世界の諸民族音楽の授業づくり講座                            | 10月1日～10月2日                                 | 8    |
|        | 日本伝統音楽の授業づくり講座                              | 10月16日～10月17日                               | 3    |
|        | 児童・生徒の心をつかむ合唱指導講座                           | 6月15日                                       | 18   |
|        | 創造性を育む図画工作・美術の鑑賞指導法講座①②                     | 8月17日、10月25日                                | 15   |
|        | 創造性を育む美術の表現指導法講座                            | 10月16日～10月17日                               | 12   |
|        | 運動が苦手な児童生徒のための体育指導講座                        | 8月22日～8月23日                                 | 12   |
|        | 「わかる」「できる」「かかわる」を引き出す体育指導力向上講座              | 10月1日～10月2日                                 | 6    |
|        | 家庭科を担当する先生のための基礎基本講座（調理編）                   | 8月9日                                        | 5    |
|        | 保育学習に関する指導の充実をめざす家庭科講座                      | 10月25日～10月26日                               | 7    |
| 教育相談系  | 児童生徒理解に生かす学校教育相談基礎講座                        | 9月27日～9月28日                                 | 35   |
|        | 事例研究を中心に児童生徒理解を深める学校教育相談実践講座                | 6月25日～6月26日<br>9月10日～9月11日<br>10月29日～10月30日 | 21   |
|        | 人間関係づくりに生かす予防・開発的教育相談講座                     | 6月18日                                       | 36   |
| 情報教育系  | 校務処理に生かす表計算（関数）講座                           | 6月29日                                       | 28   |
|        | 校務処理に生かす表計算（統計分析）講座                         | 9月25日                                       | 24   |
|        | 授業力向上のための ICT 活用基礎講座（義務系）                   | 9月5日                                        | 11   |
|        | 授業力向上のための ICT 活用基礎講座（県立系）                   | 10月2日                                       | 14   |
|        | 校内ネットワークの管理と運用基礎講座                          | 6月18日～6月19日                                 | 11   |
|        | グループウェアで活用する G Suite 実践講座                   | 8月23日                                       | 24   |
|        | はじめての G Suite 基礎講座                          | 8月9日                                        | 21   |
|        | 情報モラル教育指導者実践講座                              | 7月6日                                        | 13   |
| 教科外教育系 | 「特別の教科 道徳」の授業づくり講座                          | 9月3日～9月4日                                   | 36   |
|        | 自己有用感を高める特別活動（学級活動）指導力向上実践講座                | 7月31日                                       | 30   |
|        | 放射線・防災教育指導力向上講座                             | 8月23日                                       | 13   |
|        | 養護教諭のための指導力向上講座                             | 8月10日                                       | 34   |

### 3 指導主事派遣等

平成30年度の指導主事派遣の概要は次のとおりである。

( )内は昨年度比。「出前講座」での指導主事派遣件数は、指導主事派遣件数を含む。

|          |             |
|----------|-------------|
| 指導主事派遣件数 | 150件 (64件減) |
| (内訳) 小学校 | 47件 (40件減)  |
| 中学校      | 28件 (21件減)  |
| 高等学校     | 18件 (18件減)  |
| 教育委員会等   | 11件 (13件減)  |
| 各種教育団体等  | 46件 (28件増)  |

「出前講座」での指導主事派遣件数 115件

|          |     |
|----------|-----|
| (内訳) 小学校 | 45件 |
| 中学校      | 27件 |
| 高等学校     | 17件 |
| 教育委員会等   | 10件 |
| 各種教育団体等  | 16件 |

## 第4節 情報教育事業

### 1 研修講座の概要

公立小・中・高等学校・特別支援学校の情報教育に関する教員研修(専門研修)の概要は以下のとおりである。

#### (1) ネットワークを活用するための講座(小・中・高・特支)

- ア 校内ネットワークの管理と運用基礎講座
- イ グループウェアで活用するG Suite実践講座

#### (2) 授業実践講座(小・中・高・特支)

- ア 授業力向上のためのICT活用基礎講座
- イ 情報モラル教育指導者実践講座

#### (3) 校務の効率化を目指す講座(小・中・高・特支)

- ア 校務処理に生かす表計算(関数)講座
- イ 校務処理に生かす表計算(統計分析)講座
- ウ はじめてのG Suite基礎講座
- エ グループウェアで活用するG Suite実践講座

基本研修においては、国や県の情報教育の施策に基づき情報教育の意義や重要性を強調し、また、個人情報の扱いや情報セキュリティについても、その重要性・緊急性に言及した。

自主講座においては、6月2日に「表計算入門講座」を実施し、各地から18名の参加を得た。また、一般社団法人「福島県情報産業協会」と連携した、小・中学生対象の「子どものためのロボットワークショップ」は、8月18日に12組26名の小・中学生とその保護者の参加により実施した。

### 2 施設利用概況

基本研修の実践講座の各教科において、「教科指導におけるICT活用」を共通項目で指導するため、パソコンやプロジェクタ等ICT機器の活用機会やパソコン研修室の利用は多く、以下のとおりであった。

### パソコン研修室利用状況

| 利用区分     | 講座数  | 利用日数 | 実人数 | 延べ人数 |     |
|----------|------|------|-----|------|-----|
| 教育センター研修 | 34   | 51   | 481 | 707  |     |
| 講座       | 基本研修 | 14   | 22  | 156  | 268 |
|          | 専門研修 | 17   | 24  | 239  | 307 |
|          | 職能研修 | 3    | 5   | 86   | 132 |
| 教育庁研修    | 1    | 4    | 1   | 4    |     |
| 合計       | 35   | 55   | 482 | 711  |     |

## 第5節 教育相談

教育相談チームでは、来所及び電話による教育相談を受けている。平成30年度の来所相談・電話相談の概要は、以下のとおりである。

### 1 対象別

来所相談件数・電話相談回数

※ 対象の区分は、誰についての相談内容かで分けたものである。来所相談日数は112日、電話相談日数は244日であった。

| 種別       | 対象 | 幼  | 小   | 中   | 高   | 一般 | 教員 | 計   |
|----------|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|
|          |    | 件数 | 0   | 11  | 21  | 56 | 0  | 3   |
| 来所<br>相談 | 人数 | 0  | 12  | 30  | 63  | 0  | 3  | 108 |
|          | 回数 | 5  | 157 | 156 | 275 | 97 | 60 | 750 |

### 2 区分別

来所相談件数・電話相談回数

※ 対象の区分で数値の高い「性格行動」には「不登校」の相談、「教育一般」には「いじめ」、「学校への不満」の相談が含まれる。

| 種別       | 対象 | 知能<br>学業 | 性格<br>行動 | 身体<br>神経 | 進路<br>適性 | 教育<br>一般 | その<br>他 | 計   |
|----------|----|----------|----------|----------|----------|----------|---------|-----|
|          |    | 件数       | 3        | 50       | 9        | 5        | 16      | 8   |
| 来所<br>相談 | 人数 | 3        | 56       | 14       | 11       | 16       | 8       | 108 |
|          | 回数 | 1        | 133      | 31       | 38       | 313      | 234     | 750 |

### 3 地区別来所相談件数

| 県北 | 県中 | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | 県外 | 計  |
|----|----|----|----|-----|----|-----|----|----|
| 40 | 1  | 12 | 19 | 0   | 3  | 16  | 0  | 91 |

### 4 月別相談件数・回数

| 種別       | 月  | 4        | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 計   |
|----------|----|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
|          |    | 来所<br>相談 | 件数 | 0  | 0  | 22 | 3  | 4  | 23 | 24 | 0  | 1  | 4  | 7   |
| 電話<br>相談 | 人数 | 0        | 0  | 22 | 5  | 7  | 24 | 27 | 0  | 1  | 6  | 11 | 5  | 108 |
|          | 回数 | 53       | 45 | 71 | 72 | 59 | 51 | 59 | 73 | 79 | 60 | 60 | 68 | 750 |

## 第6節 教育図書・資料事業

全国各教育研究機関から送付された研究紀要や資料及び県内各学校から寄せられた研究資料を収集、整理・保管し、レファレンスサービスを行っている。所の研究成果を普及するため、研究紀要や「所報ふくしま『窓』」を刊行した。

### 1 教育図書・教育資料の収集

|                         |      |
|-------------------------|------|
| 教育図書購入冊数                | 39冊  |
| 寄贈教育図書等（DVD等を含む、教科書は除く） | 7冊   |
| 定期刊行図書購入冊数              | 29冊  |
| 研究紀要等寄贈冊数               | 163冊 |
| 恵贈定期刊行物数                | 34冊  |

### 2 教育資料の刊行

|           |             |
|-----------|-------------|
| 研究紀要      | 第48集        |
| 所報ふくしま「窓」 | 第175号～第176号 |

#### 付記

平成16年度より、教育センターにおいて、指導が不適切である教員等に対して長期特別研修を開始し、平成20年度から「指導が不適切である教員等の取扱いに関する要綱」に基づき、指導改善研修を実施している。平成30年度は研修者なし。

# 第 13 章 福島県特別支援教育センター

## 第 1 節 概要

昭和 61 年の開所以来、関係機関と連携協力しながら、教育相談、教職員の研修、調査・教育研究、図書・資料の収集と情報提供、広報・啓発等の事業を行ってきた。

今年度は、第 6 次福島県総合教育計画（改訂版）に基づき、早期からの教育的支援、小・中学校及び高等学校に在籍する発達障がいを含む特別な支援を必要とする児童生徒等への支援、特別支援学校の専門性の向上と特別支援教育におけるセンター的機能の充実に向けた支援、関係機関との連携等の充実に努めてきた。

### 1 教育相談事業

障がい等の心配のある乳幼児・児童生徒に関する教育相談機関として、本人、保護者（家族）、保育所・幼稚園、小・中学校及び高等学校、特別支援学校関係者、教育委員会等からの依頼に応じ、疑問や悩みを一緒に話し合い、特別支援教育の専門的観点からの相談を行った。相談者の心情に寄り添い、相談を通して、子どもへの適切な支援策や指導法について共に見つけだすようにした。また、面接、行動観察等を行い、関係機関との連携を図りながら専門的・総合的観点からの相談を進めた。

センター相談での相談受理件数は 216 件（昨年度比 102%）、延べ件数は 698 件（昨年度比 123%）であった。障がい種別による相談案件数では、情緒障がい（発達障がいを含む）に関する相談が最も多く 66% を占めている。知的障がいに関する相談は約 10% であり、合わせると案件数全体の 76% 以上を占める。相談者は、保護者、教員、保育士、関係機関等である。

その他、地域・学校等に出向き、支援を必要としている子どもに対し、適切な支援と指導が行えるよう必要な支援や助言を行った。学校等のニーズに応じ、ケース検討会や校内研修会等の開催・運営等への支援を行った。さらに、地域における教育相談機能の質的向上を図るため、学校等と保健福祉の関係機関、教育委員会、教育事務所、医療機関等との適切な連携を支援し、地域の支援体制の整備を進めた。

### 2 教職員研修事業

特別支援学校の基本研修においては、初任者研修、2 年次教員フォローアップ研修、経験者研修Ⅰ・Ⅱと教職経験年数に応じて、基礎的・基本的な事項を中心とした研修や教員の専門的な知識・能力の深化を図る研修、教員として教育活動全般にわたる広い視野に立った研修等を実施した。また、小・中学校や高等学校、特別支援学校の教員を対象とする職能研修では、特別支援学級等新任担当教員研修会や特別支援教育コーディネーター研修会など、その職責に応じた資質・力量の向上を目指した研修を行った。さらに、専門研修の各講座では、特別な支援を必要とする幼児児童生徒の正しい理解や

教育的な対応、授業の改善や充実につながる研修を行うとともに、最新の知見を取り入れた各種講座を設け実施した。

基本研修の受講者総数は延べ 461 名（初任者研修、2 年次教員フォローアップ研修、経験者研修Ⅰ、経験者研修Ⅱ）であった。職能研修の受講者総数は延べ 626 名（特別支援学級等新任担当教員研修会、特別支援学級担当教員（経験三年）研修会、小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会、高等学校特別支援教育コーディネーター研修会、特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会、特別支援学校実習助手等研修会、通級指導教室担当教員研修会）、そして、専門研修講座（17 講座）の総受講者は延べ 613 名であった。また、研修の機会を広く提供する公開講座（8 講座）の聴講者総数は 107 名で、自主研修講座（2 講座）の参加者総数は 77 名であった。

### 3 調査研究・教育研究事業

震災後の本県が当面している特別支援教育の今日的課題及び学校における教育実践上の具体的課題解決に向けて、以下の研究等を行った。

#### (1) 調査研究

「発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査研究」（一年次）

平成 23 年度に「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」が全国規模で実施されたが、本県を含む東北 3 県は震災の影響により実施対象とならなかった。そのため、本県における発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒の状況は、平成 16 年度（小・中学校）及び平成 20 年度（高等学校）に行行った調査以来、把握ができていない状況となっていた。

そこで、本調査研究では、県内すべての小・中学校、義務教育学校の通常の学級及び高等学校（通信制は除く）を対象として、学習面や行動面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒の状況と、各学校における合理的配慮の提供状況についての調査を実施し、その結果について集計・分析・考察を行い、現状と課題を把握した。

#### (2) 教育研究

「知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校における各教科の指導の充実」（一年次）～新学習指導要領を踏まえた児童生徒の自立と社会参加に向けた資質・能力の向上を目指す実践研究～

平成 29 年 4 月、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領が改訂され、小・中学校に準じた改善が図られるとともに「学びの連続性を重視した対応」の 1 つとして、知的障がいのある児童生徒のための各教科が整理され充実した。その中で、障がいのある児童生徒が自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加するために必要な力を培うための教育の充実、各教科の指導の充実が求められて

いる。新学習指導要領を踏まえ、特別支援学校（知的障がい）において、知的障がいのある児童生徒への各教科の指導の充実を図り、児童生徒の自立と社会参加に向けた資質・能力の向上を目指して研究協力校と共同で研究を行った。

#### 4 教育図書・資料の収集・提供事業

本県特別支援教育の中心的施設としての機能の充実を目指して広く特別支援教育関係図書・資料の収集に努め、関係教職員等が活用できるよう、整備・充実を図った。

本年度も特別支援教育の指導に関する図書の充実と教育資料の収集、Web サイトによる紹介等を推進した。

なお、3月末日現在での特別支援教育関係図書の蔵書数は6,571冊、定期刊行物6種、教育資料数4,299点である。

#### 5 広報・啓発事業

特別支援教育に関する情報及び資料、並びに本センターの事業内容を広報誌や各種発行物として関係諸機関等に配付し、特別支援教育に対する啓発や理解推進を図った。併せて、事業内容を多くの方々に伝えるため、Web サイトでも情報提供に努めた。

#### 6 情報教育事業

研修講座を中心に、障がいのある児童生徒の学習を支援するため、ICT等支援機器の活用に関する研修の企画運営を行った。

## 第2節 教育相談事業

### 1 相談対象

相談は、障がいのある、又はその心配のある乳幼児、児童、生徒及びその保護者や関係者を対象として実施した。相談の種類は次のとおりである。

- 視覚にかかわる相談
- 聴覚にかかわる相談

- 病弱・虚弱にかかわる相談
- 言語にかかわる相談
- 知的発達にかかわる相談
- 肢体不自由にかかわる相談
- 重複した障がいにかかわる相談
- 情緒等(LD、ADHD、高機能自閉症、アスペルガー症候群、自閉症、緘黙、不登校等)にかかわる相談

### 2 形態

#### (1) センター相談

電話での申込みにより、来所日時をあらかじめ調整し、相談者の来所による教育相談を行った。また、相談の内容によっては電話のみによる相談も行った。

#### (2) 要請を受けての相談

困難な事例や特に必要な場合には学校等に出向き、現地においての相談を行った。また、保育所・幼稚園、小・中学校、高等学校から支援要請を受け、事例研究を通しての相談を行った。

### 3 現状と課題

特別支援教育の相談については、各学校において特別支援教育の校内委員会や教育相談・進路指導、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが組織として機能してきたと考える。本センターの教育相談においては、そのような地域・学校等の機能とどのように連携し、学校等の支援体制づくりに寄与していくのか、さらに検討が必要である。

相談者からの主訴では、幼児については、就学に向けて多様な学びの場についての情報提供が多く、小学生では、他者とのコミュニケーションや学習面についてが多い。小学校高学年からは、生活において不適応を起こし、「友人とのトラブル」「不登校」についての相談が増加している。子どもの困難さの背景を探り、適切な支援を考える必要から、関係者によるケース会議の開催が重要となっている。また、小学校高学年から高校生については、自己理解を促す相談も大切に重ねていく必要があると考える。

#### <年齢・学校別相談件数>

| 年齢・学校      |     | 乳幼児(歳) |    | 小学校(学年) |    |    |    |    |    | 中学校(学年) |    |    | 高等学校(学年) |    |    | 一般他 | 計   |
|------------|-----|--------|----|---------|----|----|----|----|----|---------|----|----|----------|----|----|-----|-----|
|            |     | 0~4    | 5  | 1       | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 1       | 2  | 3  | 1        | 2  | 3  |     |     |
| センター<br>相談 | 実件数 | 11     | 13 | 18      | 19 | 18 | 9  | 18 | 17 | 18      | 23 | 15 | 8        | 14 | 7  | 8   | 216 |
|            | 延件数 | 23     | 31 | 41      | 56 | 85 | 24 | 66 | 58 | 65      | 84 | 38 | 44       | 57 | 15 | 11  | 698 |

#### <障がい種別相談件数>

| 障がい種       |     | 視覚障がい | 聴覚障がい | 知的障がい | 肢体不自由 | 病弱虚弱 | 言語障がい | 情緒障がい | 重複障がい | その他 | 計   |
|------------|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-----|-----|
| センター<br>相談 | 実件数 | 0     | 6     | 22    | 3     | 2    | 0     | 142   | 0     | 41  | 216 |
|            | 延件数 | 0     | 18    | 67    | 4     | 6    | 0     | 502   | 0     | 101 | 698 |

<地区別相談件数>

| 地区  | 県北  | 県中  | 県南 | 会津 | 南会津 | 相双 | いわき | その他 | 計   |
|-----|-----|-----|----|----|-----|----|-----|-----|-----|
| 延件数 | 121 | 414 | 37 | 49 | 0   | 16 | 51  | 10  | 698 |

### 第3節 教職員研修事業

受講者の資質、指導力、専門性の向上を目指し、講座内容の一層の充実を図った。

- 専門研修講座を17講座設け、そのうち8講座を公開講座とし、受講者のニーズに応えるようにした。
- 講座は講義を中心としながらも、演習や実技、協議等に重点を置いて構成し、研修内容・方法に工夫を加えた。研修を通して受講者が自らの課題に気づき、その解決に主体的

に取り組むことができるように、話し合いの活動を多く取り入れ、具体的な方策に結び付くようにした。

- 特別支援教育に関する県内外の専門家や各学校で先進的な実践をしている教員などを招へいして、新たな知見を広げたり具体的な実践に触れたりする機会の充実を図った。
- 調査研究や教育研究等の成果を基にして、特別支援教育に関する専門的知識・技能の習得とともに、真摯に実践に取り組む資質の向上に努めた。

#### 1 教職員の研修講座

##### (1) 専門研修

| 講座名                                                                      | 期日及び期間 | 受講者数(人) |
|--------------------------------------------------------------------------|--------|---------|
| 発達障がいのある幼児児童生徒の基礎的な理解と対応                                                 | 8月6日   | 69      |
| 発達障がいのある児童生徒のライフステージを考える                                                 | 7月30日  | 41      |
| 障がいのある子どもを支える保護者や関係機関との連携                                                | 9月26日  | 43      |
| 発達障がいのある子どもを支える保護者や関係機関との連携                                              | 9月26日  | 43      |
| 特別支援教育の充実Ⅱ<br>通常の学級で学ぶ児童生徒の多様な学びに応じた指導の充実—個々の可能性を伸ばす—                    | 8月20日  | 51      |
| 特別支援教育の充実Ⅲ 多様な学びを支える心理教育的アセスメント                                          | 7月12日  | 29      |
| 特別支援教育の充実Ⅳ 障がいのある幼児児童生徒とのかかわり合いを考える                                      | 9月19日  | 29      |
| 特別支援教育の充実Ⅴ キャリア発達と社会参加—キャリア教育の視点を生かした授業づくり—                              | 9月27日  | 18      |
| 特別支援教育の充実Ⅵ<br>特別支援学校におけるチーム力向上のための知識・理論—チームづくりのヒント：OJL—                  | 10月2日  | 19      |
| 特別支援教育実践力アップⅠ 知的障がいのある児童生徒の特性と授業づくり                                      | 7月5日   | 20      |
| 特別支援教育実践力アップⅡ<br>知的障がいのある児童生徒の授業充実—子どもの力を伸ばす教材・教具—                       | 9月14日  | 22      |
| 特別支援教育実践力アップⅢ<br>特別支援学校における重度・重複障がいのある児童生徒の理解と授業づくり                      | 7月10日  | 26      |
| 特別支援教育実践力アップⅣ<br>特別支援学校における授業力向上—新学習指導要領を踏まえた目標と評価—                      | 8月23日  | 63      |
| 特別支援教育実践力アップⅤ<br>〔実技研修〕 チーム力向上のためのメンタルヘルスとリスクコミュニケーション                   | 10月5日  | 32      |
| 特別支援教育実践力アップⅥ<br>特別支援教育に活かすICT機器やデジタル教材—合理的配慮を踏まえて—                      | 9月11日  | 38      |
| 特別支援教育実践力アップⅦ<br>連続性のある多様な学びのための小・中学校、高等学校、特別支援学校の連携—切れ目のない支援のための学校間の引継— | 8月1日   | 49      |
| 特別支援教育実践力アップⅧ 特別支援学級の学級経営—教育課程と授業づくり—                                    | 8月22日  | 20      |
| 幼児期から児童期への支援を継続する幼小連携—子どもの発達を考える—                                        | 7月25日  | 44      |
| 計                                                                        |        | 613     |

(他に公開講座に107名、自主研修講座に77名が参加)

## (2) 基本研修

| 研修名                         | 期日及び期間    | 受講者数(人) |
|-----------------------------|-----------|---------|
| 特別支援学校初任者研修一般研修             | 4月11日～12日 | 55      |
| 特別支援学校初任者研修カウンセリング研修        | 6月13日～14日 | 51      |
| 特別支援学校初任者研修宿泊一次研修           | 8月8日～10日  | 49      |
| 特別支援学校初任者研修教育課程別研修          | 9月12日     | 49      |
| 特別支援学校初任者研修学部別研修            | 11月14日    | 49      |
| 特別支援学校初任者研修宿泊二次研修           | 2月6日～8日   | 49      |
| 特別支援学校2年次教員フォローアップ研修教科等指導研修 | 8月17日     | 57      |
| 特別支援学校経験者研修Ⅰ全体研修            | 6月20日～22日 | 42      |
| 特別支援学校経験者研修Ⅱ共通研修            | 6月27日～29日 | 30      |
| 特別支援学校経験者研修Ⅱ教科等指導研修         | 1月17日～18日 | 30      |
| 計                           |           | 461     |

## (3) 職能研修

| 研修名                     | 期日及び期間                  | 受講者数(人)    |
|-------------------------|-------------------------|------------|
| 特別支援学級等新任担当教員研修会        | (共通) 4月18日<br>(地区別) 11月 | 139<br>103 |
| 特別支援学級担当教員(経験三年)研修会     | (地区別) 9月                | 50         |
| 小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会  | (地区別) 6月                | 151        |
| 高等学校特別支援教育コーディネーター研修会   | (地区別) 5月                | 91         |
| 特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会 | 5月29日                   | 25         |
| 特別支援学校実習助手等研修会          | 7月24日                   | 10         |
| 通級指導教室担当教員研修会           | 7月18日                   | 57         |
| 計                       |                         | 626        |

## 第4節 調査研究・教育研究事業

### 1 調査研究

「発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査研究」(一年次)

#### 【調査の趣旨】

特別支援教育が本格的に開始されてから10年以上が経過した。平成25年には学校教育法施行令の改正に伴い就学に関する手続きが見直され、また、平成28年には「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行に伴い合理的配慮の提供が義務化されるなど、障がいのある児童生徒が地域で共に学ぶ仕組みづくりが推進されてきている。本県においても第6次福島県総合教育計画の施策の一つとして、障がいのある児童生徒が「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進を掲げ、特別支援学校のみならず小・中学校及び高等学校等における特別支援教育の充実に取り組んでいるところである。

一方、平成23年度に「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」が全国規模で行われたが、本県を含む東北3県

は震災の影響により実施対象とならなかった。そのため、本県における発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒の状況は、平成16年度(小・中学校)及び平成20年度(高等学校)に福島県養護教育センター(現福島県特別支援教育センター)が行った調査以来、把握ができていない状況となっていた。そこで、小・中学校、義務教育学校の通常の学級及び高等学校に在籍し、発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒の状況を調査することとした。

#### 【調査の概要】

##### (1) 調査の目的

小・中学校、義務教育学校の通常の学級及び高等学校に在籍し、発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒の状況を調査し、学習面や行動面等で特別な教育的支援を必要とする児童生徒の状況を明らかにするとともに、各学校における合理的配慮の提供状況を把握し、今後の本県における特別支援教育の推進及び教職員研修充実のための基礎資料とする。

## (2) 調査体制

- ア 調査主体 福島県教育委員会
- イ 実施機関 福島県特別支援教育センター
- ウ アドバイザー 福島大学人間発達文化学類  
准教授 高橋純一

## (3) 調査方法及び内容等

- ア 調査対象 県内すべての小・中学校、義務教育学校の  
通常の学級及び高等学校（通信制は除く）
- イ 調査年月日 平成30年5月1日現在
- ウ 調査期間 平成30年5月22日～7月2日
- エ 調査方法 質問シートによる質問紙法を用い、担任教  
員等が回答
- オ 調査内容
  - (ア) 発達障がいの可能性のある児童生徒数（知的発達に遅  
れはないものの学習面や行動面に著しい困難を示す児  
童生徒）
    - a 学習面（「聞く」「話す」「読む」「書く」「計算す  
る」「推論する」）
    - b 行動面（「不注意」「多動性－衝動性」）
    - c 行動面（「対人関係やこだわり等」）
  - (イ) 学習面や行動面に著しい困難は示さないが、医師によ  
る診断のある児童生徒数
  - (ウ) 特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する合  
理的配慮の提供状況
  - (エ) 合理的配慮の提供に関する校内体制について
- カ 回収率 99.2%（国公立学校については100%）
- キ 対象児童生徒数 185,671人  
（内訳）・小学校 87,481人  
・中学校 48,647人  
・高等学校 49,543人

### 【調査結果】

#### (1) 特別な教育的支援を必要とする児童生徒の在籍状況

特別な教育的支援を必要とする児童生徒の在籍状況は、小・中学校の通常の学級では6.0%となった。学校種別で見ると、小学校7.1%、中学校4.0%となった。また、高等学校では、2.4%となった。

#### (2) 困難の状況別（学習面・行動面・医師による診断）の在籍状況

学習面、行動面、医師による診断の視点で見た困難の状況別の在籍状況は、小・中学校の通常の学級では、学習面のみで著しい困難を示す児童生徒は1.5%、行動面のみで著しい困難を示す児童生徒は1.4%、学習面と行動面ともに著しい困難を示す児童生徒は1.8%、学習面や行動面に著しい困難は示さないものの、医師による診断のある児童生徒は1.3%となった。

また、高等学校では、学習面のみで著しい困難を示す生徒は0.4%、行動面のみで著しい困難を示す生徒は0.4%、学習面と行動面ともに著しい困難を示す生徒は0.5%、学習面や行動面に著しい困難は示さないものの、医師による診断のある児童生徒は1.1%となった。

#### (3) 合理的配慮の提供状況

特別な教育的支援を必要とする児童生徒のうち、本人・保護者のいずれか、又は両方との合意形成の上、合理的配慮の提供を受けている児童生徒は、小学校の通常の学級では6,175人中2,143人となっており、その割合は34.7%となった。また、中学校の通常の学級では1,942人中501人となっており、同25.8%。さらに、高等学校では1,182人中215人となっており、同18.2%となった。小・中学校、高等学校の合計では、9,299人中2,859人となっており、割合は30.7%となった。

#### (4) 合理的配慮の提供に関する課題

「合理的配慮の提供に当たって各学校が自校の課題と考えていること」（複数回答）

| No. | 項目      | 割合（全校種合計） |
|-----|---------|-----------|
| 1   | 理解      | 51.6%     |
| 2   | 申請方法    | 45.4%     |
| 3   | 調整方法    | 34.4%     |
| 4   | 合意形成の方法 | 32.5%     |
| 5   | 文書明記    | 32.6%     |
| 6   | 校内体制    | 42.5%     |
| 7   | 評価・見直し  | 23.8%     |
| 8   | 引継ぎ     | 14.0%     |
| 9   | 提供プロセス  | 39.8%     |
| 10  | 特になし    | 5.0%      |

合理的配慮の提供に当たっての自校の課題については、「理解」を挙げる学校が最も多く、また「申請方法」「校内体制」「提供プロセス」も高くなっている。合理的配慮の提供を開始するまでのプロセスに課題があると考えている学校が多い。

### 【二年次の取組】

一年次の調査結果を受けて、二年次は合理的配慮の提供の充実に向け、以下の3点に取り組む。

#### (1) 研究協力校における実践研究

小・中学校、高等学校の各校種から研究協力校を選定し、特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援が切れ目なく実施されるよう合理的配慮の提供の充実に向けた実践研究を行い、校種や規模に応じた有効な取組を明らかにする。その際、本センターで作成している「小・中学校、高等学校におけるインクルーシブ教育システム推進のためのコーディネートハンドブック」（以下、「コーディネートハンドブック」とする）を活用しながら、各校の課題に応じ、合理的配慮の理解を推進するための校内研修や、支援内容の検討、合理的配慮提供のプロセスの検討、個別の教育支援計画の作成や活用について各学校とともに取り組んでいく。

#### (2) リーフレット等による理解啓発と支援

「コーディネートハンドブック」をもとに、合理的配慮の提供に関するリーフレットを作成し、県内すべての学校に配付し、合理的配慮に関する理解啓発及び提供の充実を

図る。また、切れ目のない支援体制整備事業等による学校支援において、リーフレットを活用しながら、各校における合理的配慮の提供に向けた校内体制づくりや教育的ニーズに応じた配慮に関する研修等を支援していく。

### (3) 特別支援教育に関する研修の充実

小・中学校、義務教育学校や高等学校の教職員を対象とした特別支援教育に関する研修の充実を図る。具体的には、本センターの各研修や各学校等への支援において合理的配慮の理解啓発を図るほか、福島県教育センターとの連携についても検討している。

## 2 教育研究

「知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校における各教科の指導の充実」(一年次)～新学習指導要領を踏まえた児童生徒の自立と社会参加に向けた資質・能力の向上を目指す実践研究～

### 【研究の趣旨と目的】

平成 29 年 4 月、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領が改訂され、小・中学校に準じた改善が図られるとともに「学びの連続性を重視した対応」の 1 つとして、知的障がいのある児童生徒のための各教科が整理され充実した。障がいのある児童生徒が自己のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加するために必要な力を培うための教育の充実、各教科の指導の充実が求められている。

本研究では、研究協力校（研究推進モデル校 2 校、地区協力校 5 校）と共同し、新学習指導要領を踏まえた実践研究により、知的障がいのある児童生徒への各教科の指導の充実を図り、児童生徒の自立と社会参加に向けた資質・能力の向上を目指す。

### 【研究の経過】

#### (1) 新学習指導要領の理解啓発

知的障がいのある児童生徒への各教科の指導を充実させていくため、県内特別支援学校の教員を対象に、教育課程協議会や各研修会で新学習指導要領の理解啓発を図り、Web サイト、実践研究通信などでも、情報発信を行った。

#### (2) 知的障がいのある児童生徒への教科指導の現状と課題の把握

本県の現状と課題を把握するため、「知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校における教科指導に関するアンケート」を実施し、県内特別支援学校 25 校と、研究協力校教員 662 名より回答を得た。アンケート結果から、学校としても個人としても「系統的な学習」に課題があることが分かった。さらに分析を進めると次のような結果が見えてきた。

- 各教科の目標や内容を踏まえているのに、各教科等を合わせた指導になると、授業のねらいが曖昧になること
- 個別の指導計画等を用いてきちんと引き継ぎを行っているにもかかわらず、系統的な学習につながらないこと

#### (3) 新学習指導要領を踏まえた授業研究（研究協力校との取組）

新学習指導要領を踏まえた授業実践の在り方を検討するために研究協力校連絡協議会を実施した。その中で新学習指導要領の要点を確認し、各校の現状と今後の取組、アンケート結果等について協議を行った。各校では、新学習指導要領についての研修会、学習指導案の様式や授業研究会の在り方の検討など、それぞれの現状を踏まえ、様々な取組が行われた。

#### (4) 学びの連続性を確保するための方策の検討

学びの連続性を確保するために、共通の基準である学習指導要領に基づき各教科の段階や内容の習得状況を把握する「学びの履歴」シートを作成・提案した。

### 【研究のまとめ】

#### (1) 成果と課題

ア 新学習指導要領の理解啓発

各校の変容として、下記の点が挙げられる。

- 児童生徒の実態把握の際、新学習指導要領に示される各教科の段階に照らし合わせるようになった。
- 各教科の目標や内容に基づく授業づくりと学習指導案の様式の工夫が出てきた。
- 新学習指導要領への理解が深まることで、学校全体の研修がより推進されてきた。

課題としては、新学習指導要領の内容をそれぞれの教員がさらに理解し、日々の実践につなげていくことが挙げられる。今後は、授業実践と結び付けた理解促進のための工夫が求められる。

イ 知的障がいのある児童生徒への教科指導の現状と課題の把握

学校用と個人用のアンケートの集計結果では、どちらも「系統的な学習」が課題となっており、取り組むべき今後の方向性を明確にすることができた。

アンケートの特徴を他校と比較して自校の課題を分析し、その後の取組に活かす学校もあった。

ウ 新学習指導要領を踏まえた授業研究（研究協力校との取組）  
成果としては、下記の点が挙げられる。

- 資質・能力の理解から、三つの柱で指導目標を整理したり、各教科の段階を明記したりなど、学習指導案の様式が変わってきた。
- 主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善が図られてきた。
- これまでの授業研究会のやり方を見直し、多面的な学習評価を取り入れるなどの工夫が出てきた。
- 各教科と自立活動との関連を意識した研究も進められてきた。

課題として、新学習指導要領に基づいた指導目標の設定の仕方、授業改善の視点の共有、効果的な授業研究会の在り方、年間指導計画等の見直し方、各教科と自立活動との関連など、整理しきれなかった点について、今後さらに具体的な取組が求められる。

エ 学びの連続性を確保するための方策の検討  
系統的な学習を課題としている学校は多く、個人としてもその必要性を感じている。その実現のためには、個人だけでなく、学校全体のシステムを整えていく必要がある。共通の基準である学習指導要領に基づいて児童生徒の「学びの履歴」を整理することが学校全体の取組になれば、系統的な学習の実現により近付けることができるのではないかと考える。

## (2) 次年度の取組

一年次の成果と課題から、本センターでは、下記の3点に取り組み、研究協力校とともに、新学習指導要領を踏まえた授業実践をさらに促進させていく。

### ア 新学習指導要領の理解啓発

- 授業実践と結び付けた理解の促進
- さらなる理解が促進される情報発信

### イ 新学習指導要領を踏まえた授業研究（研究協力校との取組）

- 新学習指導要領を踏まえた学習指導案の検討・実施
- 授業研究会等の在り方の検討・実施
- 指導内容、年間指導計画、教育課程編成の工夫点・改善点の整理と共有

### ウ 学びの連続性を確保するためのシステムの構築

- 「学びの履歴」シートの活用

## 3 長期研究員制度による研究

平成29年度より長期研究員制度が復活した。長期研究員は、各自が研究テーマを設定して、計画、実践、評価をして二年次に研究をまとめ、発表・報告を行うこととしている。平成30年度は4名が研究に取り組み、福島県特別支援教育センター研究発表会では二年次の2名が研究のまとめを発表し、一年次の2名がポスター発表で中間報告した。また、研究成果を「研究紀要」にまとめた。

## 第5節 教育図書・資料の収集・提供事業

### 1 教育図書・資料の収集・整理

#### (1) 教育図書の収集・整理

教育図書については、特別支援教育に関する専門図書の充実に努め、本年度110冊の新規購入及び受贈の結果、蔵書数は6,571冊になった。その種類は、障がい児の教育関係図書が1,722冊、その他の図書が4,849冊である。障がい児関係図書については、利用しやすいように障がい別（視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱、言語障がい、情緒障がい、重複障がい等）に配架している。

#### (2) 教育関係定期刊物の収集・整理

教育関係定期刊物は6種類購入し、いつでも閲覧できるように分類・配架した。

#### (3) 教育資料の収集・整理

全国の関係機関や県内の教育機関の協力により、研究紀要・研究報告書・ハンドブック等の収集に努め、本年度収

集した312冊を分類・配架した。県内の資料についても、学校別に分類・配架した。

## 第6節 広報・啓発事業

### 1 所報「特別支援教育」(71号)

#### (1) 内容

##### ア 巻頭言

「福島県における『発達障がい』教育～挑戦しなければ成功も進歩もない」

東北福祉大学教育学部教育学科准教授 高屋隆男

##### イ 特集「学びの連続性や切れ目のない支援体制の充実に向けて」

###### (ア) 調査研究から(一年次)

「発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」

###### (イ) 教育研究から(一年次)

「知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校における各教科の充実」

##### ウ 講演ノート

教育講演会

「学習指導要領改訂から見るこれからの特別支援教育～アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた授業づくり～」

明星大学教育学部常勤教授 明官茂

##### エ インフォメーション

###### (ア) 平成30年度教育相談の報告

###### (イ) 平成30年度研修講座実施状況

###### (ウ) 平成30年度教材・支援機器ポータル

###### (エ) 平成30年度小・中学校、高等学校におけるインクルーシブ教育システム推進のためのコーディネートハンドブック

#### (2) 規格、ページ等

##### ア 規格A4判

##### イ ページ数26ページ

##### ウ Webサイトで公開

##### エ 各関係機関へ配付

### 2 研究紀要「第32号」

#### (1) 内容

##### ア 調査研究

「発達障がいの可能性のある児童生徒を含む特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」(一年次)～合理的配慮の提供の充実に向けた実践研究～

##### イ 教育研究

「知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校における各教科の充実」(一年次)～新学習指導要領を踏まえた児童生徒の自立と社会参加に向けた資質・能力の向上を目指す実践研究～

## (2) 規格、ページ、部数

- ア 規格 A 4 判
- イ ページ数 60 ページ
- ウ Web サイトで公開
- エ 各関係機関へ配付

## 第 7 節 情報教育事業

### 1 ICT 活用支援

専門研修講座において、「特別支援教育に活かす ICT 機器とデジタル教材ー合理的配慮を踏まえてー」を実施し、講義や教材・支援機器・ICT 等の活用についての演習を行い、特別支援教育における教材・支援機器等の活用促進と実践力や専門性の向上を図った。

また、初任者研修の基本研修において、情報モラルに関する講義を実施した。

### 2 情報機器活用

研修講座を中心に、支援機器に関する情報提供や Web カメラ等の貸出を行った。

### 3 情報教育ネットワークと Web サイトの充実

Web サイトで本センターの事業内容を多くの方々に伝えるため、研修や研究の広報充実に努めた。

広報・啓発事業担当者と協力し、「教材・支援機器ポータル」「センターだより」「コーディネートハンドブック」を、Web サイトに掲載し、適宜新しい情報の追加を行った。

- 本センター Web サイトアクセス件数 850,396 件  
(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)



---

---

**平成 30 年度実績 教育年報**

発行 令和元年 10 月 25 日  
編集発行 福島県教育委員会  
福島市杉妻町 2-16  
TEL (024) 521-7759

---

---